

京都市はぐくみ推進審議会
平成30年度 第2回「親子いきいき保健部会」
次 第

平成31年2月28日(木) 18時30分から
職員会館かもがわ3階 大多目的室

<議題>

子ども・若者に係る総合的な計画策定に向けた市民ニーズ調査・意識調査等の現時点の調査実施状況について

資料1 子ども・若者に係る総合的な計画策定に向けた市民ニーズ調査・意識調査の調査実施状況について

資料2 京都市母子保健に関する意識調査について

資料3 京都市青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査について

参考1 京都市母子保健に関する意識調査【結果報告書(速報版)】(案)

参考2 京都市青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査【結果報告書(速報版)】(案)

京都市はぐくみ推進審議会
親子いきいき保健部会 委員名簿

＜部会員＞ 11名

(敬称略・50音順)

	氏名	団体・役職名等
1	尾崎 明子	一般社団法人京都府歯科医師会
2	北島 則子	公益社団法人京都府看護協会 第一副会長
3	木村 友香理	市民公募委員
4	熊谷 幸江	公益社団法人京都府栄養士会 代表理事
5	小林 知佐	一般社団法人京都府薬剤師会 理事
6	志澤 美保	京都府立医科大学看護学科 准教授
7	芹澤 出	京都母子生活支援施設協議会 会長
8	田村 秀子	京都産婦人科医会 会長
9	藤垣 真貴子	公益社団法人京都府助産師会 会員
10	藤本 明美	特定非営利活動法人京都子育てネットワーク 理事長
11	部会長 松田 義和	一般社団法人京都府医師会 理事

子ども・若者に係る総合的な計画策定に向けた市民ニーズ調査・意識調査の調査実施状況について

平成32年度を始期とする「子ども・若者に係る総合的な計画（以下「新計画」という。）」を来年度に策定するに当たり、昨年9月から順次実施してきました市民ニーズ調査・意識調査（以下「ニーズ調査」という。）について、現時点の各調査の実施状況について御報告いたします。

1 実施結果（各調査の概要については裏面参照）

調査区分		調査対象者 (配布数)	有効回収数	有効回収率
①	子育て支援に関する市民ニーズ調査 (小学校入学前児童)	6,500 件	3,191 件	49.1%
②	子育て支援に関する市民ニーズ調査 (小学生児童)	6,500 件	3,202 件	49.3%
③	家族や家庭生活のあり方に関する意識調査	6,500 件	1,866 件	28.7%
④	ひとり親家庭に関する実態調査	5,000 件	1,272 件	25.4%
⑤	母子保健に関する意識調査	3,162 件	1,327 件	42.0%
⑥	青少年・若者に関する意識行動と思春 期保健に関する調査	6,500 件	1,393 件	21.4%
	うち 13 歳から 18 歳までの青少年・ 保護者	2,500 件	638 件	25.5%
⑦	放課後の過ごし方に関する調査 (小学校用)	31,696 件	14,218 件	44.9%
⑧	放課後の過ごし方に関する調査 (総合支援学校用)	1,133 件	475 件	41.9%

2 今後のスケジュール（予定）

各ニーズ調査の結果については、調査票を作成する際に調査審議を行った部会及び共同部会において、考察を行うとともに、現行計画（「未来こどもはぐくみプラン」、 「ユースアクションプラン」、 「貧困家庭の子ども・青少年対策に関する実施計画」）の進捗状況も踏まえて意見聴取を行い、本年4月以降に公表を行う予定です。

《主なスケジュール》

平成31年2月以降	部会及び共同部会において意見聴取
同年3月中旬～下旬	全体会議で最終の意見聴取
	事務局において調査結果の取りまとめ
同年4月以降	調査結果の公表

(参考)

(1) 子育て支援に関する市民ニーズ調査

対 象：市内在住の小学校入学前児童の保護者（6, 500件）

〃 小学生の保護者（6, 500件）

方 法：無作為抽出を行い、調査票を郵送

目 的：子育て支援施策に係る市民ニーズを把握し、「京都市子ども・子育て支援事業計画」策定をはじめ、今後の子育て支援施策の今後の方向性を検討する基礎資料とする。

(2) 家族や家庭生活のあり方に関する意識調査

対 象：市内在住の18歳から49歳までの市民（6, 500件）

方 法：無作為抽出を行い、調査票を郵送

目 的：結婚、出産、働き方改革、真のワーク・ライフ・バランス等、広く家族や家庭生活に係る市民の意識を把握することを目的に調査を実施する。

(3) ひとり親家庭に関する実態調査

対 象：市内在住の母子世帯（3, 700件）

〃 父子世帯（1, 300件）

方 法：無作為抽出を行い、調査票を郵送

目 的：ひとり親家庭の、所得を含む世帯の状況や育児・教育の状況、離婚後の養育費や面会交流の状況などを調査するとともに、既存の福祉施策の認知状況や利用状況、潜在的なニーズ及び要望を把握し、主に「京都市ひとり親家庭自立促進計画」策定に係る基礎資料とする。

(4) 母子保健に関する意識調査

対 象：9月中に乳幼児健康診査（4か月児、8か月児、1歳6か月児、3歳児）を受診した児童の母親（約4, 000件）

方 法：乳幼児健康診査で来庁された際に調査票を手渡し、郵送で回収

目 的：乳幼児の子育てをしている母親を対象に調査をすることで、妊娠・出産・子育てを取り巻く状況や環境の変化を把握し、「京都市母子保健計画」策定に係る基礎資料とする。

(5) 青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査

対 象：市内在住の13歳～18歳とその保護者（5, 000件（2, 500世帯））

〃 19歳～30歳（4, 000件）

方 法：無作為抽出を行い、調査票を郵送

目 的：13歳～30歳の青少年・若者（思春期を含む）の意識や生活状況について調査し、その把握を行うことで「京都市子ども・若者計画」や「京都市母子保健計画」の策定に係る基礎資料とする。

(6) 放課後の過ごし方に関する調査

対 象：市立小学校及び市立小中学校前期課程1年生、4年生、6年生の全ての児童の保護者（約31, 000件）

総合支援学校に通学する全児童・生徒の保護者（約1, 250件）

方 法：各学校を通じ調査票を配布し、郵送で回収

目 的：小学校児童の放課後における過ごし方を調査し、学童クラブ事業・放課後ほっと広場事業・放課後まなび教室（以下「学童クラブ事業等」という。）の利用実態や潜在的なニーズ、児童館事業の認知度を把握することにより、今後の各事業のあり方の検討材料とする。

また、総合支援学校に通う障害のある児童・生徒の放課後の過ごし方を調査し、就学児童のサービス利用における現状と課題、また放課後に必要とされるサービスの機能や役割について把握する。

京都市母子保健に関する意識調査について

1 調査概要

(1) 目的

子育て中の母親の健康に対する意識やご家庭での育児の状況、母子保健サービスへのご意見等をうかがい、今後の京都市の母子保健施策等の充実に向けた基礎資料とすることを目的に実施しました。

(2) 実施状況

		調査対象者（配布数）	有効回収数	有効回収率
母子保健に関する意識調査		3,162 件	1,327 件	42.0%
（参考）	平成 25 年調査	4,332 件	1,725 件	39.8%
	平成 20 年調査	3,906 件	1,726 件	44.2%

2 主な調査項目

- (1) 健康診査を受けられたお子さまと母親の状況について
- (2) 産前・産後のことについて
- (3) 子育てについて
- (4) 子どもの事故予防について
- (5) 飲酒や喫煙について
- (6) 食生活やお口の健康について
- (7) 母子保健に関連するサービス等の利用状況について

3 主な調査結果（案）

※ 以下のページ番号は、全て参考資料 1 の京都市母子保健に関する意識調査のページ番号を指します。

(1) 健康診査を受けられたお子さまと母親の状況について

ア 回答者の現在の年齢（P2 問 1）

- ・ 「30～34 歳」が 34.3%と最も高く、次いで「35～39 歳」が 30.8%、「25～29 歳」が 14.0%となっています。

イ 回答者の現在の居住区（P3 問 2）

- ・ 「13. 伏見区（深草・醍醐地区を除く）」が 12.9%と最も高く、次いで「9. 右京区（京北地域を除く）」が 11.1%、「4. 中京区」が 10.3%となっています。

ウ 今回の健康診査を受けた子どもは兄弟姉妹の何人中何番目か（P4 問 3）

- ・ 「1 人中 1 番目」が 45.1%と最も高く、次いで「2 人中 2 番目」が 31.7%、「3 人中 3 番目」が 9.7%となっています。

エ 回答者の就労の有無（P5 問 4(1)）

- ・ 「3. 働いていない」が 41.7%と最も高く、次いで「2. 育児休業中である」が 29.1%となっています。

過去調査と比較すると、「2. 育児休業中である」が平成 25 年より 5.8 ポイント、平成 20 年より 15.4 ポイント高く、「3. 働いていない」が平成 25 年より 10.9 ポイント、平成 20 年より 22.5 ポイント低くなっています。

- ・ 回答者の年齢別にみると、30 歳以上については、年齢が上がるほど、「1. 働いている」の割合が高くなる傾向がみられます。

オ 回答者の就労形態（現在就労しているか、育児休業中の方のみ）（P6問 4(2)）

- ・ 「1. 正社員・正職員」が 57.4%と最も高く、次いで「2. 契約・パート・アルバイト」が 33.6%、「4. 自営業主」が 2.6%となっています。
- ・ 回答者の世帯の昨年 1 年間の可処分所得別『0～100 万円』『101 万～200 万円』では「契約・パート・アルバイト」、それ以外の区分では『正社員・正職員』の割合が最も高くなっています。

カ 回答者の世帯の昨年 1 年間（平成 29 年 1 月 1 日～12 月 31 日）の可処分所得（実収入から税金や社会保険料等を引いたいわゆる手取り収入）のおおよその金額（P7問 5）

- ・ 「5. 401 万～500 万円」が 19.1%と最も高く、次いで「4. 301 万～400 万円」が 18.1%、「6. 501 万～600 万円」が 14.0%となっています。

キ 日々の生活において、子育てにかけける時間は優先するべきだと考えるか（P7問 6(1)）

- ・ 「2. できるなら優先すべき」が 61.0%と最も高く、次いで「1. 最も優先すべき」が 34.7%となっています。

ク 日々の生活において、子育てにかけけるお金は優先するべきだと考えるか（P7問 6(2)）

- ・ 「2. できるなら優先すべき」が 70.2%と最も高く、次いで「1. 最も優先すべき」が 20.3%、「3. 他に優先すべきことがある」が 4.3%となっています。

ケ 回答者の気持ちやからだの調子（P8～9問 7）

- ・ 「1. 心身ともに快調」が 56.9%と最も高く、次いで「3. 精神的にはよいが、からだの不調」が 13.9%、「5. なんともいえない」が 12.1%となっています。
平成 25 年と比較すると、「1. 心身ともに快調」が 7.6 ポイント低くなっています。
- ・ 家族や公的なサポートの満足度別にみると、すべての区分で「1. 心身ともに快調」の割合が最も高くなっていますが、『やや不満』『不満』では 2～3 割になっており、満足度が下がるほど割合が低くなる傾向がみられます。
- ・ 妊娠中・出産後 1 か月間の落ち込みやイライラ感の頻度別にみると、①妊娠中、②出産後約 1 か月間ともに、すべての区分で「1. 心身ともに快調」の割合が最も高くなっていますが、『よくあった』では他の区分よりも低く、3 割にとどまっています。

（2）産前・産後のことについて

ア 不妊について悩んだことの有無（P10～11問 8(1)）

- ・ 「1. ある」が 35.4%、「2. ない」が 61.0%となっています。
平成 25 年と比較すると、「2. ない」が 9.0 ポイント低く、「1. ある」が 5.5 ポイント高くなっています。
- ・ 回答者の年齢別にみると、40 歳以上では「1. ある」の割合が半数を超えており、年代が上がるほど割合が高くなる傾向がみられます。
- ・ 回答者の世帯の昨年 1 年間の可処分所得別にみると、『1,001 万円以上』で「1. ある」の割合が半数を超えています。

イ 不妊についての悩みは誰かに、またはどこかに相談したか（不妊について悩んだことがある方のみ）（P12～13問 8(2)）

- ・ 「1. 夫（パートナー）」が 84.5%と最も高く、次いで「5. 病院・医院・

助産院（助産師）」が 56.2%、「4. 友人・知人」が 44.0%となっています。

平成 25 年と比較すると、「2. 父母」が 9.2 ポイント低く、「5. 病院・医院・助産院（助産師）」が 8.1 ポイント高くなっています。

- ・ 回答者の年齢別にみると、『20～24 歳』『45 歳以上』では「夫（パートナー）」と「病院・医院・助産院（助産師）」が同率で最も高く、それ以外の区分では「夫（パートナー）」の割合が最も高くなっています。

ウ 子どもを妊娠中に、妊娠・出産・育児について心配なことや不安なことがあったか（P14 問 9(1)）

- ・ 「2. 時々あった」が 48.9%と最も高く、次いで「1. よくあった」が 22.2%となっています。

過去調査と比較すると、「2. 時々あった」が平成 25 年より 13.2 ポイント、平成 20 年より 9.2 ポイント低くなっています。

- ・ 回答者の現在の心身の調子別にみると、『心身ともに不調』では、（心配や不安なことが）「1. よくあった」の割合が最も高く、5 割となっています。

エ 妊娠中の悩みや不安について、誰かに、またはどこかに相談したか（子どもを妊娠中に、妊娠・出産・育児について心配なことや不安なことが「よくあった」「時々あった」方のみ）（P15～16 問 9(2)）

- ・ 「1. 夫（パートナー）」が 81.9%と最も高く、次いで「2. 父母」が 65.1%、「4. 友人・知人」が 54.2%となっています。

平成 25 年と比較すると、「5. 病院・医院・助産院（助産師）」（平成 25 年は「5. 病院・医院・助産院」）が 12.5 ポイント高くなっています。

- ・ 夫（パートナー）の育児状況別にみると、育児を『よくしている』『時々している』では「1. 夫（パートナー）」、（育児を）『していない』では「4. 友人・知人」の割合が最も高くなっています。また、育児の頻度が低くなるほど、「1. 夫（パートナー）」の割合が低くなる傾向がみられます。

オ 子どもを妊娠中や出産後約 1 か月間に、精神的に落ち込むことやイライラを感じるがあったか（P17～19 問 10）

- ・ ①妊娠中、②出産後約 1 か月間ともに「2. 時々あった」がそれぞれ 35.9%、35.0%と最も高く、次いで「3. ほとんどなかった」がそれぞれ 28.2%、23.0%となっています。

- ・ 家族や公的なサポートの満足度別にみると、①妊娠中の家族や公的なサポートが『満足』では、（イライラ感が）「3. ほとんどなかった」、『やや満足』『やや不満』では（イライラ感が）「2. 時々あった」の割合が最も高くなっています。

②出産後約 1 か月間の家族や公的なサポートが『満足』『やや満足』では（イライラ感が）「2. 時々あった」、『やや不満』『不満』では（イライラ感が）「1. よくあった」の割合が最も高くなっています。また、満足度が下がるほど『あった「1. よくあった」と「2. 時々あった」の合計』の割合が高くなる傾向がみられます。

- ・ ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間別にみると、①妊娠中の子どもと過ごせる時間が『よくある』では、（イライラ感が）「3. ほとんどなかった」、『時々ある』『ほとんどない』では（イライラ感が）「2. 時々あった」の割合が最も高くなっています。

②出産後約 1 か月間の子どもと過ごせる時間が『ほとんどない』では（イ

ライラ感が)「1. よくあった」の割合が最も高くなっています。また、子どもと過ごせる時間が少なくなるほど(イライラ感が)「よくあった」の割合が高くなる傾向がみられます。

- ・ 子育てしにくいと感じるか別にみると、①妊娠中、②出産後約1か月間ともに、子育てしにくいと感じることが『よくある』では、(イライラ感が)「1. よくあった」の割合が最も高く、子育てしにくいと感じる頻度が高くなるほど、割合も高くなる傾向がみられます。
- ・ 夫(パートナー)の育児状況別にみると、①妊娠中、②出産後約1か月間ともに、夫(パートナー)が育児をしていないほど、『あった(「1. よくあった」と「2. 時々あった」の合計)』の割合が高くなる傾向がみられます。

カ 妊娠や出産・子育てに関して、妊娠中に知っておくと役に立つと思うこと (P20～21問 11)

- ・ 「1. 出産までの流れ」が44.6%と最も高く、次いで「4. 新生児のお世話の仕方」が35.1%、「8. 夫(パートナー)が育児の仕方や役割を学んでおくこと」と「9. 出産や子育てに関する区役所やお金の手続き」がともに29.5%となっています。
- ・ 回答者の心身の調子別にみると、『からだの調子はよいが、精神的に不調』では「8. 夫(パートナー)が育児の仕方や役割を学んでおくこと」、『心身ともに不調』では「4. 新生児のお世話の仕方」の割合が最も高くなっています。

(3) 子育てについて

ア これまでの育児期間における家族や公的なサポートに対する満足度 (P22問 12(1))

- ・ 「2. やや満足」が45.6%と最も高く、次いで「1. 満足」が33.2%、「3. やや不満」が14.5%となっています。

イ これまでの育児期間における家族や公的なサポートに対して「やや不満」「不満」の理由 (P22～24問 12(2))

- ・ 「5. 京都市の子育て支援サービスに不満があった」が32.1%と最も高く、次いで「3. 家族が協力的ではなかった」が26.2%、「6. 京都市の子育て支援サービスの内容や利用方法がわからなかった」が24.5%となっています。
- ・ 健診を受けた子ども別にみると、『第一子』では「6. 京都市の子育て支援サービスの内容や利用方法がわからなかった」、『それ以外』では「5. 京都市の子育て支援サービスに不満があった」の割合が最も高くなっています。
- ・ 回答者の定住意向別にみると、京都市で子育てしたいと『思う』では「3. 家族が協力的ではなかった」，それ以外の区分では「5. 京都市の子育て支援サービスに不満があった」の割合が最も高くなっています。また、定住意向が下がるほど「5. 京都市の子育て支援サービスに不満があった」の割合が高くなる傾向がみられます。

ウ これまでの育児期間の中で、特に悩みや不安が大きかった時期 (P25問 13(1))

- ・ 「1. 1か月未満」が42.7%と最も高く、次いで「2. 1か月～5か月未満」が42.6%、「3. 5か月～1歳未満」が22.8%となっています。
- ・ 健診を受けた子ども別にみると、『第一子』では「1. 1か月未満」，『そ

れ以外』では「2. 1か月～5か月未満」の割合が最も高くなっています。
エ それぞれの時期の悩みや不安（特に悩みや不安が大きかった時期があった者のみ）（P26問 13(2)）

- ・ [1か月未満]では「9. 授乳のこと」が61.0%，[1か月～5か月未満]では「8. 寝つきが悪い，寝かしつけのこと」が31.3%，[5か月～1歳未満]では「10. 離乳食や子どもの食事のこと」が45.2%，[1歳～2歳未満][2歳～3歳3か月]では「7. 子どもの行動」がそれぞれ29.8%，44.4%と最も高くなっています。

オ 育児の悩みや不安について，誰にまたはどこに相談したことが役に立ったか（P27～28問 13(3)）

- ・ 「2. 父母」が65.2%と最も高く，次いで「1. 夫（パートナー）」が60.5%，「4. 友人・知人」が57.9%となっています。
平成25年と比較すると，「4. 友人・知人」（平成25年では「3. 友人・知人・近所の人」）が21.6ポイント，「5. 病院・医院・助産院（助産師）」（平成25年では「5. 病院・医院・助産院」）が6.1ポイント高くなっています。
- ・ 回答者の年齢別にみると，『35～39歳』では「夫（パートナー）」，『45歳以上』では「友人・知人」，それ以外の区分では「父母」の割合が最も高くなっています。

カ ゆったりとした気分でお子さまと過ごせる時間があるか（P29～30問 14）

- ・ 「1. よくある」が55.2%と最も高く，次いで「2. 時々ある」が37.5%となっています。
- ・ 現在の心身の調子別にみると，『心身ともに快調』『精神的にはよいが，からだが不調』では，（子どもと過ごせる時間が）「1. よくある」，それ以外の区分では（過ごせる時間が）「2. 時々ある」の割合が最も高くなっています。また，『心身ともに不調』では，（過ごせる時間が）「3. ほとんどない」の割合が，他の区分に比べて高くなっています。
- ・ 夫（パートナー）の育児状況別にみると，夫（パートナー）が育児をしているほど，「1. よくある」の割合が高くなる傾向がみられます。

キ 子どもを育てにくいと感じることの有無（P30～32問 15）

- ・ 「3. ほとんどない」が68.0%と最も高く，次いで「2. 時々ある」が26.8%となっています。
平成20年と比較すると，「3. ほとんどない」が5.0ポイント低くなっています。
- ・ ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間別にみると，子どもと過ごせる時間が『よくある』『時々ある』では，（子育てしにくいと感じることが）「3. ほとんどない」の割合が最も高くなっています。
- ・ 夫（パートナー）の育児状況別にみると，夫（パートナー）が育児をしていないほど，『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。
- ・ 子どもの食物アレルギーの有無別にみると，すべての区分で，（子育てしにくいと感じることが）「3. ほとんどない」の割合が最も高くなっています。

ク 夫（パートナー）は育児をするか（夫（パートナー）がいる方のみ）（P32～34問 16）

- ・ 「1. よくしている」が48.0%と最も高く，次いで「2. 時々している」

が42.8%, 「3. ほとんどしていない」が7.8%となっています。

平成25年と比較すると, 「1. よくしている」が8.1ポイント低くなっています。

- ・ 回答者の年齢別にみると, 『20～24歳』『45歳以上』を除くすべての区分で, 「1. よくしている」の割合が最も高くなっています。また, 『30～34歳』を境に, 年代が上がるほど『している(「1. よくしている」と「2. 時々している」の合計)』の割合が低くなる傾向がみられます。
- ・ 回答者の就労形態別にみると, 『自営業主』『家族従業者』『その他』では「2. 時々している」, それ以外の区分では「1. よくしている」の割合が最も高くなっています。また, 『自営業主』『家族従業者』では「3. ほとんどしていない」の割合が, 他の区分に比べてやや高くなっています。

ケ 普段, 夫(パートナー)がしている育児(夫(パートナー)が育児を「よくしている」「時々している」方のみ) (P35問17)

- ・ 「1. 子どもと遊ぶ」が88.0%と最も高く, 次いで「2. 子どものお風呂」が79.0%, 「3. おむつ交換」が69.3%となっています。

コ 夫(パートナー)にしてもらいたい育児(設問「夫(パートナー)は育児をするか」に回答した方のみ) (P35～36問18)

- ・ 「1. 子どもと遊ぶ」が55.2%と最も高く, 次いで「7. 母親が外出時の子どもの世話」が51.9%, 「2. 子どものお風呂」が47.3%となっています。
- ・ 夫(パートナー)がしている育児別にみると, すべての区分で「子どもと遊ぶ」の割合が最も高く, 次いで『保育園等への送迎』『その他』以外の区分では「母親が外出時の子どもの世話」の割合が高くなっています。

サ 夫(パートナー)は精神的な支えになっているか(夫(パートナー)がいる方のみ) (P37～39問19)

- ・ 「1. なっている」が61.0%と最も高く, 次いで「2. 時々なっている」が31.6%となっています。

平成20年と比較すると, 「1. なっている」が5.0ポイント高くなっています。

- ・ 現在の心身の調子別にみると, 『からだの調子はよいが, 精神的に不調』では, (精神的な支えに)「2. 時々なっている」の割合が最も高くなっています。それ以外の区分では(精神的な支えに)「1. なっている」の割合が最も高く, 特に『心身ともに快調』『精神的にはよいが, からだが不調』では6～7割となっています。
- ・ 精神的な落ち込みやイライラ感の頻度ごとにみると, ①妊娠中, ②出産後約1か月間ともに, 精神的な支えに『なっている』ほど, 精神的な落ち込みやイライラ感が『なかった』の割合が高くなる傾向がみられます。
- ・ ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間ごとにみると, 精神的な支えに『なっている』ほど, ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間が『ある』の割合が高くなる傾向がみられます。
- ・ 夫(パートナー)の育児状況別にみると, 夫(パートナー)が育児をしているほど, 『なっている(「1. なっている」と「2. 時々なっている」の合計)』の割合が高くなる傾向がみられます。

シ 生活で最も重要だと考えていること(価値観) (P39～42問20)

- ・ 「4. 家族と過ごす時間」が40.7%と最も高く, 次いで「7. 自分や家族の健康」が28.4%, 「2. 経済的な豊かさ」が10.9%となっています。

- ・ 回答者の世帯の昨年1年間の可処分所得別にみると、『0～100万円』では「自分や家族の健康」の割合が最も高くなっています。また、『101万～200万円』では「経済的な豊かさ」の割合が、他の区分と比べてやや高くなっています。
- ・ ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間別にみると、子どもと過ごせる時間が『ほとんどない』では「7. 自分や家族の健康」、それ以外の区分では「4. 家族と過ごす時間」の割合が最も高くなっています。また、子どもと過ごせる時間が『ほとんどない』では「2. 経済的な豊かさ」の割合が、他の区分と比べてやや高くなっています。
- ・ 子育てしにくいと感じるか別にみると、子育てしにくいと感じることが『時々ある』では「7. 自分や家族の健康」、それ以外の区分では「4. 家族と過ごす時間」の割合が最も高くなっています。また、子育てしにくいと感じることが『よくある』では「2. 経済的な豊かさ」の割合が、他の区分と比べてやや高くなっています。

(4) 子どもの事故予防について

ア 今までに子どもが家庭内での事故にあったことがあるか (P43問 21(1))

「1. ある」が40.9%、「2. ない」が56.1%となっています。

イ 事故の内容及び事故にあった年齢(子どもが家庭内での事故にあったことがある方のみ) (P44問 21(2))

- ・ 「1. 転落」が67.0%と最も高く、次いで「6. 挟(はさ)む」が18.8%、「2. 衝突」が15.5%となっています。
- ・ 事故にあった年齢では、[1. 転落]、[4. 誤飲]では「5か月～1歳未満」がそれぞれ51.1%、40.9%と最も高く、[2. 衝突][3. やけど][5. 溺(おぼ)れる][6. 挟(はさ)む][7. 切る・刺す]では「1歳～2歳未満」がそれぞれ41.7%、39.1%、61.9%、54.9%、46.4%と最も高くなっています。

ウ 事故が起こった場所や原因と思われるもの(子どもが家庭内での事故にあったことがある方のみ) (P45問 21(3))

- ・ 「転落」については、「3. 大人用ベッド」が26.7%と最も高く、次いで「1. ソファ」が24.1%、「4. いす」が15.5%となっています。

エ 京(みやこ)あんしんこども館(京都市子ども保健医療相談・事故防止センター)を知っているか、利用したことがあるか。利用したことがある場合は、その時期 (P46～47問 22(1))

- ・ 「3. 知らない」が56.8%と最も高く、次いで「2. 知っているが利用したことがない」が33.5%となっています。
利用した時期では、「2. 出産後」が39.6%と最も高く、次いで「1. 妊娠中」が36.3%となっています。
- ・ 回答者の居住区別にみると、『上京区』『中京区』では「2. 知っているが利用したことがない」、それ以外の区分では「3. 知らない」の割合が最も高くなっています。
- ・ 子どもの家庭内での事故の有無別にみると、すべての区分で「3. 知らない」の割合が最も高く、次いで「2. 知っているが利用したことがない」となっています。

オ 京(みやこ)あんしんこども館を利用してから事故予防に関する意識が変わったか(京(みやこ)あんしんこども館を利用したことがある方のみ) (P48

問 22(2))

- ・ 「2. 意識が高まった」が47.3%と最も高く、次いで「1. 事故予防に取り組んだ」が37.4%となっています。

カ 取り組んだ事故予防の内容（京（みやこ）あんしんこども館を利用してから事故予防に取り組んだ方のみ）（P48問 22(3)）

- ・ 「1. 安全グッズを取り付けた」が64.7%と最も高く、次いで「10. 子どもが歯ブラシ・はしなどを口に入れたまま歩かないよう注意した」が55.9%となっています。

キ 子どもが寝返りできるまでは、どのように寝かせていたか。寝返りがまだの場合にはどのように寝かせているか。（P49問 23）

- ・ 「1. あお向け」が85.1%と最も高く、次いで「4. 特に決めていない」が8.2%、「3. 横向き」が3.0%となっています。

平成25年と比較すると、「2. うつ伏せ」が0.5ポイント低くなっています。

（5）飲酒や喫煙について

ア 飲酒状況（P50～52問 24）

- ・ ①妊娠前では「2. 時々飲む」が54.0%と最も高く、次いで「3. 飲んでいない」が35.3%となっています。②妊娠中、③出産後（現在）では、「3. 飲んでいない」がそれぞれ98.0%、75.7%と最も高く、次いで「2. 時々飲む」がそれぞれ1.4%、20.7%となっています。
- ・ 喫煙状況別にみると、①妊娠前③出産後の「毎日吸う」「時々吸う」では、「毎日飲む」「時々飲む」の割合が半数を超えています。②妊娠中は『飲む』の割合が低くなっているものの、「時々吸う」で『飲む』の割合が他の区分に比べてやや高くなっています。
- ・ 妊娠中の落ち込みやイライラ感の頻度別にみると、妊娠中の落ち込みやイライラ感があつたほど、妊娠中の『飲む（「1. 毎日飲む」と「2. 時々飲む」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。
- ・ 出産後の落ち込みやイライラ感の頻度別にみると、出産後の落ち込みやイライラ感があつたほど、出産後の『飲む（「1. 毎日飲む」と「2. 時々飲む」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。

イ 喫煙状況（P53～54問 25）

- ・ ①妊娠前、②妊娠中、③出産後（現在）ともに「3. 吸っていない」が最も高く、それぞれ90.2%、97.6%、96.2%となっています。
平成20年と比較すると、「3. 吸っていない」は①妊娠前では13.3ポイント、②妊娠中は8.1ポイント、③出産後（現在）では9.4ポイント高くなっています。また、①妊娠前では、「1. 毎日吸う」が8.2ポイント低くあり、妊娠前の喫煙者が少なくなっていることが分かりますが、「1. 毎日吸う」と「2. 時々吸う」を合わせた割合は妊娠中に一旦低下し、出産後に高くなっています。
- ・ 毎日吸う方の1日に吸う本数については、①妊娠前と②妊娠中では「10～14本」がそれぞれ39.2%、33.3%と最も高く、③出産後（現在）では「20本以上」が38.9%と最も高くなっています。

ウ 同居者の喫煙状況（同居の方がいる方のみ）（P55～57問 26）

- ・ ①夫（パートナー）では、「3. 吸っていない」が68.7%と最も高く、次いで「1. 毎日吸う」が24.0%となっています。過去調査と比較すると、①

夫（パートナー）では平成 20 年よりも「1. 毎日吸う」が 7.2 ポイント低く、「3. 吸っていない」が 12.8 ポイント高くなっています。

②他の同居者では、「3. 吸っていない」が 54.9%と最も高く、次いで「1. 毎日吸う」が 2.3%となっています。過去調査と比較すると、「3. 吸っていない」が平成 25 年よりも 11.2 ポイント、平成 20 年よりも 10.9 ポイント高くなっています。

毎日吸う方の 1 日に吸う本数については、①夫（パートナー）、②他の同居者ともに「10～14 本」がそれぞれ 32.0%、30.0%と最も高くなっています。

- ・ 夫（パートナー）の育児状況別にみると、夫（パートナー）が育児をしているほど、「3. 吸っていない」の割合が高くなる傾向がみられます。
- ・ 同居人の喫煙状況別にみると、①夫（パートナー）の『毎日吸う』では、①妊娠前、②妊娠中、③出産後（現在）の喫煙で「1. 毎日吸う」の割合が、他の区分に比べて高く、②他の同居者においても同様の傾向がみられます。

エ 喫煙場所（出産後にたばこを「毎日吸う」「時々吸う」方、同居者が「毎日吸う」「時々吸う」方）（P58 問 27）

- ・ ①本人では、「3. 換気扇のある場所」が 44.2%と最も高く、次いで「4. ベランダなど屋外」が 25.6%となっています。②夫（パートナー）では、「4. ベランダなど屋外」が 32.4%と最も高く、次いで「3. 換気扇のある場所」が 21.6%となっています。③他の同居者では、「3. 換気扇のある場所」が 26.5%と最も高く、次いで「2. 児（母子）と別室」と「4. ベランダなど屋外」がそれぞれ 23.5%となっています。

平成 25 年と比較すると、②夫（パートナー）では「4. ベランダなど屋外」が 27.7 ポイント、「3. 換気扇のある場所」が 7.2 ポイント低く、③他の同居者では「1. 児（母子）と同室」が 14.0 ポイント、「4. ベランダなど屋外」が 8.1 ポイント低くなっています。

オ 子どもを同伴して飲食店や宿泊施設などを利用する際、気を付けていること（P59 問 28）

- ・ 「3. 確認はしないが、禁煙席（室）が設けられている場合は禁煙席（室）を利用するようにしている」が 50.4%と最も高く、次いで「2. 禁煙席（室）が設けられている施設であることを確認してから利用するようにしている」が 22.1%、「1. 屋内禁煙の施設であることを確認してから利用するようにしている」が 17.4%となっています。

カ 周囲の人がたばこを吸う時に気を付けてほしいこと（P60 問 29）

- ・ 「4. 子どもや妊産婦、病気の人がそばにいる場所では吸わない」が 85.8%と最も高く、次いで「2. 喫煙場所以外では吸わない」が 82.4%、「3. 混雑している場所では吸わない」が 70.4%となっています。

（6）食生活やお口の健康について

ア 自身や家族の食生活で実践していること（P61～64 問 30）

- ・ 「5. 「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつをする」が 76.4%と最も高く、次いで「1. 1 日 3 食必ず食べる」が 76.0%、「8. 栄養のバランスを考える」が 61.9%となっています。
- ・ 回答者の年齢別にみると、34 歳以下では「「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつをする」、35 歳以上では「1 日 3 食必ず食べる」の割合が最も高くなっています。また、20 歳以上では「食前に手洗いをする」「栄養

のバランスを考える」で、年代が上がるほど割合が高くなる傾向がみられます。

- ・ 健診を受けた子ども別にみると、『第一子』では「5. 「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつをする」, 『それ以外』では「1. 1日3食必ず食べる」の割合が最も高くなっています。また, 「13. 特になし」を除くすべての項目で, 『それ以外』が『第一子』の割合を上回っています。
- ・ 食事作りが楽しくできるか別にみると, 食事作りを『楽しくできる』『楽しくできない』では「5. 「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつをする」, 『まあまあ楽しくできる』『あまり楽しくできない』では「1. 1日3食必ず食べる」の割合が最も高くなっています。

イ 家族の食事作りで、工夫したり、これからしようと思うこと (P65～67)問 31)

- ・ 「3. 栄養のバランスを考える」が 63.0%と最も高く, 次いで「1. できるだけ手作りにする」が 56.7%, 「2. いろいろな食材を利用する」が 49.8%となっています。

平成20年と比較すると「4. 食品の品質・安全性を確かめる」が 16.9 ポイント低く, 「2. いろいろな食材を利用する」が 12.8 ポイント高くなっています。

- ・ 回答者の年齢別にみると, 『19歳以下』では「できるだけ手作りにする」と「いろいろな食材を利用する」の割合が同率で最も高く, 『20～24歳』『25～29歳』では「できるだけ手作りにする」の割合が最も高くなっています。30歳以上では「栄養のバランスを考える」の割合が最も高く, 年代が上がるほど割合が高くなる傾向がみられます。
- ・ 食事作りが楽しくできるか別にみると, すべての区分で「3. 栄養のバランスを考える」の割合が最も高くなっています。また, 食事作りが楽しくできる度合いが下がるほど, 「9. 調理時間を短縮するため惣菜やインスタント食品を利用する」の割合が高くなる傾向がみられます。食事作りが楽しくできる度合いが上がるほど, 「1. できるだけ手作りにする」と「2. いろいろな食材を利用する」の割合が高くなる傾向が見られます。

ウ 食事作りが楽しくできるか (P68～69)問 32(1))

- ・ 「2. まあまあ楽しくできる」が 54.6%と最も高く, 次いで「3. あまり楽しくできない」が 23.0%, 「1. 楽しくできる」が 18.2%となっています。
- ・ 夫(パートナー)の育児状況別にみると, 夫(パートナー)が育児をしているほど, 『楽しくできる(「1. 楽しくできる」と「2. まあまあ楽しくできる」の合計)』の割合が高くなる傾向がみられます。
- ・ 子どもの食物アレルギーの有無別にみると, すべての区分で「2. まあまあ楽しくできる」の割合が最も高くなっています。

エ 食事作りが楽しくできない理由(食事作りが「あまり楽しくできない」「楽しくできない」方のみ) (P69～70)問 32(2))

- ・ 「6. 面倒だ」が 58.6%と最も高く, 次いで「4. 時間がない」が 52.9%, 「1. 上手に作れない」が 36.0%となっています。

過去調査と比較すると, 「1. 上手に作れない」が平成25年より 10.8 ポイント, 平成20年より 14.2 ポイント低く, 「6. 面倒だ」が平成20年より 26.8 ポイント高くなっています。

- ・ ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間別にみると, 子どもと過ごせる時間が『よくある』『時々ある』では, 「6. 面倒だ」の割合が最も高くな

っています。（過ごせる時間が）『ほとんどない』では「4. 時間がない」の割合が最も高く、子どもと過ごせる時間が多くなるほど、割合が低くなる傾向がみられます。

オ 子どもに食物アレルギーがあると言われたことがあるか。ある場合、医師による診断の有無 (P71問 33)

- ・ 「1. ある」が15.8%、「2. ない」が82.2%となっています。
アレルギーがある方の医師による診断では「1. 受けた」が71.9%、「2. 受けていない」が22.4%となっています。

カ 妊娠中から現在までの、歯科健診・歯科治療の有無 (P71～73問 34)

- ・ 「1. 妊娠中に受けた」が54.3%と最も高く、次いで「2. 育児中に受けた（受けている）」が42.7%、「5. 受けていない」が20.1%となっています。
平成25年と比較すると、「5. 受けていない」が6.2ポイント低くなっています。
- ・ 回答者の年齢別にみると、『20～24歳』では「受けていない」、25歳以上では「妊娠中に受けた」の割合が最も高くなっています。
- ・ 歯と口で気になること別にみると、すべての区分で「妊娠中に受けた」の割合が最も高く、『歯ぎしり』では「育児中に受けた（受けている）」も高くなっています。
- ・ 回答者の就労形態別にみると、『自営業主』では「育児中に受けた（受けている）」、『その他』では「受けていない」、それ以外の区分では「妊娠中に受けた」の割合が最も高くなっています。

キ 歯と口で気になることの有無 (P74～77問 35)

- ・ 「1. むし歯」が47.2%と最も高く、次いで「2. 歯周病」が29.3%、「10. 歯の手入れ」が22.8%となっています。
- ・ 現在の心身の調子別にみると、すべての区分で「1. むし歯」の割合が最も高くなっています。また、『心身ともに不調』では「1. むし歯」「3. 歯並び・かみ合わせ」「6. 口臭」「9. 顎関節（耳の前の関節の音や痛み）」「11. 妊娠中や授乳中の歯科治療」の割合が、他の区分に比べ最も高くなっています。
- ・ 回答者の年齢別にみると、『19歳以下』では「特になし」、『45歳以上』では「歯周病」、それ以外の区分では「むし歯」の割合が最も高くなっています。
- ・ 成人・妊婦歯科相談の認知度別にみると、すべての区分で「1. むし歯」の割合が最も高くなっています。また、（成人・妊婦歯科相談を）『知っている』では、「1. むし歯」「2. 歯周病」「6. 口臭」「10. 歯の手入れ」の割合が、（成人・妊婦歯科相談を）『知らない』よりも9.0ポイント以上高くなっています。

ク 子どもの歯と口で知りたいことや心配なことの有無 (P78問 36)

- ・ 「2. 歯並び・かみ合わせ」が47.0%と最も高く、次いで「3. むし歯」が37.4%、「7. 歯みがき」が31.1%となっています。
平成25年と比較すると、「3. むし歯」が6.0ポイント低くなっています。

ケ 乳幼児むし歯予防対策（フッ化物歯面塗布）に対する思い (P79問 37)

- ・ 「2. むし歯予防に役立っている」が38.7%と最も高く、次いで「3. どんどん活用していきたい」が31.4%、「5. わからない」が28.9%となっ

ています。

平成 25 年と比較すると、「5. わからない」が 25.5 ポイント高く、「2. むし歯予防に役立っている」が 12.5 ポイント、「1. 安全だと思う」が 9.4 ポイント低くなっています。

- ・ 健診を受けた子ども別にみると、『第一子』では「3. どんどん活用していきたい」, 『それ以外』では「2. むし歯予防に役立っている」の割合が最も高くなっています。

(7) 母子保健に関連するサービス等の利用状況について

ア 本市の各サービスの認知及び利用状況, サービスを利用したことがある人の満足度, 利用したことがない理由 (P80~82 問 38)

- ・ 認知及び利用状況について, [①妊婦健康診査受診券] [②こんにちはプレママ事業 (妊婦訪問)] [⑤医療機関でのプレママ・パパ教室 (両親教室等)] [⑥産婦健康診査受診券] [⑦こんにちは赤ちゃん事業 (新生児等訪問指導事業)] [⑪児童館・保育園・つどいの広場等の子育て講座・交流会等] では「Ⅱ 利用したことがある」が最も高く, それ以外のサービスでは「Ⅲ 知っているが利用したことがない」が最も高くなっています。
- ・ 満足度について, [③成人・妊婦歯科相談] [⑧乳幼児歯科相談] では「3. 普通」が最も高くなっています。それ以外の項目では「2. 満足」が最も高く, 特に [⑥産婦健康診査受診券] が 71.1%, 次いで [①妊婦健康診査受診券] が 64.5% となっています。
- ・ サービスを知っているが利用したことがない理由について, 「9. その他」を除き, [②こんにちはプレママ事業 (妊婦訪問)] [⑦こんにちは赤ちゃん事業 (新生児等訪問指導事業)] では「5. 必要性や魅力を感じない」, [③成人・妊婦歯科相談] [④子どもはぐくみ室でのプレママ・パパ教室 (両親教室)] [⑤医療機関でのプレママ・パパ教室 (両親教室等)] [⑧乳幼児歯科相談] [⑨ふれあいファミリー食セミナー「離乳食講習会」] [⑪児童館・保育園・つどいの広場等の子育て講座・交流会等] では「6. 利用時間が合わない」, [①妊婦健康診査受診券] [⑥産婦健康診査受診券] では「8. 利用方法がわからない」が最も高くなっています。

イ 今後も京都市で出産や子育てをしたいと思うか (P83~87 問 39)

- ・ 「1. 思う」が 50.9% と最も高く, 次いで「2. やや思う」が 35.6%, 「3. あまり思わない」が 8.4% となっています。
- ・ 回答者の年齢別にみると, 『20~24 歳』では【思う (「1. 思う」と「2. やや思う」の合計)】の割合が, 『30~34 歳』では【思わない (「3. あまり思わない」と「4. 思わない」の合計)】の割合が, 他の区分に比べ最も高くなっています。
- ・ 回答者の居住区別にみると, 【思う (「1. 思う」と「2. やや思う」の合計)】の割合は, 『下京区』『上京区』『左京区』において, 【思わない (「3. あまり思わない」と「4. 思わない」の合計)】の割合は, 『西京区 (洛西地区を除く)』『東山区』『伏見区 (醍醐地区)』において, 他の区分に比べ高くなっています。
- ・ 回答者の可処分所得別にみると, 【思う (「1. 思う」と「2. やや思う」の合計)】の割合は, 『801 万~1,000 万円』『1,001 万円以上』『101 万~200 万円』において, 【思わない (「3. あまり思わない」と「4. 思わない」の合計)】の割合は, 『201 万~300 万円』『301 万~400 万円』『401

万～500 万円』において、他の区分に比べ高くなっています。

- ・ 家族や公的なサポートの満足度別にみると、『満足』『やや満足』では「1. 思う」，『やや不満』『不満』では「2. やや思う」の割合が最も高くなっています。また，満足度が下がるほど，今後も京都市で出産や子育てをしたいと「3. あまり思わない」「4. 思わない」の割合が高くなる傾向がみられます。
- ・ ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間別にみると，ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間があるほど，【思う（「1. 思う」と「2. やや思う」の合計）】の割合が高くなる傾向がみられます。
- ・ 子育てしにくいと感じるか別にみると，子育てしにくいと感じるほど，【思う（「1. 思う」と「2. やや思う」の合計）】の割合が低くなる傾向がみられます。

京都市青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査について

1 調査概要

(1) 目的

青少年の意識や生活状況等について現状を把握し、今後の青少年施策の充実に向けた基礎資料とすることを目的に実施しました。

(2) 実施状況

		調査対象者（配布数）	有効回収数	有効回収率
青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査		6,500 件	1,393 件	21.4%
うち 13 歳から 18 歳までの青少年の保護者		2,500 件	638 件	25.5%
(参考)	平成 25 年調査	5,000 件	1,150 件	23.0%
	平成 21 年調査	1,800 件	427 件	23.7%
	平成 20 年調査	5,000 件	1,061 件	21.2%

※ 平成 21 年調査の対象者は 13 歳以上 30 歳以下、平成 25 年調査及び平成 20 年調査の対象者は 13 歳以上 19 歳以下。

2 主な調査項目

(1) 青少年用調査

- ア あなた自身のことについて
- イ 身近な人について
- ウ ふだんの生活について
- エ 地域活動への参加について
- オ 健康について
- カ ふだんの気持ちや悩みについて
- キ あなたの意識について
- ク スマートフォンや携帯電話の利用について
- ケ たばこについて
- コ 性に関することについて
- サ 小さな子どもとふれあう機会について
- シ ライフデザインについて
- ス 「大人になること」, 「働くこと」への考え方について
- セ 京都市のまちづくりへの興味・参加について
- ソ 子ども・若者を対象とした施設について
- タ 幼少期の状況について

(2) 保護者用調査

- ア あなたご自身について
- イ 宛名のお子さまについて
- ウ ご家庭や暮らしの状況について
- エ 青少年施策全般について

3 思春期保健に係る主な調査結果（案）

※ 以下のページ番号は、全て参考資料2の京都市青少年・若者に関する意識行動と思春期保健に関する調査のページ番号を指します。

（1）あなた自身のことについて

ア 性別（P2）青少年本人：問1）

「1. 男性」が40.7%、「2. 女性」が55.1%となっています。

イ 年齢（P2）青少年本人：問2）

「2. 16～18歳」が23.2%と最も高く、次いで「5. 27～30歳」が20.5%、「1. 13～15歳」が20.2%となっています。

ウ 居住区（P3）青少年本人：問3）

「13. 伏見区（深草・醍醐地区を除く）」が10.6%と最も高く、次いで「3. 左京区」が10.3%、「9. 右京区（京北地域除く）」が10.1%となっています。

エ 同居人（P4）青少年本人：問4）

「3. 母親」が65.7%と最も高く、次いで「2. 父親」が53.8%、「4. 兄弟姉妹」が48.9%となっています。

オ 通学先（学生の方）（P4）青少年本人：問5(1)）

「2. 高校」が39.7%と最も高く、次いで「1. 中学校」が29.0%、「4. 大学」が21.7%となっています。

カ アルバイト等の勤務状況（学生の方）（P5）青少年本人：問5(2)）

「1. している」が27.3%、「2. していない」が71.9%となっています。

キ 職業（学生以外の方）（P5）青少年本人：問6）

「1. 正社員・正職員」が52.0%と最も高く、次いで「2. 契約・パート・アルバイト」が15.2%、「7. 無職・家事専業」が10.9%となっています。

（2）身近な人について

ア 自身の家族についてどう思うか（P6）青少年本人：問7（1））

- 『思う（「1. とてもそう思う」と「2. そう思う」の合計）』は、[①家族と仲がよい]が87.1%と最も高く、次いで[④家族から十分に愛されている]が85.6%、[②互いを思い合っている]が82.9%となっています。

平成21年と比較すると、[④私は家族から十分に愛されている]について『思う』が、5.2ポイント低くなっています。

イ 親は自分のことを理解していると思うか（P7）青少年本人：問7（2））

- 父親では、『思う（「1. とてもそう思う」と「2. そう思う」の合計）』が64.2%、『思わない（「3. あまりそう思わない」と「4. まったくそう思わない」の合計）』が16.2%となっています。

母親では、『思う』が79.2%、『思わない』が11.1%となっています。

ウ ふだん付き合っている友人の数、友人のうち本音で付き合える友人がいるか（P8～9）青少年本人：問8）

- ふだん付き合っている友人の数について、[①-1 年齢が同じくらいの友人][①-2 3歳以上年齢の離れた友人][①-4 学校・職場の友人][①-5 ほとんど会ったことのないメル友やインターネット上の友人]はともに「5. 5人以上」が最も高くなっています。
- ふだん付き合っている友人のうち、本音で付き合える友人について、[②-1 年齢が同じくらいの友人][②-2 3歳以上年齢の離れた友人][②-3 近所の友人][②-4 学校・職場の友人]は「1. いる」が最も高くなっています。

エ 自身や身近な人（パートナーや家族、友人など）が LGBT 等の性的少数者だったと仮定した場合、受け入れることができるか（P9 青少年本人：問 9）

- ・ 「1. 自身のことで、身近な人のことであっても受け入れることができる」が 49.9%と最も高く、次いで「5. わからない」が 26.5%、「3. 自身のことは受け入れることができないが、身近な人のことは受け入れることができる」が 13.7%となっています。

（3）健康について

ア ふだんの起床時間と就寝時間（平日・休日別）（P34 青少年本人：問 15）

- ・ 平日の起床時間では、「4. 7 時台」が 37.3%と最も高く、次いで「3. 6 時台」が 36.1%となっており、就寝時間では、「5. 24 時台」が 34.1%と最も高く、次いで「4. 23 時台」が 27.6%となっています。
休日の起床時間では、「6. 9 時以降」が 49.0%と最も高く、次いで「5. 8 時台」が 23.6%となっており、就寝時間では、「5. 24 時台」が 31.9%と最も高く、次いで「4. 23 時台」が 20.2%となっています。

イ 生活リズム（起床時間、就寝時間など）に問題があると思うか（P35～39 青少年本人：問 16）

- ・ 「1. ある」が 37.8%、「2. ない」が 38.0%となっています。
- ・ 回答者の年齢別にみると、『13～15 歳』『16～18 歳』『27～30 歳』では「1. ない」、『19～22 歳』『23～26 歳』では「1. ある」の割合が最も高くなっています。
- ・ 平日の起床時間別にみると、『5 時以前』『8 時台』『9 時以降』では「1. ある」、それ以外の区分では「2. ない」の割合が最も高くなっています。
- ・ 休日の起床時間別にみると、『5 時以前』『9 時以降』では「1. ある」、それ以外の区分では「2. ない」の割合が最も高くなっています。
- ・ 平日の就寝時間別にみると、『23 時台』以前では「2. ない」、『24 時台』以降では「1. ある」の割合が最も高くなっています。
- ・ 休日の就寝時間別にみると、『1 時台』以降では「1. ある」の割合が最も高くなっています。
- ・ 保護者の婚姻関係別にみると、結婚している方では「2. ない」、結婚していない方では「1. ある」の割合が最も高くなっています。

ウ 自身の健康についてどのように思うか（P39～45 青少年本人：問 17）

- ・ ①からだについて、『健康（「1. とても健康」と「2. 健康」の合計）』が 68.2%、『不健康（「3. やや不健康」と「4. 不健康」の合計）』が 26.7%となっています。
②ところについて、『健康』が 65.9%、『不健康』が 25.5%となっています。

（自分のからだに対する健康観について）

- ・ 平日の就寝時間別にみると、『20 時台』『21 時台』『22 時台』では、『健康（「1. とても健康」と「2. 健康」の合計）』の割合が 8 割を超えています。
- ・ 休日の就寝時間別にみると、『21 時台』『22 時台』では、『健康（「1. とても健康」と「2. 健康」の合計）』の割合が 8 割を超えています。『23 時台』以降、就寝時間が遅くなるほど、『不健康（「3. やや不健康」と「4. 不健康」の合計）』の割合が高くなる傾向にあります。
- ・ 生活のリズム別にみると、自分の生活のリズムに問題が『ない』方が、『健

康（「1. とても健康」と「2. 健康」の合計）』の割合が高くなっています。

- ・ 1回30分以上の運動の有無別にみると、運動をしている頻度が高いほど、『健康（「1. とても健康」と「2. 健康」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。

（自分のところに対する健康観について）

- ・ 平日の就寝時間別にみると、『21時台』『22時台』『23時台』では、『健康（「1. とても健康」と「2. 健康」の合計）』の割合が7割を超えています。
- ・ 休日の就寝時間別にみると、『21時台』『22時台』『23時台』では、『健康（「1. とても健康」と「2. 健康」の合計）』の割合が7割を超えています。
- ・ 生活のリズム別にみると、自分の生活のリズムに問題が『ない』方が、『健康（「1. とても健康」と「2. 健康」の合計）』の割合が高くなっています。
- ・ 1回30分以上の運動の有無別にみると、運動をしている頻度が高いほど、『健康（「1. とても健康」と「2. 健康」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。

エ ふだん、1回30分以上の運動をしているか（P46）青少年本人：問18）

- ・ 「5. ほとんどしていない」が44.3%と最も高く、次いで「1. ほとんど毎日している」が17.2%、「3. 週に2～3回している」が15.9%となっています。
- ・ 回答者の年齢別にみると、年齢が上がるほど、「5. ほとんどしていない」の割合が高くなる傾向がみられます。

オ ふだん、朝食・夕食を1週間に何日程度食べているか（P47）青少年本人：問19(1)）

- ・ ①朝食では、「1. ほぼ毎日」が67.8%と最も高く、次いで「4. ほとんど食べない」が13.0%、「2. 週に4～5日食べる」が9.4%となっています。
- ・ ②夕食では、「1. ほぼ毎日」が91.2%と最も高く、次いで「2. 週に4～5日」が3.4%となっています。
- ・ 朝食を一緒に食べる人別にみると、『兄弟姉妹』『父親・母親』『祖父・祖母』では、「1. ほぼ毎日」の割合が8割を超えています。

カ 朝食・夕食をだれと食べることが多いか（P48）青少年本人：問19(2)）

- ・ ①朝食では、「8. 自分のみ」が49.8%と最も高く、次いで「1. 父親・母親」が32.3%、「5. きょうだい（兄弟姉妹）」が22.0%となっています。
- ・ ②夕食では、「1. 父親・母親」が58.6%と最も高く、次いで「5. きょうだい（兄弟姉妹）」が37.4%、「8. 自分のみ」が27.9%となっています。

キ 身長と体重および理想の体重（P49～51）青少年本人：問20）

- ・ 身長では、「3. 155～159.9cm」が20.8%と最も高く、次いで「4. 160～164.9cm」が18.7%、「6. 170～174.9cm」が15.0%となっています。
- ・ 体重では、「4. 50～54kg」が22.6%と最も高く、次いで「3. 45～49kg」が18.0%、「5. 55～59kg」が15.3%となっています。
- ・ 理想の体重では、「3. 45～49kg」が21.8%と最も高く、次いで「4. 50

～54kg」が18.0%，「2. 40～44kg」が12.0%となっています。

- ・ 肥満度・BMIをみると、肥満度（13～17歳）では「2. ふつう」が86.7%と最も高く、次いで「1. やせ」が4.8%，「3. 肥満」が3.4%となっています。

BMI（19歳以上）では、「2. ふつう」が70.3%と最も高く、次いで「1. やせ」が14.0%，「3. 肥満」が9.3%となっています。

理想の体重でのBMIでは、「2. ふつう」が67.2%と最も高く、次いで「1. やせ」が20.7%，「3. 肥満」が2.3%となっています。

- ・ 理想と考える体重と現在の体重の関係をみると、『40～44kg』『45～49kg』では、現在の体重と理想と考える体重が同様の区分で最も高く、現在の体重が『50～54kg』以降はそれぞれ現在の体重よりも5kg少ない区分で高くなっています。

ク ダイエット経験の有無（P52）青少年本人：問21(1)

- ・ 「3. ない」が56.5%と最も高く、次いで「2. 過去にしたことがある」が23.8%，「1. 現在している」が16.6%となっています。
- ・ 男女別にみると、すべての区分で「3. ない」が最も高くなっており、『女性』では『男性』と比べて「1. 現在している」「2. 過去にしたことがある」の割合が高くなっています。

ケ ダイエットの理由（ダイエットを「現在している」「過去にしたことがある」方のみ）（P53）青少年本人：問21(2)

- ・ 「3. 見た目が気になる」が76.0%と最も高く、次いで「2. 体重が重い」が48.9%，「1. 健康のため」が37.5%となっています。
- ・ 男女別にみると、『男性』『女性』ともに「見た目が気になる」の割合が最も高くなっており、特に『女性』では8割となっています。

コ 健康について知りたいこと（P54）青少年本人：問21(3)

- ・ 「6. 食や栄養に関すること」が39.9%と最も高く、次いで「3. 生活習慣病のこと」が26.6%，「8. こころの健康に関すること」が25.3%となっています。

（4）ふだんの気持ちや悩みについて

ア ふだん、次のような気持ちや状況になることの有無（P55～66）青少年本人：問22）

- ①自分のことが好きである，②自分はだれかの役に立っていると思う，
③自分は価値がある存在だと思う，④将来の明るい希望を話す，⑤自信を持って行動する，
⑥目標に向かって努力する，⑦気持ちをうまく抑えることができない，
⑧相手の立場や気持ちがなかなかわからない，⑨自己中心的である，
⑩学校や職場に行きたくない，⑪過去の失敗をくよくよ考える，
⑫周りの人のことを気にしたり，引け目を感じる）

- ・ 『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』は，〔⑥目標に向かって努力する〕が67.7%と最も高く，次いで〔⑫周りの人のことを気にしたり，引け目を感じる〕が63.9%，〔②自分はだれかの役に立っていると思う〕が59.9%となっています。
- ・ 自己肯定感（①自分のことが好きである）を，自分の健康観（からだ）別にみると，からだの健康観の度合いが下がるほど，『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。

自分の健康観（こころ）別にみると，こころの健康観の度合いが下がるほど，『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が低く

なる傾向がみられます。

- ・ 自己肯定感（③自分は価値がある存在だと思う）を、自分の健康観（からだ）別にみると、からだの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。

自分の健康観（こころ）別にみると、こころの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。

- ・ 自己肯定感（④将来の明るい希望を話す）を、自分の健康観（からだ）別にみると、からだの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。

自分の健康観（こころ）別にみると、こころの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。

- ・ 自己肯定感（④将来の明るい希望を話す）と、自己肯定感（①自分のことが好きである）、（②自分はだれかの役に立っていると思う）、（③自分は価値がある存在だと思う）の関係をみると、自身が好きである、だれかの役に立っている、価値のある存在だと思う自己肯定感があるほど、将来の明るい希望を話すことが『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。

- ・ 自己肯定感（⑤自信を持って行動する）を、自分の健康観（からだ）別にみると、からだの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。

自分の健康観（こころ）別にみると、こころの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。

- ・ 自己肯定感（⑤自信を持って行動する）と、自己肯定感（①自分のことが好きである）、（②自分はだれかの役に立っていると思う）、（③自分は価値がある存在だと思う）の関係をみると、自身が好きである、だれかの役に立っている、価値のある存在だと思う自己肯定感があるほど、自信を持って行動することが『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。

- ・ 自己肯定感（⑦気持ちをうまく抑えることができない）を、自分の健康観（こころ）別にみると、『やや不健康』『不健康』では、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が5割となっています。

- ・ 自己肯定感（⑩学校や職場に行きたくない）を、自分の健康観（からだ）別にみると、からだの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。

自分の健康観（こころ）別にみると、からだの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。

- ・ 自己肯定感（⑩学校や職場に行きたくない）と、自己肯定感（①自分のことが好きである）、（②自分はだれかの役に立っていると思う）、（③自分は価値がある存在だと思う）の関係をみると、自身が好きである、だれかの役に立っている、価値のある存在だと思う自己肯定感があるほど、学校や職場に行きたくないことが『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。

- ・ 自己肯定感（⑪過去の失敗をくよくよ考える）を、自分の健康観（こころ）別にみると、こころの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。
- ・ 自己肯定感（⑫周りの人のことを気にしたり、引け目を感じる）を、自分の健康観（からだ）別にみると、からだの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。

自分の健康観（こころ）別にみると、こころの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。

イ どのような悩みや心配ごとがあるか（P67～69）青少年本人：問 23)

- ・ 「4. 将来（進路を含む）のこと」が 64.0%と最も高く、次いで「11. お金のこと」が 45.9%，「1. 勉強のこと」が 34.9%となっています。
平成 21 年と比較すると、「3. 仕事や職場のこと」が 16.8 ポイント低く、「4. 将来（進路を含む）のこと」が 16.9 ポイント、「5. 家族のこと」が 5.4 ポイント、「9. 性格のこと」が 7.9 ポイント、「10. 見た目や体格のこと」が 13.8 ポイント、「11. お金のこと」が 13.3 ポイント高くなっています。
- ・ 回答者の年齢別にみると、『13～15 歳』では「勉強のこと」、『16～18 歳』『19～22 歳』では「将来（進路を含む）のこと」、『23～26 歳』『27～30 歳』では「お金のこと」の割合が最も高くなっています。
- ・ 悩みや心配ごとの相談相手別にみると、『夫または妻』では「お金のこと」、『職場の上司、先輩、同僚』では「仕事や職場のこと」、それ以外の区分では「将来（進路を含む）のこと」が最も高くなっています。

ウ 悩みや心配ごとがある時はだれに相談しているか（P70～72）青少年本人：問 24)

- ・ 「6. 友人」が 57.5%と最も高く、次いで「2. 母親」が 49.7%，「1. 父親」が 16.0%となっています。
- ・ 保護者の婚姻関係別にみると、結婚している方では「友人」、結婚していない方では「母親」の割合が最も高くなっています。
- ・ 保護者が子どもと話をする機会別にみると、すべての区分で「友人」が最も高くなっています。

（５）あなたの意識について

ア 規範意識（P73～74）青少年本人：問 25)

- ・ 『よくない（「1. 絶対いけない」と「2. 良くない」の合計）』は、[⑤万引きをする]が 96.2%と最も高く、次いで[⑪大麻などの違法薬物を使用する]が 95.6%，[④暴力をふるう]が 94.1%となっています。
平成 21 年と比較すると、[①未成年がお酒を飲む]が 11.8 ポイント高く、[⑫SNS 等に他人の悪口を書き込む]が 8.2 ポイント低くなっています。
- ・ 未成年者の喫煙に対する規範意識を、喫煙経験別にみると、『吸ったことがあるし、今も吸っている』『吸ったことはあるが、今は吸っていない』では「2. 良くない」が最も高く、『吸ったことがない』では「1. 絶対にいけない」が最も高くなっています。

(6) たばこについて

ア 喫煙経験の有無 (P78)青少年本人：問 29(1))

- ・ 「3. 吸ったことがない」が82.7%と最も高く、次いで「2. 吸ったことはあるが、今は吸っていない」が8.6%、「1. 吸ったことがあるし、今も吸っている」が5.8%となっています。

イ はじめて喫煙した年齢（現在喫煙しているか、喫煙したことがある方のみ）(P78)青少年本人：問 29(2))

- ・ 「10. 19歳」が51.2%と最も高く、次いで「9. 18歳」が12.4%、「7. 16歳」が7.5%となっています。

ウ 喫煙が健康に及ぼす影響に関する学習経験の有無 (P78～79)青少年本人：問 30)

- ・ 「1. ある」が87.6%と最も高く、次いで「3. 覚えていない」が3.8%、「2. ない」が1.7%となっています。
- ・ 受動喫煙が健康に及ぼす影響の認知度別にみると、すべての区分で「1. ある」の割合が最も高く、『知っている』では9割を超えています。

エ 受動喫煙が健康に及ぼす影響を知っているか (P79)青少年本人：問 31)

- ・ 「1. 知っている」が90.1%と最も高く、次いで「2. 知らない」が2.6%となっています。
- ・ 喫煙経験別にみると、すべての区分で「1. 知っている」の割合が9割を超えています。

(7) 性に関することについて

ア 性感染症について知っていること (P80～81)青少年本人：問 32)

- ・ 「6. コンドームの適切な使用により感染のリスクを減らすことができる」が72.1%と最も高く、次いで「2. クラミジアは性交で感染する」が48.0%、「7. ピルの使用では性感染症を予防することができない」が45.5%となっています。
- ・ 回答者の年齢別にみると、すべての区分で「コンドームの適切な使用により感染のリスクを減らすことができる」の割合が最も高くなっています。

イ エイズやH I Vについて知っていること (P82)青少年本人：問 33)

- ・ 「1. H I V（ヒト免疫不全ウイルス）は性交（性的接触）で感染する」が68.8%と最も高く、次いで「2. エイズはH I Vに感染して発症する」が46.5%、「3. H I Vは食器の共用では感染しない」が46.3%となっています。

ウ 性感染症や避妊方法に関する情報の取得経路 (P83)青少年本人：問 34)

- ・ 「4. 学校の先生」が57.3%と最も高く、次いで「10. インターネット・SNS等」が37.5%、「7. 専門家による講義・講演」が12.9%となっています。

エ 性交（性的接触）に対する考えについて (P84)青少年本人：問 35)

- ・ 「1. お互いが好きであれば性交（性的接触）するかもしれない」が51.8%と最も高く、次いで「3. その時にならないとわからない」が30.1%、「6. 何も考えていない」が14.9%となっています。
- ・ 回答者の年齢別にみると、『13～15歳』では「何も考えていない」、『16～18歳』では「その時にならないとわからない」、それ以外の区分では「お互いが好きであれば性交（性的接触）するかもしれない」の割合が最も高くなっています。

(8) 小さな子どもとふれあう機会について

ア 小さな子どもとふれあう機会の有無 (P85) 青少年本人：問 36)

- ・ 「6. ふれあう機会はない」が40.5%と最も高く、次いで「4. 親せきの小さな子どもと遊んだりする」が26.4%, 「1. 兄弟姉妹に小さな子どもがいるのでめんどろをよくみる」が16.7%となっています。
- ・ 結婚・子育て観別にみると、すべての区分で「ふれあう機会はない」の割合が最も高くなっています。

イ 育児体験をしたいと思うか (P86) 青少年本人：問 37)

- ・ 『したい(「1. したい」と「2. どちらかといえばしたい」の合計)』が53.5%, 『したくない(「3. あまりしたくない」と「4. したくない」の合計)』が24.0%となっています。
- ・ 結婚・子育て観別にみると、『結婚も子育てもしたい』『子育てはしたいが結婚はしたくない』では「1. したい」, 『結婚はしたいが子育てはしたくない』では「3. あまりしたくない」, 『結婚も子育てもしたくない』では「4. したくない」の割合が最も高くなっています。

(9) ライフデザインについて

ア 結婚や出産についてライフデザインを考えているか (P87~91) 青少年本人：問 38)

- ・ 『考えている(「1. 考えている」と「2. 少し考えている」の合計)』が54.0%, 『考えていない(「3. あまり考えていない」と「4. まったく考えていない」の合計)』が44.0%となっています。
- ・ 男女別にみると、『女性』では、『考えている(「1. 考えている」と「2. 少し考えている」の合計)』の割合が全体よりも高くなっています。
- ・ 回答者の年齢別にみると、年齢が上がるほど、「1. 考えている」の割合が高くなる傾向がみられます。
- ・ 自分の健康観(からだ)別にみると、『健康』『とても健康』『やや不健康』では、『考えている(「1. 考えている」と「2. 少し考えている」の合計)』の割合が5割を超えています。
- ・ 自分の健康観(こころ)別にみると、『健康』では「1. 考えている」の割合が最も高くなっています。
- ・ 育児体験の希望別にみると、育児体験をしたいと思うほど「1. 考えている」「2. 少し考えている」の割合が高い傾向がみられます。
- ・ 将来の結婚や子育てに対する考え別にみると、結婚や子育ての意向が強いほど「1. 考えている」「2. 少し考えている」の割合が高い傾向がみられます。
- ・ 医学的に妊娠しやすい時期の認知度別にみると、『知っていた』では『考えている(「1. 考えている」と「2. 少し考えている」の合計)』の割合が全体よりも高くなっています。
- ・ 将来の夢や目標の有無別にみると、将来の夢や目標に対して努力しているほど「1. 考えている」「2. 少し考えている」の割合が高い傾向がみられます。

イ 将来の結婚や子育てに関する考え (P91~92) 青少年本人：問 39)

- ・ 「1. 結婚も子育てもしたい」が60.2%と最も高く、次いで「5. わからない」が23.7%, 「2. 結婚はしたいが子育てはしたくない」が6.0%となっています。

- ・ 男女別にみると、『答えたくない』を除き、「結婚も子育てもしたい」の割合が最も高くなっています。
- ・ 回答者の年齢別にみると、すべての区分で「結婚も子育てもしたい」の割合が最も高くなっています。
- ・ 妊娠しやすい時期の認知度別にみると、すべての区分で、「結婚も子育てもしたい」の割合が最も高くなっています。

ウ 医学的に妊娠しやすい時期があることを知っているか (P93) 青少年本人：問 40)

- ・ 「1. 知っていた」が55.5%、「2. 知らなかった」が42.6%となっています。
- ・ 男女別にみると、『女性』では、「1. 知っていた」の割合が全体よりも高くなっています。
- ・ 回答者の年齢別にみると、年齢が上がるほど、「1. 知っていた」の割合が高くなる傾向がみられます。

エ 生活で、最も重要だと考えていること(価値観) (P94) 青少年本人：問 41)

- ・ 「4. 家族と過ごす時間」が22.2%と最も高く、次いで「1. 働くことや学校での勉強」が17.4%、「6. 自分のために使う時間(趣味や自分をみがくための時間等)」が16.9%となっています。
- ・ ライフデザインの有無別にみると、『考えている』『少し考えている』では「4. 家族と過ごす時間」、『あまり考えていない』『まったく考えていない』では「6. 自分のために使う時間(趣味や自分をみがくための時間等)」の割合が最も高くなっています。

(10) あなたご自身について(保護者用調査)

ア 子どもから見た続柄 (P115) 問 1)

「1. 母親」が88.2%と最も高く、次いで「2. 父親」が10.7%、「3. 祖母」が0.5%となっています。

イ 年齢 (P115) 問 2)

「2. 40歳代」が65.0%と最も高く、次いで「3. 50歳以上」が28.1%、「1. 30歳代」が5.5%となっています。

ウ 世帯構成 (P116) 問 3)

「1. 母親」が96.4%と最も高く、次いで「5. 本人(宛名のお子さま)」が83.4%、「2. 父親」が81.3%となっています。

エ 子どもの現在のご両親の婚姻関係 (P116) 問 4)

「1. 結婚している(同居)(事実婚を含む)」が72.1%と最も高く、次いで「3. 結婚していない(離婚, または離婚に等しい状況で別居)」が12.7%、「2. 結婚している(単身赴任等で別居)」が7.7%となっています。

オ 子どもの父親・母親の現在の就労状況 (P117) 問 5)

父親では、「1. 就労している(フルタイム)」が77.4%と最も高く、次いで「5. 現在就労していない」が1.4%となっています。

母親では、「3. 就労している(パートタイム, アルバイト等)」が44.0%と最も高く、次いで「1. 就労している(フルタイム)」が32.0%、「5. 現在就労していない」が16.8%となっています。

フルタイムで就労している保護者の状況は、[1週あたりの日数]で「5. 5日」, [1日あたりの就労時間]で「2. 8時間～9時間未満」, [家を出る時間]で父親が「3. 7時台」, 母親が「4. 8時台」, [帰宅時間]で父親が「3.

19 時台」，母親が「18 時台」が最も高くなっています。

パートタイム，アルバイト等で就労している保護者の状況の母親では，[1 週あたりの日数]で「4．4 日」，[1 日あたりの就労時間]で「5．5 時間」，[家を出る時間]で「5．9 時台」，[帰宅時間]で「18 時前」が最も高くなっています。

案

京都市
母子保健に関する意識調査
【結果報告書（速報版）】

平成 31 年 2 月

京都市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査設計	1
3 回収結果	1
4 報告書の見方	1
II. 調査結果	2
1 健康診査を受けられたお子さまと母親の状況について	2
2 産前・産後のことについて	10
3 子育てについて	22
4 子どもの事故予防について	43
5 飲酒や喫煙について	50
6 食生活やお口の健康について	61
7 母子保健に関連するサービス等の利用状況について	80

I. 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、子育て中の母親の健康に対する意識やご家庭での育児の状況、母子保健サービスへのご意見等をうかがい、今後の京都市の母子保健施策等の充実に向けた基礎資料とすることを目的に実施しました。

2 調査設計

- 調査対象者：平成 30 年 9 月 3 日～9 月 28 日の間に区役所・支所子どもはぐくみ室における乳幼児健康診査（4 か月児，8 か月児，1 歳 6 か月児，3 歳児）に来所した保護者
- 調査期間：平成 30 年 9 月 3 日～10 月 12 日
- 調査方法：区役所・支所子どもはぐくみ室における乳幼児健康診査会場でアンケート票配布・郵送回収

3 回収結果

		調査対象者（配布数）	有効回収数	有効回収率
母子保健に関する意識調査		3,162 件	1,327 件	42.0%
（参考）	平成 25 年調査	4,332 件	1,725 件	39.8%
	平成 20 年調査	3,906 件	1,726 件	44.2%

4 報告書の見方

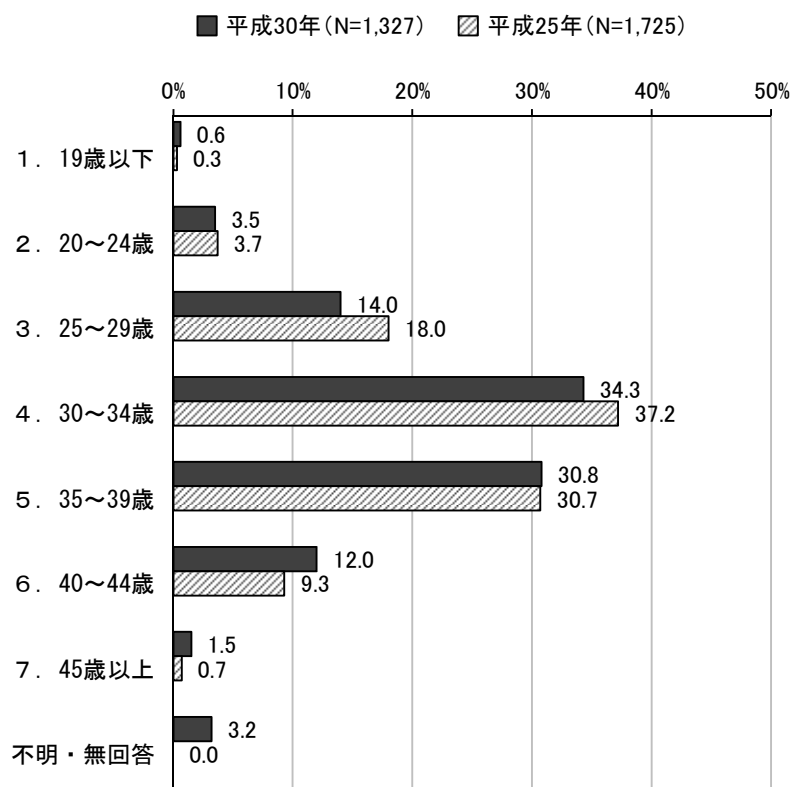
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 設問によっては、結果を詳細に分析するため、クロス集計表を掲載しています。

II. 調査結果

1 健康診査を受けられたお子さまと母親の状況について

問1 あなたの現在の年齢をお答えください。(〇は1つ)

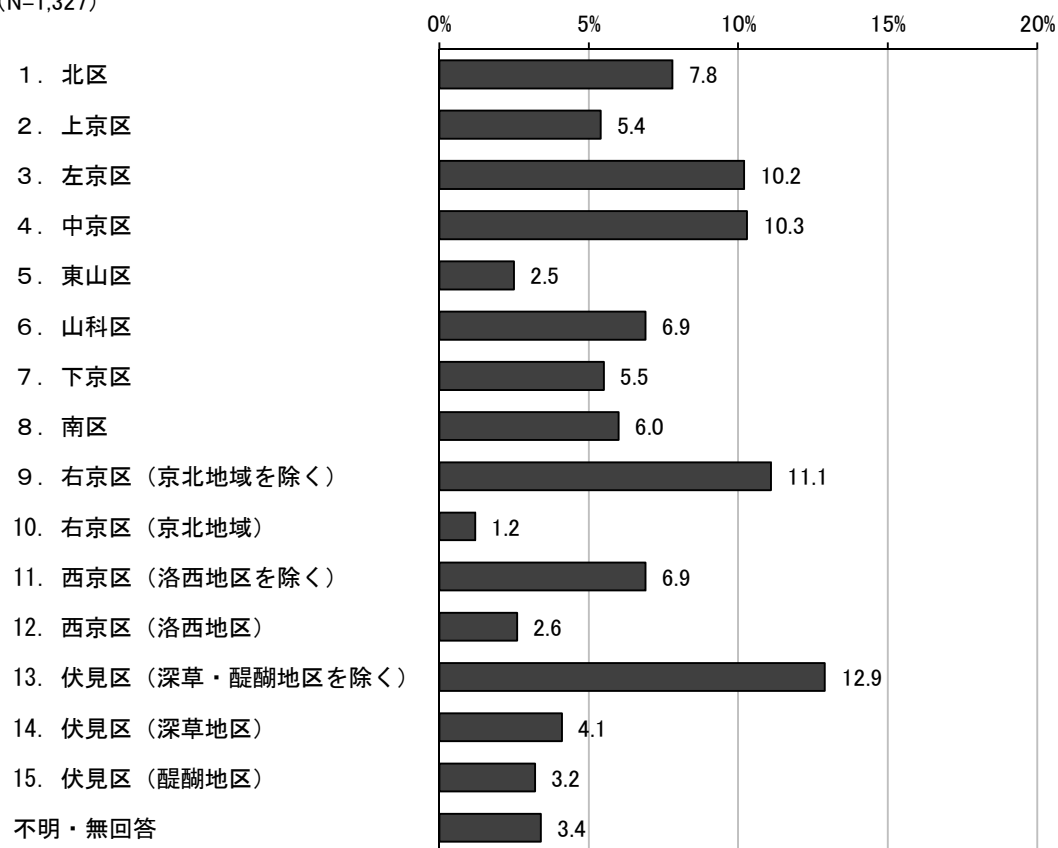
「30～34歳」が34.3%と最も高く、次いで「35～39歳」が30.8%、「25～29歳」が14.0%となっています。



問2 現在のお住まいの区をお答えください。(〇は1つ)

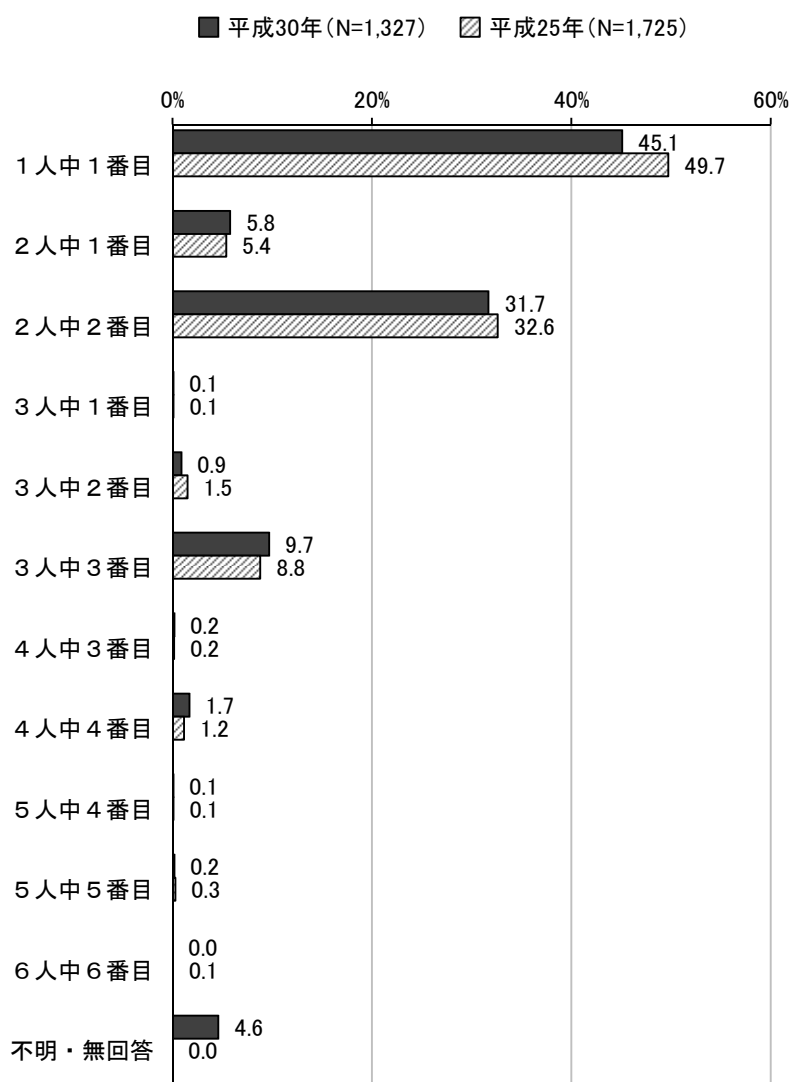
「13. 伏見区（深草・醍醐地区を除く）」が 12.9%と最も高く、次いで「9. 右京区（京北地域を除く）」が 11.1%、「4. 中京区」が 10.3%となっています。

(N=1,327)



問3 今回の健康診査を受けられたお子さまは兄弟姉妹の何人中何番目ですか。

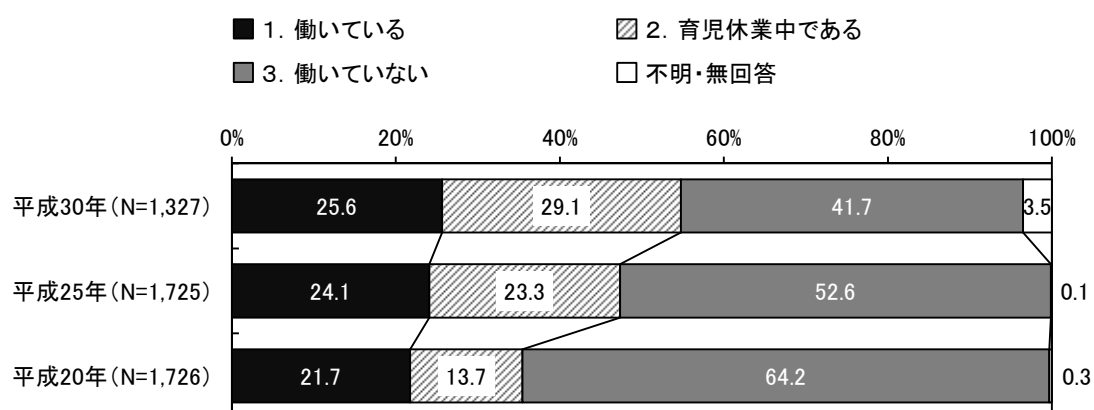
「1人中1番目」が45.1%と最も高く、次いで「2人中2番目」が31.7%,「3人中3番目」が9.7%となっています。



問4(1) 現在あなたは働いていますか。(〇は1つ)

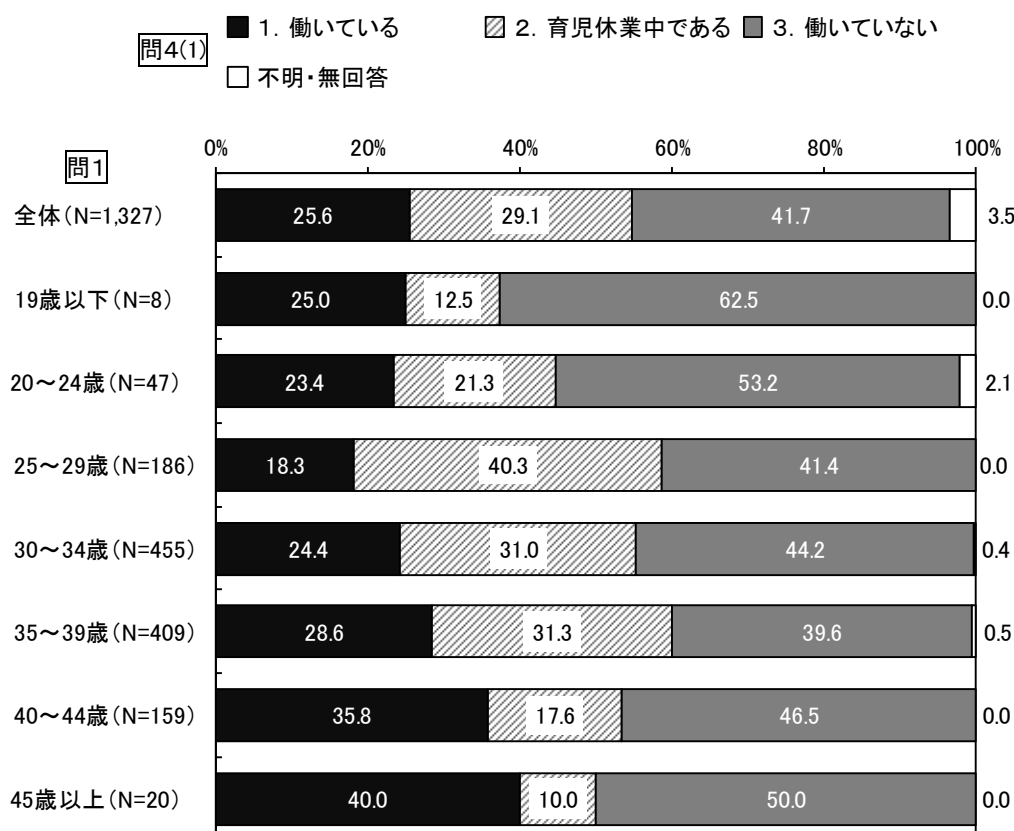
「3. 働いていない」が41.7%と最も高く、次いで「2. 育児休業中である」が29.1%となっています。

過去調査と比較すると、「2. 育児休業中である」が平成25年より5.8ポイント、平成20年より15.4ポイント高く、「3. 働いていない」が平成25年より10.9ポイント、平成20年より22.5ポイント低くなっています。



《問4(1) 就労状況 × 問1 年齢別》

30歳以上については、年齢が上がるほど、「1. 働いている」の割合が高くなる傾向がみられます。

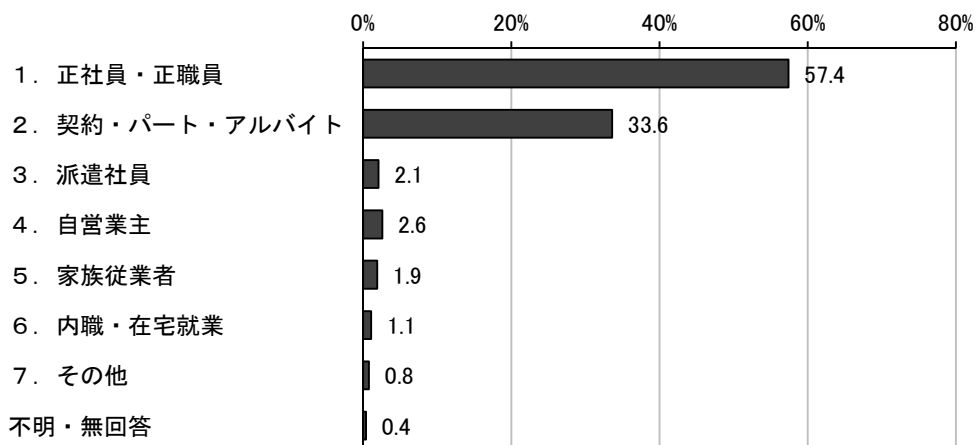


問4(1)で「1」または「2」と答えた方

問4(2) あなたの就労形態についてお答えください。(〇は1つ)

「1. 正社員・正職員」が57.4%と最も高く、次いで「2. 契約・パート・アルバイト」が33.6%, 「4. 自営業主」が2.6%となっています。

(N=726)



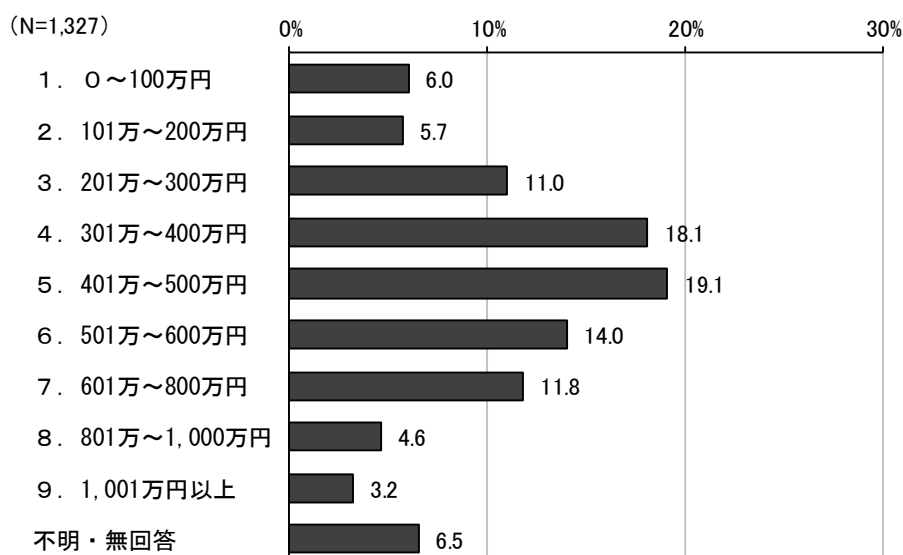
《問4(2) 就労形態 × 問5 世帯の昨年1年間の可処分所得別》

『0～100万円』『101万～200万円』では「契約・パート・アルバイト」、それ以外の区分では『正社員・正職員』の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	正社員・正職員	契約・パート・アルバイト	派遣社員	自営業主	家族従業者	内職・在宅就業	その他	不明・無回答
全 体	726 100.0	417 57.4	244 33.6	15 2.1	19 2.6	14 1.9	8 1.1	6 0.8	3 0.4
世帯の可処分所得別	0～100万円	53 100.0	6 11.3	38 71.7	0 0.0	3 5.7	2 3.8	1 1.9	2 3.8
	101万～200万円	56 100.0	16 28.6	32 57.1	1 1.8	4 7.1	2 3.6	1 1.8	0 0.0
	201万～300万円	86 100.0	51 59.3	30 34.9	0 0.0	0 0.0	5 5.8	0 0.0	0 0.0
	301万～400万円	114 100.0	67 58.8	38 33.3	4 3.5	2 1.8	0 0.0	1 0.9	2 1.8
	401万～500万円	125 100.0	70 56.0	45 36.0	5 4.0	3 2.4	0 0.0	2 1.6	0 0.0
	501万～600万円	113 100.0	78 69.0	28 24.8	2 1.8	1 0.9	3 2.7	0 0.0	1 0.9
	601万～800万円	91 100.0	70 76.9	16 17.6	1 1.1	3 3.3	0 0.0	1 1.1	0 0.0
	801万～1,000万円	36 100.0	28 77.8	6 16.7	0 0.0	1 2.8	0 0.0	1 2.8	0 0.0
	1,001万円以上	27 100.0	19 70.4	4 14.8	1 3.7	2 7.4	1 3.7	0 0.0	0 0.0

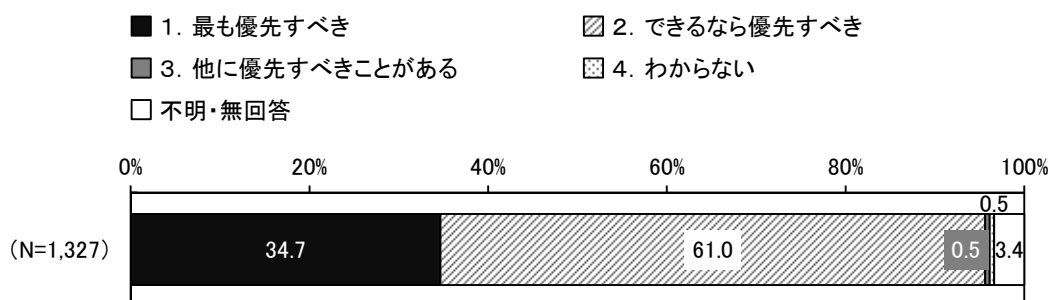
問5 あなたの世帯の昨年1年間（平成29年1月1日～12月31日）の可処分所得（実収入から税金や社会保険料等を引いたいわゆる手取り収入）はおおよそどのくらいですか。（〇は1つ）

「5. 401万～500万円」が19.1%と最も高く、次いで「4. 301万～400万円」が18.1%、「6. 501万～600万円」が14.0%となっています。



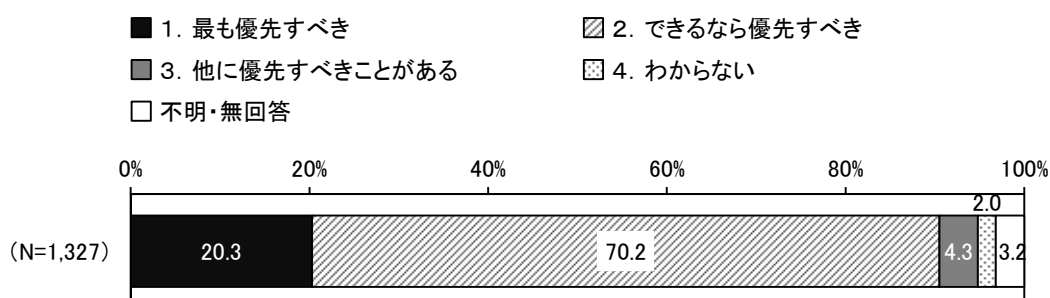
問6(1) 日々の生活において、子育てにかかる時間は優先すべきだと思いますか。（〇は1つ）

「2. できるなら優先すべき」が61.0%と最も高く、次いで「1. 最も優先すべき」が34.7%となっています。



問6(2) 日々の生活において、子育てにかかるお金は優先すべきだと思いますか。（〇は1つ）

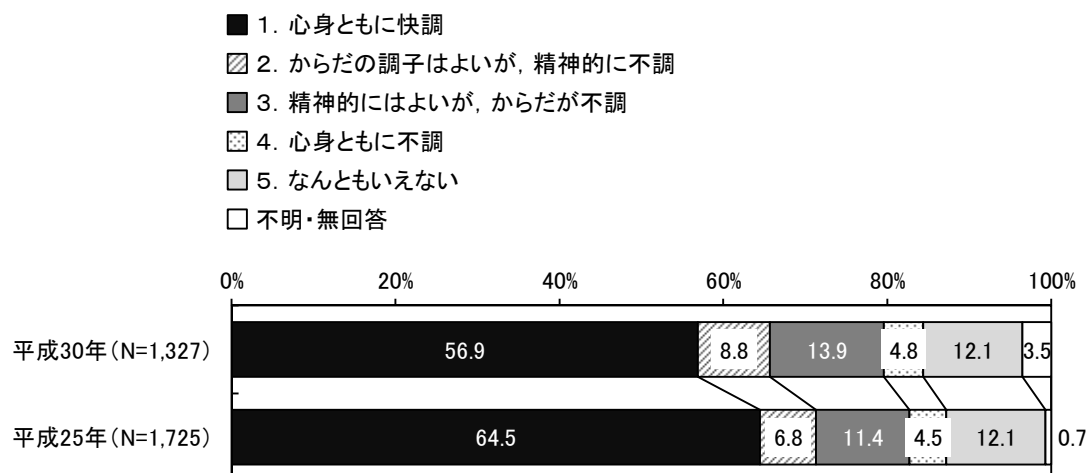
「2. できるなら優先すべき」が70.2%と最も高く、次いで「1. 最も優先すべき」が20.3%、「3. 他に優先すべきことがある」が4.3%となっています。



問7 現在のあなたの気持ちやからだの調子はいかがですか。(〇は1つ)

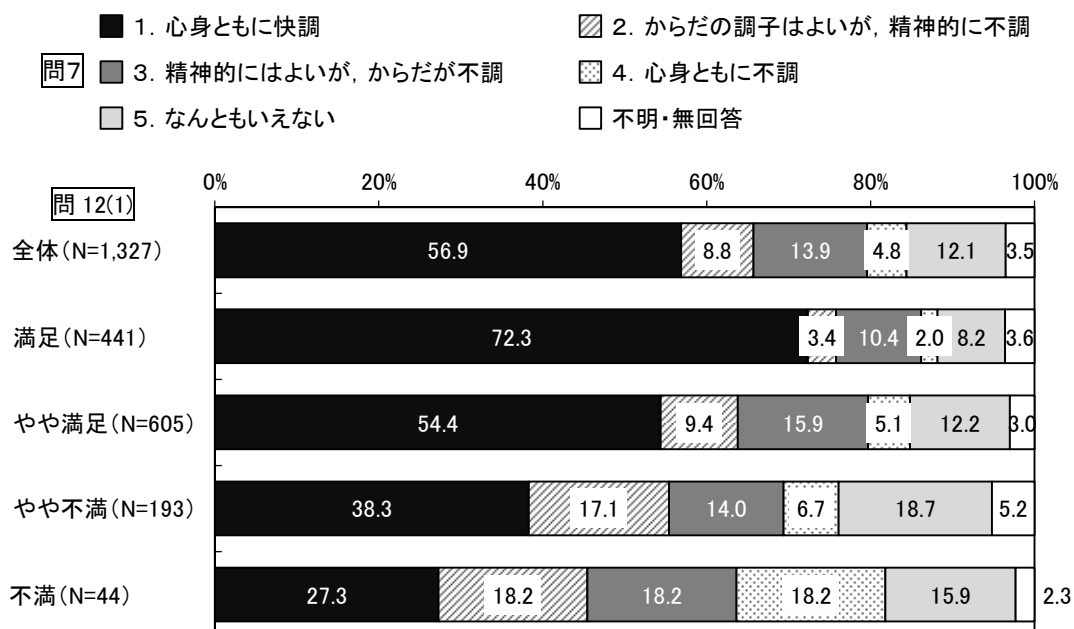
「1. 心身ともに快調」が56.9%と最も高く、次いで「3. 精神的にはよいが、からだの不調」が13.9%、「5. なんともいえない」が12.1%となっています。

平成25年と比較すると、「1. 心身ともに快調」が7.6ポイント低くなっています。



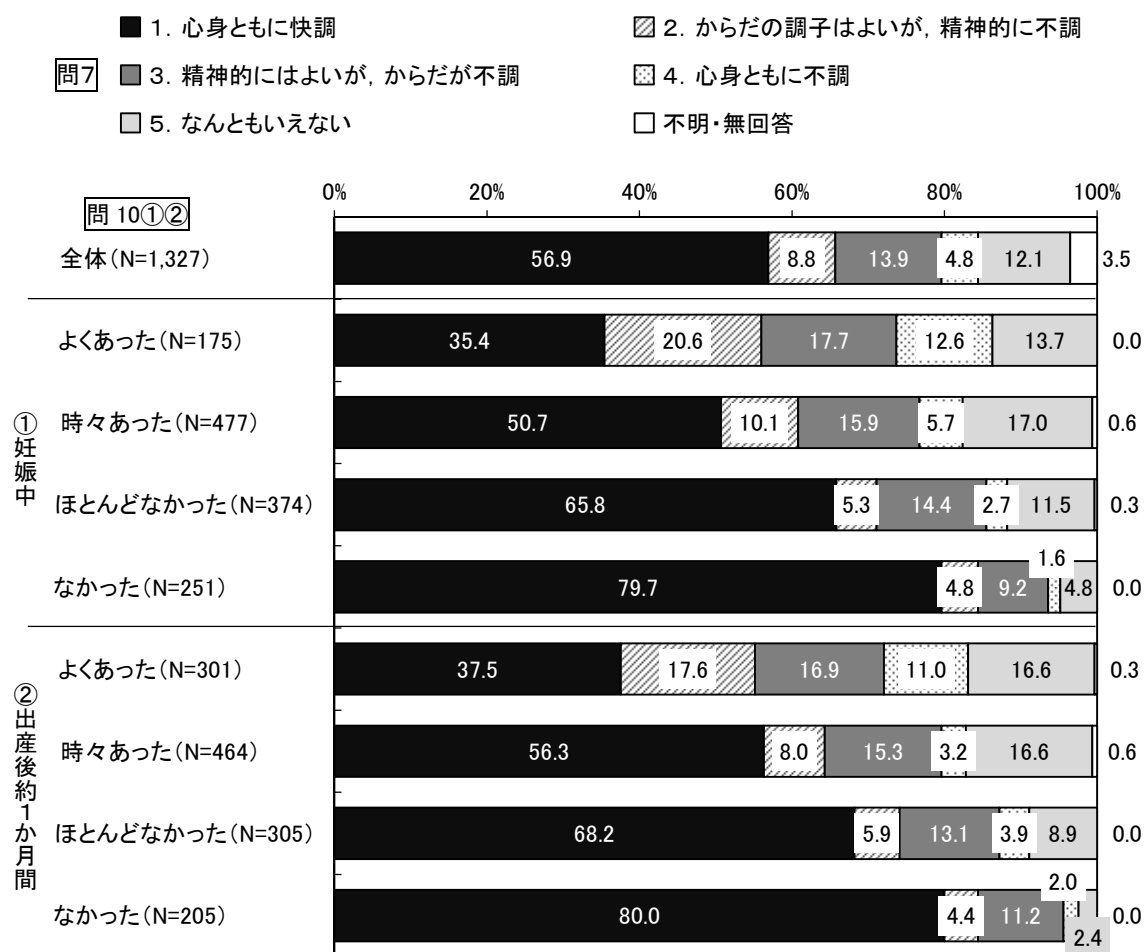
《問7 現在の心身の調子 × 問12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

すべての区分で「1. 心身ともに快調」の割合が最も高くなっていますが、『やや不満』『不満』では2～3割になっており、満足度が下がるほど割合が低くなる傾向がみられます。



《問7 現在の心身の調子 × 問10①② 妊娠中・出産後1か月間の落ち込みやイライラ感の頻度別》

①妊娠中、②出産後約1か月間ともに、すべての区分で「1. 心身ともに快調」の割合が最も高くなっていますが、『よくあった』では他の区分よりも低く、3割にとどまっています。

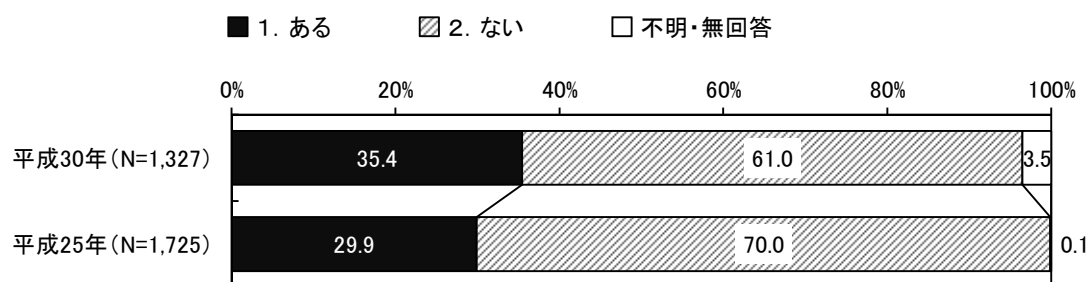


2 産前・産後のことについて

問8(1) 不妊について悩んだことはありますか。(〇は1つ)

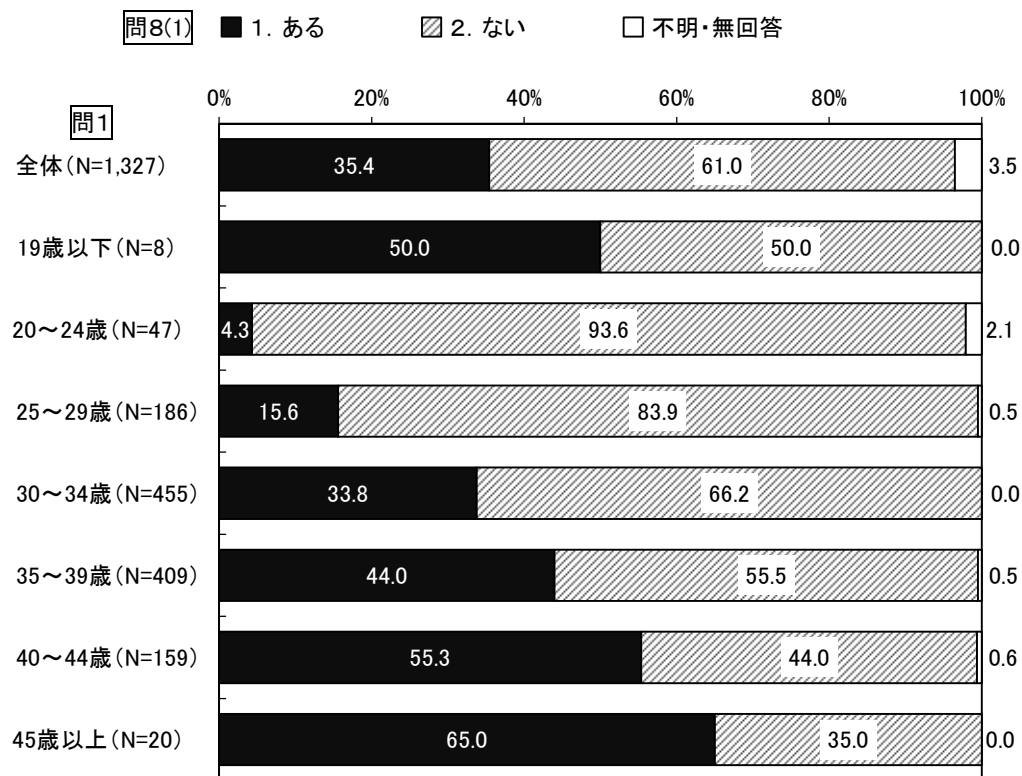
「1. ある」が35.4%、「2. ない」が61.0%となっています。

平成25年と比較すると、「2. ない」が9.0ポイント低く、「1. ある」が5.5ポイント高くなっています。



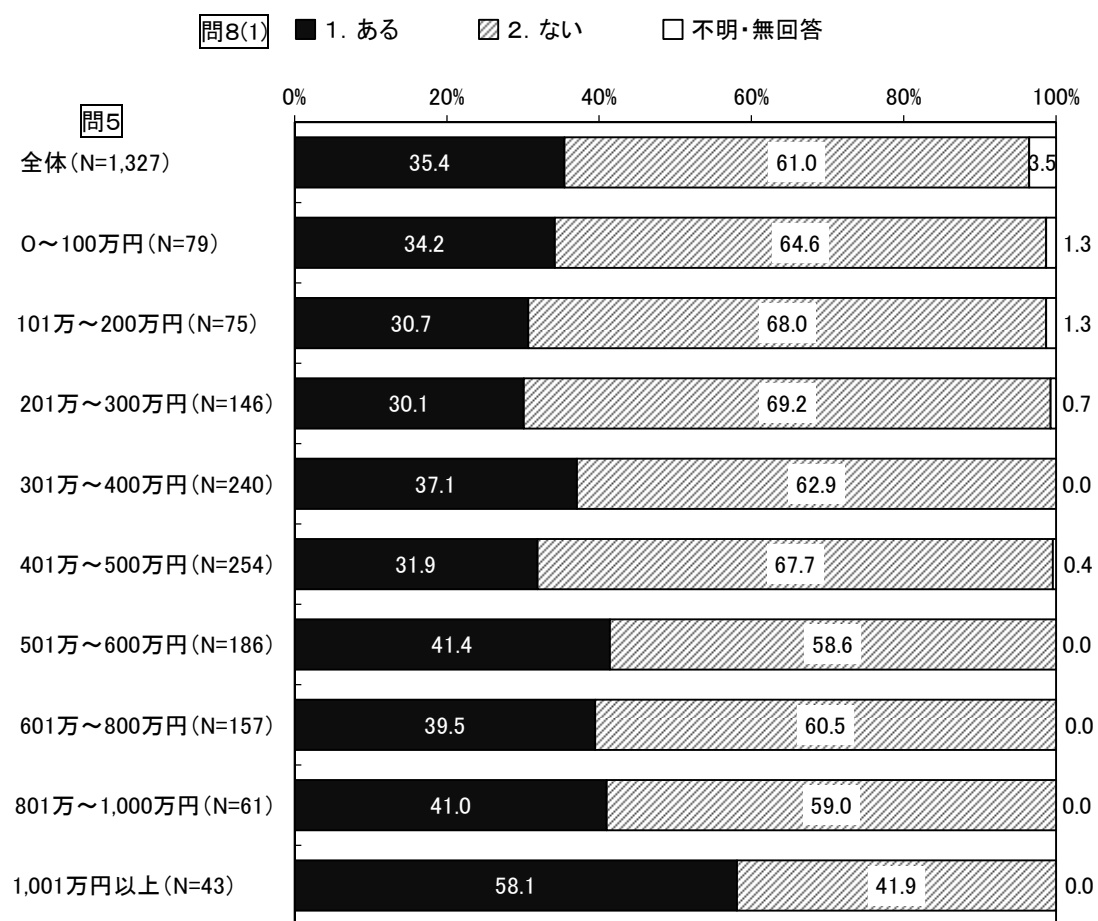
《問8(1) 不妊について悩んだことの有無 × 問1 年齢別》

40歳以上では「1. ある」の割合が半数を超えており、年代が上がるほど割合が高くなる傾向がみられます。



《問 8(1) 不妊について悩んだことの有無 × 問 5 世帯の昨年 1 年間の可処分所得別》

『1,001 万円以上』で「1. ある」の割合が半数を超えています。

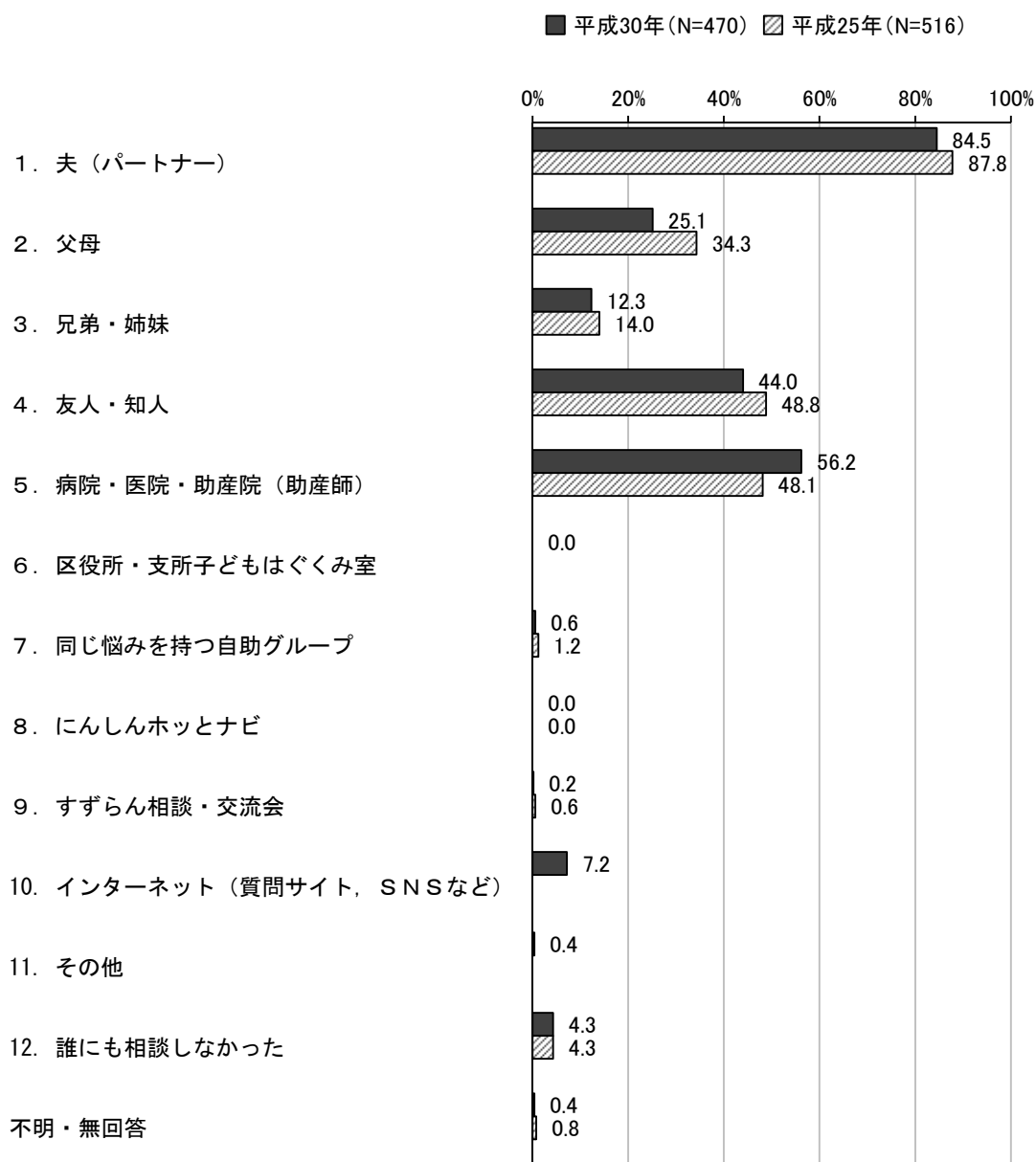


問8(1)で「1. ある」と答えた方

問8(2) その悩みは誰かに、またはどこかに相談しましたか。(〇はいくつでも)

「1. 夫（パートナー）」が 84.5%と最も高く、次いで「5. 病院・医院・助産院（助産師）」が 56.2%、「4. 友人・知人」が 44.0%となっています。

平成 25 年と比較すると、「2. 父母」が 9.2 ポイント低く、「5. 病院・医院・助産院（助産師）」が 8.1 ポイント高くなっています。



※「6. 区役所・支所子どもはぐくみ室」「10. インターネット（質問サイト，SNSなど）」「11. その他」は平成 30 年のみの選択肢

《問 8(2) 不妊に関する悩みの相談先 × 問 1 年齢別》

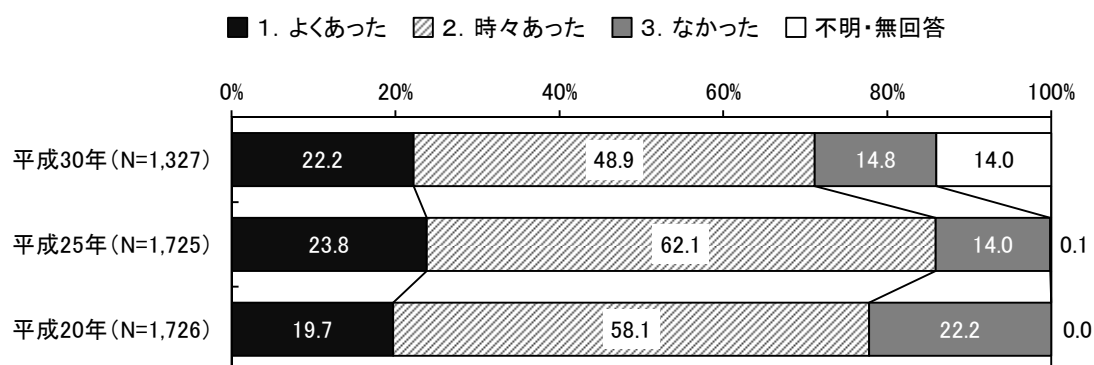
『20～24 歳』『45 歳以上』では「夫（パートナー）」と「病院・医院・助産院（助産師）」が同率で最も高く、それ以外の区分では「夫（パートナー）」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	夫(パート ナー)	父母	兄弟・姉妹	友人・知人	病院・医院・助 産院(助産師)	区役所・支所 子どもはぐく み室	同じ悩みを持 つ自助グルー プ
全 体		470 100.0	397 84.5	118 25.1	58 12.3	207 44.0	264 56.2	0 0.0	3 0.6
年 齢 別	19歳以下	4 100.0	4 100.0	2 50.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
	20～24歳	2 100.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	25～29歳	29 100.0	23 79.3	10 34.5	2 6.9	11 37.9	15 51.7	0 0.0	0 0.0
	30～34歳	154 100.0	131 85.1	49 31.8	22 14.3	70 45.5	77 50.0	0 0.0	1 0.6
	35～39歳	180 100.0	151 83.9	32 17.8	21 11.7	80 44.4	111 61.7	0 0.0	2 1.1
	40～44歳	88 100.0	74 84.1	18 20.5	11 12.5	39 44.3	46 52.3	0 0.0	0 0.0
	45歳以上	13 100.0	12 92.3	6 46.2	2 15.4	4 30.8	12 92.3	0 0.0	0 0.0

上段:件数 下段:%		合計	にんしんホッ とナビ	すずらん相 談・交流会	インターネッ ト（質問サイ ト、SNSな ど）	その他	誰にも相談し なかった	不明・無回答
全 体		470 100.0	0 0.0	1 0.2	34 7.2	2 0.4	20 4.3	2 0.4
年 齢 別	19歳以下	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～24歳	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	25～29歳	29 100.0	0 0.0	0 0.0	4 13.8	1 3.4	1 3.4	0 0.0
	30～34歳	154 100.0	0 0.0	0 0.0	10 6.5	0 0.0	6 3.9	0 0.0
	35～39歳	180 100.0	0 0.0	1 0.6	10 5.6	1 0.6	6 3.3	2 1.1
	40～44歳	88 100.0	0 0.0	0 0.0	8 9.1	0 0.0	7 8.0	0 0.0
	45歳以上	13 100.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

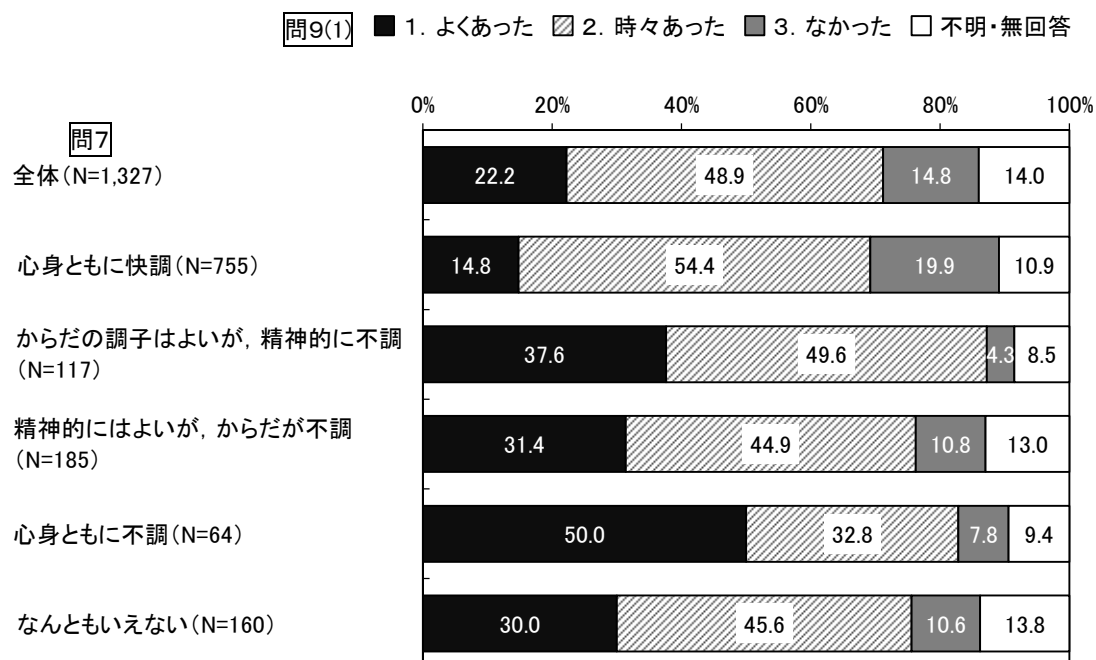
問9(1) あなたはお子さまを妊娠中に、妊娠・出産・育児について心配なことや不安なことがありましたか。(〇は1つ)

「2. 時々あった」が48.9%と最も高く、次いで「1. よくあった」が22.2%となっています。
過去調査と比較すると、「2. 時々あった」が平成25年より13.2ポイント、平成20年より9.2ポイント低くなっています。



《問9(1) 妊娠中の妊娠・出産・育児について心配や不安なことの有無 × 問7 現在の心身の調子別》

『心身ともに不調』では、(心配や不安なことが)「1. よくあった」の割合が最も高く、5割となっています。



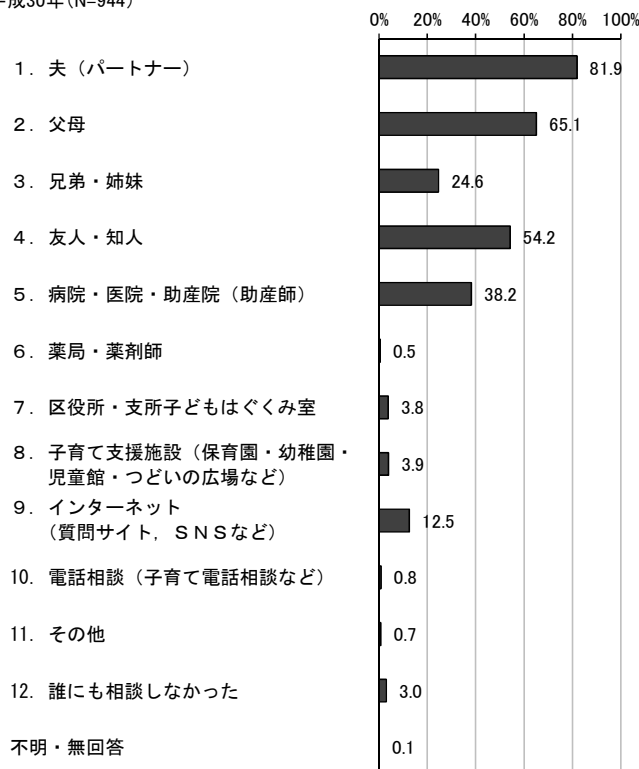
問9(1)で「1」または「2」と答えた方

問9(2) あなたは妊娠中の悩みや不安について、誰かに、またはどこかに相談しましたか。
(〇はいくつでも)

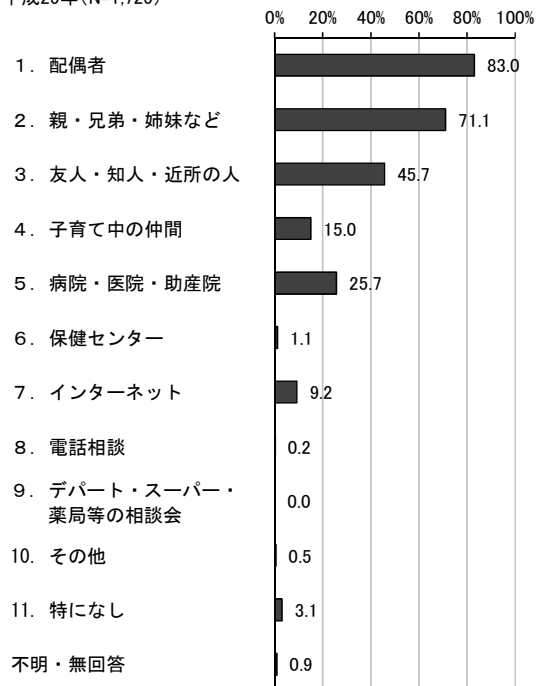
「1. 夫（パートナー）」が81.9%と最も高く、次いで「2. 父母」が65.1%, 「4. 友人・知人」が54.2%となっています。

平成25年と比較すると、「5. 病院・医院・助産院（助産師）」（平成25年は「5. 病院・医院・助産院」）が12.5ポイント高くなっています。

平成30年(N=944)



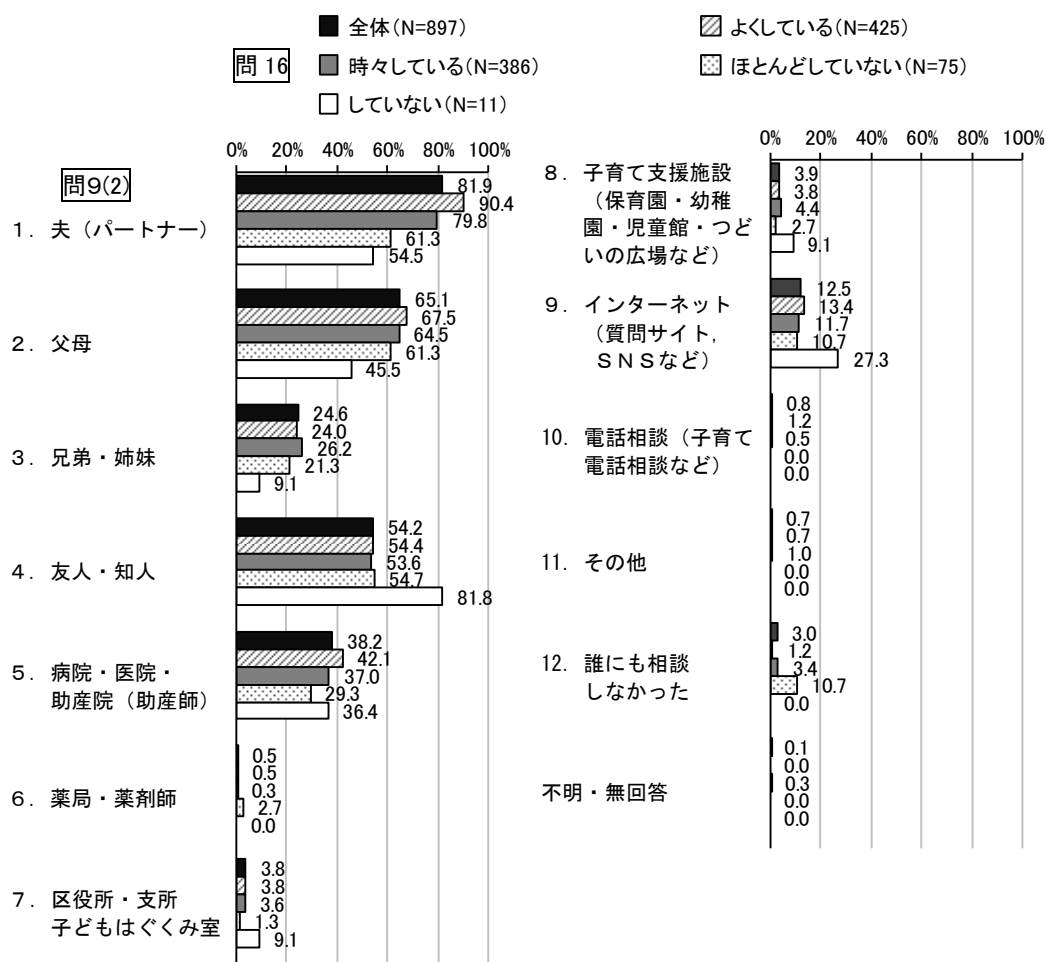
平成25年(N=1,725)



※平成30年は限定設問のため、サンプル数が異なる

《問9(2) 妊娠中の悩みや不安の相談先 × 問16 夫（パートナー）の育児状況別》

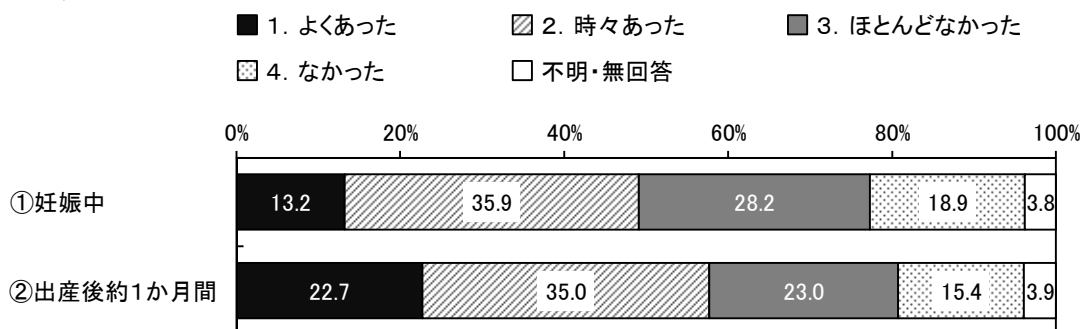
育児を『よくしている』『時々している』では「1. 夫（パートナー）」、（育児を）『していない』では「4. 友人・知人」の割合が最も高くなっています。また、育児の頻度が低くなるほど、「1. 夫（パートナー）」の割合が低くなる傾向がみられます。



問 10 お子さまを妊娠中や出産後約1か月間に、精神的に落ち込むことやイライラを感じることがありましたか。(〇はそれぞれ1つずつ)

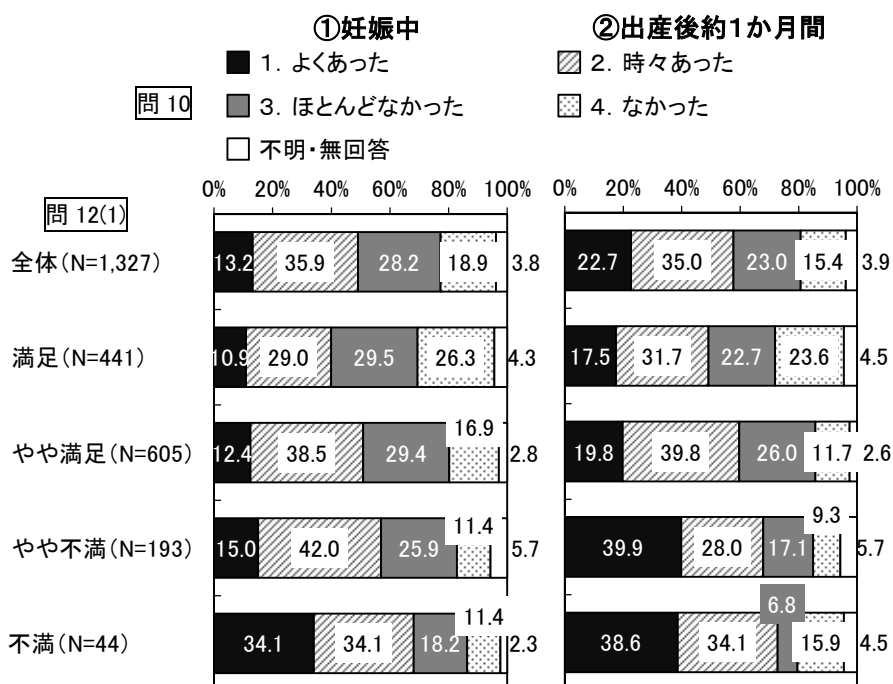
①妊娠中、②出産後約1か月間ともに「2. 時々あった」がそれぞれ35.9%、35.0%と最も高く、次いで「3. ほとんどなかった」がそれぞれ28.2%、23.0%となっています。

(N=1,327)



《問 10 精神的な落ち込みやイライラを感じたことの有無 × 問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

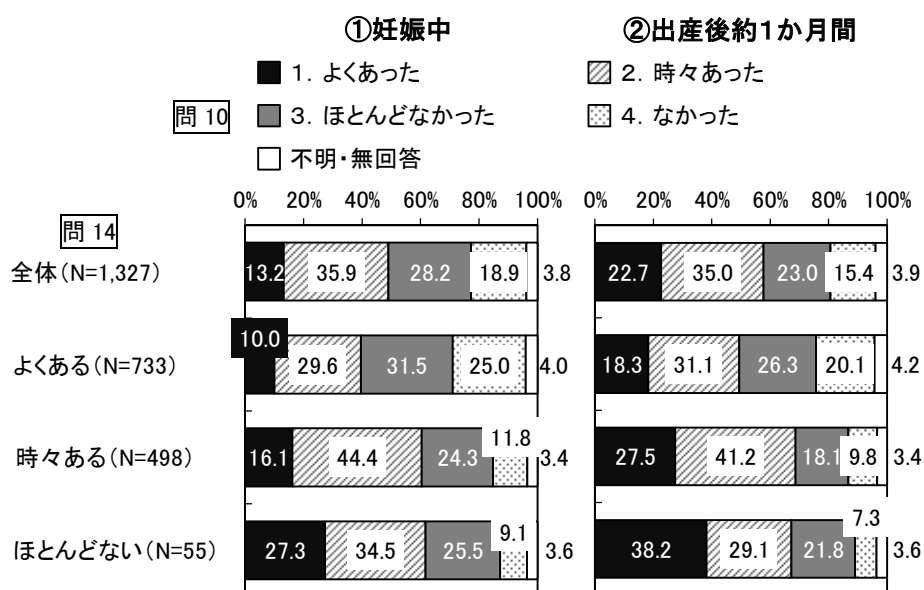
①妊娠中の家族や公的なサポートが『満足』では、(イライラ感が)「3. ほとんどなかった」、『やや満足』『やや不満』では(イライラ感が)「2. 時々あった」の割合が最も高くなっています。②出産後約1か月間の家族や公的なサポートが『満足』『やや満足』では(イライラ感が)「2. 時々あった」、『やや不満』『不満』では(イライラ感が)「1. よくあった」の割合が最も高くなっています。また、満足度が下がるほど『あった「1. よくあった」と「2. 時々あった」の合計』の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 10 精神的な落ち込みやイライラを感じたことの有無 ×

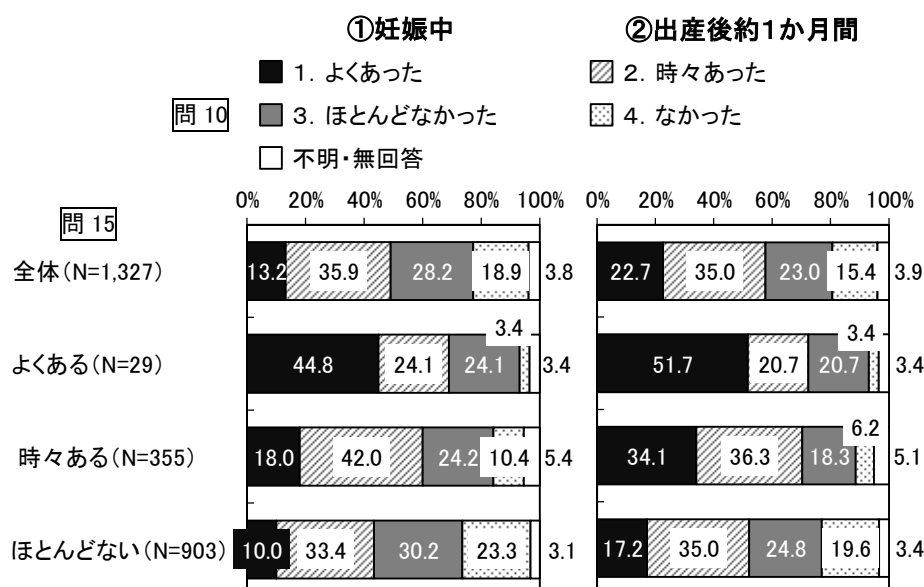
問 14 ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間別》

①妊娠中の子どもと過ごせる時間が『よくある』では、(イライラ感が)「3. ほとんどなかった」、『時々ある』『ほとんどない』では(イライラ感が)「2. 時々あった」の割合が最も高くなっています。②出産後約1か月間の子どもと過ごせる時間が『ほとんどない』では(イライラ感が)「1. よくあった」の割合が最も高くなっています。また、子どもと過ごせる時間が少なくなるほど(イライラ感が)「よくあった」の割合が高くなる傾向がみられます。



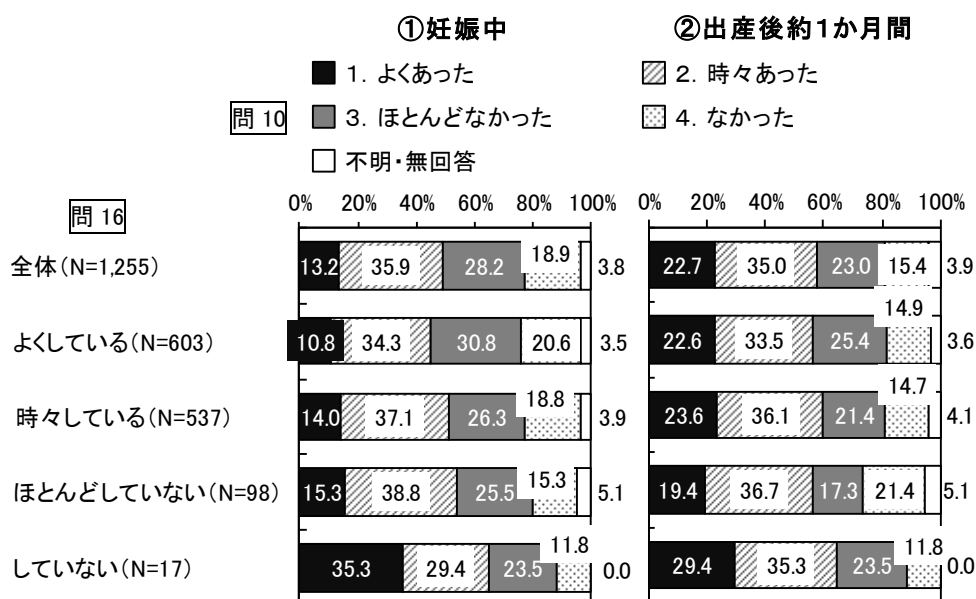
《問 10 精神的な落ち込みやイライラを感じたことの有無 × 問 15 子育てしにくいと感じるか別》

①妊娠中、②出産後約1か月間ともに、子育てしにくいと感じることが『よくある』では、(イライラ感が)「1. よくあった」の割合が最も高く、子育てしにくいと感じる頻度が高くなるほど、割合も高くなる傾向がみられます。



《問 10 精神的な落ち込みやイライラを感じたことの有無 × 問 16 夫（パートナー）の育児状況別》

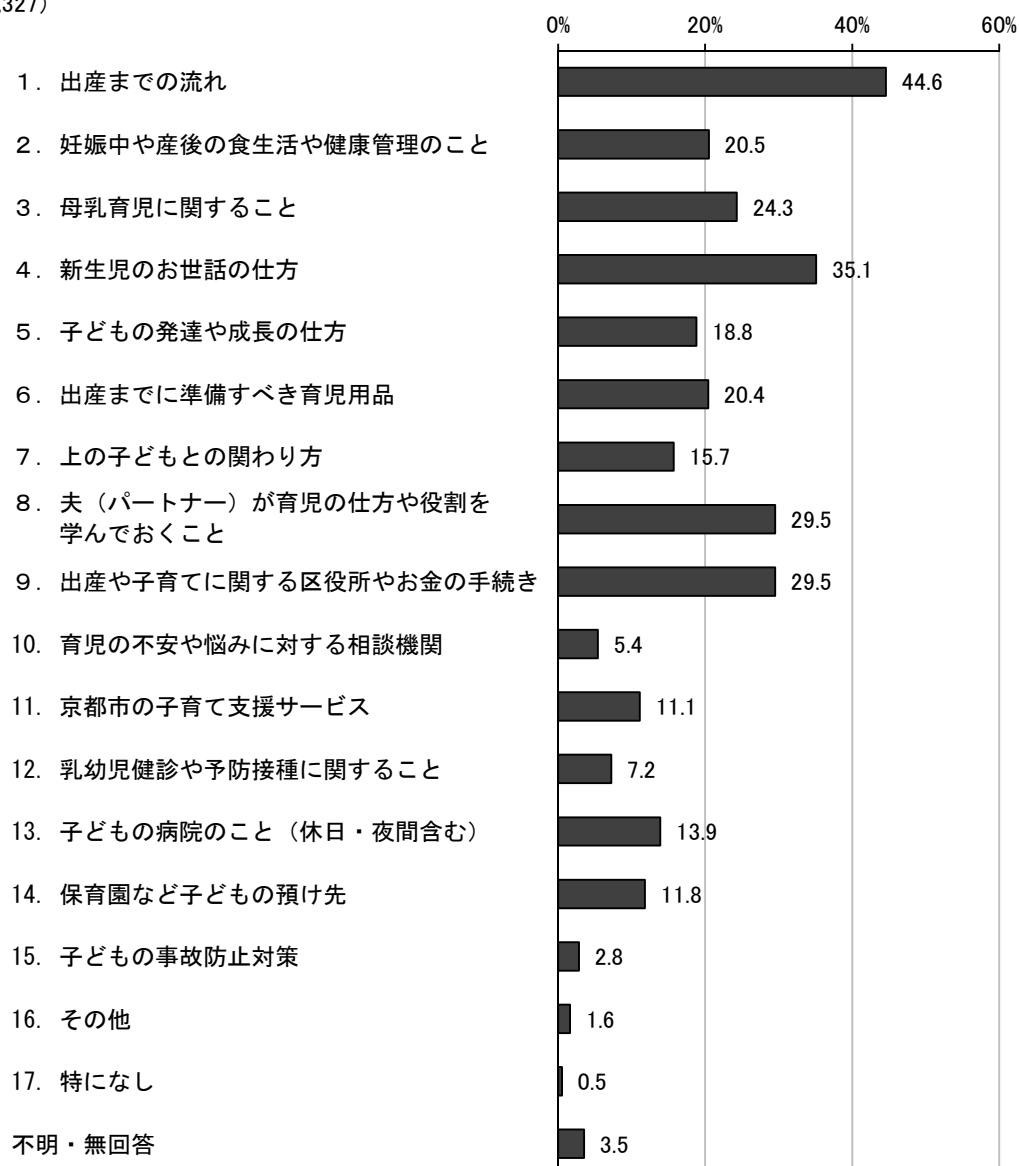
①妊娠中, ②出産後約1か月間ともに, 夫（パートナー）が育児をしていないほど, 『あった（「1. よくあった」と「2. 時々あった」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



問 11 妊娠や出産・子育てに関して、妊娠中に知っておくと役に立つと思うことについてお答えください。（〇は3つまで）

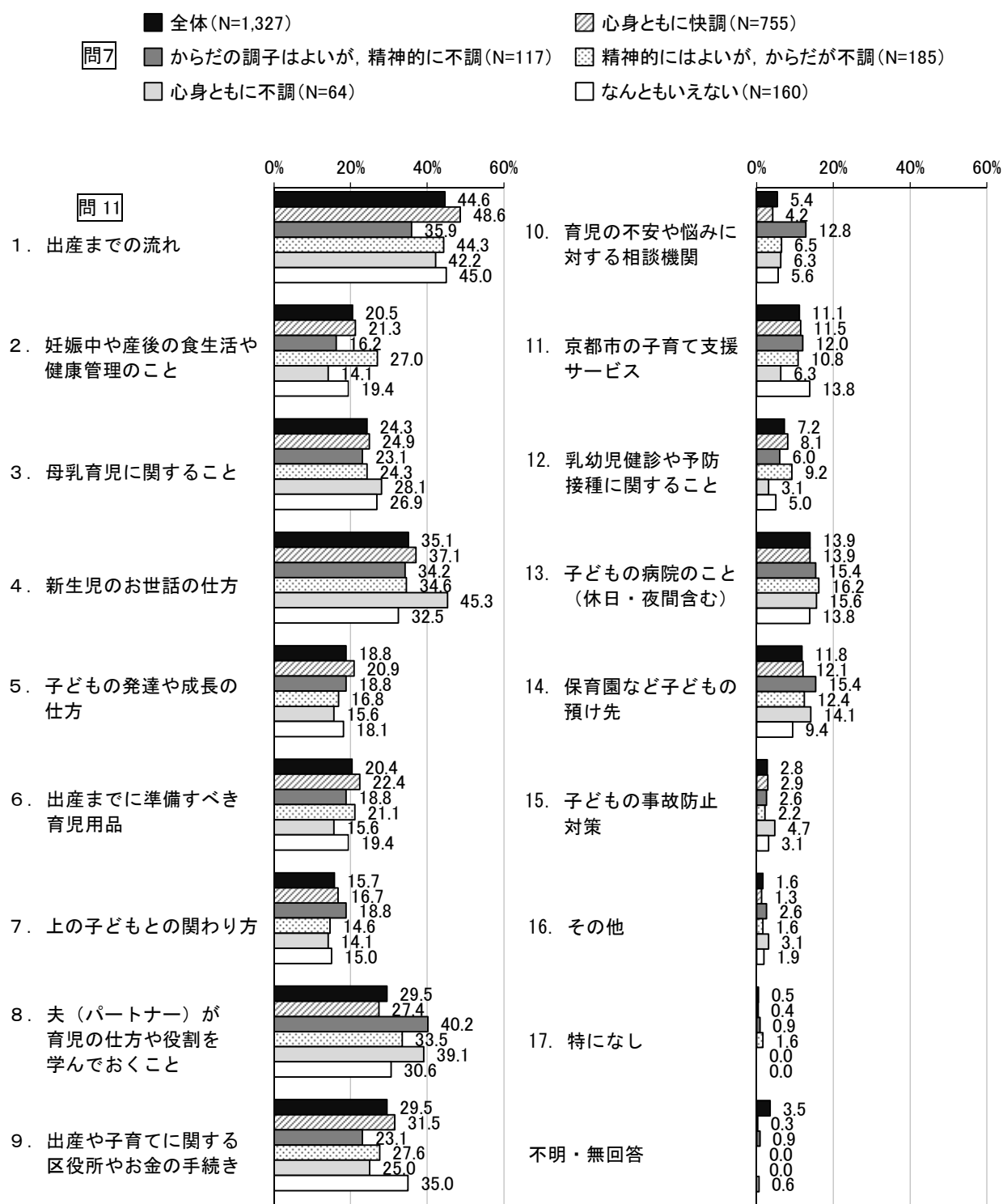
「1. 出産までの流れ」が44.6%と最も高く、次いで「4. 新生児のお世話の仕方」が35.1%、「8. 夫（パートナー）が育児の仕方や役割を学んでおくこと」と「9. 出産や子育てに関する区役所やお金の手続き」がともに29.5%となっています。

(N=1,327)



《問 11 妊娠中の出産・子育てに関して知っている役立つこと × 問 7 現在の心身の調子別》

『からだの調子はよいが、精神的に不調』では「8. 夫（パートナー）が育児の仕方や役割を学んでおくこと」、『心身ともに不調』では「4. 新生児のお世話の仕方」の割合が最も高くなっています。

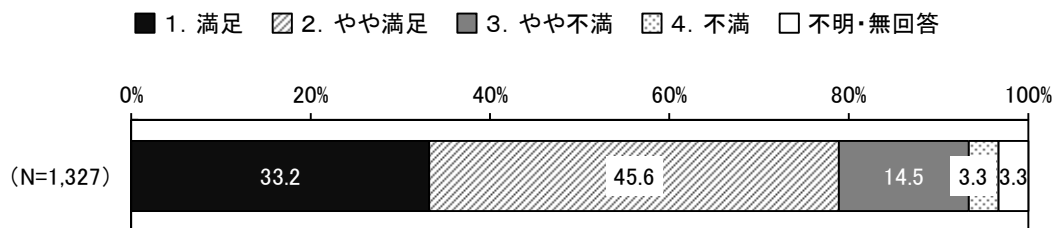


3 子育てについて

問 12(1) これまでの育児期間における家族や公的なサポートについて、満足していますか。

(○は1つ)

「2. やや満足」が45.6%と最も高く、次いで「1. 満足」が33.2%, 「3. やや不満」が14.5%となっています。

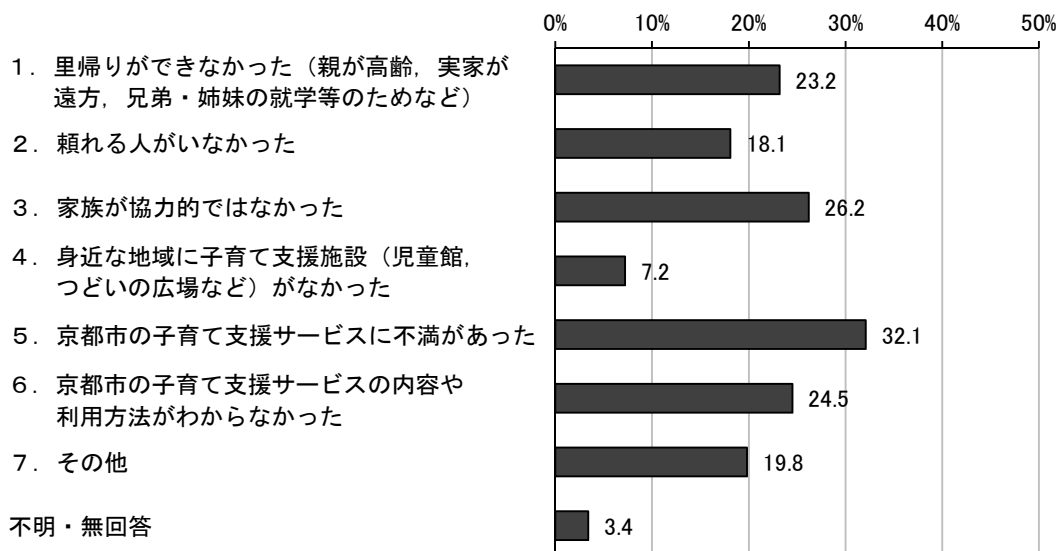


問 12(1)で「3」または「4」と答えた方

問 12(2) その理由についてお答えください。(○はいくつでも)

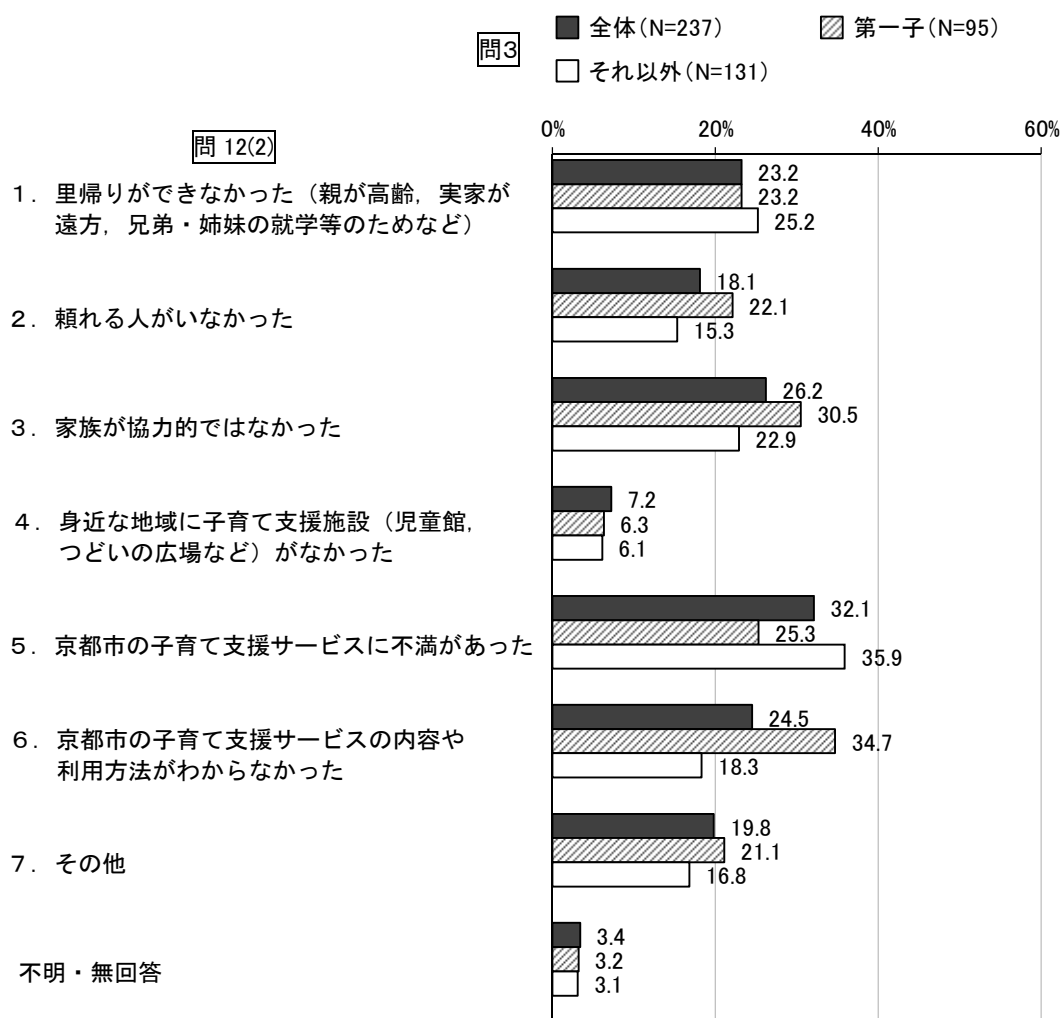
「5. 京都市の子育て支援サービスに不満があった」が32.1%と最も高く、次いで「3. 家族が協力的ではなかった」が26.2%, 「6. 京都市の子育て支援サービスの内容や利用方法がわからなかった」が24.5%となっています。

(N=237)



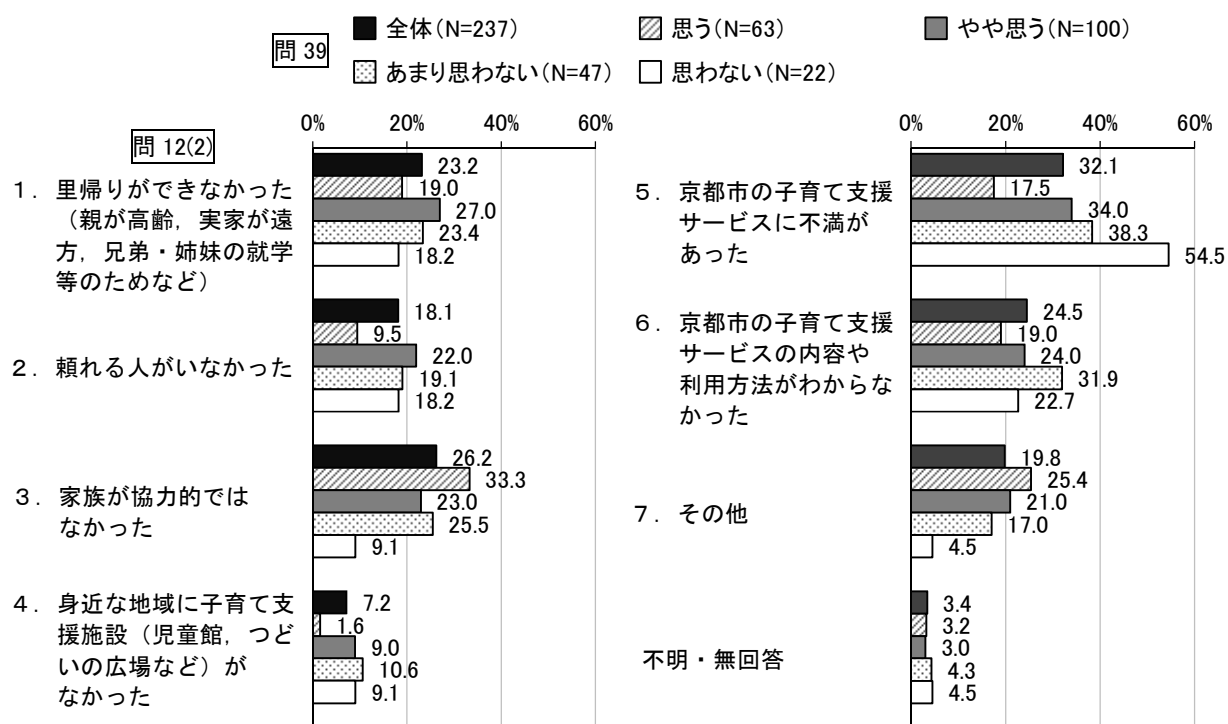
《問 12(2) 育児における家族や公的サポートが不満な理由 × 問 3 健診を受けた子ども別》

『第一子』では「6. 京都市の子育て支援サービスの内容や利用方法がわからなかった」, 『それ以外』では「5. 京都市の子育て支援サービスに不満があった」の割合が最も高くなっています。



《問 12(2) 育児における家族や公的サポートが不満な理由 × 問 39 定住意向別》

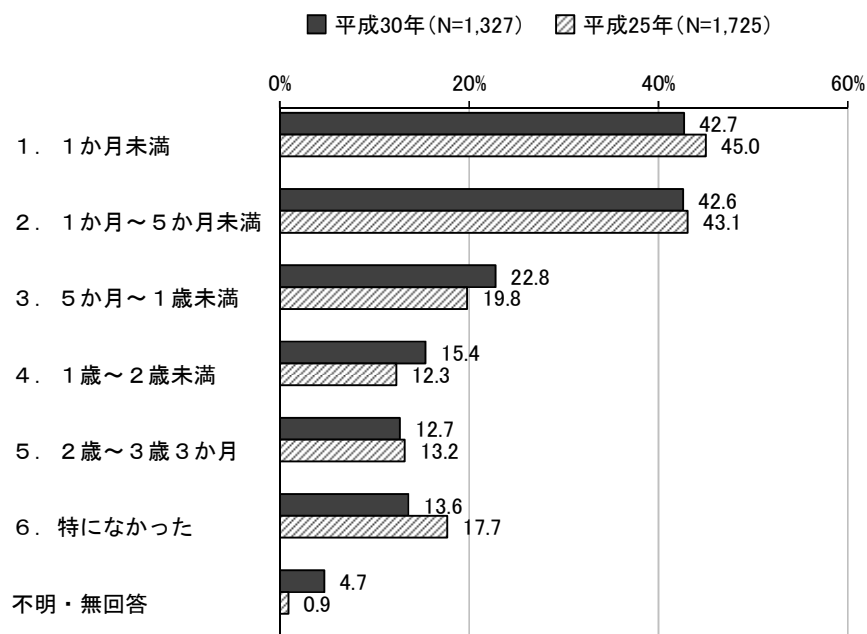
京都市で子育てしたいと『思う』では「3. 家族が協力的ではなかった」、それ以外の区分では「5. 京都市の子育て支援サービスに不満があった」の割合が最も高くなっています。また、定住意向が下がるほど「5. 京都市の子育て支援サービスに不満があった」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 13(1) これまでの育児期間の中で、特に悩みや不安が大きかった時期はいつですか。

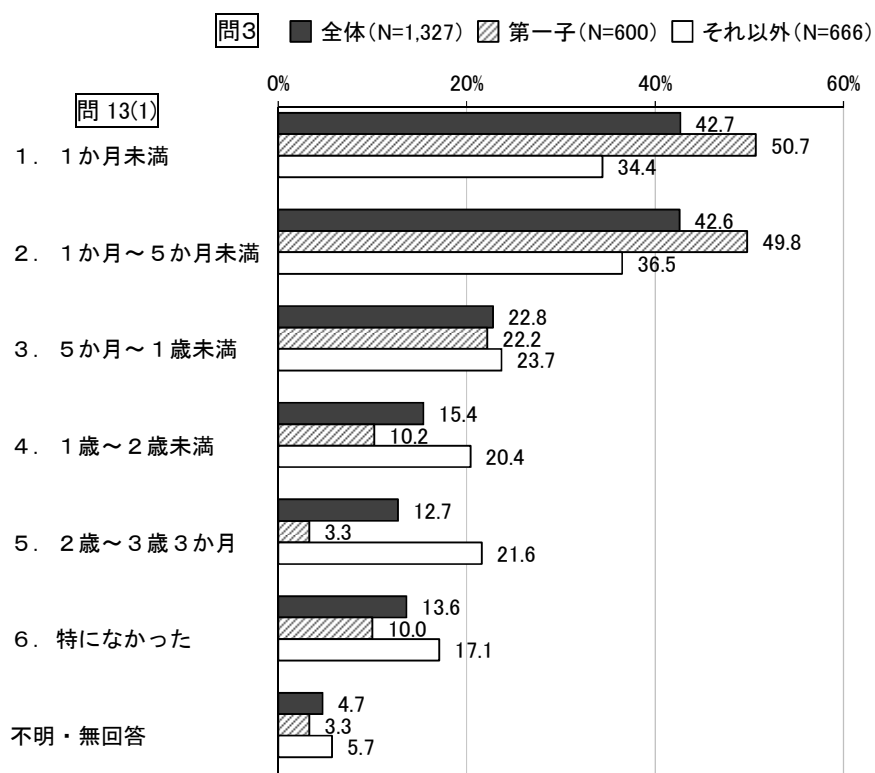
(〇は3つまで)

「1. 1か月未満」が42.7%と最も高く、次いで「2. 1か月～5か月未満」が42.6%、「3. 5か月～1歳未満」が22.8%となっています。



《問 13(1) 育児期間の中で、特に悩みや不安が大きかった時期 × 問3 健診を受けた子ども別》

『第一子』では「1. 1か月未満」, 『それ以外』では「2. 1か月～5か月未満」の割合が最も高くなっています。

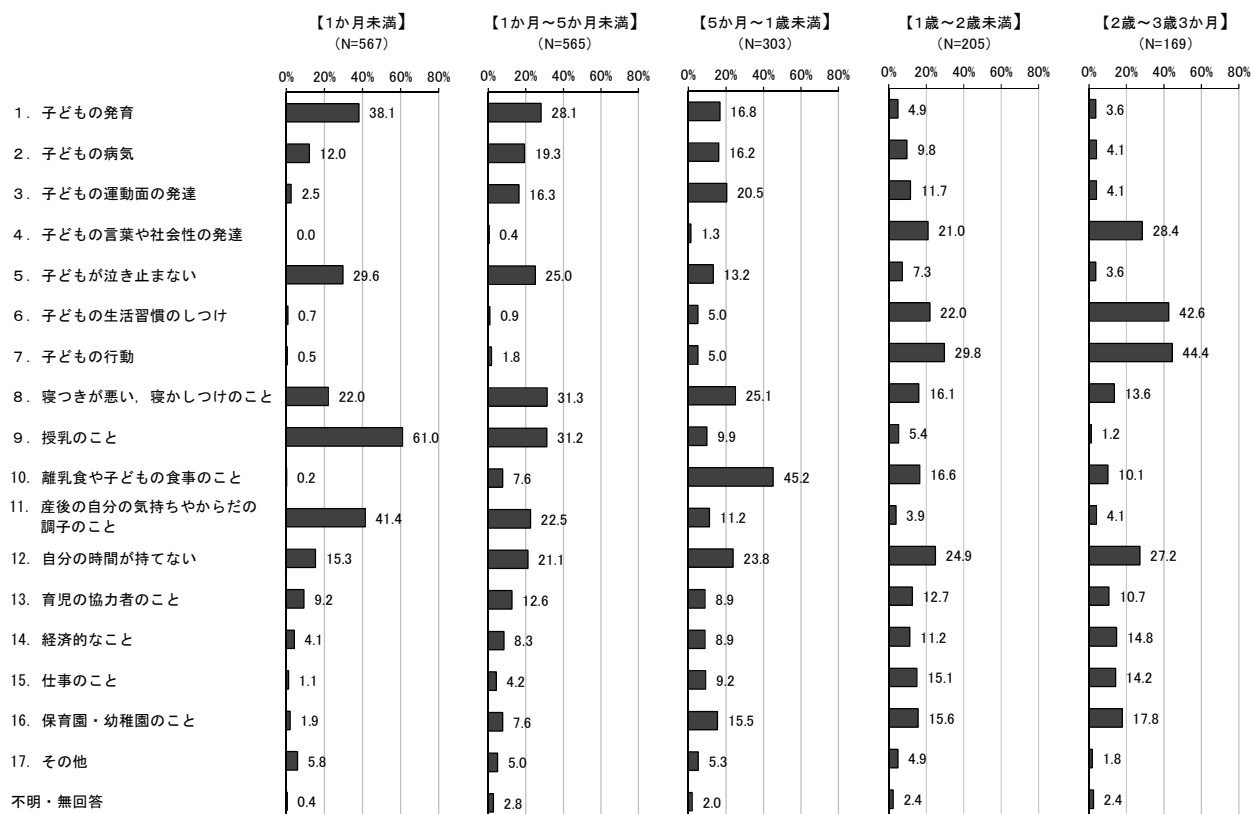


問 13(1)で「1～5」と答えた方

問 13(2) それぞれの時期の悩みや不安はどんなことでしたか。

(それぞれ主な選択肢番号を3つまで記入)

〔1か月未満〕では「9. 授乳のこと」が 61.0%, 〔1か月～5か月未満〕では「8. 寝つきが悪い, 寝かしつけのこと」が 31.3%, 〔5か月～1歳未満〕では「10. 離乳食や子どもの食事のこと」が 45.2%, 〔1歳～2歳未満〕〔2歳～3歳3か月〕では「7. 子どもの行動」がそれぞれ 29.8%, 44.4%と最も高くなっています。

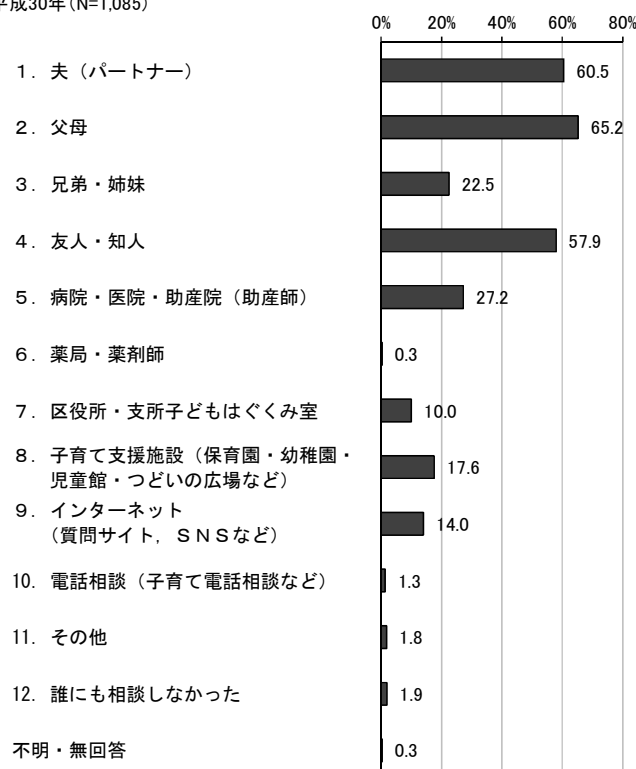


問 13(3) あなたは育児の悩みや不安について、誰にまたはどこに相談したことが役に立ちましたか。(〇はいくつでも)

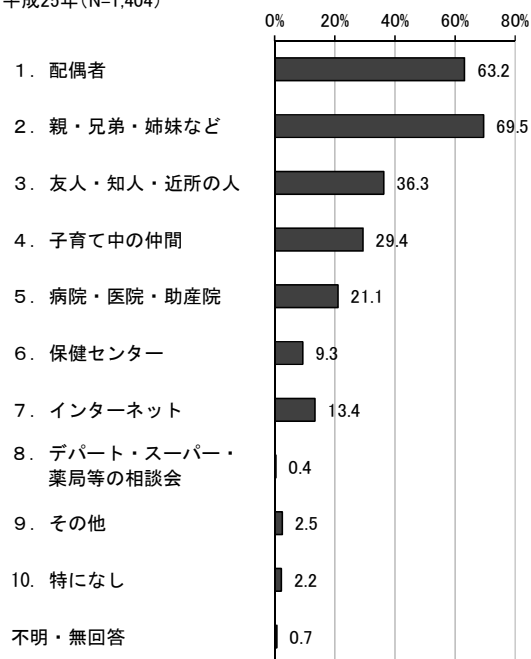
「2. 父母」が65.2%と最も高く、次いで「1. 夫（パートナー）」が60.5%、「4. 友人・知人」が57.9%となっています。

平成25年と比較すると、「4. 友人・知人」（平成25年では「3. 友人・知人・近所の人」）が21.6ポイント、「5. 病院・医院・助産院（助産師）」（平成25年では「5. 病院・医院・助産院」）が6.1ポイント高くなっています。

平成30年(N=1,085)



平成25年(N=1,404)



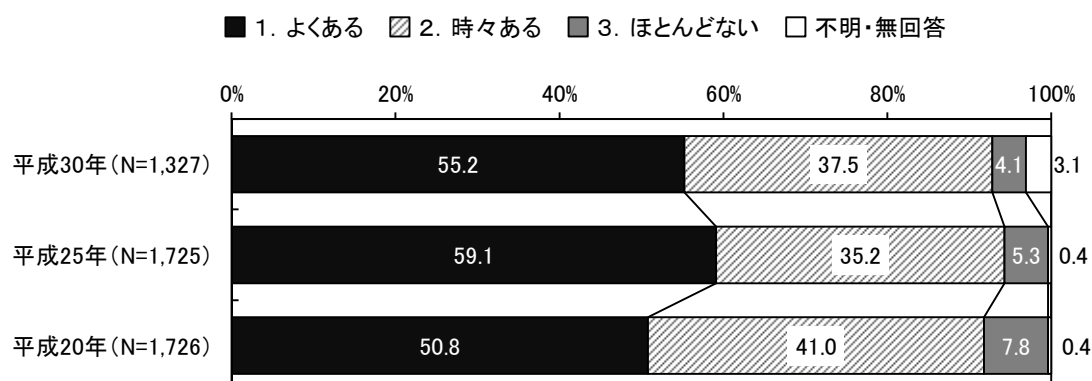
《問 13(3) 育児の悩みや不安についての相談先 × 問 1 年齢別》

『35～39 歳』では「夫（パートナー）」、『45 歳以上』では「友人・知人」、それ以外の区分では「父母」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	夫（パート ナー）	父母	兄弟・姉妹	友人・知人	病院・医院・ 助産院（助産 師）	薬局・薬剤師	区役所・支所 子どもはぐく み室
全 体		1,085 100.0	656 60.5	707 65.2	244 22.5	628 57.9	295 27.2	3 0.3	108 10.0
年 齢 別	19歳以下	5 100.0	4 80.0	5 100.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0
	20～24歳	31 100.0	17 54.8	19 61.3	4 12.9	15 48.4	5 16.1	0 0.0	5 16.1
	25～29歳	155 100.0	89 57.4	121 78.1	32 20.6	79 51.0	44 28.4	0 0.0	15 9.7
	30～34歳	386 100.0	239 61.9	257 66.6	101 26.2	222 57.5	96 24.9	2 0.5	30 7.8
	35～39歳	322 100.0	199 61.8	195 60.6	71 22.0	197 61.2	95 29.5	1 0.3	33 10.2
	40～44歳	133 100.0	78 58.6	79 59.4	27 20.3	78 58.6	34 25.6	0 0.0	16 12.0
	45歳以上	17 100.0	9 52.9	9 52.9	1 5.9	12 70.6	8 47.1	0 0.0	2 11.8
上段:件数 下段:%		合計	子育て支援施設（保育園・幼稚園・児童館・つどいの広場など）	インターネット（質問サイト、SNSなど）	電話相談（子育て電話相談など）	その他	誰にも相談しなかった	不明・無回答	
全 体		1,085 100.0	191 17.6	152 14.0	14 1.3	19 1.8	21 1.9	3 0.3	
年 齢 別	19歳以下	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	20～24歳	31 100.0	5 16.1	5 16.1	0 0.0	0 0.0	1 3.2	0 0.0	
	25～29歳	155 100.0	10 6.5	25 16.1	1 0.6	1 0.6	2 1.3	2 1.3	
	30～34歳	386 100.0	59 15.3	58 15.0	7 1.8	9 2.3	7 1.8	1 0.3	
	35～39歳	322 100.0	74 23.0	39 12.1	5 1.6	7 2.2	7 2.2	0 0.0	
	40～44歳	133 100.0	29 21.8	16 12.0	0 0.0	0 0.0	3 2.3	0 0.0	
	45歳以上	17 100.0	5 29.4	3 17.6	1 5.9	1 5.9	1 5.9	0 0.0	

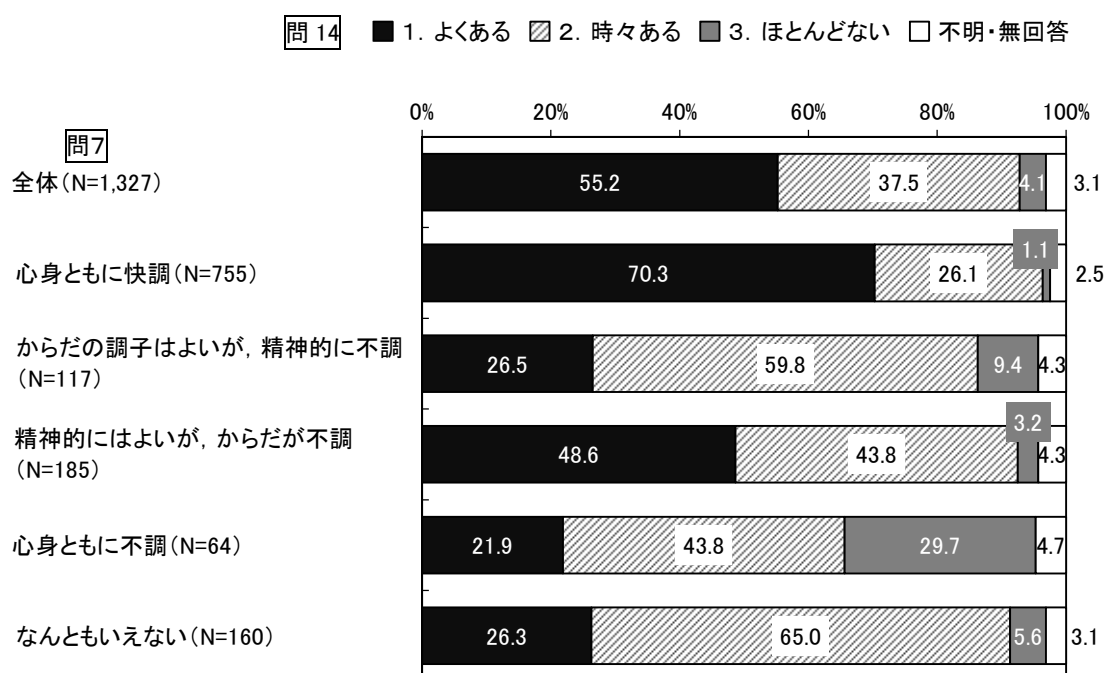
問 14 あなたは、ゆったりとした気分でお子さまと過ごせる時間がありますか。(〇は1つ)

「1. よくある」が55.2%と最も高く、次いで「2. 時々ある」が37.5%となっています。



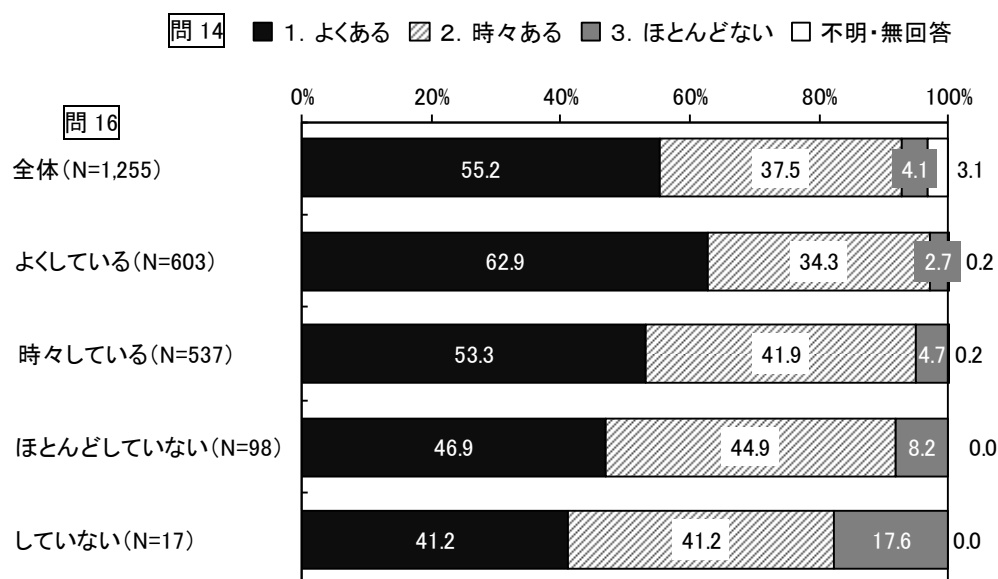
《問 14 ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間があるか × 問 7 現在の心身の調子別》

『心身ともに快調』『精神的にはよいが、からだが不調』では、(子どもと過ごせる時間が)「1. よくある」、それ以外の区分では(過ごせる時間が)「2. 時々ある」の割合が最も高くなっています。また、『心身ともに不調』では、(過ごせる時間が)「3. ほとんどない」の割合が、他の区分に比べて高くなっています。



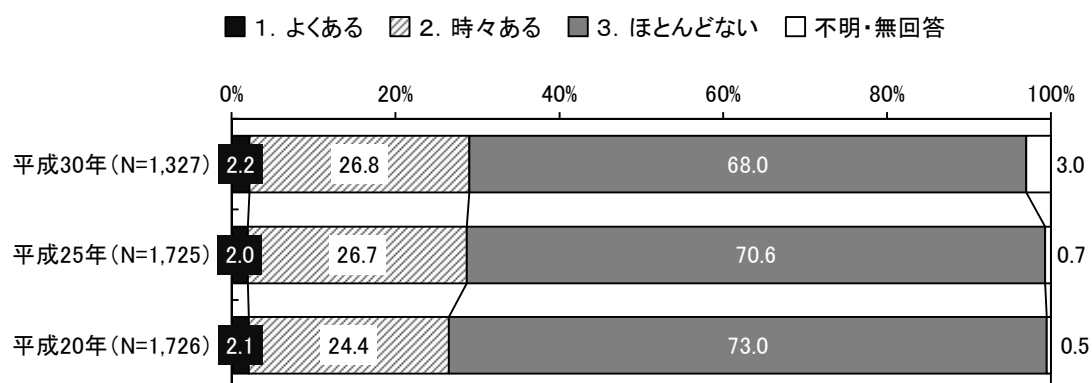
《問 14 ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間があるか × 問 16 夫（パートナー）の育児状況別》

夫（パートナー）が育児をしているほど、「1. よくある」の割合が高くなる傾向がみられます。



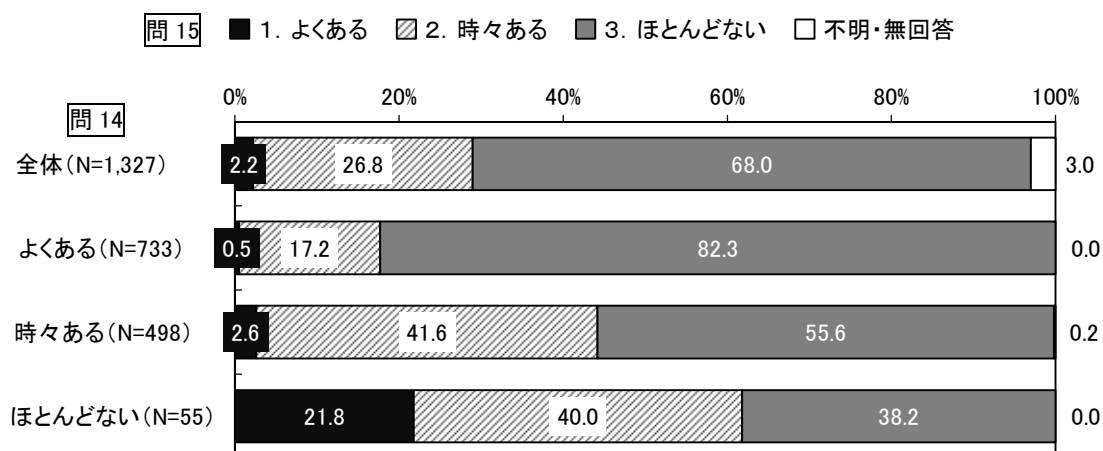
問 15 現在、お子さまを育てにくいと感じることがありますか。（○は1つ）

「3. ほとんどない」が68.0%と最も高く、次いで「2. 時々ある」が26.8%となっています。
平成20年と比較すると、「3. ほとんどない」が5.0ポイント低くなっています。



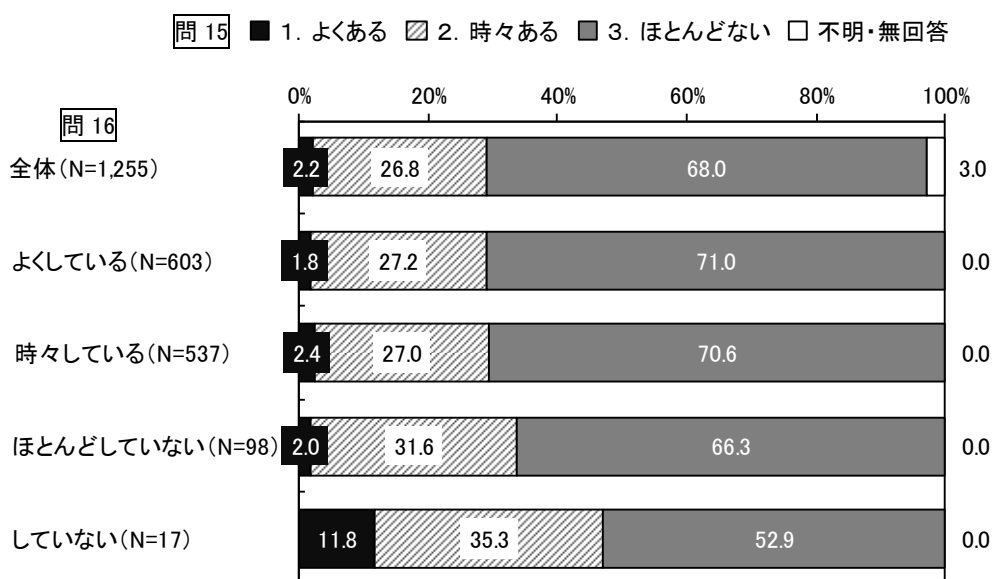
《問 15 子育てしにくいと感じるか × 問 14 ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間別》

子どもと過ごせる時間が『よくある』『時々ある』では、(子育てしにくいと感じることが)「3. ほとんどない」の割合が最も高くなっています。



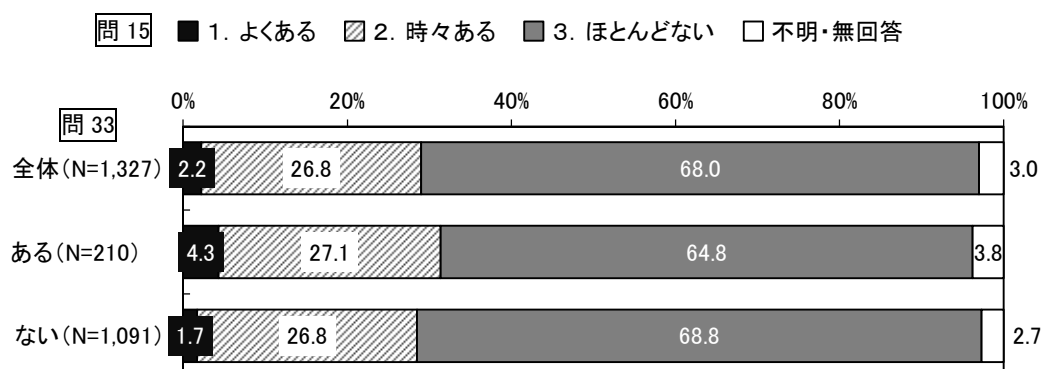
《問 15 子育てしにくいと感じるか × 問 16 夫（パートナー）の育児状況別》

夫（パートナー）が育児をしていないほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 15 子育てしにくいと感じるか × 問 33 子どもの食物アレルギーの有無別》

すべての区分で、(子育てしにくいと感じることが)「3. ほとんどない」の割合が最も高くなっています。

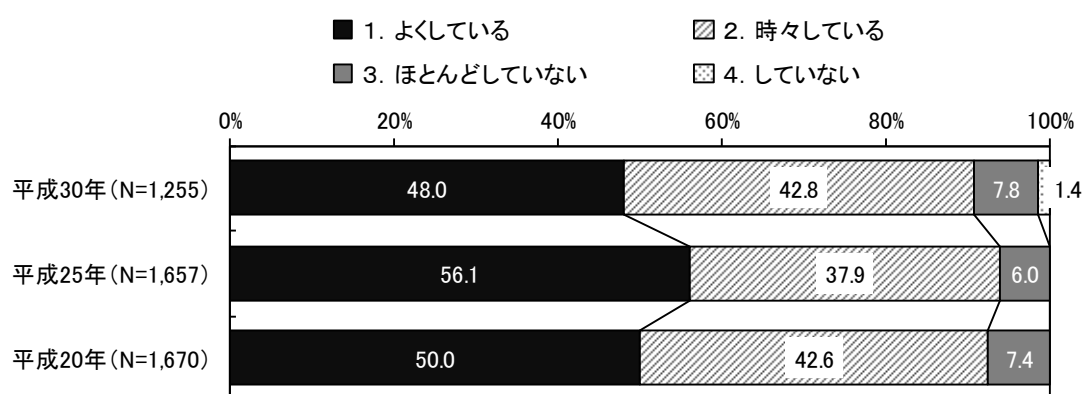


問 16 から問 19 までは、夫（パートナー）がいらっしゃる方

問 16 夫（パートナー）は育児をされますか。（○は1つ）

「1. よくしている」が48.0%と最も高く、次いで「2. 時々している」が42.8%、「3. ほとんどしていない」が7.8%となっています。

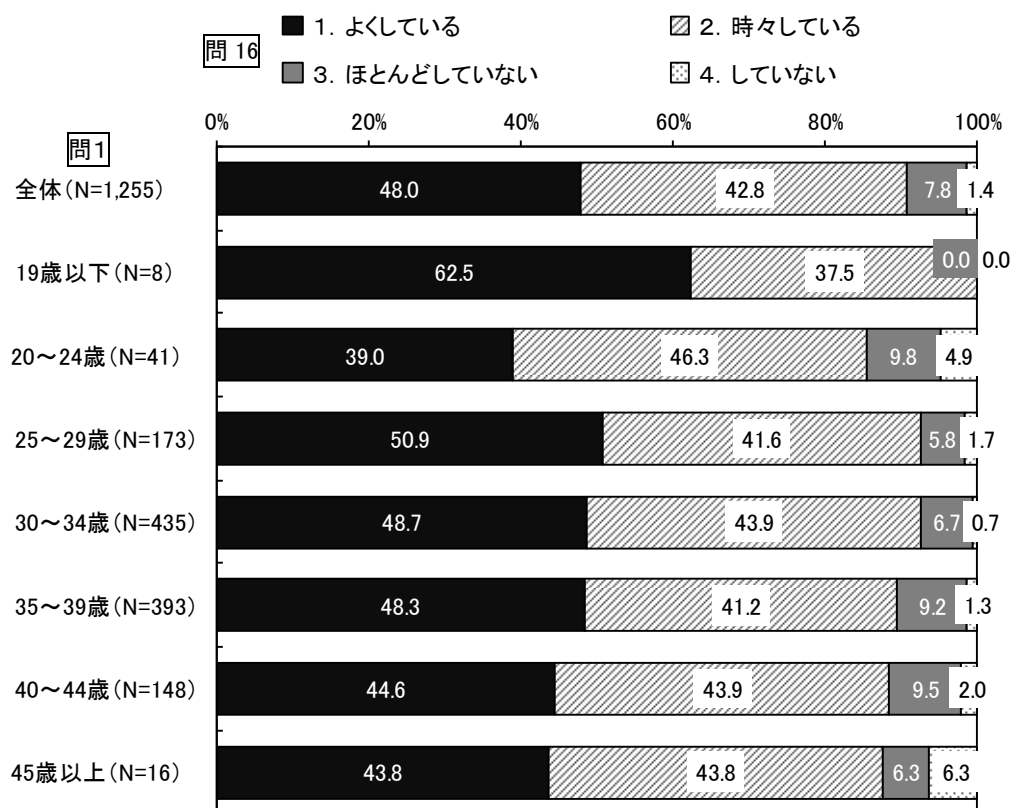
平成25年と比較すると、「1. よくしている」が8.1ポイント低くなっています。



※「4. していない」は平成30年のみの選択肢

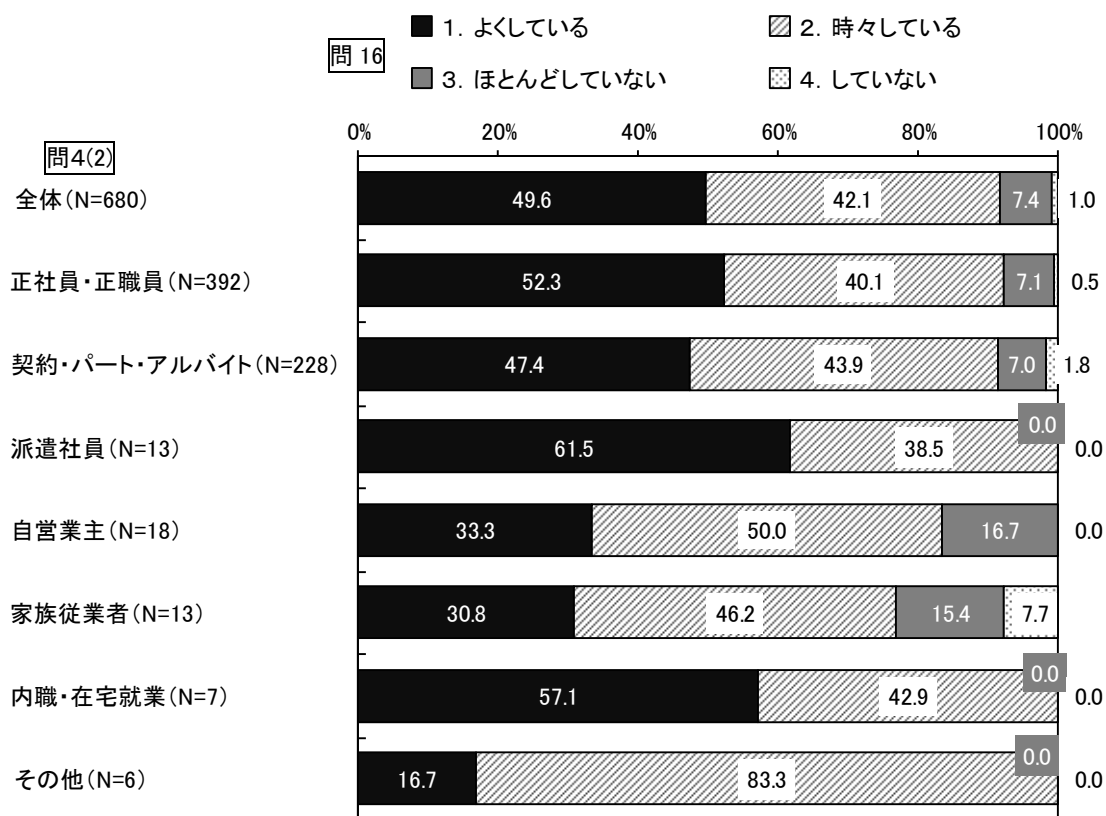
《問 16 夫（パートナー）の育児状況 × 問 1 年齢別》

『20～24 歳』『45 歳以上』を除くすべての区分で、「1. よくしている」の割合が最も高くなっています。また、『30～34 歳』を境に、年代が上がるほど『している（「1. よくしている」と「2. 時々している」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。



《問 16 夫（パートナー）の育児状況 × 問 4(2) 就労形態別》

『自営業主』『家族従業者』『その他』では「2. 時々している」、それ以外の区分では「1. よくしている」の割合が最も高くなっています。また、『自営業主』『家族従業者』では「3. ほとんどしていない」の割合が、他の区分に比べてやや高くなっています。

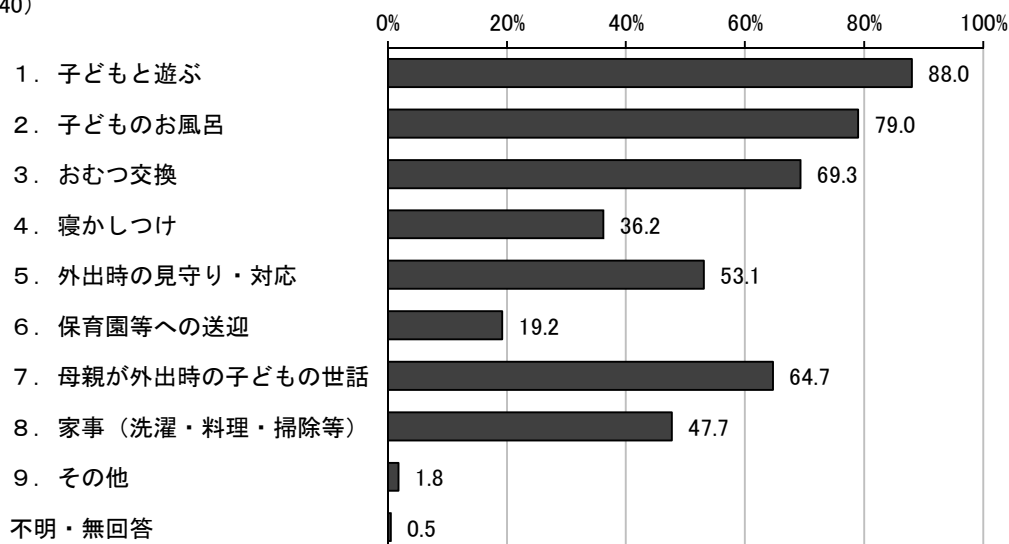


問 16 で「1」または「2」と答えた方

問 17 普段、夫（パートナー）がしている育児についてお答えください。（〇はいくつでも）

「1. 子どもと遊ぶ」が 88.0%と最も高く、次いで「2. 子どものお風呂」が 79.0%、「3. おむつ交換」が 69.3%となっています。

(N=1,140)

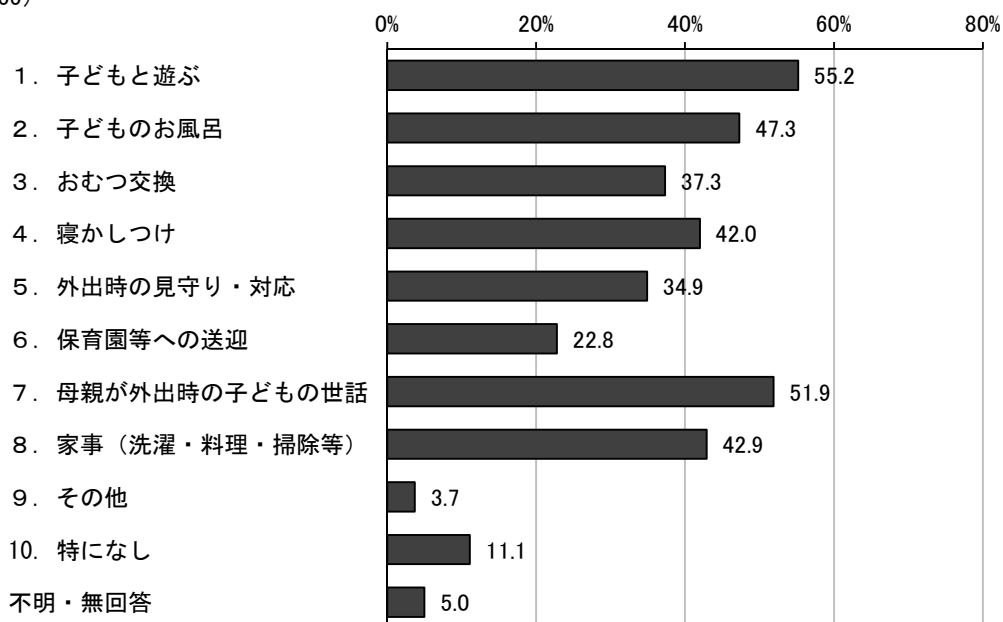


問 16 で「1～4」と答えた方

問 18 夫（パートナー）にしてもらいたい育児についてお答えください。（〇はいくつでも）

「1. 子どもと遊ぶ」が 55.2%と最も高く、次いで「7. 母親が外出時の子どもの世話」が 51.9%、「2. 子どものお風呂」が 47.3%となっています。

(N=1,255)



《問 18 夫（パートナー）にしてもらいたい育児 × 問 17 夫（パートナー）がしている育児別》

すべての区分で「子どもと遊ぶ」の割合が最も高く、次いで『保育園等への送迎』『その他』以外の区分では「母親が外出時の子どもの世話」の割合が高くなっています。

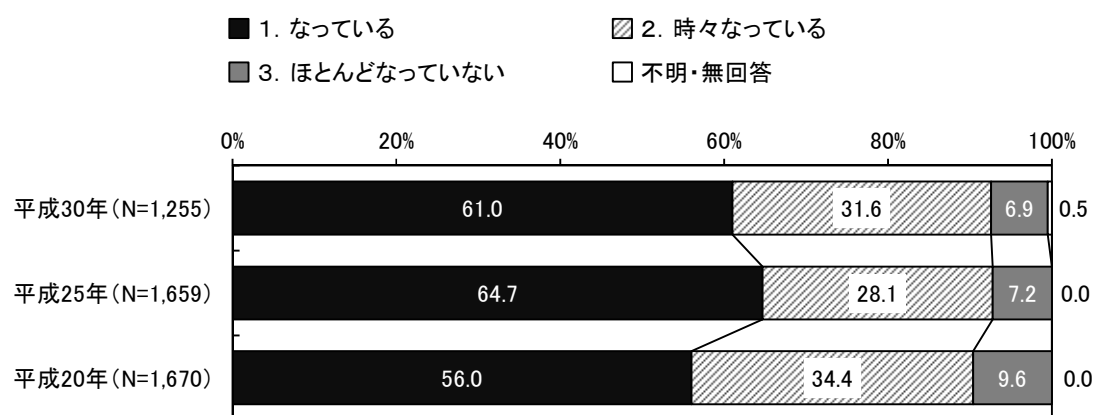
上段:件数 下段:%		合計	子どもと遊ぶ	子どものお風呂	おむつ交換	寝かしつけ	外出時の見守り・対応	保育園等への送迎
全 体		1,140 100.0	610 53.5	538 47.2	429 37.6	478 41.9	391 34.3	260 22.8
普 段 夫 （ パ ー ト ナ ー ） が し て い る 育 児 別	子どもと遊ぶ	1,003 100.0	517 51.5	473 47.2	390 38.9	433 43.2	360 35.9	232 23.1
	子どものお風呂	901 100.0	491 54.5	416 46.2	358 39.7	391 43.4	322 35.7	215 23.9
	おむつ交換	790 100.0	422 53.4	369 46.7	322 40.8	355 44.9	278 35.2	187 23.7
	寝かしつけ	413 100.0	222 53.8	189 45.8	160 38.7	164 39.7	147 35.6	110 26.6
	外出時の見守り・対応	605 100.0	319 52.7	285 47.1	244 40.3	270 44.6	265 43.8	153 25.3
	保育園等への送迎	219 100.0	118 53.9	108 49.3	84 38.4	98 44.7	85 38.8	92 42.0
	母親が外出時の子どもの世話	738 100.0	411 55.7	363 49.2	287 38.9	317 43.0	281 38.1	185 25.1
	家事（洗濯・料理・掃除等）	544 100.0	296 54.4	263 48.3	213 39.2	240 44.1	205 37.7	148 27.2
	その他	20 100.0	13 65.0	12 60.0	10 50.0	10 50.0	10 50.0	6 30.0

上段:件数 下段:%		合計	母親が外出時の子どもの世話	家事（洗濯・料理・掃除等）	その他	特になし	不明・無回答
全 体		1,140 100.0	582 51.1	496 43.5	43 3.8	129 11.3	63 5.5
普 段 夫 （ パ ー ト ナ ー ） が し て い る 育 児 別	子どもと遊ぶ	1,003 100.0	509 50.7	446 44.5	37 3.7	122 12.2	58 5.8
	子どものお風呂	901 100.0	466 51.7	407 45.2	37 4.1	115 12.8	51 5.7
	おむつ交換	790 100.0	399 50.5	364 46.1	33 4.2	112 14.2	46 5.8
	寝かしつけ	413 100.0	201 48.7	171 41.4	17 4.1	82 19.9	31 7.5
	外出時の見守り・対応	605 100.0	307 50.7	264 43.6	28 4.6	90 14.9	37 6.1
	保育園等への送迎	219 100.0	107 48.9	102 46.6	7 3.2	42 19.2	14 6.4
	母親が外出時の子どもの世話	738 100.0	373 50.5	333 45.1	30 4.1	104 14.1	45 6.1
	家事（洗濯・料理・掃除等）	544 100.0	284 52.2	244 44.9	22 4.0	86 15.8	32 5.9
	その他	20 100.0	12 60.0	9 45.0	7 35.0	4 20.0	1 5.0

問 19 夫（パートナー）はあなたの精神的な支えになっていますか。（○は1つ）

「1. なっている」が61.0%と最も高く、次いで「2. 時々なっている」が31.6%となっています。

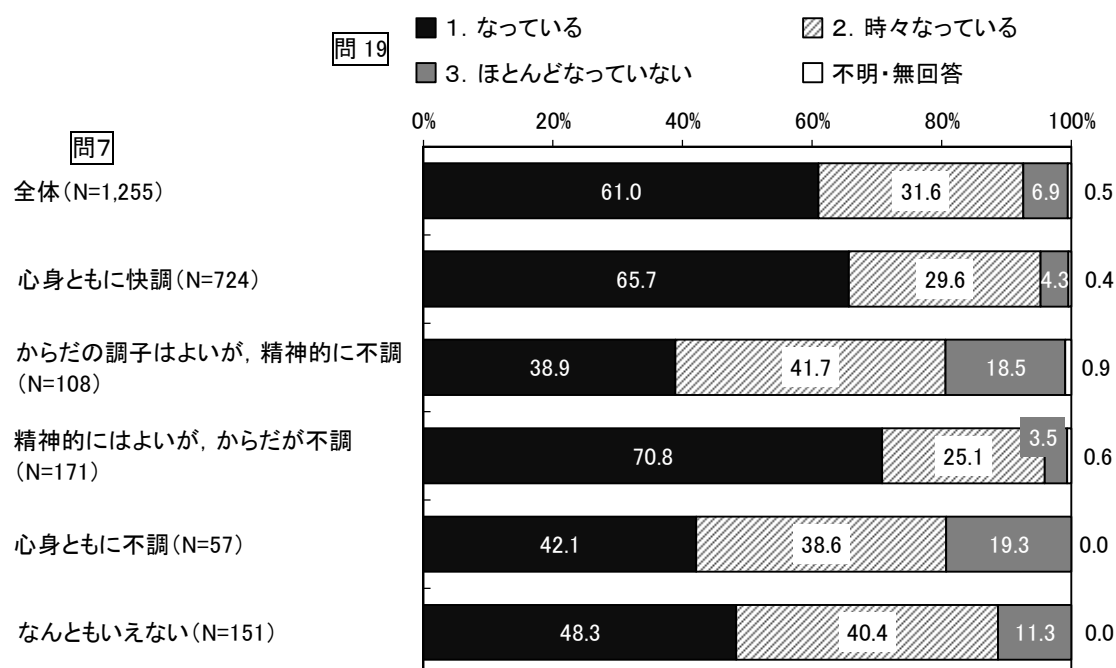
平成20年と比較すると、「1. なっている」が5.0ポイント高くなっています。



※平成30年は、問16「1」～「4」の回答者のみ

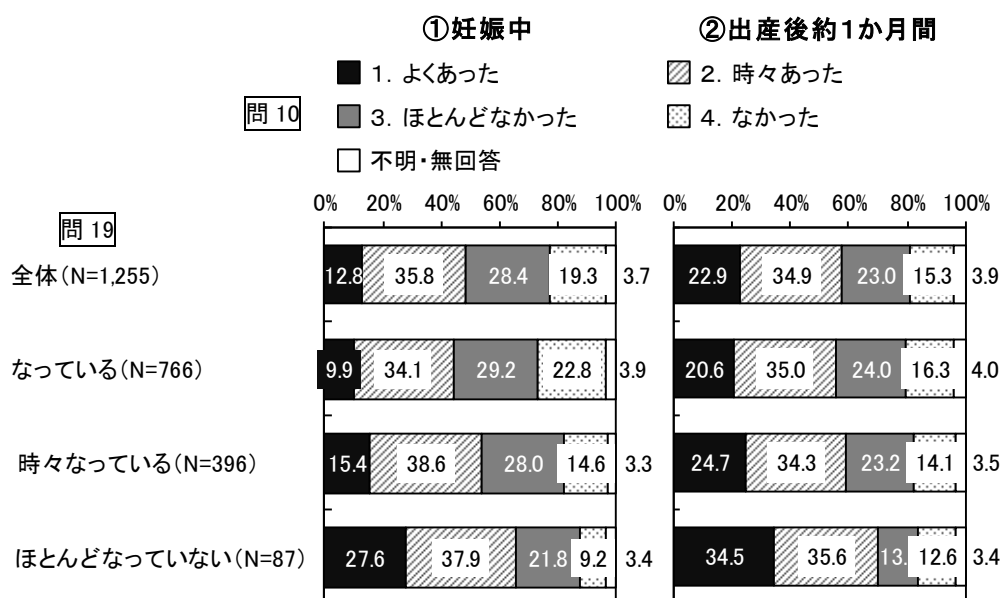
《問 19 夫（パートナー）は精神的な支えか × 問 7 現在の心身の調子別》

『からだの調子はよいが、精神的に不調』では、（精神的な支えに）「2. 時々なっている」の割合が最も高くなっています。それ以外の区分では（精神的な支えに）「1. なっている」の割合が最も高く、特に『心身ともに快調』『精神的にはよいが、からだの不調』では6～7割となっています。



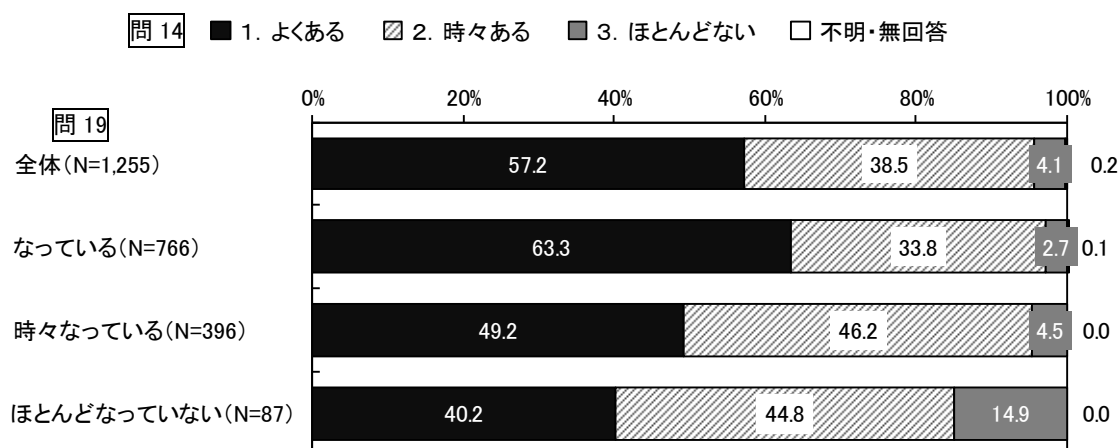
《問 10 精神的な落ち込みやイライラ感の頻度 × 問 19 夫（パートナー）の精神的な支え別》

①妊娠中，②出産後約1か月間ともに，精神的な支えに『なっている』ほど，精神的な落ち込みやイライラ感が『なかった』の割合が高くなる傾向がみられます。



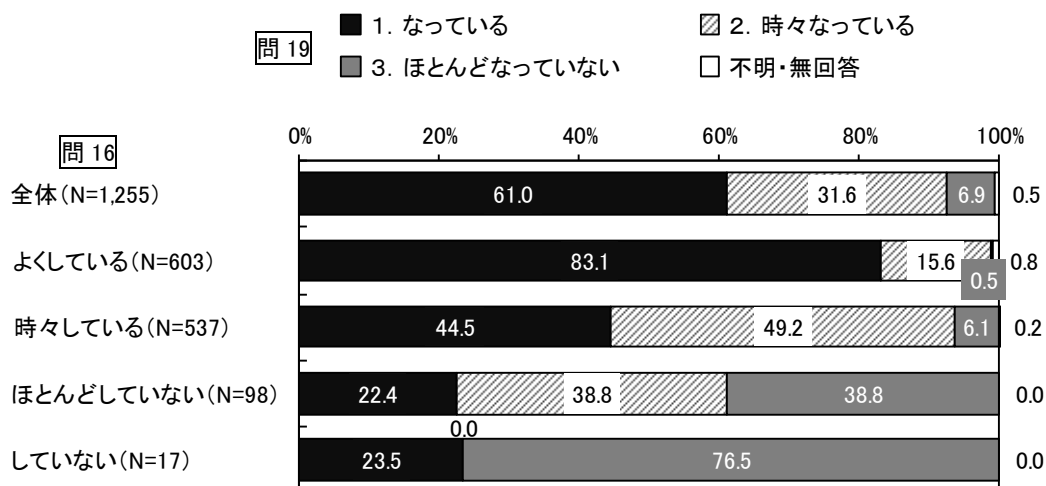
《問 14 ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間 × 問 19 夫（パートナー）の精神的な支え別》

精神的な支えに『なっている』ほど，ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間が『ある』の割合が高くなる傾向がみられます。



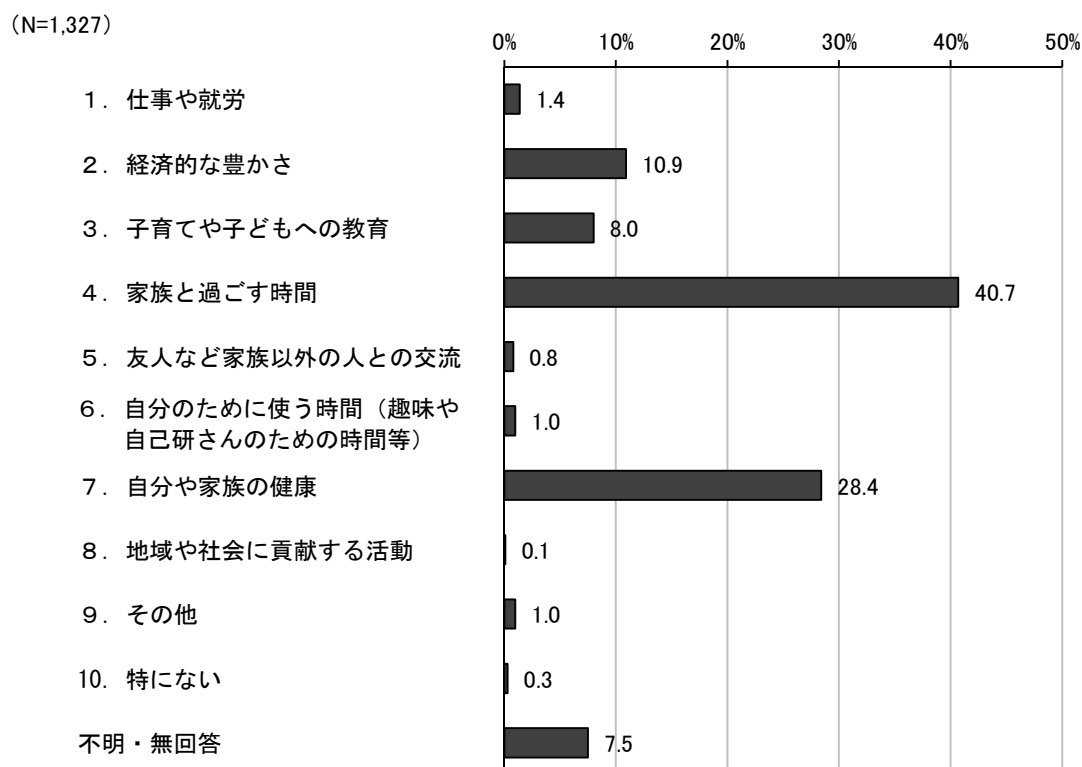
《問 19 夫（パートナー）は精神的な支えか × 問 16 夫（パートナー）の育児状況別》

夫（パートナー）が育児をしているほど、『なっている（「1. なっている」と「2. 時々なっている」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



問 20 あなたが生活で、最も重要だと考えていること（価値観）は何ですか。（○は1つ）

「4. 家族と過ごす時間」が 40.7%と最も高く、次いで「7. 自分や家族の健康」が 28.4%、「2. 経済的な豊かさ」が 10.9%となっています。



《問 20 生活で最も重要だと考えていること（価値観）× 問 5 世帯の昨年 1 年間の可処分所得別》

『0～100 万円』では「自分や家族の健康」の割合が最も高くなっています。また、『101 万～200 万円』では「経済的な豊かさ」の割合が、他の区分と比べてやや高くなっています。

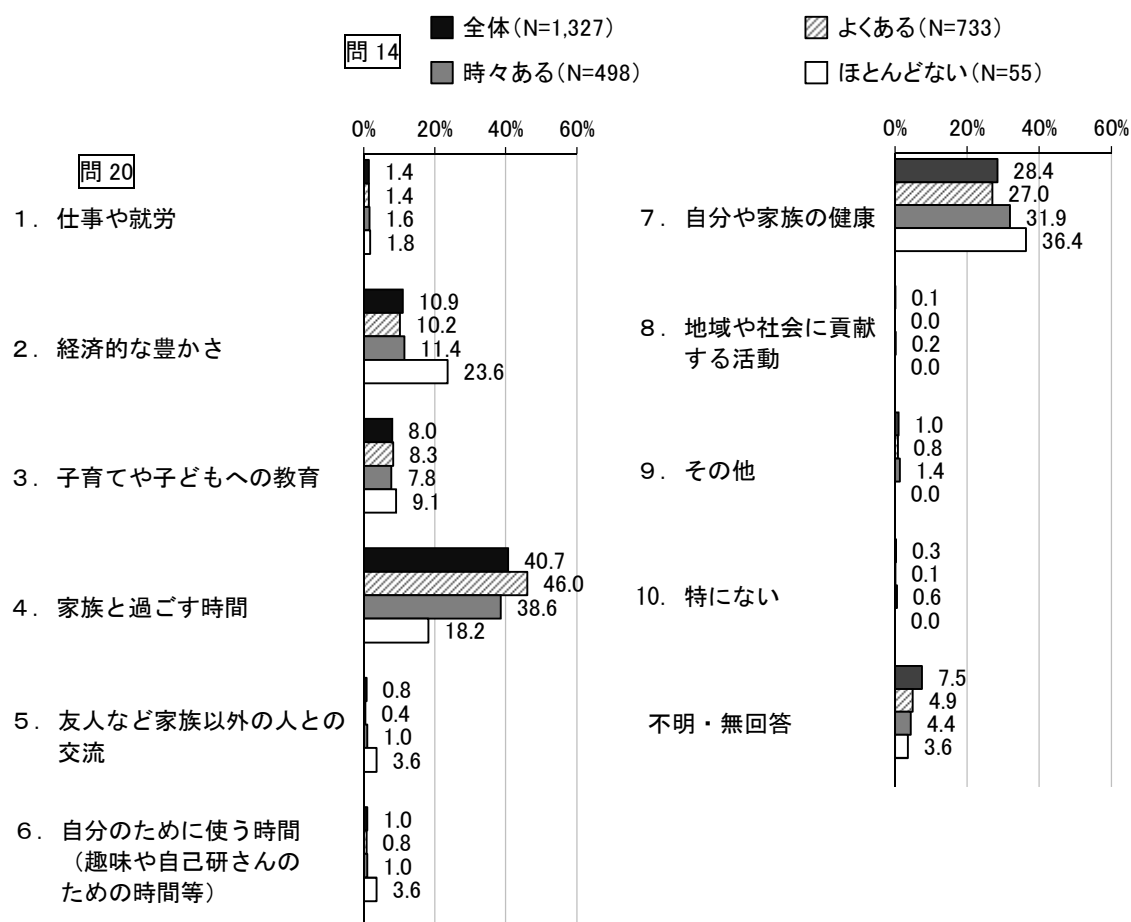
上段:件数 下段:%		合計	仕事や就労	経済的な豊かさ	子育てや子どもへの教育	家族と過ごす時間	友人など家族以外の人の交流	自分のために使う時間(趣味や自己研さんのための時間等)
全 体		1,327 100.0	19 1.4	145 10.9	106 8.0	540 40.7	10 0.8	13 1.0
世帯の可処分所得別	0～100万円	79 100.0	2 2.5	9 11.4	8 10.1	23 29.1	0 0.0	1 1.3
	101万～200万円	75 100.0	0 0.0	15 20.0	9 12.0	27 36.0	3 4.0	0 0.0
	201万～300万円	146 100.0	2 1.4	20 13.7	7 4.8	66 45.2	0 0.0	1 0.7
	301万～400万円	240 100.0	4 1.7	19 7.9	17 7.1	96 40.0	3 1.3	5 2.1
	401万～500万円	254 100.0	2 0.8	35 13.8	21 8.3	104 40.9	1 0.4	2 0.8
	501万～600万円	186 100.0	6 3.2	23 12.4	18 9.7	75 40.3	2 1.1	3 1.6
	601万～800万円	157 100.0	0 0.0	11 7.0	11 7.0	65 41.4	0 0.0	0 0.0
	801万～1,000万円	61 100.0	1 1.6	4 6.6	3 4.9	29 47.5	0 0.0	0 0.0
	1,001万円以上	43 100.0	1 2.3	0 0.0	7 16.3	17 39.5	0 0.0	1 2.3

上段:件数 下段:%		合計	自分や家族の健康	地域や社会に貢献する活動	その他	特にない	不明・無回答
全 体		1,327 100.0	377 28.4	1 0.1	13 1.0	4 0.3	99 7.5
世帯の可処分所得別	0～100万円	79 100.0	24 30.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 15.2
	101万～200万円	75 100.0	14 18.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 9.3
	201万～300万円	146 100.0	36 24.7	1 0.7	2 1.4	0 0.0	11 7.5
	301万～400万円	240 100.0	72 30.0	0 0.0	6 2.5	1 0.4	17 7.1
	401万～500万円	254 100.0	70 27.6	0 0.0	2 0.8	2 0.8	15 5.9
	501万～600万円	186 100.0	49 26.3	0 0.0	2 1.1	0 0.0	8 4.3
	601万～800万円	157 100.0	58 36.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 7.6
	801万～1,000万円	61 100.0	19 31.1	0 0.0	1 1.6	1 1.6	3 4.9
	1,001万円以上	43 100.0	12 27.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 11.6

《問 20 生活で最も重要だと考えていること（価値観）×

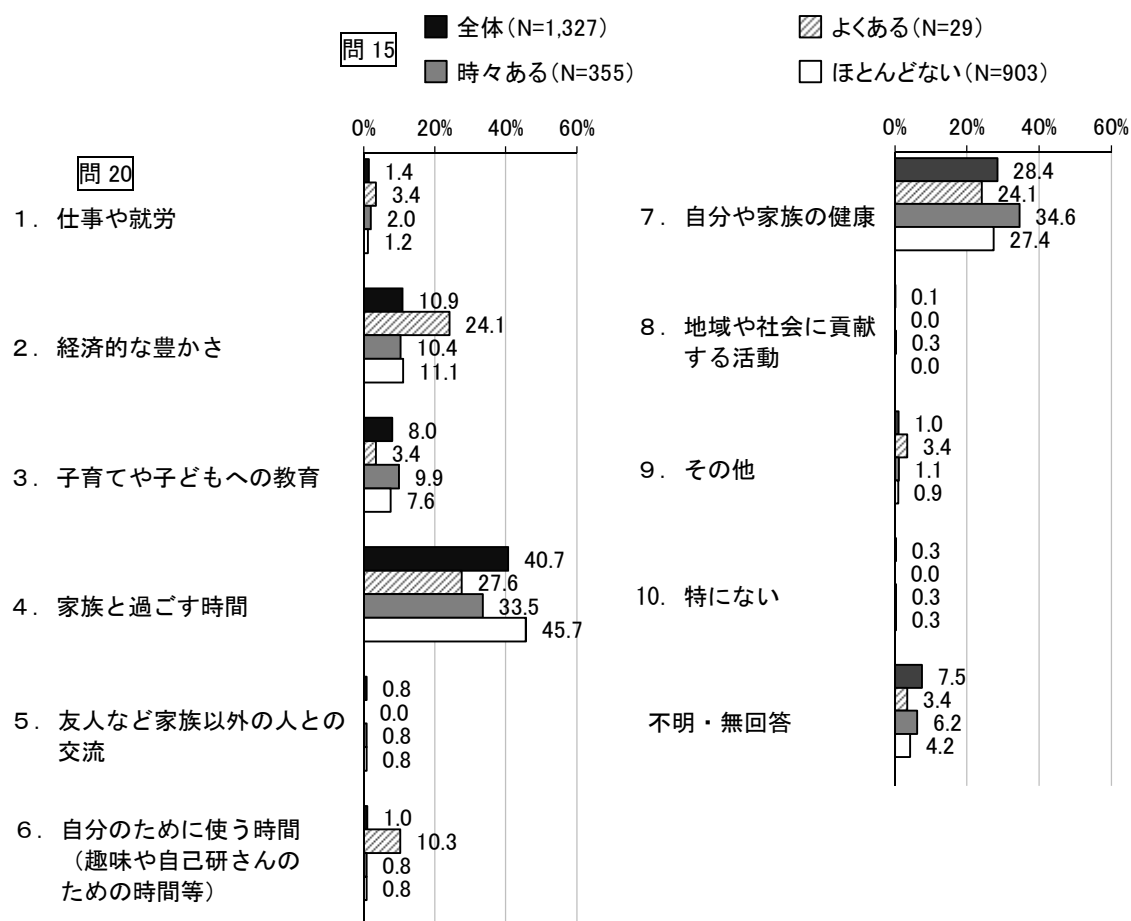
問 14 ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間別》

子どもと過ごせる時間が『ほとんどない』では「7. 自分や家族の健康」、それ以外の区分では「4. 家族と過ごす時間」の割合が最も高くなっています。また、子どもと過ごせる時間が『ほとんどない』では「2. 経済的な豊かさ」の割合が、他の区分と比べてやや高くなっています。



《問 20 生活で最も重要だと考えていること（価値観）× 問 15 子育てしにくいと感じるか別》

子育てしにくいと感じることが『時々ある』では「7. 自分や家族の健康」、それ以外の区分では「4. 家族と過ごす時間」の割合が最も高くなっています。また、子育てしにくいと感じることが『よくある』では「2. 経済的な豊かさ」の割合が、他の区分と比べてやや高くなっています。

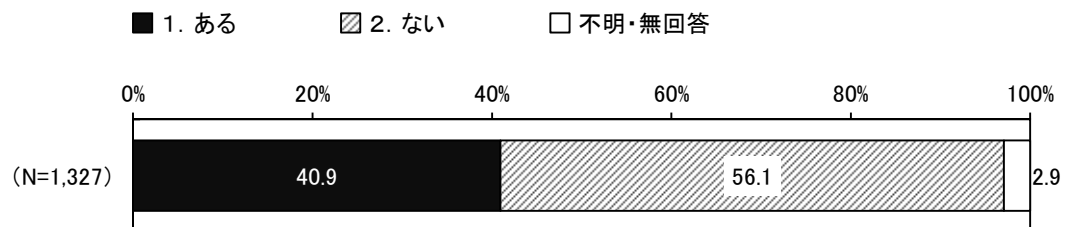


4 子どもの事故予防について

問 21(1) 今までにお子さまが家庭内での事故にあったことがありますか。(○は1つ)

※家庭内での事故とは、転落、衝突、やけど、誤飲、溺（おぼ）れる、挟（はさ）む、切る・刺すなどの事故を指します。

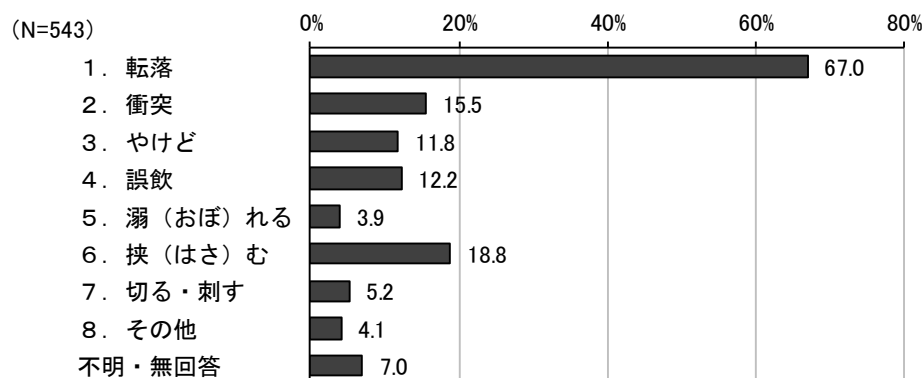
「1. ある」が40.9%、「2. ない」が56.1%となっています。



問 21(1)で「1. ある」と答えた方

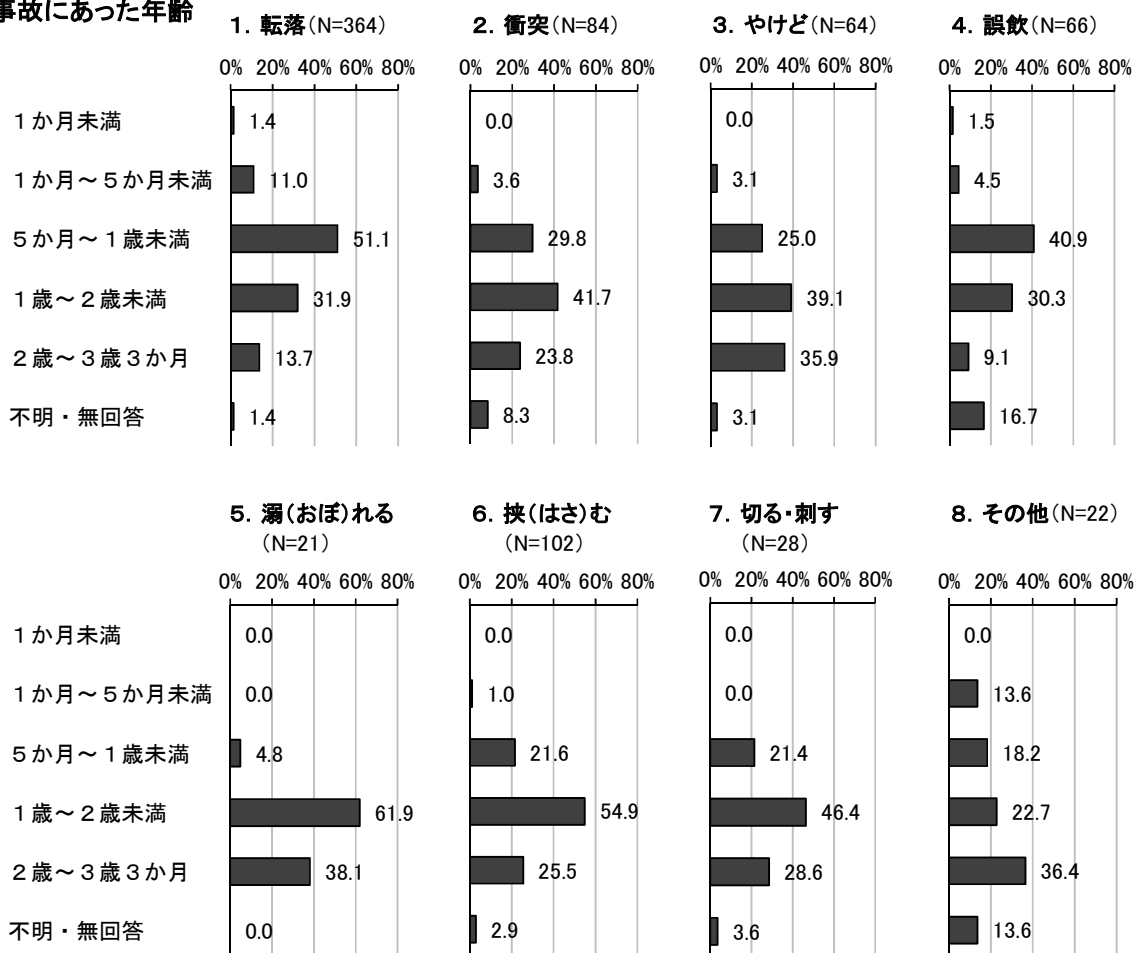
問 21(2) 事故の内容の番号を選択いただき、事故にあった年齢を（ ）に記入してください。
（〇はいくつでも）

「1. 転落」が67.0%と最も高く、次いで「6. 挟（はさ）む」が18.8%、「2. 衝突」が15.5%となっています。



事故にあった年齢では、[1. 転落]、[4. 誤飲]では「5か月～1歳未満」がそれぞれ51.1%、40.9%と最も高く、[2. 衝突] [3. やけど] [5. 溺（おぼ）れる] [6. 挟（はさ）む] [7. 切る・刺す]では「1歳～2歳未満」がそれぞれ41.7%、39.1%、61.9%、54.9%、46.4%と最も高くなっています。

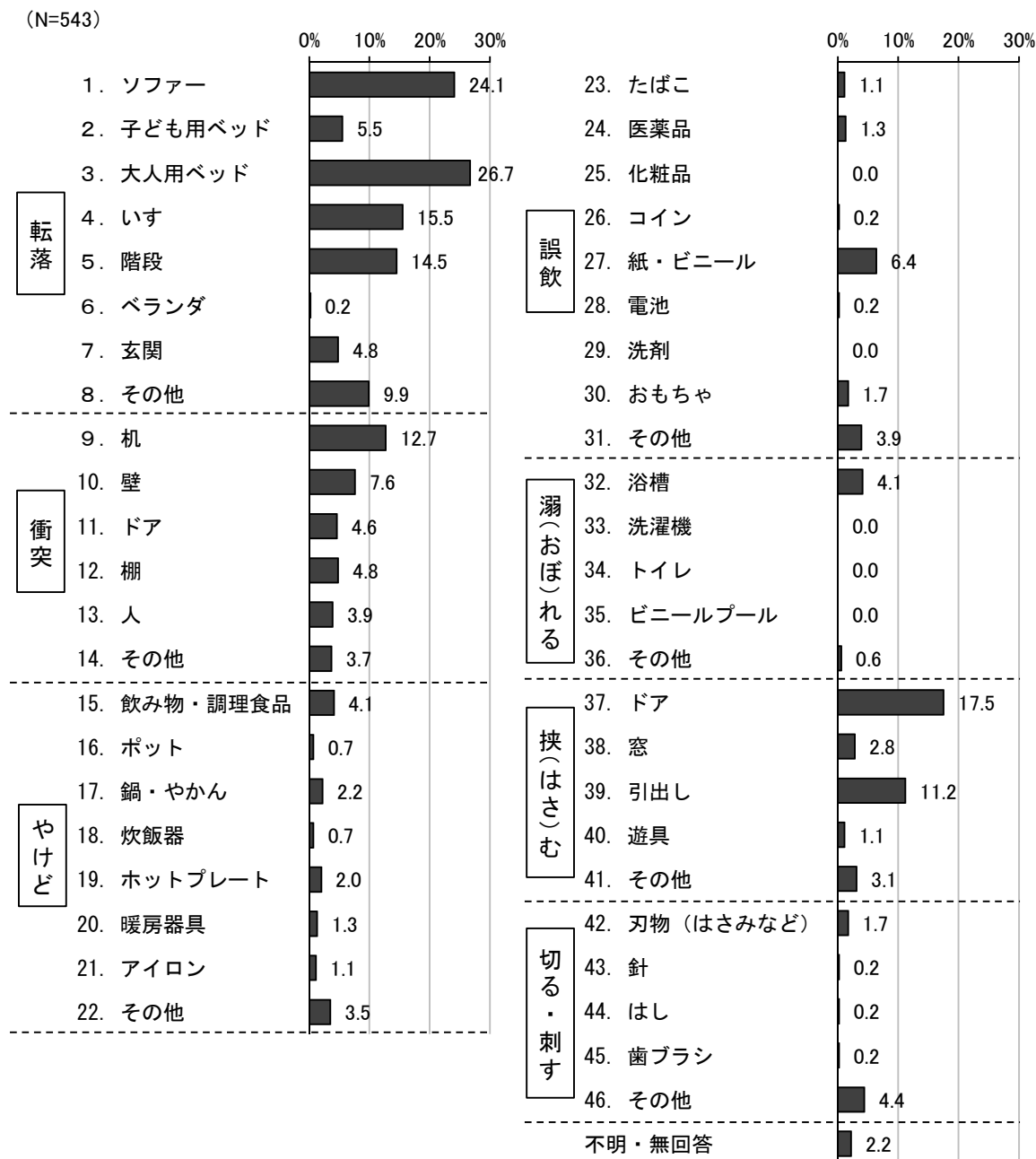
◆事故にあった年齢



問 21(1)で「1. ある」と答えた方

問 21(3) 事故が起こった場所や原因と思われるものは何ですか。(〇はいくつでも)

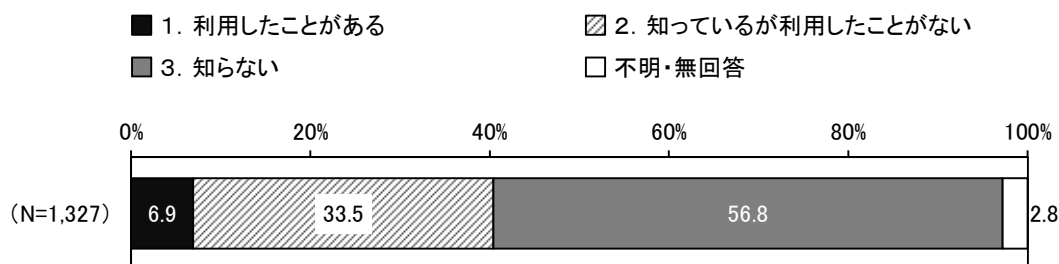
「転落」については、「3. 大人用ベッド」が 26.7%と最も高く、次いで「1. ソファー」が 24.1%、「4. いす」が 15.5%となっています。



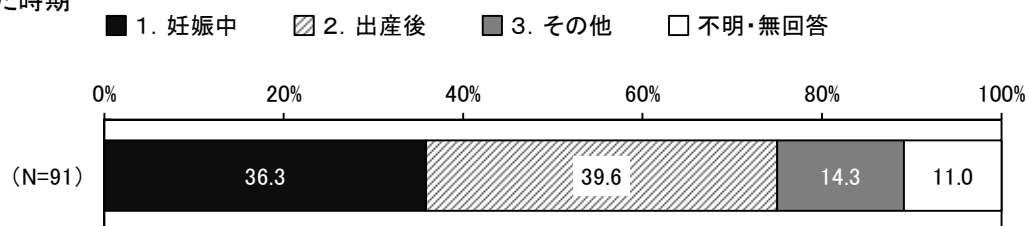
問 22(1) 京（みやこ）あんしんこども館（京都市子ども保健医療相談・事故防止センター）を知っていますか。また、利用したことがありますか。（○は1つ）
利用したことがある場合は、その時期を選択してください。

「3. 知らない」が56.8%と最も高く、次いで「2. 知っているが利用したことがない」が33.5%となっています。

利用した時期では、「2. 出産後」が39.6%と最も高く、次いで「1. 妊娠中」が36.3%となっています。

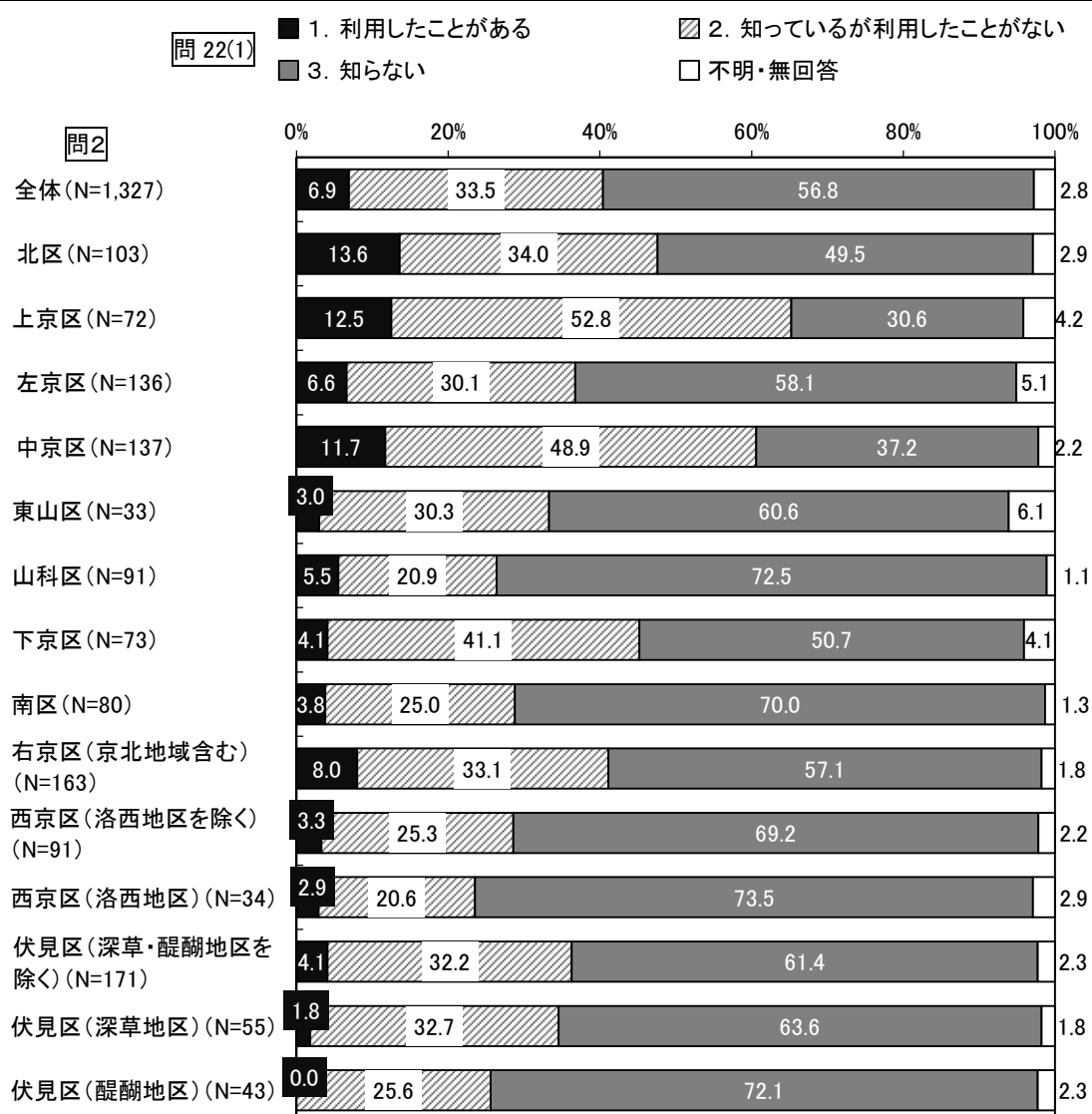


◆利用した時期



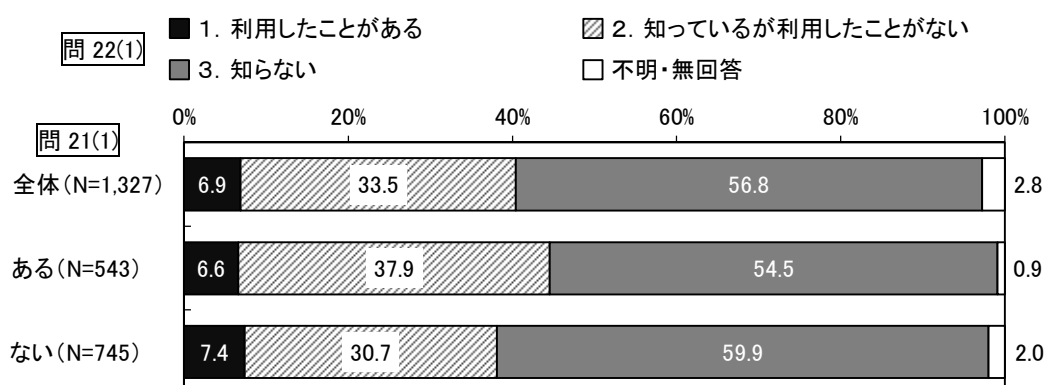
《問 22(1) 京（みやこ）あんしん子ども館の認知度 × 問 2 居住区別》

『上京区』『中京区』では「2. 知っているが利用したことがない」、それ以外の区分では「3. 知らない」の割合が最も高くなっています。



《問 22(1) 京（みやこ）あんしん子ども館の認知度 × 問 21(1) 子どもの家庭内での事故の有無別》

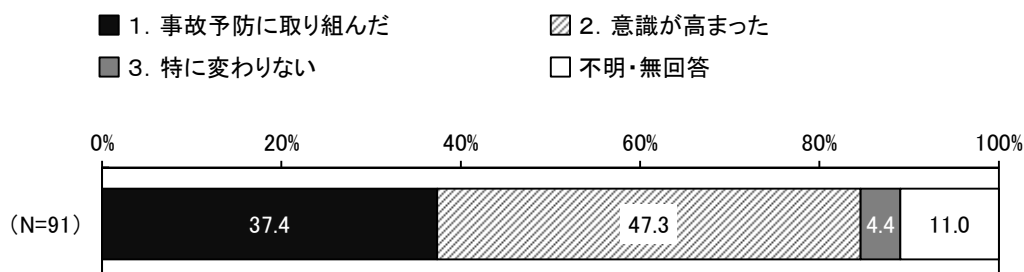
すべての区分で「3. 知らない」の割合が最も高く、次いで「2. 知っているが利用したことがない」となっています。



問 22(1)で「1. 利用したことがある」と答えた方

問 22(2) 利用してから事故予防に関する意識が変わりましたか。(○は1つ)

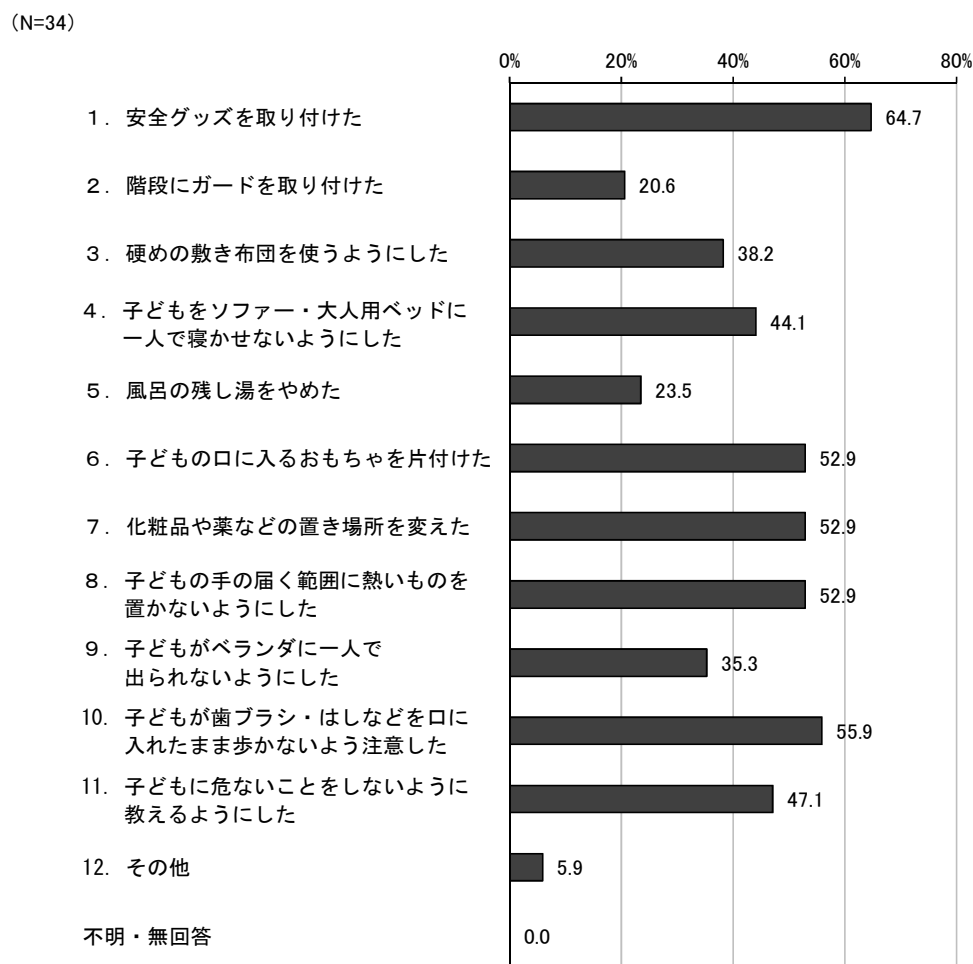
「2. 意識が高まった」が47.3%と最も高く、次いで「1. 事故予防に取り組んだ」が37.4%となっています。



問 22(2)で「1. 事故予防に取り組んだ」と答えた方

問 22(3) 取り組んだ内容についてお答えください。(○はいくつでも)

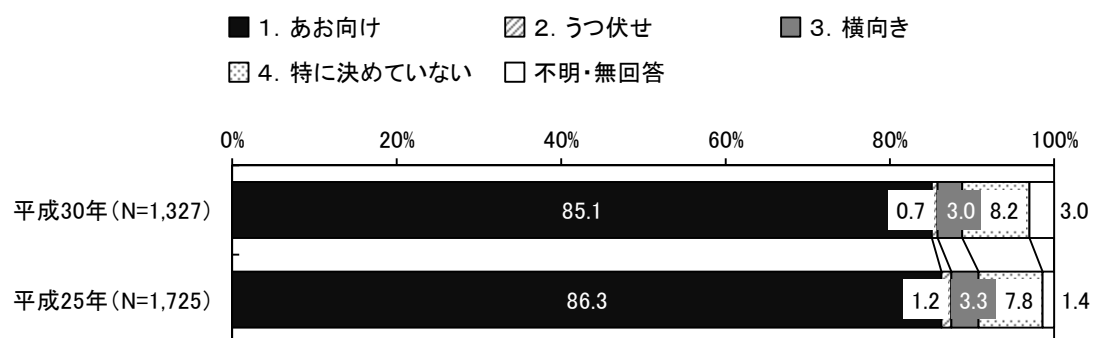
「1. 安全グッズを取り付けた」が64.7%と最も高く、次いで「10. 子どもが歯ブラシ・はしなどを口に入れたまま歩かないよう注意した」が55.9%となっています。



問 23 お子さまが寝返りできるまでは、どのように寝かせていましたか。寝返りがまだの場合はどのように寝かせていますか。(〇は1つ)

「1. あお向け」が85.1%と最も高く、次いで「4. 特に決めていない」が8.2%、「3. 横向き」が3.0%となっています。

平成25年と比較すると、「2. うつ伏せ」が0.5ポイント低くなっています。

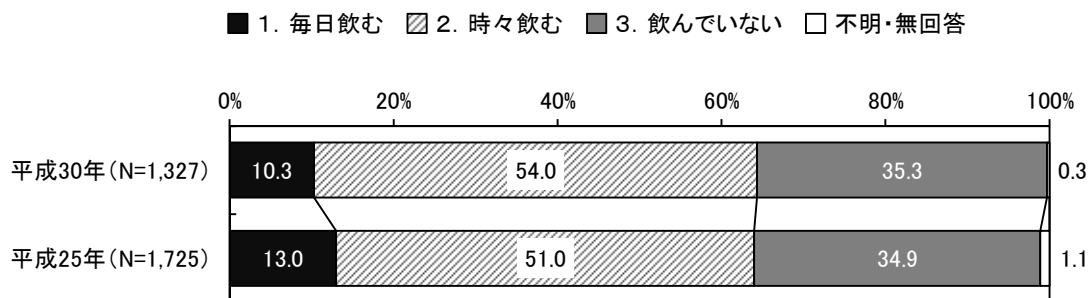


5 飲酒や喫煙について

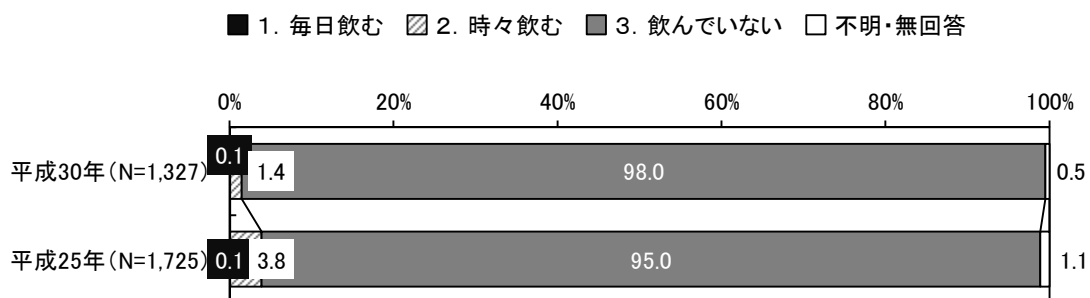
問 24 あなたはお酒を飲みますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

①妊娠前では「2. 時々飲む」が54.0%と最も高く、次いで「3. 飲んでいない」が35.3%となっています。②妊娠中、③出産後（現在）では、「3. 飲んでいない」がそれぞれ98.0%, 75.7%と最も高く、次いで「2. 時々飲む」がそれぞれ1.4%, 20.7%となっています。

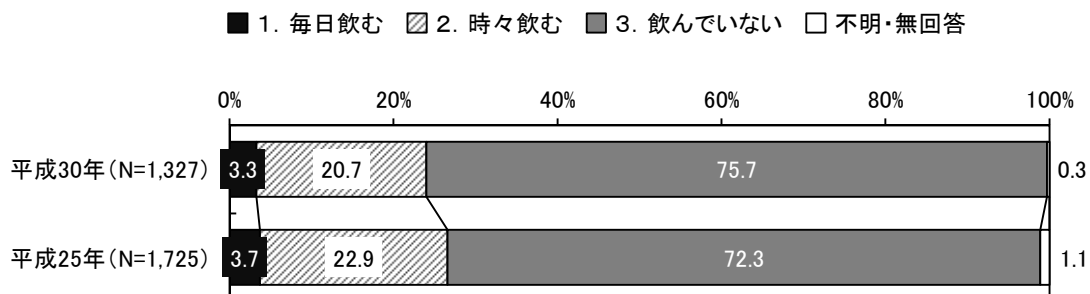
①妊娠前



②妊娠中

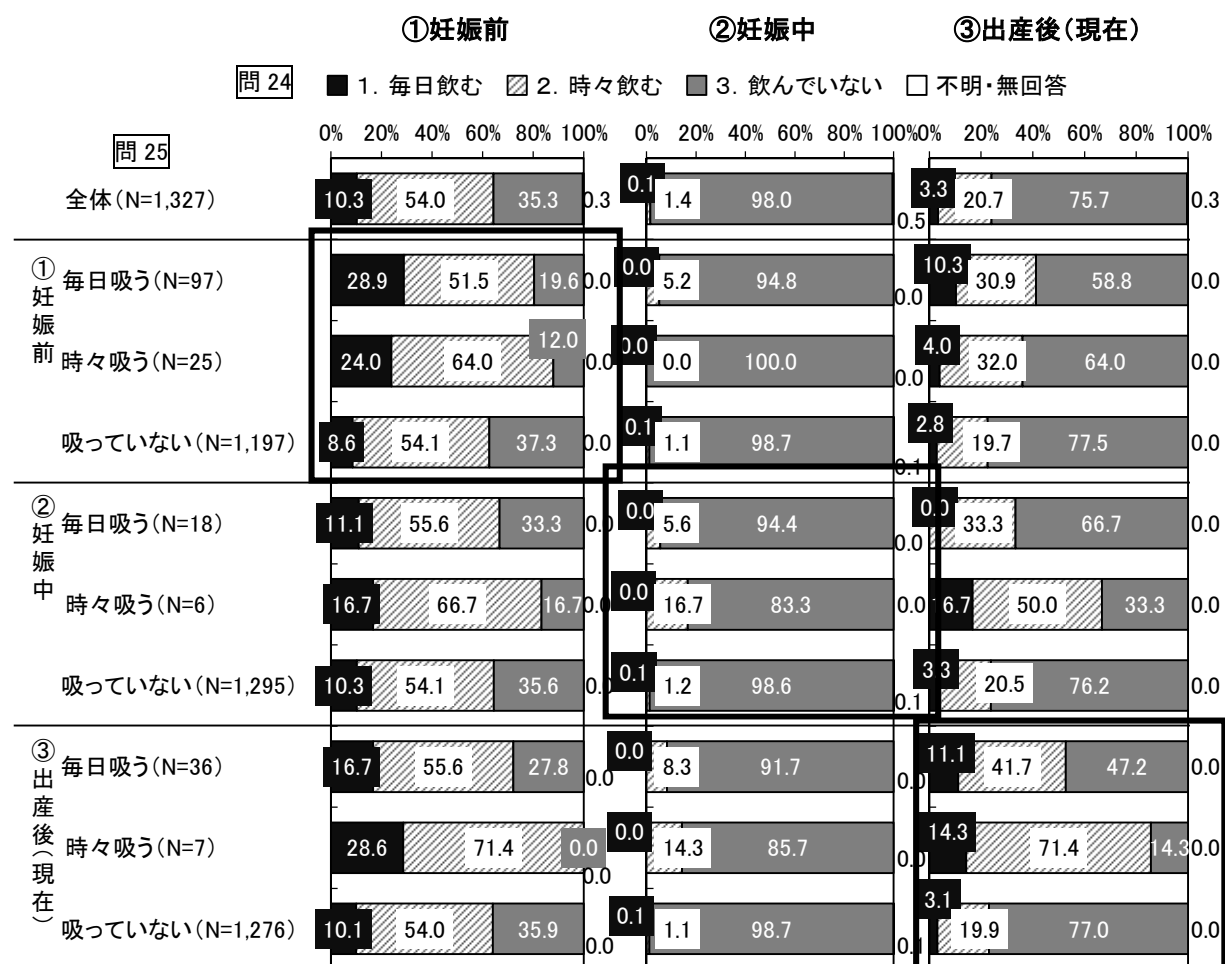


③出産後（現在）



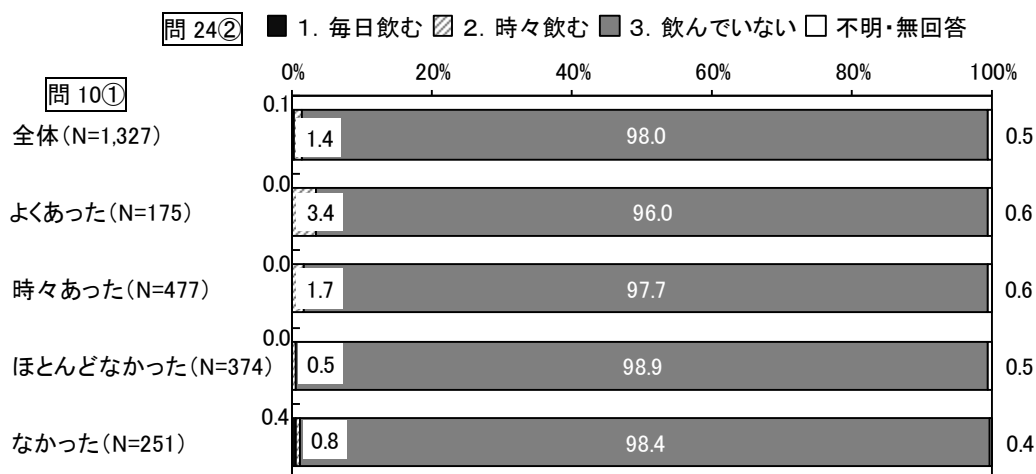
《問 24 飲酒状況 × 問 25 喫煙状況別》

①妊娠前③出産後の「毎日吸う」「時々吸う」では、「毎日飲む」「時々飲む」の割合が半数を超えています。②妊娠中は『飲む』の割合が低くなっているものの、「時々吸う」で『飲む』の割合が他の区分に比べてやや高くなっています。



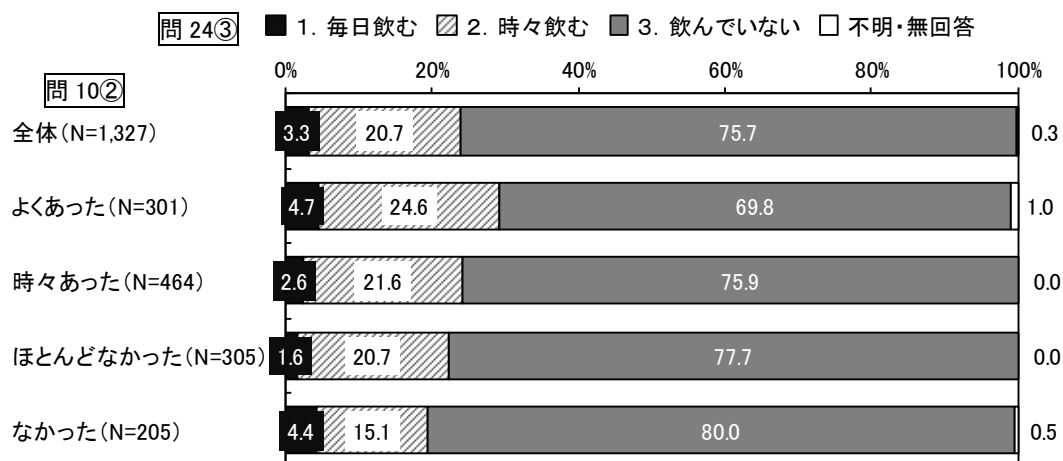
《問 24② 妊娠中の飲酒状況 × 問 10① 妊娠中の落ち込みやイライラ感の頻度別》

妊娠中の落ち込みやイライラ感があったほど、妊娠中の『飲む（「1. 毎日飲む」と「2. 時々飲む」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 24③ 出産後の飲酒状況 × 問 10② 出産後の落ち込みやイライラ感の頻度別》

出産後の落ち込みやイライラ感があったほど、出産後の『飲む（「1. 毎日飲む」と「2. 時々飲む」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



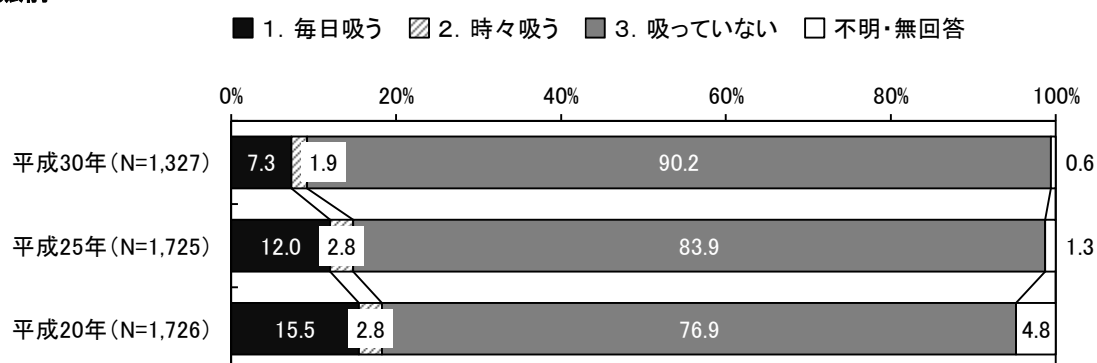
問 25 あなたはたばこを吸いますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

「1. 毎日吸う」場合は、1日に吸う本数を()にご記入ください。

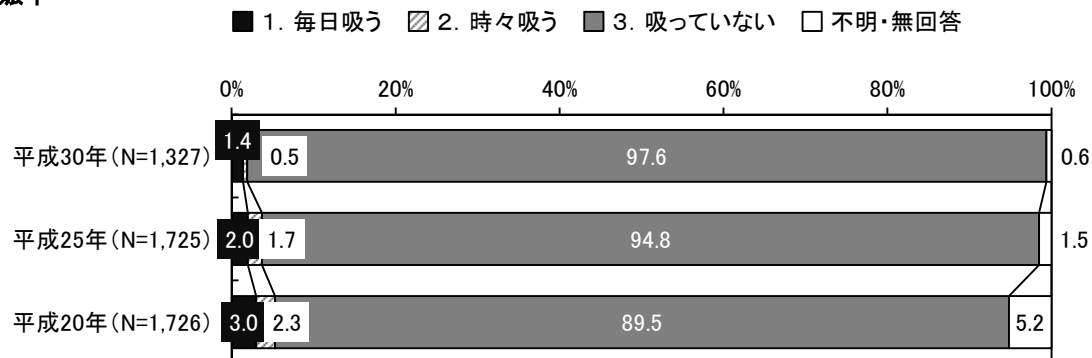
①妊娠前、②妊娠中、③出産後(現在)ともに「3. 吸っていない」が最も高く、それぞれ90.2%、97.6%、96.2%となっています。

平成20年と比較すると、「3. 吸っていない」は①妊娠前では13.3ポイント、②妊娠中は8.1ポイント、③出産後(現在)では9.4ポイント高くなっています。また、①妊娠前では、「1. 毎日吸う」が8.2ポイント低くなっており、妊娠前の喫煙者が少なくなっていることが分かりますが、「1. 毎日吸う」と「2. 時々吸う」を合わせた割合は妊娠中に一旦低下し、出産後に高くなっています。

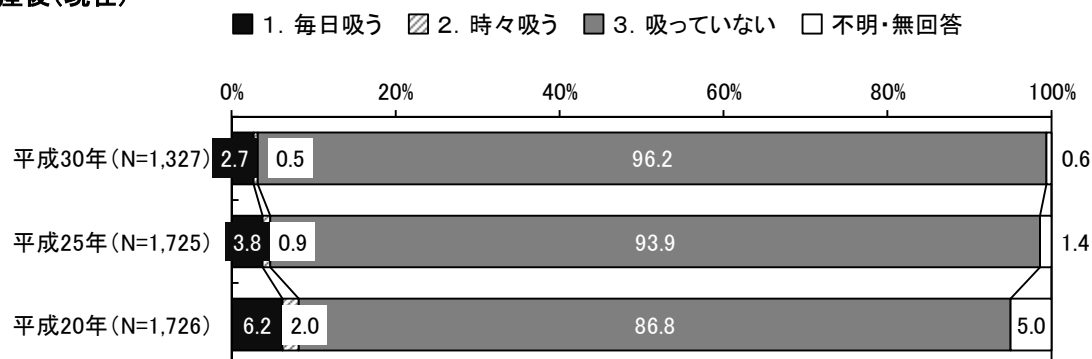
①妊娠前



②妊娠中



③出産後(現在)



毎日吸う方の1日に吸う本数については、①妊娠前と②妊娠中では「10～14本」がそれぞれ39.2%、33.3%と最も高く、③出産後（現在）では「20本以上」が38.9%と最も高くなっています。

◆毎日吸う方の1日に吸う本数

1日に吸う 本数	①妊娠前(N=97)		②妊娠中(N=18)		③出産後(現在)(N=36)	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1～4本	1	1.0	1	5.6	3	8.3
5～9本	10	10.3	3	16.7	4	11.1
10～14本	38	39.2	6	33.3	12	33.3
15～19本	11	11.3	3	16.7	3	8.3
20本以上	36	37.1	4	22.2	14	38.9
不明・無回答	1	1.0	1	5.6	0	0.0

同居の方がいらっしゃる方

問 26 同居の方はたばこを吸いますか。(〇はそれぞれ1つつつ)

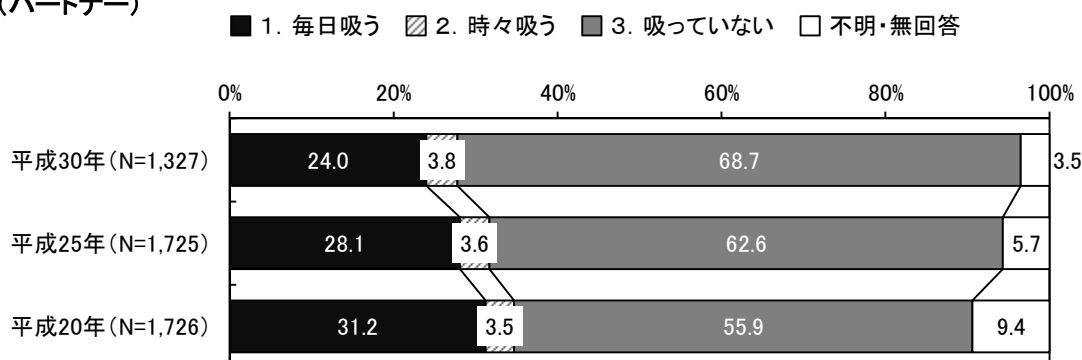
「1. 毎日吸う」場合は、1日に吸う本数を()にご記入ください。

①夫(パートナー)では、「3. 吸っていない」が68.7%と最も高く、次いで「1. 毎日吸う」が24.0%となっています。過去調査と比較すると、①夫(パートナー)では平成20年よりも「1. 毎日吸う」が7.2ポイント低く、「3. 吸っていない」が12.8ポイント高くなっています。

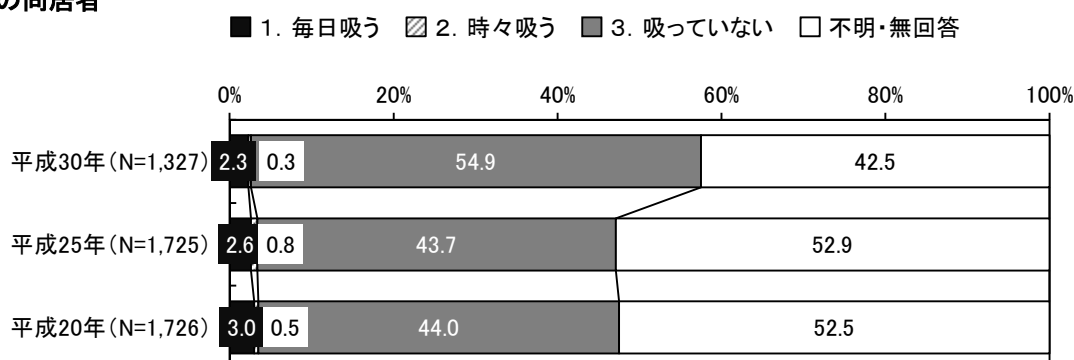
②他の同居者では、「3. 吸っていない」が54.9%と最も高く、次いで「1. 毎日吸う」が2.3%となっています。過去調査と比較すると、「3. 吸っていない」が平成25年よりも11.2ポイント、平成20年よりも10.9ポイント高くなっています。

毎日吸う方の1日に吸う本数については、①夫(パートナー)、②他の同居者ともに「10～14本」がそれぞれ32.0%、30.0%と最も高くなっています。

①夫(パートナー)



②他の同居者

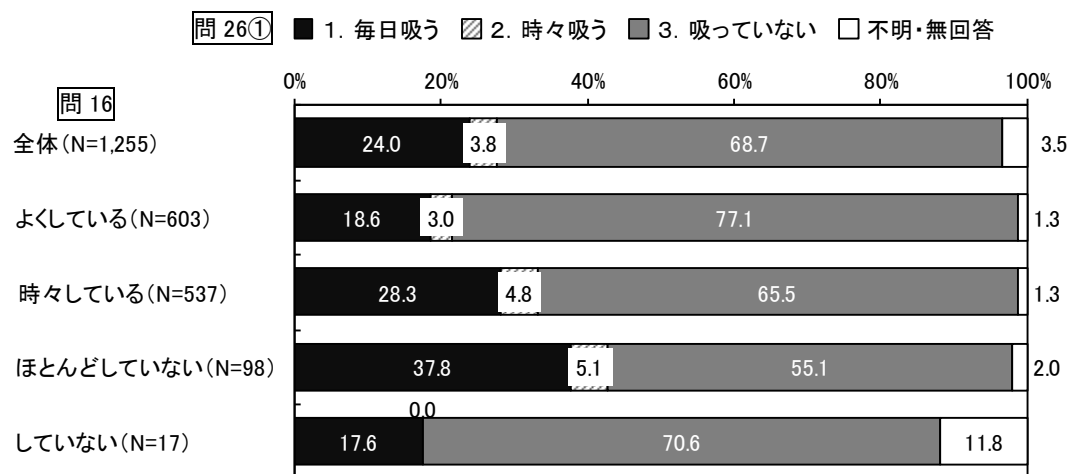


◆毎日吸う方の1日に吸う本数

1日に吸う 本数	①夫(パートナー) (N=319)		②他の同居者 (N=30)	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
1～4本	17	5.3	2	6.7
5～9本	46	14.4	6	20.0
10～14本	102	32.0	9	30.0
15～19本	39	12.2	4	13.3
20本以上	97	30.4	7	23.3
不明・無回答	18	5.6	2	6.7

《問 26① 夫（パートナー）の喫煙状況 × 問 16 夫（パートナー）の育児状況別》

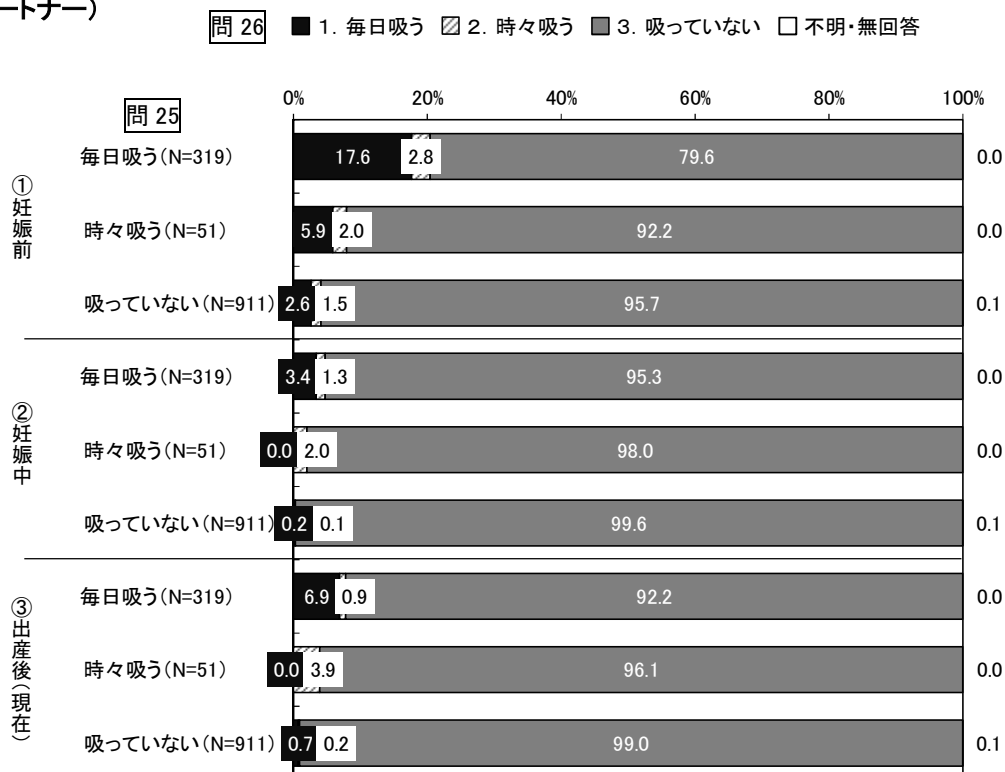
夫（パートナー）が育児をしているほど、「3. 吸っていない」の割合が高くなる傾向がみられます。



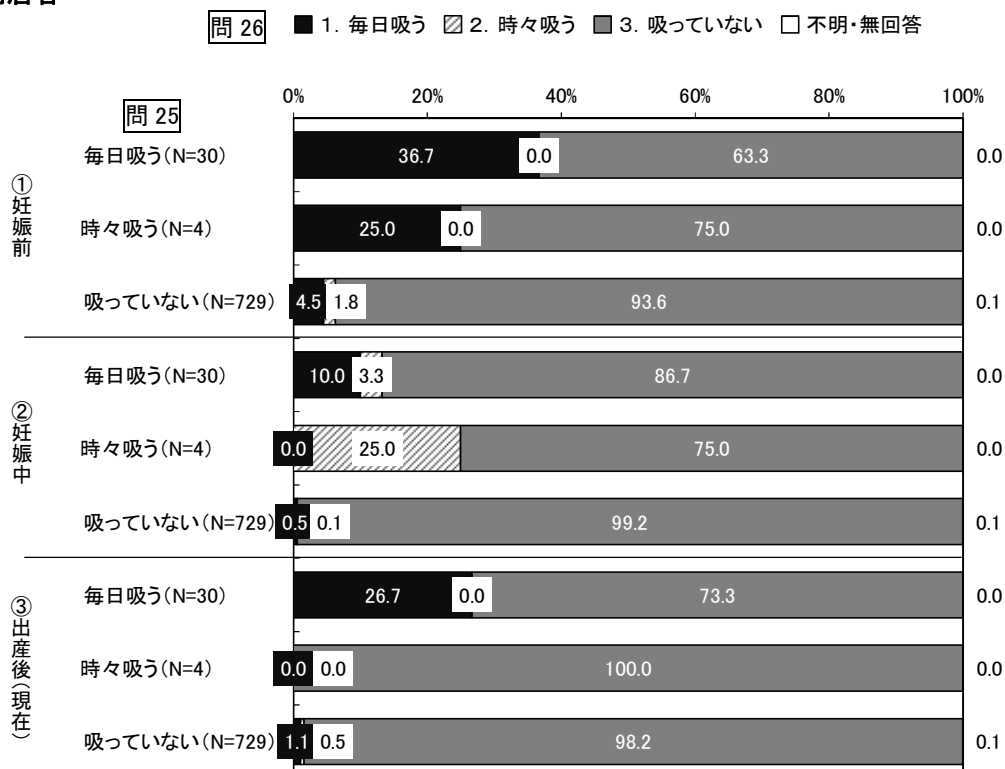
《問 25 喫煙状況 × 問 26 同居人の喫煙状況別》

①夫（パートナー）の『毎日吸う』では、①妊娠前、②妊娠中、③出産後（現在）の喫煙で「1. 毎日吸う」の割合が、他の区分に比べて高く、②他の同居者においても同様の傾向がみられます。

①夫（パートナー）



②他の同居者



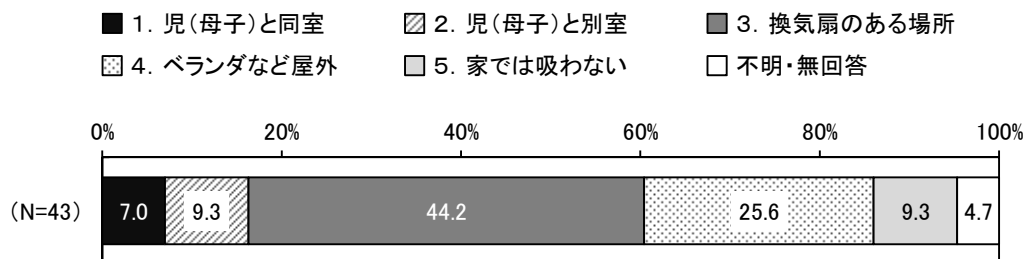
問 25 で③出産後にたばこを「1. 毎日吸う」または「2. 時々吸う」と答えた方、問 26 で同居の方が「1. 毎日吸う」または「2. 時々吸う」と答えた方

問 27 たばこを吸われる時は、どこで吸われますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

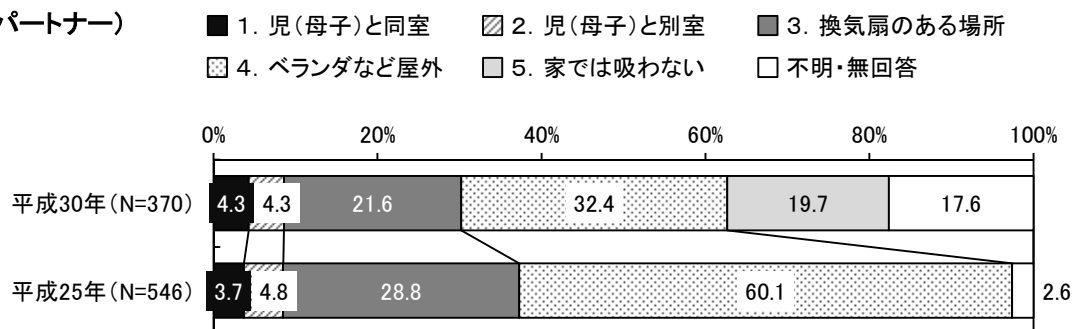
①本人では、「3. 換気扇のある場所」が 44.2%と最も高く、次いで「4. ベランダなど屋外」が 25.6%となっています。②夫（パートナー）では、「4. ベランダなど屋外」が 32.4%と最も高く、次いで「3. 換気扇のある場所」が 21.6%となっています。③他の同居者では、「3. 換気扇のある場所」が 26.5%と最も高く、次いで「2. 児（母子）と別室」と「4. ベランダなど屋外」がそれぞれ 23.5%となっています。

平成 25 年と比較すると、②夫（パートナー）では「4. ベランダなど屋外」が 27.7 ポイント、「3. 換気扇のある場所」が 7.2 ポイント低く、③他の同居者では「1. 児（母子）と同室」が 14.0 ポイント、「4. ベランダなど屋外」が 8.1 ポイント低くなっています。

①本人(出産後)

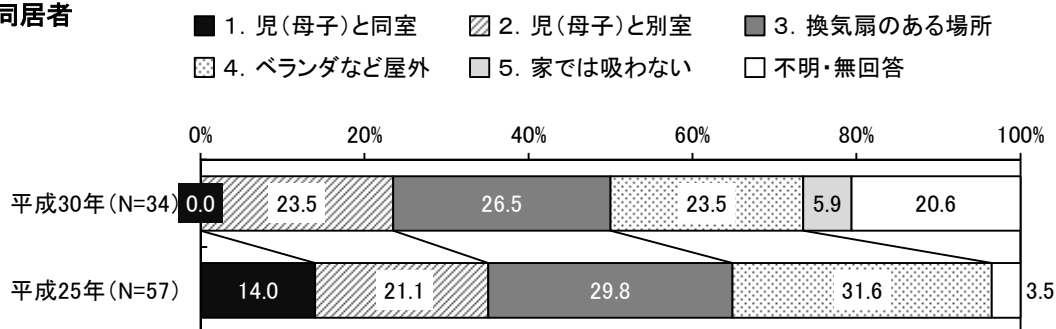


②夫(パートナー)



※「5. 家では吸わない」は平成 30 年のみの選択肢

③他の同居者

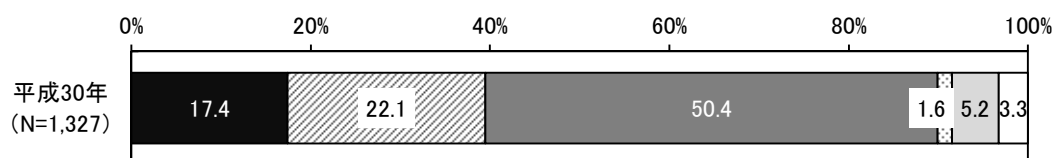


※「5. 家では吸わない」は平成 30 年のみの選択肢

問 28 お子さまを同伴して飲食店や宿泊施設などを利用する際、気を付けていることはありますか。(〇は1つ)

「3. 確認はしないが、禁煙席(室)が設けられている場合は禁煙席(室)を利用するようにしている」が50.4%と最も高く、次いで「2. 禁煙席(室)が設けられている施設であることを確認してから利用するようにしている」が22.1%, 「1. 屋内禁煙の施設であることを確認してから利用するようにしている」が17.4%となっています。

- 1. 屋内禁煙の施設であることを確認してから利用するようにしている
- ▨ 2. 禁煙席(室)が設けられている施設であることを確認してから利用するようにしている
- 3. 確認はしないが、禁煙席(室)が設けられている場合は禁煙席(室)を利用するようにしている
- ▨ 4. 喫煙席(室)がある施設であることを確認してから利用するようにしている
- 5. 気を付けていることはない
- 不明・無回答

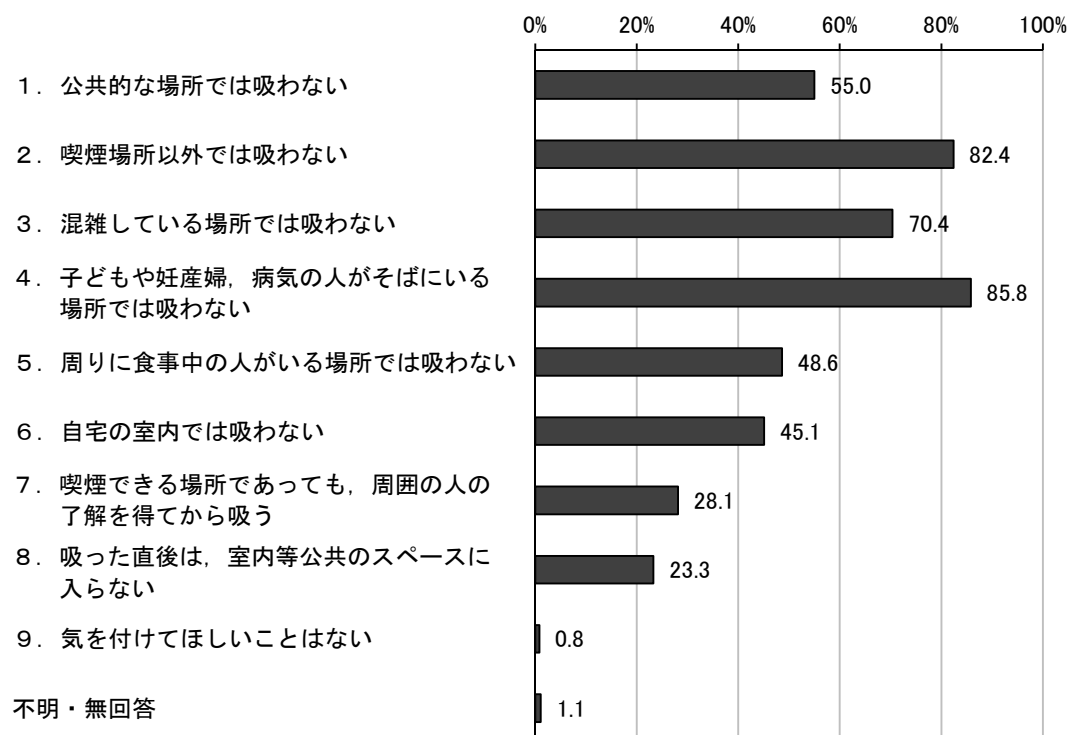


問 29 あなたは、周囲の人がたばこを吸う時に気を付けてほしいことはありますか。

(〇はいくつでも)

「4. 子どもや妊産婦、病気の人がそばにいる場所では吸わない」が85.8%と最も高く、次いで「2. 喫煙場所以外では吸わない」が82.4%, 「3. 混雑している場所では吸わない」が70.4%となっています。

(N=1,327)

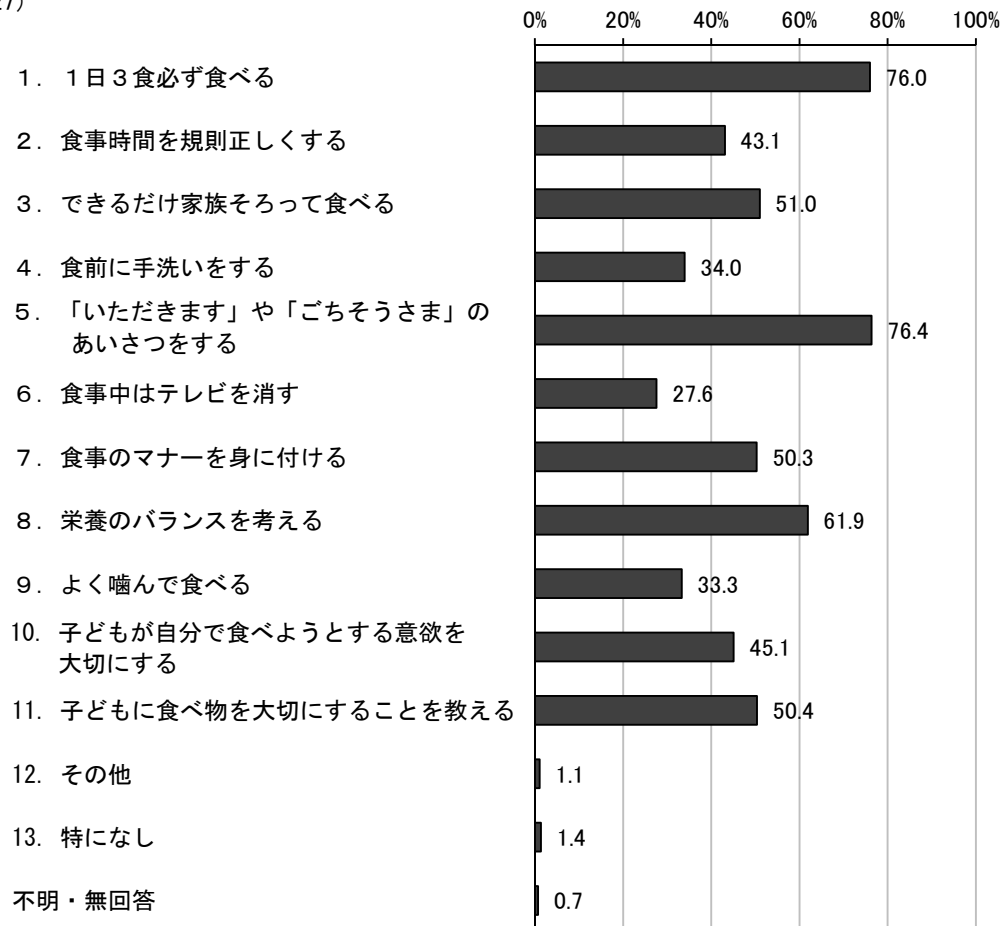


6 食生活やお口の健康について

問 30 あなたや家族の食生活で実践していることについてお答えください。(〇はいくつでも)

「5. 「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつをする」が 76.4%と最も高く、次いで「1. 1日3食必ず食べる」が 76.0%、「8. 栄養のバランスを考える」が 61.9%となっています。

(N=1,327)



《問 30 家族の食生活で実践していること × 問 1 年齢別》

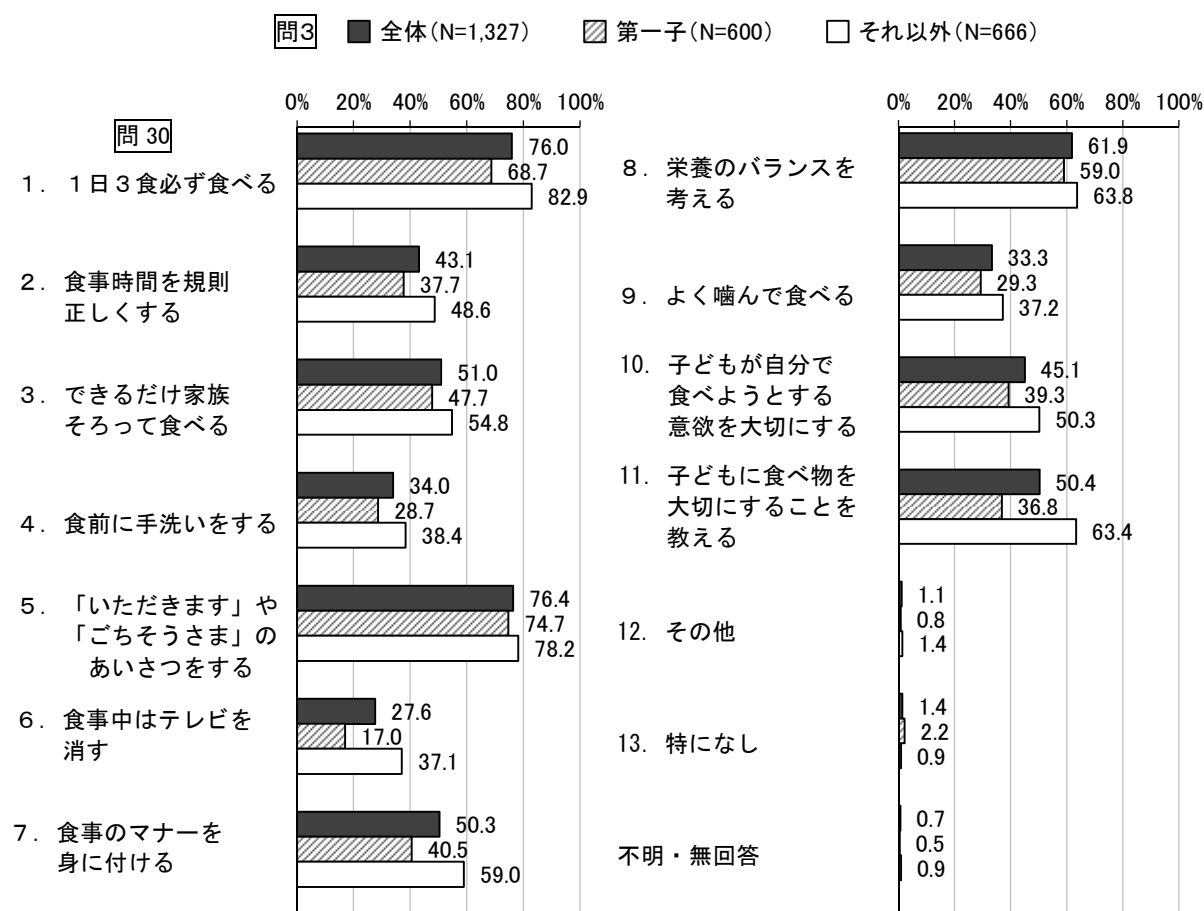
34 歳以下では「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつをする」、35 歳以上では「1 日 3 食必ず食べる」の割合が最も高くなっています。また、20 歳以上では「食前に手洗いをする」「栄養のバランスを考える」で、年代が上がるほど割合が高くなる傾向がみられます。

上段:件数 下段:%		合計	1日3食必ず 食べる	食事時間を規 則正しくする	できるだけ家 族そろって食 べる	食前に手洗い をする	「いただきま す」や「ごちそ うさま」のあい さつをする	食事中はテレ ビを消す	食事のマナー を身に付ける
全 体		1,327 100.0	1,008 76.0	572 43.1	677 51.0	451 34.0	1,014 76.4	366 27.6	668 50.3
年 齢 別	19歳以下	8 100.0	5 62.5	2 25.0	4 50.0	3 37.5	8 100.0	2 25.0	3 37.5
	20～24歳	47 100.0	23 48.9	9 19.1	25 53.2	7 14.9	35 74.5	3 6.4	20 42.6
	25～29歳	186 100.0	121 65.1	60 32.3	95 51.1	39 21.0	146 78.5	31 16.7	81 43.5
	30～34歳	455 100.0	344 75.6	205 45.1	230 50.5	156 34.3	352 77.4	130 28.6	237 52.1
	35～39歳	409 100.0	335 81.9	194 47.4	216 52.8	151 36.9	313 76.5	134 32.8	214 52.3
	40～44歳	159 100.0	128 80.5	76 47.8	76 47.8	66 41.5	115 72.3	44 27.7	80 50.3
	45歳以上	20 100.0	18 90.0	9 45.0	11 55.0	12 60.0	15 75.0	7 35.0	10 50.0

上段:件数 下段:%		合計	栄養のバラン スを考える	よく噛んで食 べる	子どもが自分 で食べようと する意欲を大 切にする	子どもに食べ 物を大切にす ることを教え る	その他	特になし	不明・無回答
全 体		1,327 100.0	821 61.9	442 33.3	599 45.1	669 50.4	14 1.1	19 1.4	9 0.7
年 齢 別	19歳以下	8 100.0	5 62.5	2 25.0	3 37.5	4 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～24歳	47 100.0	17 36.2	15 31.9	22 46.8	18 38.3	1 2.1	4 8.5	0 0.0
	25～29歳	186 100.0	101 54.3	58 31.2	77 41.4	79 42.5	2 1.1	3 1.6	2 1.1
	30～34歳	455 100.0	280 61.5	160 35.2	215 47.3	215 47.3	4 0.9	4 0.9	3 0.7
	35～39歳	409 100.0	267 65.3	134 32.8	181 44.3	230 56.2	6 1.5	5 1.2	2 0.5
	40～44歳	159 100.0	104 65.4	50 31.4	69 43.4	89 56.0	1 0.6	3 1.9	2 1.3
	45歳以上	20 100.0	16 80.0	10 50.0	9 45.0	12 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

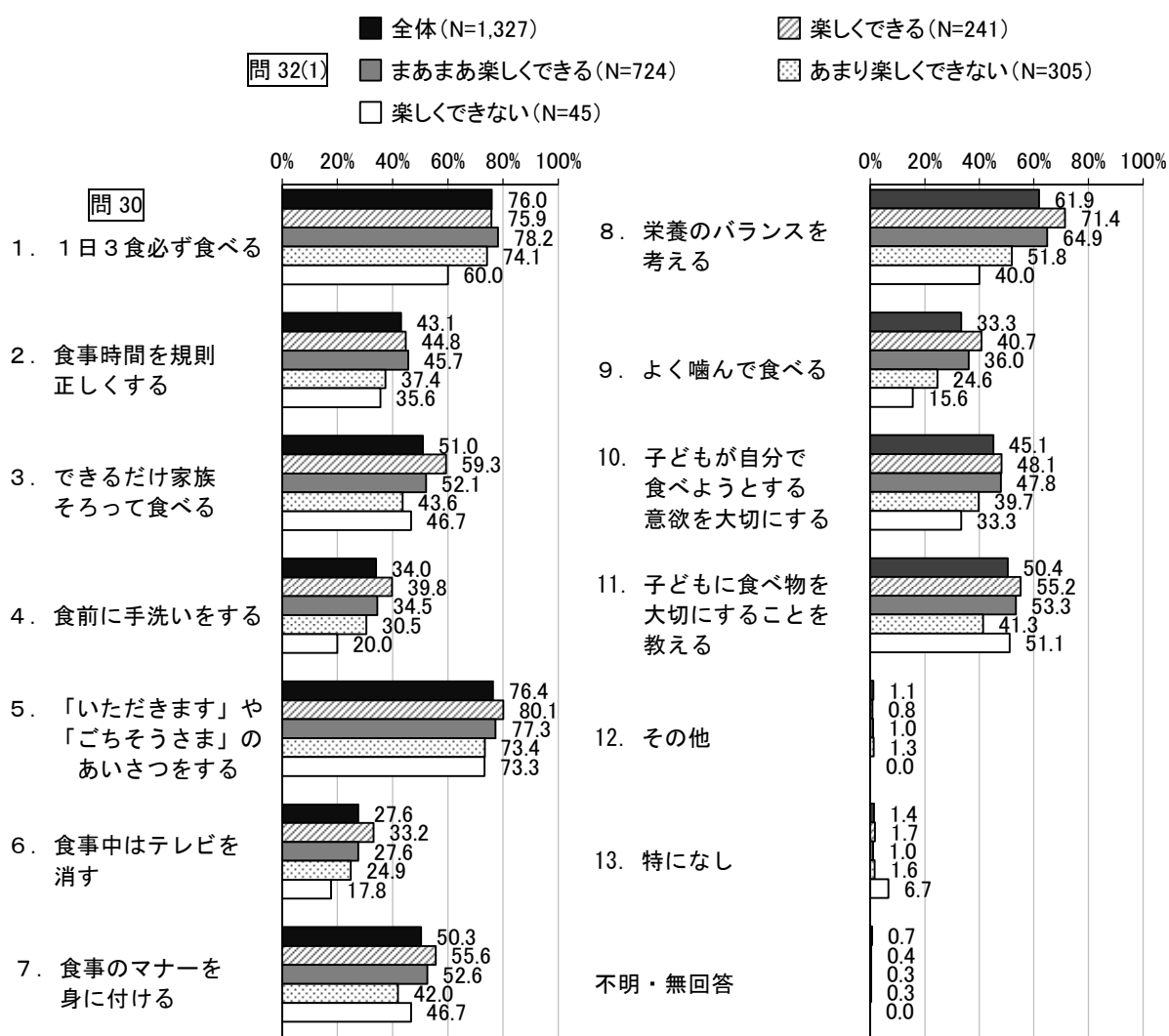
《問 30 家族の食生活で実践していること × 問 3 健診を受けた子ども別》

『第一子』では「5. 「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつをする」,『それ以外』では「1. 1日3食必ず食べる」の割合が最も高くなっています。また,「13. 特になし」を除くすべての項目で,『それ以外』が『第一子』の割合を上回っています。



《問 30 家族の食生活で実践していること × 問 32(1) 食事作りが楽しくできるか別》

食事作りを『楽しくできる』『楽しくできない』では「5. 「いただきます」や「ごちそうさま」のあいさつをする」,『まあまあ楽しくできる』『あまり楽しくできない』では「1. 1日3食必ず食べる」の割合が最も高くなっています。

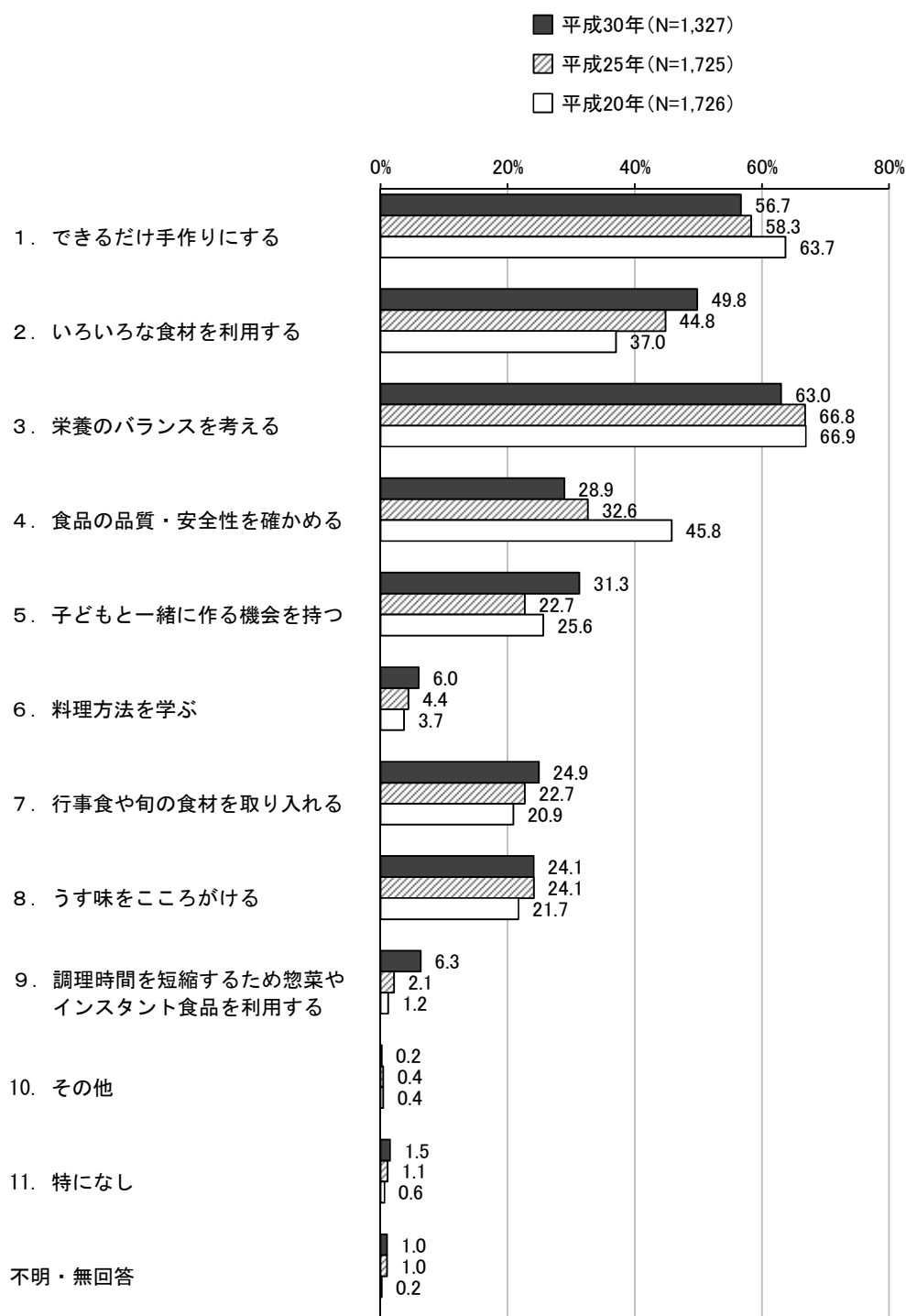


問 31 家族の食事作りで、工夫したり、これからしようと思うことはありますか。

(〇は3つまで)

「3. 栄養のバランスを考える」が63.0%と最も高く、次いで「1. できるだけ手作りにする」が56.7%、「2. いろいろな食材を利用する」が49.8%となっています。

平成20年と比較すると「4. 食品の品質・安全性を確かめる」が16.9ポイント低く、「2. いろいろな食材を利用する」が12.8ポイント高くなっています。



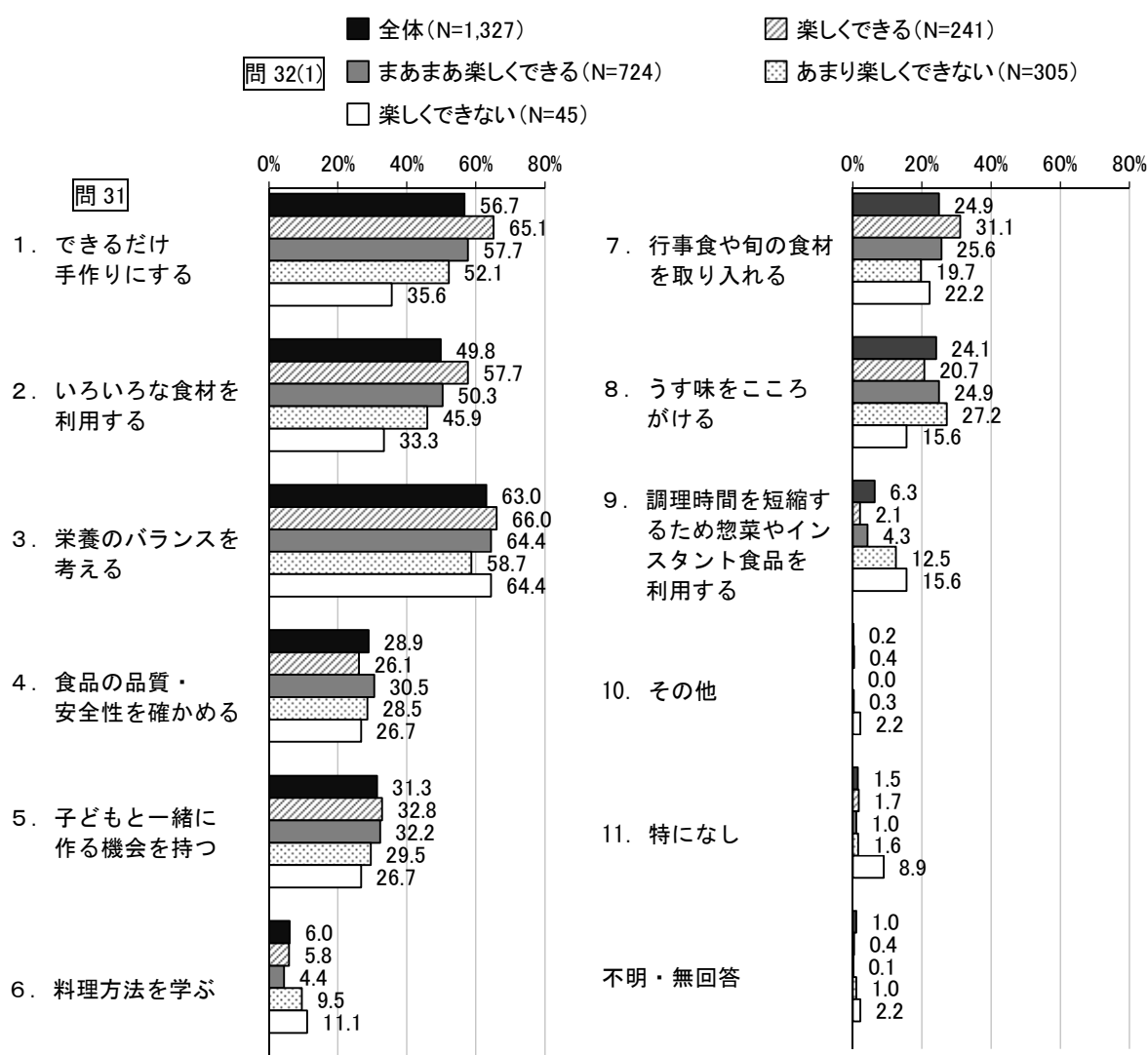
《問 31 家族の食事作りで工夫やこれからしようと思うこと × 問 1 年齢別》

『19 歳以下』では「できるだけ手作りにする」と「いろいろな食材を利用する」の割合が同率で最も高く、『20～24 歳』『25～29 歳』では「できるだけ手作りにする」の割合が最も高くなっています。30 歳以上では「栄養のバランスを考える」の割合が最も高く、年代が上がるほど割合が高くなる傾向がみられます。

上段:件数 下段:%		合計	できるだけ手 作りにする	いろいろな食 材を利用する	栄養の balan スを考える	食品の品質・ 安全性を確か める	子どもと一緒 に作る機会を 持つ	料理方法を学 ぶ
全 体		1,327 100.0	752 56.7	661 49.8	836 63.0	384 28.9	415 31.3	80 6.0
年 齢 別	19歳以下	8 100.0	5 62.5	5 62.5	3 37.5	4 50.0	3 37.5	1 12.5
	20～24歳	47 100.0	31 66.0	16 34.0	20 42.6	6 12.8	13 27.7	7 14.9
	25～29歳	186 100.0	118 63.4	91 48.9	115 61.8	44 23.7	53 28.5	18 9.7
	30～34歳	455 100.0	253 55.6	252 55.4	292 64.2	127 27.9	127 27.9	26 5.7
	35～39歳	409 100.0	222 54.3	186 45.5	260 63.6	135 33.0	149 36.4	21 5.1
	40～44歳	159 100.0	94 59.1	75 47.2	101 63.5	48 30.2	52 32.7	7 4.4
	45歳以上	20 100.0	11 55.0	12 60.0	16 80.0	8 40.0	5 25.0	0 0.0
上段:件数 下段:%		合計	行事食や旬の 食材を取り入 れる	うす味をここ ろがける	調理時間を短 縮するため惣 菜やインスタ ント食品を利用する	その他	特になし	不明・無回答
全 体		1,327 100.0	331 24.9	320 24.1	83 6.3	3 0.2	20 1.5	13 1.0
年 齢 別	19歳以下	8 100.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～24歳	47 100.0	8 17.0	14 29.8	3 6.4	0 0.0	4 8.5	1 2.1
	25～29歳	186 100.0	50 26.9	35 18.8	11 5.9	0 0.0	3 1.6	5 2.7
	30～34歳	455 100.0	115 25.3	96 21.1	34 7.5	0 0.0	6 1.3	4 0.9
	35～39歳	409 100.0	101 24.7	108 26.4	23 5.6	3 0.7	5 1.2	2 0.5
	40～44歳	159 100.0	41 25.8	52 32.7	7 4.4	0 0.0	2 1.3	1 0.6
	45歳以上	20 100.0	2 10.0	6 30.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

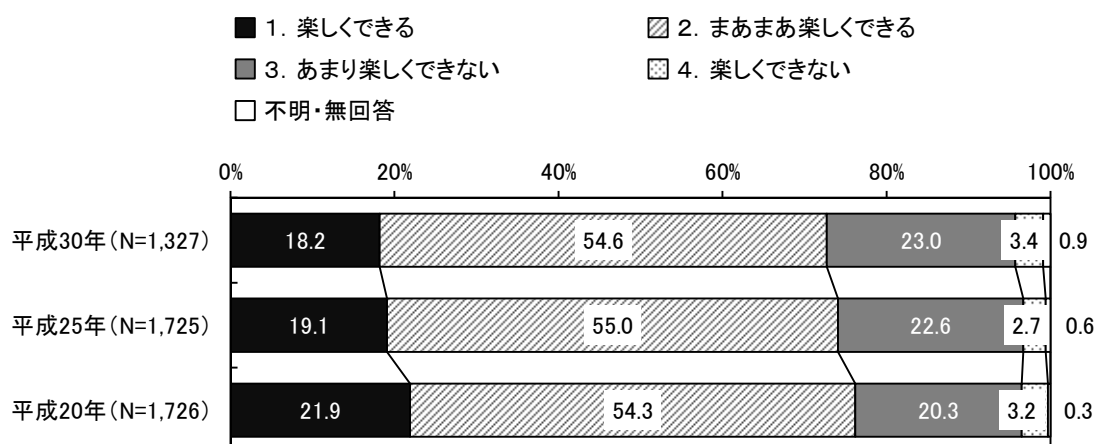
《問 31 家族の食事作りで工夫やこれからしようと思うこと × 問 32(1) 食事作りが楽しくできるか別》

すべての区分で「3. 栄養のバランスを考える」の割合が最も高くなっています。また、食事作りが楽しくできる度合いが下がるほど、「9. 調理時間を短縮するため惣菜やインスタント食品を利用する」の割合が高くなる傾向がみられます。食事作りが楽しくできる度合いが上がるほど、「1. できるだけ手作りにする」と「2. いろいろな食材を利用する」の割合が高くなる傾向が見られます。



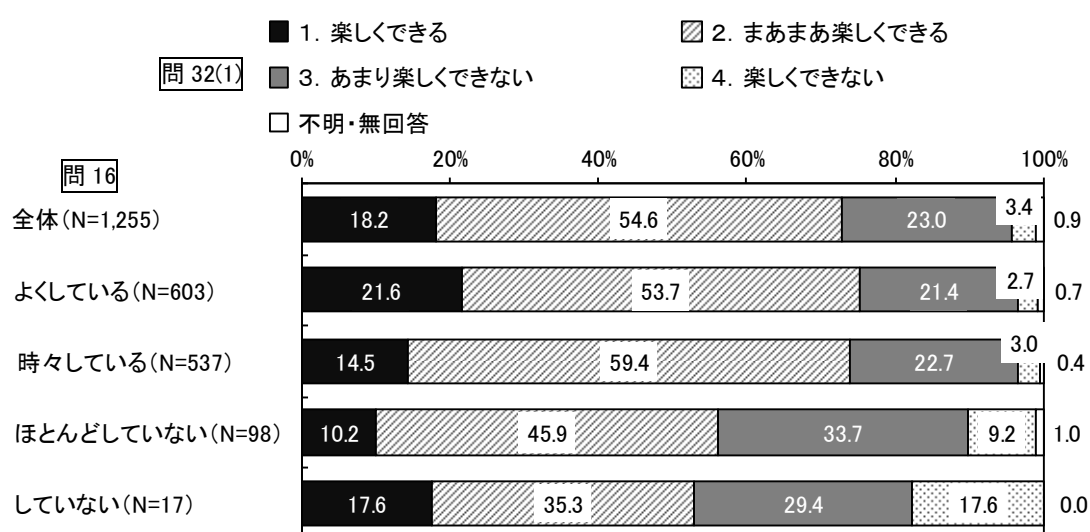
問 32(1) あなたは食事作りが楽しくできますか。(〇は1つ)

「2. まあまあ楽しくできる」が54.6%と最も高く、次いで「3. あまり楽しくできない」が23.0%, 「1. 楽しくできる」が18.2%となっています。



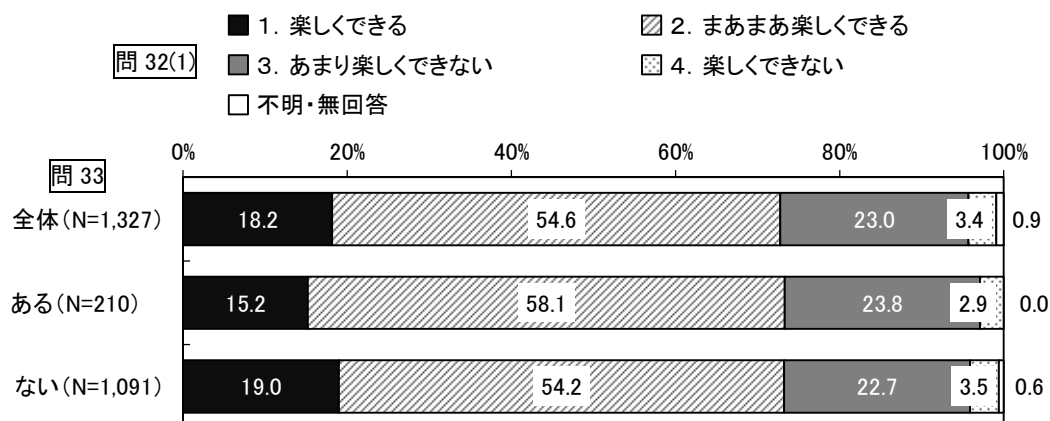
《問 32(1) 食事作りが楽しくできるか × 問 16 夫（パートナー）の育児状況別》

夫（パートナー）が育児をしているほど、『楽しくできる（「1. 楽しくできる」と「2. まあまあ楽しくできる」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 32(1) 食事作りが楽しくできるか × 問 33 子どもの食物アレルギーの有無別》

すべての区分で「2. まあまあ楽しくできる」の割合が最も高くなっています。

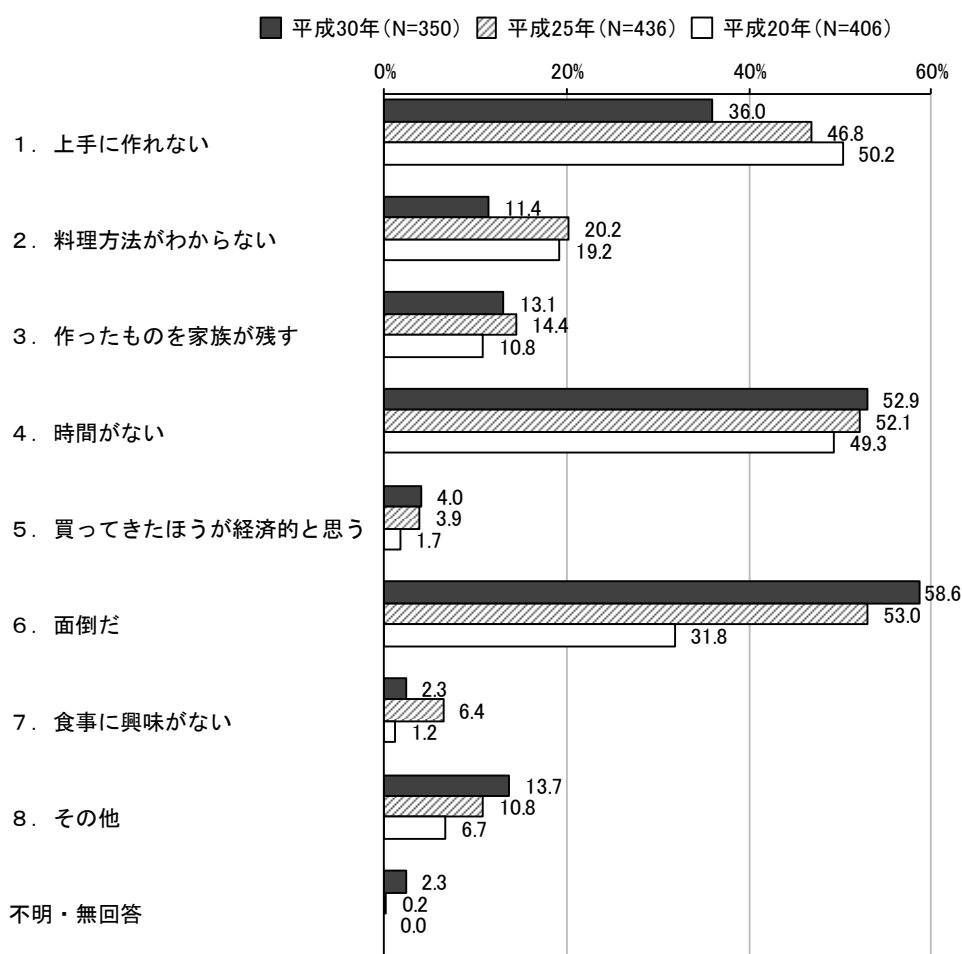


問 32(1)で「3」または「4」と答えた方

問 32(2) 楽しくできない理由についてお答えください。(〇は3つまで)

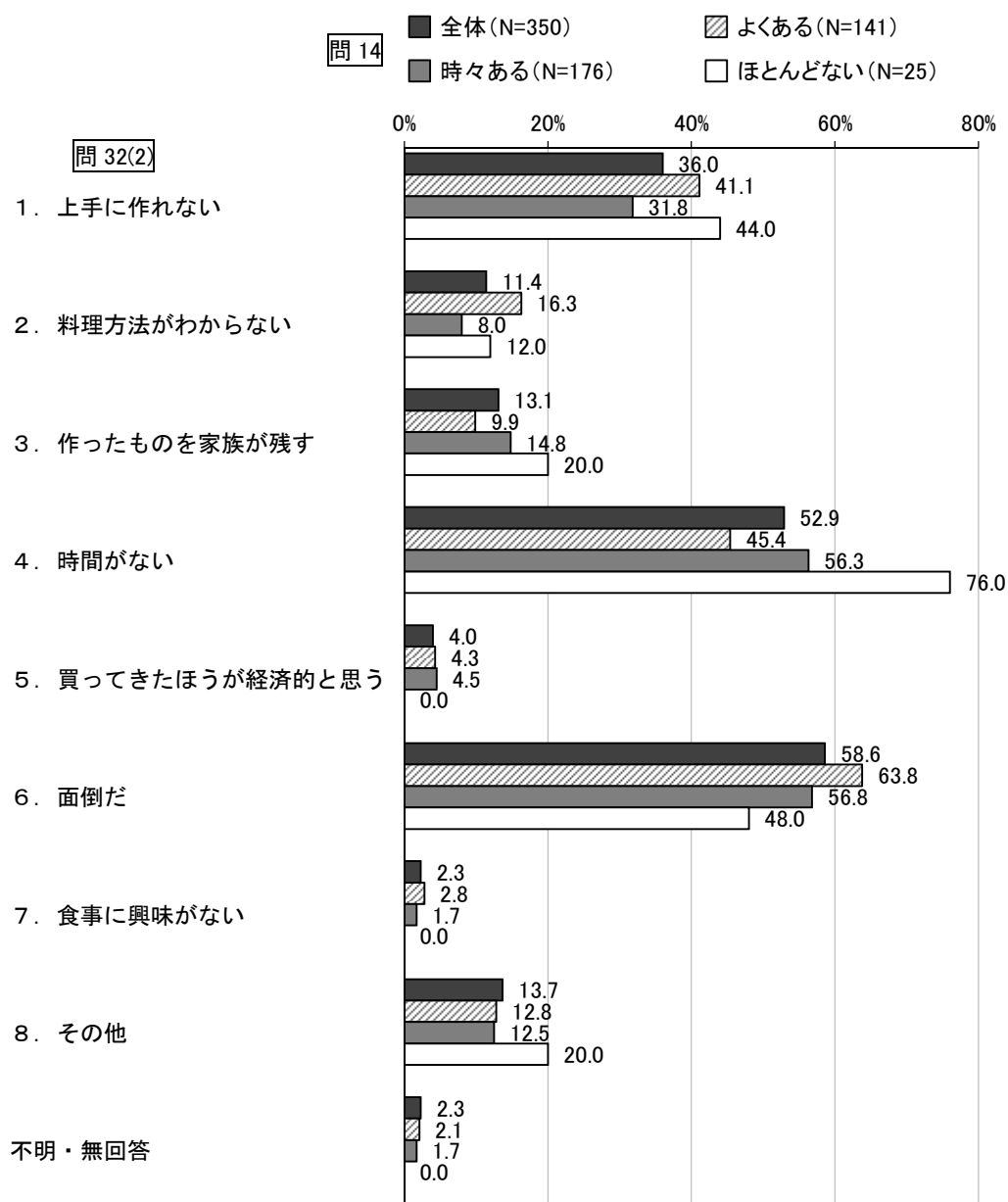
「6. 面倒だ」が58.6%と最も高く、次いで「4. 時間がない」が52.9%, 「1. 上手に作れない」が36.0%となっています。

過去調査と比較すると、「1. 上手に作れない」が平成25年より10.8ポイント、平成20年より14.2ポイント低く、「6. 面倒だ」が平成20年より26.8ポイント高くなっています。



《問 32(2) 楽しくできない理由× 問 14 ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間別》

子どもと過ごせる時間が『よくある』『時々ある』では、「6. 面倒だ」の割合が最も高くなっています。(過ごせる時間が)『ほとんどない』では「4. 時間がない」の割合が最も高く、子どもと過ごせる時間が多くなるほど、割合が低くなる傾向がみられます。



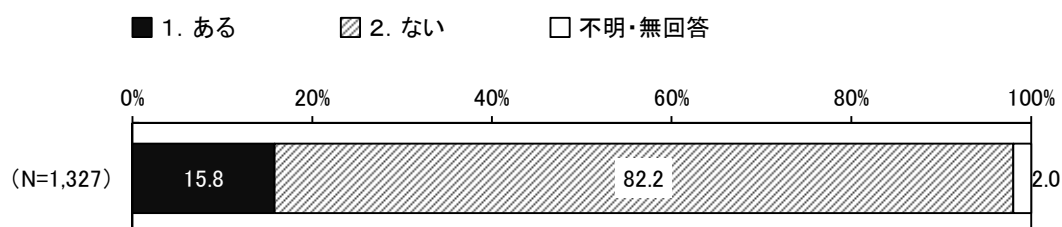
問 33 あなたのお子さまは食べ物に関するアレルギーがあると言われたことがありますか。

(○は1つ)

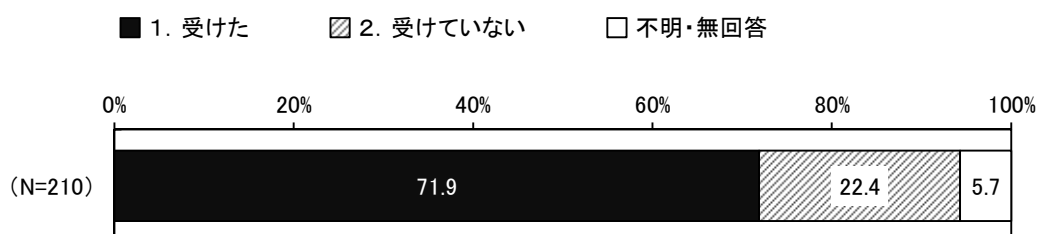
ある場合は、医師による診断の有無を選択してください。

「1. ある」が15.8%、「2. ない」が82.2%となっています。

アレルギーがある方の医師による診断では「1. 受けた」が71.9%、「2. 受けていない」が22.4%となっています。



◆医師による診断の有無

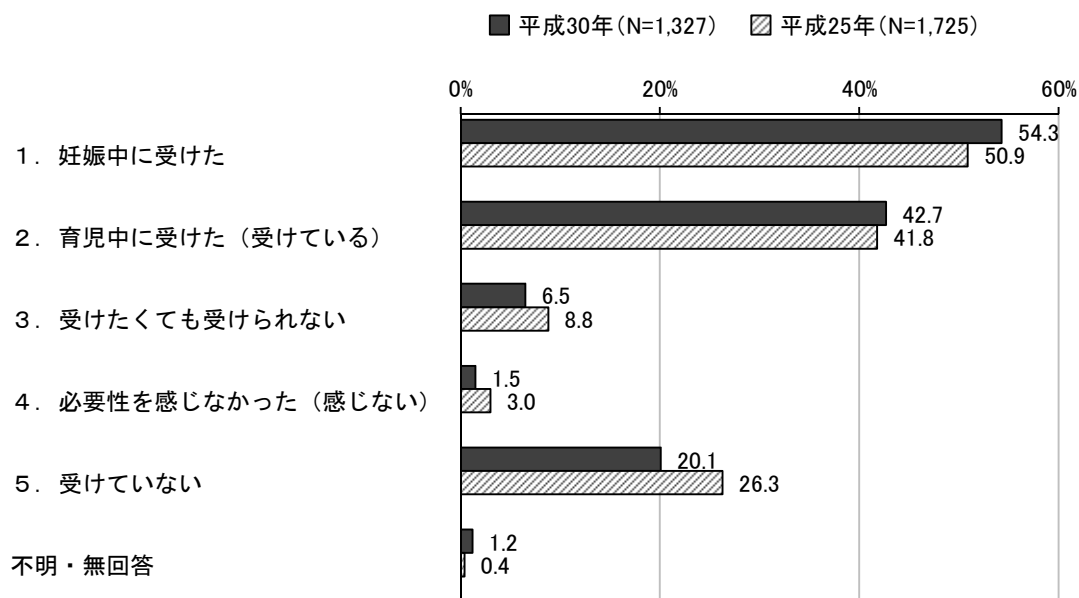


問 34 あなたは妊娠中から現在までに、歯科健診・歯科治療を受けたことがありますか。

(○はいくつでも)

「1. 妊娠中に受けた」が54.3%と最も高く、次いで「2. 育児中に受けた (受けている)」が42.7%、「5. 受けていない」が20.1%となっています。

平成25年と比較すると、「5. 受けていない」が6.2ポイント低くなっています。



《問 34 妊娠中から現在までの歯科健診・歯科治療受診状況 × 問 1 年齢別》

『20～24 歳』では「受けていない」、25 歳以上では「妊娠中に受けた」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	妊娠中に受けた	育児中に受けた(受けている)	受けたくても受けられない	必要性を感じなかった(感じない)	受けていない	不明・無回答
全 体		1,327 100.0	721 54.3	567 42.7	86 6.5	20 1.5	267 20.1	16 1.2
年 齢 別	19歳以下	8 100.0	4 50.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5	0 0.0
	20～24歳	47 100.0	16 34.0	10 21.3	2 4.3	2 4.3	22 46.8	0 0.0
	25～29歳	186 100.0	84 45.2	67 36.0	14 7.5	4 2.2	52 28.0	5 2.7
	30～34歳	455 100.0	249 54.7	191 42.0	36 7.9	3 0.7	89 19.6	4 0.9
	35～39歳	409 100.0	233 57.0	183 44.7	24 5.9	7 1.7	73 17.8	4 1.0
	40～44歳	159 100.0	99 62.3	83 52.2	6 3.8	3 1.9	20 12.6	3 1.9
	45歳以上	20 100.0	13 65.0	11 55.0	2 10.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0

《問 34 妊娠中から現在までの歯科健診・歯科治療受診状況 × 問 35 歯と口で気になること別》

すべての区分で「妊娠中に受けた」の割合が最も高く、『歯ざしり』では「育児中に受けた（受けている）」も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	妊娠中に受けた	育児中に受けた(受けている)	受けたくても受けられない	必要性を感じなかった(感じない)	受けていない	不明・無回答
全 体		1,327 100.0	721 54.3	567 42.7	86 6.5	20 1.5	267 20.1	16 1.2
歯と口で気になること別	むし歯	627 100.0	357 56.9	277 44.2	51 8.1	3 0.5	116 18.5	1 0.2
	歯周病	389 100.0	219 56.3	189 48.6	29 7.5	1 0.3	59 15.2	1 0.3
	歯並び・かみ合わせ	291 100.0	165 56.7	136 46.7	15 5.2	5 1.7	48 16.5	3 1.0
	舌や口の中の粘膜	30 100.0	15 50.0	9 30.0	3 10.0	1 3.3	9 30.0	0 0.0
	歯が抜けたまま	28 100.0	15 53.6	14 50.0	4 14.3	0 0.0	3 10.7	0 0.0
	口臭	250 100.0	135 54.0	118 47.2	20 8.0	2 0.8	49 19.6	2 0.8
	歯や歯ぐきの色	195 100.0	101 51.8	82 42.1	12 6.2	2 1.0	46 23.6	1 0.5
	歯ざしり	138 100.0	75 54.3	75 54.3	7 5.1	3 2.2	15 10.9	0 0.0
	顎関節(耳の前の関節の音や痛み)	133 100.0	69 51.9	58 43.6	10 7.5	4 3.0	28 21.1	0 0.0
	歯の手入れ	303 100.0	187 61.7	148 48.8	21 6.9	4 1.3	46 15.2	1 0.3
	妊娠中や授乳中の歯科治療	72 100.0	33 45.8	26 36.1	12 16.7	0 0.0	18 25.0	1 1.4
	その他	45 100.0	24 53.3	18 40.0	4 8.9	0 0.0	6 13.3	1 2.2
	特になし	140 100.0	63 45.0	43 30.7	4 2.9	3 2.1	49 35.0	2 1.4

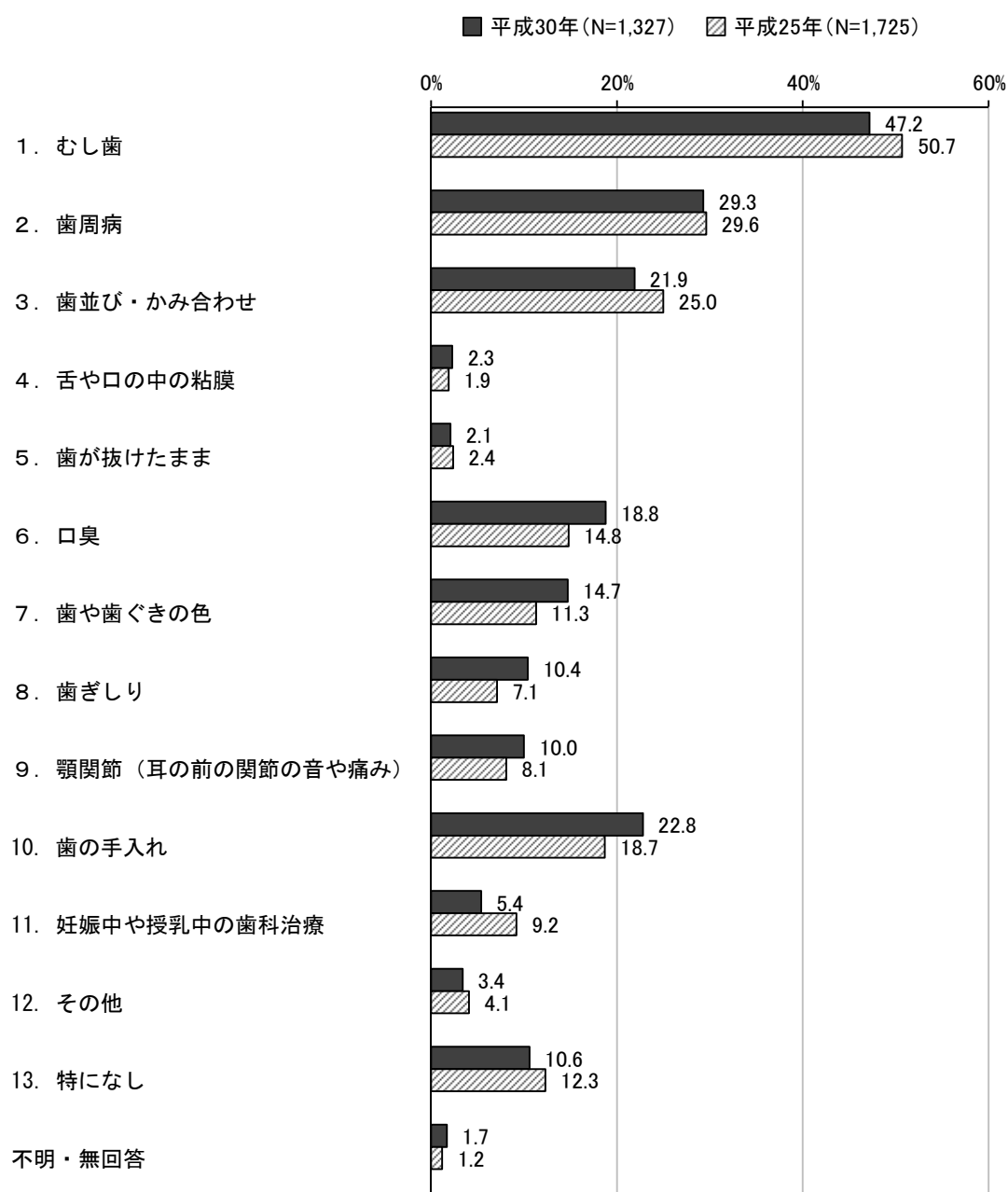
《問 34 妊娠中から現在までの歯科健診・歯科治療受診状況 × 問 4(2) 就労形態別》

『自営業主』では「育児中に受けた（受けている）」、『その他』では「受けていない」、それ以外の区分では「妊娠中に受けた」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	妊娠中に受けた	育児中に受けた(受けている)	受けたくても受けられない	必要性を感じなかった(感じない)	受けていない	不明・無回答
全 体		726 100.0	396 54.5	327 45.0	51 7.0	15 2.1	128 17.6	8 1.1
就労形態別	正社員・正職員	417 100.0	224 53.7	183 43.9	23 5.5	10 2.4	74 17.7	6 1.4
	契約・パート・アルバイト	244 100.0	135 55.3	116 47.5	25 10.2	5 2.0	40 16.4	0 0.0
	派遣社員	15 100.0	10 66.7	8 53.3	0 0.0	0 0.0	3 20.0	0 0.0
	自営業主	19 100.0	8 42.1	10 52.6	0 0.0	0 0.0	3 15.8	1 5.3
	家族従業者	14 100.0	10 71.4	3 21.4	3 21.4	0 0.0	3 21.4	0 0.0
	内職・在宅就業	8 100.0	6 75.0	5 62.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
	その他	6 100.0	2 33.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0	3 50.0	0 0.0

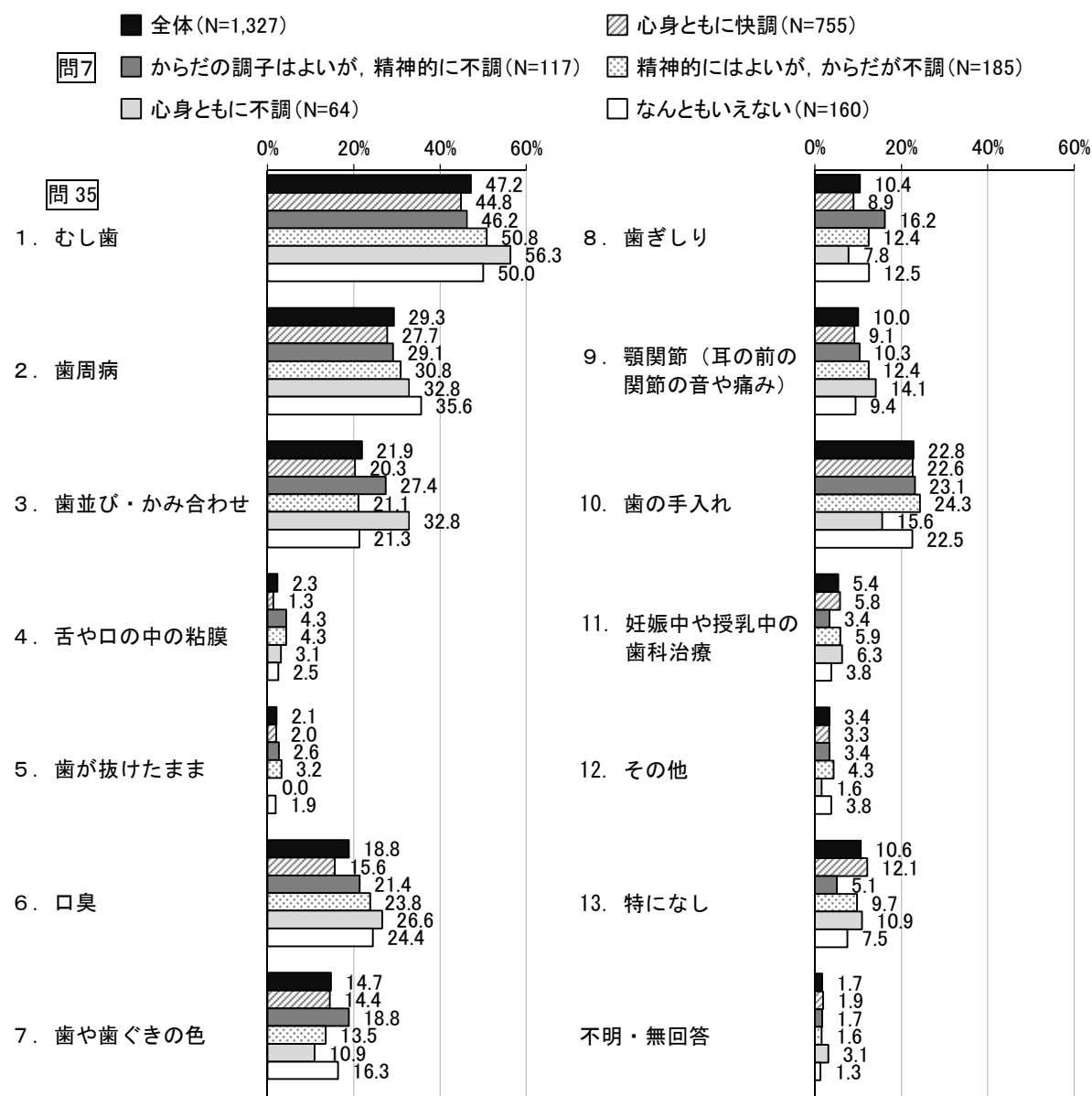
問 35 あなたの歯と口で気になることはありますか。(〇は3つまで)

「1. むし歯」が47.2%と最も高く、次いで「2. 歯周病」が29.3%、「10. 歯の手入れ」が22.8%となっています。



《問 35 回答者の歯と口で気になること × 問 7 現在の心身の調子別》

すべての区分で「1. むし歯」の割合が最も高くなっています。また、『心身ともに不調』では「1. むし歯」「3. 歯並び・かみ合わせ」「6. 口臭」「9. 顎関節（耳の前の関節の音や痛み）」「11. 妊娠中や授乳中の歯科治療」の割合が、他の区分に比べ最も高くなっています。



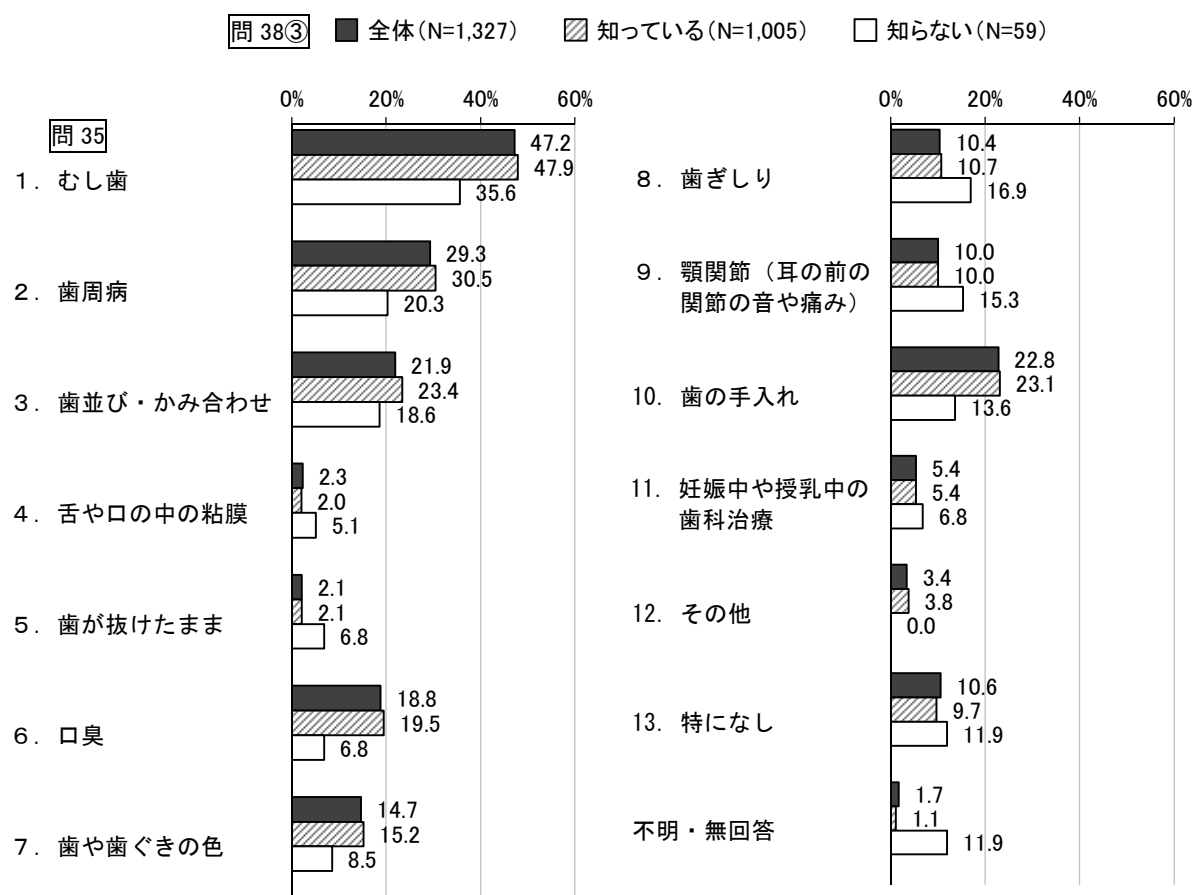
《問 35 回答者の歯と口で気になること × 問 1 年齢別》

『19 歳以下』では「特になし」、『45 歳以上』では「歯周病」、それ以外の区分では「むし歯」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	むし歯	歯周病	歯並び・かみ 合わせ	舌や口の中の 粘膜	歯が抜けたま ま	口臭	歯や歯ぐきの 色
全 体		1,327 100.0	627 47.2	389 29.3	291 21.9	30 2.3	28 2.1	250 18.8	195 14.7
年 齢 別	19歳以下	8 100.0	2 25.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0
	20～24歳	47 100.0	19 40.4	9 19.1	12 25.5	2 4.3	2 4.3	10 21.3	5 10.6
	25～29歳	186 100.0	80 43.0	46 24.7	50 26.9	5 2.7	4 2.2	38 20.4	24 12.9
	30～34歳	455 100.0	221 48.6	137 30.1	97 21.3	10 2.2	7 1.5	82 18.0	76 16.7
	35～39歳	409 100.0	199 48.7	117 28.6	80 19.6	6 1.5	8 2.0	79 19.3	58 14.2
	40～44歳	159 100.0	75 47.2	62 39.0	35 22.0	6 3.8	5 3.1	32 20.1	25 15.7
	45歳以上	20 100.0	6 30.0	7 35.0	6 30.0	0 0.0	1 5.0	2 10.0	1 5.0
上段:件数 下段:%		合計	歯ぎしり	顎関節（耳の 前の関節の音 や痛み）	歯の手入れ	妊娠中や授乳 中の歯科治療	その他	特になし	不明・無回答
全 体		1,327 100.0	138 10.4	133 10.0	303 22.8	72 5.4	45 3.4	140 10.6	23 1.7
年 齢 別	19歳以下	8 100.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	4 50.0	0 0.0
	20～24歳	47 100.0	5 10.6	6 12.8	8 17.0	6 12.8	1 2.1	6 12.8	3 6.4
	25～29歳	186 100.0	14 7.5	14 7.5	41 22.0	15 8.1	12 6.5	22 11.8	4 2.2
	30～34歳	455 100.0	49 10.8	48 10.5	93 20.4	18 4.0	18 4.0	54 11.9	5 1.1
	35～39歳	409 100.0	40 9.8	40 9.8	104 25.4	20 4.9	13 3.2	38 9.3	6 1.5
	40～44歳	159 100.0	22 13.8	15 9.4	40 25.2	10 6.3	0 0.0	8 5.0	4 2.5
	45歳以上	20 100.0	4 20.0	4 20.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0	1 5.0

《問 35 回答者の歯と口で気になること × 問 38 ③成人・妊婦歯科相談の認知度別》

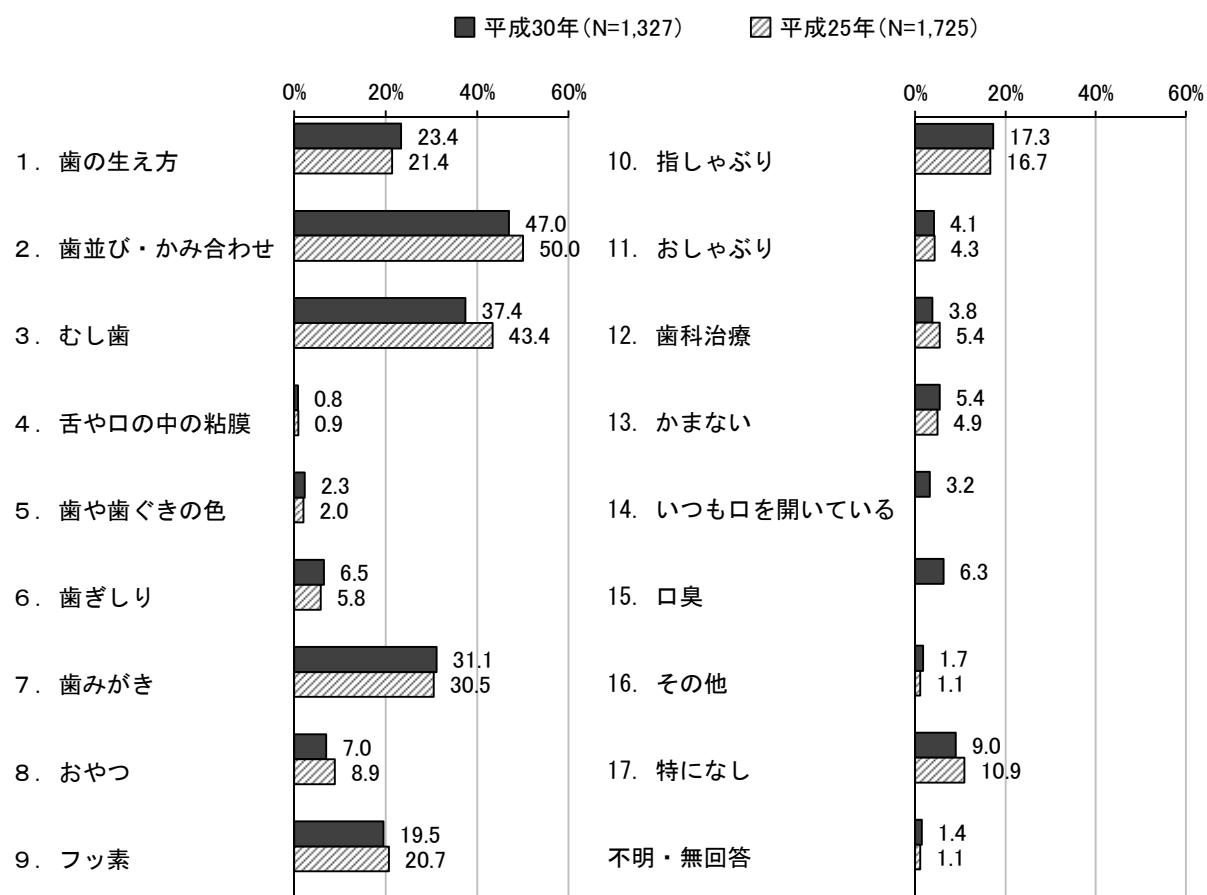
すべての区分で「1. むし歯」の割合が最も高くなっています。また、(成人・妊婦歯科相談を)『知っている』では、「1. むし歯」「2. 歯周病」「6. 口臭」「10. 歯の手入れ」の割合が、(成人・妊婦歯科相談を)『知らない』よりも 9.0 ポイント以上高くなっています。



問 36 お子さまの歯と口で知りたいことや心配なことはありますか。(〇は3つまで)

「2. 歯並び・かみ合わせ」が47.0%と最も高く、次いで「3. むし歯」が37.4%, 「7. 歯みがき」が31.1%となっています。

平成25年と比較すると, 「3. むし歯」が6.0ポイント低くなっています。



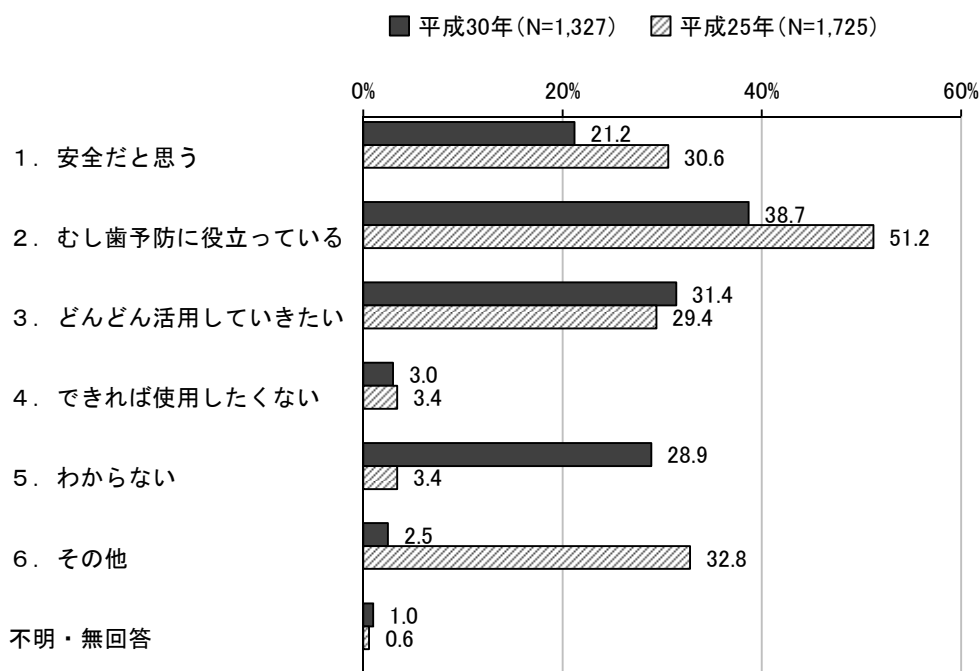
※「14. いつも口を開いている」「15. 口臭」は平成30年のみの選択肢

問 37 乳幼児むし歯予防対策（フッ化物歯面塗布）についてどう思いますか。（〇はいくつでも）

※フッ素は、学校等でのフッ素洗口（うがい）、歯科医院等でのフッ素塗布、家庭でのフッ素添加歯みがき剤の使用等の方法で、むし歯予防のために用いられています。

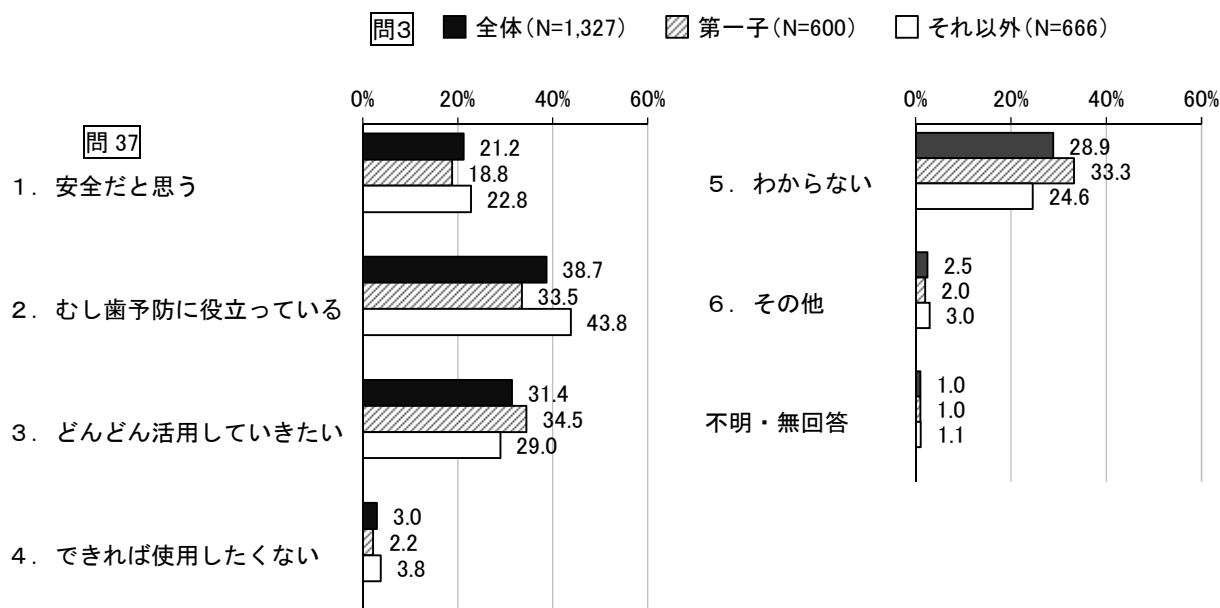
「2. むし歯予防に役立っている」が38.7%と最も高く、次いで「3. どんどん活用していきたい」が31.4%、「5. わからない」が28.9%となっています。

平成25年と比較すると、「5. わからない」が25.5ポイント高く、「2. むし歯予防に役立っている」が12.5ポイント、「1. 安全だと思う」が9.4ポイント低くなっています。



《問 37 乳幼児むし歯予防対策（フッ化物歯面塗布）について × 問 3 健診を受けた子ども別》

『第一子』では「3. どんどん活用していきたい」、『それ以外』では「2. むし歯予防に役立っている」の割合が最も高くなっています。



7 母子保健に関連するサービス等の利用状況について

問 38 京都市の各サービスについて、「Ⅰ 知らない」「Ⅱ 利用したことがある」「Ⅲ 知っているが利用したことがない」についてお答えください。

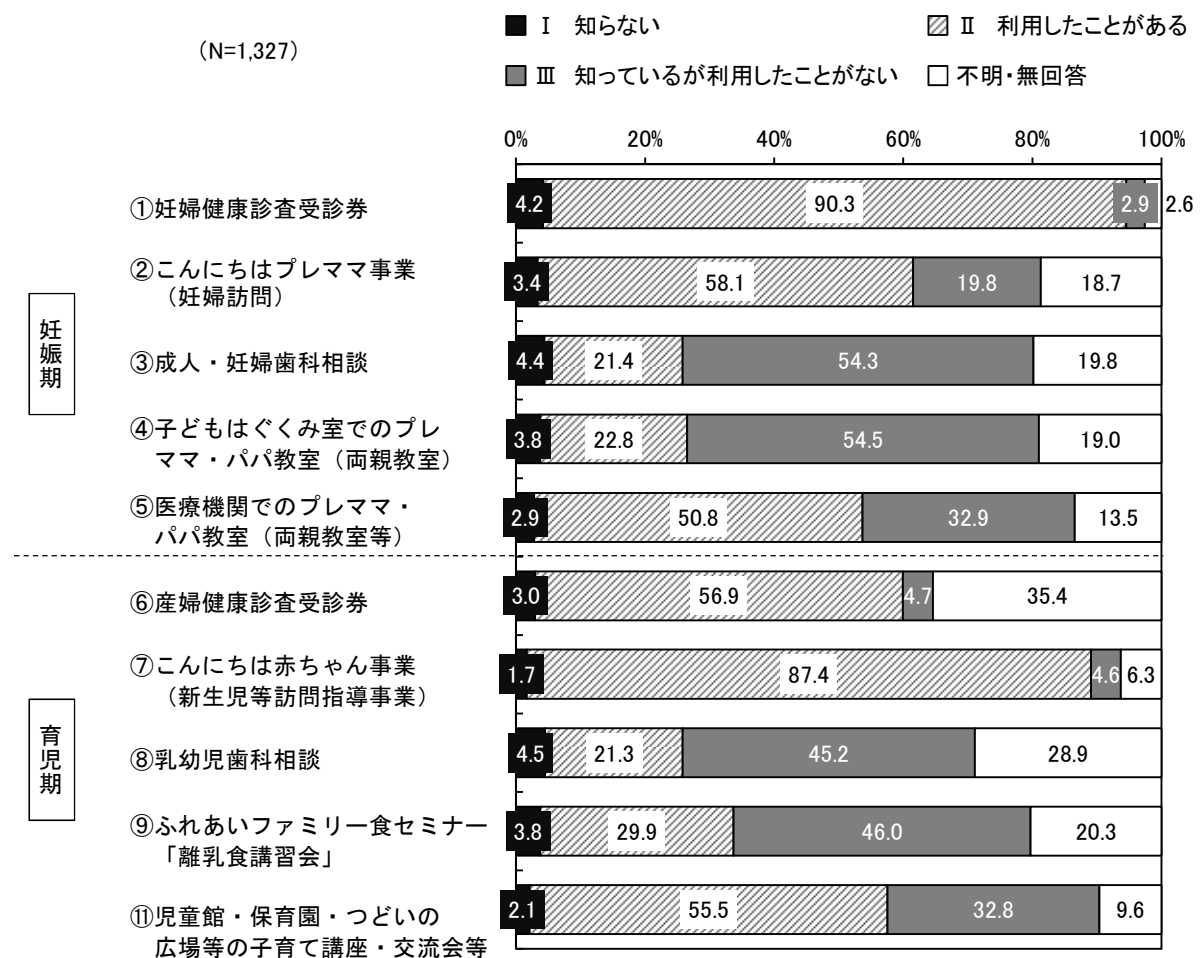
「Ⅰ 知らない」場合は、1に○をつけてください。

「Ⅱ 利用したことがある」場合は、その満足度を2～4から1つ選択して○をつけてください。

「Ⅲ 知っているが利用したことがない」場合は、その理由を5～9から当てはまる番号をすべて選択して○をつけてください。

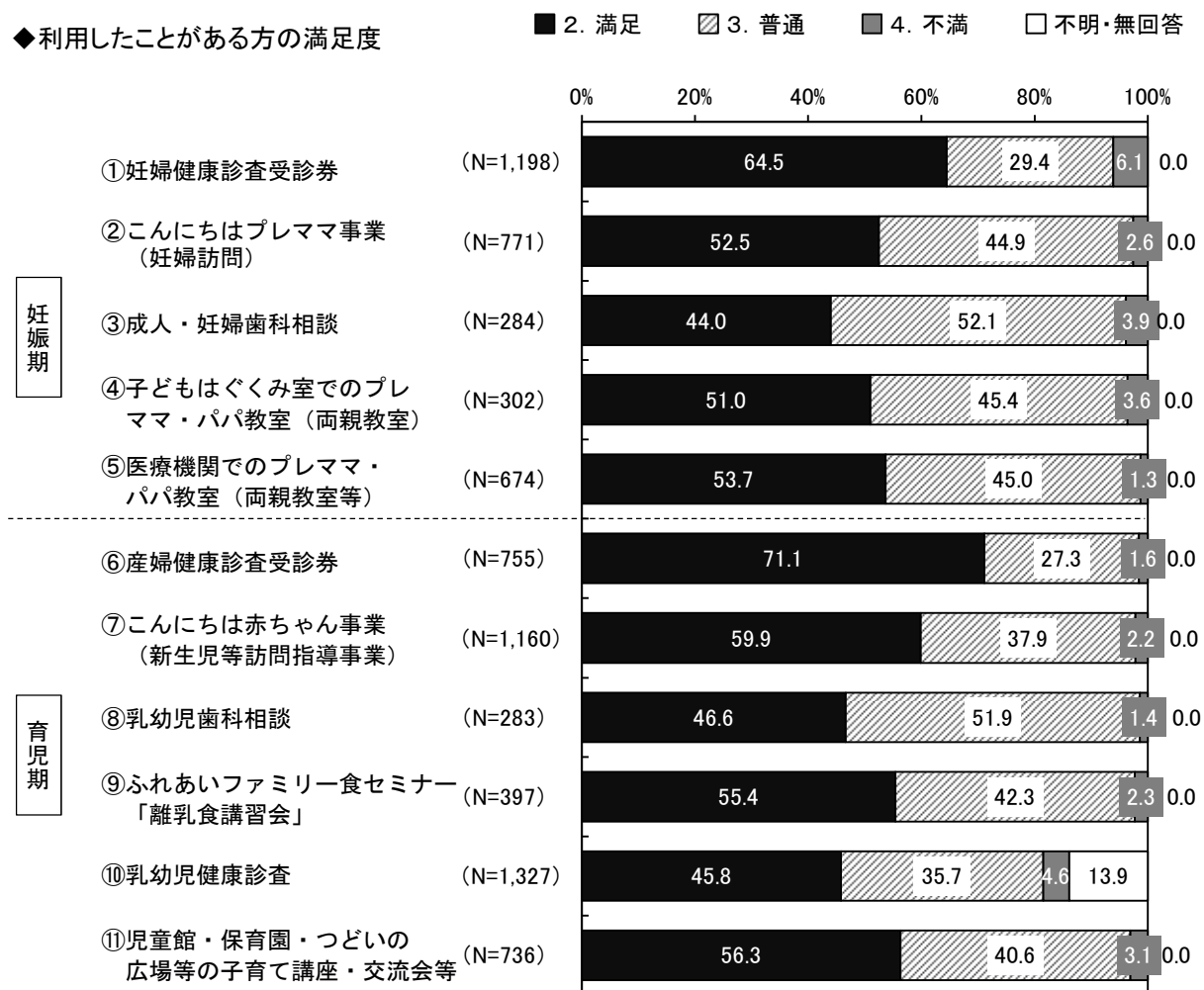
認知及び利用状況について、[①妊婦健康診査受診券][②こんにちはプレママ事業(妊婦訪問)][⑤医療機関でのプレママ・パパ教室(両親教室等)][⑥産婦健康診査受診券][⑦こんにちは赤ちゃん事業(新生児等訪問指導事業)][⑩児童館・保育園・つどいの広場等の子育て講座・交流会等]では「Ⅱ 利用したことがある」が最も高く、それ以外のサービスでは「Ⅲ 知っているが利用したことがない」が最も高くなっています。

◆認知及び利用状況([⑩乳幼児健康診査]を除く)



※ [⑥産婦健康診査受診券] は平成 29 年 4 月 1 日以降に出産された方が対象

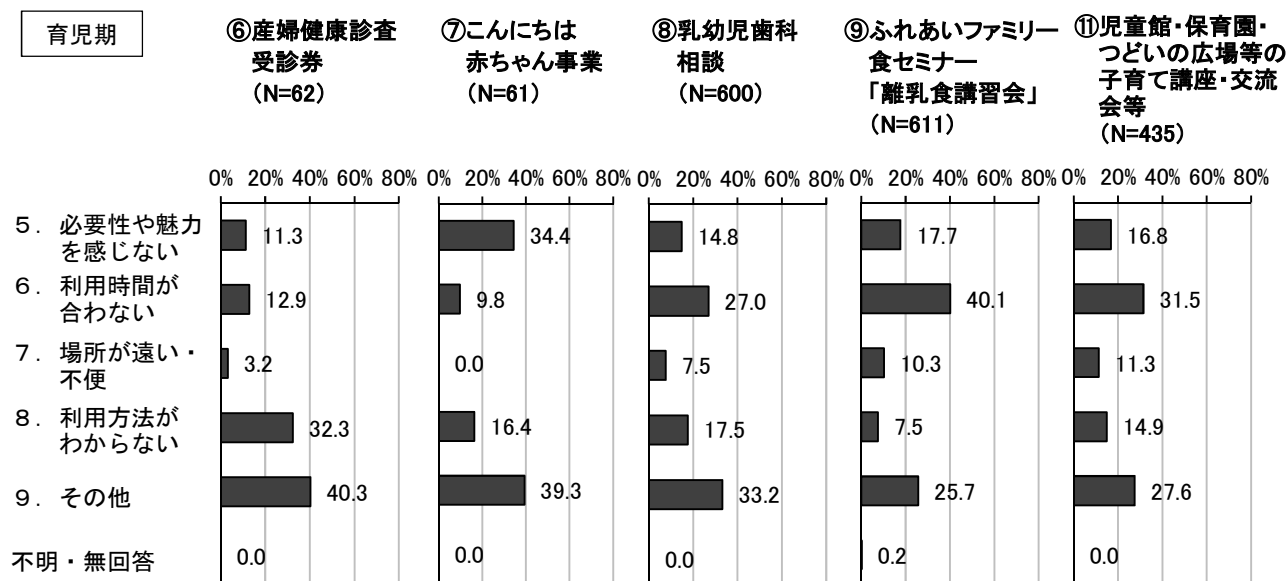
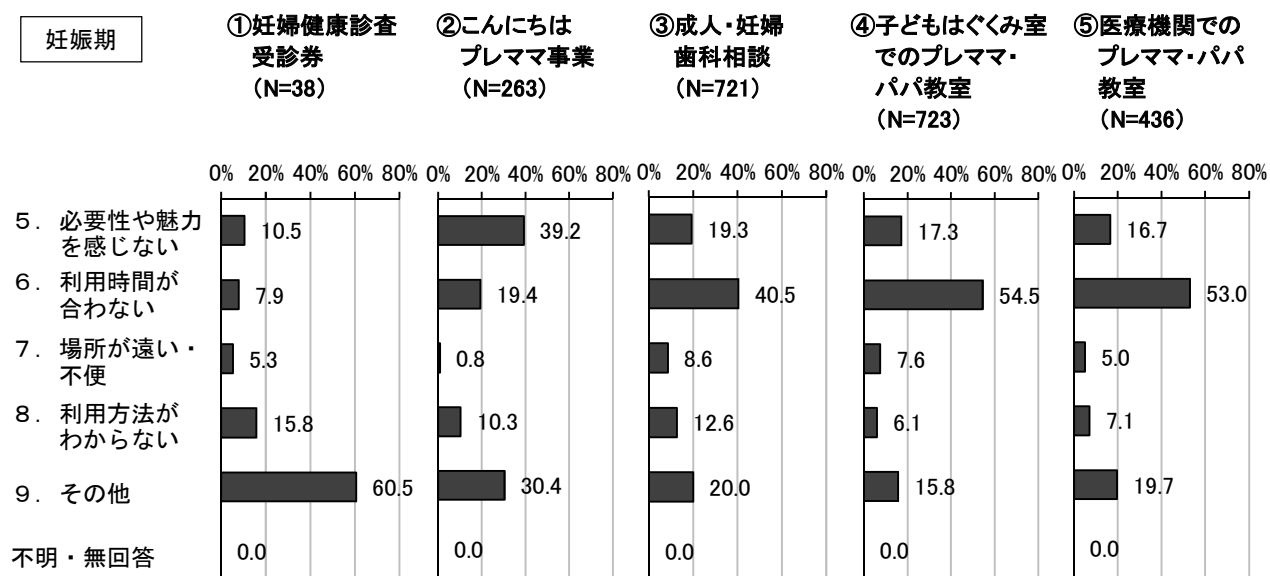
満足度について、〔③成人・妊婦歯科相談〕〔⑧乳幼児歯科相談〕では「3. 普通」が最も高くなっています。それ以外の項目では「2. 満足」が最も高く、特に〔⑥産婦健康診査受診券〕が71.1%，次いで〔①妊婦健康診査受診券〕が64.5%となっています。



※ 〔⑥産婦健康診査受診券〕は平成29年4月1日以降に出産された方が対象

サービスを知っているが利用したことがない理由について、「9. その他」を除き、〔②こんにちは赤ちゃん事業（新生児等訪問指導事業）〕では「5. 必要性や魅力を感じない」、〔③成人・妊婦歯科相談〕〔④子どもはぐみ室でのプレママ・パパ教室（両親教室）〕〔⑤医療機関でのプレママ・パパ教室（両親教室等）〕〔⑧乳幼児歯科相談〕〔⑨ふれあいファミリー食セミナー「離乳食講習会」〕〔⑪児童館・保育園・つどいの広場等の子育て講座・交流会等〕では「6. 利用時間が合わない」、〔①妊婦健康診査受診券〕〔⑥産婦健康診査受診券〕では「8. 利用方法がわからない」が最も高くなっています。

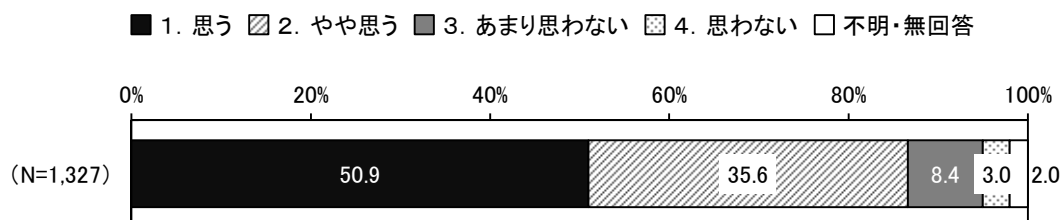
◆利用したことがない理由（〔⑩乳幼児健康診査〕を除く）



※〔⑥産婦健康診査受診券〕は平成29年4月1日以降に出産された方が対象

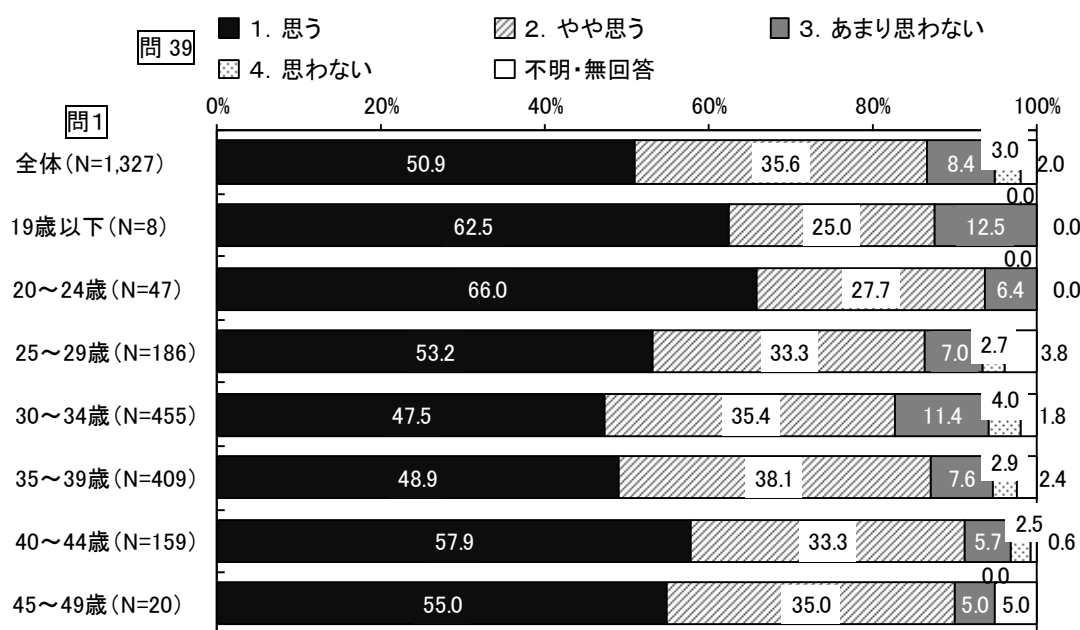
問 39 今後も京都市で出産や子育てをしたいと思いますか。(〇は1つ)

「1. 思う」が50.9%と最も高く、次いで「2. やや思う」が35.6%, 「3. あまり思わない」が8.4%となっています。



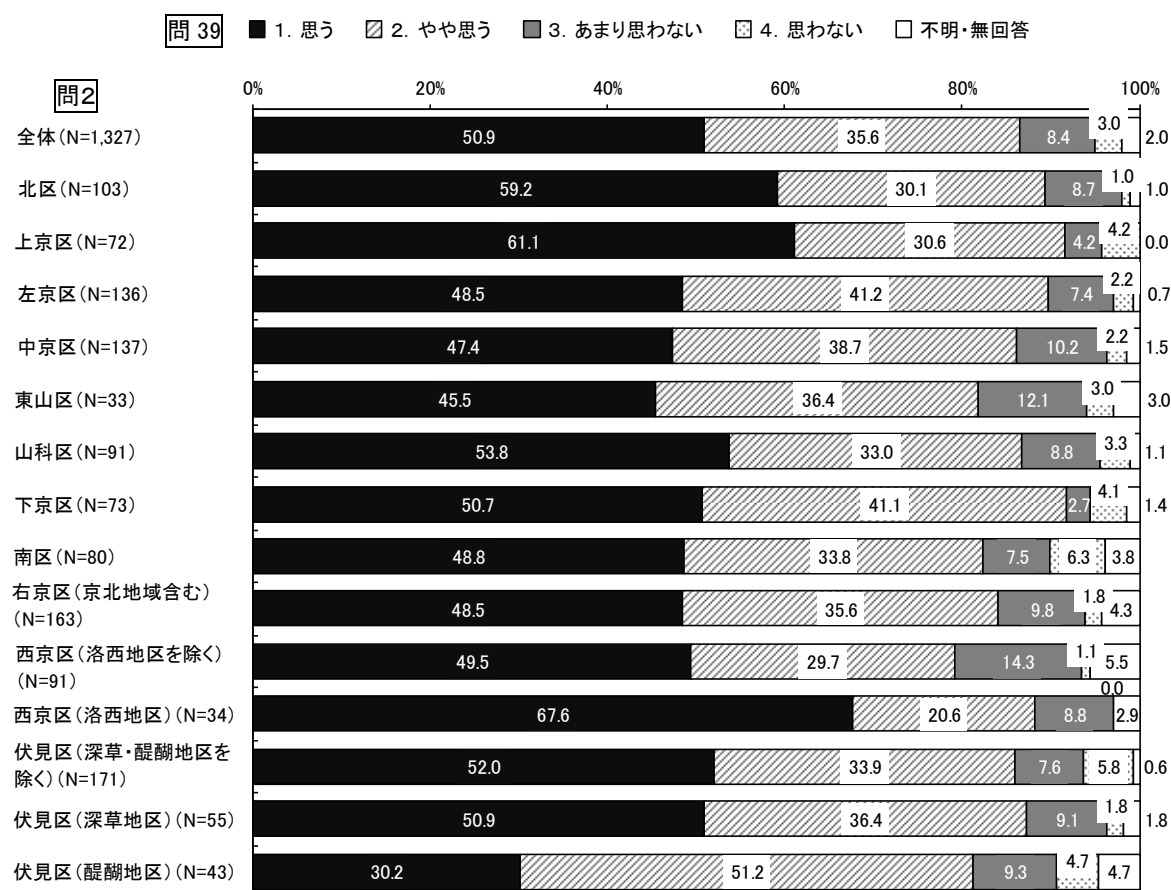
《問 39 定住意向 × 問 1 年齢別》

『20～24 歳』では【思う（「1. 思う」と「2. やや思う」の合計）】の割合が、『30～34 歳』では【思わない（「3. あまり思わない」と「4. 思わない」の合計）】の割合が、他の区分に比べ最も高くなっています。



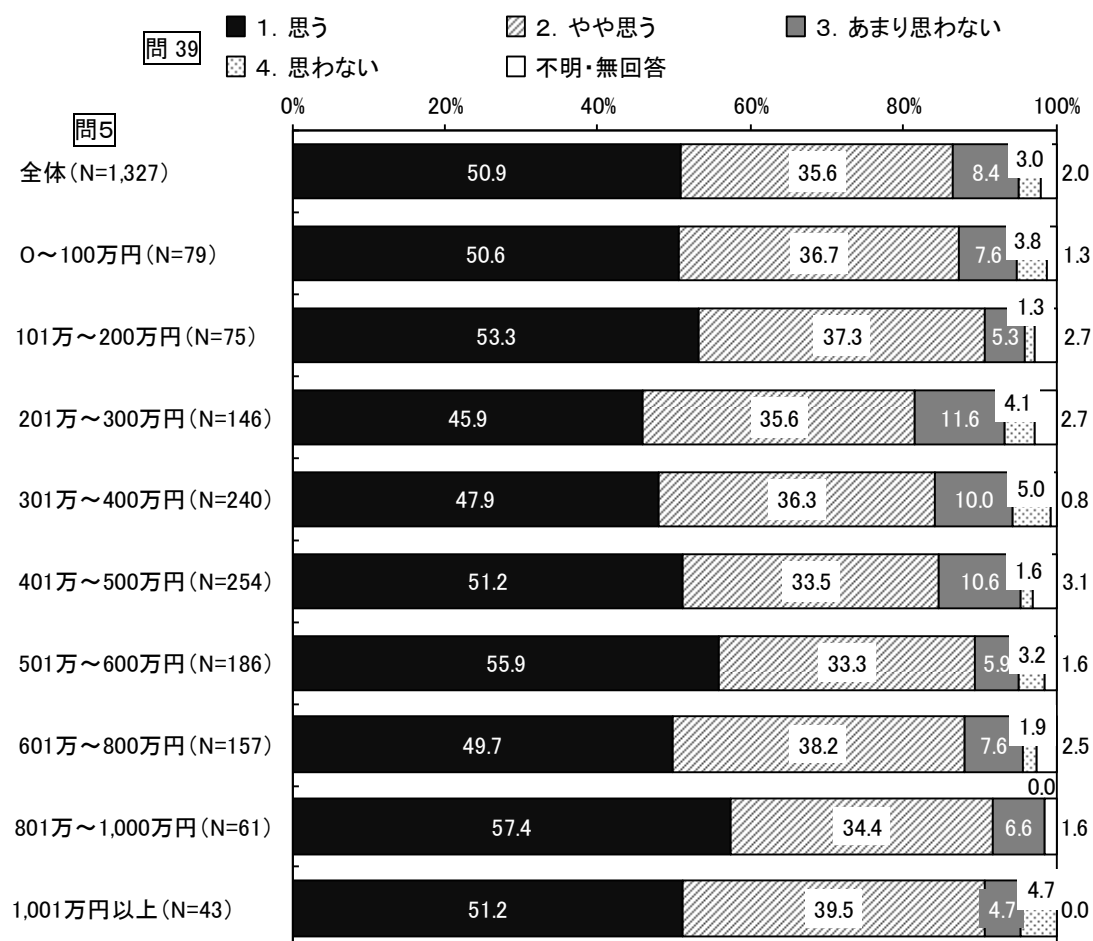
《問 39 定住意向 × 問 2 居住区別》

【思う（「1. 思う」と「2. やや思う」の合計）】の割合は、『下京区』『上京区』『左京区』において、【思わない（「3. あまり思わない」と「4. 思わない」の合計）】の割合は、『西京区（洛西地区を除く）』『東山区』『伏見区（醍醐地区）』において、他の区分に比べ高くなっています。



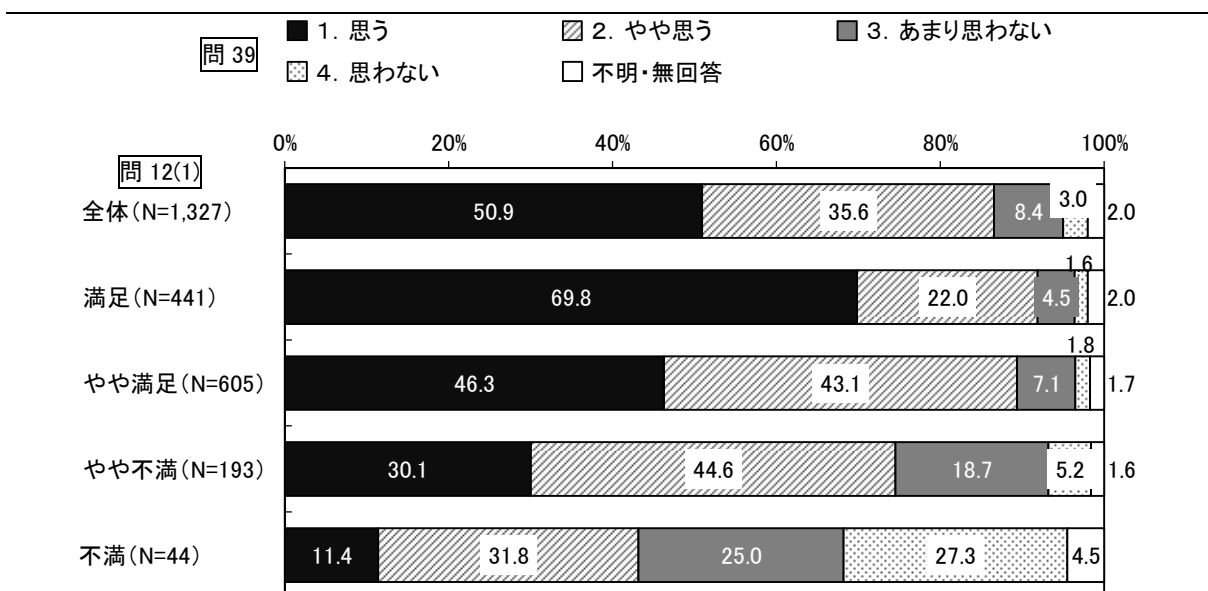
《問 39 定住意向 × 問 5 可処分所得別》

【思う（「1. 思う」と「2. やや思う」の合計）】の割合は、『801 万～1,000 万円』『1,001 万円以上』『101 万～200 万円』において、【思わない（「3. あまり思わない」と「4. 思わない」の合計）】の割合は、『201 万～300 万円』『301 万～400 万円』『401 万～500 万円』において、他の区分に比べ高くなっています。



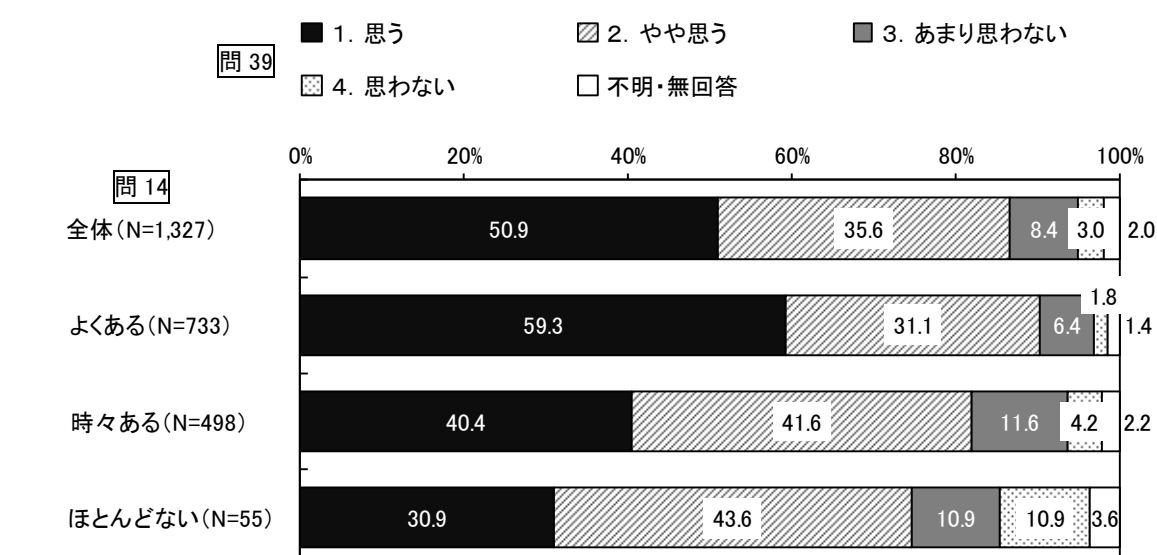
《問 39 定住意向 × 問 12(1) 家族や公的なサポートの満足度別》

『満足』『やや満足』では「1. 思う」、『やや不満』『不満』では「2. やや思う」の割合が最も高くなっています。また、満足度が下がるほど、今後も京都市で出産や子育てをしたいと「3. あまり思わない」「4. 思わない」の割合が高くなる傾向がみられます。



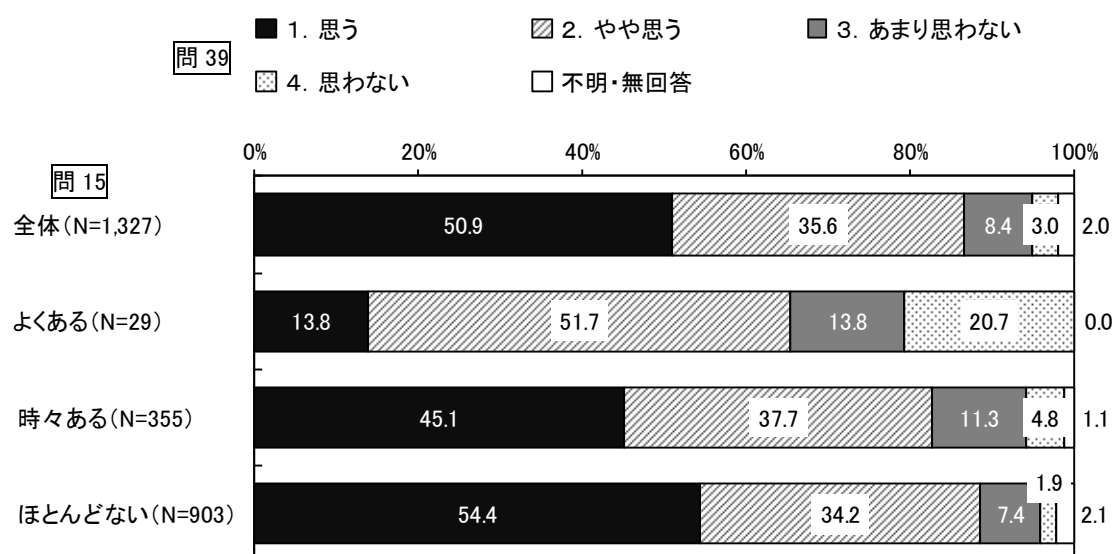
《問 39 定住意向 × 問 14 ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間別》

ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間があるほど、【思う（「1. 思う」と「2. やや思う」の合計）】の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 39 定住意向 × 問 15 子育てしにくいと感じるか別》

子育てしにくいと感じるほど、【思う（「1. 思う」と「2. やや思う」の合計）】の割合が低くなる傾向がみられます。



**京都市
青少年・若者に関する意識行動と
思春期保健に関する調査
【結果報告書（速報版）】**

平成 31 年 2 月

京都市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査設計	1
3 回収結果	1
4 報告書の見方	1
II. 調査結果（青少年用調査）	2
1 あなた自身のことについて	2
2 身近な人について	6
3 ふだんの生活について	10
4 地域活動への参加について	24
5 健康について	34
6 ふだんの気持ちや悩みについて	55
7 あなたの意識について	73
8 スマートフォンや携帯電話の利用について	75
9 たばこについて	78
10 性に関することについて	80
11 小さな子どもとふれあう機会について	85
12 ライフデザインについて	87
13 「大人になること」、「働くこと」への考え方について	95
14 京都市のまちづくりへの興味・参加について	101
15 子ども・若者を対象とした施設について	109
16 幼少期の状況について	113
III. 調査結果（保護者用調査）	115
1 あなたご自身について	115
2 宛名のお子さまについて	120
3 ご家庭や暮らしの状況について	125
4 青少年施策全般について	128

I. 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、青少年の生活や家庭での状況、施策に関するご意見等をうかがい、今後の京都市の青少年施策の充実に向けた基礎資料とすることを目的に実施しました。

2 調査設計

- 調査対象者：市内にお住まいの13歳から30歳までの青少年・若者及び13歳から18歳までの青少年の保護者
- 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
- 調査期間：平成30年9月7日～9月21日
- 調査方法：郵送による配布・回収

3 回収結果

		調査対象者（配布数）	有効回収数	有効回収率
青少年・若者に関する意識行動と 思春期保健に関する調査		6,500 件	1,393 件	21.4%
	うち13歳から18歳までの青少年・保護者	2,500 件	638 件	25.5%
(参考)	平成25年調査	5,000 件	1,150 件	23.0%
	平成21年調査	1,800 件	427 件	23.7%
	平成20年調査	5,000 件	1,061 件	21.2%

※平成21年調査の対象者は13歳以上30歳以下の市民、平成25年調査、平成20年調査の対象者は13歳以上19歳以下の市民

4 報告書の見方

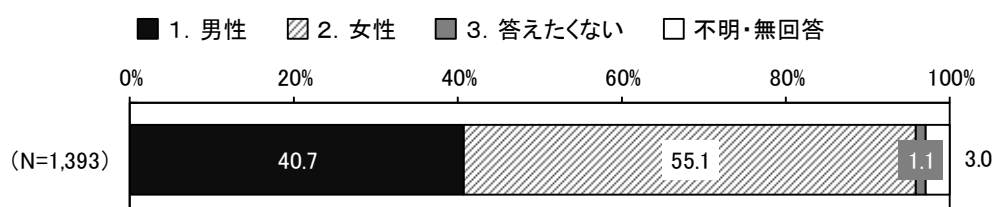
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 設問によっては、結果を詳細に分析するため、クロス集計表を掲載しています。

II. 調査結果（青少年用調査）

1 あなた自身のことについて

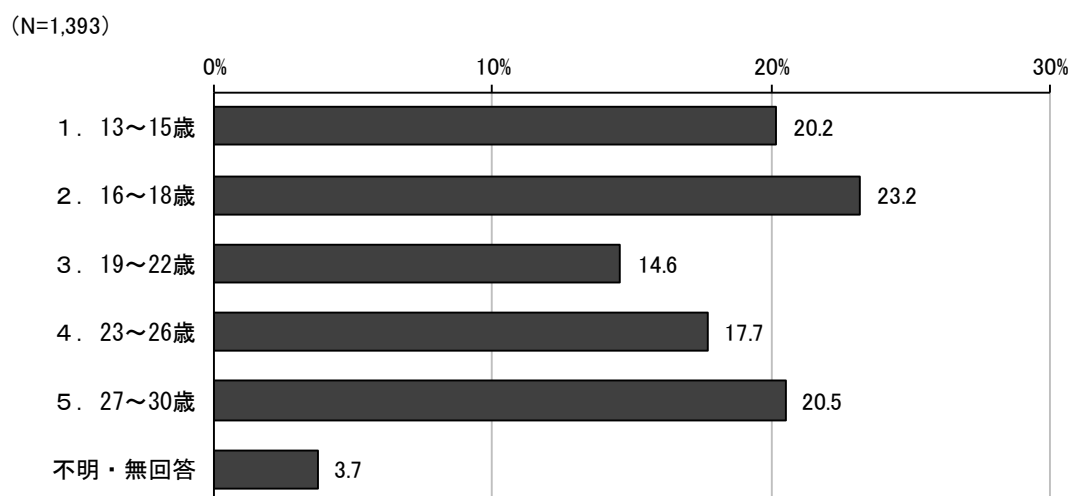
問1 あなたの性別はどちらですか。（○は1つ）

「1. 男性」が40.7%、「2. 女性」が55.1%となっています。



問2 あなたの年齢を記入してください。（平成30年9月1日現在の年齢）

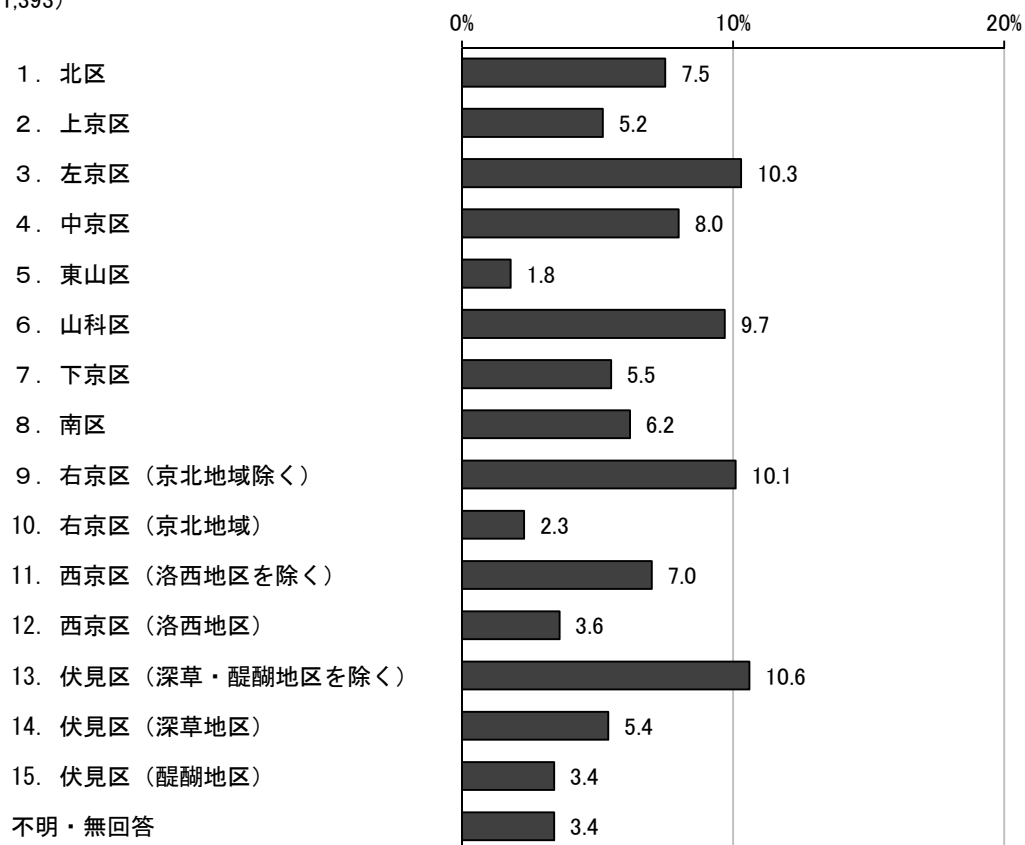
「2. 16～19歳」が26.7%と最も高く、次いで「1. 13～15歳」が20.2%、「5. 26～28歳」が14.3%となっています。



問3 あなたのお住まいの地区はどれですか。(〇は1つ)

「13. 伏見区（深草・醍醐地区を除く）」が10.6%と最も高く、次いで「3. 左京区」が10.3%, 「9. 右京区（京北地域除く）」が10.1%となっています。

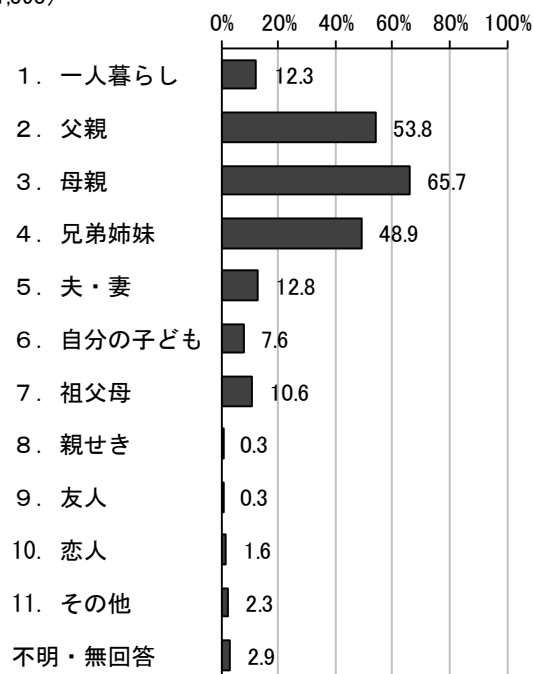
(N=1,393)



問4 あなたはだれと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

「3. 母親」が65.7%と最も高く、次いで「2. 父親」が53.8%, 「4. 兄弟姉妹」が48.9%となっています。

(N=1,393)

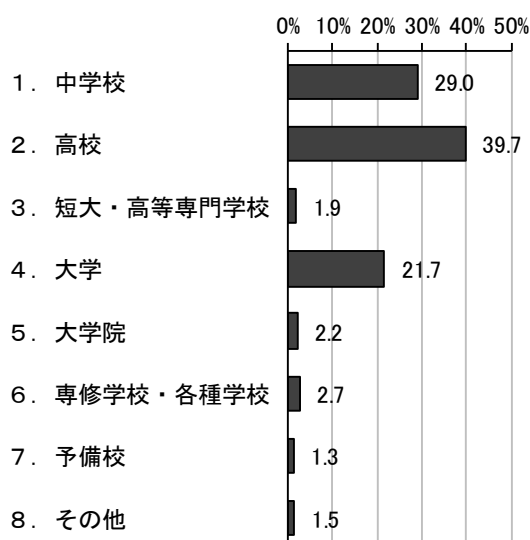


学生の方

問5(1) どの学校に通っていますか。(〇は1つ)

「2. 高校」が39.7%と最も高く、次いで「1. 中学校」が29.0%, 「4. 大学」が21.7%となっています。

(N=780)

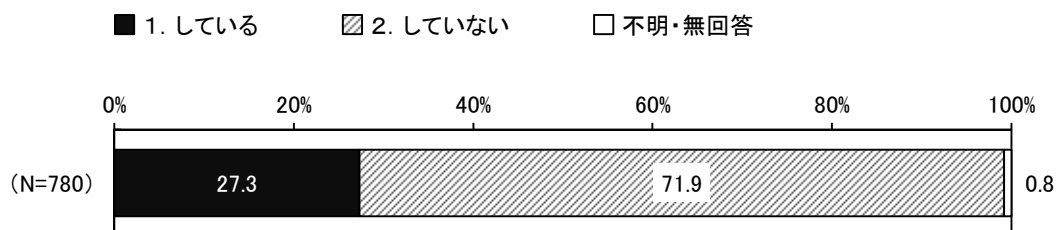


※不明・無回答除く

学生の方

問5(2) アルバイトやパートをしていますか。(〇は1つ)

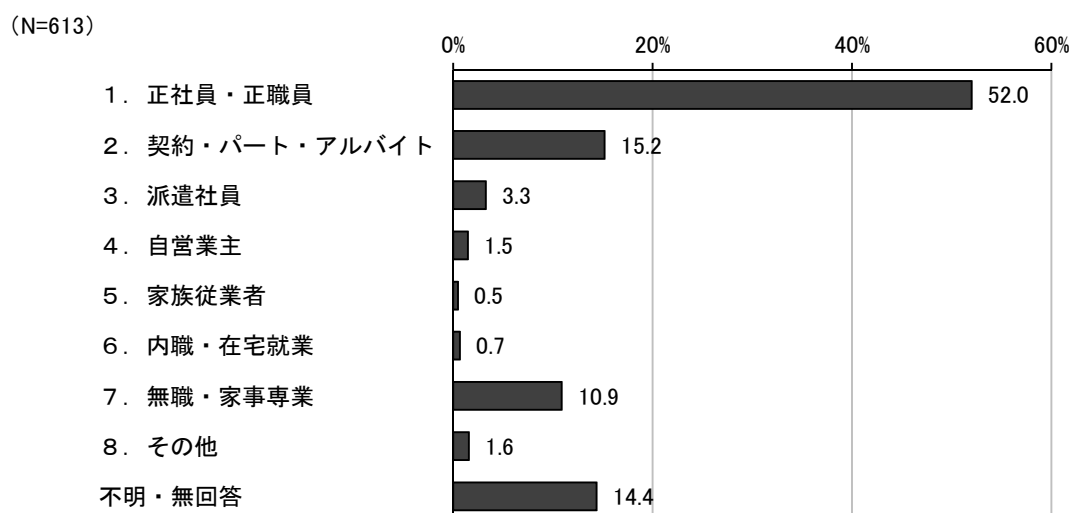
「1. している」が27.3%,「2. していない」が71.9%となっています。



学生以外の方

問6 職業等について教えてください。(〇は1つ)

「1. 正社員・正職員」が52.0%と最も高く、次いで「2. 契約・パート・アルバイト」が15.2%,「7. 無職・家事専業」が10.9%となっています。



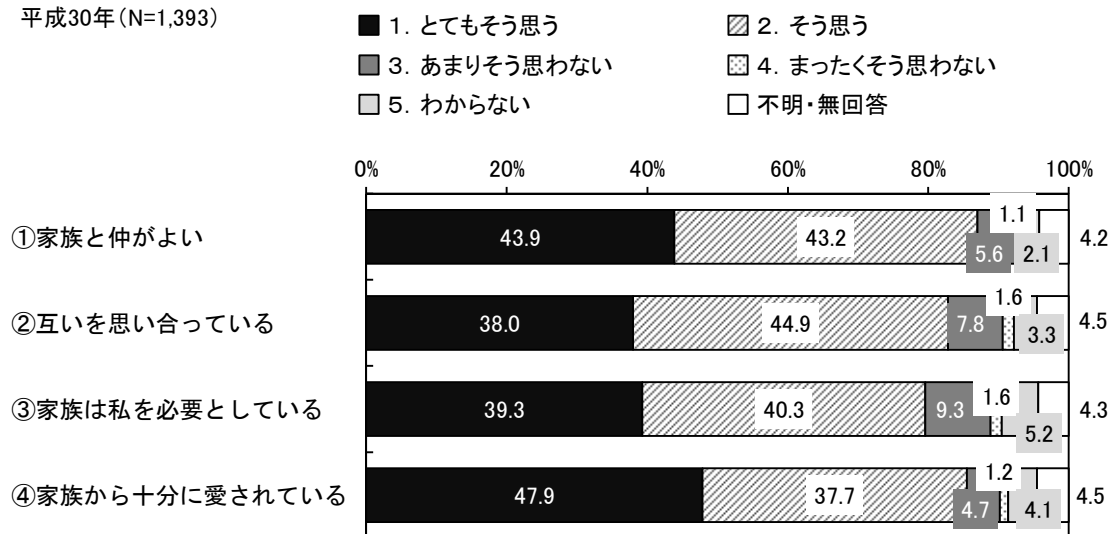
2 身近な人について

問7(1) あなたは、あなたの家族について、どのように思いますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

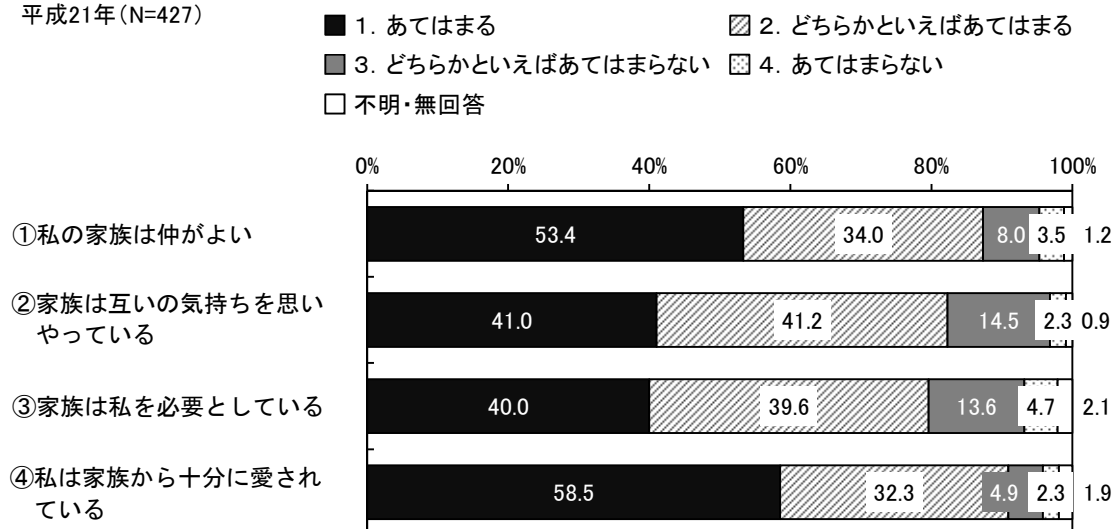
『思う(「1. とてもそう思う」と「2. そう思う」の合計)』は、[①家族と仲がよい]が87.1%と最も高く、次いで[④家族から十分に愛されている]が85.6%、[②互いを思い合っている]が82.9%となっています。

平成21年と比較すると、[④私は家族から十分に愛されている]について『思う』が、5.2ポイント低くなっています。

平成30年(N=1,393)



平成21年(N=427)

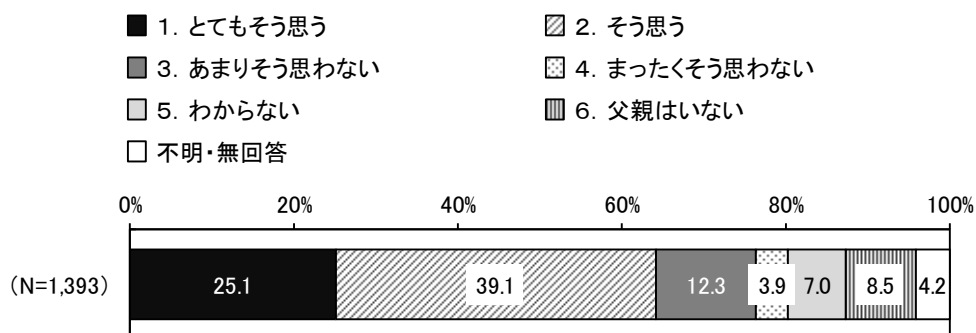


問 7(2) あなたの親はあなたのことを理解していると思いますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

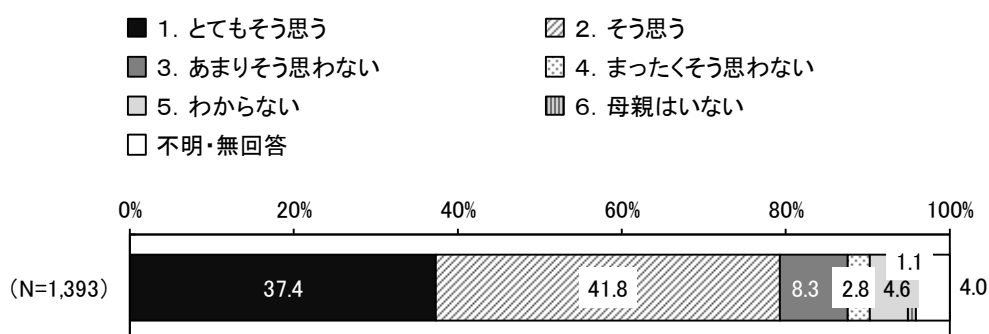
父親では、『思う（「1. とても思う」と「2. そう思う」の合計）』が 64.2%，『思わない（「3. あまりそう思わない」と「4. まったくそう思わない」の合計）』が 16.2%となっています。

母親では、『思う』が 79.2%，『思わない』が 11.1%となっています。

①父親



②母親

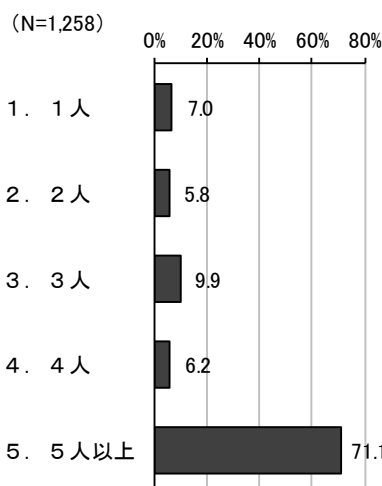


問8 ふだん付き合っている友人の数について、それぞれの（ ）内に数字をご記入ください。
また、友人のうち、本音で付き合える友人がいるかどうかについてもお答えください。（○は1つ）

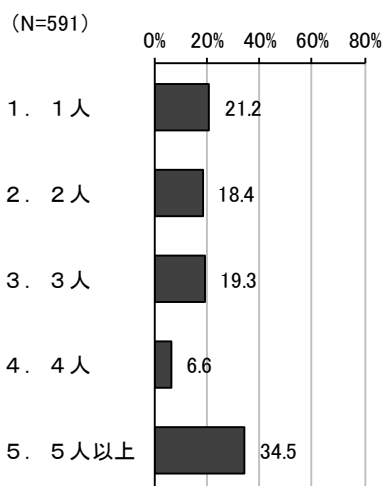
ふだん付き合っている友人の数について、[①-1 年齢が同じくらいの友人][①-2 3歳以上年齢の離れた友人][①-4 学校・職場の友人][①-5 ほとんど会ったことのないメル友やインターネット上の友人]はともに「5. 5人以上」が最も高くなっています。

① ふだん付き合っている友人の数

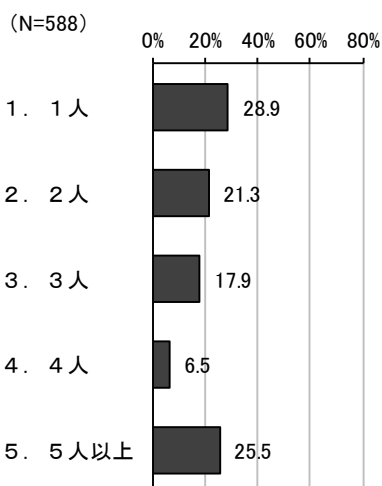
①-1 年齢が同じくらいの友人



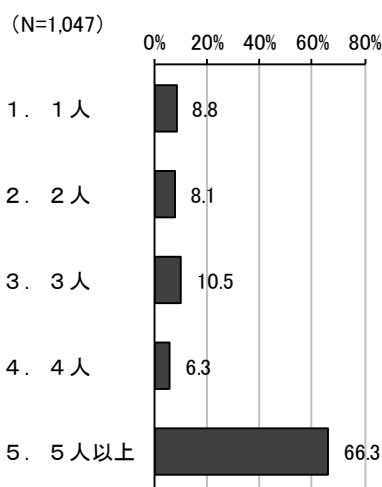
①-2 3歳以上年齢の離れた友人



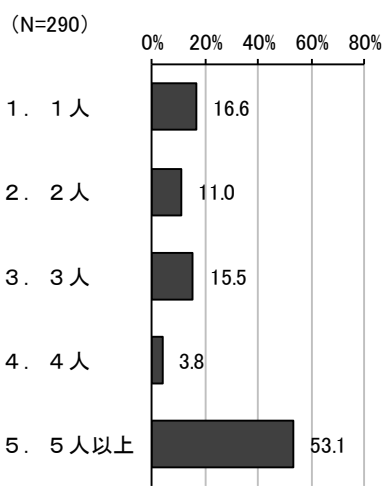
①-3 近所の友人



①-4 学校・職場の友人



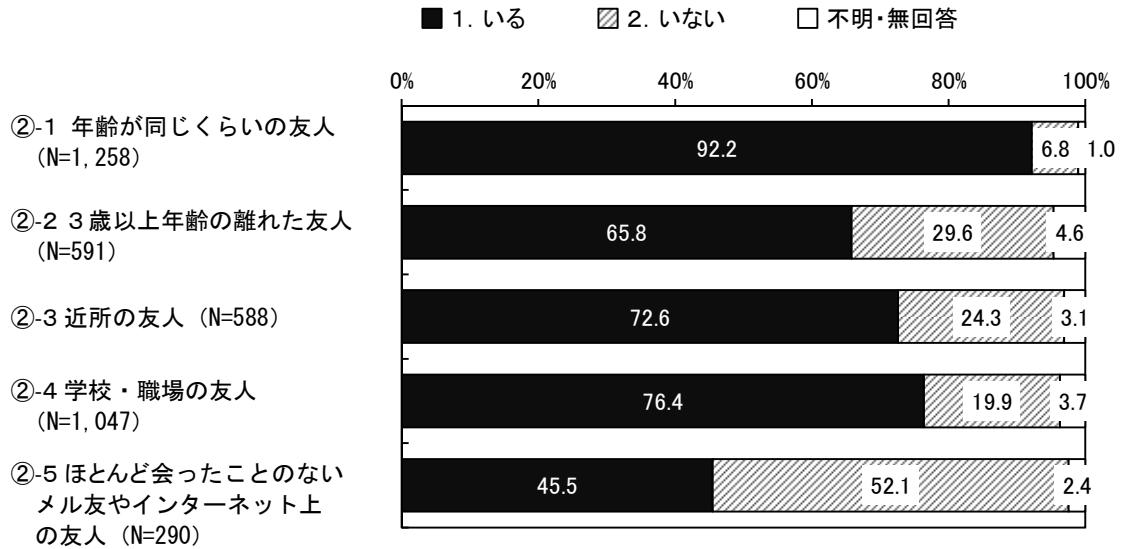
①-5 ほとんど会ったことのないメル友やインターネット上の友人



※不明・無回答除く

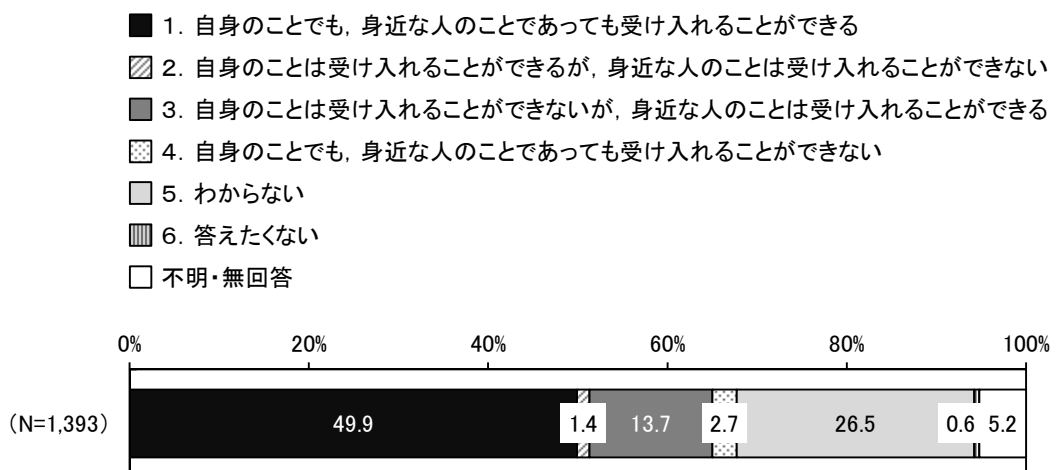
ふだん付き合っている友人のうち、本音で付き合える友人について、[②-1 年齢が同じくらいの友人][②-2 3歳以上年齢の離れた友人][②-3 近所の友人][②-4 学校・職場の友人]は「1. いる」が最も高くなっています。

② ①のうち、本音で付き合える友人



問9 あなたやあなたの身近な人（パートナーや家族、友人など）がLGBT等の性的少数者だったと仮定した場合、あなたはそのことを受け入れることができますか。（〇は1つ）

「1. 自身のことでも、身近な人のことであっても受け入れることができる」が49.9%と最も高く、次いで「5. わからない」が26.5%、「3. 自身のことは受け入れることができないが、身近な人のことは受け入れることができる」が13.7%となっています。



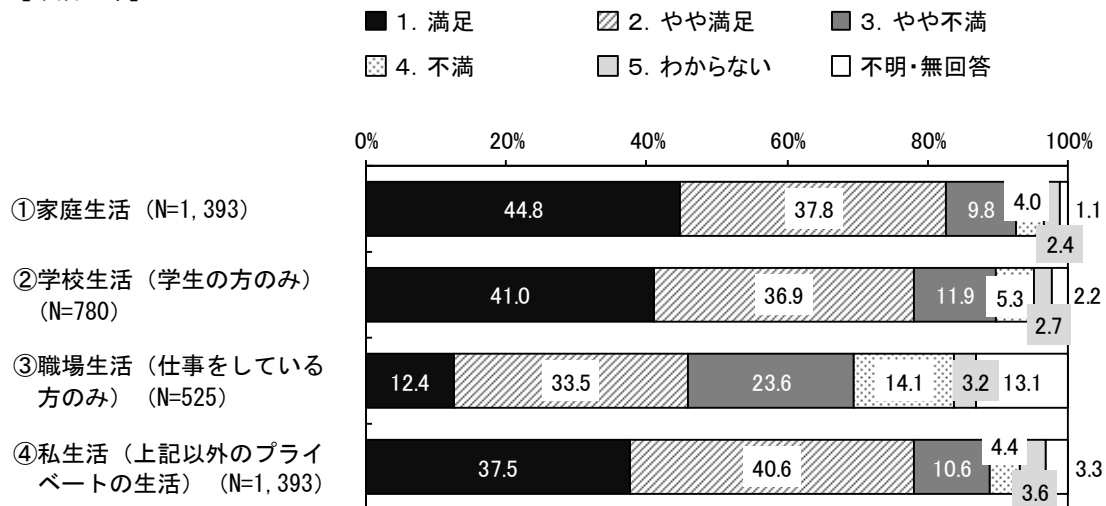
3 ふだんの生活について

問 10 あなたは今の生活に満足していますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

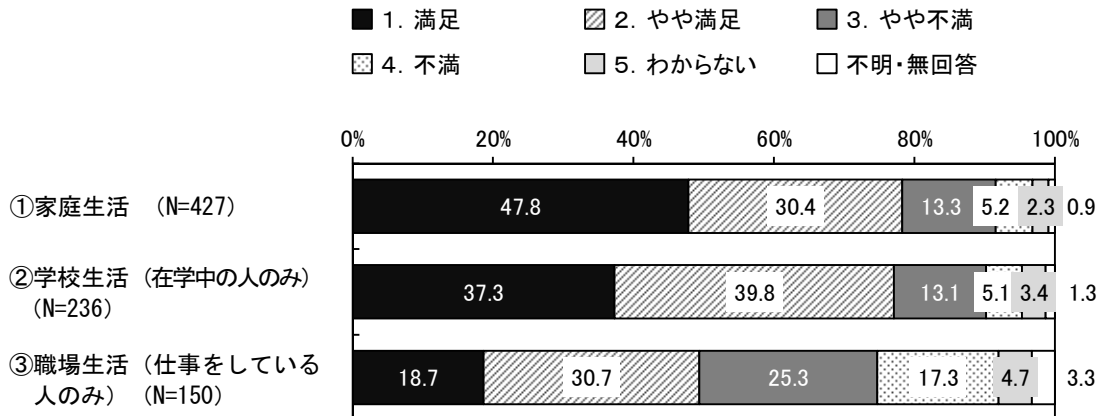
『満足(「1. 満足」と「2. やや満足」の合計)』は、[①家庭生活]が82.6%と最も高く、次いで[④私生活(上記以外のプライベートの生活)]が78.1%となっています。

平成21年と比較すると、特に大きな差はみられません。

【平成30年】

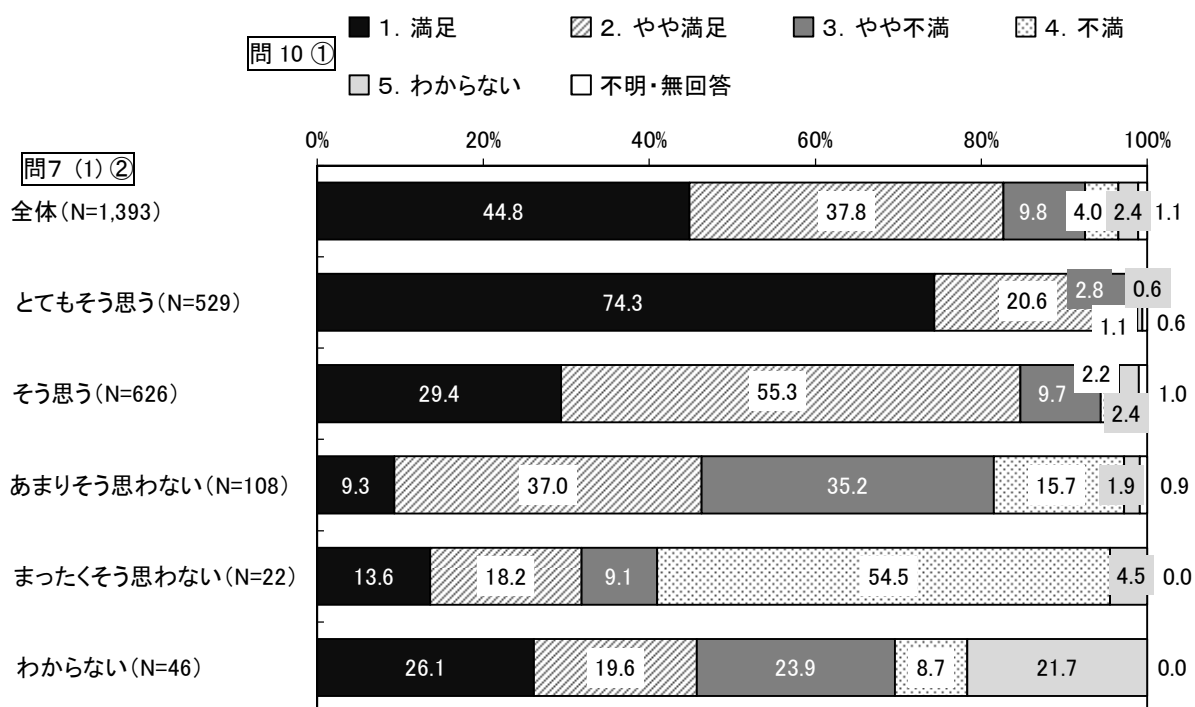


【平成21年】



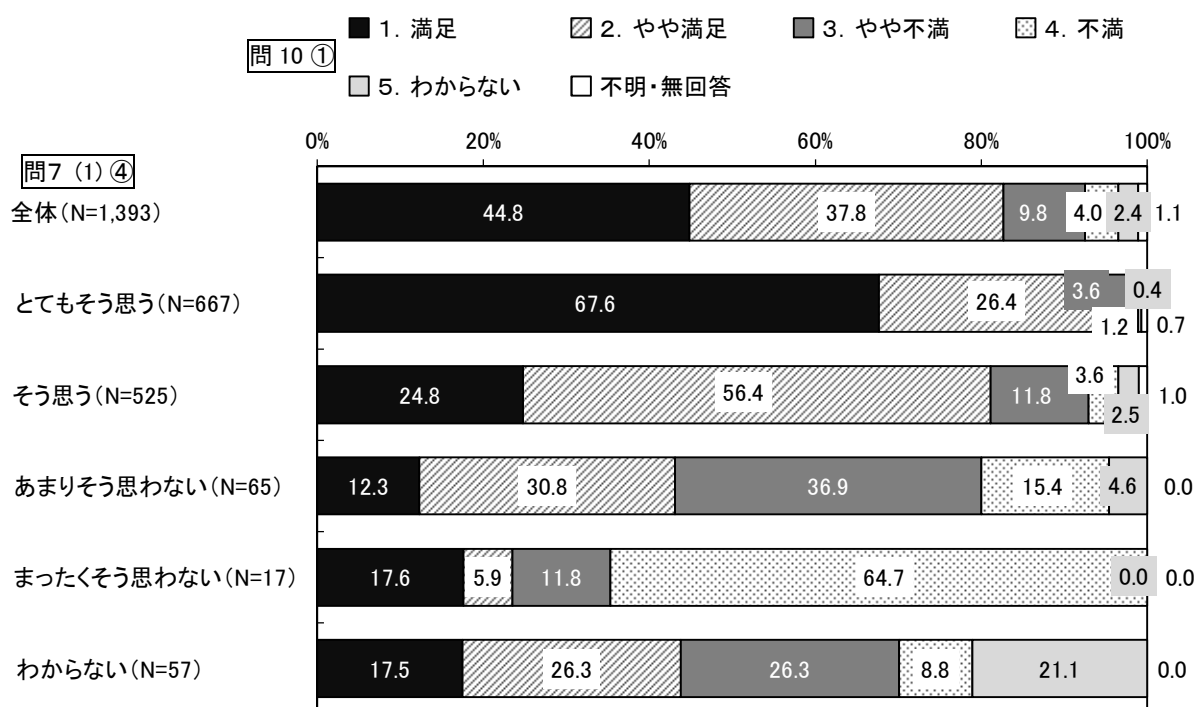
《問 10①家庭生活×問 7(1)家族との関係性別 (②互いを思い合っている)》

家族との関係性がよいほど、『満足 (「1. 満足」と「2. やや満足」の合計)』の割合が高くなる傾向がみられます。



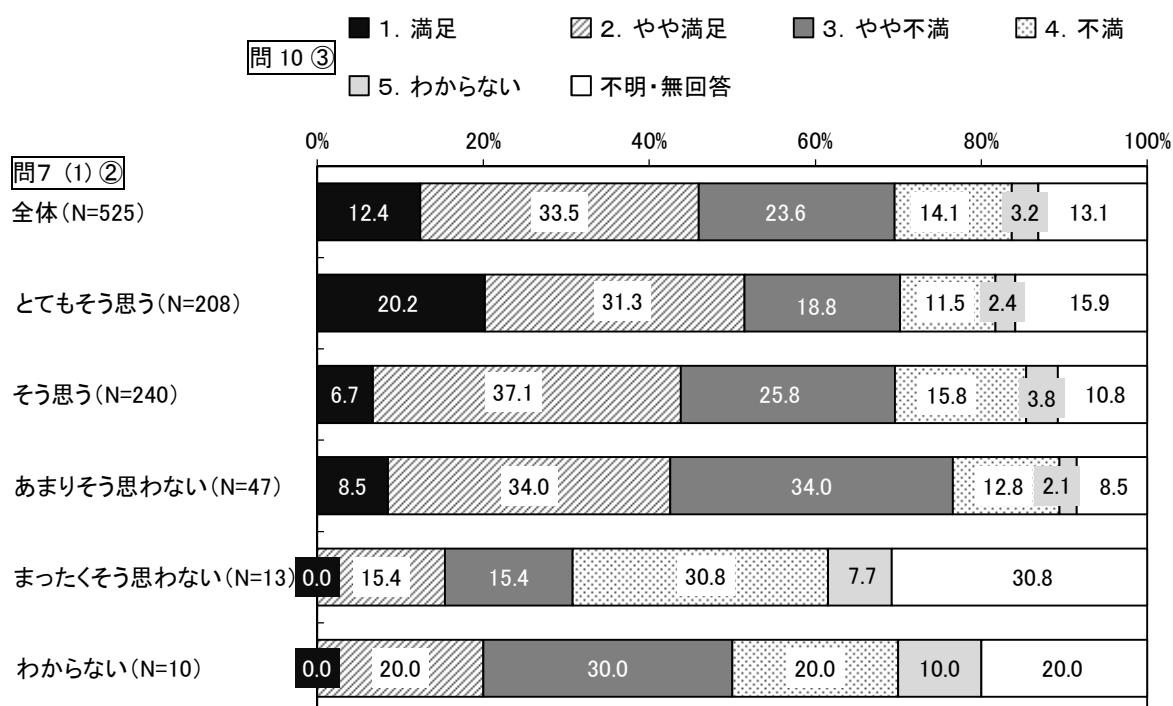
《問 10①家庭生活×問 7(1)家族との関係性別 (④家族から十分に愛されている)》

家族との関係性がよいほど、『満足 (「1. 満足」と「2. やや満足」の合計)』の割合が高くなる傾向がみられます。



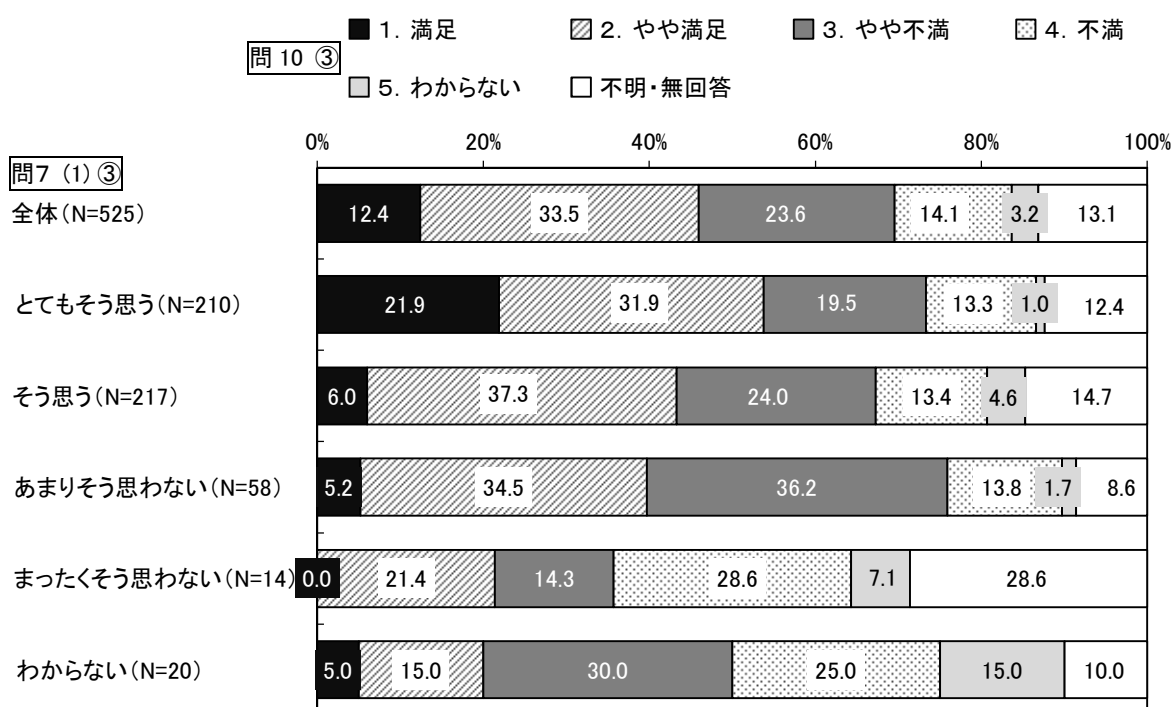
《問 10③職場生活×問 7(1)家族との関係性別 (②互いを思い合っている)》

家族との関係性がよいほど、『満足(「1. 満足」と「2. やや満足」の合計)』の割合が高くなる傾向がみられますが、最も割合が高い『とてもそう思う』で5割にとどまっています。



《問 10③職場生活×問 7(1)家族との関係性別 (③家族は私を必要としている)》

家族との関係性がよいほど、『満足(「1. 満足」と「2. やや満足」の合計)』の割合が高くなる傾向がみられますが、最も割合が高い『とてもそう思う』で5割程度にとどまっています。



問 11 あなたが、①～⑦の場所や場面でふだん感じる気持ちについて教えてください。

(〇はそれぞれいくつでも)

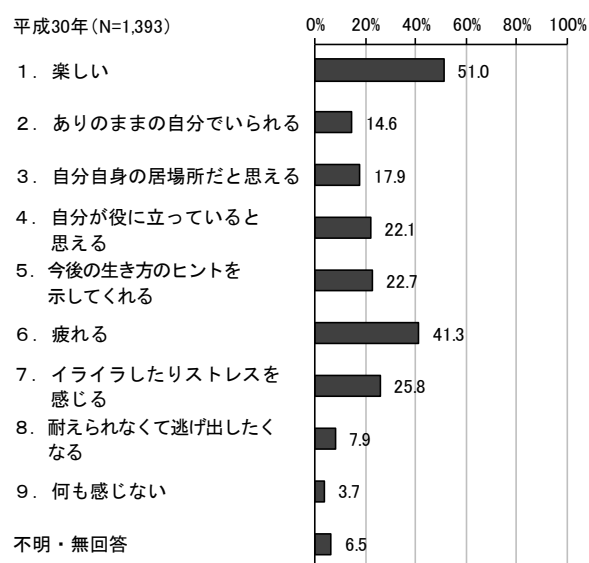
① 現在の学校・職場，② 家庭

①現在の学校・職場では、「1. 楽しい」が51.0%と最も高く、次いで「6. 疲れる」が41.3%，「7. イライラしたりストレスを感じる」が25.8%となっています。

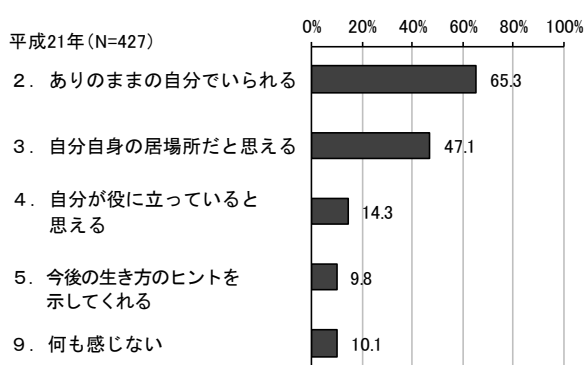
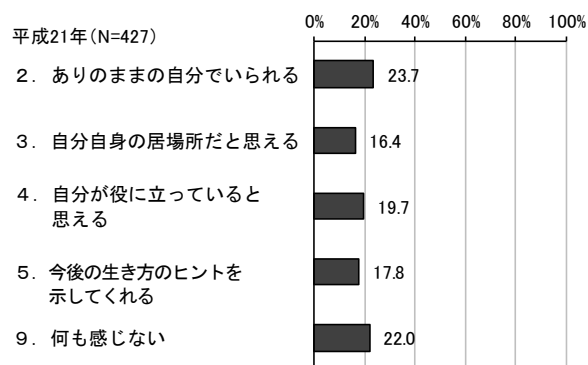
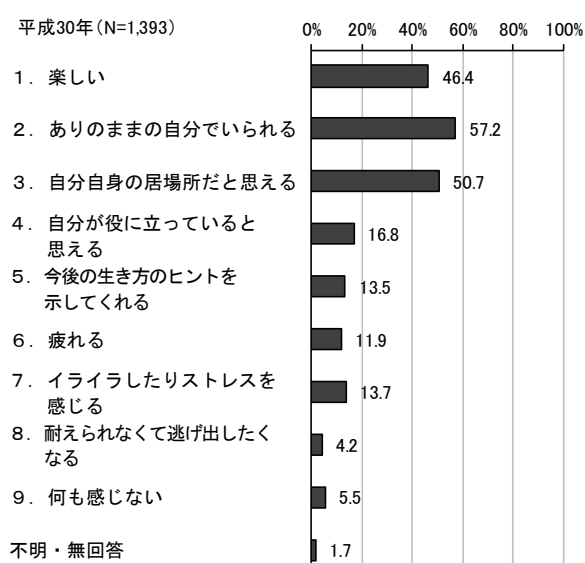
②家庭では、「2. ありのままの自分でいられる」が57.2%と最も高く、次いで「3. 自分自身の居場所だと思える」が50.7%，「1. 楽しい」が46.4%となっています。

平成21年と比較すると、①現在の学校・職場では、「2. ありのままの自分でいられる」が9.1ポイント、「9. 何も感じない」が18.3ポイント低くなっています。②家庭では、「2. ありのままの自分でいられる」が8.1ポイント低くなっています。

① 現在の学校・職場



② 家庭



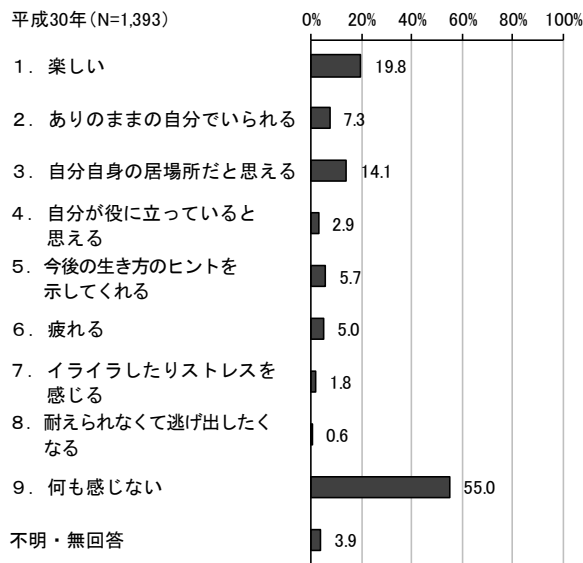
③ 地域, ④ 一人でいる時

③地域では、「9. 何も感じない」が55.0%と最も高く、次いで「1. 楽しい」が19.8%、「3. 自分自身の居場所だと思える」が14.1%となっています。

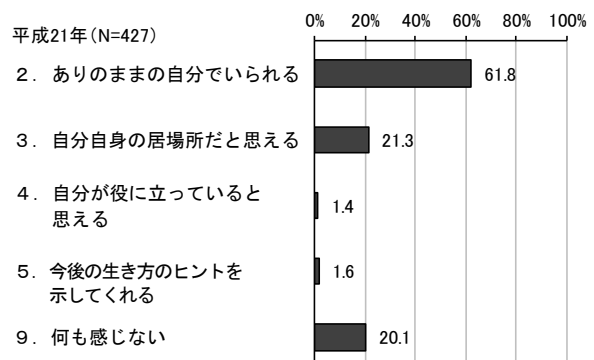
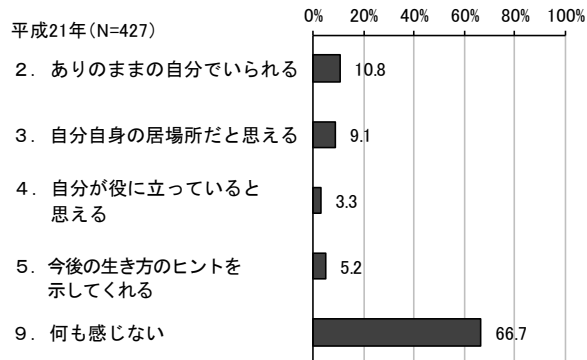
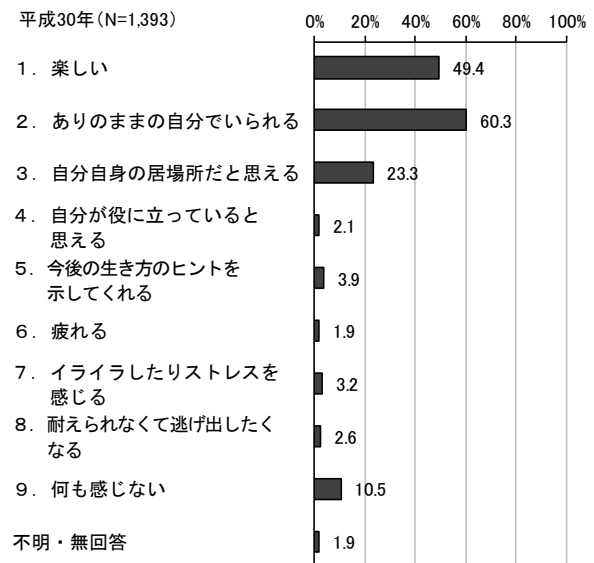
④一人でいる時では、「2. ありのままの自分でいられる」が60.3%と最も高く、次いで「1. 楽しい」が49.4%、「3. 自分自身の居場所だと思える」が23.3%となっています。

平成21年と比較すると、③地域では「3. 自分自身の居場所だと思える」が5.0ポイント高く、「9. 何も感じない」が11.7ポイント低くなっています。④一人でいる時では「9. 何も感じない」が9.6ポイント低くなっています。

③ 地域



④ 一人でいる時



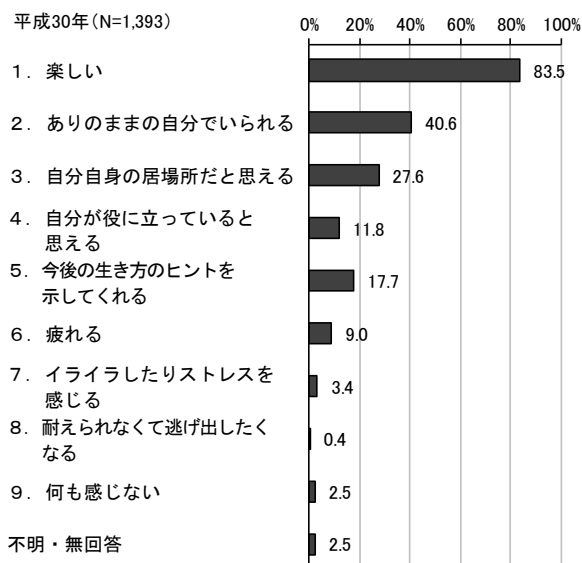
⑤友人という時、⑥ インターネット空間、⑦ その他

⑤友人という時では、「1. 楽しい」が 83.5%と最も高く、次いで「2. ありのままの自分でいられる」が 40.6%、「3. 自分自身の居場所だと思える」が 27.6%となっています。

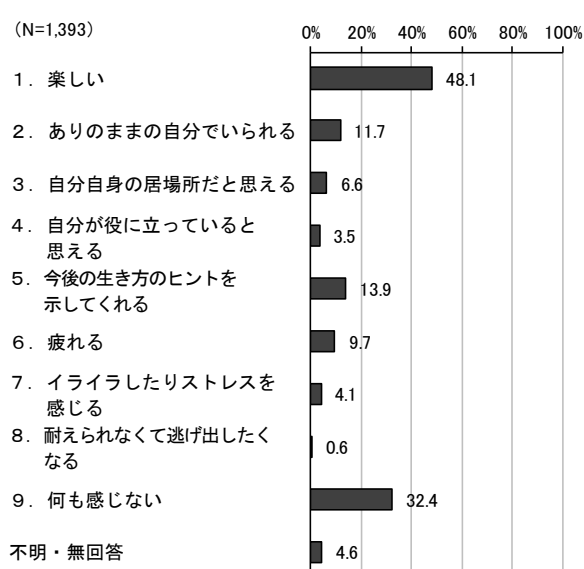
平成 21 年と比較すると、「5. 今後の生き方のヒントを示してくれる」が 6.2 ポイント、「9. 何も感じない」が 5.2 ポイント低くなっています。

⑥インターネット空間では、「1. 楽しい」が 48.1%と最も高く、次いで「9. 何も感じない」が 32.4%、「5. 今後の生き方のヒントを示してくれる」が 13.9%となっています。

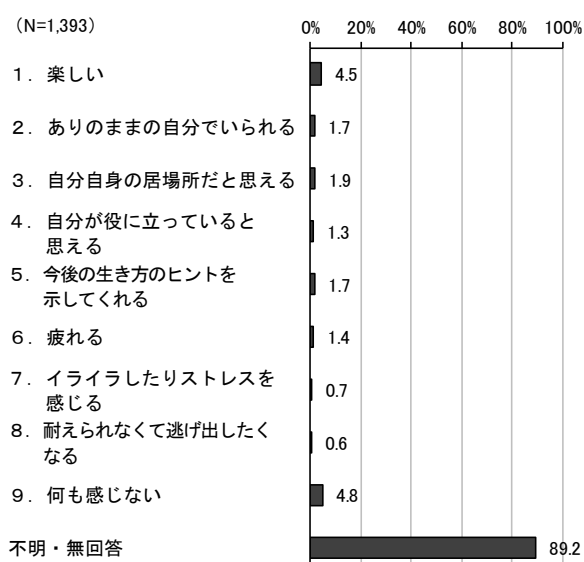
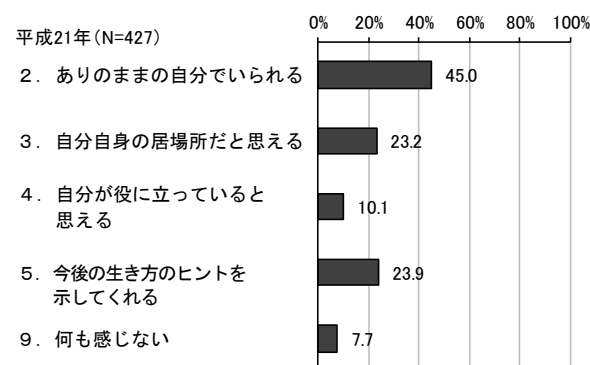
⑤友人という時



⑥ インターネット空間



⑦ その他



《問 11①現在の学校・職場×問 7(1)家族との関係性別（④家族から十分に愛されている）》

家族から十分に愛されていると『とてもそう思う』『そう思う』では「楽しい」、『あまりそう思わない』『まったくそう思わない』『わからない』では「疲れる」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	楽しい	ありのまま の自分でい られる	自分自身の 居場所だと 思える	自分が役に 立っていると 思える	今後の生き 方のヒントを 示してくれる	疲れる	イライラした りストレスを 感じる	耐えられなく て逃げ出し たくなる	何も感じな い	不明・無回 答
全 体		1,393 100.0	711 51.0	203 14.6	250 17.9	308 22.1	316 22.7	575 41.3	359 25.8	110 7.9	52 3.7	91 6.5
家族 から 十分 に愛 され てい る	とても思う	667 100.0	400 60.0	124 18.6	139 20.8	170 25.5	160 24.0	258 38.7	163 24.4	48 7.2	17 2.5	45 6.7
	そう思う	525 100.0	241 45.9	54 10.3	81 15.4	103 19.6	121 23.0	227 43.2	138 26.3	39 7.4	23 4.4	31 5.9
	あまりそう思わない	65 100.0	22 33.8	9 13.8	11 16.9	14 21.5	9 13.8	26 40.0	21 32.3	9 13.8	3 4.6	3 4.6
	まったくそう思わない	17 100.0	5 29.4	1 5.9	5 29.4	4 23.5	3 17.6	11 64.7	7 41.2	4 23.5	0 0.0	2 11.8
	わからない	57 100.0	23 40.4	8 14.0	5 8.8	6 10.5	8 14.0	32 56.1	15 26.3	7 12.3	6 10.5	3 5.3

《問 11①現在の学校・職場×問 17①自分の健康観（からだ）別》

自分のからだが『とても健康』『健康』では「楽しい」、『やや不健康』『不健康』『わからない』では「疲れる」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	楽しい	ありのまま の自分でい られる	自分自身の 居場所だと 思える	自分が役に 立っていると 思える	今後の生き 方のヒントを 示してくれる	疲れる	イライラした りストレスを 感じる	耐えられなく て逃げ出し たくなる	何も感じな い	不明・無回 答
全 体		1,393 100.0	711 51.0	203 14.6	250 17.9	308 22.1	316 22.7	575 41.3	359 25.8	110 7.9	52 3.7	91 6.5
自 分 の か ら だ の 健 康 観	とても健康	338 100.0	240 71.0	68 20.1	69 20.4	80 23.7	71 21.0	98 29.0	61 18.0	16 4.7	9 2.7	18 5.3
	健康	612 100.0	309 50.5	96 15.7	123 20.1	136 22.2	143 23.4	242 39.5	144 23.5	40 6.5	23 3.8	33 5.4
	やや不健康	293 100.0	116 39.6	29 9.9	47 16.0	67 22.9	75 25.6	155 52.9	94 32.1	37 12.6	12 4.1	24 8.2
	不健康	79 100.0	25 31.6	5 6.3	7 8.9	15 19.0	13 16.5	49 62.0	38 48.1	9 11.4	3 3.8	12 15.2
	わからない	40 100.0	12 30.0	1 2.5	2 5.0	4 10.0	7 17.5	18 45.0	11 27.5	4 10.0	4 10.0	1 2.5

《問 11①現在の学校・職場×問 17②自分の健康観（こころ）別》

自分のこころが『とても健康』『健康』では「楽しい」、『やや不健康』『不健康』『わからない』では「疲れる」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	楽しい	ありのまま の自分でい られる	自分自身の 居場所だと 思える	自分が役に 立っていると 思える	今後の生き 方のヒントを 示してくれる	疲れる	イライラした りストレスを 感じる	耐えられなく て逃げ出し たくなる	何も感じな い	不明・無回 答
全 体		1,393 100.0	711 51.0	203 14.6	250 17.9	308 22.1	316 22.7	575 41.3	359 25.8	110 7.9	52 3.7	91 6.5
自分 の こ こ ろ の 健 康 観	とても健康	310 100.0	236 76.1	72 23.2	68 21.9	79 25.5	73 23.5	77 24.8	42 13.5	10 3.2	8 2.6	14 4.5
	健康	608 100.0	322 53.0	95 15.6	127 20.9	155 25.5	139 22.9	252 41.4	139 22.9	21 3.5	25 4.1	33 5.4
	やや不健康	247 100.0	88 35.6	21 8.5	33 13.4	44 17.8	59 23.9	125 50.6	95 38.5	39 15.8	10 4.0	17 6.9
	不健康	108 100.0	19 17.6	4 3.7	10 9.3	14 13.0	17 15.7	60 55.6	45 41.7	26 24.1	3 2.8	20 18.5
	わからない	80 100.0	33 41.3	5 6.3	7 8.8	10 12.5	20 25.0	46 57.5	26 32.5	10 12.5	4 5.0	4 5.0

《問 11②家庭×問 7(1)家族との関係性別（①家族と仲がよい）》

家族と仲がよいと『とてもそう思う』では「楽しい」、『そう思う』では「ありのままの自分でいられる」、『あまりそう思わない』『まったくそう思わない』『わからない』では「疲れる」の割合が最も高くなっています。また、『あまりそう思わない』では「イライラしたりストレスを感じる」の割合も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	楽しい	ありのまま の自分でい られる	自分自身の 居場所だと 思える	自分が役に 立っていると 思える	今後の生き 方のヒントを 示してくれる	疲れる	イライラした りストレスを 感じる	耐えられなく て逃げ出し たくなる	何も感じな い	不明・無回 答
全 体	1,393 100.0	647 46.4	797 57.2	706 50.7	234 16.8	188 13.5	166 11.9	191 13.7	58 4.2	76 5.5	24 1.7
家 族 と 仲 が よ い	とてもそう思う	611 100.0	415 67.9	413 67.6	378 61.9	144 23.6	116 19.0	30 4.9	52 8.5	10 1.6	5 0.8
	そう思う	602 100.0	199 33.1	330 54.8	291 48.3	82 13.6	66 11.0	81 13.5	84 14.0	24 4.0	8 1.3
	あまりそう思わない	78 100.0	7 9.0	18 23.1	9 11.5	5 6.4	2 2.6	32 41.0	32 41.0	16 20.5	2 2.6
	まったくそう思わ ない	15 100.0	3 20.0	1 6.7	1 6.7	- -	1 6.7	7 46.7	6 40.0	4 26.7	1 6.7
	わからない	29 100.0	6 20.7	7 24.1	6 20.7	- -	1 3.4	11 37.9	10 34.5	2 6.9	- -

《問 11②家庭×問 7(1)家族との関係性別（②互いを思い合っている）》

互いを思い合っていると『とてもそう思う』では「楽しい」、『そう思う』では「ありのままの自分でいられる」、『あまりそう思わない』『わからない』では「疲れる」、『まったくそう思わない』では「イライラしたりストレスを感じる」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	楽しい	ありのまま の自分でい られる	自分自身の 居場所だと 思える	自分が役に 立っていると 思える	今後の生き 方のヒントを 示してくれる	疲れる	イライラした りストレスを 感じる	耐えられなく て逃げ出し たくなる	何も感じな い	不明・無回 答
全 体	1,393 100.0	647 46.4	797 57.2	706 50.7	234 16.8	188 13.5	166 11.9	191 13.7	58 4.2	76 5.5	24 1.7
互 い を 思 い 合 っ て い る	とてもそう思う	529 100.0	384 72.6	367 69.4	333 62.9	138 26.1	114 21.6	27 5.1	44 8.3	14 2.6	5 0.9
	そう思う	626 100.0	217 34.7	359 57.3	319 51.0	84 13.4	65 10.4	69 11.0	78 12.5	13 2.1	6 1.0
	あまりそう思わない	108 100.0	12 11.1	28 25.9	20 18.5	6 5.6	3 2.8	36 33.3	35 32.4	19 17.6	4 3.7
	まったくそう思わ ない	22 100.0	2 9.1	2 9.1	2 9.1	2 9.1	1 4.5	13 59.1	14 63.6	6 27.3	1 4.5
	わからない	46 100.0	13 28.3	11 23.9	9 19.6	1 2.2	3 6.5	16 34.8	13 28.3	4 8.7	- -

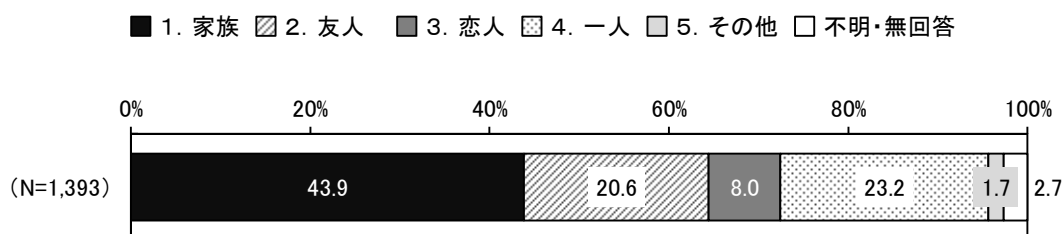
《問 11②家庭×問 7(1)家族との関係性別（④家族から十分に愛されている）》

家族から十分に愛されていると『とてもそう思う』『そう思う』では「ありのままの自分でいられる」、『あまりそう思わない』『まったくそう思わない』『わからない』では「疲れる」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	楽しい	ありのまま の自分でい られる	自分自身の 居場所だと 思える	自分が役に 立っていると 思える	今後の生き 方のヒントを 示してくれる	疲れる	イライラした りストレスを 感じる	耐えられなく て逃げ出し たくなる	何も感じな い	不明・無回 答
全 体	1,393 100.0	647 46.4	797 57.2	706 50.7	234 16.8	188 13.5	166 11.9	191 13.7	58 4.2	76 5.5	24 1.7
家 族 か ら 十 分 に 愛 さ れ て い る	とてもそう思う	667 100.0	447 67.0	466 69.9	418 62.7	159 23.8	136 20.4	40 6.0	58 8.7	11 2.4	7 1.0
	そう思う	525 100.0	164 31.2	269 51.2	238 45.3	67 12.8	45 8.6	72 13.7	77 14.7	15 2.9	5 1.0
	あまりそう思わない	65 100.0	4 6.2	19 29.2	13 20.0	4 6.2	1 1.5	22 33.8	21 32.3	11 24.6	1 1.5
	まったくそう思わ ない	17 100.0	2 11.8	2 11.8	1 5.9	- -	1 5.9	9 52.9	11 64.7	4 23.5	1 5.9
	わからない	57 100.0	11 19.3	12 21.1	12 21.1	1 1.8	3 5.3	18 31.6	17 29.8	5 8.8	2 3.5

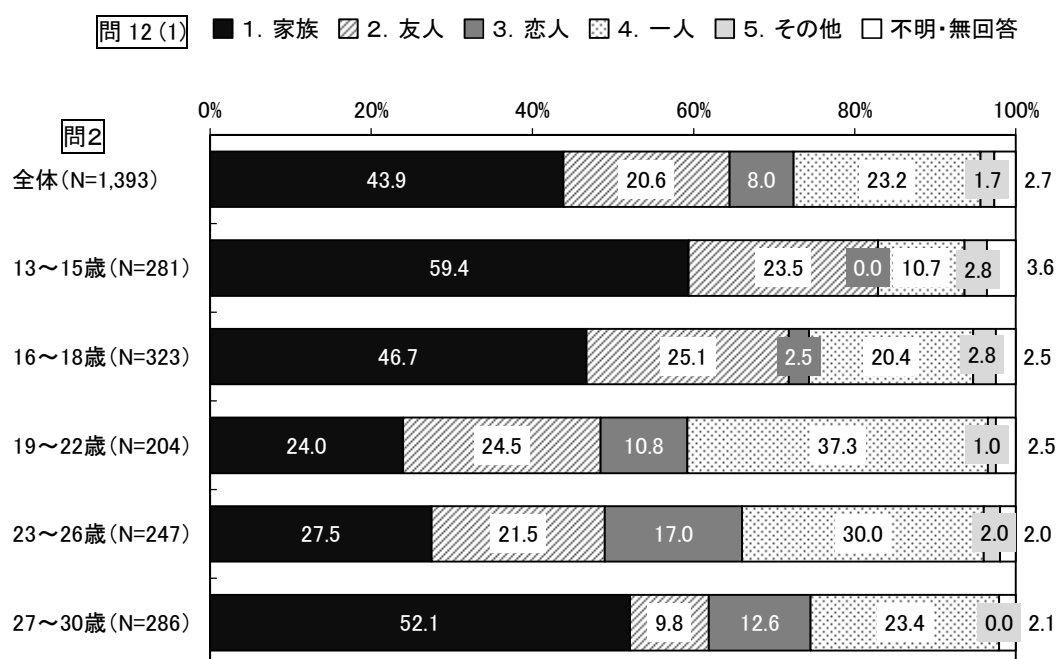
問 12(1) あなたはふだん、休日を主にだれと過ごすことが多いですか。(〇は1つ)

「1. 家族」が43.9%と最も高く、次いで「4. 一人」が23.2%、「2. 友人」が20.6%となっています。



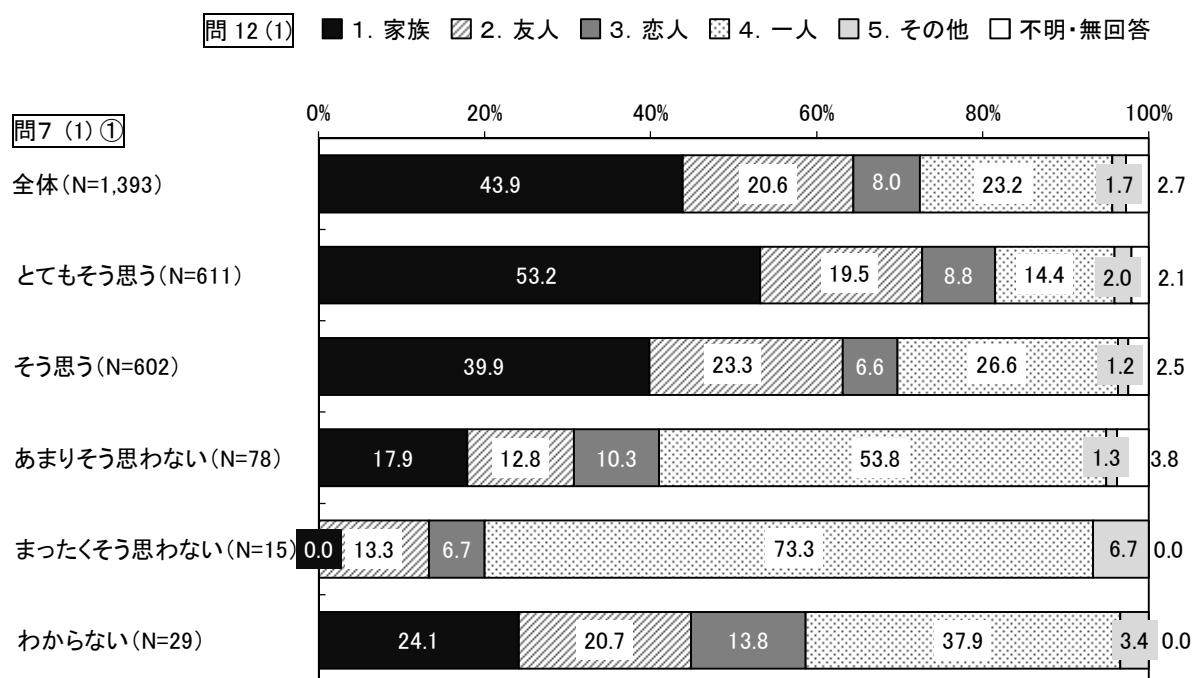
《問 12(1)×問 2 年齢別》

『13～15 歳』『16～18 歳』『27～30 歳』では「1. 家族」,『19～22 歳』『23～26 歳』では「4. 一人」の割合が最も高くなっています。



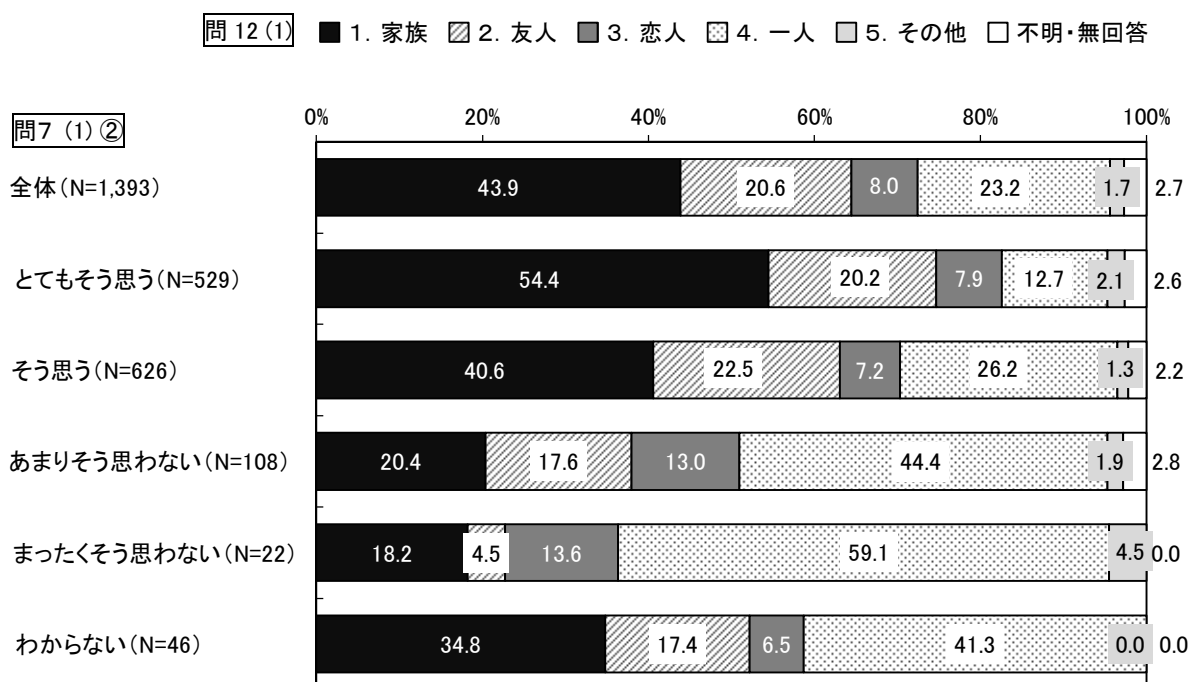
《問 12(1)×問 7(1)家族との関係性別 (①家族と仲がよい)》

家族と仲がよいと『とてもそう思う』『そう思う』では「1. 家族」,『あまりそう思わない』『まったくそう思わない』『わからない』では「4. 一人」の割合が最も高くなっています。



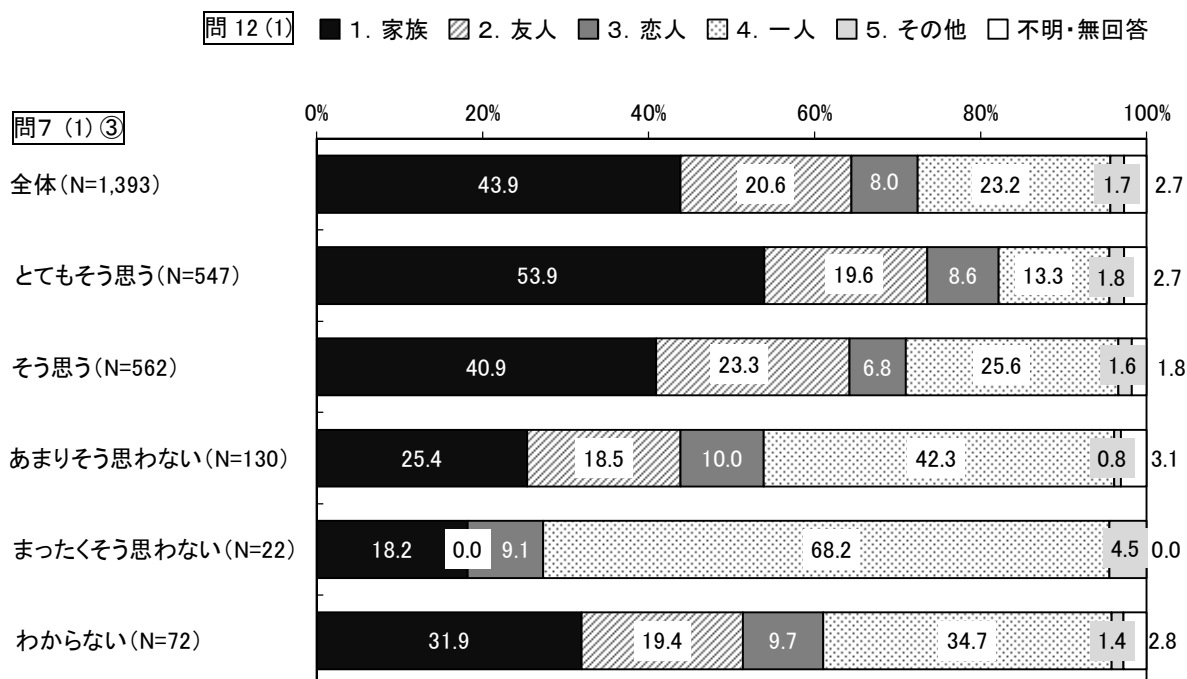
《問 12(1)×問 7(1)家族との関係性別 (②互いを思い合っている)》

互いに思い合っていると『とてもそう思う』『そう思う』では「1. 家族」,『あまりそう思わない』『まったくそう思わない』『わからない』では「4. 一人」の割合が最も高くなっています。



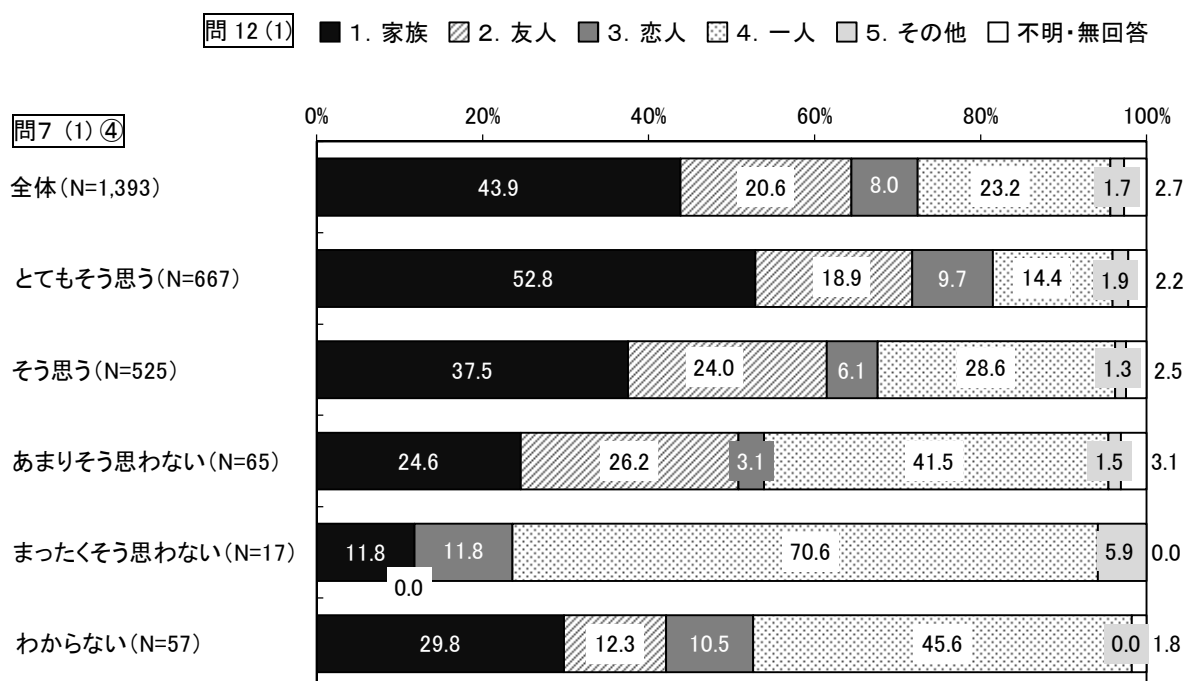
《問 12(1)×問 7(1)家族との関係性別（③家族は私を必要としている）》

家族は自分を必要としていると『とてもそう思う』『そう思う』では「1. 家族」,『あまりそう思わない』『まったくそう思わない』『わからない』では「4. 一人」の割合が最も高くなっています。



《問 12(1)×問 7(1)家族との関係性別（④家族から十分に愛されている）》

家族から十分に愛されていると『とてもそう思う』『そう思う』では「1. 家族」,『あまりそう思わない』『まったくそう思わない』『わからない』では「4. 一人」の割合が最も高くなっています。



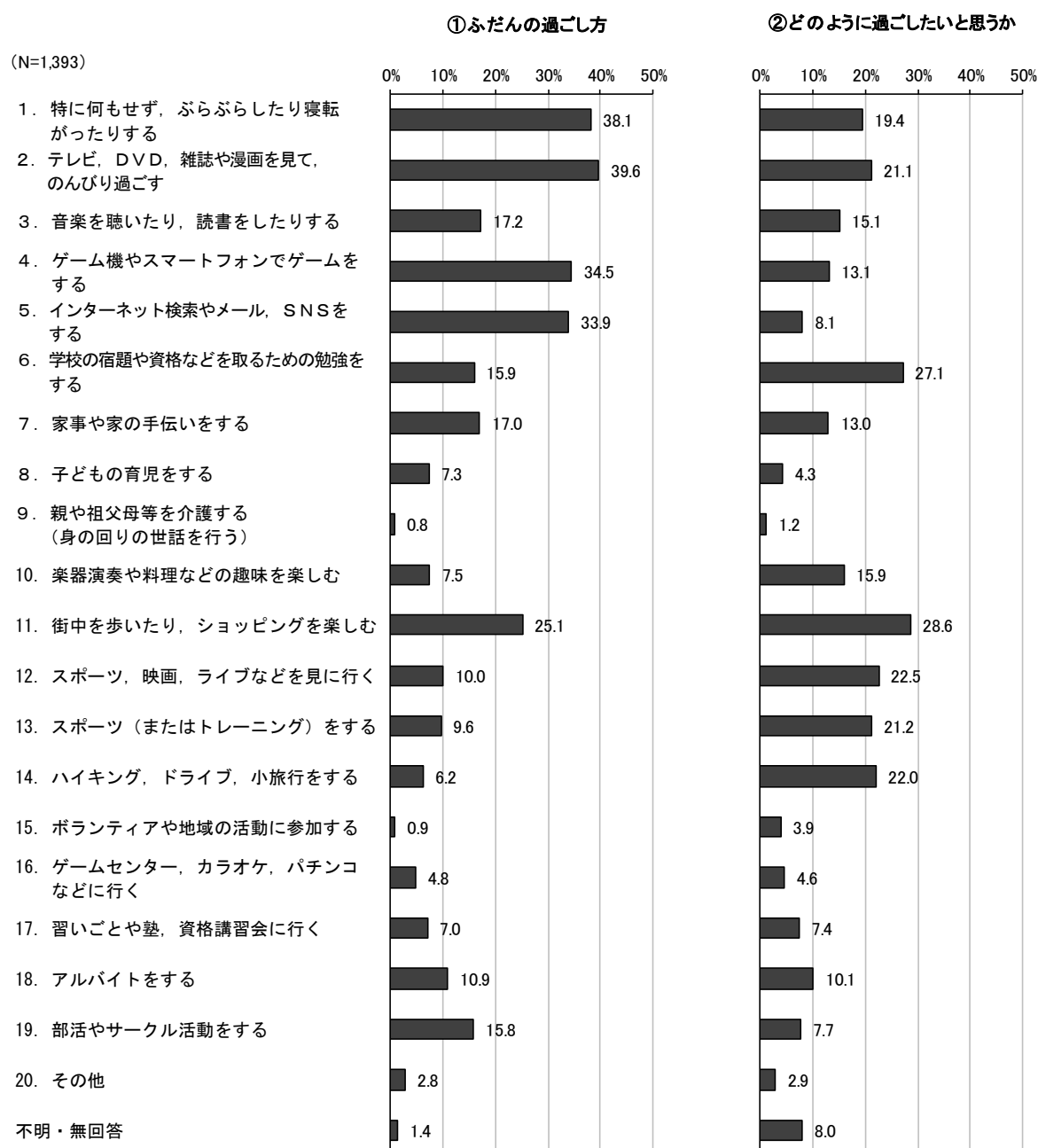
問 12(2) あなたの休日の過ごし方について教えてください。(〇は主なものそれぞれ3つまで)

① ふだんの休日を主にどのように過ごしていますか。

② 今後、休日をどのように過ごしたいと思いますか。

①ふだんの過ごし方では、「2. テレビ、DVD、雑誌や漫画を見て、のんびり過ごす」が39.6%と最も高く、次いで「1. 特に何もせず、ぶらぶらしたり寝転がったりする」が38.1%、「4. ゲーム機やスマートフォンでゲームをする」が34.5%となっています。

②今後希望する過ごし方では、「11. 街中を歩いたり、ショッピングを楽しむ」が28.6%と最も高く、次いで「6. 学校の宿題や資格などを取るための勉強をする」が27.1%、「12. スポーツ、映画、ライブなどを見に行く」が22.5%となっています。



《問 12(2)①ふだんの過ごし方×問 12(1)休日に一緒に過ごす人別》

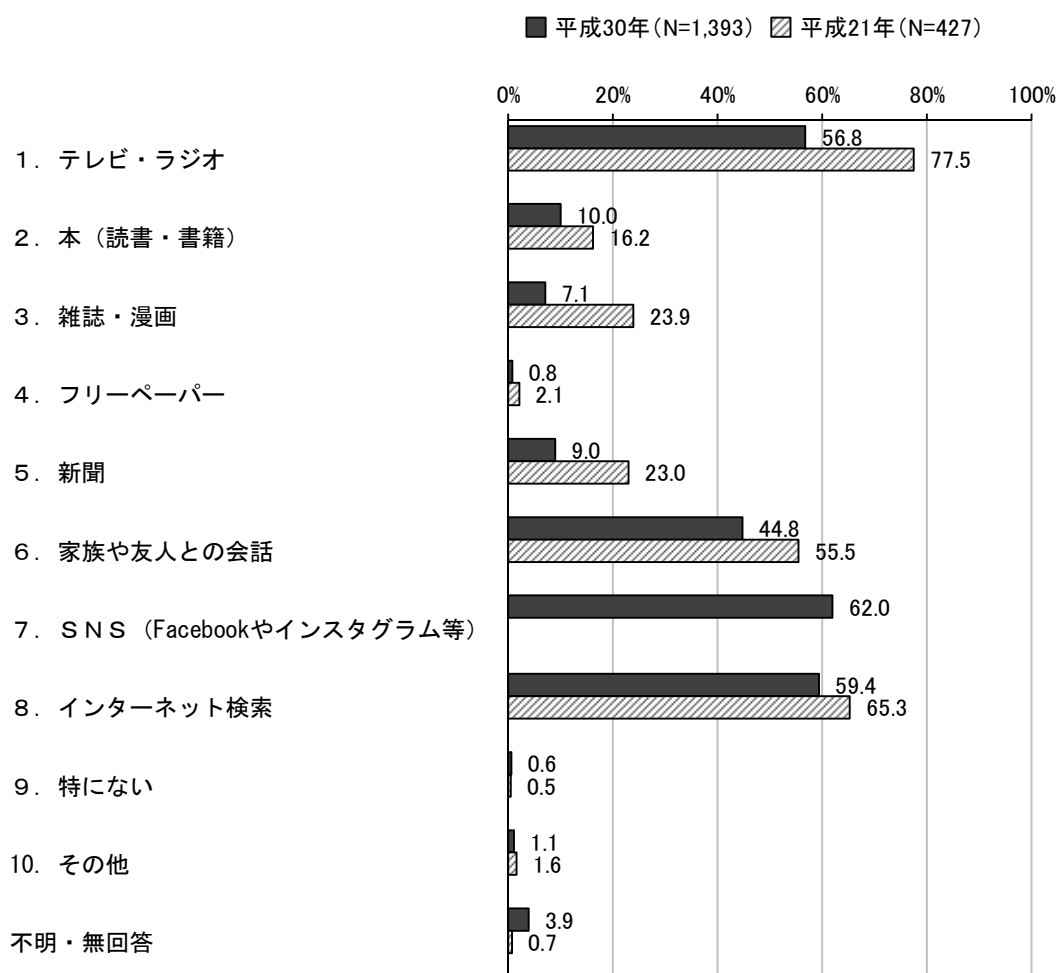
『家族』『恋人』では、「テレビ、DVD、雑誌や漫画を見て、のんびり過ごす」、『友人』では、「街中を歩いたり、ショッピングを楽しむ」、『一人』では、「特に何もせず、ぶらぶらしたり寝転がったりする」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	特に何もせず、ぶらぶらしたり寝転がったりする	テレビ、DVD、雑誌や漫画を見て、のんびり過ごす	音楽を聴いたり、読書をしたりする	ゲーム機やスマートフォンでゲームをする	インターネット検索やメール、SNSをする	学校の宿題や資格などを取るための勉強をする	家事や家の手伝いをする	子どもの育児をする	親や祖父母等を介護する(身の回りの世話をを行う)	楽器演奏や料理などの趣味を楽しむ	街中を歩いたり、ショッピングを楽しむ
全 体		1,393 100.0	531 38.1	552 39.6	240 17.2	480 34.5	472 33.9	222 15.9	237 17.0	102 7.3	11 0.8	105 7.5	349 25.1
休日 に 一 緒 に 過 ご す 人	家族	611 100.0	228 37.3	252 41.2	102 16.7	210 34.4	194 31.8	113 18.5	148 24.2	97 15.9	4 0.7	38 6.2	134 21.9
	友人	287 100.0	84 29.3	92 32.1	35 12.2	87 30.3	95 33.1	44 15.3	22 7.7	1 0.3	1 0.3	17 5.9	96 33.4
	恋人	111 100.0	41 36.9	52 46.8	13 11.7	20 18.0	36 32.4	4 3.6	28 25.2	0 0.0	1 0.9	16 14.4	51 45.9
	一人	323 100.0	161 49.8	140 43.3	80 24.8	143 44.3	132 40.9	53 16.4	38 11.8	3 0.9	4 1.2	32 9.9	57 17.6
	その他	24 100.0	7 29.2	5 20.8	4 16.7	7 29.2	8 33.3	2 8.3	0 0.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	6 25.0
上段:件数 下段:%		合計	スポーツ、映画、ライブなどを見に行く	スポーツ(またはトレーニング)をする	ハイキング、ドライブ、小旅行をする	ボランティアや地域の活動に参加する	ゲームセンター、カラオケ、パチンコなどに行く	習いごとや塾、資格講習会に行く	アルバイトをする	部活やサークル活動をする	その他	不明・無回答	
全 体		1,393 100.0	139 10.0	134 9.6	86 6.2	12 0.9	67 4.8	97 7.0	152 10.9	220 15.8	39 2.8	20 1.4	
休日 に 一 緒 に 過 ご す 人	家族	611 100.0	35 5.7	50 8.2	28 4.6	7 1.1	15 2.5	41 6.7	41 6.7	89 14.6	18 2.9	4 0.7	
	友人	287 100.0	54 18.8	37 12.9	20 7.0	2 0.7	24 8.4	24 8.4	47 16.4	85 29.6	9 3.1	0 0.0	
	恋人	111 100.0	9 8.1	15 13.5	15 13.5	1 0.9	10 9.0	3 2.7	18 16.2	5 4.5	3 2.7	0 0.0	
	一人	323 100.0	34 10.5	28 8.7	21 6.5	1 0.3	14 4.3	20 6.2	39 12.1	30 9.3	5 1.5	2 0.6	
	その他	24 100.0	2 8.3	2 8.3	0 0.0	0 0.0	1 4.2	4 16.7	4 16.7	7 29.2	4 16.7	0 0.0	

問 13 あなたは新しい情報をどのように入手していますか。(〇は主なもの3つまで)

「7. SNS (Facebook やInstagram等)」が 62.0%と最も高く、次いで「8. インターネット検索」が 59.4%、「1. テレビ・ラジオ」が 56.8%となっています。

平成 21 年と比較すると、「1. テレビ・ラジオ」が 20.7 ポイント、「3. 雑誌・漫画」が 16.8 ポイント、「5. 新聞」が 14.0 ポイント、「6. 家族や友人との会話」が 10.7 ポイント低くなっています。



※「7. SNS (Facebook やInstagram等)」は平成 30 年のみの選択肢

※平成 21 年では、「8. インターネット検索」は「インターネット (パソコン・携帯電話など)」

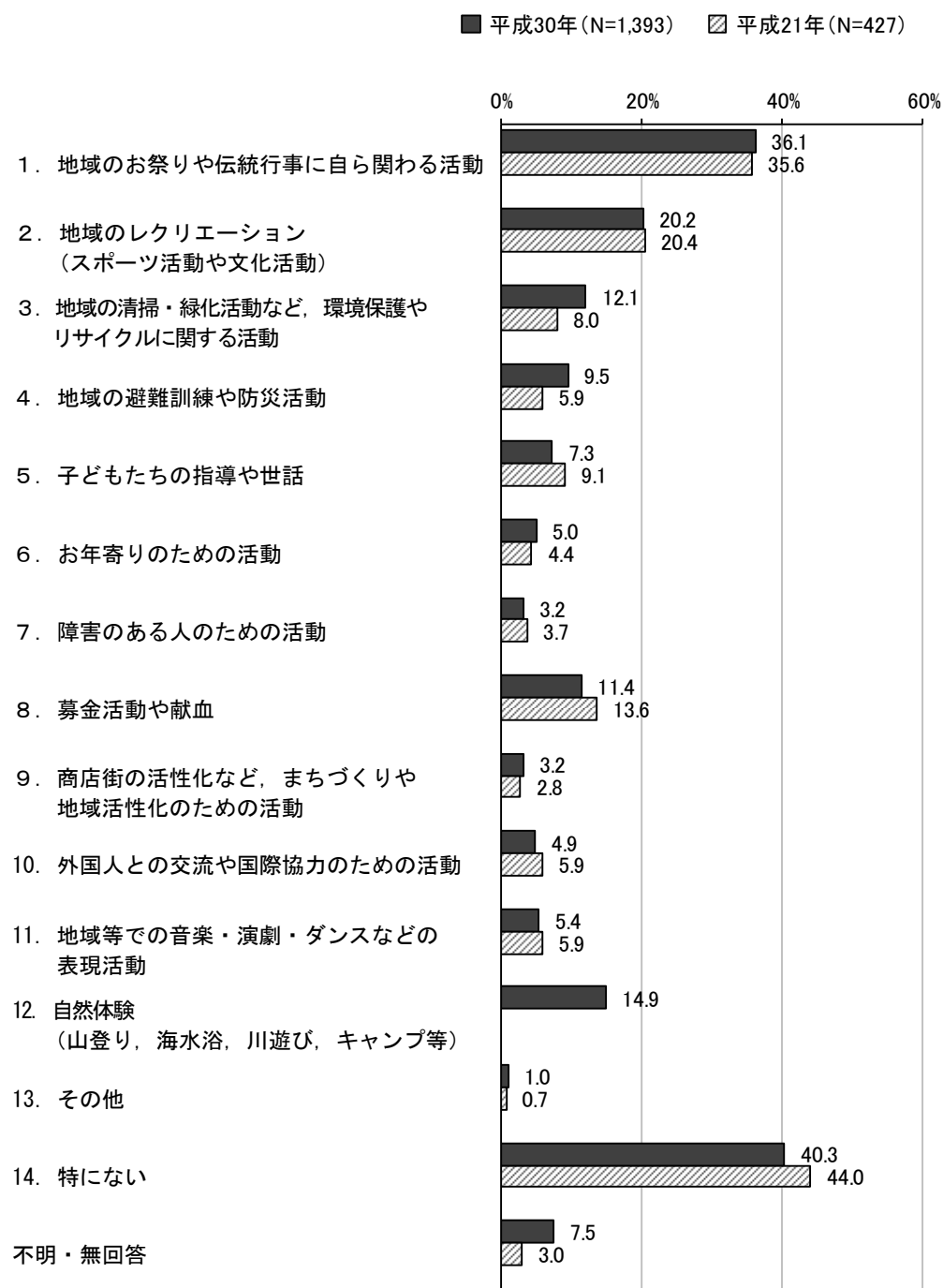
4 地域活動への参加について

問 14 地域活動への参加状況について教えてください。(〇はそれぞれいくつでも)

(1) この3年間で、学校や仕事以外で、1～13の活動に参加したことがありますか。

「14. 特にない」が40.3%と最も高く、次いで「1. 地域のお祭りや伝統行事に自ら関わる活動」が36.1%、「2. 地域のレクリエーション(スポーツ活動や文化活動)」が20.2%となっています。

平成21年と比較すると、特に大きな差はみられません。



※「12. 自然体験(山登り、海水浴、川遊び、キャンプ等)」は平成30年のみの選択肢

《問 14(1)×問 14(4)参加した活動の情報の入手先別》

すべての区分で、「地域のお祭りや伝統行事に自ら関わる活動」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	地域のお祭りや伝統行事に自ら関わる活動	地域のレクリエーション(スポーツ活動や文化活動)	地域の清掃・緑化活動など、環境保護やリサイクルに関する活動	地域の避難訓練や防災活動	子どもたちの指導や世話	お年寄りのための活動	障害のある人のための活動
全 体		727 100.0	503 69.2	281 38.7	168 23.1	132 18.2	102 14.0	70 9.6	44 6.1
参加した活動の情報の入手先	新聞・雑誌	21 100.0	14 66.7	10 47.6	4 19.0	3 14.3	4 19.0	3 14.3	3 14.3
	市民しんぶんなど、京都市の広報誌	91 100.0	76 83.5	49 53.8	23 25.3	25 27.5	22 24.2	18 19.8	12 13.2
	ポスター・パンフレット	129 100.0	101 78.3	54 41.9	30 23.3	25 19.4	20 15.5	16 12.4	10 7.8
	テレビ・ラジオ	7.0 100.0	4 57.1	3 42.9	1 14.3	0 0.0	2 28.6	1 14.3	2 28.6
	インターネット	71.0 100.0	42 59.2	26 36.6	12 16.9	14 19.7	12 16.9	7 9.9	10 14.1
	所属している団体・サークル	61.0 100.0	42 68.9	30 49.2	18 29.5	17 27.9	17 27.9	10 16.4	7 11.5
	友人・知人	192.0 100.0	139 72.4	68 35.4	44 22.9	36 18.8	33 17.2	28 14.6	15 7.8
	家族	291.0 100.0	230 79.0	141 48.5	70 24.1	62 21.3	51 17.5	37 12.7	23 7.9
	学校・職場	198.0 100.0	133 67.2	91 46.0	67 33.8	49 24.7	37 18.7	34 17.2	19 9.6
	SNS (Facebookやインスタグラム等)	46 100.0	32 69.6	18 39.1	11 23.9	10 21.7	9 19.6	8 17.4	7 15.2
	その他	50 100.0	34 68.0	21 42.0	16 32.0	8 16.0	10 20.0	4 8.0	1 2.0

上段:件数 下段:%		合計	募金活動や献血	商店街の活性化など、まちづくりや地域活性化のための活動	外国人との交流や国際協力のための活動	地域等での音楽・演劇・ダンスなどの表現活動	自然体験(山登り、海水浴、川遊び、キャンプ等)	その他
全 体		727 100.0	159 21.9	44 6.1	68 9.4	75 10.3	207 28.5	14 1.9
参加した活動の情報の入手先	新聞・雑誌	21 100.0	10 47.6	1 4.8	5 23.8	3 14.3	11 52.4	2 9.5
	市民しんぶんなど、京都市の広報誌	91 100.0	20 22.0	9 9.9	12 13.2	13 14.3	29 31.9	2 2.2
	ポスター・パンフレット	129 100.0	37 28.7	9 7.0	14 10.9	16 12.4	34 26.4	2 1.6
	テレビ・ラジオ	7.0 100.0	3 42.9	2 28.6	3 42.9	3 42.9	3 42.9	1 14.3
	インターネット	71.0 100.0	23 32.4	9 12.7	14 19.7	12 16.9	36 50.7	1 1.4
	所属している団体・サークル	61.0 100.0	20 32.8	7 11.5	6 9.8	27 44.3	30 49.2	2 3.3
	友人・知人	192.0 100.0	42 21.9	16 8.3	25 13.0	27 14.1	93 48.4	5 2.6
	家族	291.0 100.0	52 17.9	19 6.5	26 8.9	25 8.6	93 32.0	8 2.7
	学校・職場	198.0 100.0	48 24.2	18 9.1	28 14.1	31 15.7	72 36.4	4 2.0
	SNS (Facebookやインスタグラム等)	46 100.0	17 37.0	9 19.6	10 21.7	9 19.6	27 58.7	2 4.3
	その他	50 100.0	14 28.0	4 8.0	1 2.0	3 6.0	8 16.0	4 8.0

《問 14(1)×問 22 自己肯定感（①自分のことが好きである）別》

『ほとんどない』では「地域のお祭りや伝統行事に自ら関わる活動」、それ以外では「特にない」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	地域のお祭りや伝統行事に自ら関わる活動	地域のレクリエーション(スポーツ活動や文化活動)	地域の清掃・緑化活動など、環境保護やリサイクルに関する活動	地域の避難訓練や防災活動	子どもたちの指導や世話	お年寄りのための活動	障害のある人のための活動	募金活動や献血
全 体		1,393 100.0	503 36.1	281 20.2	168 12.1	132 9.5	102 7.3	70 5.0	44 3.2	159 11.4
① 好き 自分の ことが	よくある	240 100.0	84 35.0	55 22.9	31 12.9	25 10.4	20 8.3	13 5.4	9 3.8	35 14.6
	時々ある	462 100.0	157 34.0	89 19.3	48 10.4	44 9.5	37 8.0	27 5.8	16 3.5	50 10.8
	あまりない	412 100.0	151 36.7	81 19.7	53 12.9	32 7.8	25 6.1	20 4.9	12 2.9	41 10.0
	ほとんどない	230 100.0	93 40.4	44 19.1	30 13.0	27 11.7	15 6.5	6 2.6	3 1.3	30 13.0

上段:件数 下段:%		合計	商店街の活性化など、まちづくりや地域活性化のための活動	外国人との交流や国際協力のための活動	地域等での音楽・演劇・ダンスなどの表現活動	自然体験(山登り、海水浴、川遊び、キャンプ等)	その他	特にない	不明・無回答
全 体		1,393 100.0	44 3.2	68 4.9	75 5.4	207 14.9	14 1.0	561 40.3	105 7.5
① 好き 自分の ことが	よくある	148 100.0	7 2.9	17 7.1	18 7.5	46 19.2	4 1.7	92 38.3	19 7.9
	時々ある	230 100.0	16 3.5	24 5.2	28 6.1	72 15.6	2 0.4	189 40.9	38 8.2
	あまりない	490 100.0	12 2.9	16 3.9	16 3.9	53 12.9	6 1.5	172 41.7	31 7.5
	ほとんどない	503 100.0	5 2.2	5 2.2	10 4.3	26 11.3	2 0.9	91 39.6	10 4.3

《問 14(1)×問 22 自己肯定感（②自分はだれかの役に立っていると思う）別》

『よくある』では「地域のお祭りや伝統行事に自ら関わる活動」、それ以外では「特にない」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	地域のお祭りや伝統行事に自ら関わる活動	地域のレクリエーション(スポーツ活動や文化活動)	地域の清掃・緑化活動など、環境保護やリサイクルに関する活動	地域の避難訓練や防災活動	子どもたちの指導や世話	お年寄りのための活動	障害のある人のための活動	募金活動や献血
全 体		1,393 100.0	503 36.1	281 20.2	168 12.1	132 9.5	102 7.3	70 5.0	44 3.2	159 11.4
役②に自分立っているかどうかの	よくある	191 100.0	73 38.2	43 22.5	22 11.5	19 9.9	20 10.5	12 6.3	10 5.2	29 15.2
	時々ある	644 100.0	239 37.1	129 20.0	77 12.0	63 9.8	47 7.3	36 5.6	16 2.5	77 12.0
	あまりない	382 100.0	139 36.4	78 20.4	50 13.1	37 9.7	23 6.0	13 3.4	13 3.4	37 9.7
	ほとんどない	132 100.0	37 28.0	21 15.9	13 9.8	9 6.8	7 5.3	5 3.8	1 0.8	13 9.8
上段:件数 下段:%		合計	商店街の活性化など、まちづくりや地域活性化のための活動	外国人との交流や国際協力のための活動	地域等での音楽・演劇・ダンスなどの表現活動	自然体験(山登り、海水浴、川遊び、キャンプ等)	その他	特にない	不明・無回答	
全 体		1,393 100.0	44 3.2	68 4.9	75 5.4	207 14.9	14 1.0	561 40.3	105 7.5	
役②に自分立っているかどうかの	よくある	191 100.0	6 3.1	15 7.9	11 5.8	40 20.9	4 2.1	66 34.6	16 8.4	
	時々ある	644 100.0	21 3.3	30 4.7	36 5.6	103 16.0	7 1.1	254 39.4	47 7.3	
	あまりない	382 100.0	9 2.4	16 4.2	18 4.7	46 12.0	2 0.5	163 42.7	23 6.0	
	ほとんどない	132 100.0	4 3.0	3 2.3	7 5.3	10 7.6	1 0.8	62 47.0	12 9.1	

《問 14(1)×問 22 自己肯定感（③自分は価値がある存在だと思う）別》

すべての区分で、「特にない」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	地域のお祭りや伝統行事に自ら関わる活動	地域のレクリエーション(スポーツ活動や文化活動)	地域の清掃・緑化活動など、環境保護やリサイクルに関する活動	地域の避難訓練や防災活動	子どもたちの指導や世話	お年寄りのための活動	障害のある人のための活動	募金活動や献血
全 体		1,393 100.0	503 36.1	281 20.2	168 12.1	132 9.5	102 7.3	70 5.0	44 3.2	159 11.4
③ 自分 は 価値 があ る 存在 だと 思う	よくある	202 100.0	70 34.7	47 23.3	22 10.9	19 9.4	16 7.9	13 6.4	9 4.5	30 14.9
	時々ある	517 100.0	190 36.8	103 19.9	57 11.0	50 9.7	41 7.9	29 5.6	14 2.7	52 10.1
	あまりない	464 100.0	176 37.9	94 20.3	64 13.8	48 10.3	33 7.1	19 4.1	15 3.2	54 11.6
	ほとんどない	164 100.0	51 31.1	27 16.5	18 11.0	11 6.7	7 4.3	5 3.0	2 1.2	20 12.2
上段:件数 下段:%		合計	商店街の活性化など、まちづくりや地域活性化のための活動	外国人との交流や国際協力のための活動	地域等での音楽・演劇・ダンスなどの表現活動	自然体験(山登り、海水浴、川遊び、キャンプ等)	その他	特にない	不明・無回答	
全 体		1,393 100.0	44 3.2	68 4.9	75 5.4	207 14.9	14 1.0	561 40.3	105 7.5	
③ 自分 は 価値 があ る 存在 だと 思う	よくある	202 100.0	7 3.5	18 8.9	15 7.4	40 19.8	4 2.0	75 37.1	17 8.4	
	時々ある	517 100.0	12 2.3	22 4.3	27 5.2	84 16.2	5 1.0	204 39.5	43 8.3	
	あまりない	464 100.0	17 3.7	17 3.7	23 5.0	62 13.4	5 1.1	183 39.4	29 6.3	
	ほとんどない	164 100.0	4 2.4	7 4.3	7 4.3	13 7.9	0.0 0.0	81 49.4	10 6.1	

《問 14(1)×問 46(1)まちづくりへの発言意向別》

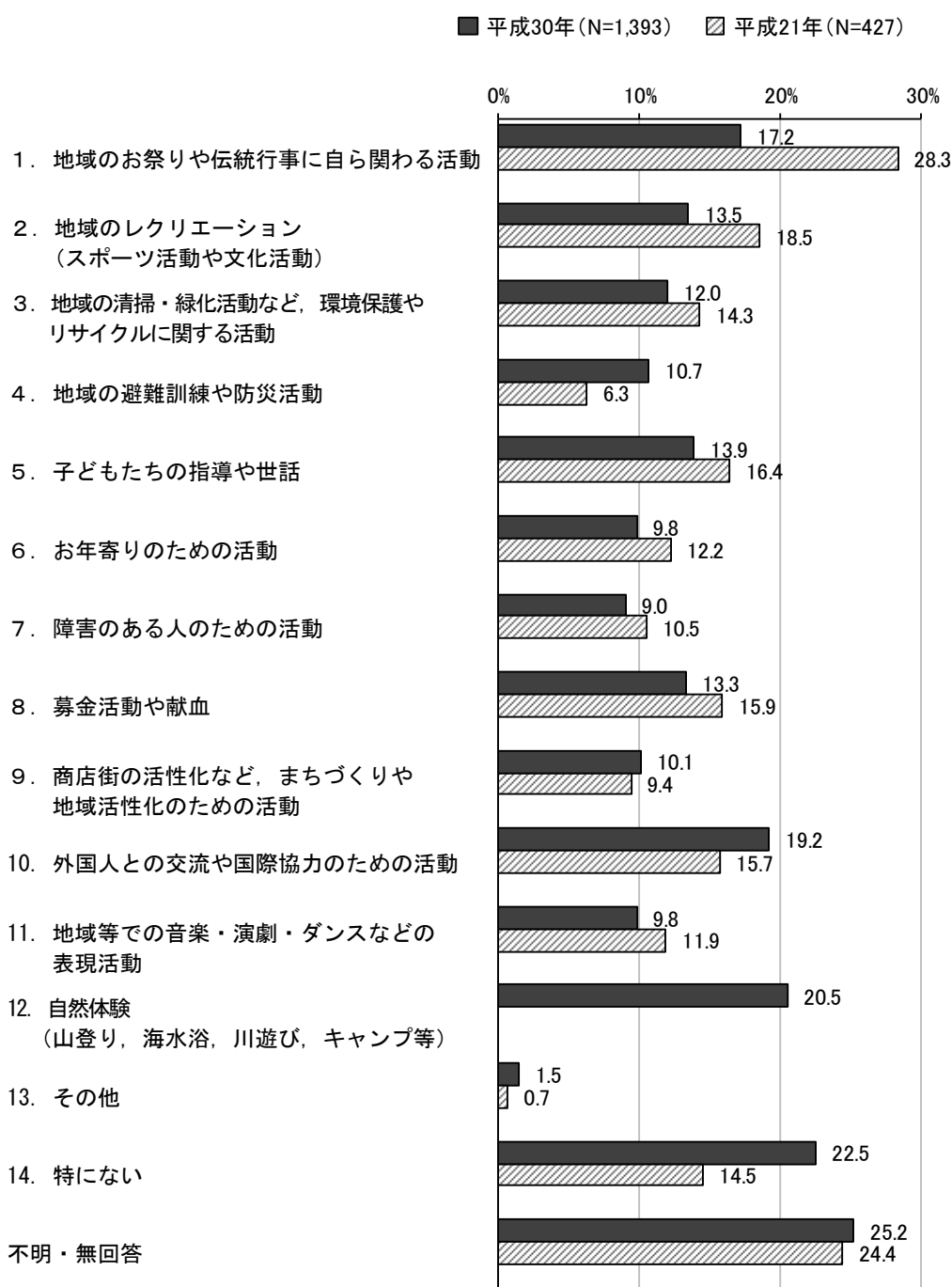
『思う』『少し思う』では「地域のお祭りや伝統行事に自ら関わる活動」,『あまり思わない』『思わない』では「特にない」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	地域のお祭りや伝統行事に自ら関わる活動	地域のレクリエーション(スポーツ活動や文化活動)	地域の清掃・緑化活動など、環境保護やリサイクルに関する活動	地域の避難訓練や防災活動	子どもたちの指導や世話	お年寄りのための活動	障害のある人のための活動	募金活動や献血
全 体		1,393 100.0	503 36.1	281 20.2	168 12.1	132 9.5	102 7.3	70 5.0	44 3.2	159 11.4
まちづくりへの 発言意向	思う	148 100.0	80 54.1	45 30.4	22 14.9	23 15.5	22 14.9	17 11.5	11 7.4	28 18.9
	少し思う	230 100.0	95 41.3	47 20.4	43 18.7	30 13.0	16 7.0	20 8.7	9 3.9	38 16.5
	あまり思わない	490 100.0	165 33.7	98 20.0	58 11.8	41 8.4	29 5.9	18 3.7	11 2.2	54 11.0
	思わない	503 100.0	158 31.4	88 17.5	40 8.0	35 7.0	34 6.8	12 2.4	10 2.0	39 7.8
上段:件数 下段:%		合計	商店街の活性化など、まちづくりや地域活性化のための活動	外国人との交流や国際協力のための活動	地域等での音楽・演劇・ダンスなどの表現活動	自然体験(山登り、海水浴、川遊び、キャンプ等)	その他	特にない	不明・無回答	
全 体		1,393 100.0	44 3.2	68 4.9	75 5.4	207 14.9	14 1.0	561 40.3	105 7.5	
まちづくりへの 発言意向	思う	148 100.0	14 9.5	13 8.8	15 10.1	38 25.7	4 2.7	40 27.0	8 5.4	
	少し思う	230 100.0	8 3.5	18 7.8	20 8.7	48 20.9	2 0.9	68 29.6	16 7.0	
	あまり思わない	490 100.0	10 2.0	18 3.7	25 5.1	62 12.7	2 0.4	211 43.1	37 7.6	
	思わない	503 100.0	10 2.0	16 3.2	14 2.8	53 10.5	6 1.2	237 47.1	37 7.4	

(2) 今後参加してみたい活動は何ですか。

「14. 特にない」が22.5%と最も高く、次いで「12. 自然体験（山登り、海水浴、川遊び、キャンプ等）」が20.5%、「10. 外国人との交流や国際協力のための活動」が19.2%となっています。

平成21年と比較すると、「1. 地域のお祭りや伝統行事に自ら関わる活動」が11.1ポイント、「2. 地域のレクリエーション（スポーツ活動や文化活動）」が5.0ポイント低く、「14. 特にない」が8.0ポイント高くなっています。



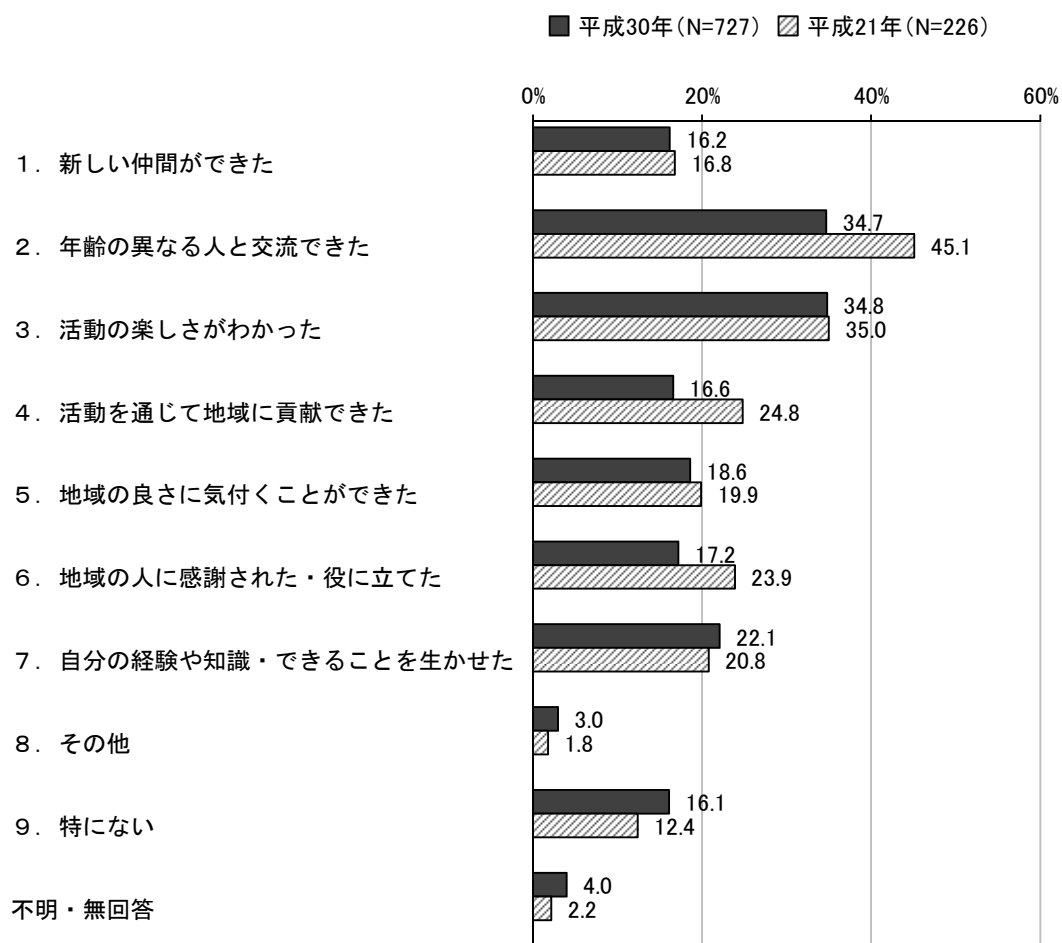
※「12. 自然体験（山登り、海水浴、川遊び、キャンプ等）」は平成30年のみの選択肢

問 14(1)で「1」から「13」のいずれか1つでも答えた方

問 14(3) その活動に参加して良かったと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

「3. 活動の楽しさがわかった」が34.8%と最も高く、次いで「2. 年齢の異なる人と交流できた」が34.7%, 「7. 自分の経験や知識・できることを生かした」が22.1%となっています。

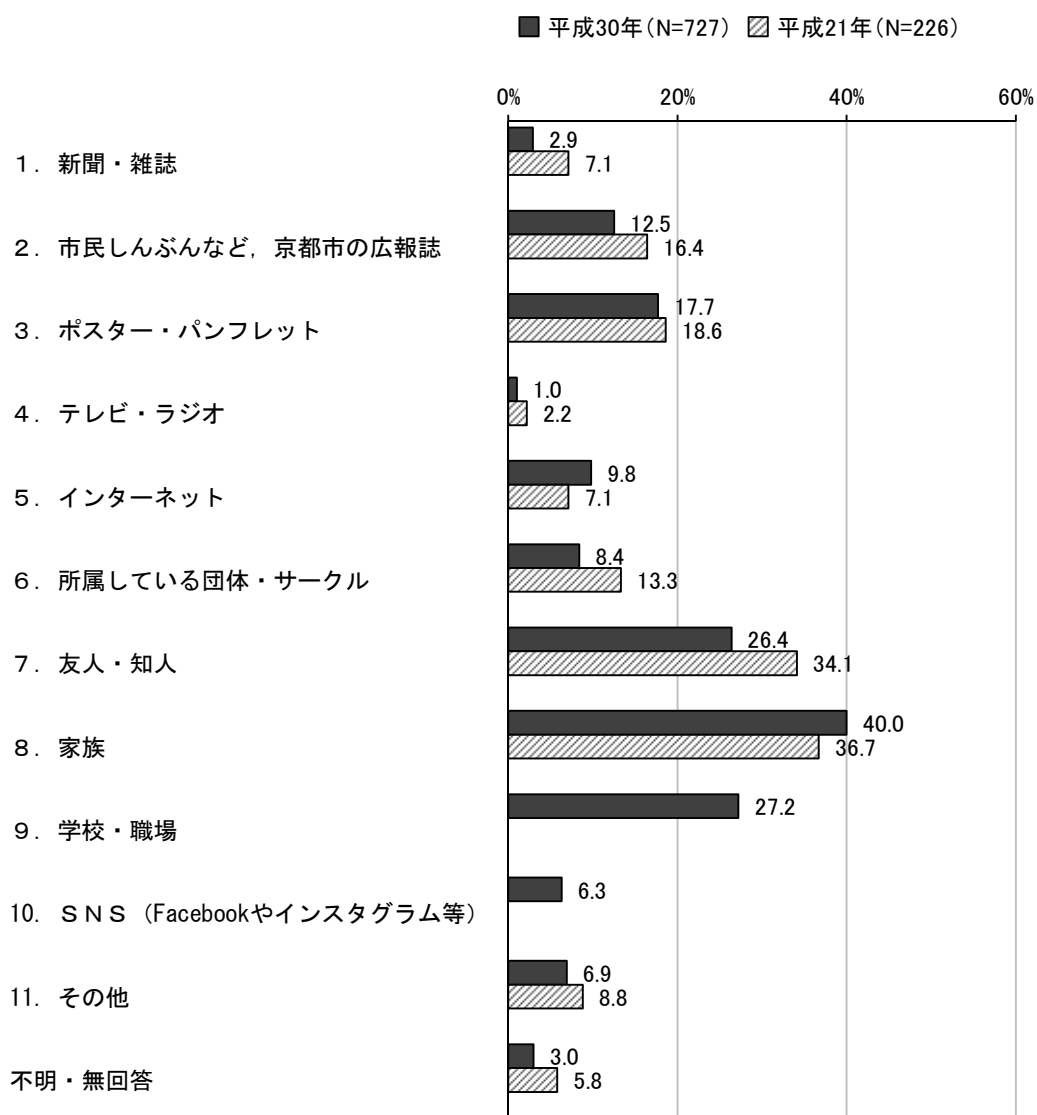
平成21年と比較すると, 「2. 年齢の異なる人と交流できた」が10.4ポイント, 「4. 活動を通じて地域に貢献できた」が8.2ポイント, 「6. 地域の人に感謝された・役に立てた」が6.7ポイント低くなっています。



問 14(4) 参加した活動についての情報をどこで知りましたか。(〇はいくつでも)

「8. 家族」が40.0%と最も高く、次いで「9. 学校・職場」が27.2%, 「7. 友人・知人」が26.4%となっています。

平成21年と比較すると, 「7. 友人・知人」が7.7ポイント低くなっています。



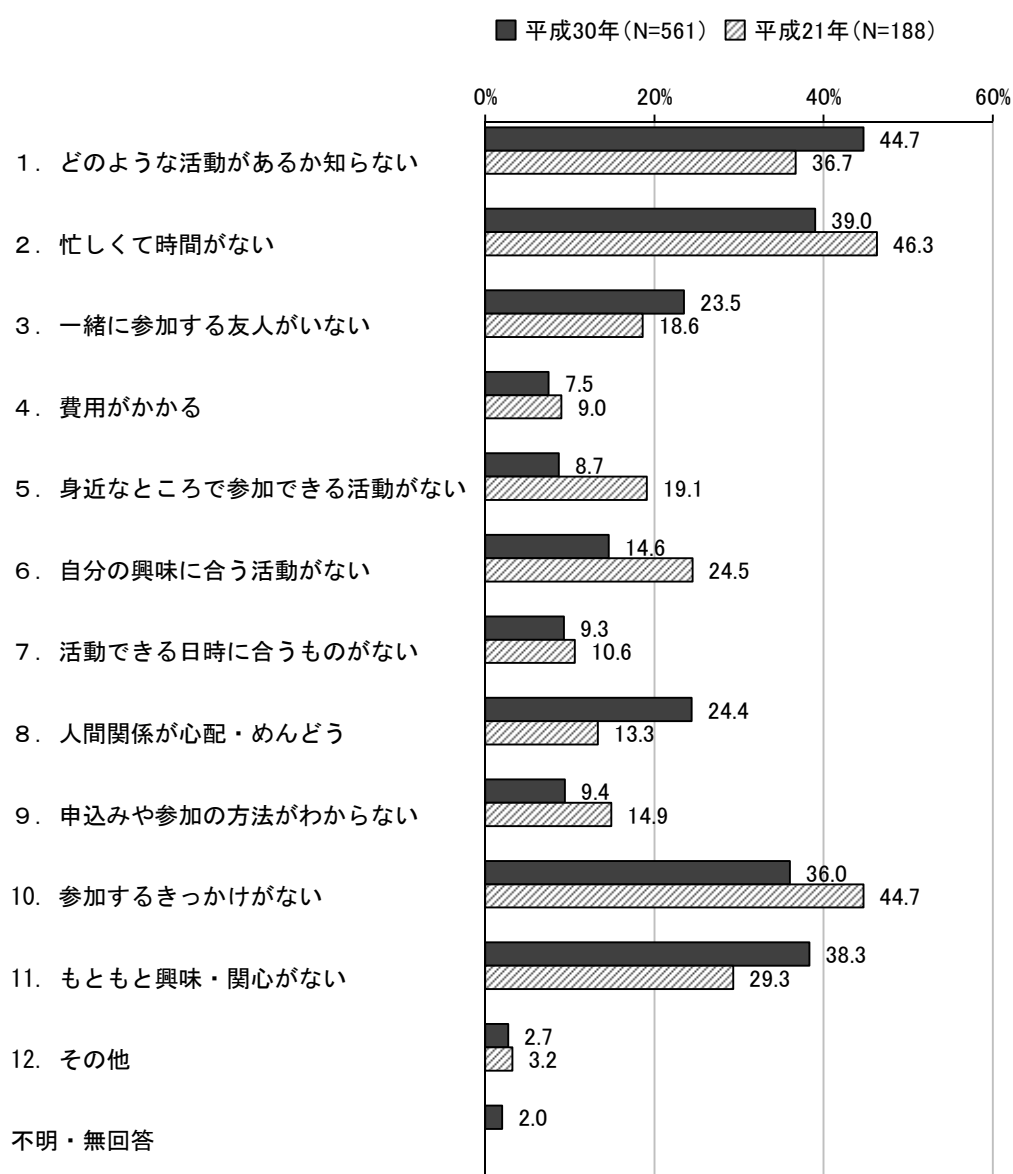
※「9. 学校・職場」「10. SNS (Facebook やInstagram等)」は平成30年のみの選択肢

問 14(1)で「14. 特にない」と答えた方

問 14(5) 参加しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「1. どのような活動があるか知らない」が44.7%と最も高く、次いで「2. 忙しくて時間がない」が39.0%、「11. もともと興味・関心がない」が38.3%となっています。

平成21年と比較すると、「8. 人間関係が心配・めんどろ」が11.1ポイント、「11. もともと興味・関心がない」が9.0ポイント、「1. どのような活動があるか知らない」が8.0ポイント高く、「5. 身近なところで参加できる活動がない」が10.4ポイント、「10. 参加するきっかけがない」が8.7ポイント、「2. 忙しくて時間がない」が7.3ポイント低くなっています。



5 健康について

問 15 あなたのふだんの起床時間と就寝時間を、平日・休日のそれぞれ記入してください。

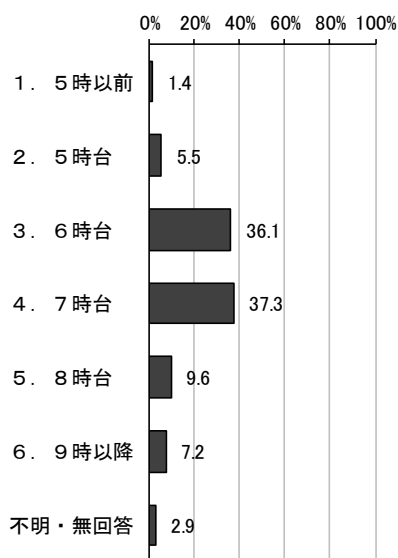
平日の起床時間では、「4. 7時台」が37.3%と最も高く、次いで「3. 6時台」が36.1%となっており、就寝時間では、「5. 24時台」が34.1%と最も高く、次いで「4. 23時台」が27.6%となっています。

休日の起床時間では、「6. 9時以降」が49.0%と最も高く、次いで「5. 8時台」が23.6%となっており、就寝時間では、「5. 24時台」が31.9%と最も高く、次いで「4. 23時台」が20.2%となっています。

①平日

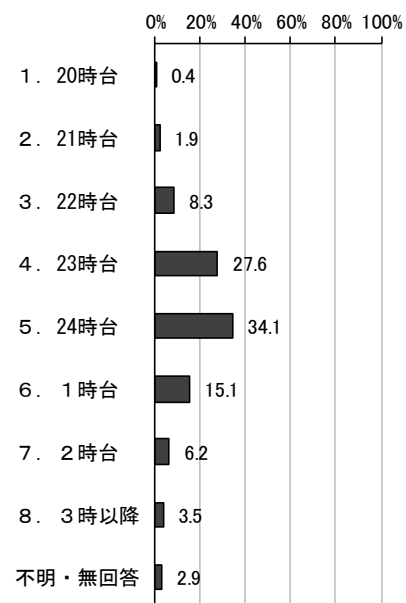
起床時間

(N=1,393)



就寝時間

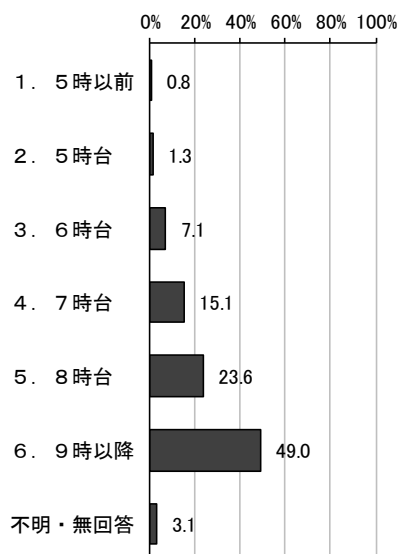
(N=1,393)



②休日

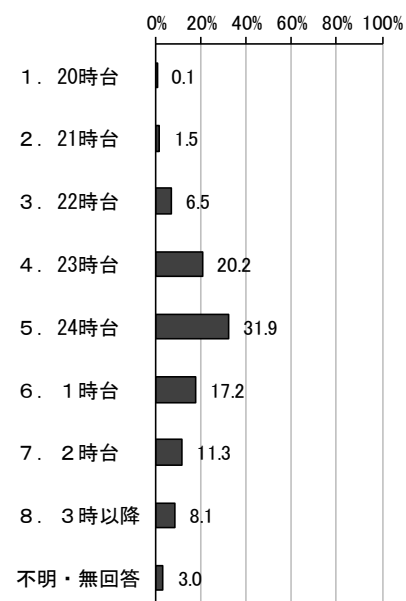
起床時間

(N=1,393)



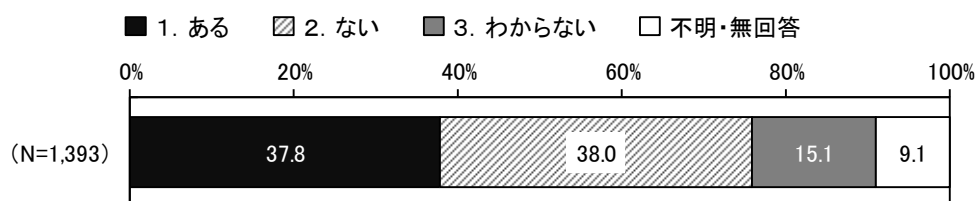
就寝時間

(N=1,393)



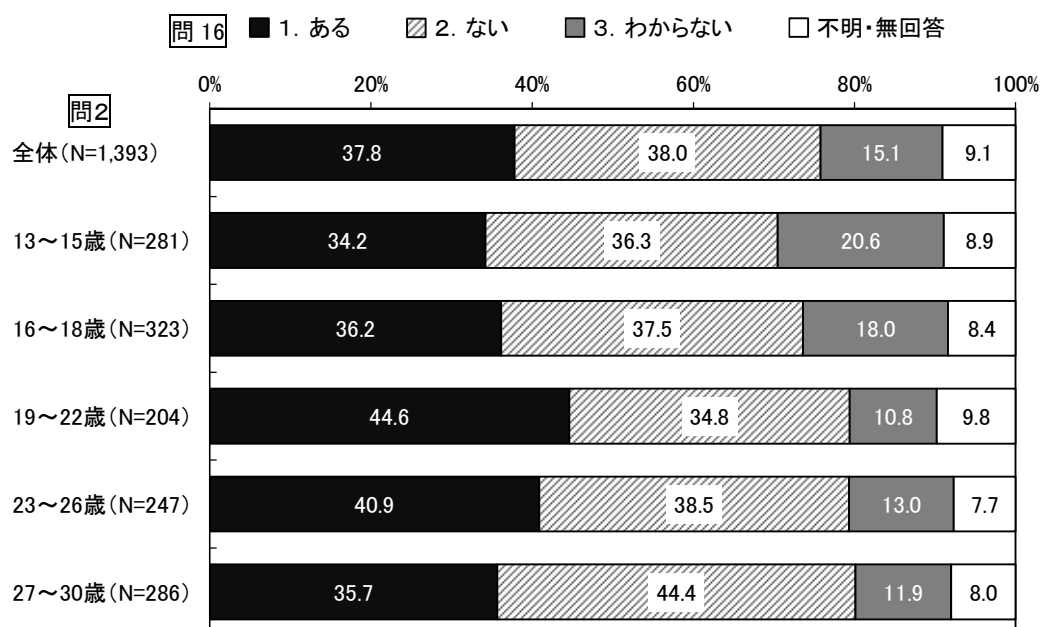
問 16 あなたは自分の生活リズム（起床時間，就寝時間など）に問題があると思いますか。（〇は1つ）

「1. ある」が37.8%，「2. ない」が38.0%となっています。



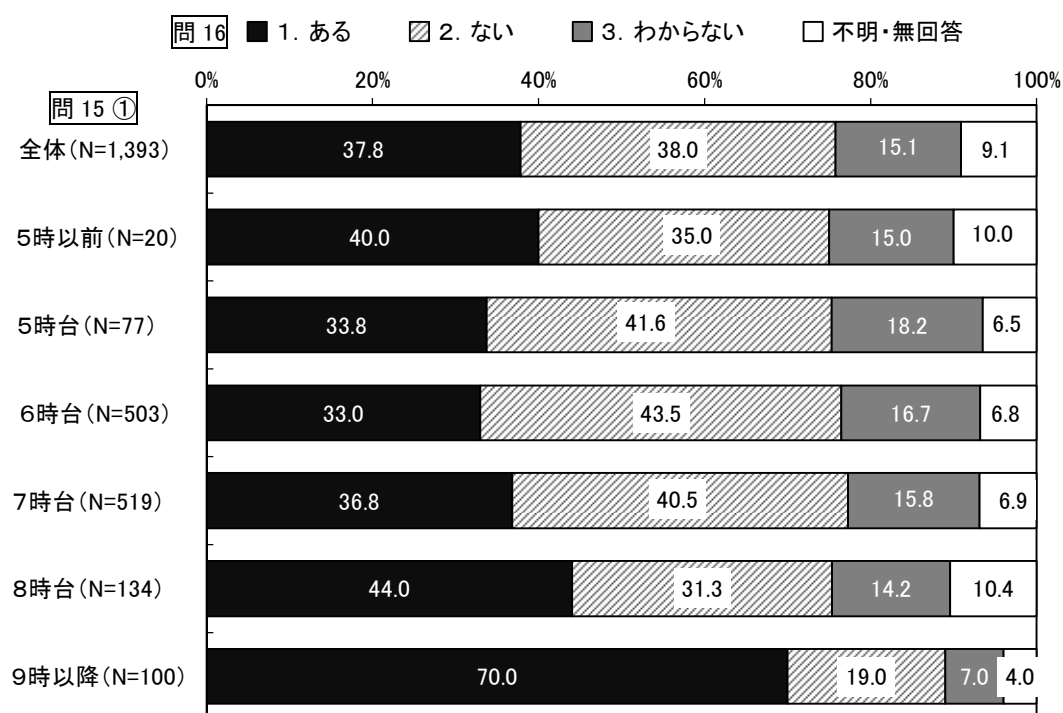
《問 16×問 2 年齢別》

『13～15 歳』『16～18 歳』『27～30 歳』では「1. ない」，『19～22 歳』『23～26 歳』では「1. ある」の割合が最も高くなっています。



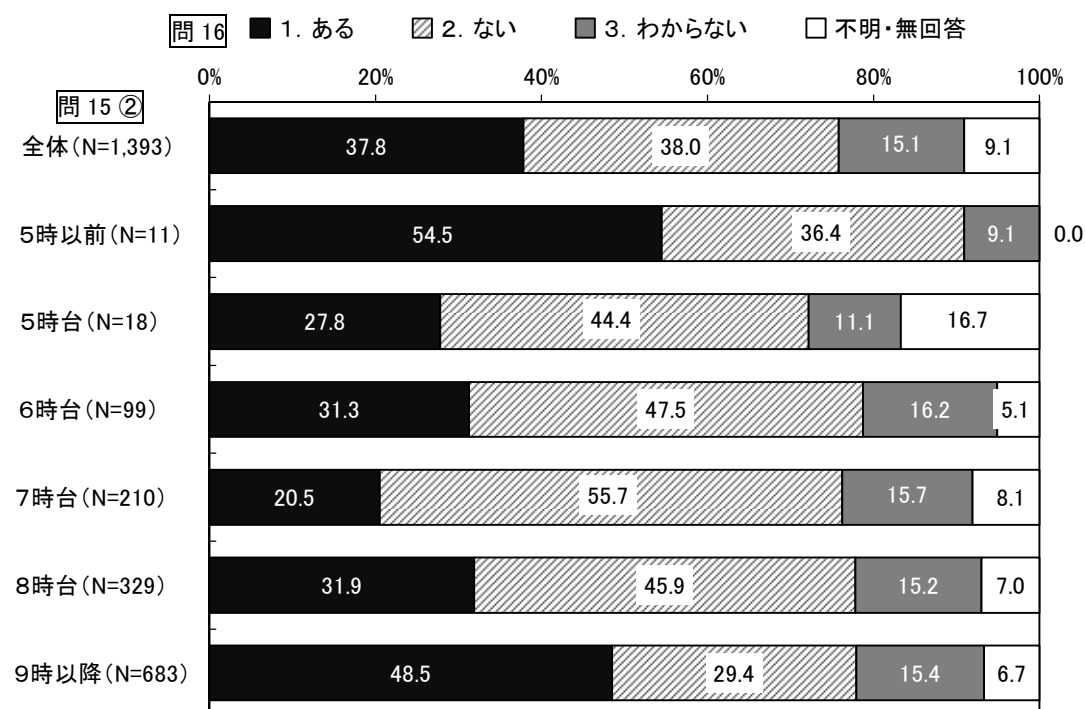
《問 16×問 15①平日 起床時間別》

『5時以前』『8時台』『9時以降』では「1. ある」, それ以外の区分では「2. ない」の割合が最も高くなっています。



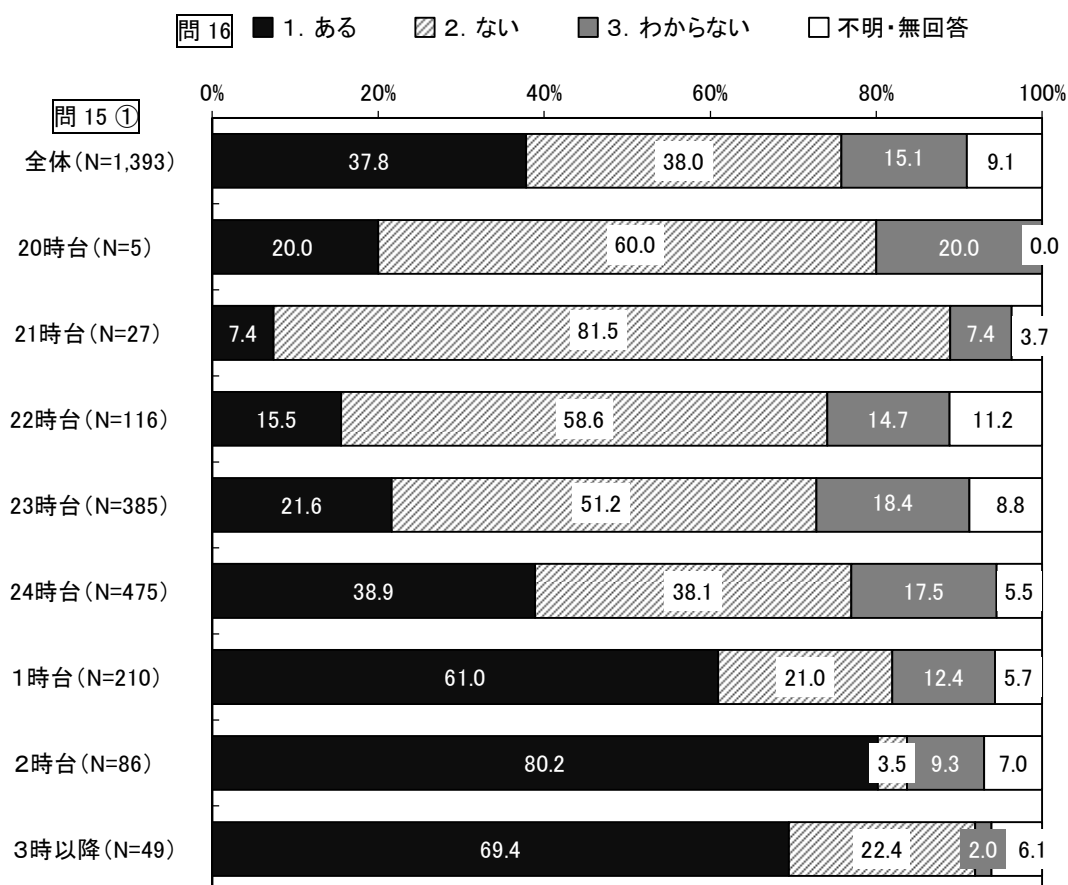
《問 16×問 15②休日 起床時間別》

『5時以前』『9時以降』では「1. ある」, それ以外の区分では「2. ない」の割合が最も高くなっています。



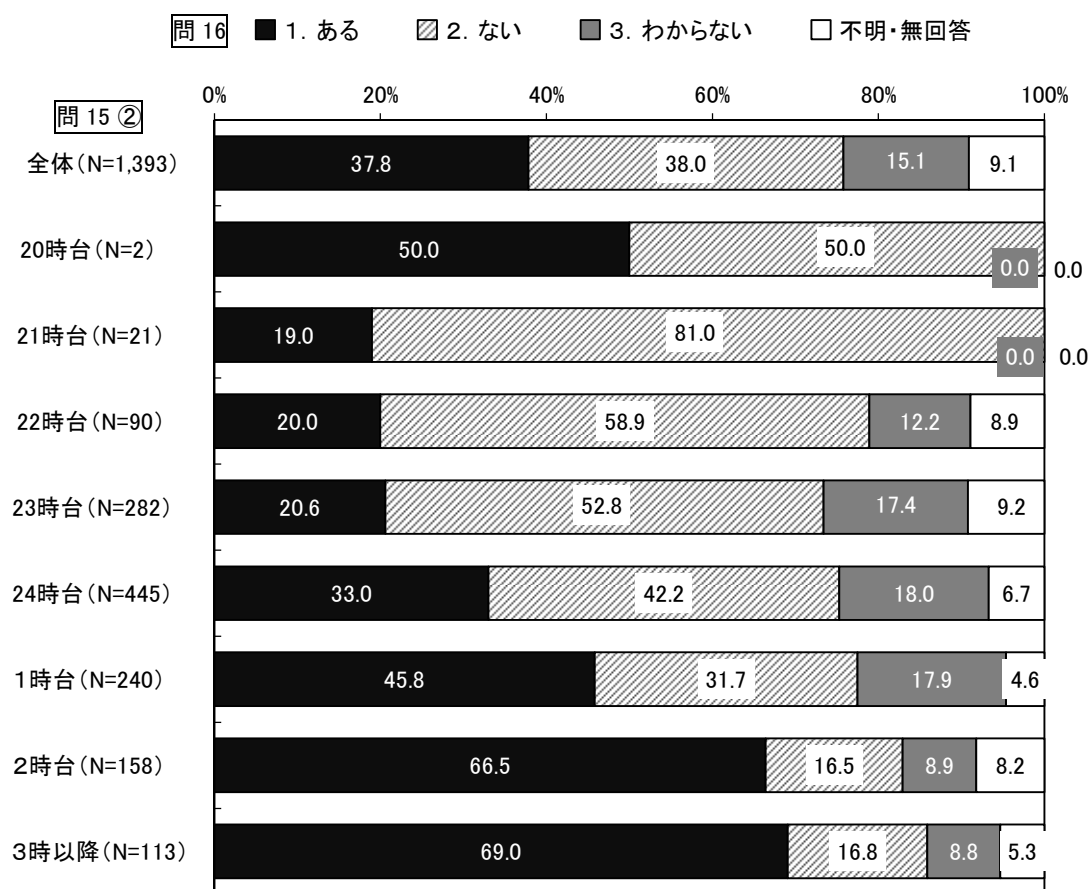
《問 16×問 15①平日 就寝時間別》

『23 時台』以前では「2. ない」、『24 時台』以降では「1. ある」の割合が最も高くなっています。



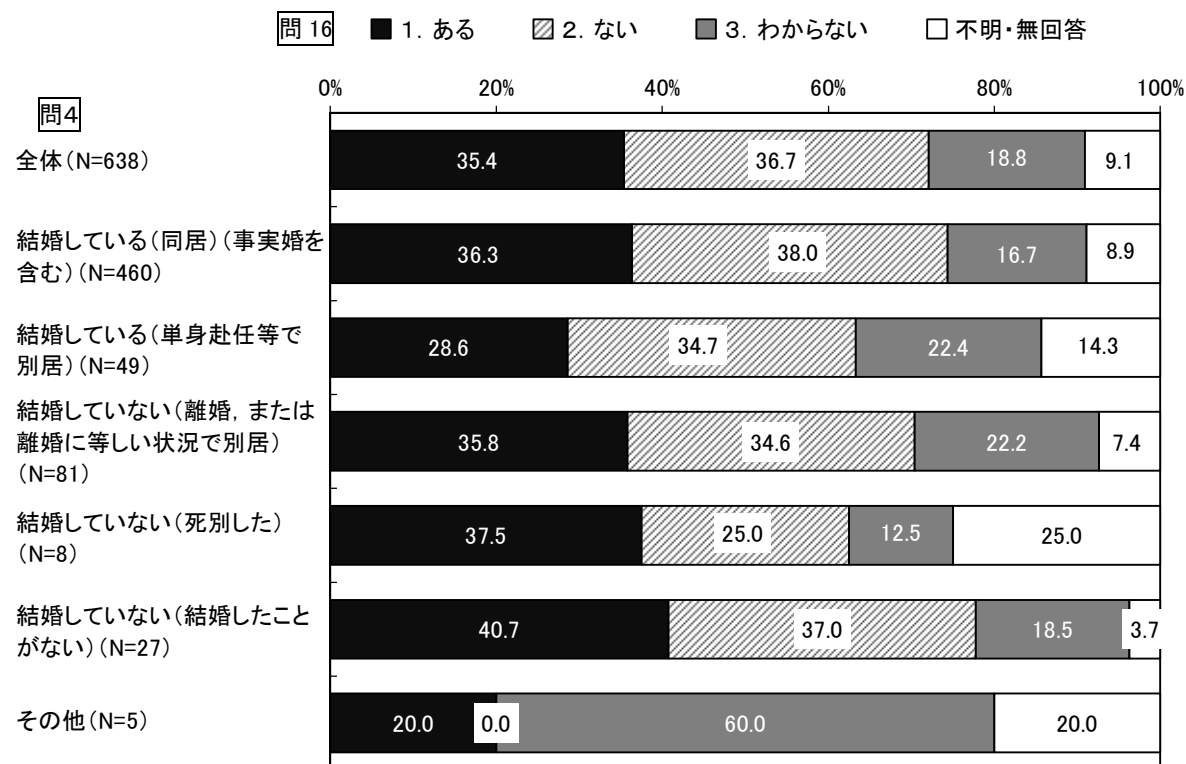
《問 16×問 15②休日 就寝時間別》

『1時台』以降では「1. ある」の割合が最も高くなっています。



《問 16×問 4 保護者の婚姻関係別（保護者）》

結婚している方では「2. ない」、結婚していない方では「1. ある」の割合が最も高くなっています。

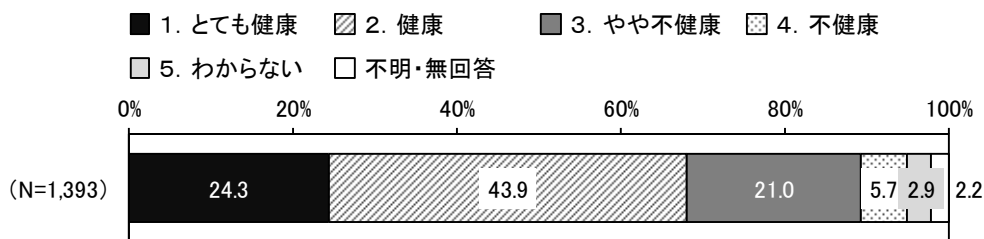


問 17 あなたは自分の健康についてどのように思いますか。（○はそれぞれ1つつつ）

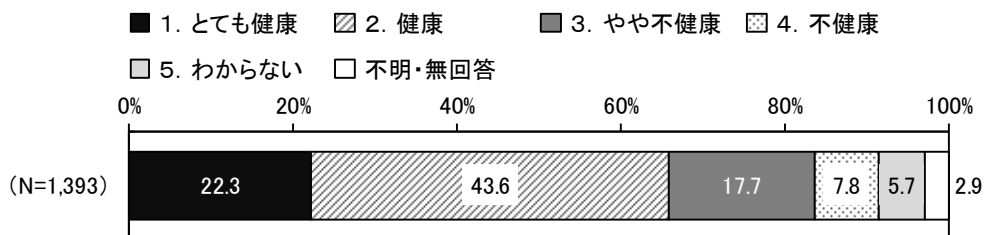
①からだについて、『健康（「1. とても健康」と「2. 健康」の合計）』が 68.2%, 『不健康（「3. やや不健康」と「4. 不健康」の合計）』が 26.7%となっています。

②こころについて、『健康』が 65.9%, 『不健康』が 25.5%となっています。

①からだ

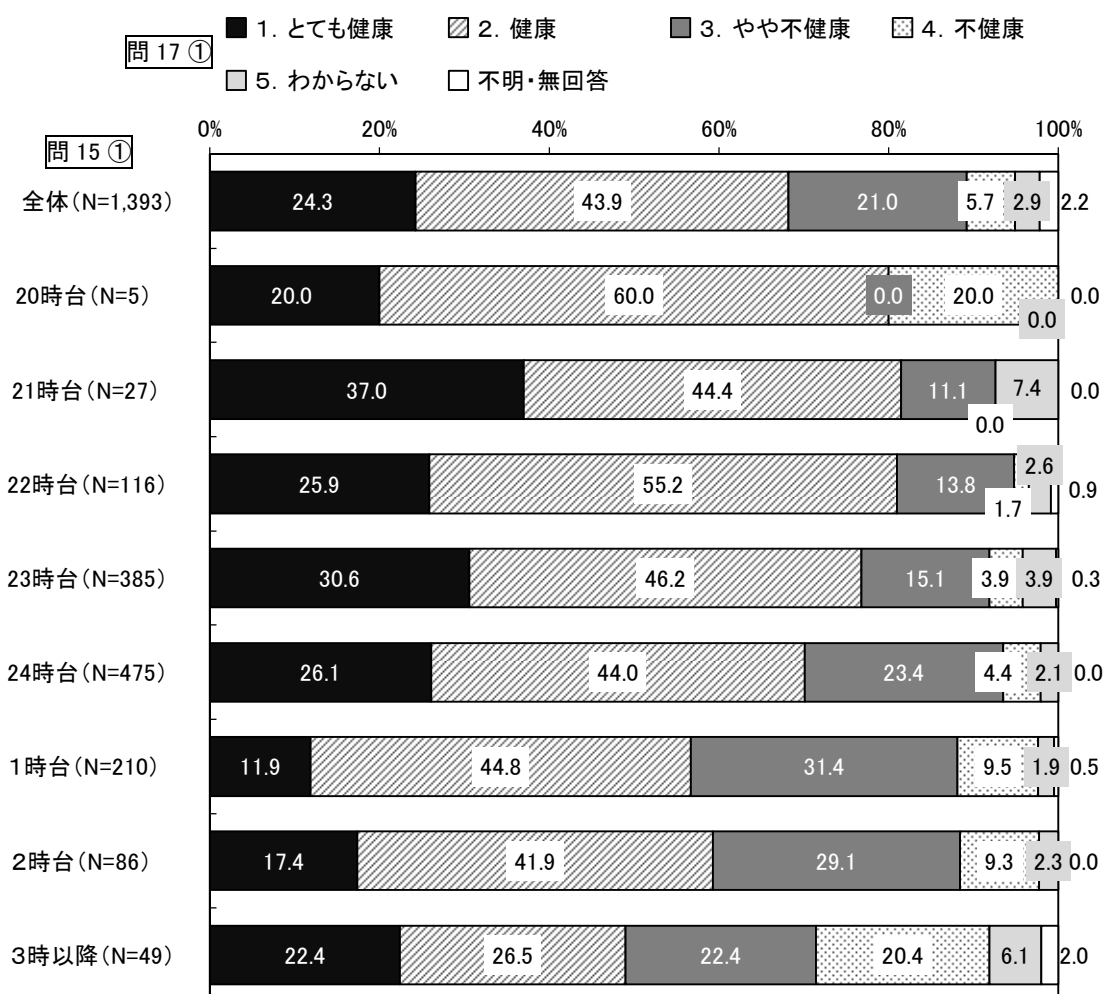


②こころ



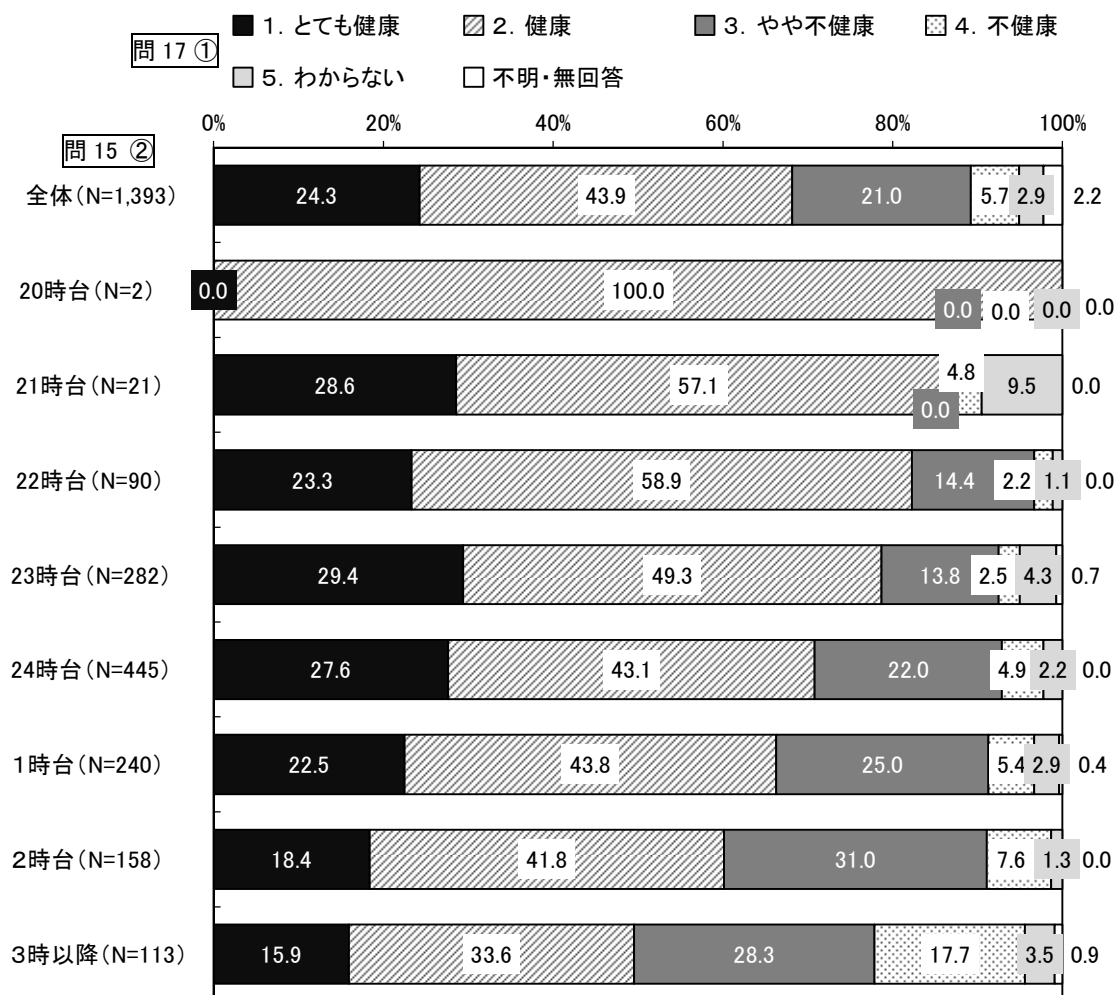
《問 17①自分の健康観（からだ）×問 15①平日 就寝時間別》

『20 時台』『21 時台』『22 時台』では、『健康（「1. とても健康」と「2. 健康」の合計）』の割合が8割を超えています。



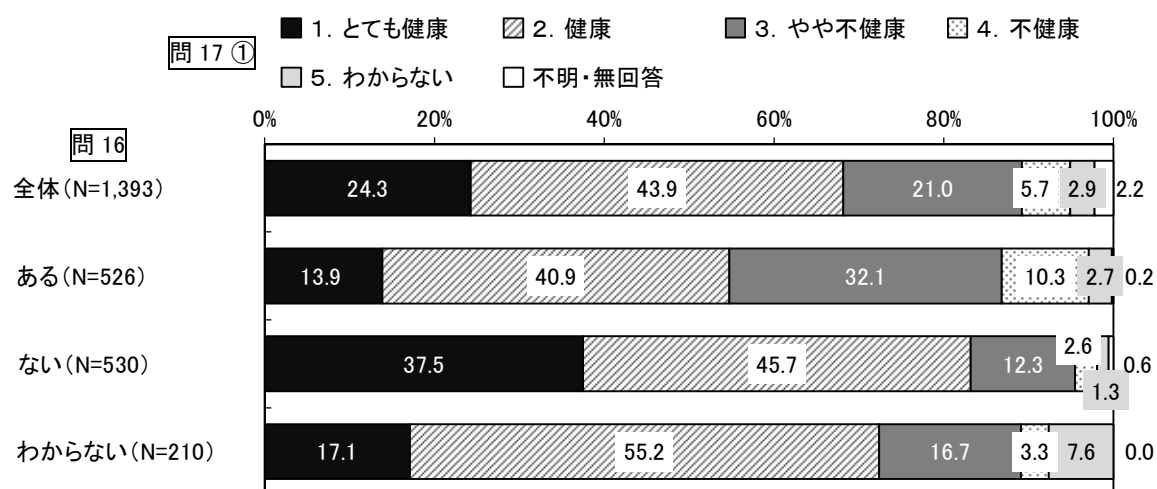
《問 17①自分の健康観（からだ）×問 15②休日 就寝時間別》

『21 時台』『22 時台』では、『健康（「1. とても健康」と「2. 健康」の合計）』の割合が8割を超えています。『23 時台』以降，就寝時間が遅くなるほど，『不健康（「3. やや不健康」と「4. 不健康」の合計）』の割合が高くなる傾向にあります。



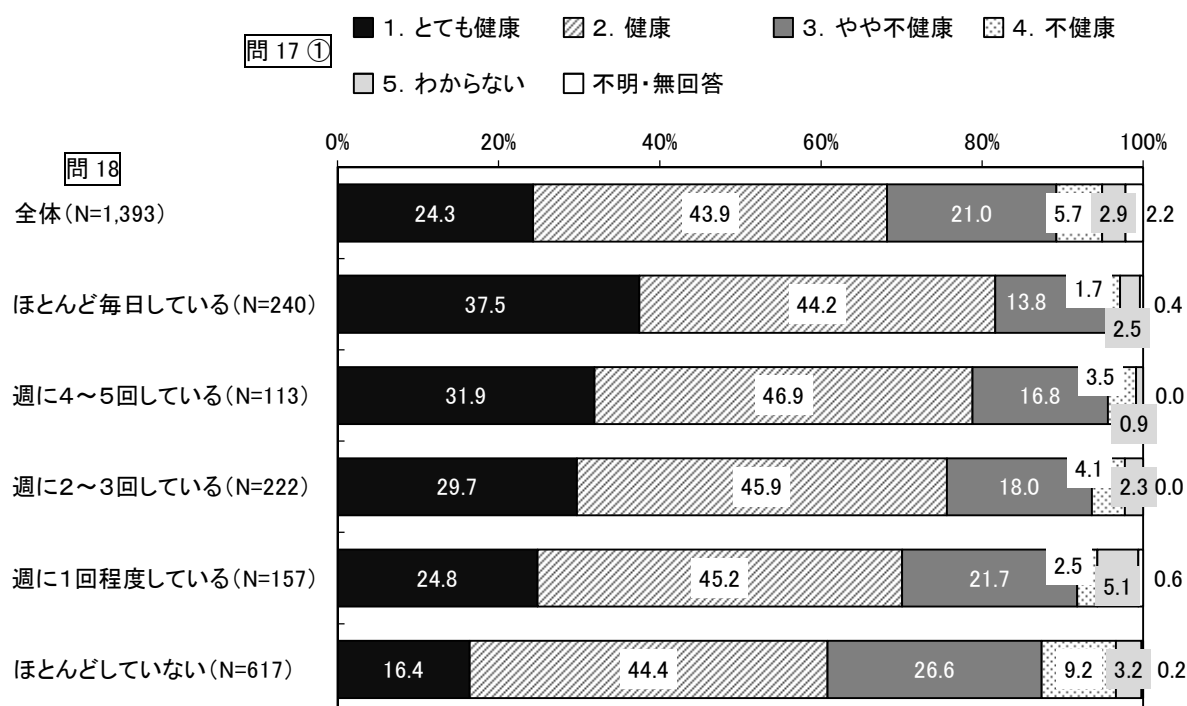
《問 17①自分の健康観（からだ）×問 16 自分の生活のリズム別》

自分の生活のリズムに問題が『ない』方が、『健康（「1. とても健康」と「2. 健康」の合計）』の割合が高くなっています。



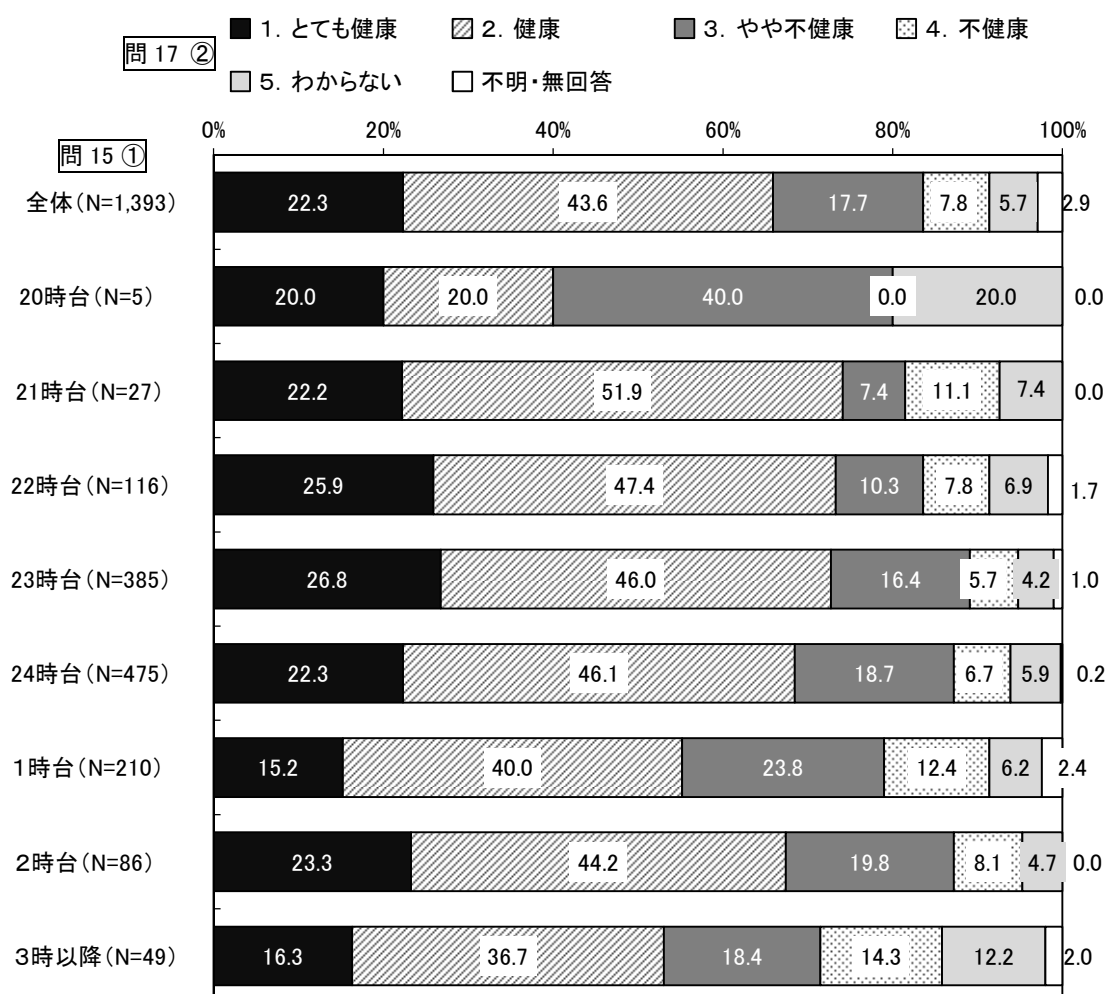
《問 17①自分の健康観（からだ）×問 18 1回 30 分以上の運動の有無別》

運動をしている頻度が高いほど、『健康（「1. とても健康」と「2. 健康」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



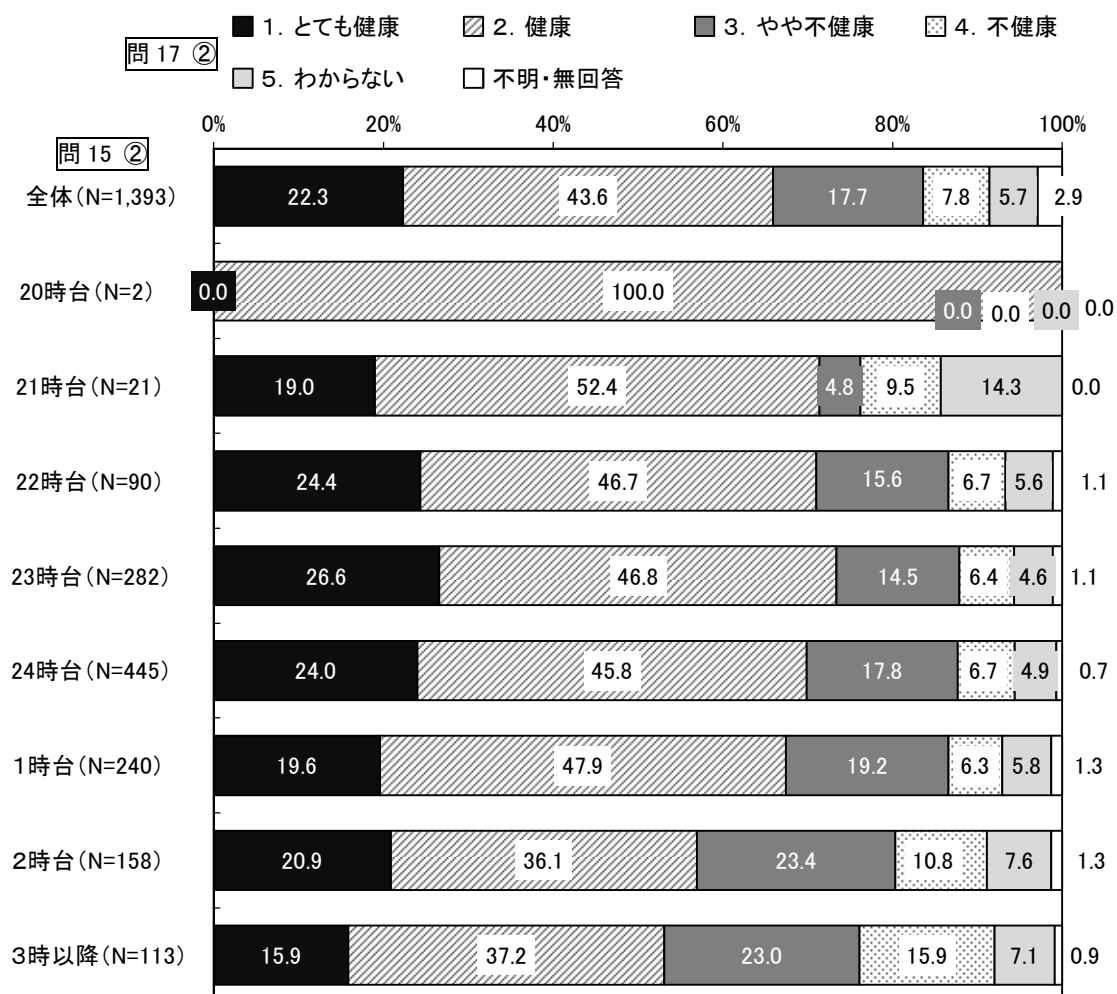
《問 17②自分の健康観（こころ）×問 15①平日 就寝時間別》

『21 時台』『22 時台』『23 時台』では、『健康（「1. とても健康」と「2. 健康」の合計）』の割合が7割を超えています。



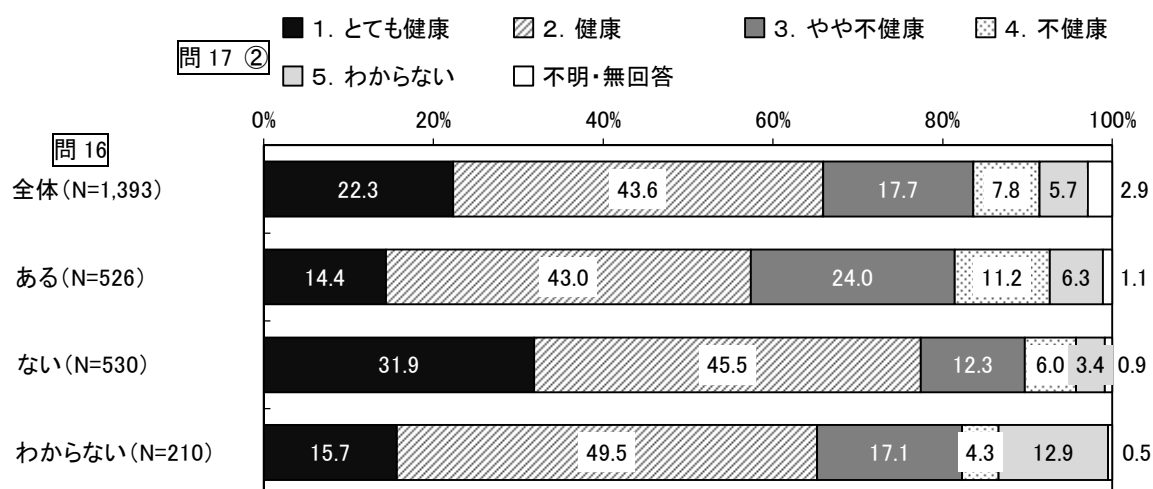
《問 17②自分の健康観（こころ）×問 15②休日 就寝時間別》

『21 時台』『22 時台』『23 時台』では、『健康（「1. とても健康」と「2. 健康」の合計）』の割合が7割を超えています。



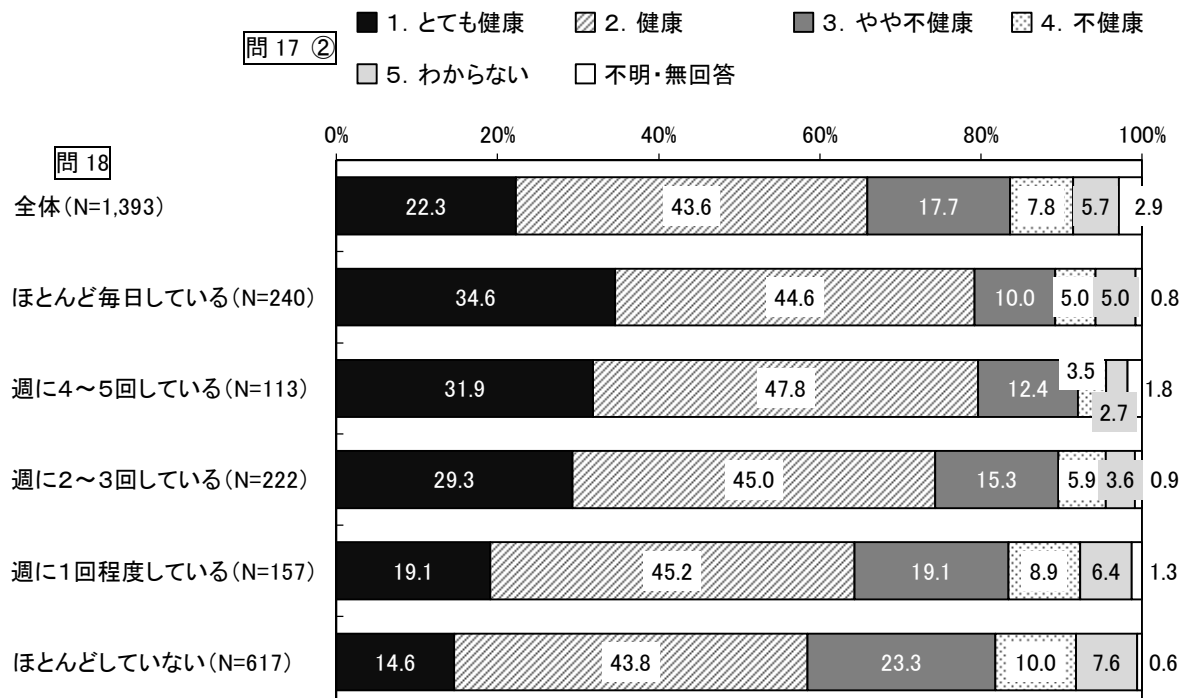
《問 17②自分の健康観（ころ）×問 16 自分の生活のリズム別》

自分の生活のリズムに問題が『ない』方が、『健康（「1. とても健康」と「2. 健康」の合計）』の割合が高くなっています。



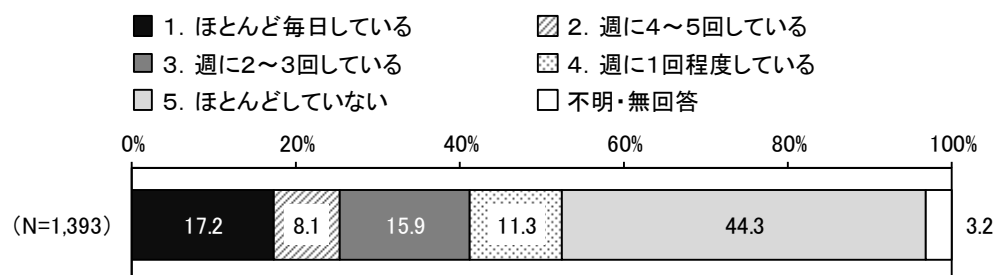
《問 17②自分の健康観（ころ）×問 18 1回30分以上の運動の有無別》

運動をしている頻度が高いほど、『健康（「1. とても健康」と「2. 健康」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



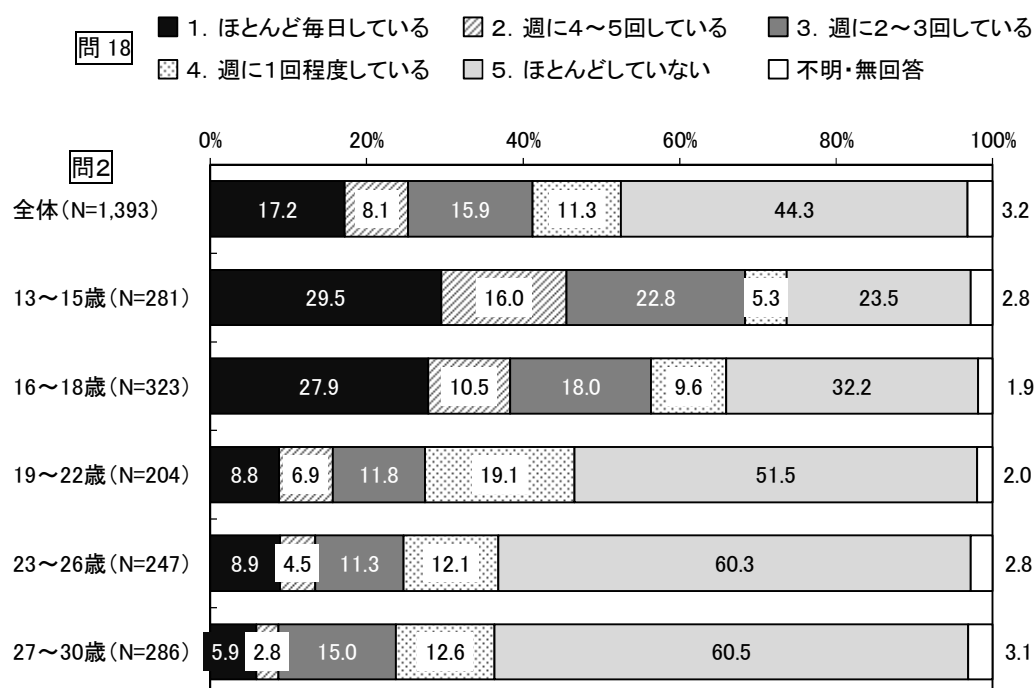
問 18 あなたはふだん、1回30分以上の運動をしていますか。(〇は1つ)

「5. ほとんどしていない」が44.3%と最も高く、次いで「1. ほとんど毎日している」が17.2%、「3. 週に2～3回している」が15.9%となっています。



《問 18×問 2 年齢別》

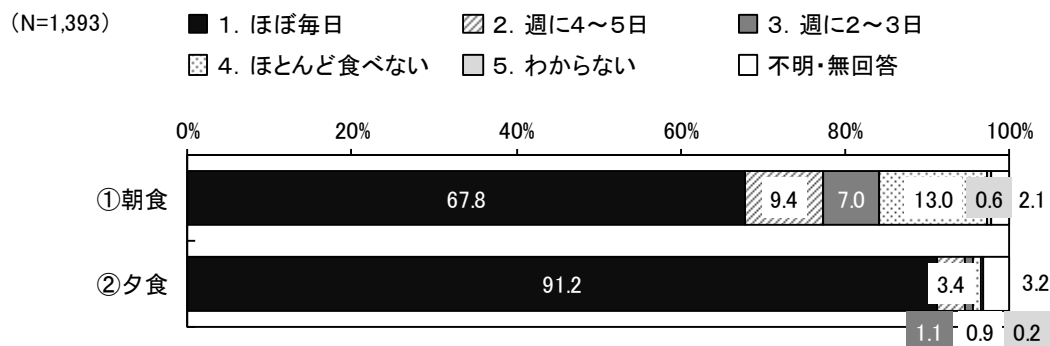
年齢が上がるほど、「5. ほとんどしていない」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 19(1) あなたはふだん、朝食・夕食を1週間に何日程度食べていますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

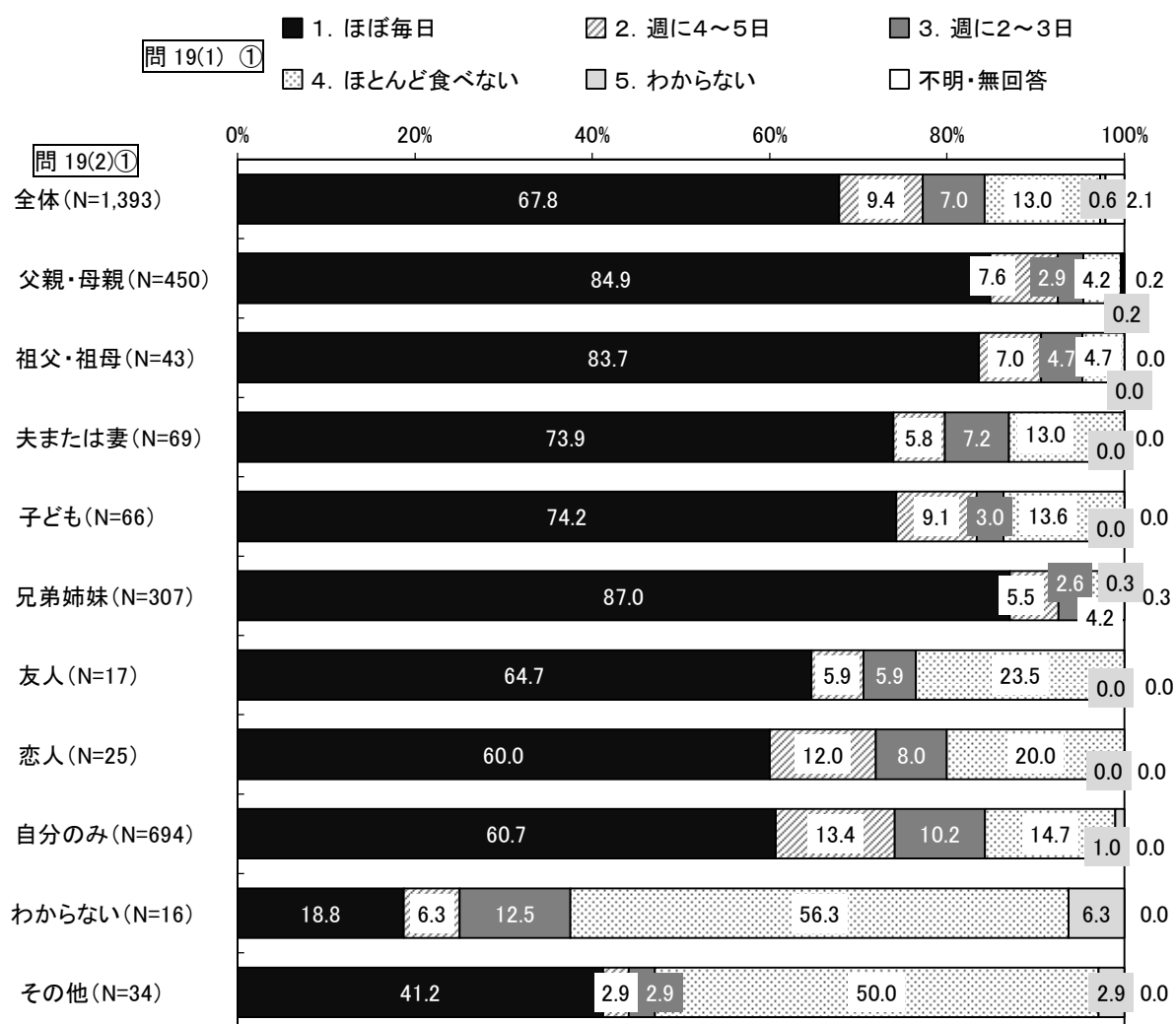
①朝食では、「1. ほぼ毎日」が67.8%と最も高く、次いで「4. ほとんど食べない」が13.0%、「2. 週に4～5日食べる」が9.4%となっています。

②夕食では、「1. ほぼ毎日」が91.2%と最も高く、次いで「2. 週に4～5日」が3.4%となっています。



《問 19(1)①朝食の摂取状況×問 19(2)①朝食と一緒に食べる人別》

『兄弟姉妹』『父親・母親』『祖父・祖母』では、「1. ほぼ毎日」の割合が8割を超えています。

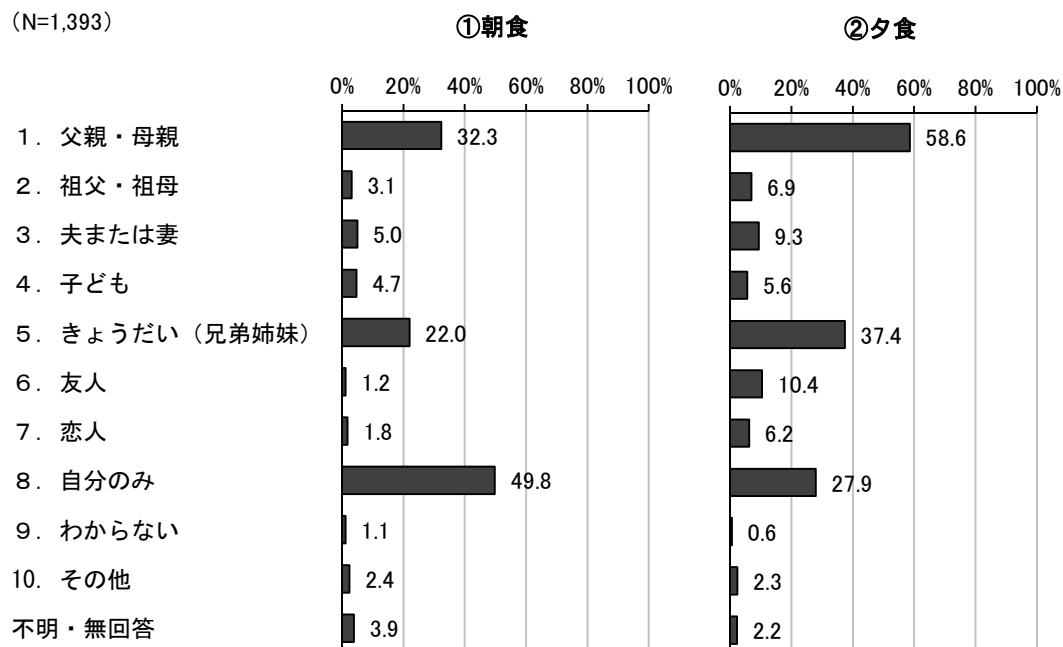


問 19(2) あなたは朝食・夕食をだれと食べることが多いですか。(〇はそれぞれいくつでも)

①朝食では、「8. 自分のみ」が 49.8%と最も高く、次いで「1. 父親・母親」が 32.3%, 「5. きょうだい（兄弟姉妹）」が 22.0%となっています。

②夕食では、「1. 父親・母親」が 58.6%と最も高く、次いで「5. きょうだい（兄弟姉妹）」が 37.4%, 「8. 自分のみ」が 27.9%となっています。

(N=1,393)



問 20 あなたの身長と体重および理想の体重をそれぞれ記入してください。

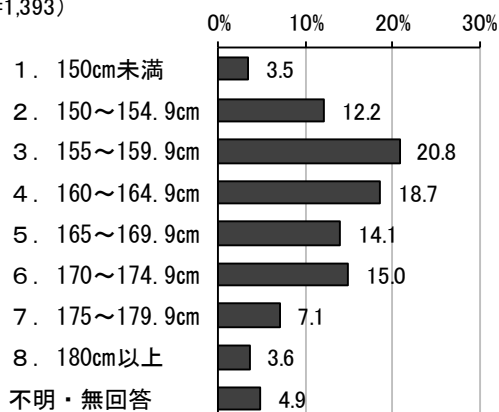
身長では、「3. 155～159.9cm」が20.8%と最も高く、次いで「4. 160～164.9 cm」が18.7%、「6. 170～174.9 cm」が15.0%となっています。

体重では、「4. 50～54kg」が22.6%と最も高く、次いで「3. 45～49kg」が18.0%、「5. 55～59kg」が15.3%となっています。

理想の体重では、「3. 45～49kg」が21.8%と最も高く、次いで「4. 50～54kg」が18.0%、「2. 40～44kg」が12.0%となっています。

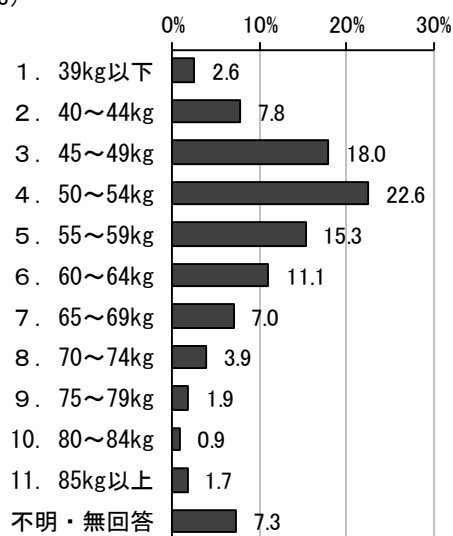
身長

(N=1,393)



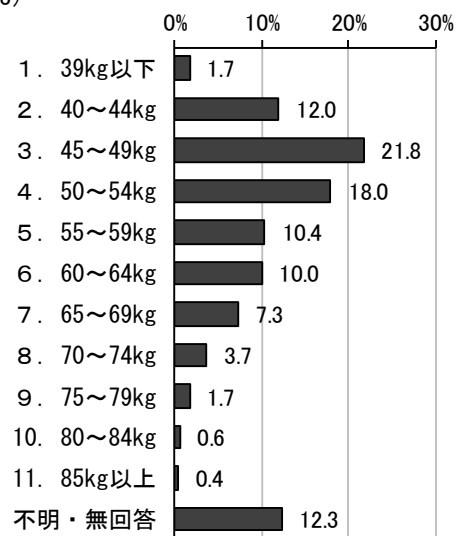
体重

(N=1,393)



理想の体重

(N=1,393)



肥満度・BMI

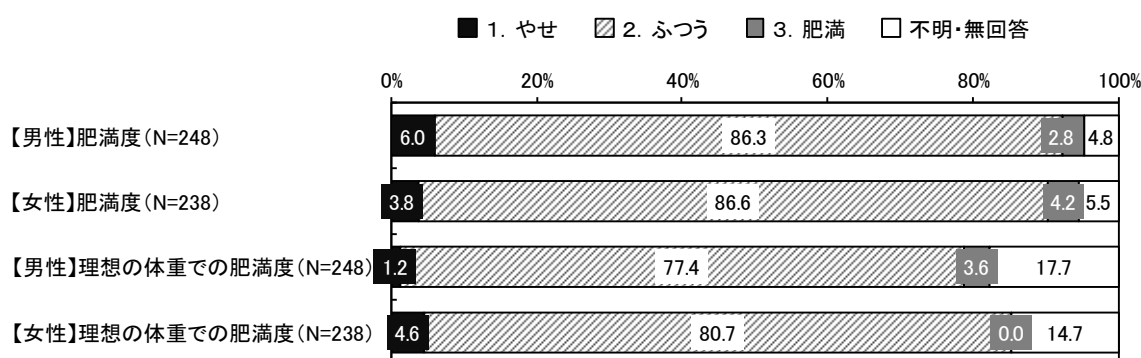
肥満度（13～17歳）では、男女ともに「2. ふつう」が86.3%、86.6%と最も高く、次いで男性では「1. やせ」が6.0%、女性では「3. 肥満」が4.2%となっています。

理想の体重での肥満度では、男女ともに「2. ふつう」が77.4%、80.7%と最も高く、次いで男性では「3. 肥満」が3.6%、女性では「1. やせ」が4.6%となっています。

BMI（18歳以上）では、男女ともに「2. ふつう」が67.4%、72.4%と最も高く、次いで男性では「3. 肥満」が15.8%、女性では「1. やせ」が14.8%となっています。

理想の体重でのBMIでは、男女ともに「2. ふつう」が78.8%、60.8%と最も高く、次いで男性では「3. 肥満」が5.1%、女性では「1. やせ」が29.2%となっています。

肥満度(13～17歳)

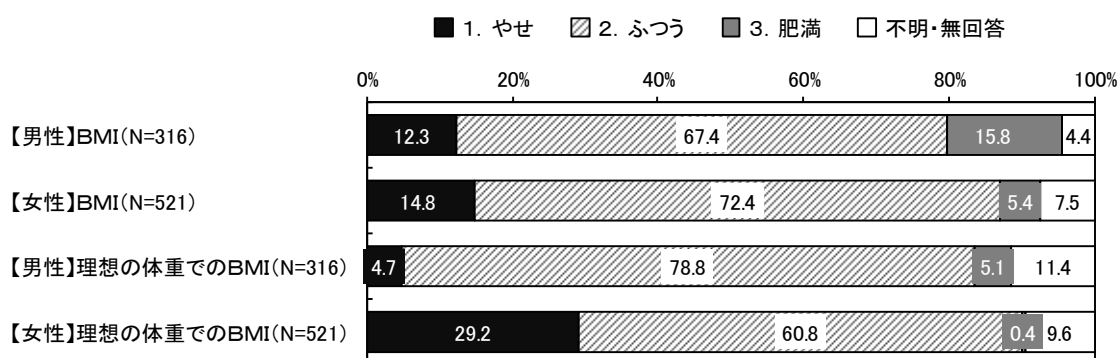


※肥満度…-20%以下:やせ, -20%~20%未満:ふつう, 20%以上:肥満

算出方法: (実測体重(kg)-標準体重(kg)) ÷ 標準体重(kg) × 100

標準体重: 性別・年齢・身長に基づき標準とされる体重のこと

BMI(18歳以上)



※BMI…体格指数のこと。18.5未満:やせ, 18.5以上 25.0未満:ふつう, 25.0以上:肥満

算出方法: 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)

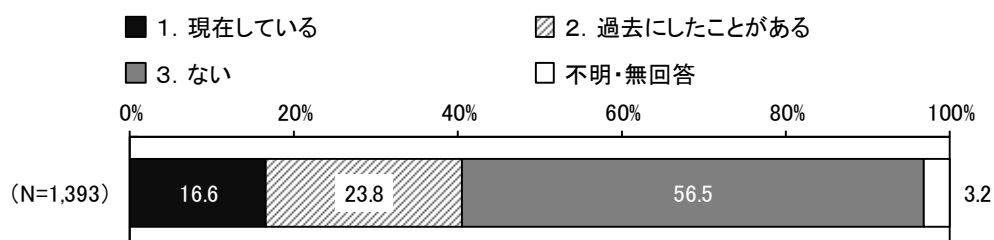
《問 20 理想と考える体重×問 20 現在の体重別》

『40～44kg』『45～49kg』では、現在の体重と理想と考える体重が同様の区分で最も高く、現在の体重が『50～54kg』以降はそれぞれ現在の体重よりも5kg少ない区分で高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	39kg 以下	40～ 44kg	45～ 49kg	50～ 54kg	55～ 59kg	60～ 64kg	65～ 69kg	70～ 74kg	75～ 79kg	80～ 84kg	85kg 以上	不明・ 無回答
全 体		1,393 100.0	24 1.7	167 12.0	304 21.8	251 18.0	145 10.4	139 10.0	101 7.3	52 3.7	24 1.7	9 0.6	5 0.4	172 12.3
現 在 の 体 重	39kg以下	36 100.0	12 33.3	14 38.9	2 5.6	2 5.6	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 13.9
	40～44kg	109 100.0	8 7.3	60 55.0	19 17.4	8 7.3	3 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 10.1
	45～49kg	251 100.0	4 1.6	77 30.7	122 48.6	22 8.8	8 3.2	2 0.8	2 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 5.6
	50～54kg	315 100.0	0 0.0	10 3.2	127 40.3	101 32.1	25 7.9	26 8.3	4 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	22 7.0
	55～59kg	213 100.0	0 0.0	1 0.5	25 11.7	83 39.0	51 23.9	26 12.2	13 6.1	3 1.4	1 0.5	0 0.0	0 0.0	10 4.7
	60～64kg	154 100.0	0 0.0	2 1.3	2 1.3	24 15.6	42 27.3	41 26.6	21 13.6	5 3.2	2 1.3	0 0.0	0 0.0	15 9.7
	65～69kg	98 100.0	0 0.0	1 1.0	1 1.0	4 4.1	8 8.2	34 34.7	21 21.4	19 19.4	5 5.1	0 0.0	1 1.0	4 4.1
	70～74kg	55 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.6	6 10.9	8 14.5	27 49.1	9 16.4	2 3.6	0 0.0	0 0.0	1 1.8
	75～79kg	26 100.0	0 0.0	0 0.0	2 7.7	0 0.0	0 0.0	2 7.7	8 30.8	9 34.6	3 11.5	0 0.0	1 3.8	1 3.8
	80～84kg	12 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	3 25.0	6 50.0	0 0.0	2 16.7	0 0.0
	85kg以上	23 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 13.0	4 17.4	5 21.7	9 39.1	1 4.3	1 4.3

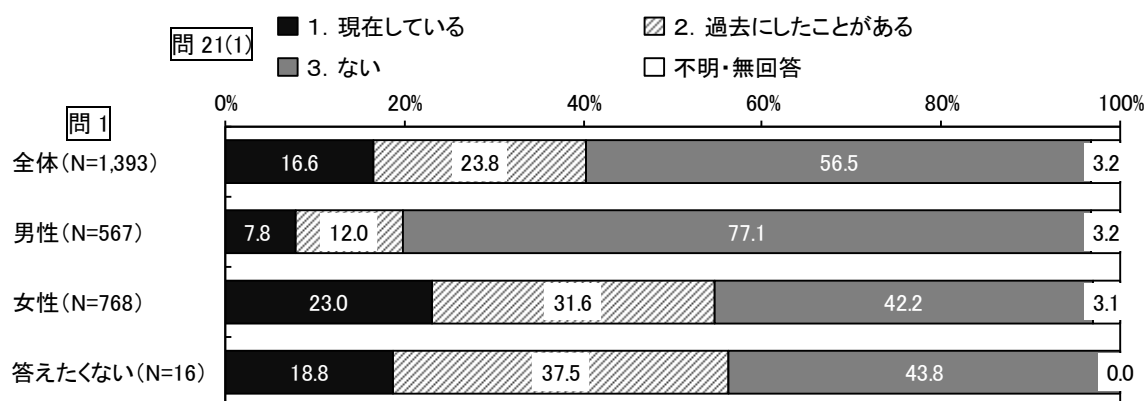
問 21(1) あなたは、ダイエットをしたことがありますか。(○は1つ)

「3. ない」が56.5%と最も高く、次いで「2. 過去にしたことがある」が23.8%, 「1. 現在している」が16.6%となっています。



《問 21(1)×問 1 性別》

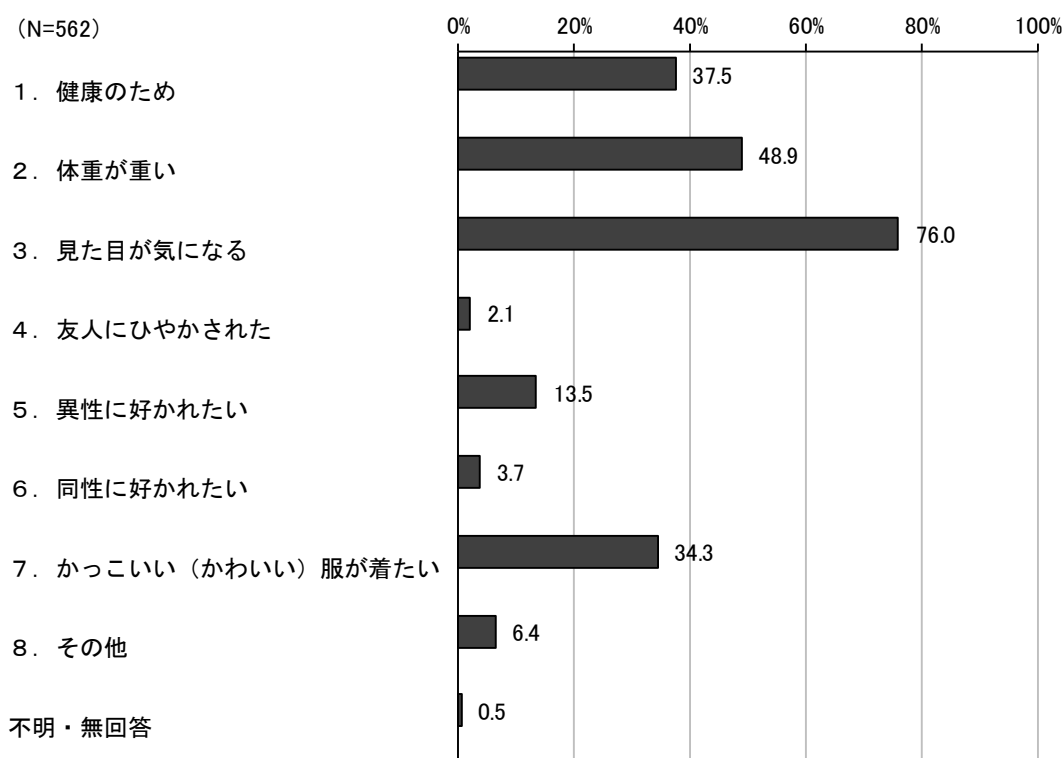
すべての区分で「3. ない」が最も高くなっており、『女性』では『男性』と比べて「1. 現在している」「2. 過去にしたことがある」の割合が高くなっています。



問 21(1)で「1」または「2」と答えた方

問 21(2) その理由は何ですか。(〇は主なもの3つまで)

「3. 見た目が気になる」が76.0%と最も高く、次いで「2. 体重が重い」が48.9%, 「1. 健康のため」が37.5%となっています。



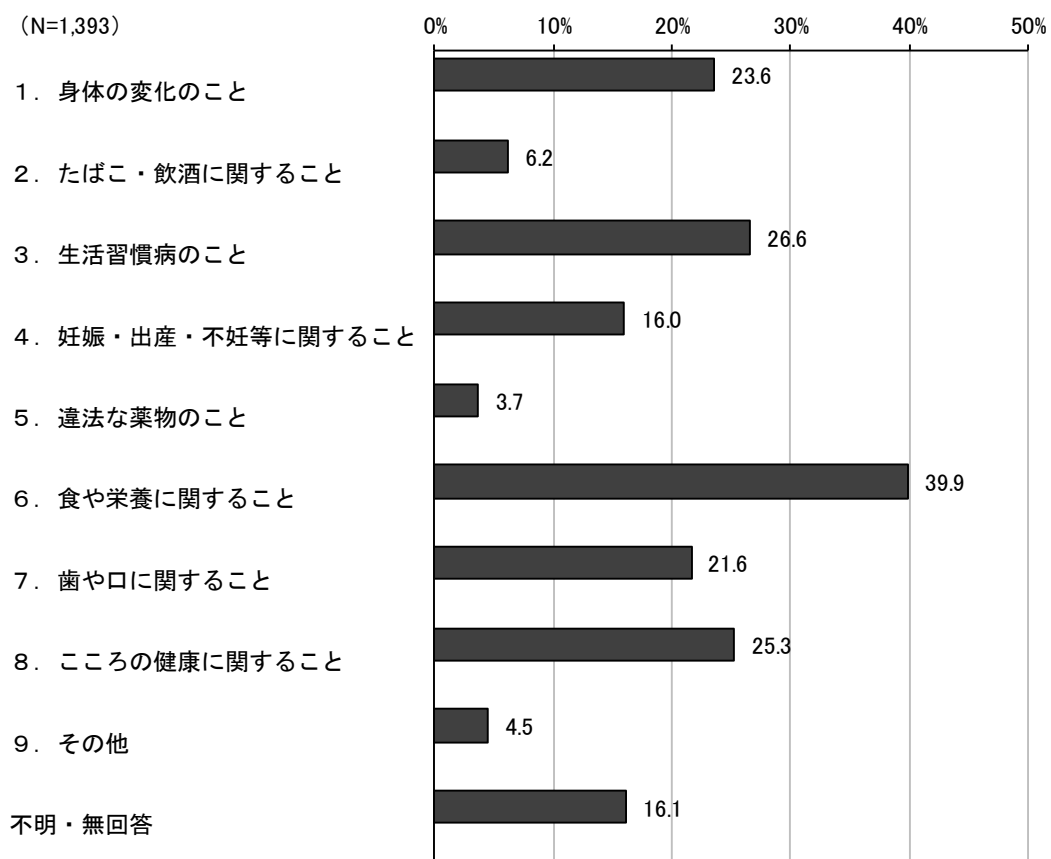
《問 21(2)×問 1 性別》

『男性』『女性』ともに「見た目がきになる」の割合が最も高くなっており、特に『女性』では8割となっています。

上段:件数 下段:%		合計	健康のため	体重が重い	見た目が気 になる	友人にひや かされた	異性に好か れない	同性に好か れない	カッコいい (かわいい) 服を着たい	その他	不明・無回 答
全 体		562 100.0	211 37.5	275 48.9	427 76.0	12 2.1	76 13.5	21 3.7	193 34.3	36 6.4	3 0.5
性 別	男性	112 100.0	62 55.4	48 42.9	72 64.3	4 3.6	27 24.1	2 1.8	22 19.6	7 6.3	1 0.9
	女性	420 100.0	138 32.9	206 49.0	336 80.0	8 1.9	46 11.0	19 4.5	162 38.6	28 6.7	1 0.2
	答えたくない	9 100.0	4 44.4	7 77.8	4 44.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	1 11.1

問 21(3) 健康について知りたいことはありますか。(〇は主なもの3つまで)

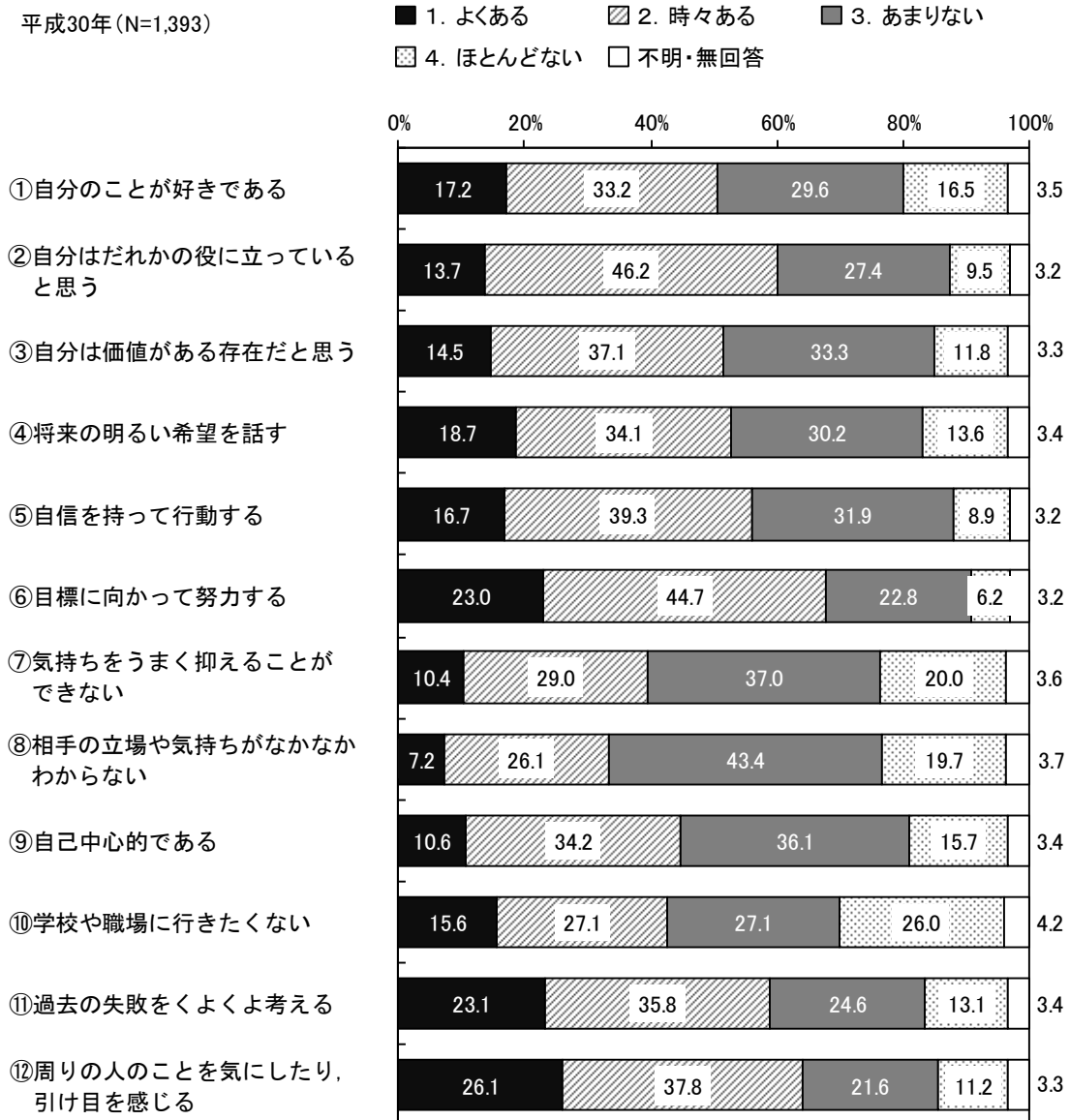
「6. 食や栄養に関すること」が39.9%と最も高く、次いで「3. 生活習慣病のこと」が26.6%、「8. こころの健康に関すること」が25.3%となっています。



6 ふだんの気持ちや悩みについて

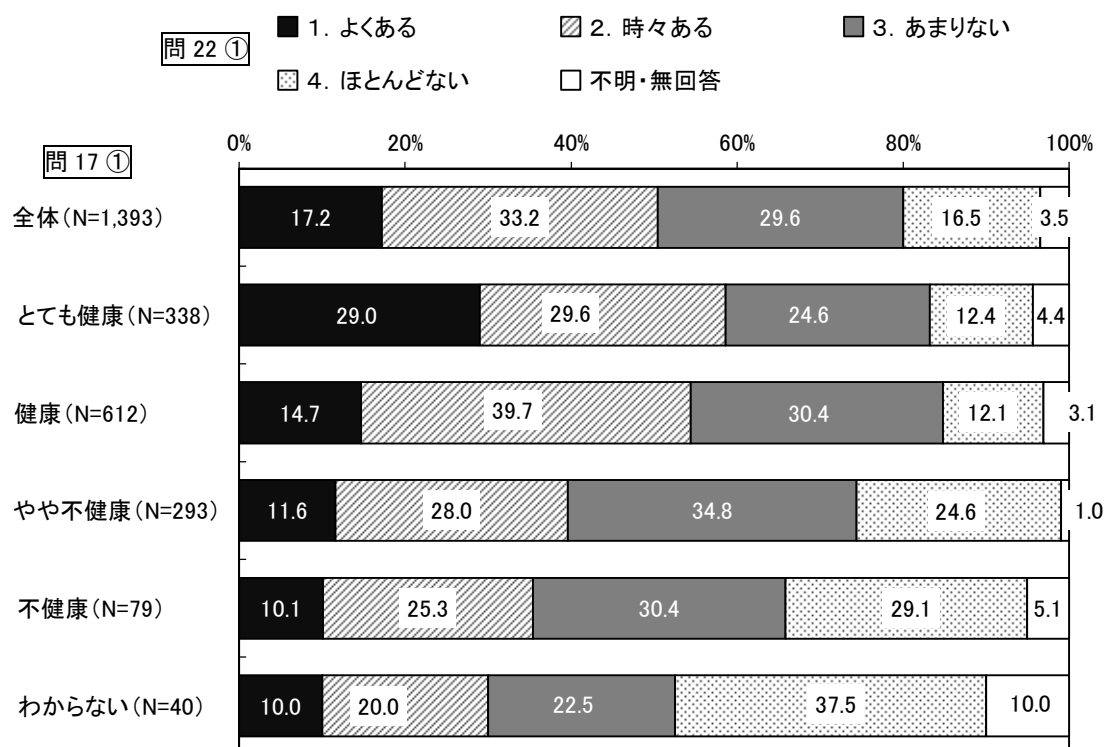
問 22 あなたはふだん、次のような気持ちや状況になることがありますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

『ある(「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計)』は、[⑥目標に向かって努力する]が67.7%と最も高く、次いで[⑫周りの人のことを気にしたり、引け目を感じる]が63.9%、[②自分はだれかの役に立っていると思う]が59.9%となっています。



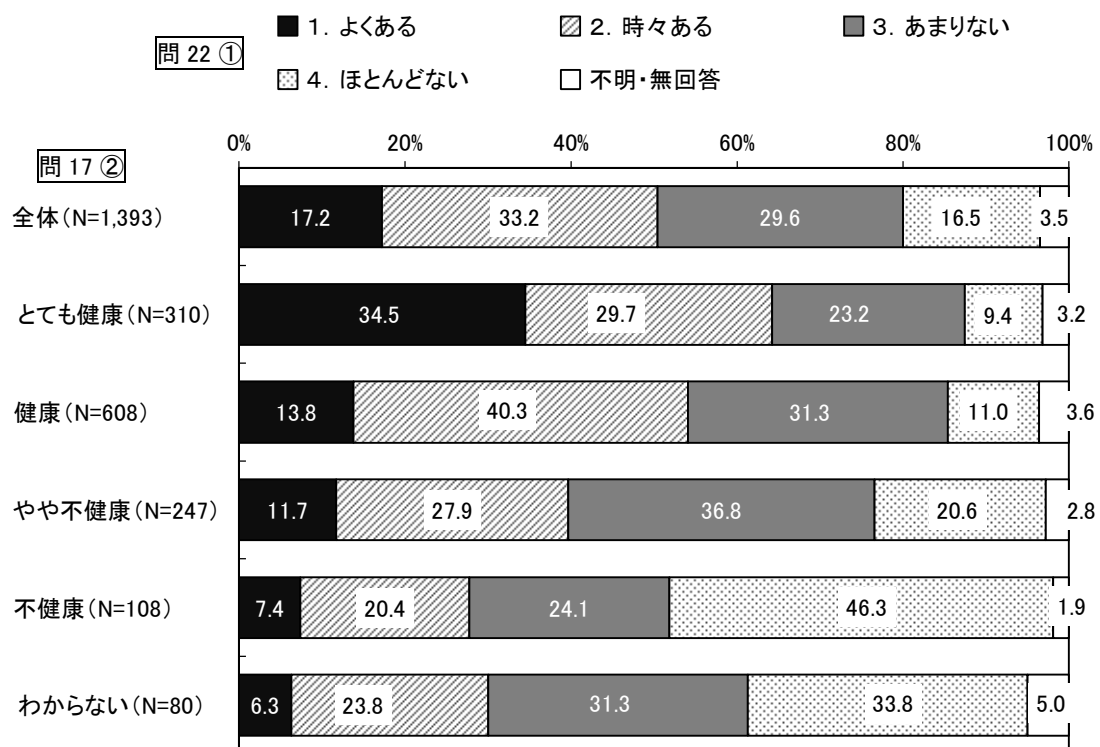
《問 22 自己肯定感（①自分のことが好きである）×問 17①自分の健康観（からだ）別》

からだの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。



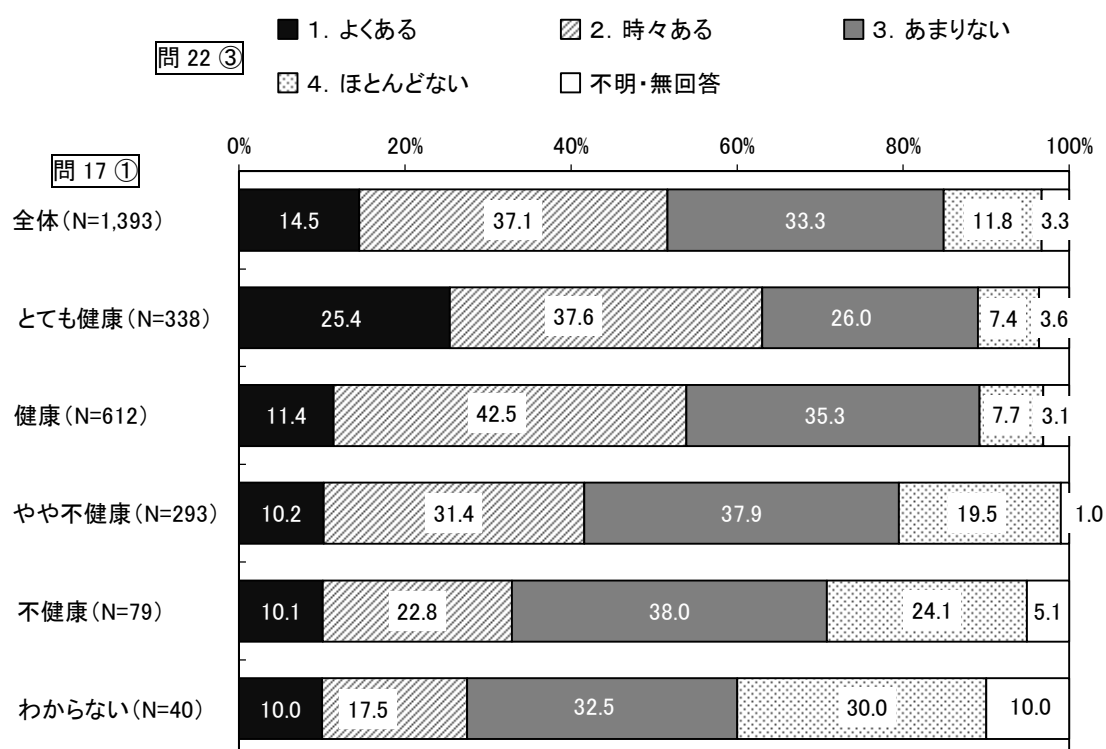
《問 22 自己肯定感（①自分のことが好きである）×問 17②自分の健康観（こころ）別》

こころの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。



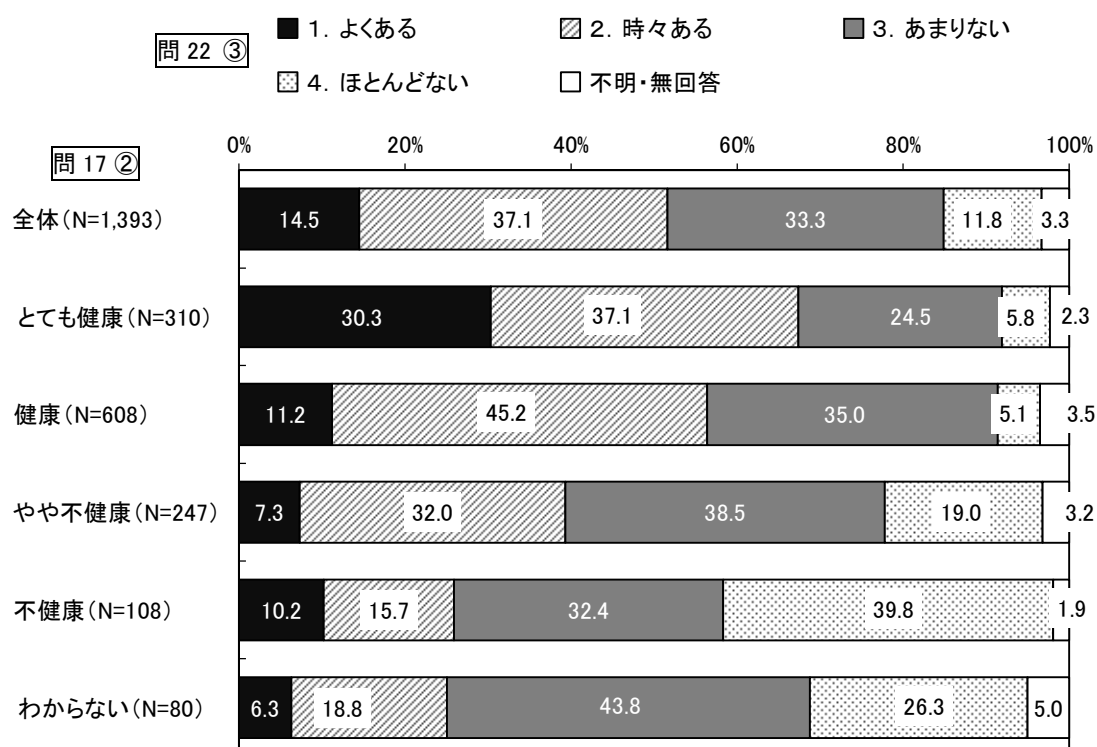
《問 22 自己肯定感（③自分は価値がある存在だと思う）×問 17①自分の健康観（からだ）別》

からだの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。



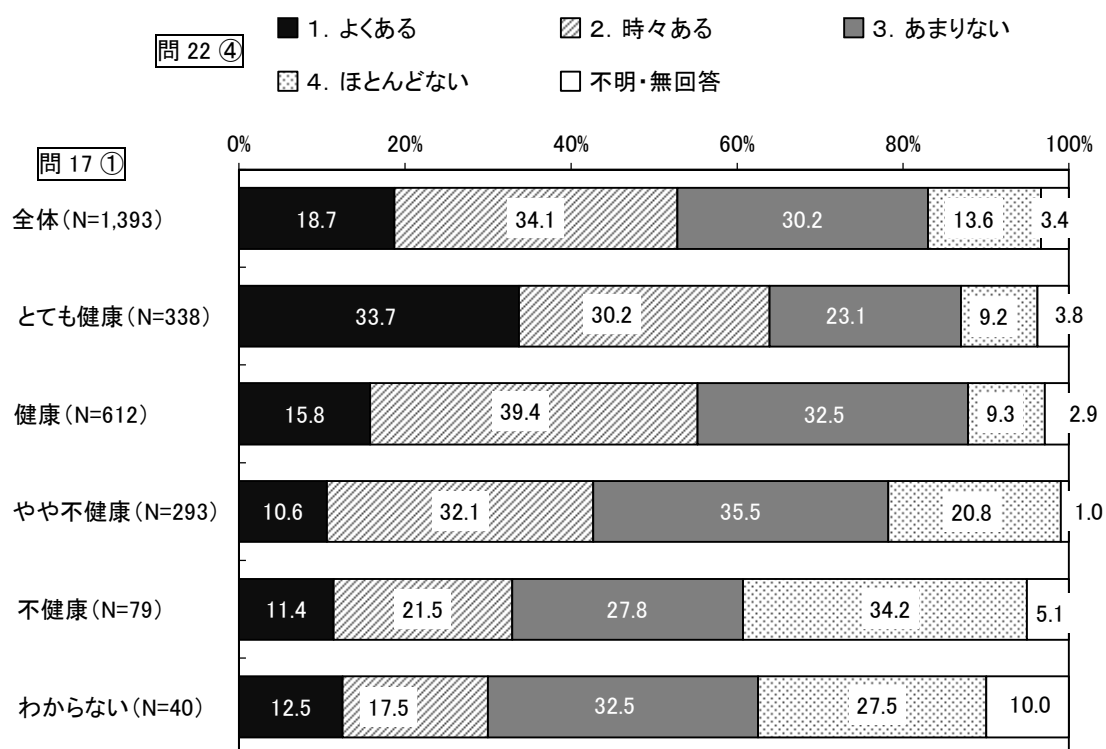
《問 22 自己肯定感（③自分は価値がある存在だと思う）×問 17②自分の健康観（こころ）別》

こころの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。



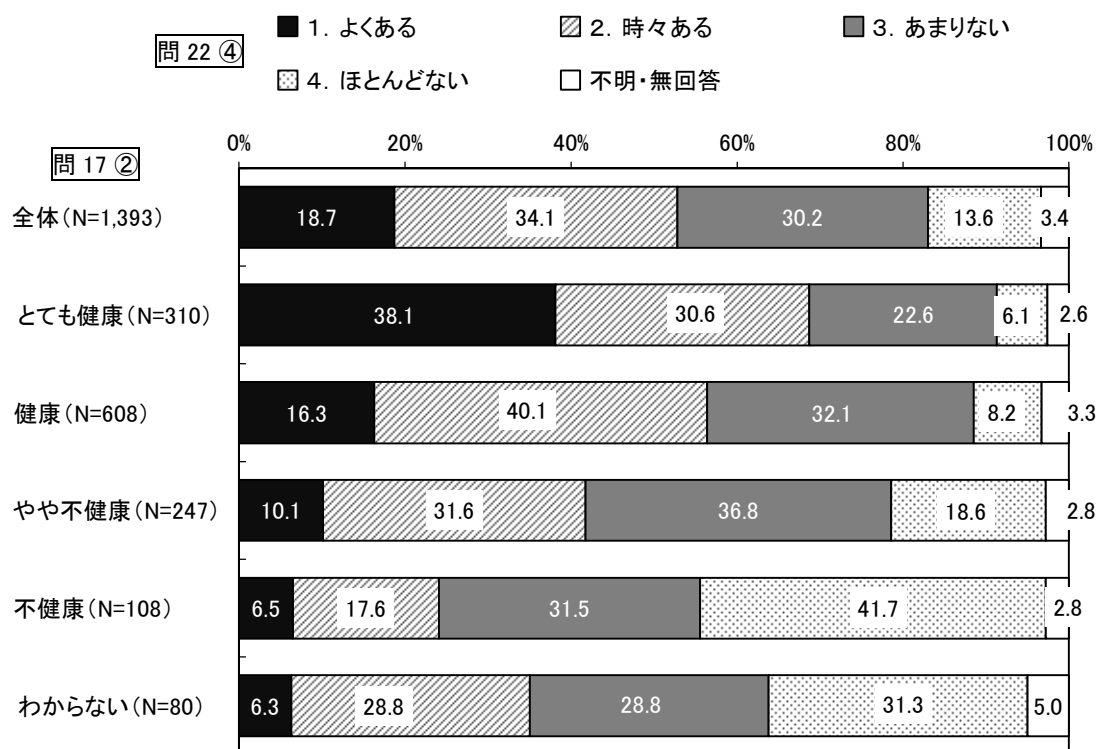
《問 22 自己肯定感（④将来の明るい希望を話す）×問 17①自分の健康観（からだ）別》

からだの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。



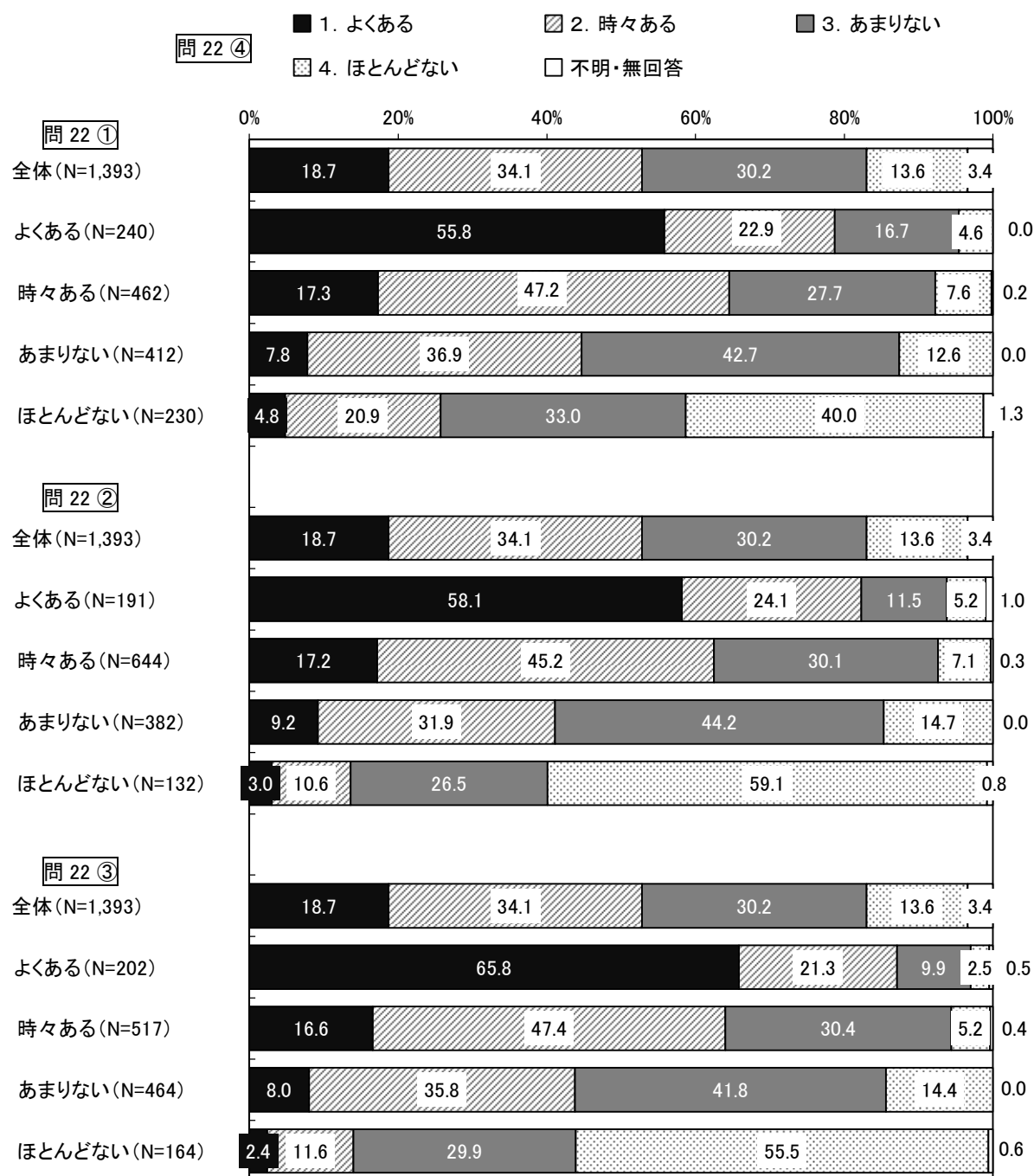
《問 22 自己肯定感（④将来の明るい希望を話す）×問 17②自分の健康観（こころ）別》

こころの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。



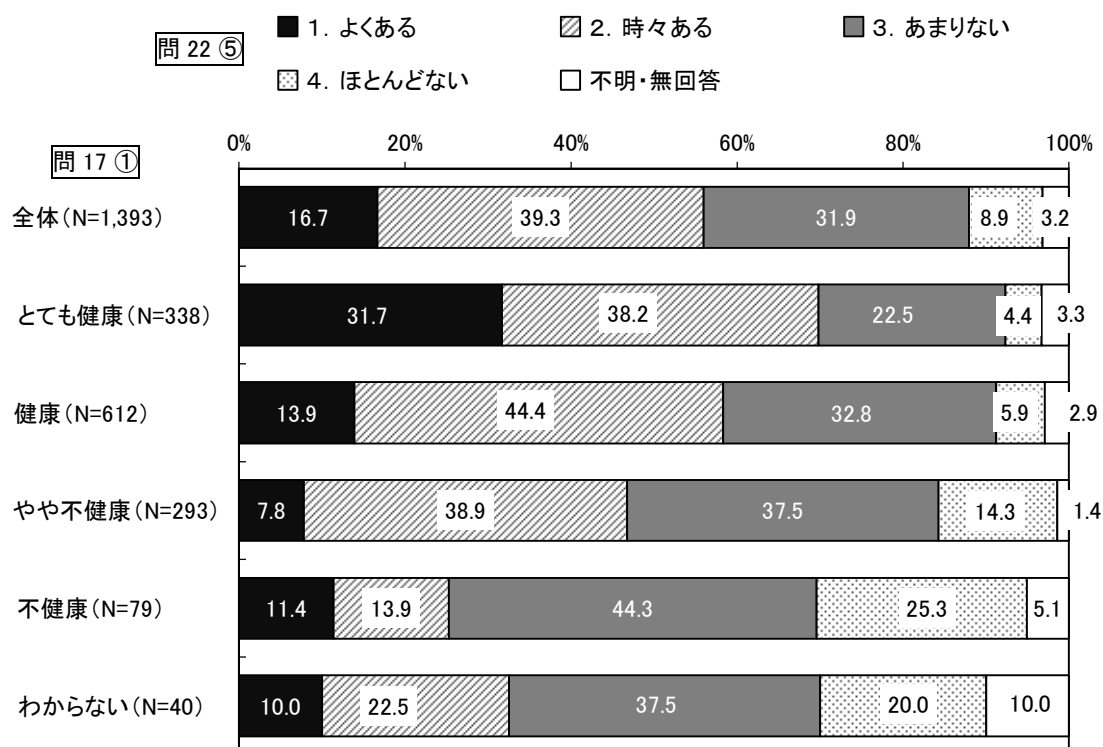
《問 22 自己肯定感（④将来の明るい希望を話す）×問 22 自己肯定感別（①自分のことが好きである），（②自分はだれかの役に立っていると思う），（③自分は価値がある存在だと思う）》

自身が好きである，だれかの役に立っている，価値のある存在だと思う自己肯定感があるほど，将来の明るい希望を話すことが『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



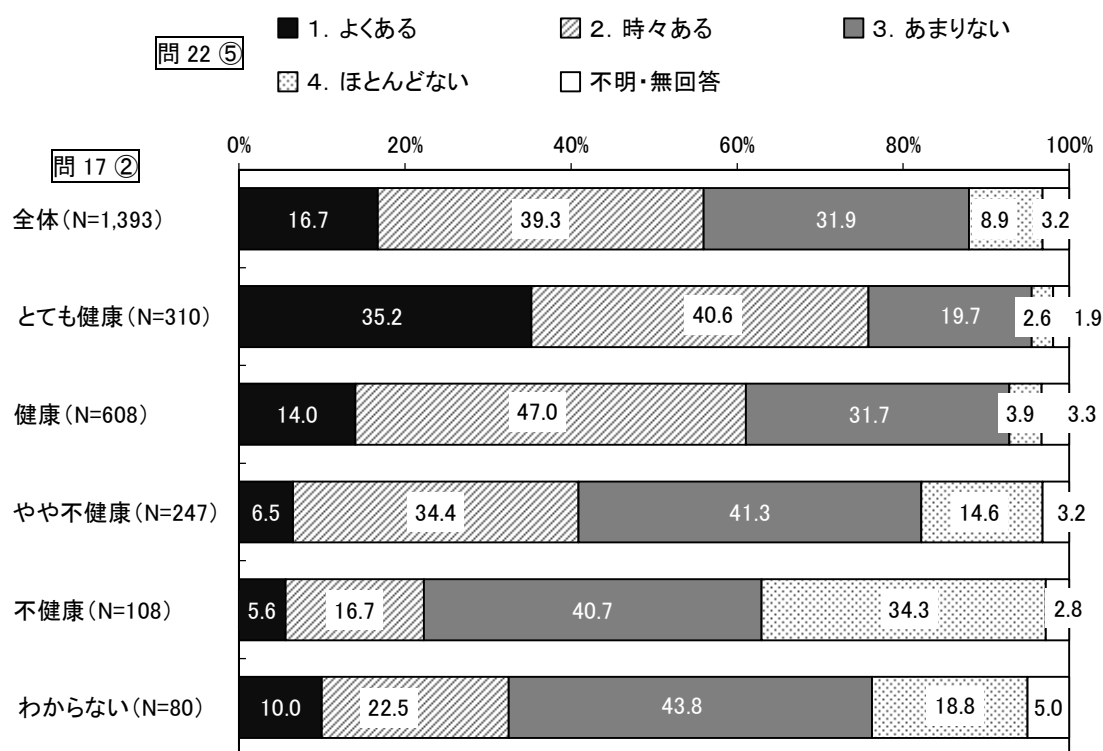
《問 22 自己肯定感（⑤自信を持って行動する）×問 17①自分の健康観（からだ）別》

からだの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。



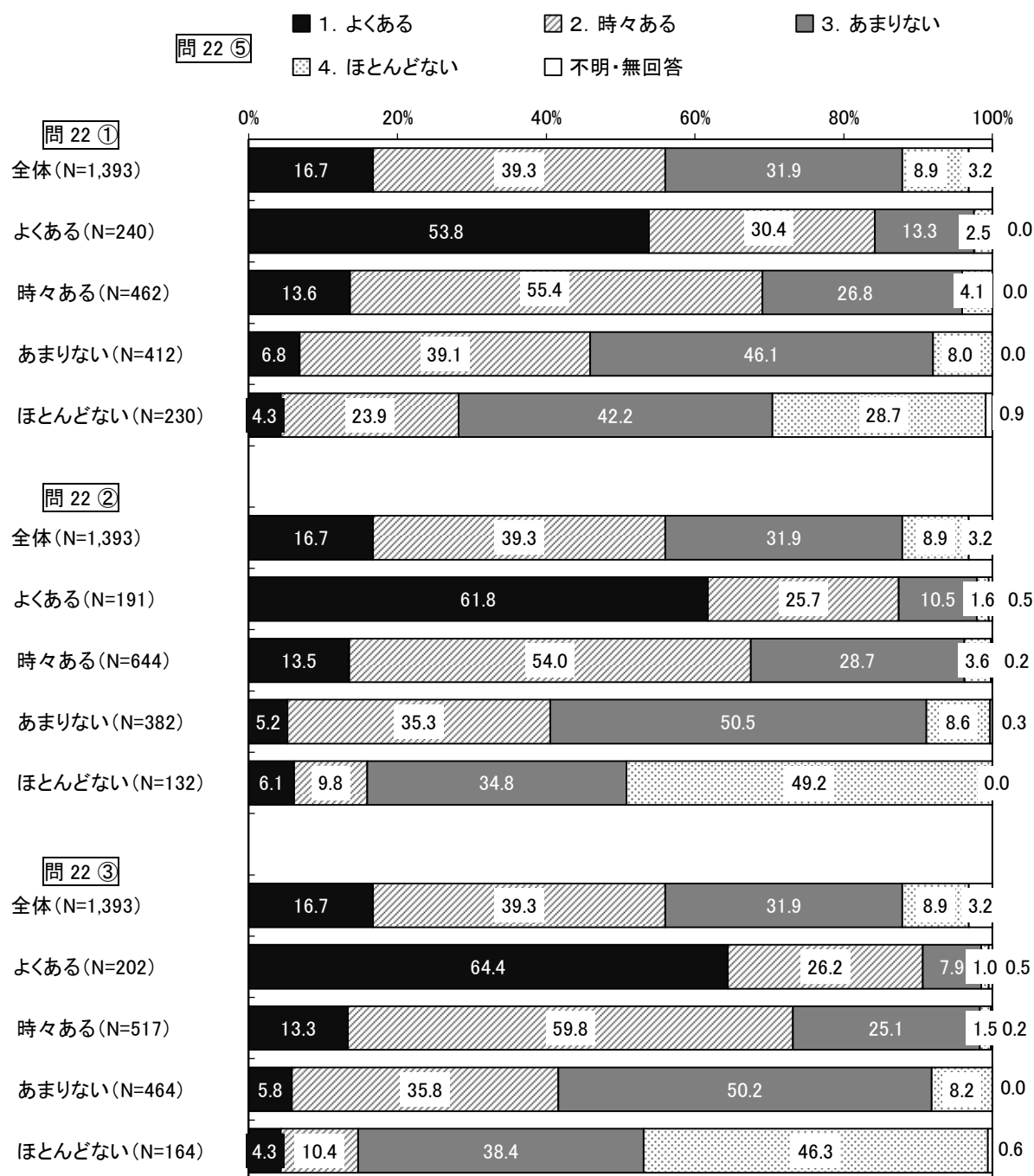
《問 22 自己肯定感（⑤自信を持って行動する）×問 17②自分の健康観（こころ）別》

こころの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。



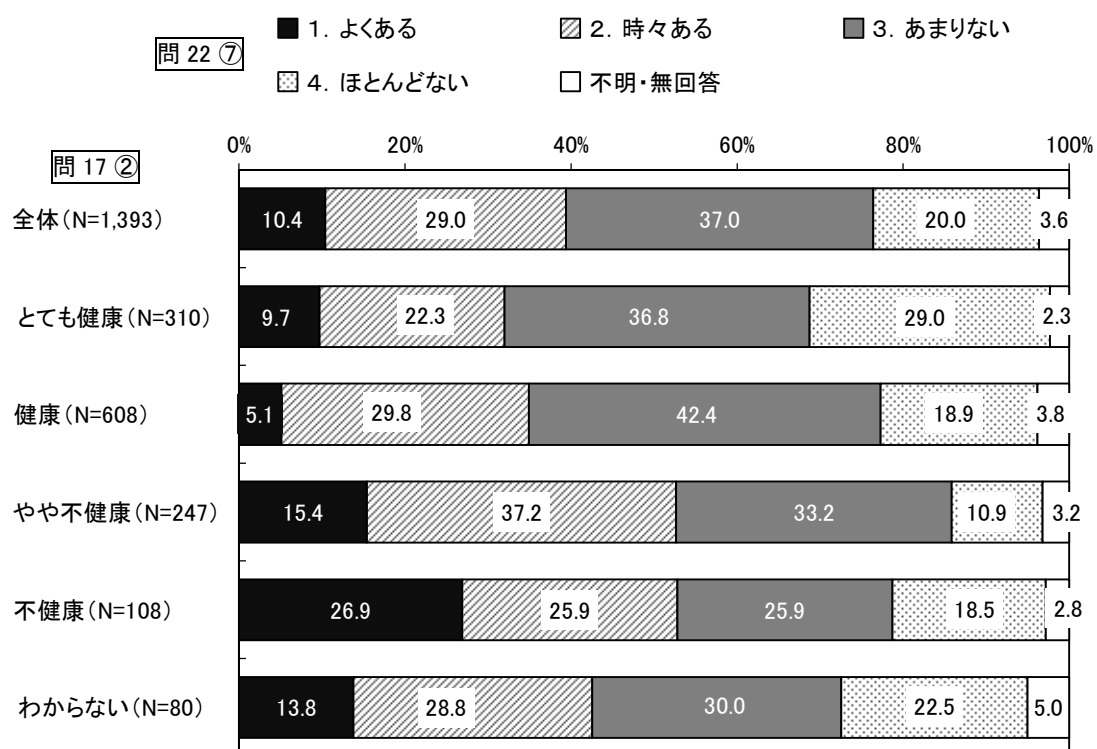
《問 22 自己肯定感(⑤自信を持って行動する)×問 22 自己肯定感(①自分のことが好きである),
(②自分はだれかの役に立っていると思う), (③自分は価値がある存在だと思う) 別》

自身が好きである, だれかの役に立っている, 価値のある存在だと思う自己肯定感があるほど, 自信を持って行動することが『ある (「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計)』の割合が高くなる傾向がみられます。



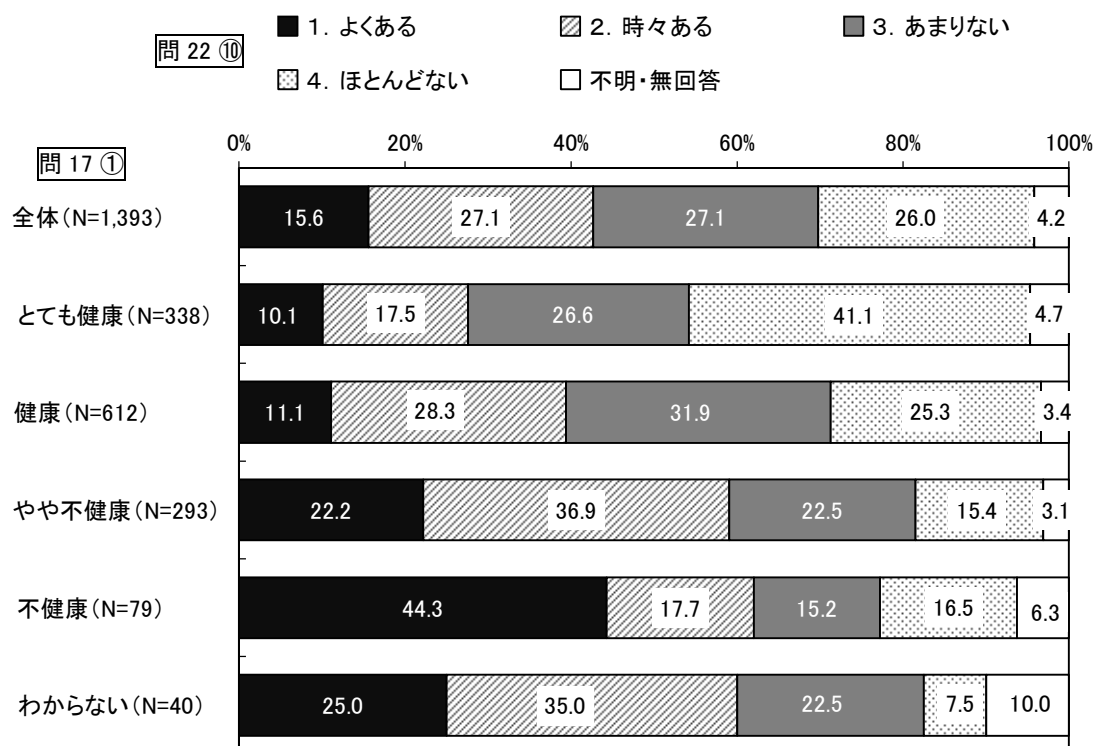
《問 22 自己肯定感（⑦気持ちをうまく抑えることができない）×問 17②自分の健康観（こころ）別》

『やや不健康』『不健康』では、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が5割となっています。



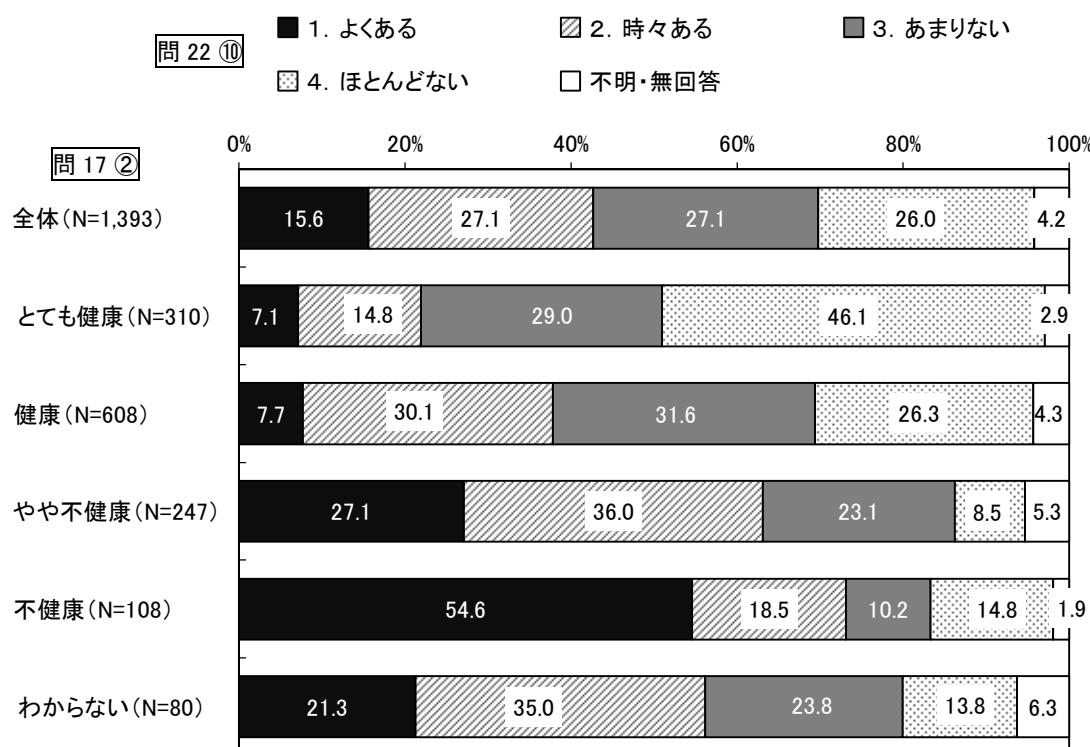
《問 22 自己肯定感（⑩学校や職場に行きたくない）×問 17①自分の健康観（からだ）別》

からだの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



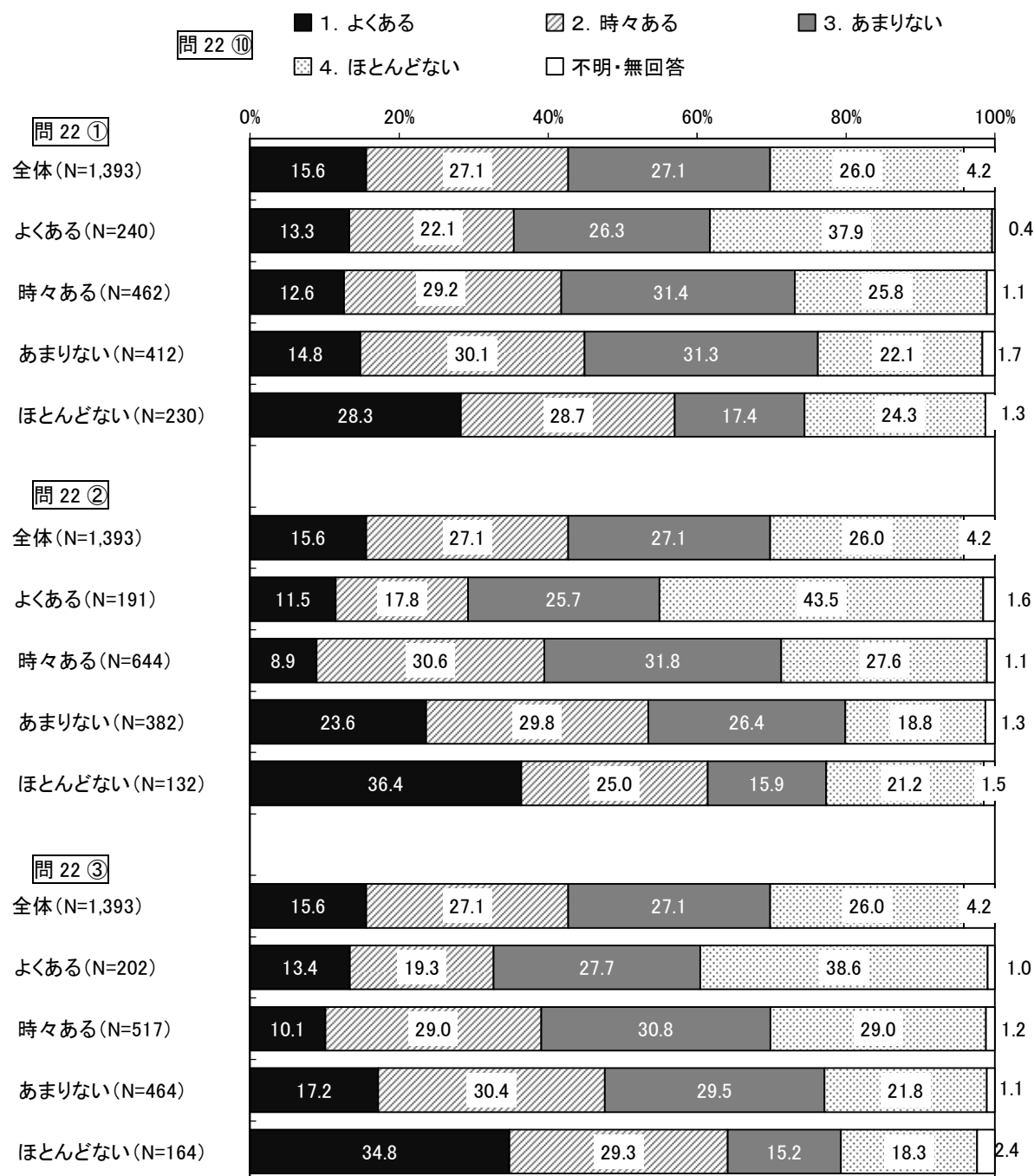
《問 22 自己肯定感（⑩学校や職場に行きたくない）×問 17②自分の健康観（こころ）別》

からだの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



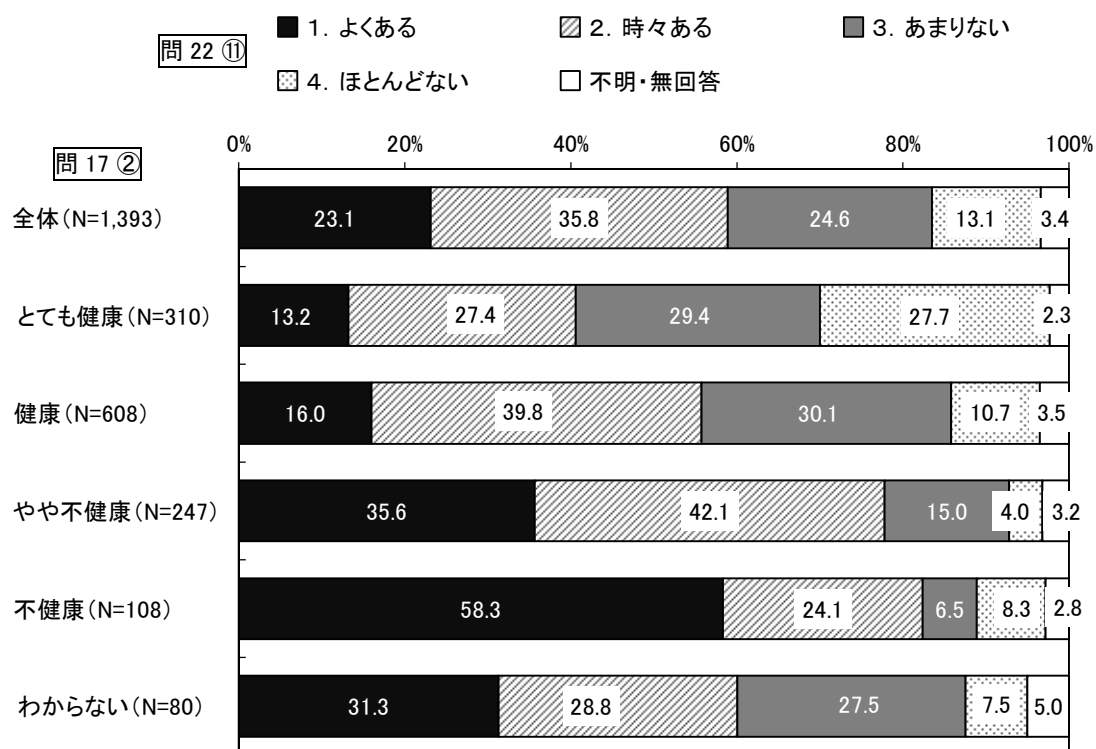
《問 22 自己肯定感（⑩学校や職場に行きたくない）×問 22 自己肯定感（①自分のことが好きである），（②自分はだれかの役に立っていると思う），（③自分は価値がある存在だと思う）別》

自身が好きである，だれかの役に立っている，価値のある存在だと思う自己肯定感があるほど，学校や職場に行きたくないことが『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が低くなる傾向がみられます。



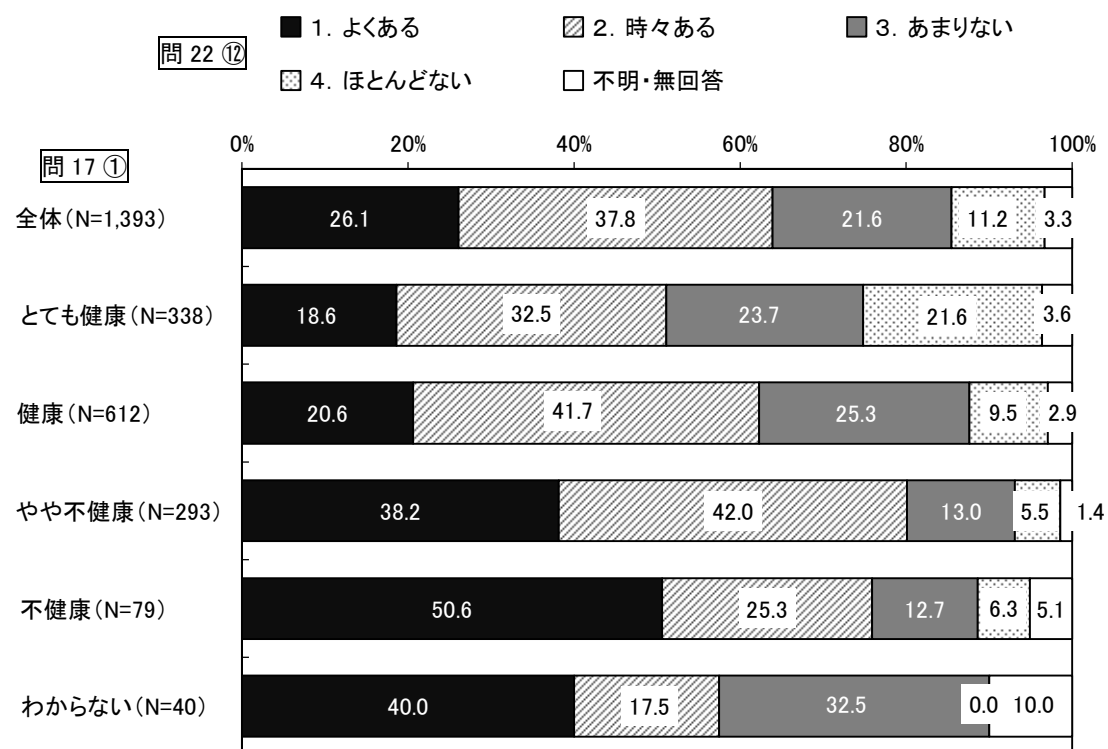
《問 22 自己肯定感（⑪過去の失敗をくよくよ考える）×問 17②自分の健康観（こころ）別》

こころの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



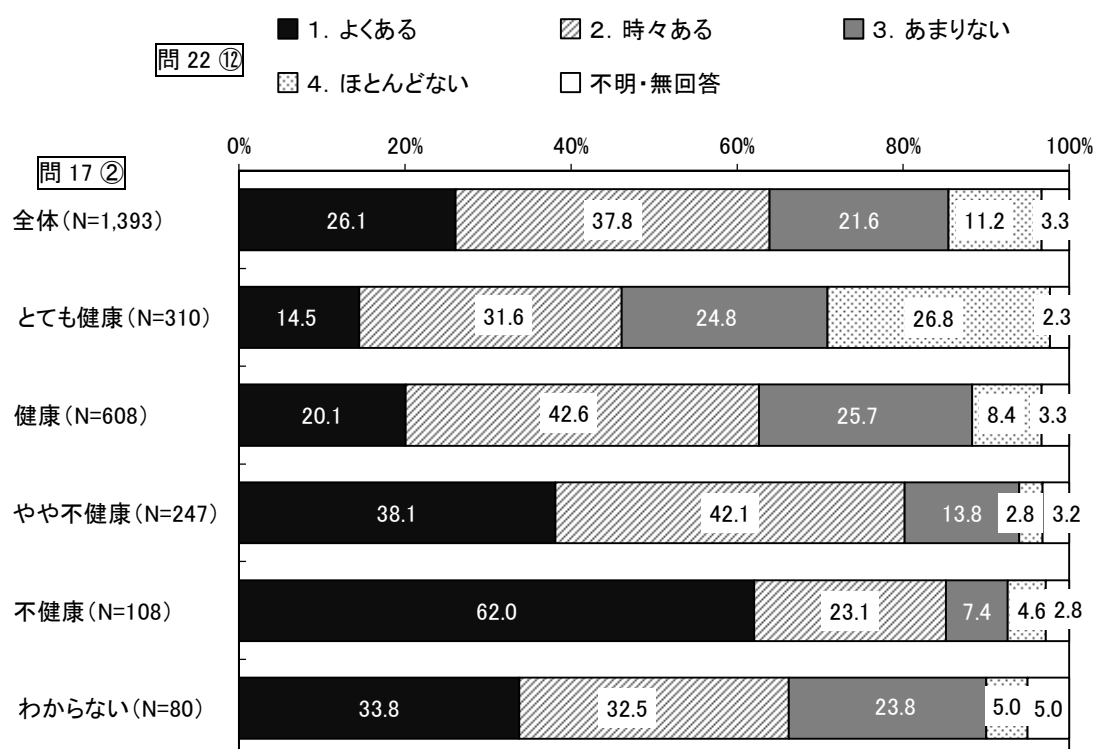
《問 22 自己肯定感（⑫周りの人のことを気にしたり、引け目を感じる）×問 17①自分の健康観（からだ）別》

からだの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 22 自己肯定感（⑫周りの人のことを気にしたり，引け目を感じる）×問 17②自分の健康観（こころ）別》

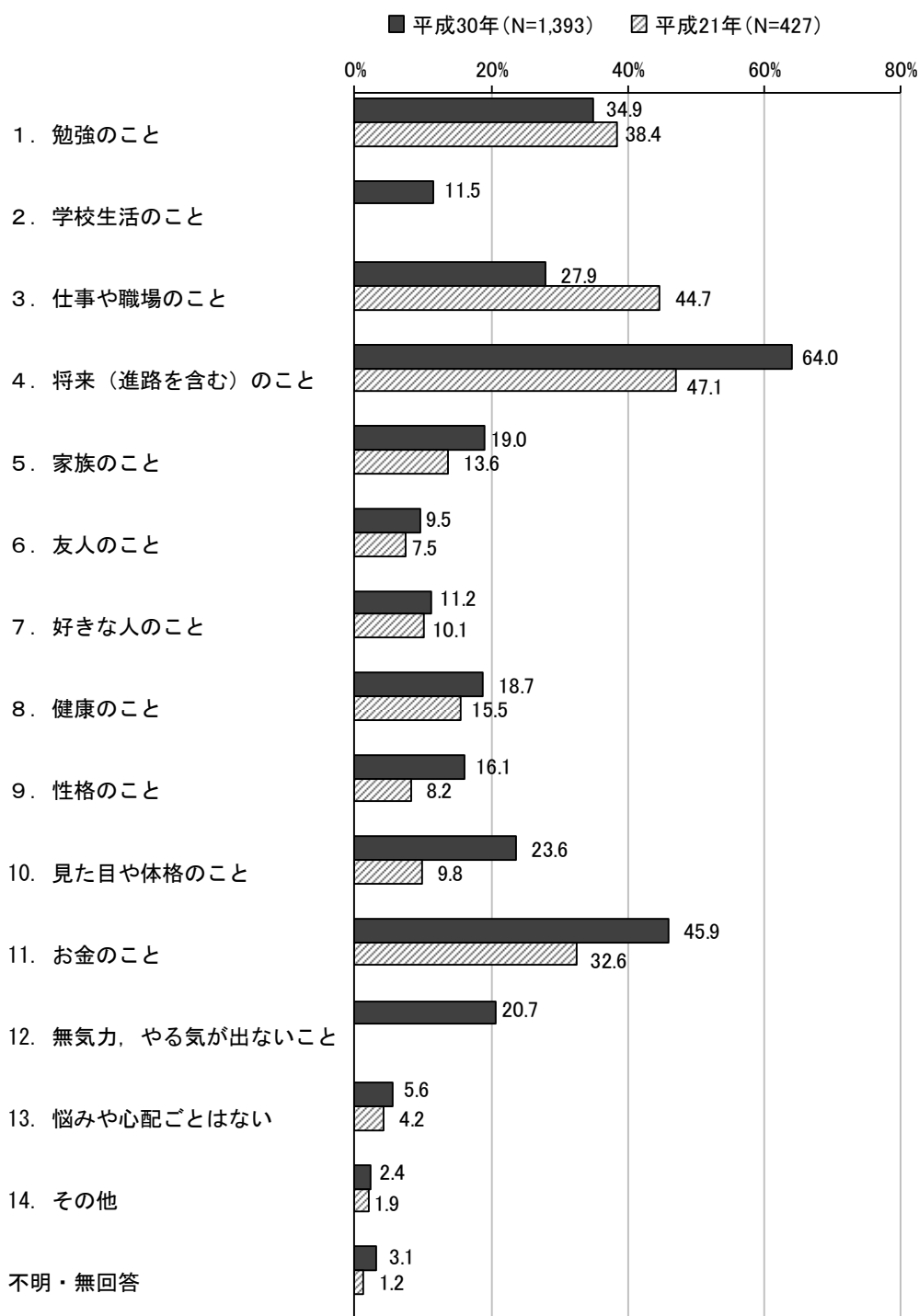
こころの健康観の度合いが下がるほど、『ある（「1. よくある」と「2. 時々ある」の合計）』の割合が高くなる傾向がみられます。



問 23 あなたはどのような悩みや心配ごとがありますか。(〇は主なものを5つまで)

「4. 将来（進路を含む）のこと」が64.0%と最も高く、次いで「11. お金のこと」が45.9%、「1. 勉強のこと」が34.9%となっています。

平成21年と比較すると、「3. 仕事や職場のこと」が16.8ポイント低く、「4. 将来（進路を含む）のこと」が16.9ポイント、「5. 家族のこと」が5.4ポイント、「9. 性格のこと」が7.9ポイント、「10. 見た目や体格のこと」が13.8ポイント、「11. お金のこと」が13.3ポイント高くなっています。



※「2. 学校生活のこと」「12. 無気力、やる気が出ないこと」は平成30年のみの選択肢

《問 23×問 2 年齢別》

『13～15 歳』では「勉強のこと」,『16～18 歳』『19～22 歳』では「将来（進路を含む）のこと」,『23～26 歳』『27～30 歳』では「お金のこと」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	勉強のこと	学校生活のこと	仕事や職場のこと	将来(進路を含む)のこと	家族のこと	友人のこと	好きな人のこと	健康のこと
全 体		1,393 100.0	486 34.9	160 11.5	389 27.9	891 64.0	265 19.0	133 9.5	156 11.2	261 18.7
年 齢 別	13～15歳	281 100.0	187 66.5	64 22.8	7 2.5	186 66.2	19 6.8	51 18.1	18 6.4	24 8.5
	16～18歳	323 100.0	189 58.5	56 17.3	10 3.1	238 73.7	44 13.6	30 9.3	36 11.1	29 9.0
	19～22歳	204 100.0	59 28.9	30 14.7	60 29.4	142 69.6	31 15.2	21 10.3	31 15.2	31 15.2
	23～26歳	247 100.0	23 9.3	8 3.2	134 54.3	140 56.7	51 20.6	17 6.9	34 13.8	71 28.7
	27～30歳	286 100.0	14 4.9	0 0.0	158 55.2	149 52.1	110 38.5	12 4.2	32 11.2	92 32.2

上段:件数 下段:%		合計	性格のこと	見た目や体格のこと	お金のこと	無気力、やる気が出ないこと	悩みや心配ごとはない	その他	不明・無回答
全 体		1,393 100.0	224 16.1	329 23.6	640 45.9	288 20.7	78 5.6	34 2.4	43 3.1
年 齢 別	13～15歳	281 100.0	48 17.1	68 24.2	68 24.2	69 24.6	19 6.8	3 1.1	12 4.3
	16～18歳	323 100.0	49 15.2	80 24.8	104 32.2	63 19.5	20 6.2	7 2.2	9 2.8
	19～22歳	204 100.0	28 13.7	52 25.5	104 51.0	41 20.1	7 3.4	3 1.5	4 2.0
	23～26歳	247 100.0	48 19.4	62 25.1	148 59.9	56 22.7	16 6.5	5 2.0	5 2.0
	27～30歳	286 100.0	46 16.1	58 20.3	189 66.1	51 17.8	15 5.2	13 4.5	10 3.5

《問 23×問 24 相談相手別》

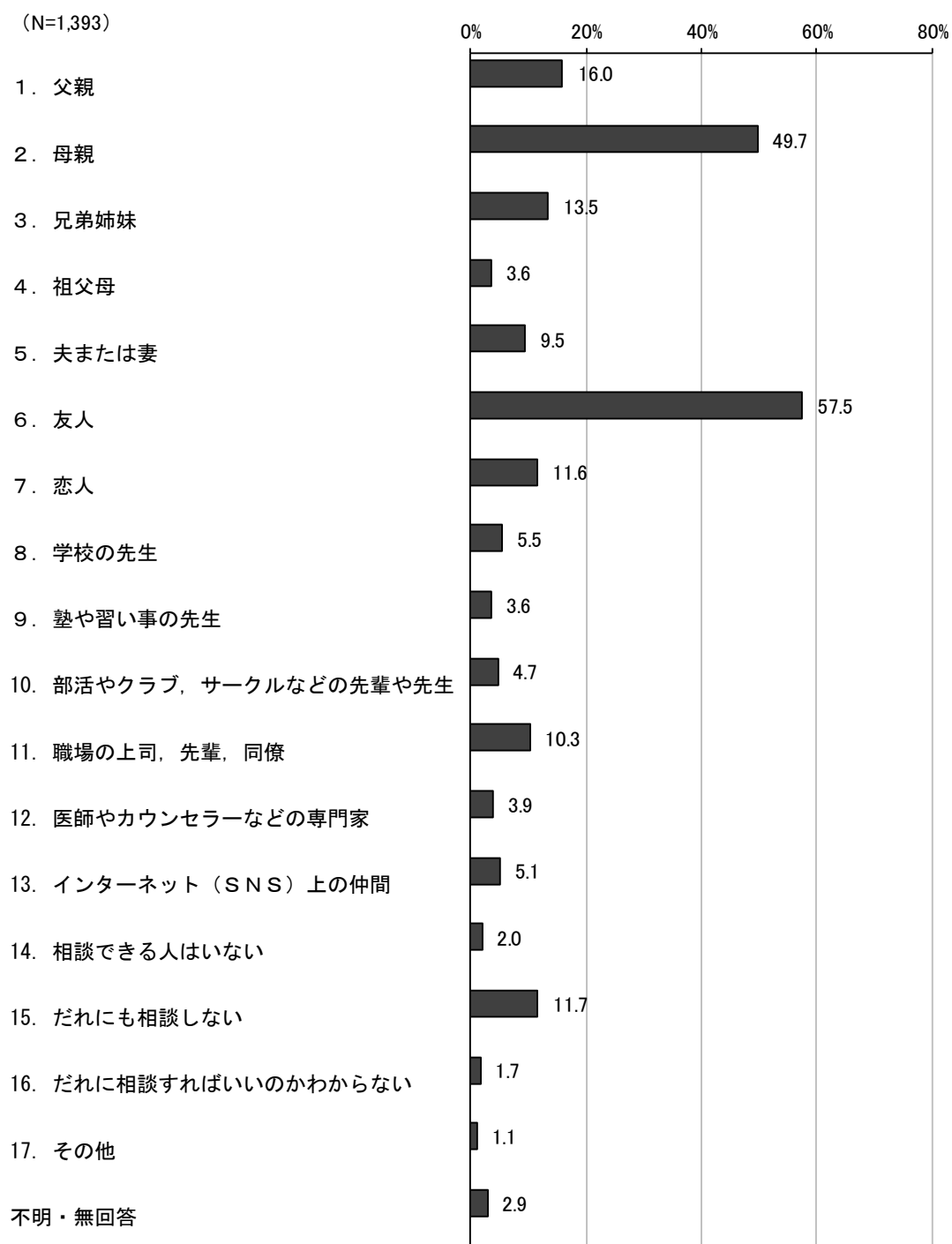
『夫または妻』では「お金のこと」、『職場の上司、先輩、同僚』では「仕事や職場のこと」、それ以外の区分では「将来（進路を含む）のこと」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	勉強のこと	学校生活のこと	仕事や職場のこと	将来(進路を含む)のこと	家族のこと	友人のこと	好きな人のこと	健康のこと	性格のこと	見た目や体格のこと
全 体	1,393 100.0	486 34.9	160 11.5	389 27.9	891 64.0	265 19.0	133 9.5	156 11.2	261 18.7	224 16.1	329 23.6
悩みや心配ごとがある時の相談相手	父親	223 100.0	95 42.6	29 13.0	62 27.8	162 72.6	38 17.0	29 13.0	24 10.8	48 21.5	50 22.4
	母親	692 100.0	253 36.6	84 12.1	201 29.0	483 69.8	137 19.8	85 12.3	78 11.3	144 20.8	177 25.6
	兄弟姉妹	188 100.0	69 36.7	26 13.8	69 36.7	127 67.6	45 23.9	24 12.8	22 11.7	48 25.5	58 30.9
	祖父母	50 100.0	21 42.0	7 14.0	10 20.0	32 64.0	11 22.0	10 20.0	8 16.0	10 20.0	13 26.0
	夫または妻	132 100.0	3 2.3	1 0.8	66 50.0	61 46.2	57 43.2	4 3.0	3 2.3	47 35.6	22 16.7
	友人	801 100.0	299 37.3	99 12.4	245 30.6	550 68.7	159 19.9	100 12.5	115 14.4	150 18.7	208 26.0
	恋人	161 100.0	37 23.0	5 3.1	76 47.2	105 65.2	37 23.0	12 7.5	43 26.7	44 27.3	29 18.0
	学校の先生	76 100.0	50 65.8	17 22.4	4 5.3	60 78.9	8 10.5	17 22.4	10 13.2	11 14.5	16 21.1
	塾や習い事の先生	50 100.0	35 70.0	6 12.0	4 8.0	38 76.0	8 16.0	7 14.0	4 8.0	10 20.0	17 34.0
	部活やクラブ、サークルなどの先輩や先生	65 100.0	39 60.0	15 23.1	5 7.7	50 76.9	5 7.7	12 18.5	10 15.4	8 12.3	11 16.9
	職場の上司、先輩、同僚	143 100.0	15 10.5	2 1.4	106 74.1	90 62.9	48 33.6	13 9.1	29 20.3	42 29.4	26 18.2
	医師やカウンセラーなどの専門家	55 100.0	14 25.5	7 12.7	29 52.7	41 74.5	20 36.4	7 12.7	10 18.2	22 40.0	15 27.3
	インターネット(SNS)上の仲間	71 100.0	29 40.8	11 15.5	26 36.6	45 63.4	25 35.2	11 15.5	16 22.5	17 23.9	23 32.4
	相談できる人はいない	28 100.0	7 25.0	4 14.3	11 39.3	18 64.3	9 32.1	5 17.9	7 25.0	9 32.1	13 46.4
	だれにも相談しない	163 100.0	60 36.8	16 9.8	32 19.6	96 58.9	24 14.7	6 3.7	8 4.9	21 12.9	31 19.0
	だれに相談すればいいのかわからない	24 100.0	10 41.7	4 16.7	6 25.0	17 70.8	4 16.7	1 4.2	3 12.5	5 20.8	8 33.3
	その他	16 100.0	7 43.8	3 18.8	5 31.3	10 62.5	1 6.3	0 0.0	3 18.8	3 18.8	6 37.5

上段:件数 下段:%	合計	お金のこと	無気力、やる気が出ないこと	悩みや心配ごとはない	その他	不明・無回答
全 体	1,393 100.0	640 45.9	288 20.7	78 5.6	34 2.4	43 3.1
悩みや心配ごとがある時の相談相手	父親	223 100.0	105 47.1	39 17.5	15 6.7	1 0.4
	母親	692 100.0	320 46.2	133 19.2	33 4.8	3 0.4
	兄弟姉妹	188 100.0	96 51.1	37 19.7	6 3.2	2 1.1
	祖父母	50 100.0	19 38.0	9 18.0	4 8.0	0 0.0
	夫または妻	132 100.0	88 66.7	14 10.6	8 6.1	1 0.8
	友人	801 100.0	384 47.9	157 19.6	38 4.7	5 2.4
	恋人	161 100.0	100 62.1	31 19.3	7 4.3	0 0.0
	学校の先生	76 100.0	25 32.9	17 22.4	3 3.9	1 1.3
	塾や習い事の先生	50 100.0	12 24.0	17 34.0	0 0.0	0 0.0
	部活やクラブ、サークルなどの先輩や先生	65 100.0	27 41.5	12 18.5	4 6.2	2 3.1
	職場の上司、先輩、同僚	143 100.0	91 63.6	28 19.6	6 4.2	0 0.0
	医師やカウンセラーなどの専門家	55 100.0	35 63.6	27 49.1	1 1.8	0 0.0
	インターネット(SNS)上の仲間	71 100.0	38 53.5	21 29.6	2 2.8	0 0.0
	相談できる人はいない	28 100.0	16 57.1	9 32.1	2 7.1	0 0.0
	だれにも相談しない	163 100.0	71 43.6	41 25.2	16 9.8	0 0.0
	だれに相談すればいいのかわからない	24 100.0	12 50.0	11 45.8	0 0.0	0 0.0
	その他	16 100.0	11 68.8	6 37.5	2 12.5	0 0.0

問 24 あなたは悩みや心配ごとがある時はだれに相談していますか。(〇は主なもの5つまで)

「6. 友人」が57.5%と最も高く、次いで「2. 母親」が49.7%、「1. 父親」が16.0%となっています。



《問 24×問 4 保護者の婚姻関係別（保護者）》

結婚している方では「友人」、結婚していない方では「母親」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	父親	母親	兄弟姉妹	祖父母	夫または妻	友人	恋人	学校の先生	塾や習い事の先生
全 体		638 100.0	103 16.1	315 49.4	78 12.2	31 4.9	6 0.9	359 56.3	27 4.2	60 9.4	42 6.6
婚姻状況	結婚している(同居)(事実婚を含む)	460 100.0	80 17.4	215 46.7	52 11.3	18 3.9	4 0.9	262 57.0	19 4.1	42 9.1	27 5.9
	結婚している(単身赴任等で別居)	49 100.0	6 12.2	25 51.0	11 22.4	2 4.1	1 2.0	28 57.1	3 6.1	5 10.2	5 10.2
	結婚していない(離婚, または離婚に等しい状況で別居)	81 100.0	4 4.9	45 55.6	8 9.9	6 7.4	-	42 51.9	2 2.5	8 9.9	6 7.4
	結婚していない(死別した)	8 100.0	1 12.5	5 62.5	1 12.5	-	-	4 50.0	-	-	1 12.5
	結婚していない(結婚したことがない)	27 100.0	9 33.3	19 70.4	4 14.8	3 11.1	1 3.7	15 55.6	2 7.4	2 7.4	3 11.1
	その他	5 100.0	1 20.0	1 20.0	-	2 40.0	-	3 60.0	-	1 20.0	-
	その他	5 100.0	1 20.0	1 20.0	-	2 40.0	-	3 60.0	-	1 20.0	-
上段:件数 下段:%		合計	部活やクラブ、サークルなどの先輩や先生	職場の上司、先輩、同僚	医師やカウンセラーなどの専門家	インターネット(SNS)上の仲間	相談できる人はいない	だれにも相談しない	だれに相談すればいいのかわからない	その他	不明・無回答
全 体		638 100.0	46 7.2	9 1.4	12 1.9	29 4.5	10 1.6	86 13.5	15 2.4	7 1.1	24 3.8
婚姻状況	結婚している(同居)(事実婚を含む)	460 100.0	37 8.0	9 2.0	8 1.7	17 3.7	7 1.5	69 15.0	13 2.8	6 1.3	16 3.5
	結婚している(単身赴任等で別居)	49 100.0	6 12.2	-	2 4.1	2 4.1	1 2.0	4 8.2	1 2.0	-	2 4.1
	結婚していない(離婚, または離婚に等しい状況で別居)	81 100.0	2 2.5	-	1 1.2	6 7.4	1 1.2	12 14.8	1 1.2	-	3 3.7
	結婚していない(死別した)	8 100.0	-	-	-	1 12.5	-	-	-	-	1 12.5
	結婚していない(結婚したことがない)	27 100.0	1 3.7	-	1 3.7	3 11.1	1 3.7	1 3.7	-	1 3.7	1 3.7
	その他	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

《問 24×問 11 子どもと話をする機会別（保護者）》

すべての区分で「友人」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	父親	母親	兄弟姉妹	祖父母	夫または妻	友人	恋人	学校の先生	塾や習い事の先生
全 体		638 100.0	103 16.1	315 49.4	78 12.2	31 4.9	6 0.9	359 56.3	27 4.2	60 9.4	42 6.6
子どもと話を する機会	ほぼ毎日	400 100.0	73 18.3	219 54.8	55 13.8	22 5.5	4 1.0	238 59.5	16 4.0	44 11.0	27 6.8
	週に3～4日	116 100.0	16 13.8	50 43.1	10 8.6	4 3.4	2 1.7	62 53.4	5 4.3	8 6.9	10 8.6
	週に1～2日	87 100.0	9 10.3	33 37.9	8 9.2	4 4.6	0 0.0	41 47.1	6 6.9	7 8.0	5 5.7
	月に1～2日	20 100.0	2 10.0	6 30.0	4 20.0	0 0.0	0 0.0	9 45.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	めったにない	13 100.0	3 23.1	6 46.2	1 7.7	1 7.7	0 0.0	8 61.5	0 0.0	1 7.7	0 0.0
上段:件数 下段:%		合計	部活やクラブ、サークルなどの先輩や先生	職場の上司、先輩、同僚	医師やカウンセラーなどの専門家	インターネット(SNS)上の仲間	相談できる人はいない	だれにも相談しない	だれに相談すればいいのかわからない	その他	不明・無回答
全 体		638 100.0	46 7.2	9 1.4	12 1.9	29 4.5	10 1.6	86 13.5	15 2.4	7 1.1	24 3.8
子どもと話を する機会	ほぼ毎日	400 100.0	33 8.3	4 1.0	8 2.0	19 4.8	7 1.8	49 12.3	10 2.5	6 1.5	10 2.5
	週に3～4日	116 100.0	8 6.9	5 4.3	2 1.7	4 3.4	2 1.7	13 11.2	0 0.0	1 0.9	6 5.2
	週に1～2日	87 100.0	4 4.6	0 0.0	2 2.3	4 4.6	0 0.0	17 19.5	3 3.4	0 0.0	6 6.9
	月に1～2日	20 100.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	3 15.0	1 5.0	0 0.0	2 10.0
	めったにない	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 23.1	1 7.7	0 0.0	0 0.0

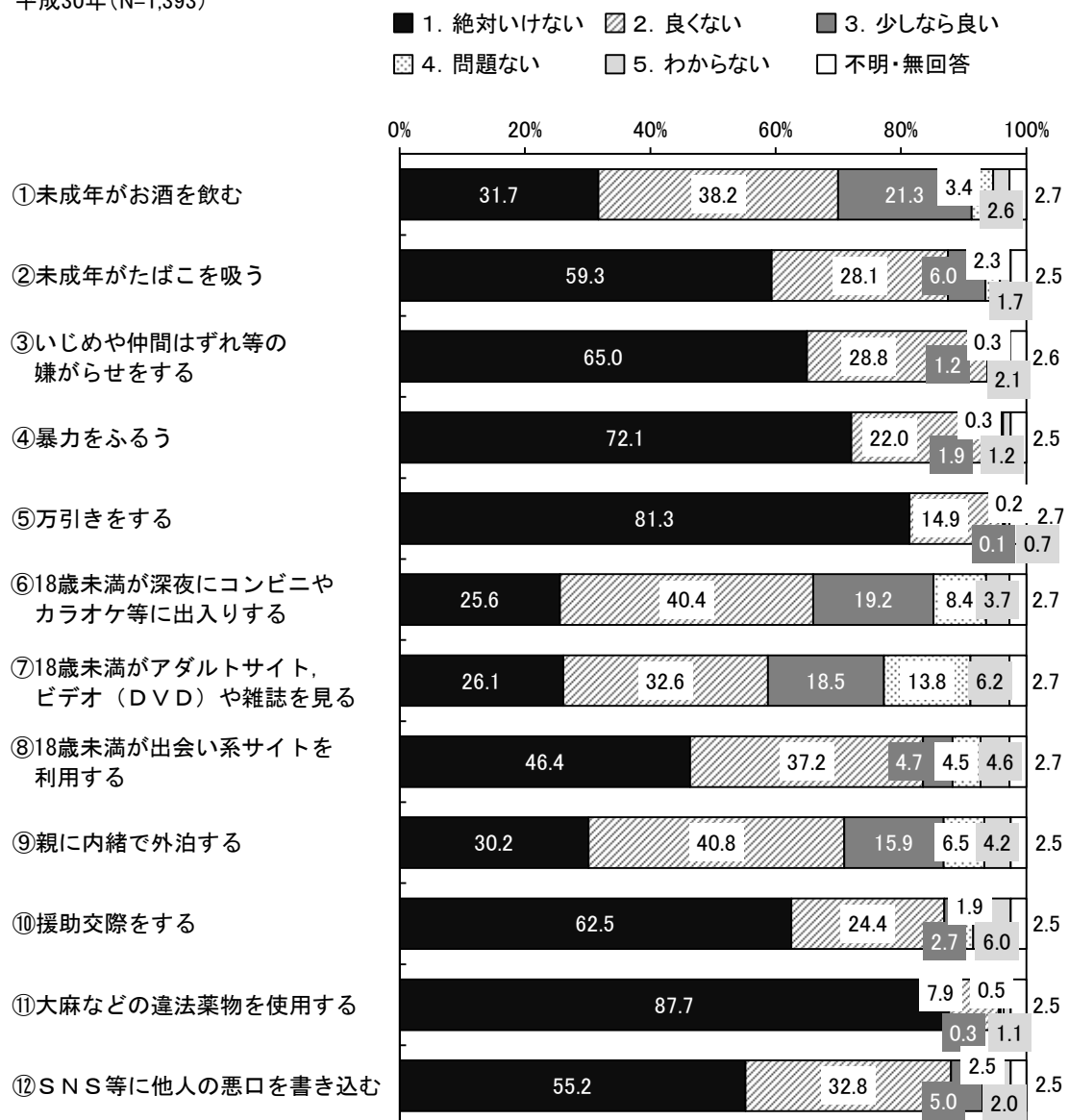
7 あなたの意識について

問 25 あなたは次のことを行うことについてどう思いますか。(〇はそれぞれ1つつつ)

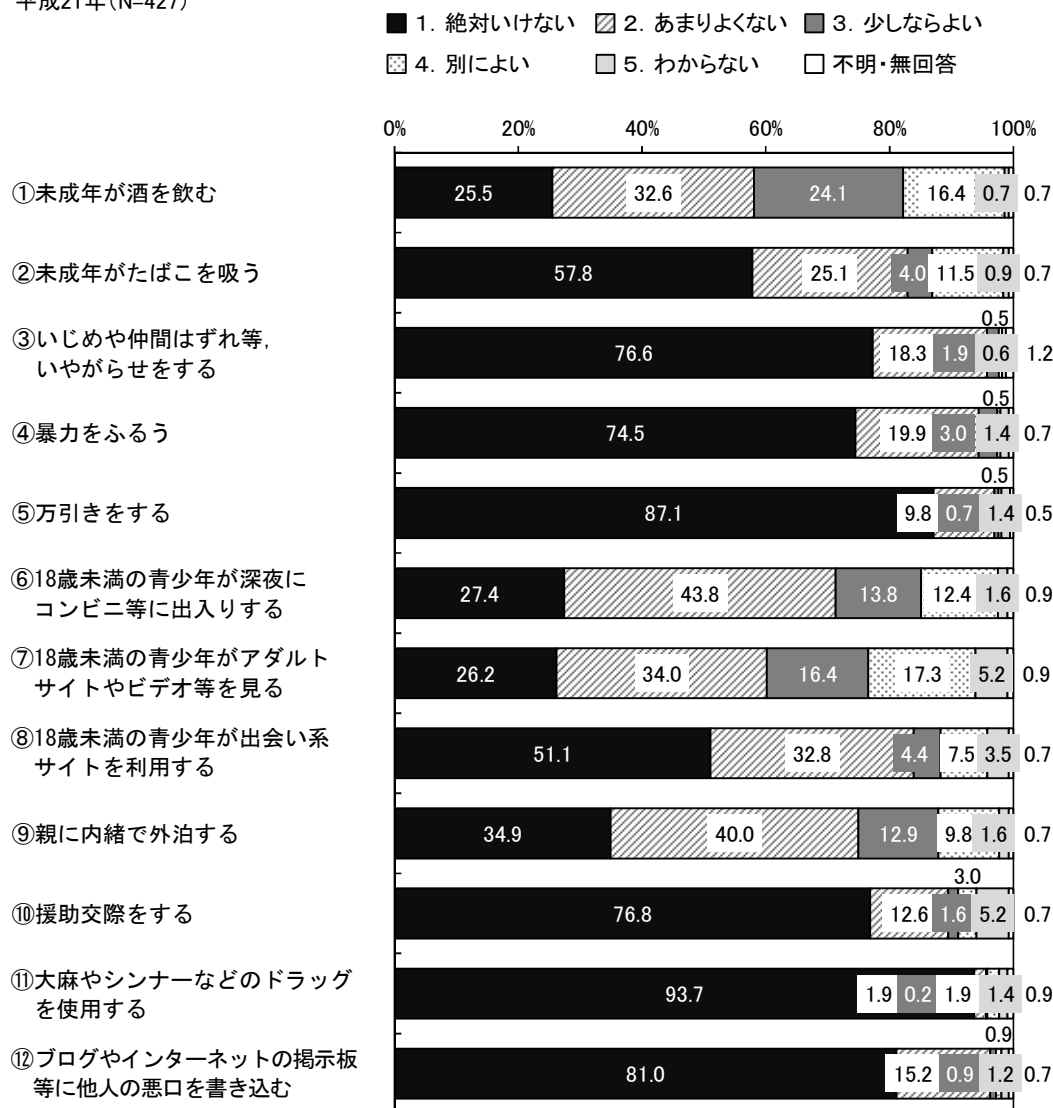
『よくない(「1. 絶対いけない」と「2. 良くない」の合計)』は, [⑤万引きをする] が 96.2% と最も高く, 次いで [⑪大麻などの違法薬物を使用する] が 95.6%, [④暴力をふるう] が 94.1% となっています。

平成 21 年と比較すると, [①未成年がお酒を飲む]が 11.8 ポイント高く, [⑫SNS 等に他人の悪口を書き込む]が 8.2 ポイント低くなっています。

平成30年 (N=1,393)

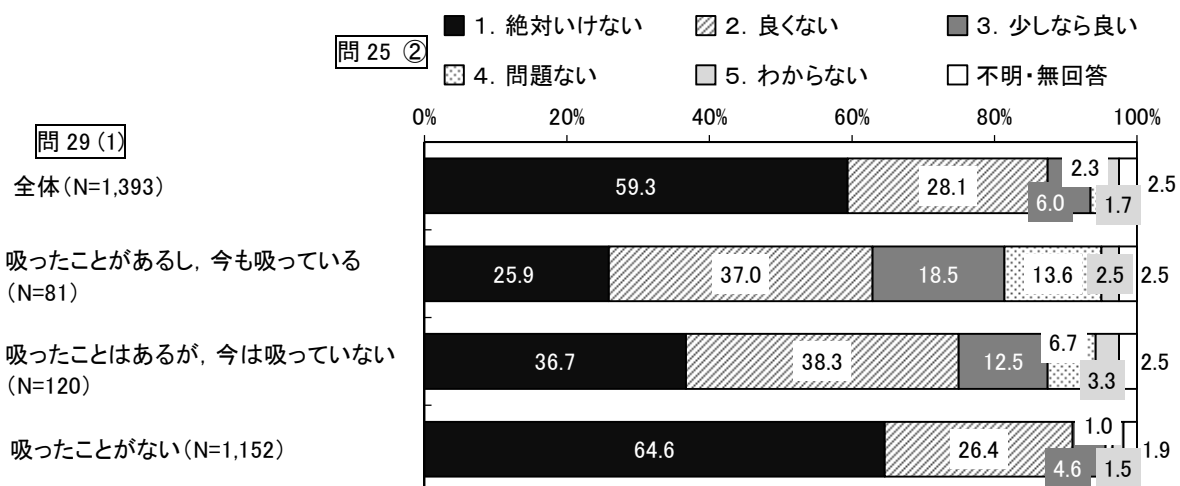


平成21年(N=427)



《問 25②未成年者の喫煙に対する規範意識×問 29(1)喫煙経験別》

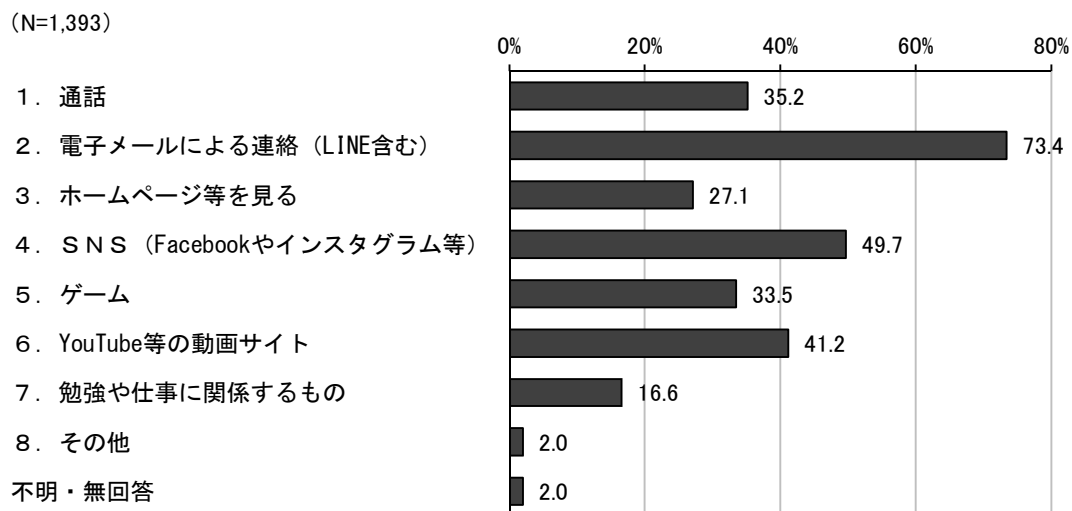
『吸ったことがあるし、今も吸っている』『吸ったことはあるが、今は吸っていない』では「2. 良くない」が最も高く、『吸ったことがない』では「1. 絶対にいけない」が最も高くなっています。



8 スマートフォンや携帯電話の利用について

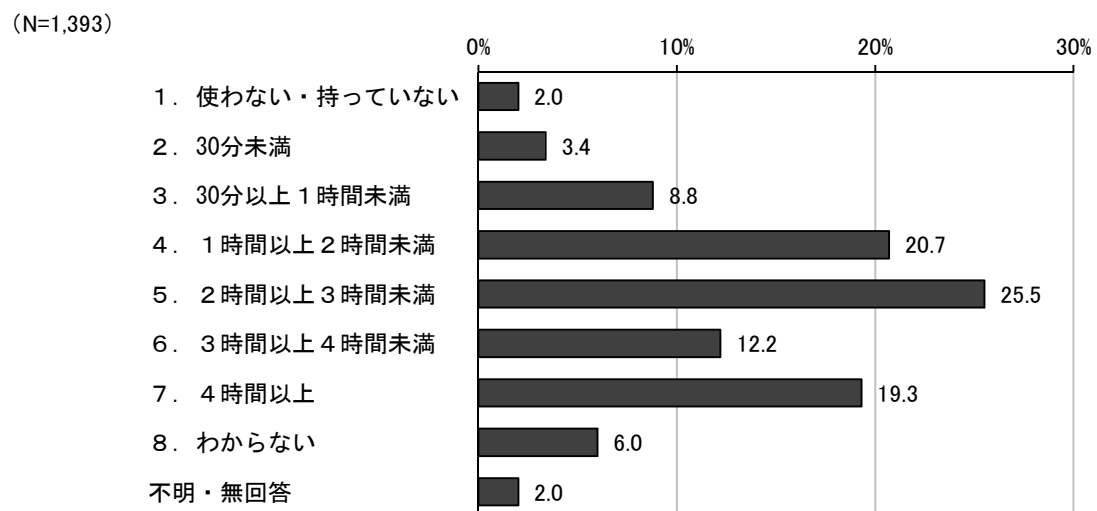
問 26 スマートフォンや携帯電話，タブレット端末の主な利用目的は何ですか。（〇は主なもの3つまで）

「2. 電子メールによる連絡（LINE 含む）」が 73.4%と最も高く，次いで「4. SNS（Facebook やInstagram等）」が 49.7%，「6. YouTube 等の動画サイト」が 41.2%となっています。



問 27 あなたは平日（土日を除いて）1日にどのくらいの時間，スマートフォンや携帯電話，タブレット端末（インターネット利用含む）を利用しますか。（〇は1つ）※仕事や学習のための利用は除きます。

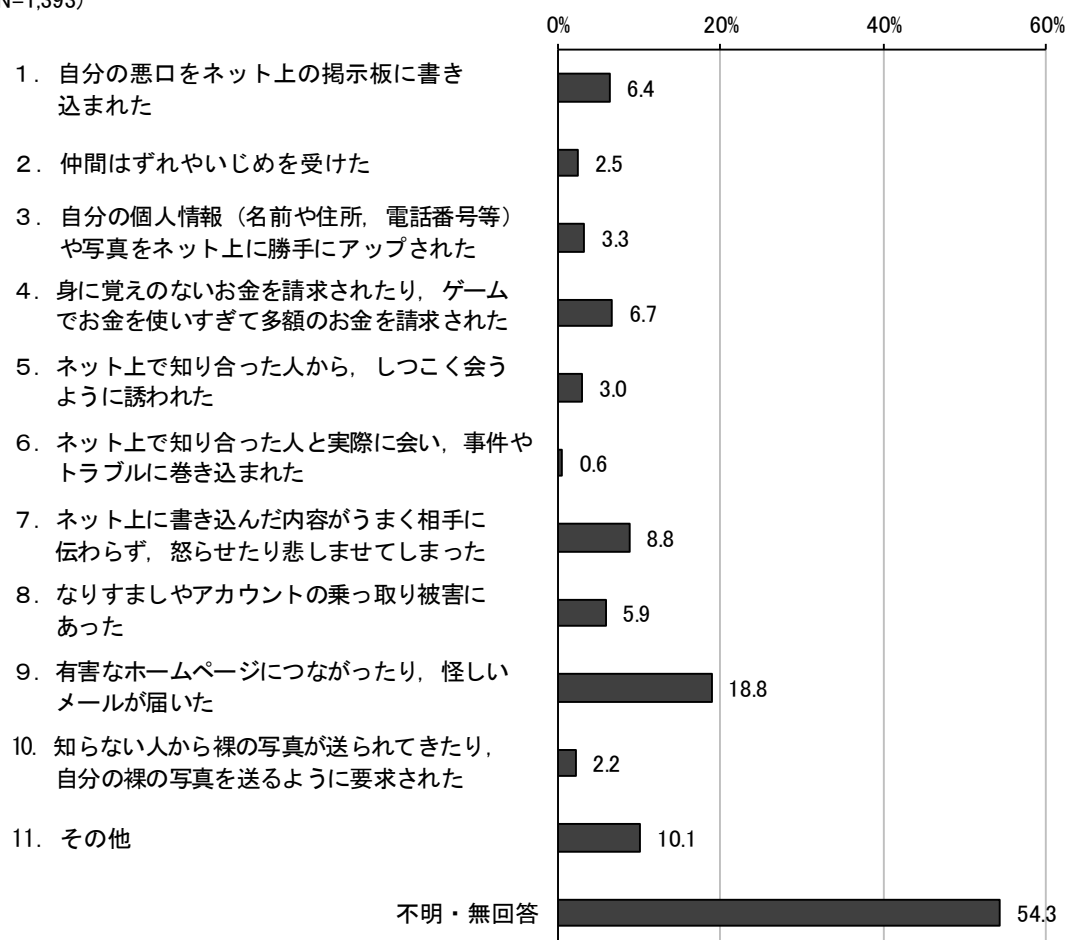
「5. 2時間以上3時間未満」が 25.5%と最も高く，次いで「4. 1時間以上2時間未満」が 20.7%，「7. 4時間以上」が 19.3%となっています。



問 28 スマートフォンや携帯電話，タブレット端末を利用して嫌な思いをしたり，トラブルに巻き込まれたことはありますか。（〇はいくつでも）

「その他」を除き，「9. 有害なホームページにつながったり，怪しいメールが届いた」が18.8%と最も高く，次いで「7. ネット上に書き込んだ内容がうまく相手に伝わらず，怒らせたり悲しませてしまった」が8.8%，「4. 身に覚えのないお金を請求されたり，ゲームでお金を使いすぎて多額のお金を請求された」が6.7%となっています。

(N=1,393)



《問 28×問 27 スマートフォン等の利用時間別》

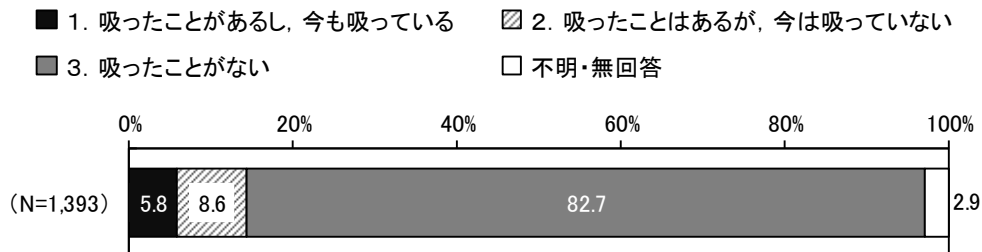
『使わない・持っていない』では「自分の悪口をネット上の掲示板に書き込まれた」が最も高く、その他の区分では「有害なホームページにつながったり、怪しいメールが届いた」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	自分の悪口を ネット上の掲 示板に書き込 まれた	仲間はずれや いじめを受け た	自分の個人情報 (名前や住所、電話番号 等)や写真を ネット上に勝 手にアップさ れた	身に覚えのな いお金を請求 されたり、 ゲームでお金 を使いすぎて 多額のお金を 請求された	ネット上で知り 合った人か ら、しつこく会 うように誘わ れた	ネット上で知り 合った人と実 際に会い、事 件やトラブル に巻き込まれ た
全 体		1,393 100.0	89 6.4	35 2.5	46 3.3	93 6.7	42 3.0	9 0.6
別 話、平日 、タ 1 日 に レ ス ト マ ー ク を フ ォ ン や る 携 帯 電 話	使わない・持っていない	28 100.0	3 10.7	2 7.1	1 3.6	1 3.6	1 3.6	1 3.6
	30分未満	48 100.0	1 2.1	0 0.0	0 0.0	2 4.2	0 0.0	0 0.0
	30分以上1時間未満	122 100.0	4 3.3	1 0.8	3 2.5	6 4.9	1 0.8	0 0.0
	1時間以上2時間未満	289 100.0	13 4.5	7 2.4	7 2.4	16 5.5	7 2.4	1 0.3
	2時間以上3時間未満	355 100.0	24 6.8	10 2.8	10 2.8	23 6.5	11 3.1	1 0.3
	3時間以上4時間未満	170 100.0	10 5.9	4 2.4	7 4.1	12 7.1	3 1.8	1 0.6
	4時間以上	269 100.0	28 10.4	10 3.7	14 5.2	28 10.4	16 5.9	5 1.9
	わからない	84 100.0	6 7.1	1 1.2	4 4.8	4 4.8	3 3.6	0 0.0
上段:件数 下段:%		合計	ネット上に書 き込んだ内容 がうまく相手 に伝わらず、 怒らせたり悲 しませてしま った	なりすましや アカウントの 乗っ取り被害 にあった	有害なホーム ページにつな がったり、怪 しいメールが 届いた	知らない人か ら裸の写真が 送られてきた り、自分の裸 の写真を送る ように要求さ れた	その他	不明・無回答
全 体		1,393 100.0	122 8.8	82 5.9	262 18.8	31 2.2	141 10.1	756 54.3
別 話、平日 、タ 1 日 に レ ス ト マ ー ク を フ ォ ン や る 携 帯 電 話	使わない・持っていない	28 100.0	0 0.0	0 0.0	2 7.1	1 3.6	10 35.7	15 53.6
	30分未満	48 100.0	4 8.3	2 4.2	5 10.4	0 0.0	9 18.8	27 56.3
	30分以上1時間未満	122 100.0	6 4.9	5 4.1	23 18.9	1 0.8	10 8.2	80 65.6
	1時間以上2時間未満	289 100.0	14 4.8	16 5.5	52 18.0	5 1.7	25 8.7	178 61.6
	2時間以上3時間未満	355 100.0	37 10.4	25 7.0	69 19.4	2 0.6	26 7.3	176 49.6
	3時間以上4時間未満	170 100.0	19 11.2	12 7.1	33 19.4	5 2.9	15 8.8	86 50.6
	4時間以上	269 100.0	35 13.0	17 6.3	61 22.7	16 5.9	33 12.3	125 46.5
	わからない	84 100.0	7 8.3	5 6.0	17 20.2	1 1.2	13 15.5	42 50.0

9 たばこについて

問 29(1) あなたはたばこを吸ったことがありますか。(○は1つ)

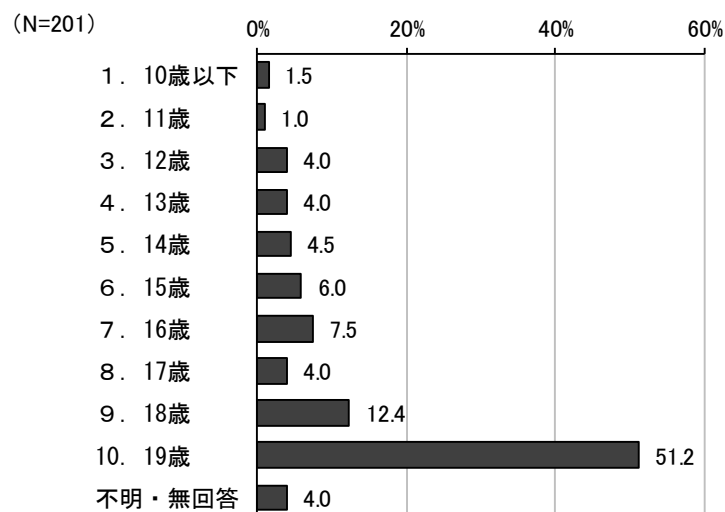
「3. 吸ったことがない」が82.7%と最も高く、次いで「2. 吸ったことはあるが、今は吸っていない」が8.6%、「1. 吸ったことがあるし、今も吸っている」が5.8%となっています。



問 29(1)で「1」または「2」と答えた方

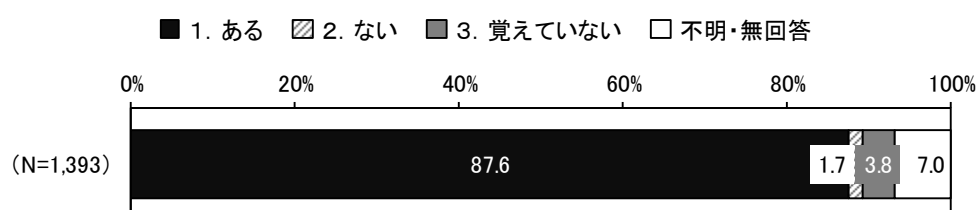
問 29(2) 初めてたばこを吸った年齢は何歳ですか。

「10. 19歳」が51.2%と最も高く、次いで「9. 18歳」が12.4%、「7. 16歳」が7.5%となっています。



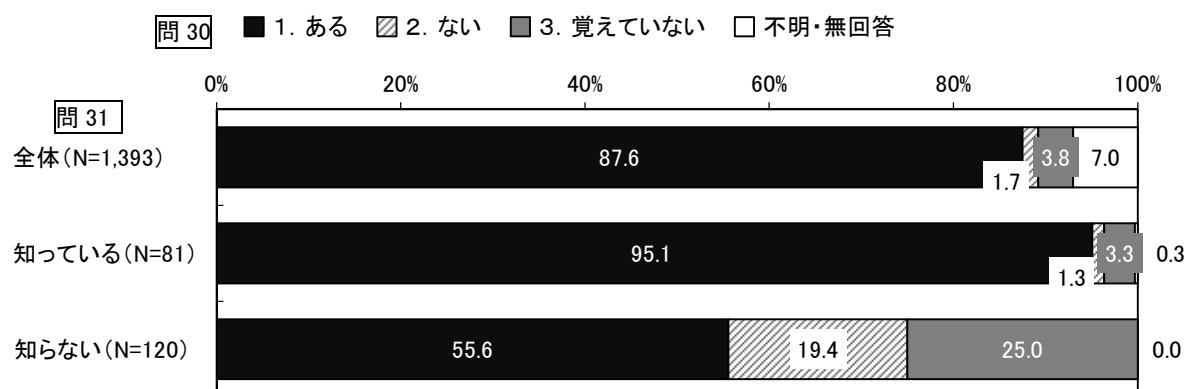
問 30 あなたはたばこが健康に及ぼす影響について学校などで学んだことはありますか。(○は1つ)

「1. ある」が87.6%と最も高く、次いで「3. 覚えていない」が3.8%、「2. ない」が1.7%となっています。



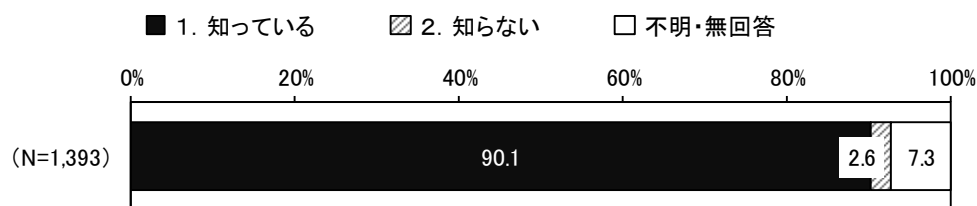
《問 30×問 31 受動喫煙が健康に及ぼす影響の認知度別》

すべての区分で「1. ある」の割合が最も高く、『知っている』では9割を超えています。



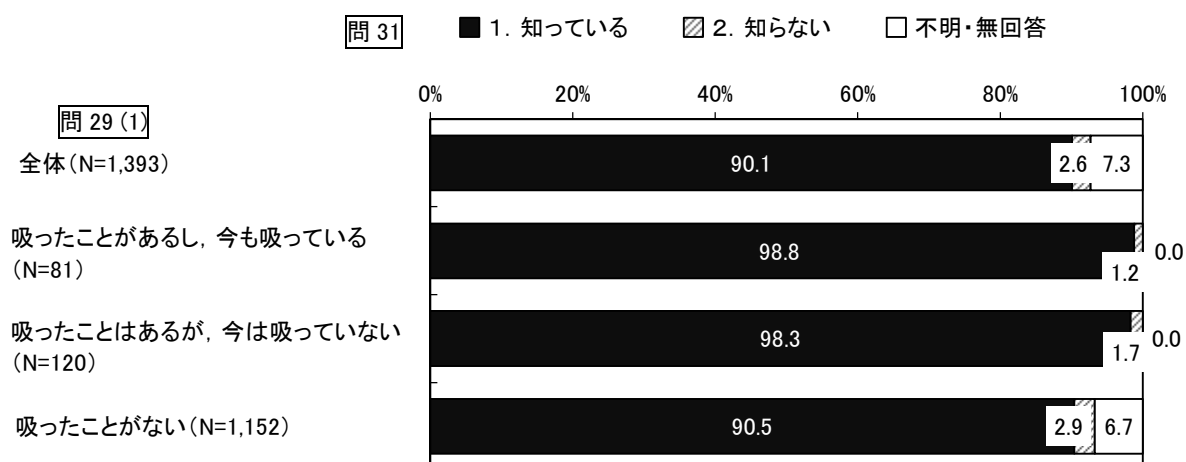
問 31 あなたは受動喫煙（たばこの煙がまわりの人に与える影響）が健康に及ぼす影響を知っていますか。（○は1つ）

「1. 知っている」が90.1%と最も高く、次いで「2. 知らない」が2.6%となっています。



《問 31×問 29(1)喫煙経験別》

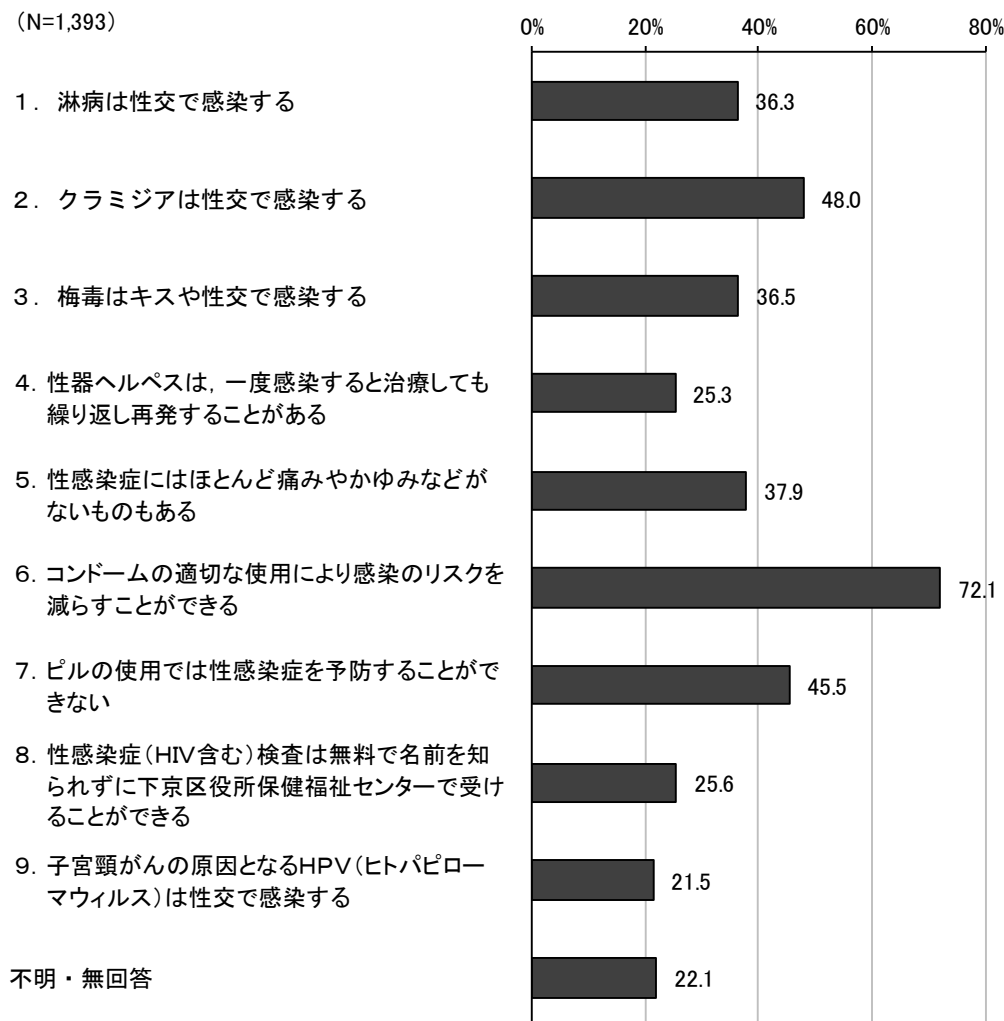
すべての区分で「1. 知っている」の割合が9割を超えています。



10 性に関することについて

問 32 あなたは性感染症について知っていることはありますか。(〇はいくつでも)

「6. コンドームの適切な使用により感染のリスクを減らすことができる」が72.1%と最も高く、次いで「2. クラミジアは性交で感染する」が48.0%, 「7. ピルの使用では性感染症を予防することができない」が45.5%となっています。



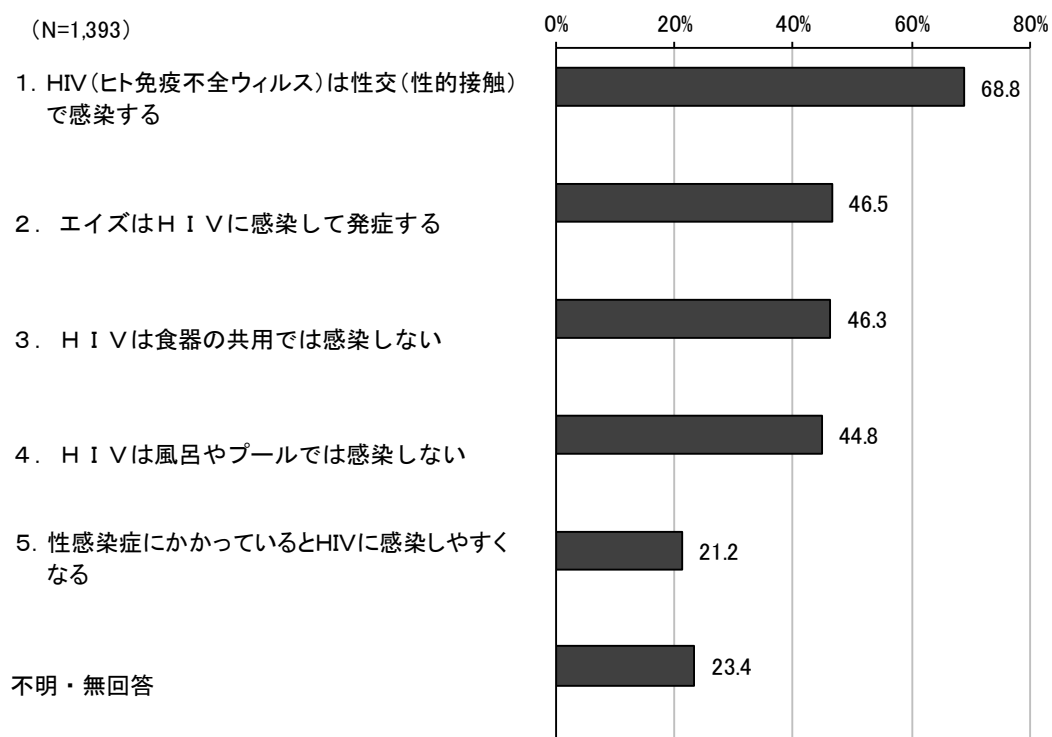
《問 32×問 2 年齢別》

すべての区分で「コンドームの適切な使用により感染のリスクを減らすことができる」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	淋病は性交で 感染する	クラミジアは 性交で感染する	梅毒はキスや 性交で感染する	性器ヘルペスは、一度感染 すると治療し ても繰り返し 再発すること がある	性感染症には ほとんど痛み やかゆみなど がないものも ある
全 体		1,393 100.0	505 36.3	669 48.0	508 36.5	353 25.3	528 37.9
年 齢 別	13～15歳	281 100.0	34 12.1	34 12.1	23 8.2	20 7.1	37 13.2
	16～18歳	323 100.0	107 33.1	152 47.1	99 30.7	84 26.0	136 42.1
	19～22歳	204 100.0	91 44.6	121 59.3	99 48.5	72 35.3	92 45.1
	23～26歳	247 100.0	119 48.2	157 63.6	123 49.8	70 28.3	104 42.1
	27～30歳	286 100.0	136 47.6	183 64.0	147 51.4	93 32.5	140 49.0
上段:件数 下段:%		合計	コンドームの 適切な使用に より感染の リスクを減らす ことができる	ピルの使用で は性感染症を 予防すること ができない	性感染症(HI V含む)検査 は無料で名前 を知られずに 下京区役所保 健福祉セン ターで受ける ことができる	子宮頸がんの 原因となるHP V(ヒトパピ ローマウィル ス)は性交で 感染する	不明・無回答
全 体		1,393 100.0	1,004 72.1	634 45.5	357 25.6	300 21.5	308 22.1
年 齢 別	13～15歳	281 100.0	84 29.9	29 10.3	27 9.6	18 6.4	172 61.2
	16～18歳	323 100.0	253 78.3	149 46.1	110 34.1	46 14.2	58 18.0
	19～22歳	204 100.0	176 86.3	115 56.4	57 27.9	66 32.4	17 8.3
	23～26歳	247 100.0	205 83.0	139 56.3	58 23.5	65 26.3	26 10.5
	27～30歳	286 100.0	252 88.1	179 62.6	93 32.5	91 31.8	18 6.3

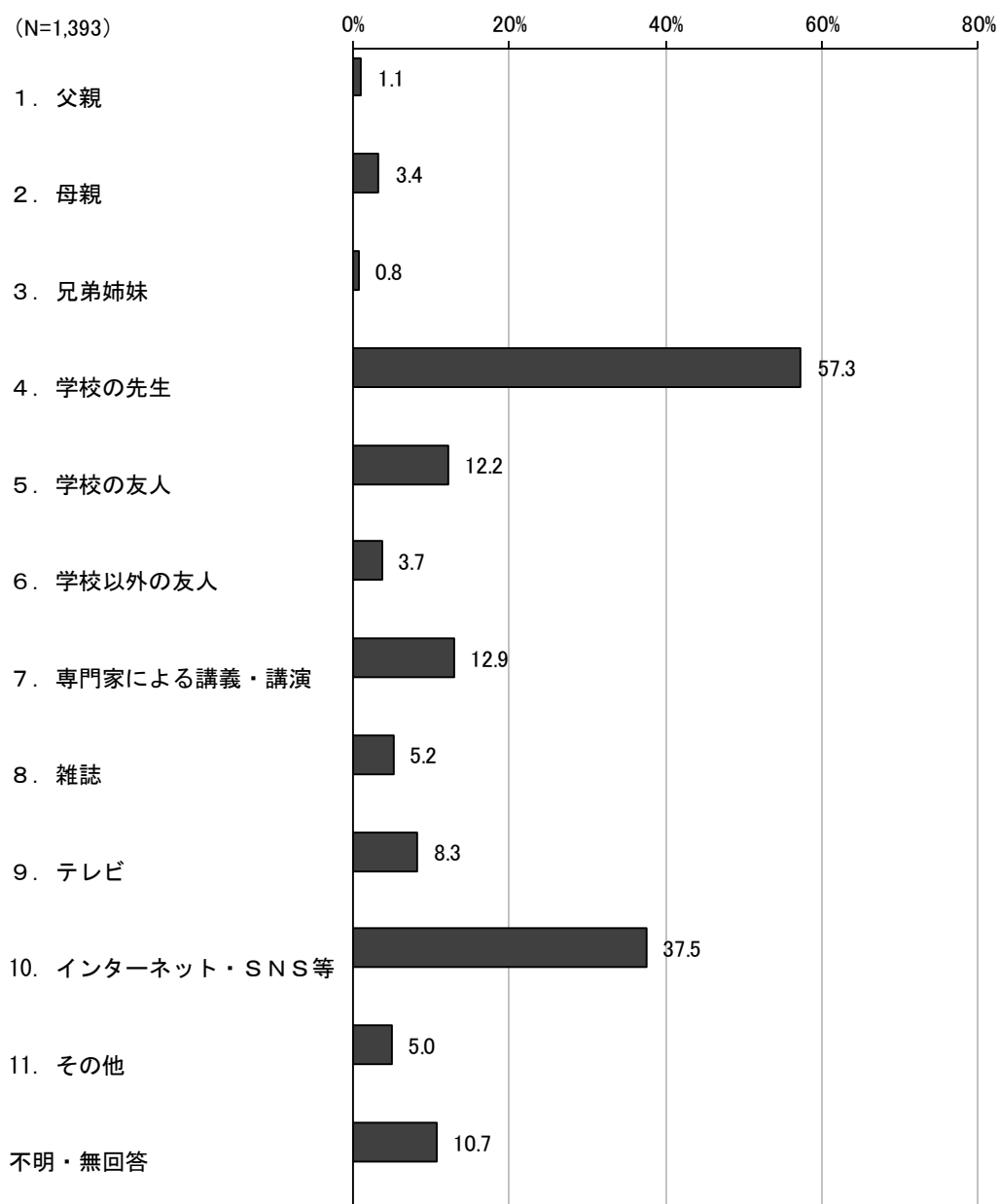
問 33 あなたはエイズやH I Vについて知っていることはありますか。(〇はいくつでも)

「1. H I V (ヒト免疫不全ウイルス) は性交(性的接触)で感染する」が 68.8%と最も高く、次いで「2. エイズはH I Vに感染して発症する」が 46.5%, 「3. H I Vは食器の共用では感染しない」が 46.3%となっています。



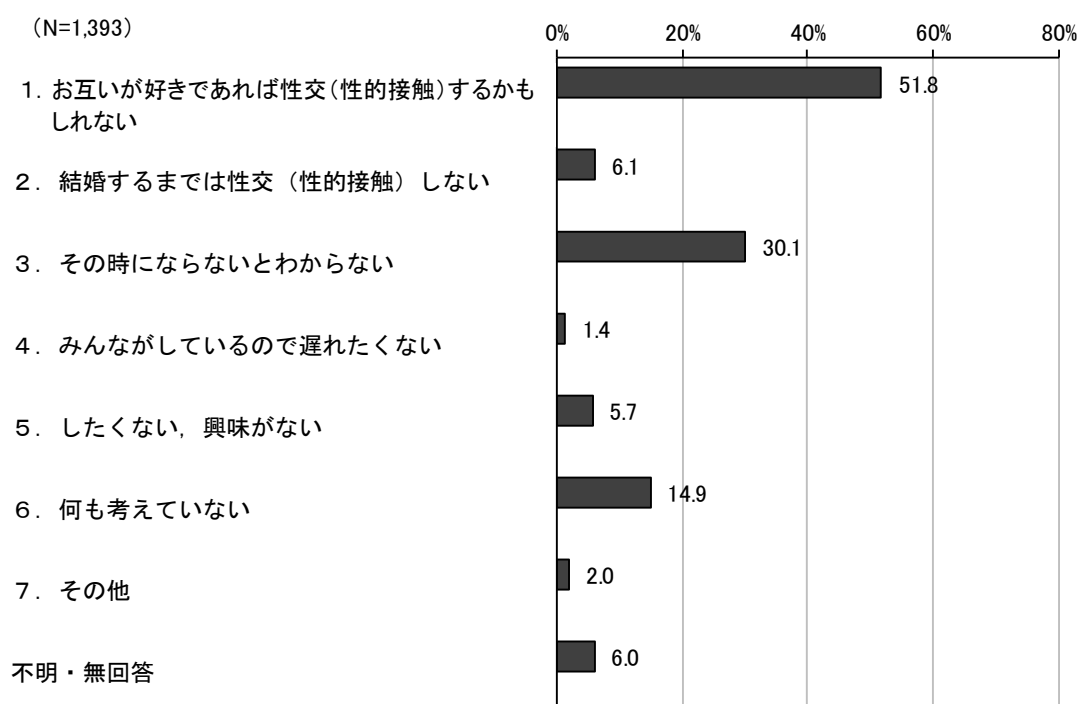
問 34 性感染症や避妊方法について、何から情報を得ていますか。(〇は主なもの3つまで)

「4. 学校の先生」が57.3%と最も高く、次いで「10. インターネット・SNS等」が37.5%、「7. 専門家による講義・講演」が12.9%となっています。



問 35 あなたは性交（性的接触）についてどのように考えていますか。（○はいくつでも）

「1. お互いが好きであれば性交（性的接触）するかもしれない」が51.8%と最も高く、次いで「3. その時にならないとわからない」が30.1%, 「6. 何も考えていない」が14.9%となっています。



《問 35×問 2 年齢別》

『13～15 歳』では「何も考えていない」, 『16～18 歳』では「その時にならないとわからない」, それ以外の区分では「お互いが好きであれば性交（性的接触）するかもしれない」の割合が最も高くなっています。

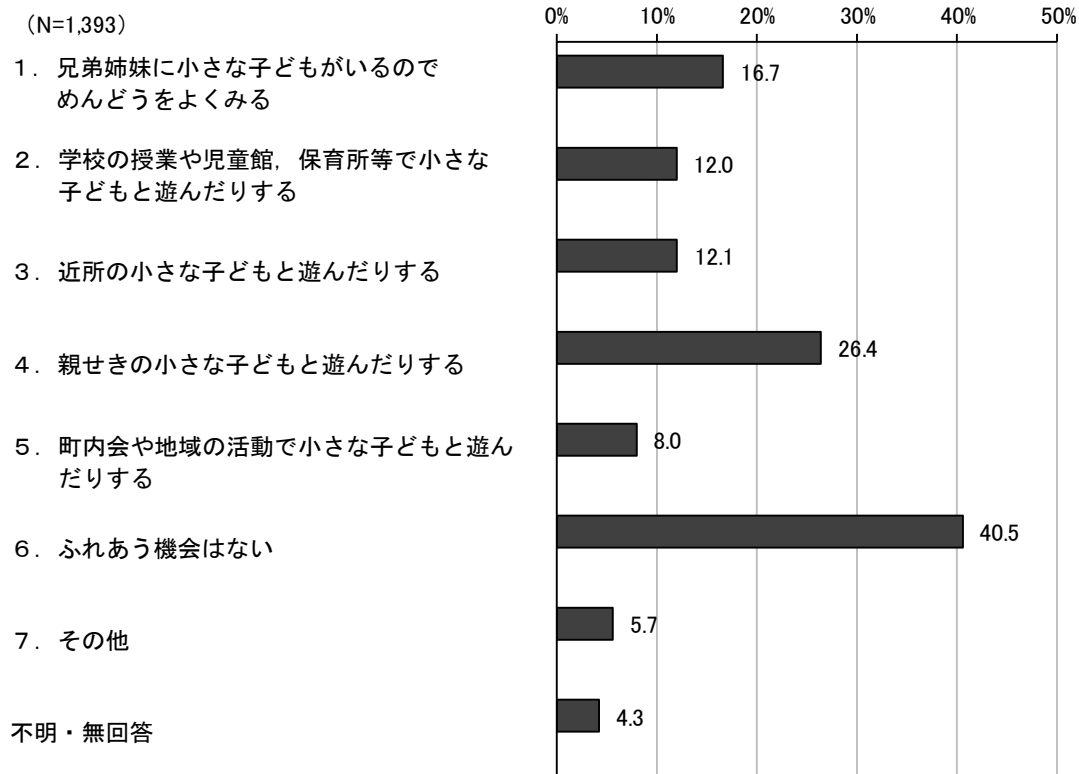
上段:件数 下段:%		合計	お互いが好きであれば性交(性的接触)するかもしれない	結婚するまでは性交(性的接触)しない	その時にならないとわからない	みんながしているので遅れたくない	したくない、興味がない	何も考えていない	その他	不明・無回答
全 体		1,393 100.0	721 51.8	85 6.1	419 30.1	19 1.4	79 5.7	207 14.9	28 2.0	83 6.0
年 齢 別	13～15歳	281 100.0	49 17.4	16 5.7	87 31.0	1 0.4	26 9.3	90 32.0	5 1.8	41 14.6
	16～18歳	323 100.0	112 34.7	29 9.0	128 39.6	2 0.6	24 7.4	64 19.8	4 1.2	15 4.6
	19～22歳	204 100.0	120 58.8	15 7.4	77 37.7	6 2.9	14 6.9	16 7.8	4 2.0	1 0.5
	23～26歳	247 100.0	188 76.1	7 2.8	58 23.5	6 2.4	12 4.9	12 4.9	7 2.8	9 3.6
	27～30歳	286 100.0	225 78.7	16 5.6	60 21.0	4 1.4	3 1.0	19 6.6	7 2.4	8 2.8

11 小さな子どもとふれあう機会について

問 36 あなたは小さな子どもとふれあう機会がありますか。(〇は主なもの3つまで)

※19 歳以上の方は 18 歳までにふれあう機会があったかお答えください。

「6. ふれあう機会はない」が 40.5%と最も高く、次いで「4. 親せきの小さな子どもと遊んだりする」が 26.4%、「1. 兄弟姉妹に小さな子どもがいるのでめんどろをよくみる」が 16.7%となっています。



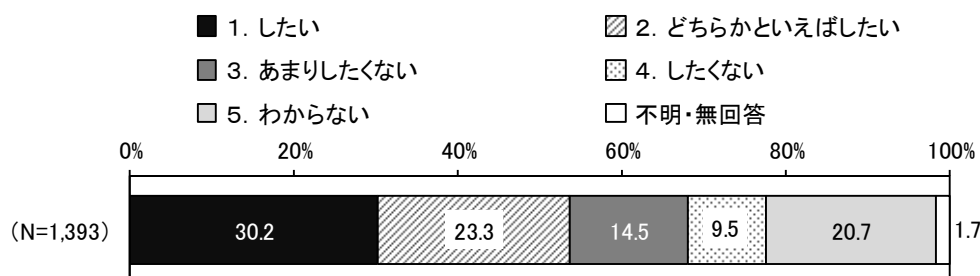
《問 36×問 39 結婚・子育て観別》

すべての区分で「ふれあう機会はない」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	兄弟姉妹に小さな子どもがいるのでめんどろをよくみる	学校の授業や児童館、保育所等で小さな子どもと遊んだりする	近所の小さな子どもと遊んだりする	親せきの小さな子どもと遊んだりする	町内会や地域の活動で小さな子どもと遊んだりする	ふれあう機会はない	その他	不明・無回答
全 体	1,393 100.0	233 16.7	167 12.0	168 12.1	368 26.4	111 8.0	564 40.5	79 5.7	60 4.3
結婚・子育て観	結婚も子育てもしたい	839 100.0	162 19.3	121 14.4	129 15.4	244 29.1	82 9.8	299 35.6	52 6.2
	結婚はしたいが子育てはしたくない	83 100.0	8 9.6	5 6.0	3 3.6	19 22.9	6 7.2	46 55.4	3 3.6
	子育てはしたいが結婚はしたくない	30 100.0	6 20.0	3 10.0	4 13.3	8 26.7	1 3.3	14 46.7	2 6.7
	結婚も子育てもしたくない	75 100.0	10 13.3	5 6.7	5 6.7	15 20.0	5 6.7	41 54.7	4 5.3
	わからない	330 100.0	40 12.1	28 8.5	24 7.3	77 23.3	16 4.8	156 47.3	16 4.8
	その他	13 100.0	4 30.8	3 23.1	2 15.4	3 23.1	1 7.7	5 38.5	1 7.7

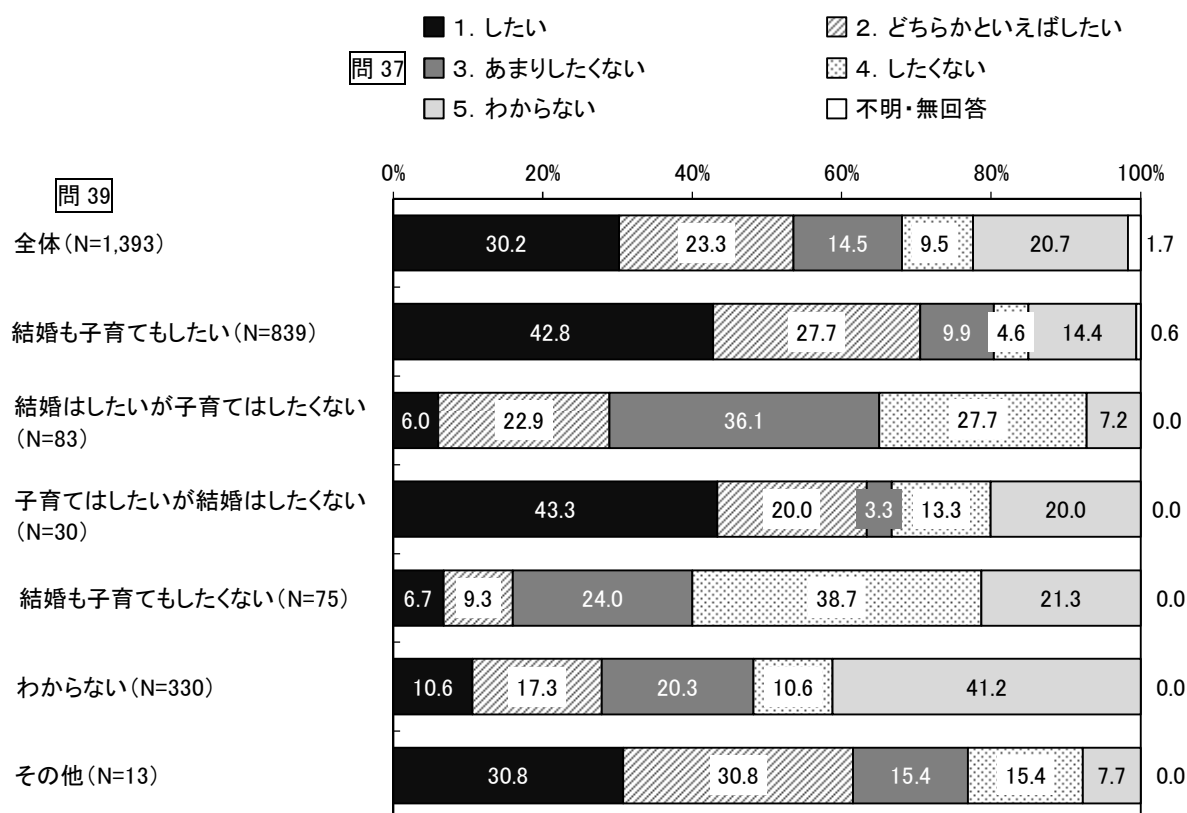
問 37 あなたは育児体験（抱っこする，おむつを替える，一緒に遊ぶなど）をしたいと思いますか。（○は1つ）※19歳以上の方は18歳までに育児体験をしたいと思っていたかをお答えください。

『したい（「1. したい」と「2. どちらかといえばしたい」の合計）』が 53.5%，『したくない（「3. あまりしたくない」と「4. したくない」の合計）』が 24.0%となっています。



《問 37×問 39 結婚・子育て観別》

『結婚も子育てもしたい』『子育てはしたいが結婚はしたくない』では「1. したい」，『結婚はしたいが子育てはしたくない』では「3. あまりしたくない」，『結婚も子育てもしたくない』では「4. したくない」の割合が最も高くなっています。

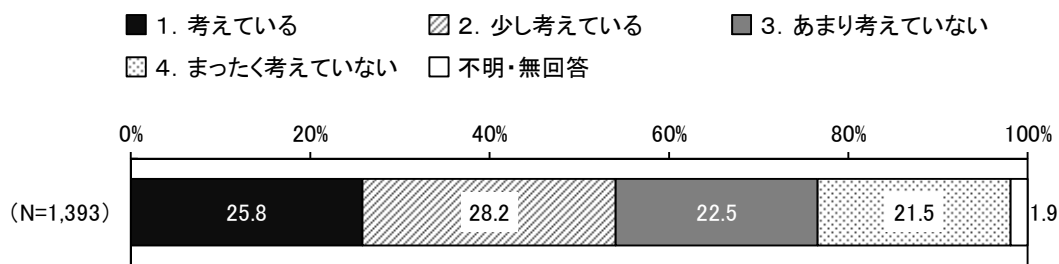


12 ライフデザインについて

問 38 あなたは結婚や出産について、将来の自分のライフデザイン（何歳ごろに結婚や出産をしたいか、何人子どもがほしいかなど）を考えていますか。（○は1つ）

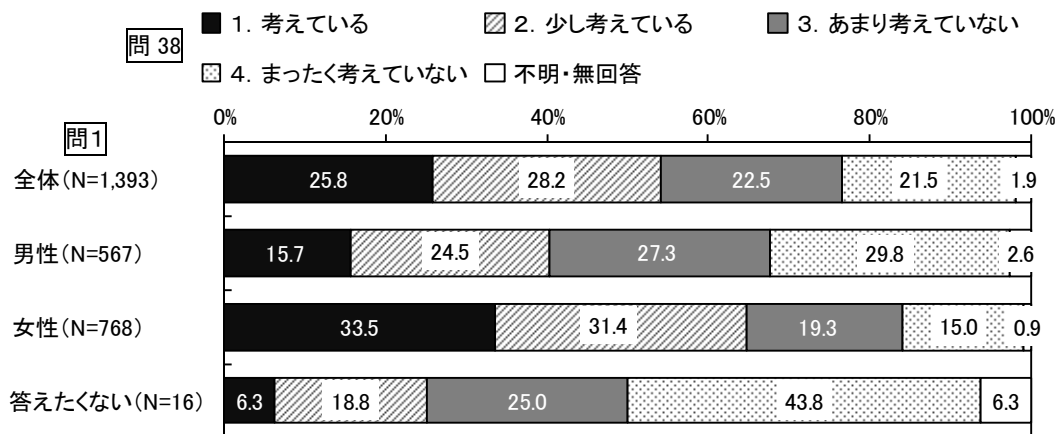
※既婚者または子育て中の方は過去にどう考えていましたか。

『考えている（「1. 考えている」と「2. 少し考えている」の合計）』が 54.0%，『考えていない（「3. あまり考えていない」と「4. まったく考えていない」の合計）』が 44.0%となっています。



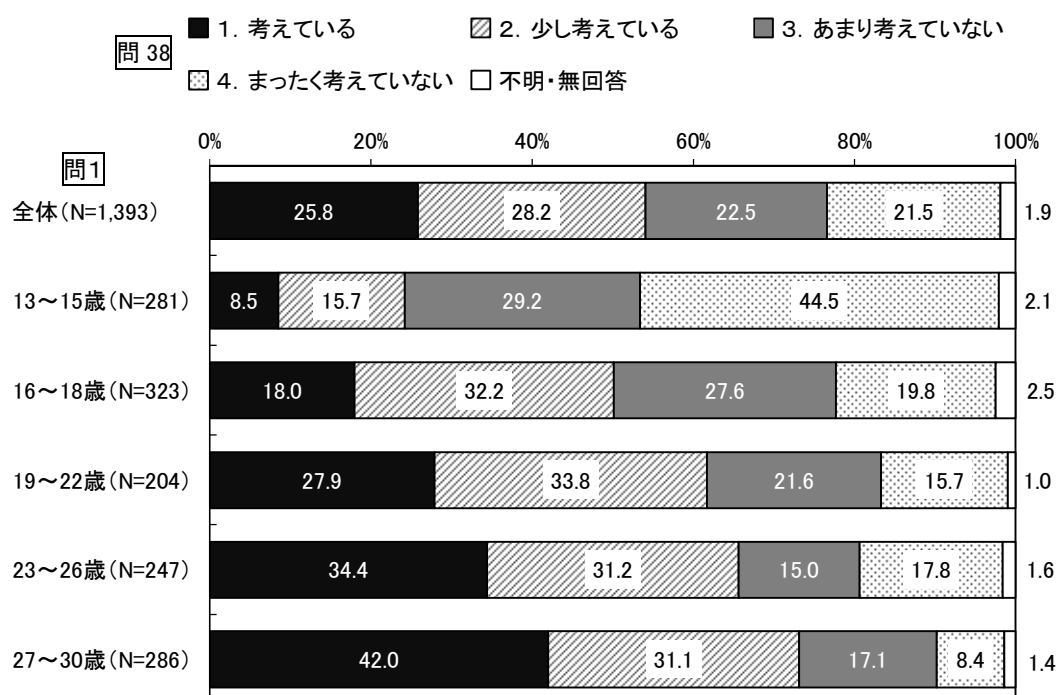
《問 38×問 1 性別》

『女性』では、『考えている（「1. 考えている」と「2. 少し考えている」の合計）』の割合が全体よりも高くなっています。



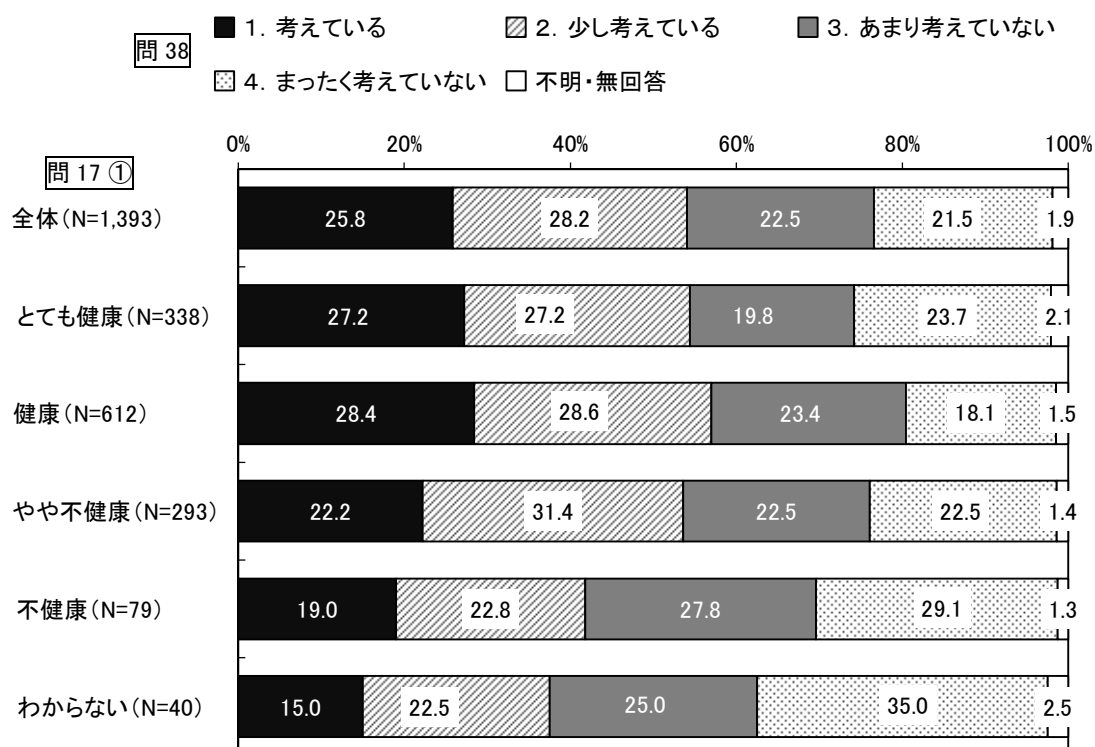
《問 38×問 2 年齢別》

年齢が上がるほど、「1. 考えている」の割合が高くなる傾向がみられます。



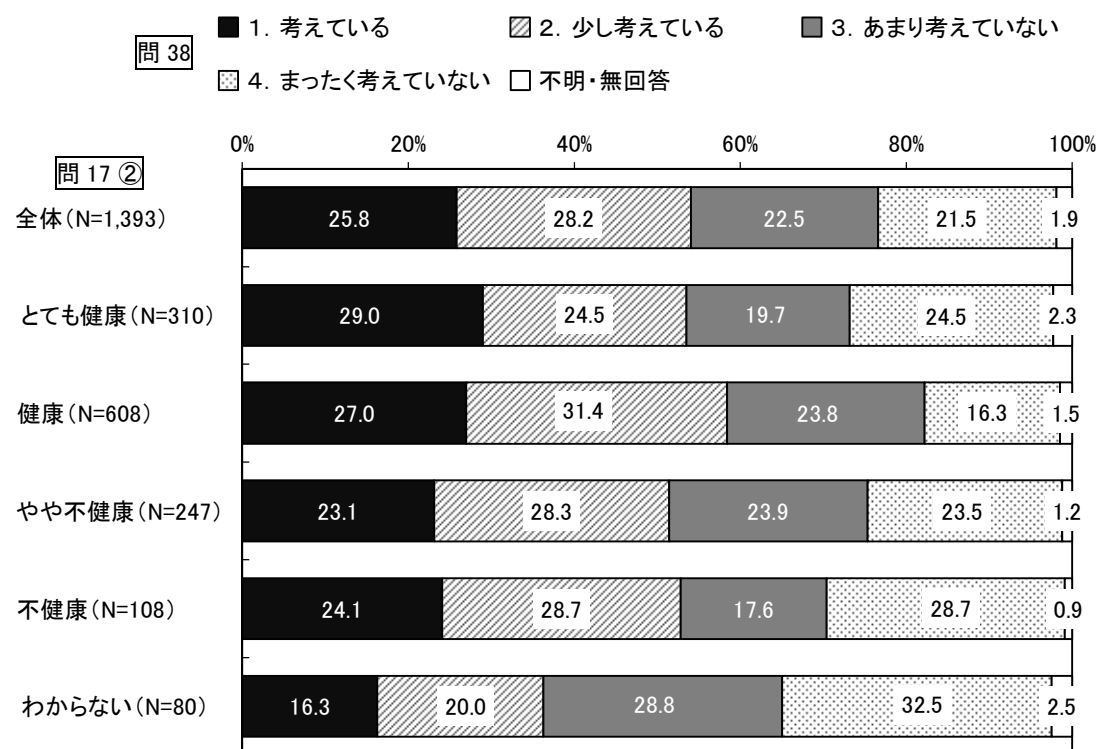
《問 38×問 17①自分の健康観（からだ）別》

『健康』『とても健康』『やや不健康』では、『考えている（「1. 考えている」と「2. 少し考えている」の合計）』の割合が5割を超えています。



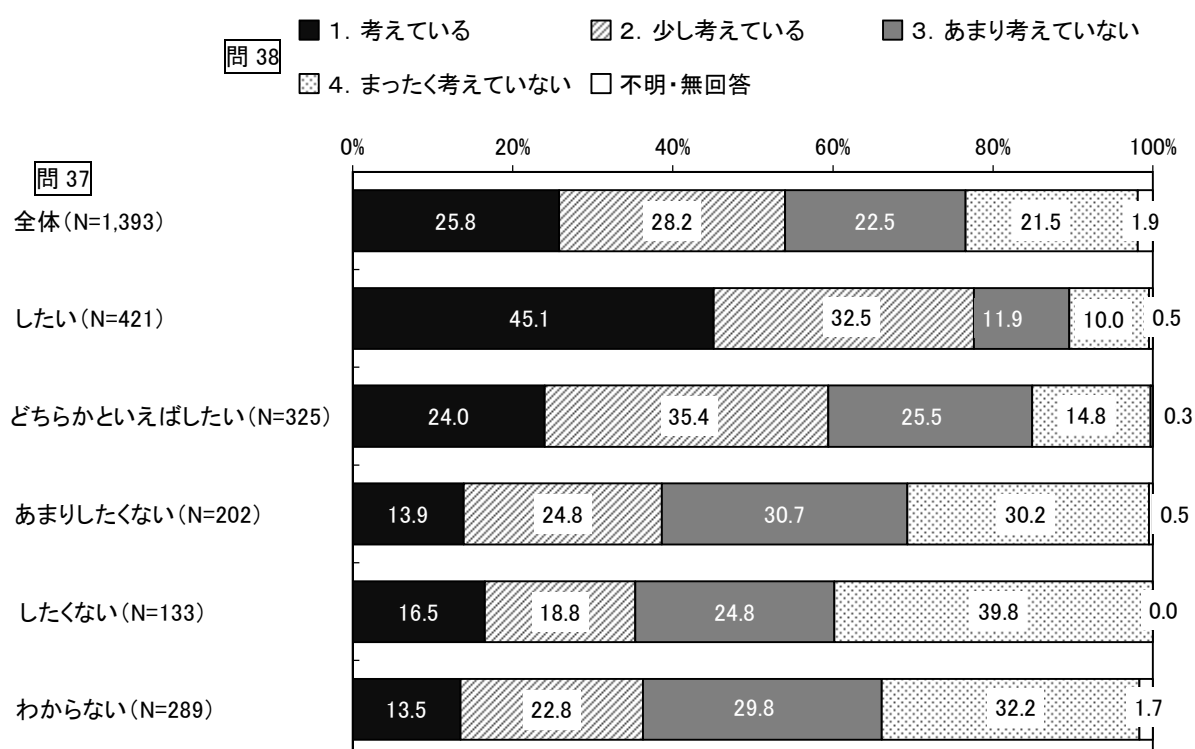
《問 38×問 17②自分の健康観（こころ）別》

『健康』では「1. 考えている」の割合が最も高くなっています。



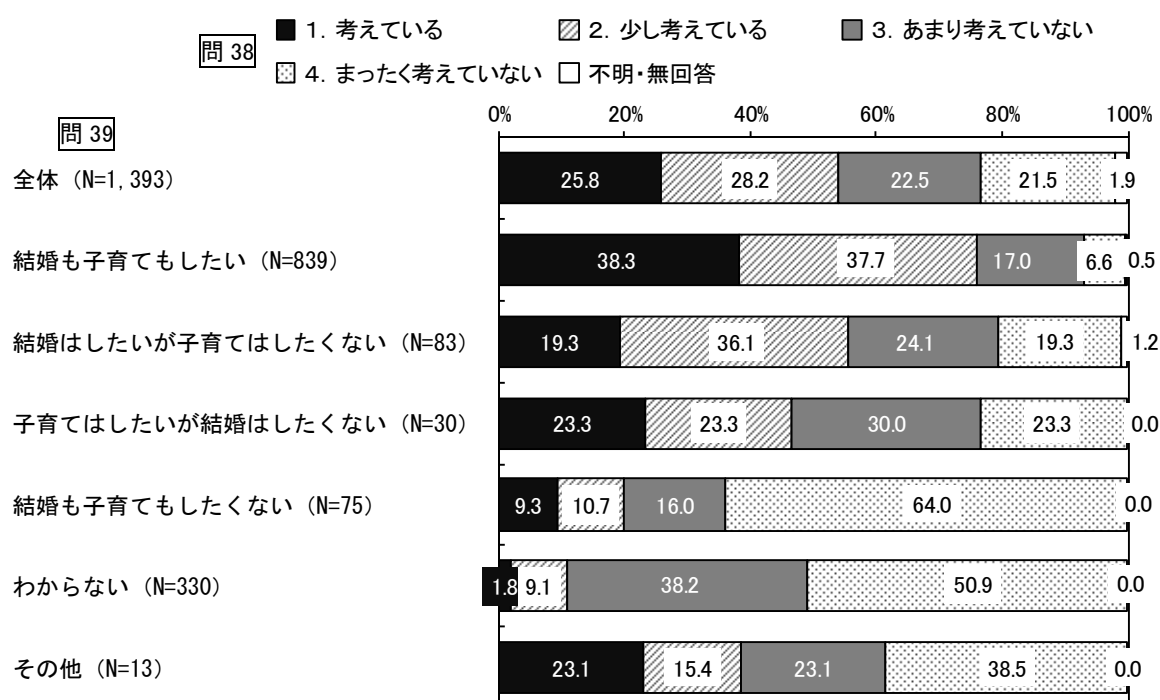
《問 38×問 37 育児体験の希望別》

育児体験をしたいと思うほど「1. 考えている」「2. 少し考えている」の割合が高い傾向がみられます。



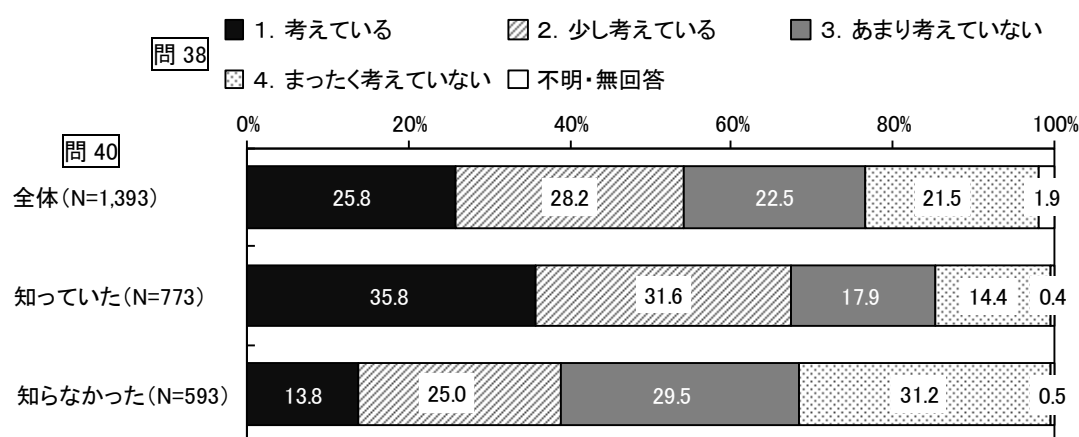
《問 38×問 39 将来の結婚や子育て考え別》

結婚や子育ての意向が強いほど「1. 考えている」「2. 少し考えている」の割合が高い傾向がみられます。



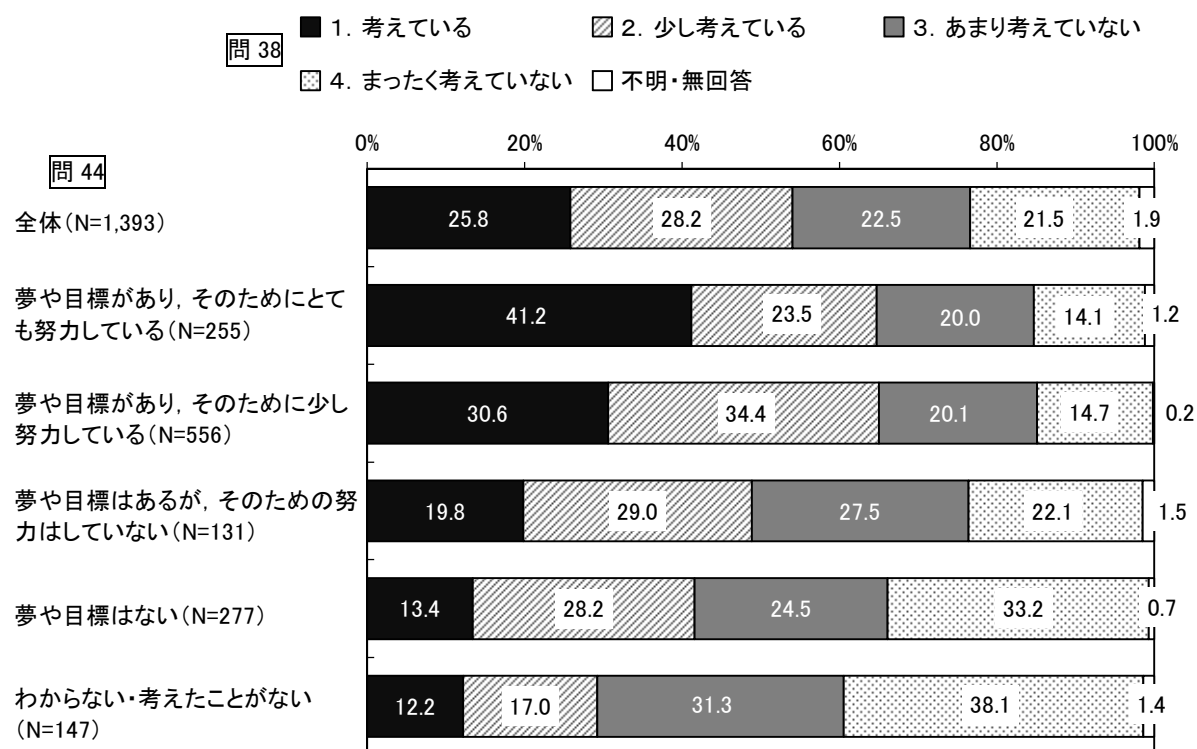
《問 38×問 40 医学的に妊娠しやすい時期の認知度別》

『知っていた』では『考えている（「1. 考えている」と「2. 少し考えている」の合計）』の割合が全体よりも高くなっています。



《問 38×問 44 将来の夢や目標の有無別》

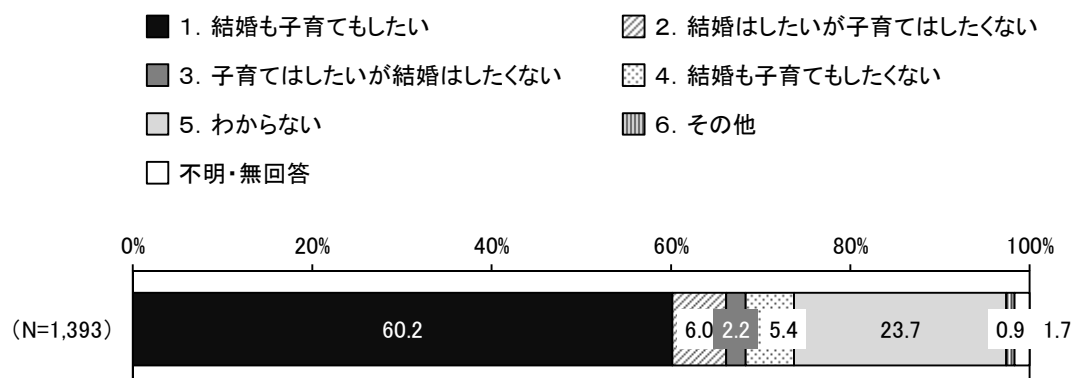
将来の夢や目標に対して努力しているほど「1. 考えている」「2. 少し考えている」の割合が高い傾向がみられます。



問 39 あなたは将来の結婚や子育てについて、どのように考えていますか。(〇は1つ)

※既婚者または子育て中の方は過去にどう考えていましたか。

「1. 結婚も子育てもしたい」が60.2%と最も高く、次いで「5. わからない」が23.7%, 「2. 結婚はしたいが子育てはしたくない」が6.0%となっています。



《問 39×問 1 性別》

『答えたくない』を除き、「結婚も子育てもしたい」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	結婚も子育てもしたい	結婚はしたいが子育てはしたくない	子育てはしたいが結婚はしたくない	結婚も子育てもしたくない	わからない	その他	不明・無回答
全 体		1,393 100.0	839 60.2	83 6.0	30 2.2	75 5.4	330 23.7	13 0.9	23 1.7
性別	男性	773 100.0	294 51.9	27 4.8	6 1.1	30 5.3	192 33.9	5 0.9	13 2.3
	女性	593 100.0	521 67.8	50 6.5	22 2.9	40 5.2	121 15.8	8 1.0	6 0.8
	答えたくない	593 100.0	3 18.8	1 6.3	2 12.5	4 25.0	5 31.3	0 0.0	1 6.3

《問 39×問 2 年齢別》

すべての区分で「結婚も子育てもしたい」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	結婚も子育てもしたい	結婚はしたいが子育てはしたくない	子育てはしたいが結婚はしたくない	結婚も子育てもしたくない	わからない	その他	不明・無回答
全 体		1,393 100.0	839 60.2	83 6.0	30 2.2	75 5.4	330 23.7	13 0.9	23 1.7
年齢別	13～15歳	281 100.0	124 44.1	9 3.2	4 1.4	14 5.0	121 43.1	2 0.7	7 2.5
	16～18歳	323 100.0	194 60.1	16 5.0	10 3.1	17 5.3	77 23.8	2 0.6	7 2.2
	19～22歳	204 100.0	133 65.2	13 6.4	4 2.0	12 5.9	39 19.1	1 0.5	2 1.0
	23～26歳	247 100.0	155 62.8	21 8.5	4 1.6	16 6.5	44 17.8	4 1.6	3 1.2
	27～30歳	286 100.0	205 71.7	19 6.6	8 2.8	15 5.2	33 11.5	4 1.4	2 0.7

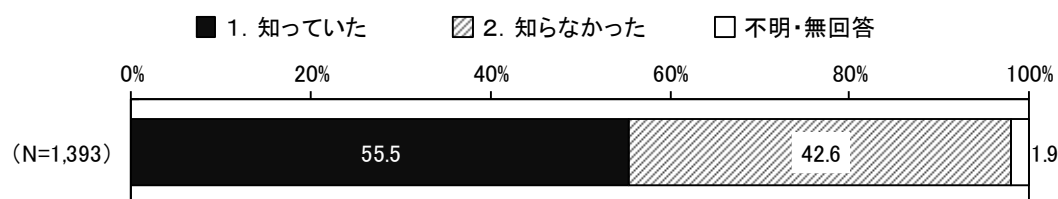
《問 39×問 40 妊娠しやすい時期の認知度別》

すべての区分で、「結婚も子育てもしたい」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	結婚も子育てもしたい	結婚はしたいが子育てはしたくない	子育てはしたいが結婚はしたくない	結婚も子育てもしたくない	わからない	その他	不明・無回答
全 体		1,393 100.0	839 60.2	83 6.0	30 2.2	75 5.4	330 23.7	13 0.9	23 1.7
のす妊 認い娠 知時し 度期や	知っていた	773 100.0	516 66.8	56 7.2	19 2.5	35 4.5	137 17.7	10 1.3	0 0.0
	知らなかった	593 100.0	319 53.8	27 4.6	11 1.9	40 6.7	191 32.2	3 0.5	2 0.3

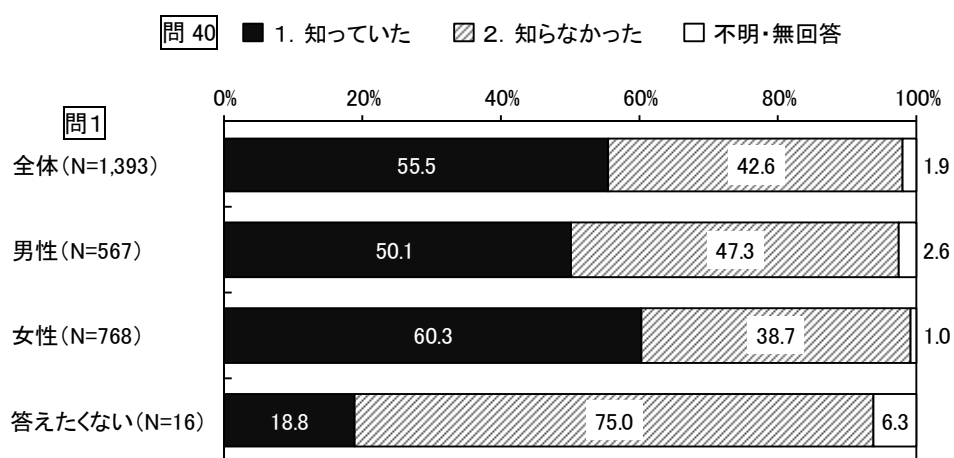
問 40 あなたは、男性・女性ともに医学的に妊娠しやすい時期があると言われていることを知っていましたか。(〇は1つ)

「1. 知っていた」が55.5%、「2. 知らなかった」が42.6%となっています。



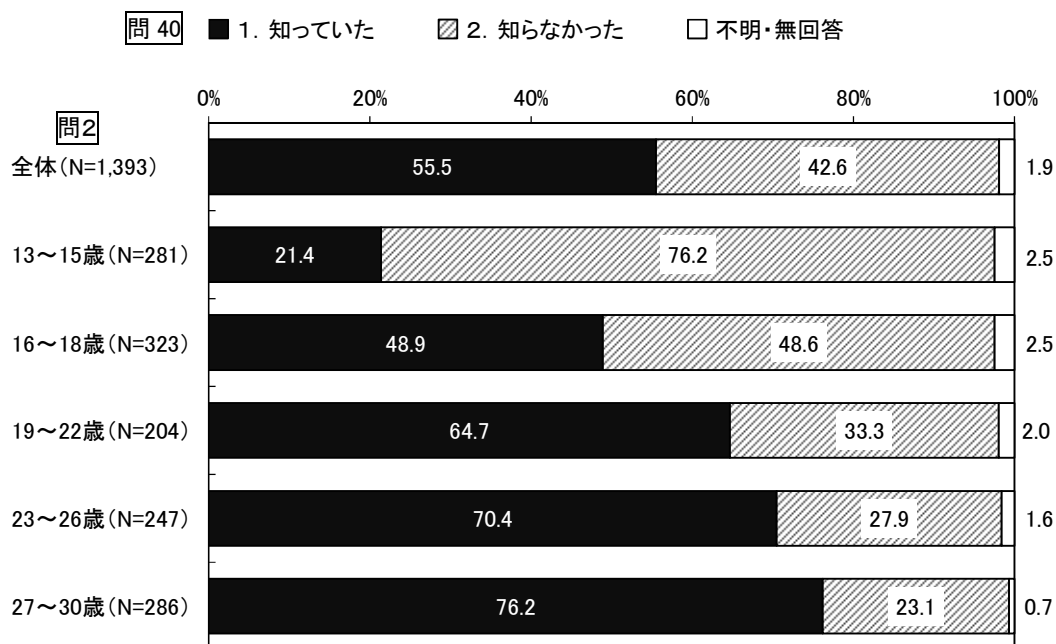
《問 40×問 1 性別》

『女性』では、「1. 知っていた」の割合が全体よりも高くなっています。



《問 40×問 2 年齢別》

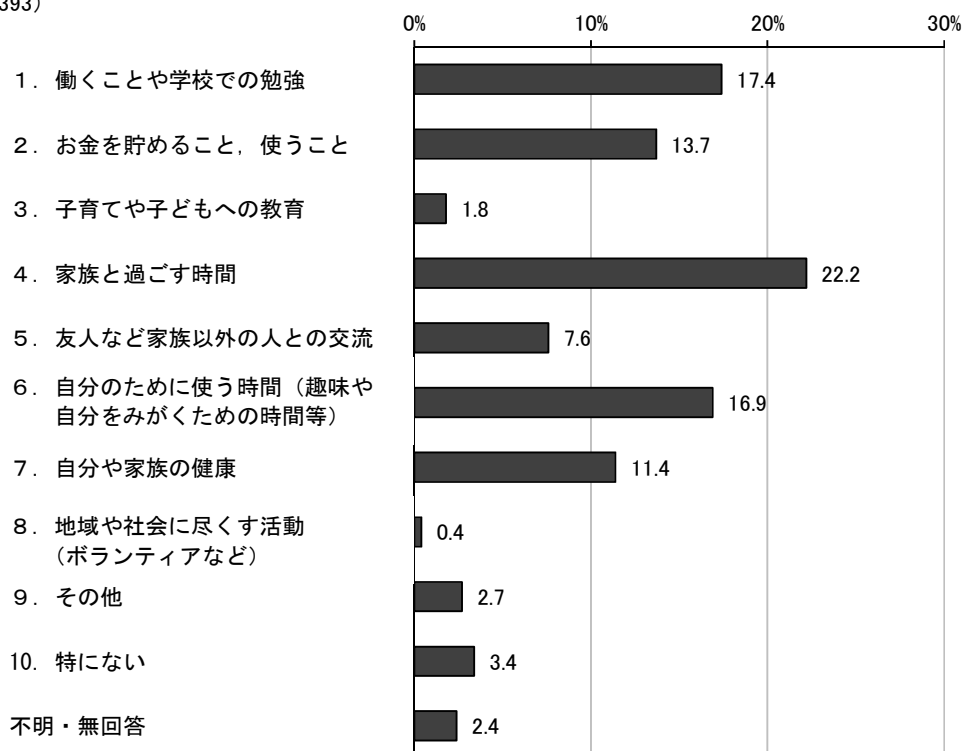
年齢が上がるほど、「1. 知っていた」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 41 あなたが生活で、最も重要だと考えていること（価値観）は何ですか。（〇は1つ）

「4. 家族と過ごす時間」が 22.2%と最も高く、次いで「1. 働くことや学校での勉強」が 17.4%、「6. 自分のために使う時間（趣味や自分をみがくための時間等）」が 16.9%となっています。

(N=1,393)



《問 41×問 38 ライフデザインの有無別》

『考えている』『少し考えている』では「4. 家族と過ごす時間」,『あまり考えていない』『まったく考えていない』では「6. 自分のために使う時間（趣味や自分をみがくための時間等）」の割合が最も高くなっています。

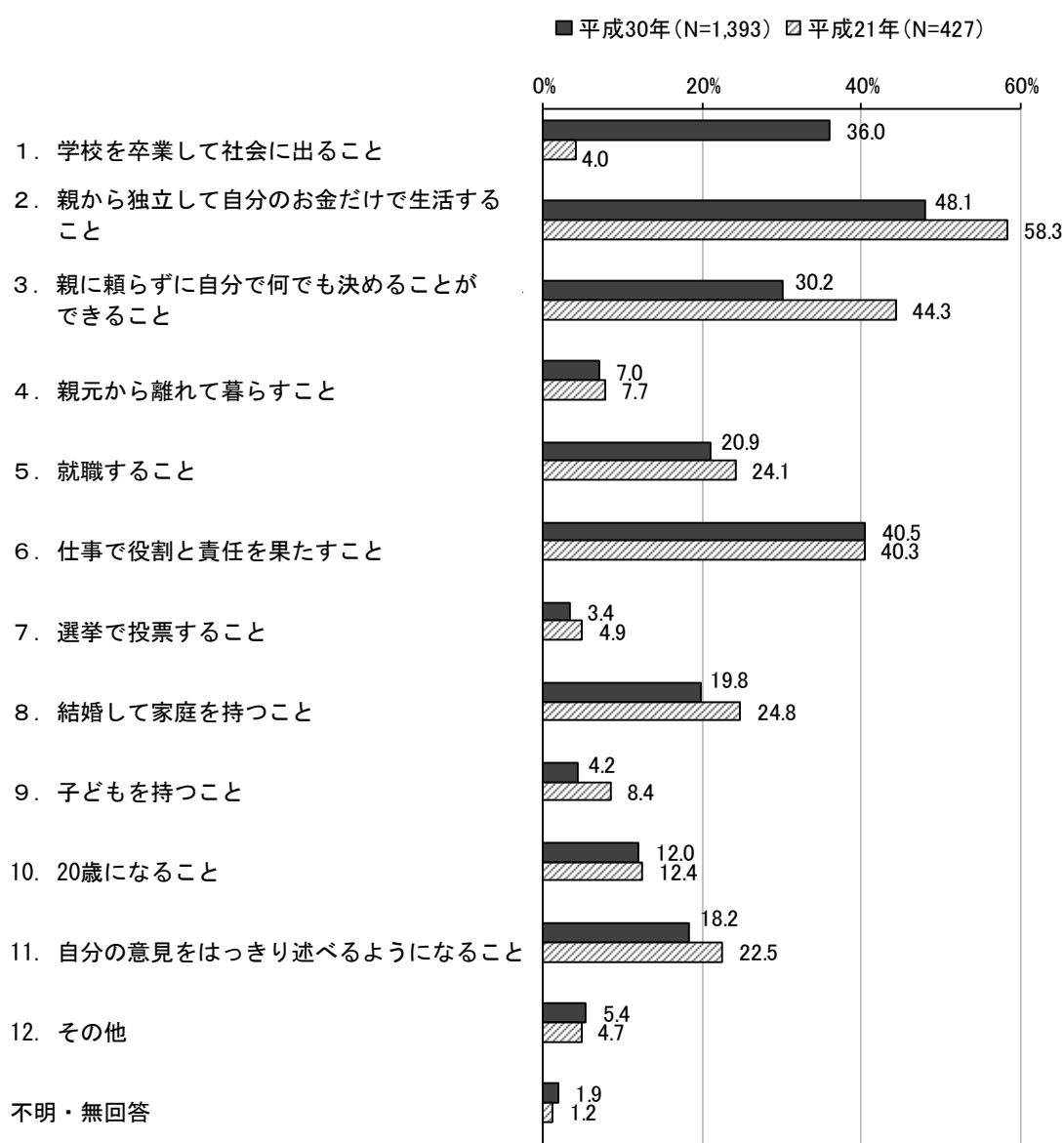
上段:件数 下段:%	合計	働くことや学校での勉強	お金を貯めること、使うこと	子育てや子どもへの教育	家族と過ごす時間	友人など家族以外の人との交流	自分のために使う時間（趣味や自分をみがくための時間等）	自分や家族の健康	地域や社会に尽くす活動（ボランティアなど）	その他	特にない	不明・無回答
全 体	1,393 100.0	243 17.4	191 13.7	25 1.8	309 22.2	106 7.6	236 16.9	159 11.4	5 0.4	38 2.7	48 3.4	33 2.4
ライ フ 有 デ ザ イ ン の												
考えている	360 100.0	54 15.0	41 11.4	13 3.6	111 30.8	21 5.8	43 11.9	56 15.6	1 0.3	11 3.1	5 1.4	4 1.1
少し考えている	393 100.0	62 15.8	53 13.5	8 2.0	92 23.4	38 9.7	62 15.8	56 14.2	1 0.3	11 2.8	9 2.3	1 0.3
あまり考えていない	314 100.0	61 19.4	51 16.2	1 0.3	58 18.5	28 8.9	63 20.1	25 8.0	1 0.3	6 1.9	16 5.1	4 1.3
まったく考えていない	299 100.0	64 21.4	45 15.1	3 1.0	46 15.4	19 6.4	66 22.1	22 7.4	2 0.7	10 3.3	18 6.0	4 1.3

13 「大人になること」，「働くこと」への考え方について

問 42 「大人になること」はどのようなことだと思いますか。（〇は主なもの3つまで）

「2. 親から独立して自分のお金だけで生活すること」が48.1%と最も高く、次いで「6. 仕事で役割と責任を果たすこと」が40.5%，「1. 学校を卒業して社会に出ること」が36.0%となっています。

平成21年と比較すると、「2. 親から独立して自分のお金だけで生活すること」が10.2ポイント、「3. 親に頼らずに自分で何でも決めることができること」が14.1ポイント、「8. 結婚して家庭を持つこと」が5.0ポイント低くなり、「1. 学校を卒業して社会に出ること」が32.0ポイント高くなっています。



《問 42×問 38 ライフデザインの有無別》

『まったく考えていない』では「学校を卒業して社会に出ること」、それ以外の区分では「親から独立して自分のお金だけで生活すること」の割合が最も高くなっています。また、ライフデザインを考えている度合いが低くなるほど、「結婚して家庭を持つこと」の割合も低くなる傾向がみられます。

上段:件数 下段:%		合計	学校を卒業して社会に出ること	親から独立して自分のお金だけで生活すること	親に頼らずに自分で何でも決めることができること	親元から離れて暮らすこと	就職すること	仕事で役割と責任を果たすこと	選挙で投票すること
全 体		1,393 100.0	502 36.0	670 48.1	420 30.2	98 7.0	291 20.9	564 40.5	48 3.4
ライフデザインの有無	考えている	360 100.0	118 32.8	186 51.7	98 27.2	19 5.3	73 20.3	154 42.8	8 2.2
	少し考えている	393 100.0	141 35.9	217 55.2	114 29.0	29 7.4	74 18.8	169 43.0	22 5.6
	あまり考えていない	314 100.0	116 36.9	147 46.8	108 34.4	22 7.0	74 23.6	140 44.6	8 2.5
	まったく考えていない	299 100.0	125 41.8	118 39.5	97 32.4	26 8.7	69 23.1	100 33.4	10 3.3

上段:件数 下段:%		合計	結婚して家庭を持つこと	子どもを持つこと	20歳になること	自分の意見をはっきり述べるようになること	その他	不明・無回答
全 体		1,393 100.0	276 19.8	59 4.2	167 12.0	253 18.2	75 5.4	26 1.9
ライフデザインの有無	考えている	360 100.0	101 28.1	31 8.6	26 7.2	62 17.2	36 10.0	1 0.3
	少し考えている	393 100.0	105 26.7	15 3.8	48 12.2	72 18.3	14 3.6	2 0.5
	あまり考えていない	314 100.0	50 15.9	11 3.5	41 13.1	61 19.4	10 3.2	1 0.3
	まったく考えていない	299 100.0	20 6.7	2 0.7	52 17.4	56 18.7	13 4.3	4 1.3

《問 42×問 44 将来の夢や目標の有無別》

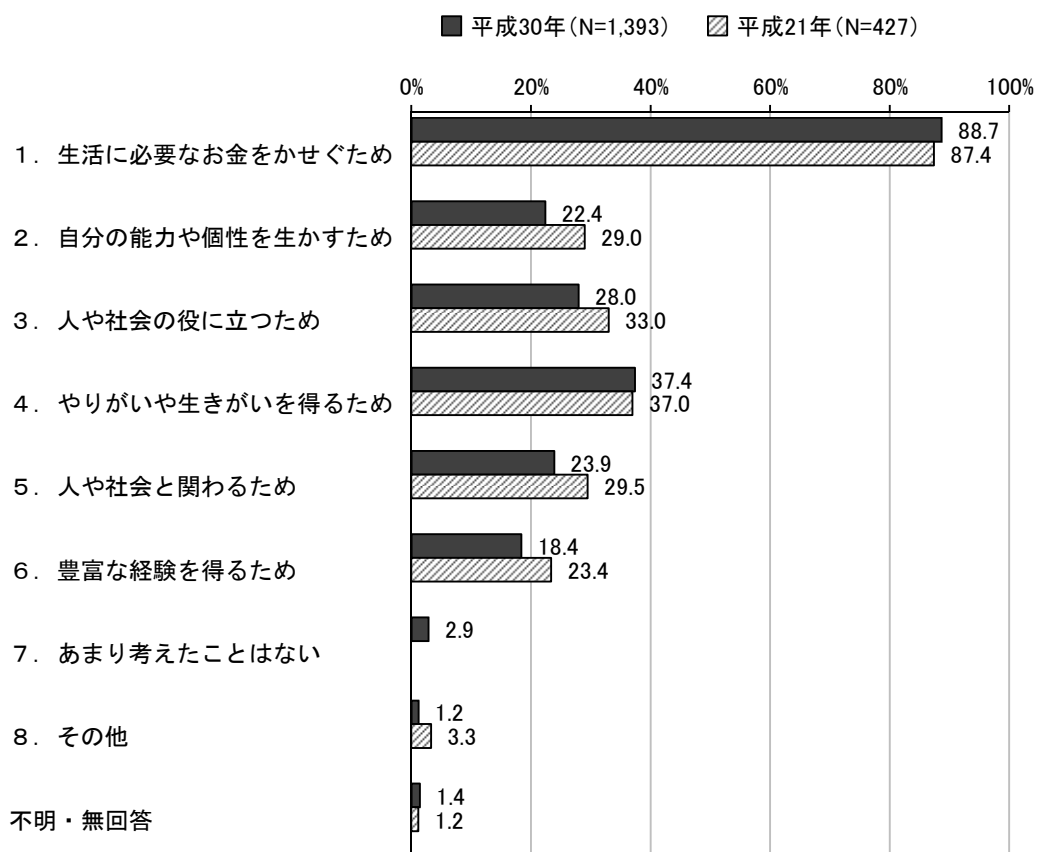
『わからない・考えたことがない』では「学校を卒業して社会に出ること」、それ以外の区分では「親から独立して自分のお金だけで生活すること」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	学校を卒業して社会に出ること	親から独立して自分のお金だけで生活すること	親に頼らずに自分で何でも決めることができること	親元から離れて暮らすこと	就職すること	仕事で役割と責任を果たすこと	選挙で投票すること
全 体		1,393 100.0	502 36.0	670 48.1	420 30.2	98 7.0	291 20.9	564 40.5	48 3.4
将来の夢や目標の有無	夢や目標があり、そのためにとても努力している	255 100.0	88 34.5	131 51.4	66 25.9	15 5.9	60 23.5	106 41.6	14 5.5
	夢や目標があり、そのために少し努力している	556 100.0	196 35.3	270 48.6	179 32.2	44 7.9	111 20.0	257 46.2	19 3.4
	夢や目標はあるが、そのための努力はしていない	131.0 100.0	52 39.7	62 47.3	49 37.4	10 7.6	25 19.1	49 37.4	5 3.8
	夢や目標はない	277 100.0	96 34.7	139 50.2	83 30.0	21 7.6	62 22.4	93 33.6	6 2.2
	わからない・考えたことがない	147 100.0	66 44.9	63 42.9	40 27.2	8 5.4	31 21.1	56 38.1	4 2.7
全 体		1,393 100.0	276 19.8	59 4.2	167 12.0	253 18.2	75 5.4	26 1.9	
将来の夢や目標の有無	夢や目標があり、そのためにとても努力している	255 100.0	58 22.7	11 4.3	24 9.4	45 17.6	14 5.5	1 0.4	
	夢や目標があり、そのために少し努力している	556 100.0	129 23.2	32 5.8	54 9.7	112 20.1	34 6.1	0 0.0	
	夢や目標はあるが、そのための努力はしていない	131.0 100.0	30 22.9	5 3.8	18 13.7	19 14.5	5 3.8	1 0.8	
	夢や目標はない	277 100.0	35 12.6	6 2.2	50 18.1	50 18.1	15 5.4	3 1.1	
	わからない・考えたことがない	147 100.0	21 14.3	4 2.7	20 13.6	26 17.7	7 4.8	3 2.0	
全 体		1,393 100.0	276 19.8	59 4.2	167 12.0	253 18.2	75 5.4	26 1.9	

問 43 働く目的は何だと思えますか。(〇は主なもの3つまで)

「1. 生活に必要なお金をかせぐため」が88.7%と最も高く、次いで「4. やりがいや生きがいを得るため」が37.4%、「3. 人や社会の役に立つため」が28.0%となっています。

平成21年と比較すると、「2. 自分の能力や個性を生かすため」が6.6ポイント、「5. 人や社会と関わるため」が5.6ポイント、「3. 人や社会の役に立つため」「6. 豊富な経験を得るため」がともに5.0ポイント低くなっています。



※「7. あまり考えたことはない」は平成30年のみの選択肢

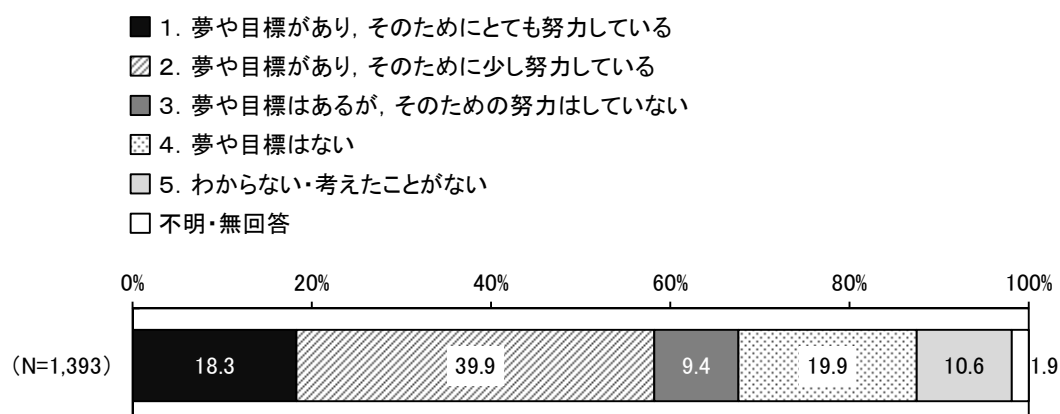
《問 43×問 44 将来の夢や目標の有無別》

すべての区分で「生活に必要なお金をかせぐため」の割合が最も高くなっています。また、将来の夢や目標に対して努力している割合が低くなるほど、「自分の能力や個性を生かすため」「人や社会の役に立つため」「やりがいや生きがいを得るため」「豊富な経験を得るため」の割合も低くなる傾向がみられます。

上段:件数 下段:%		合計	生活に必要なお金をかせぐため	自分の能力や個性を生かすため	人や社会の役に立つため	やりがいや生きがいを得るため	人や社会と関わるため	豊富な経験を得るため	あまり考えたことはない	その他	不明・無回答
全 体		1,393 100.0	1,236 88.7	312 22.4	390 28.0	521 37.4	333 23.9	256 18.4	40 2.9	17 1.2	20 1.4
将来の夢や目標の有無	夢や目標があり、そのためにとても努力している	255 100.0	219 85.9	77 30.2	80 31.4	117 45.9	53 20.8	57 22.4	4 1.6	2 0.8	0 0.0
	夢や目標があり、そのために少し努力している	556 100.0	502 90.3	155 27.9	173 31.1	247 44.4	142 25.5	122 21.9	8 1.4	10 1.8	0 0.0
	夢や目標はあるが、そのための努力はしていない	131.0 100.0	124 94.7	20 15.3	36 27.5	47 35.9	34 26.0	18 13.7	2 1.5	0 0.0	0 0.0
	夢や目標はない	277 100.0	260 93.9	37 13.4	56 20.2	72 26.0	65 23.5	37 13.4	8 2.9	2 0.7	0 0.0
	わからない・考えたことがない	147 100.0	124 84.4	21 14.3	43 29.3	34 23.1	37 25.2	21 14.3	18 12.2	3 2.0	1 0.7

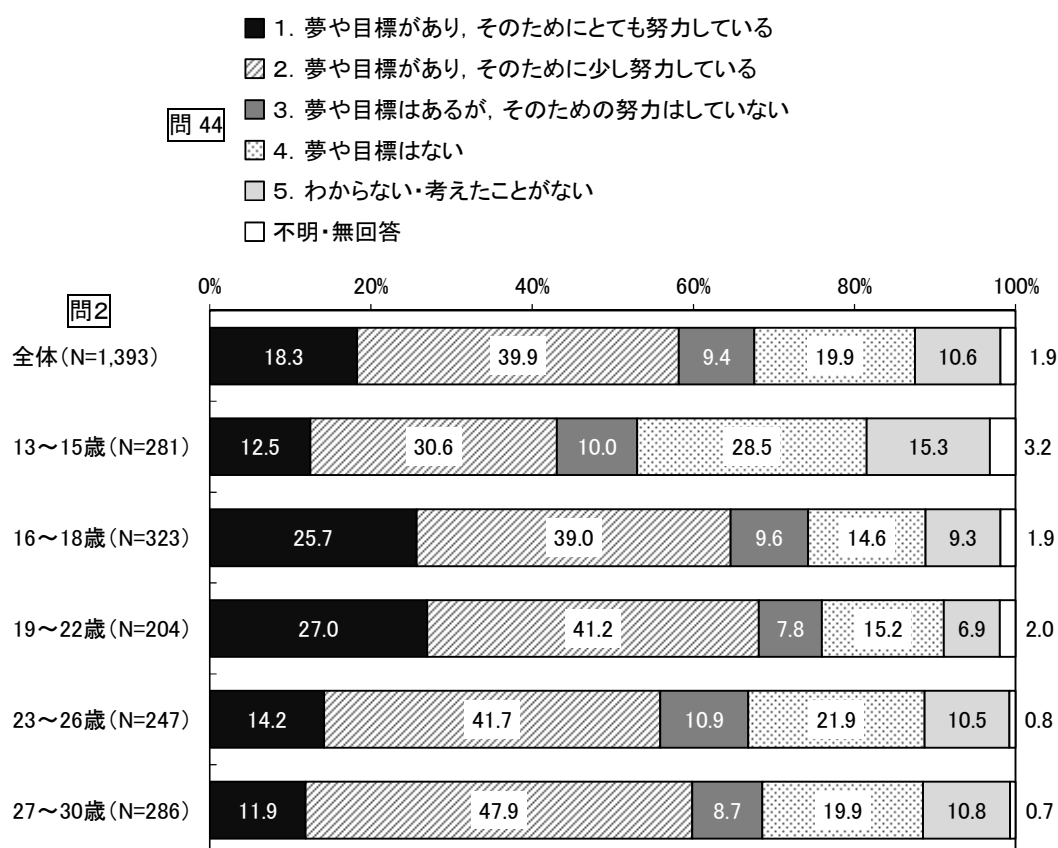
問 44 あなたは将来の夢や目標を持っていますか。(○は1つ)

「2. 夢や目標があり、そのために少し努力している」が 39.9%と最も高く、次いで「4. 夢や目標はない」が 19.9%, 「1. 夢や目標があり、そのためにとても努力している」が 18.3%となっています。



《問 44×問 2 年齢別》

すべての区分で「2. 夢や目標があり、そのために少し努力している」の割合が最も高くなっています。次いで、『13～15 歳』『23～26 歳』『27～30 歳』では「4. 夢や目標はない」、『16～18 歳』『19～22 歳』では「1. 夢や目標があり、そのためにとても努力している」となっています。



14 京都市のまちづくりへの興味・参加について

問 45 京都市では、未来のまちづくりのために様々なことに取り組んでいます。あなたはどのようなことに興味がありますか。（〇はいくつでも）

「1. 環境（豊かな自然環境を守ること。ごみを減らすこと）」が 31.1%と最も高く、次いで「5. 生活の安全（交通事故や犯罪が少ない安心・安全なまちづくり）」が 28.6%、「13. 子育て（地域ぐるみで子どもを育てるまちづくり）」が 26.8%となっています。

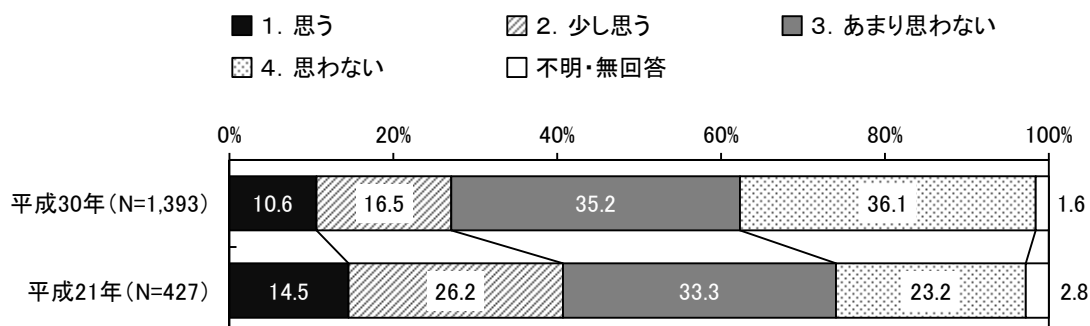
(N=1,393)



問 46(1) あなたは京都市や地域のまちづくりについて意見を述べる機会があれば、述べてみたいと思いますか。(〇は1つ)

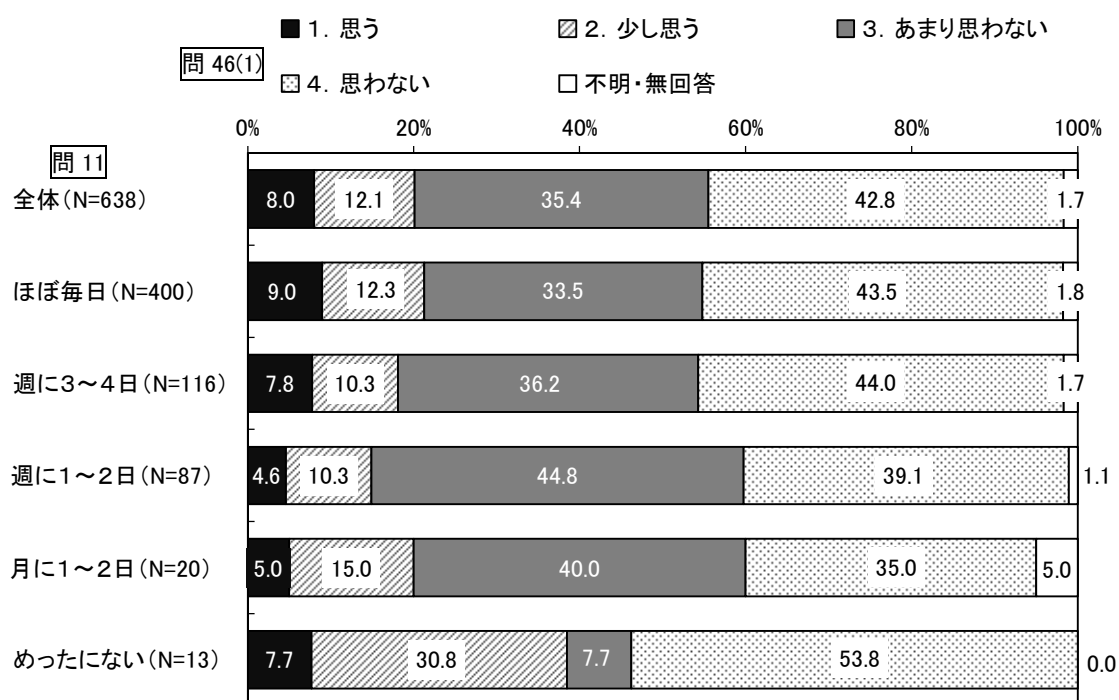
『思わない(「3. あまり思わない」と「4. 思わない」の合計)』が71.3%,『思う(「1. 思う」と「2. 少し思う」の合計)』が27.1%となっています。

平成21年と比較すると、『思わない』が14.8ポイント高くなっています。



《問 46(1)×問 11 子どもと話をする機会別(中高生のみ)》

すべての区分で『思わない(「3. あまり思わない」と「4. 思わない」の合計)』の割合が6割を超えています。

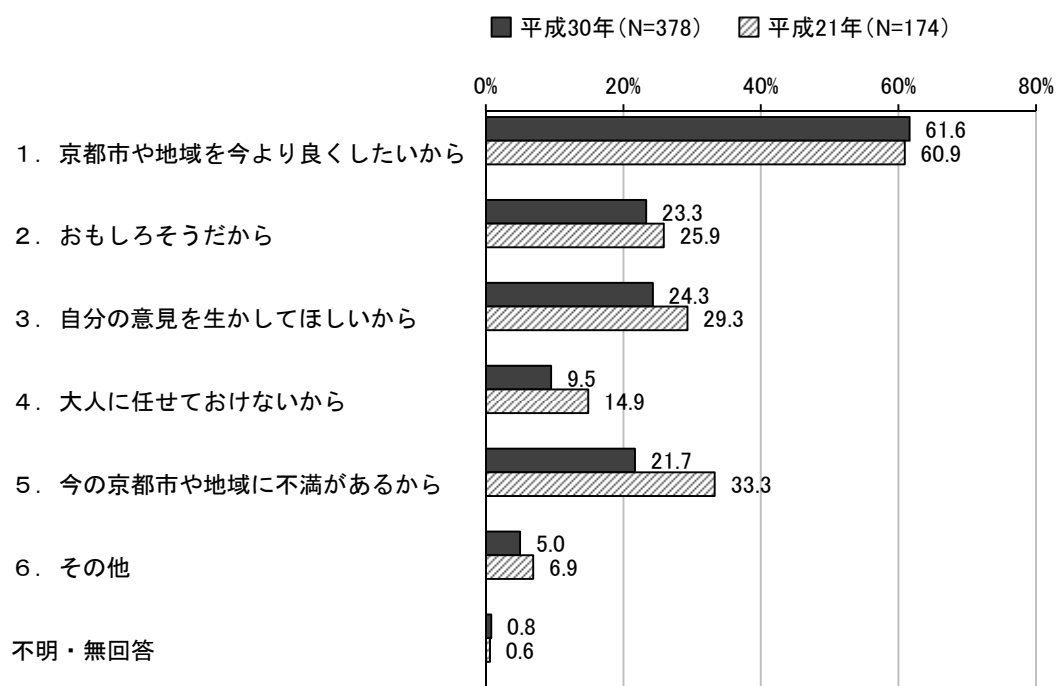


問 46(1)で「1」または「2」と答えた方

問 46(2) そう思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「1. 京都市や地域を今より良くしたいから」が61.6%と最も高く、次いで「3. 自分の意見を生かしてほしいから」が24.3%、「2. おもしろそうだから」が23.3%となっています。

平成21年と比較すると、「5. 今の京都市や地域に不満があるから」が11.6ポイント低くなっています。

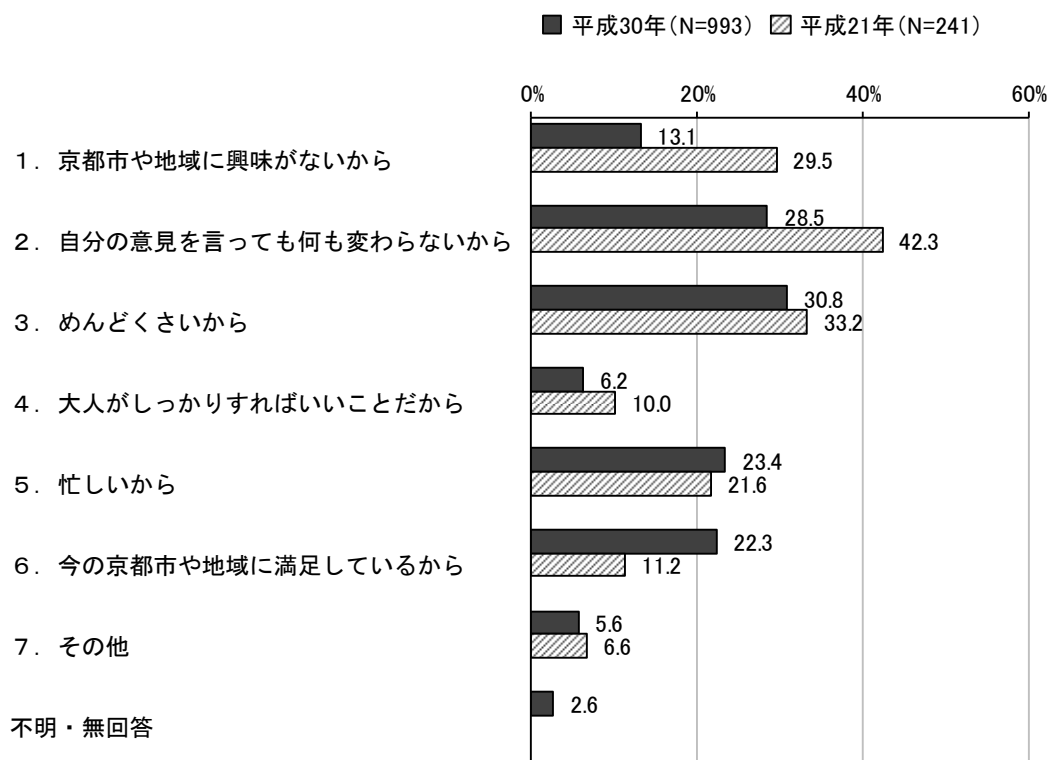


問 46(1)で「3」または「4」と答えた方

問 46(3) そう思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

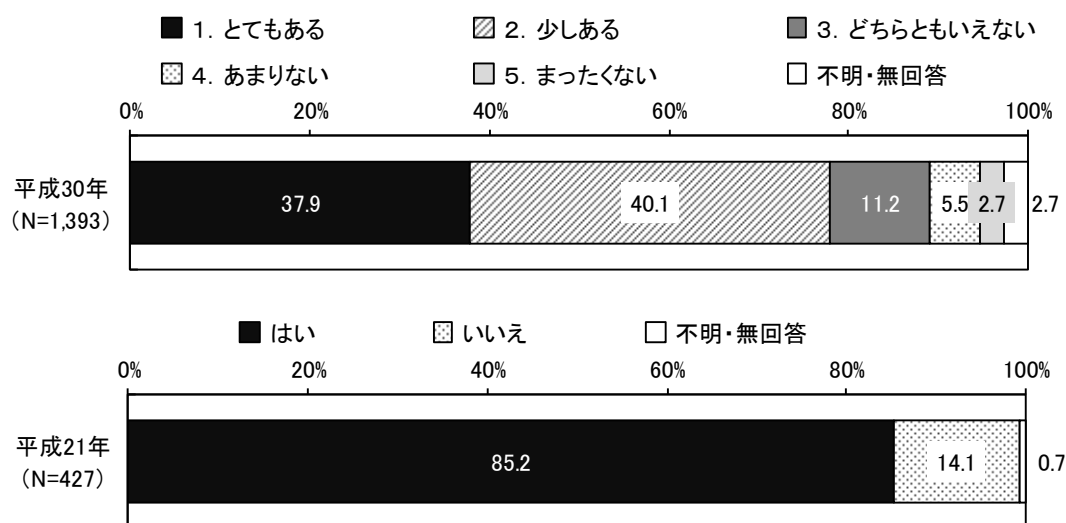
「3. めんどくさいから」が30.8%と最も高く、次いで「2. 自分の意見を言っても何も変わらないから」が28.5%、「5. 忙しいから」が23.4%となっています。

平成21年と比較すると、「1. 京都市や地域に興味がないから」が16.4ポイント、「2. 自分の意見を言っても何も変わらないから」が13.8ポイント低くなっています。



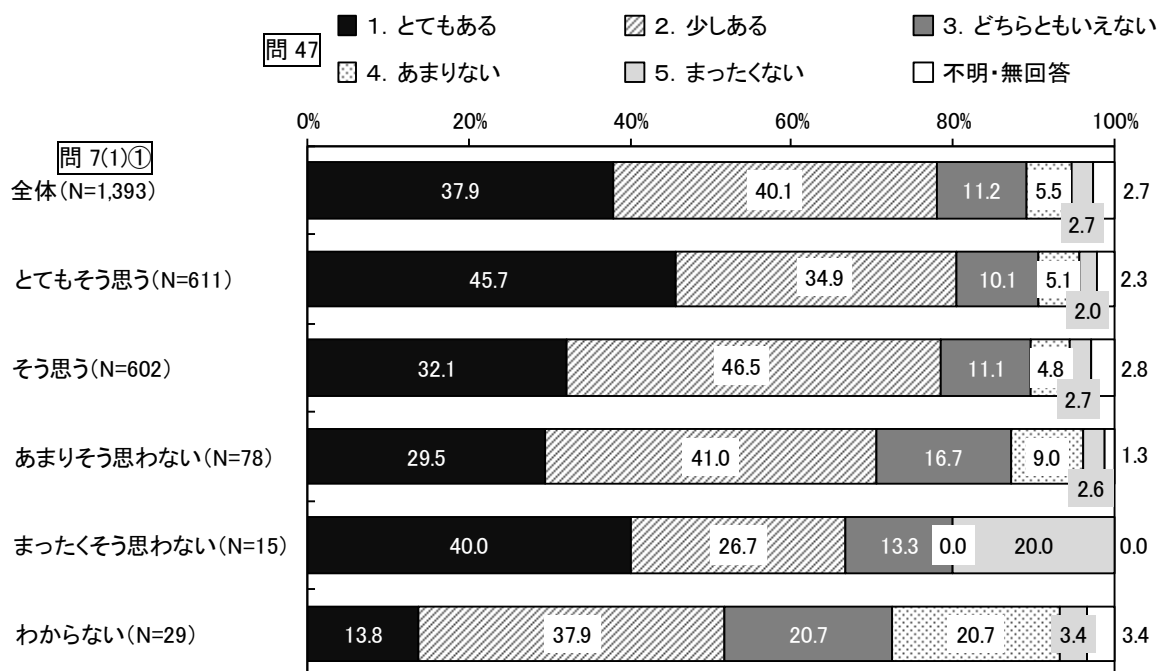
問 47 あなたは京都に愛着がありますか。(〇は1つ)

『ある(「1. とてもある」と「2. 少しある」の合計)』が78.0%, 『ない(「4. あまりない」と「5. まったくない」の合計)』が8.2%となっています。



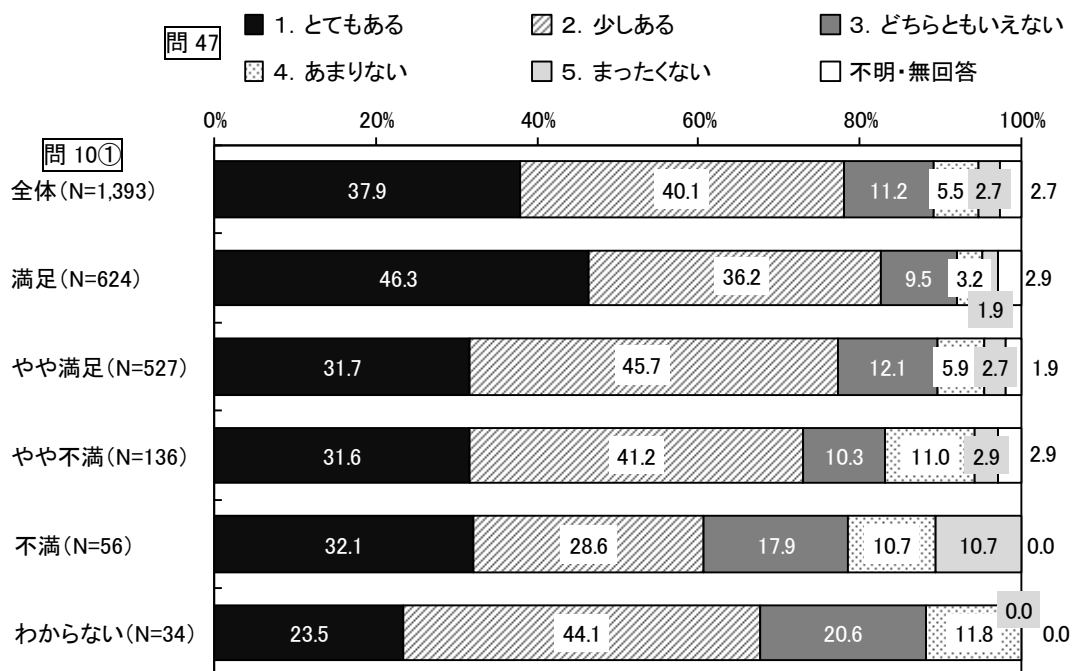
《問 47×問 7(1)家族との関係性別（①家族と仲がよい）》

家族と仲がよいほど『ある』の割合が高くなる傾向がみられます。



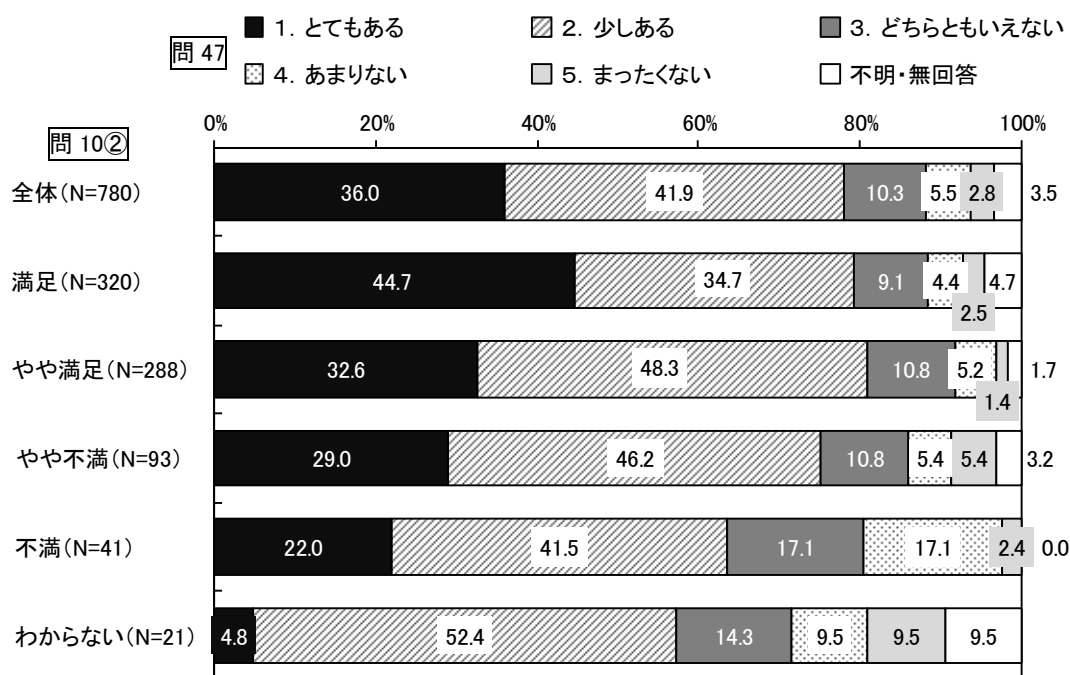
《問 47×問 10①家庭生活の満足度別》

家庭生活の満足度が高いほど『ある』の割合が高くなる傾向がみられます。



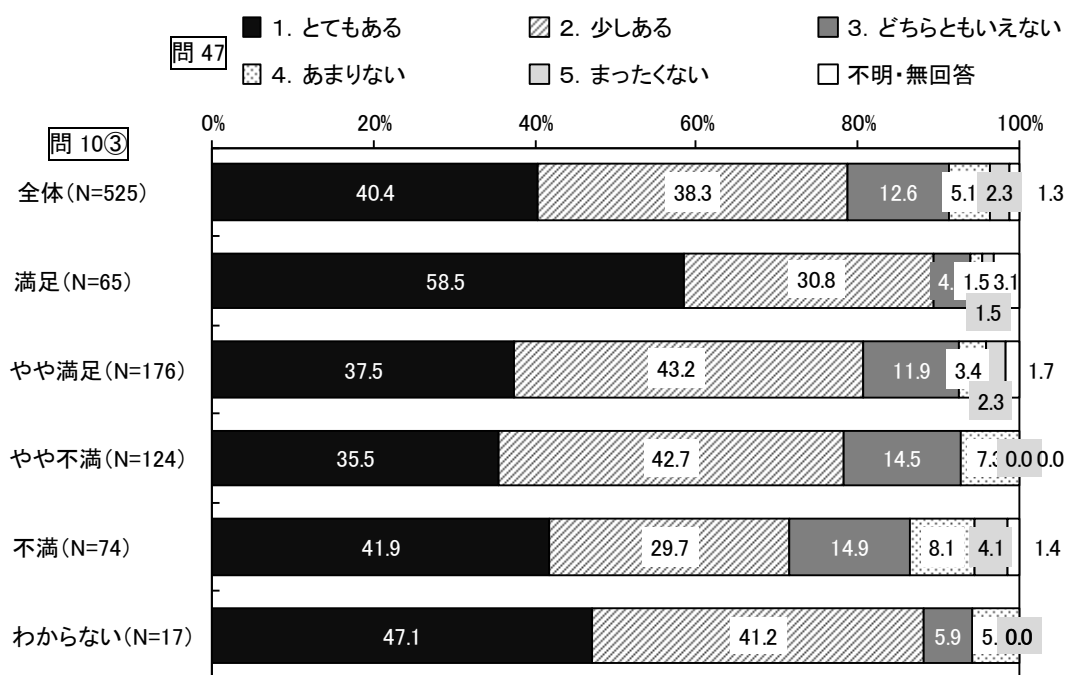
《問 47×問 10②学校生活の満足度別》

学校生活の満足度が高いほど『ある』の割合が高くなる傾向がみられます。



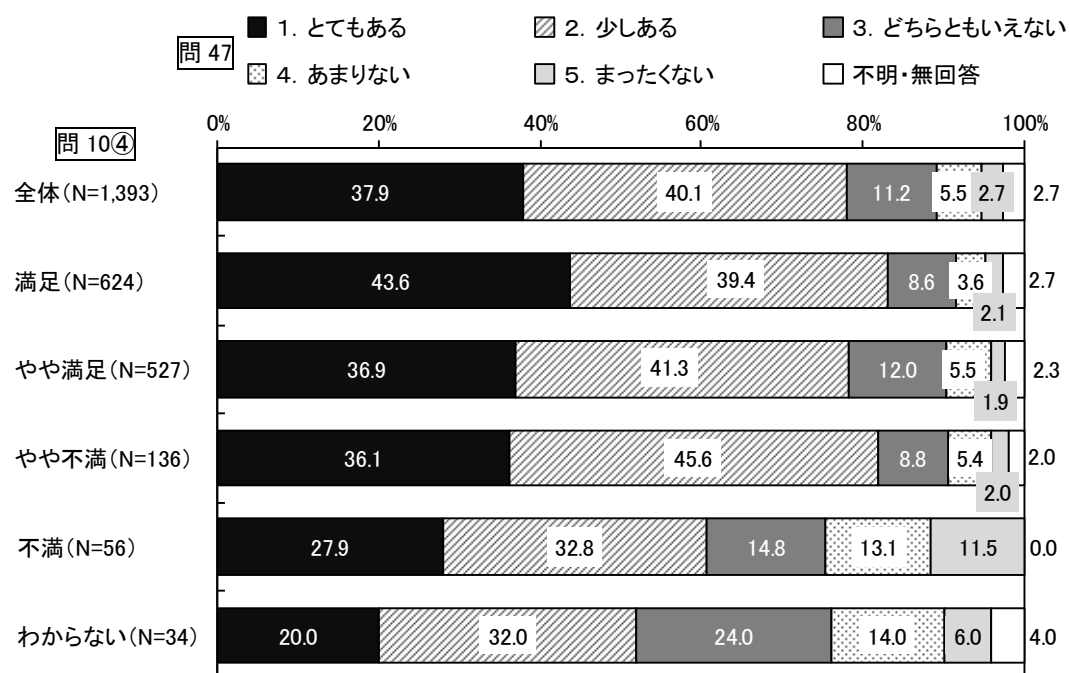
《問 47×問 10③職場生活の満足度別》

職場生活の満足度が高いほど『ある』の割合が高くなる傾向がみられます。



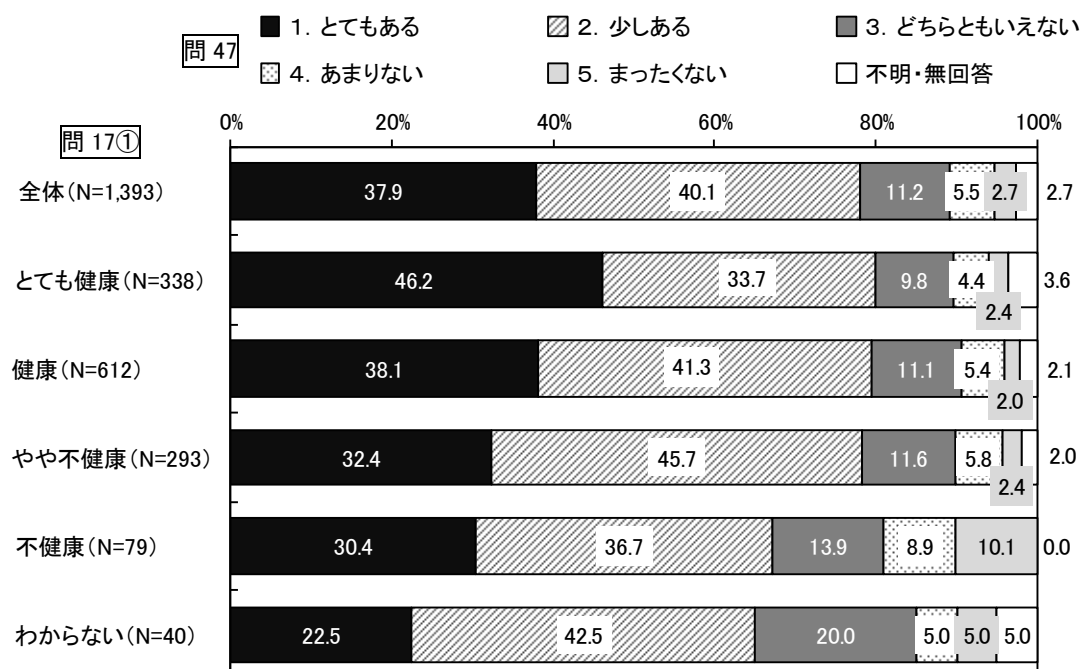
《問 47×問 10④私生活の満足度別》

私生活の満足度が高いほど『ある』の割合が高くなる傾向がみられます。



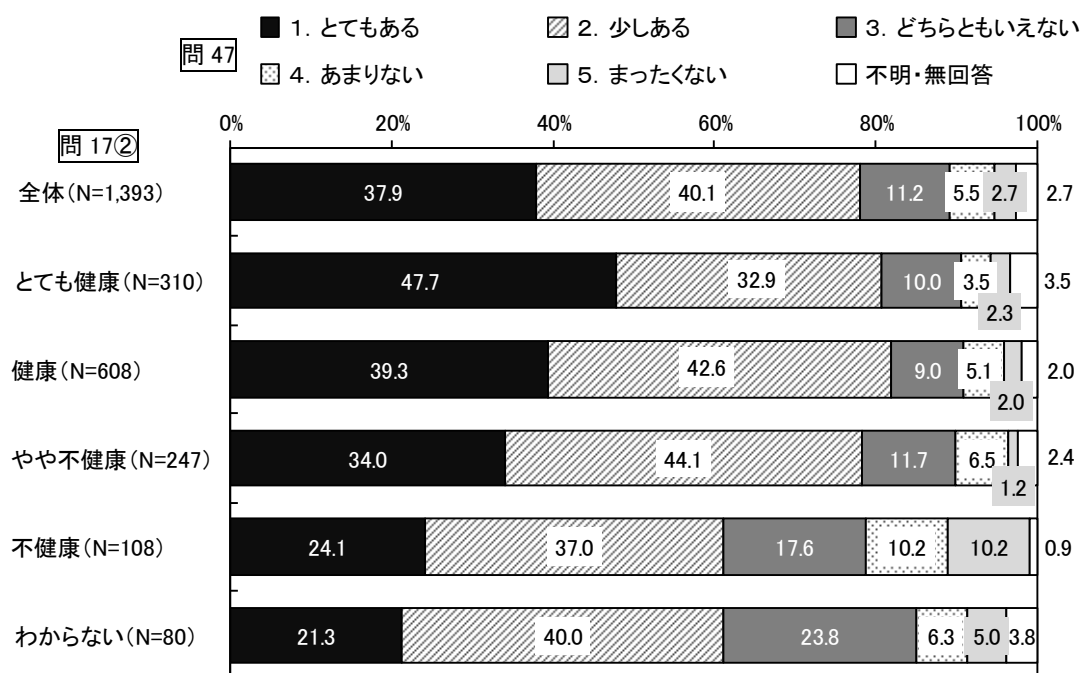
《問 47×問 17①自分の健康観（からだ）別》

自分の健康観（からだ）の度合いが高いほど『ある』の割合が高くなる傾向がみられます。



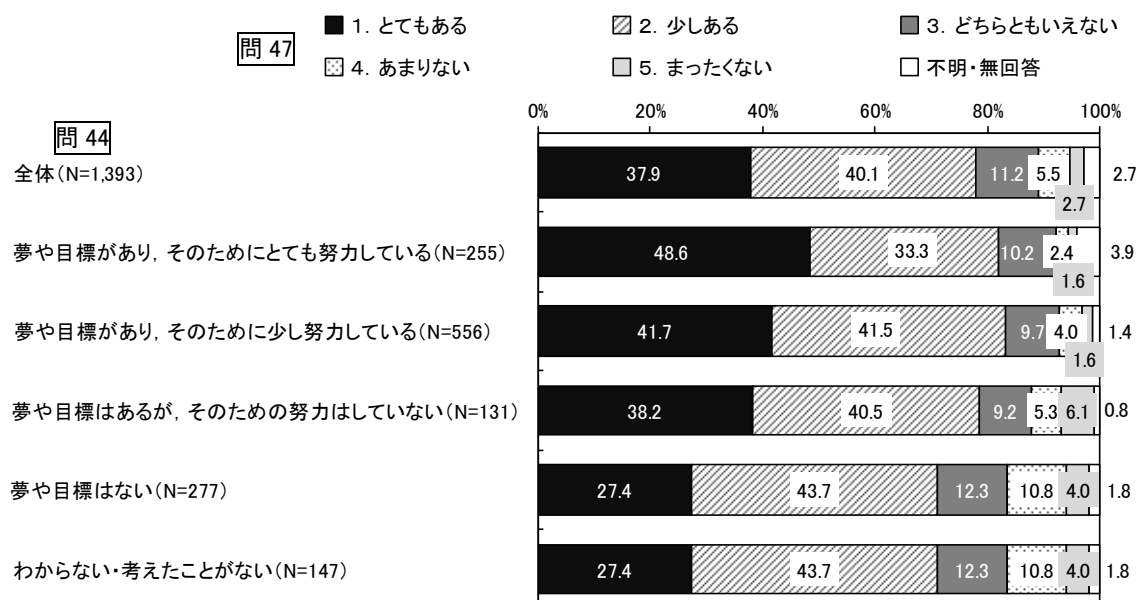
《問 47×問 17②自分の健康観（こころ）別》

自分の健康観（こころ）の度合いが高いほど『ある』の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 47×問 44 将来の夢や目標の有無別》

将来の夢や目標を持ち、努力しているほど『ある』の割合が高くなる傾向がみられます。

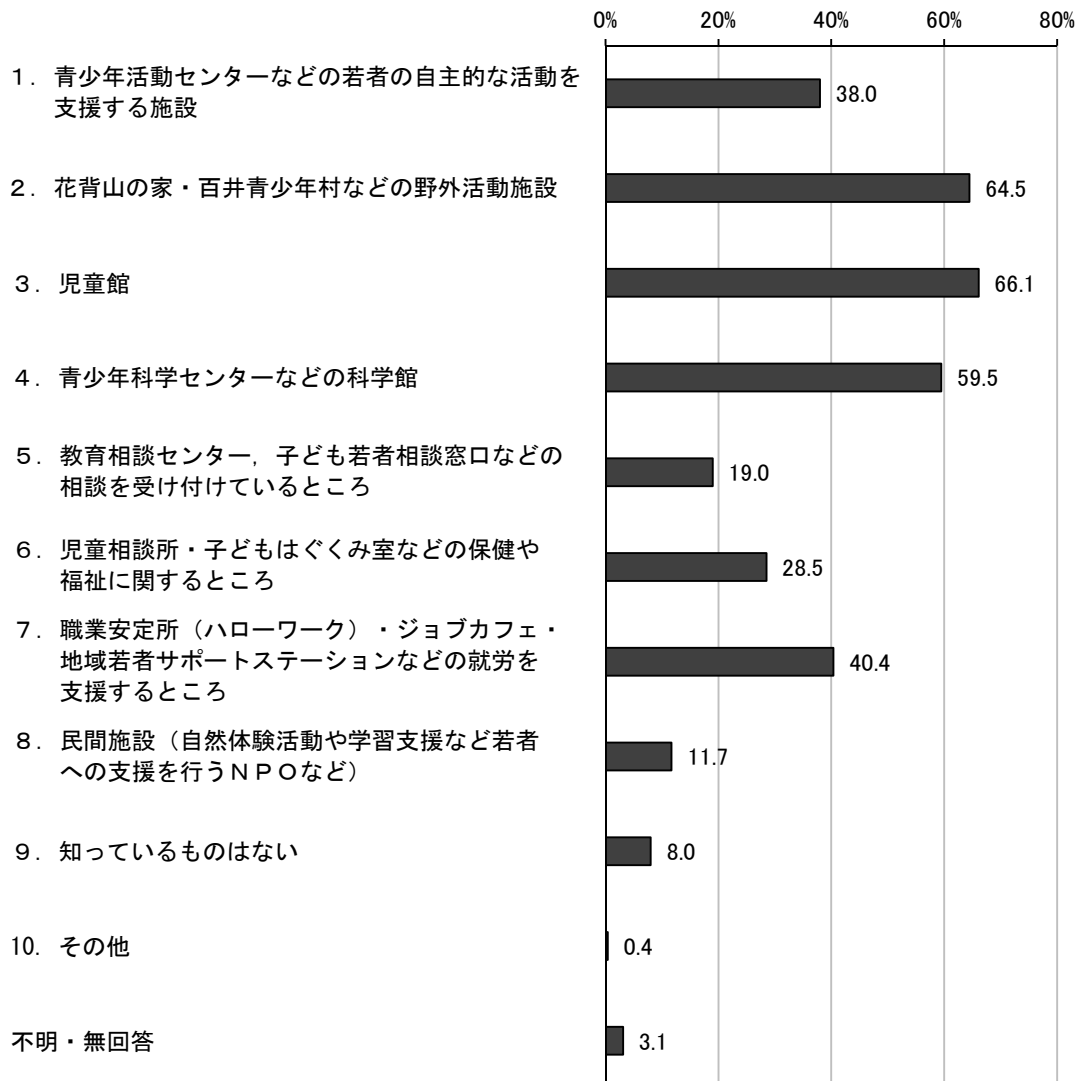


15 子ども・若者を対象とした施設について

問 48 あなたは、以下の子ども・若者を対象に支援する施設等を知っていますか。(〇はいくつでも)

「3. 児童館」が 66.1%と最も高く、次いで「2. 花背山の家・百井青少年村などの野外活動施設」が 64.5%, 「4. 青少年科学センターなどの科学館」が 59.5%となっています。

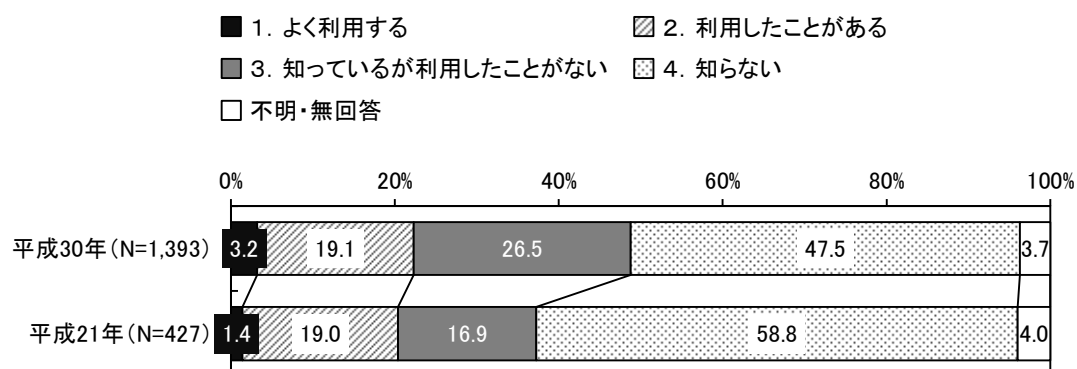
(N=1,393)



問 49(1) 京都市青少年活動センターを利用したことがありますか。(〇は1つ)

「4. 知らない」が 47.5%と最も高く、次いで「3. 知っているが利用したことがない」が 26.5%、「2. 利用したことがある」が 19.1%となっています。

平成 21 年と比較すると、「4. 知らない」が 11.3 ポイント低く、「3. 知っているが利用したことがない」が 9.6 ポイント高くなっています。

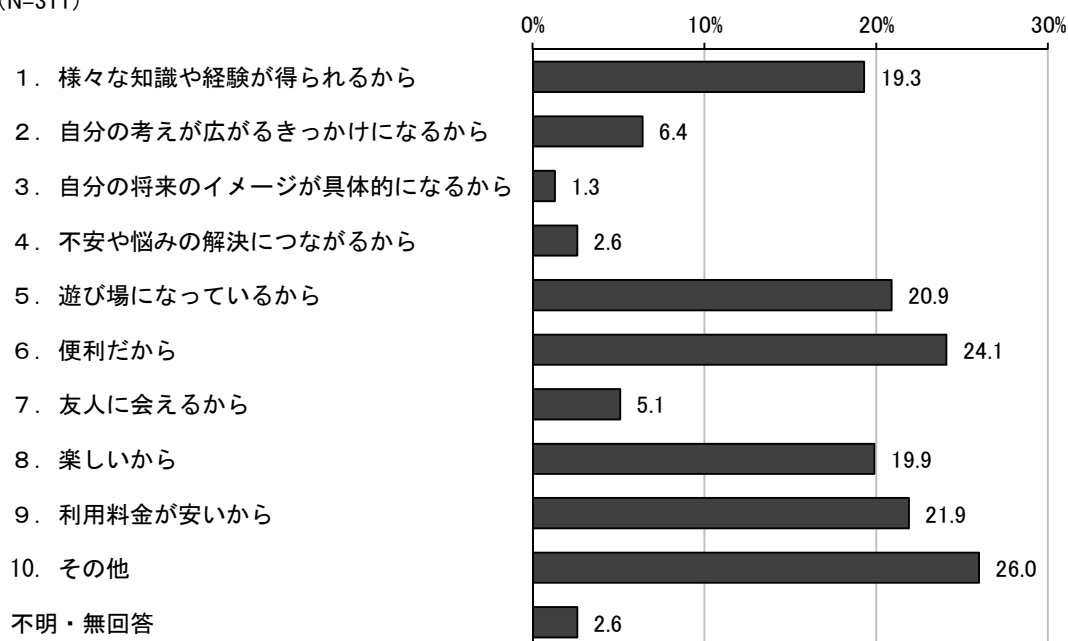


問 49(1)で「1」または「2」と答えた方

問 49(2) 利用している理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「その他」を除き、「6. 便利だから」が 24.1%と最も高く、次いで「9. 利用料金が安いから」が 21.9%、「5. 遊び場になっているから」が 20.9%となっています。

(N=311)

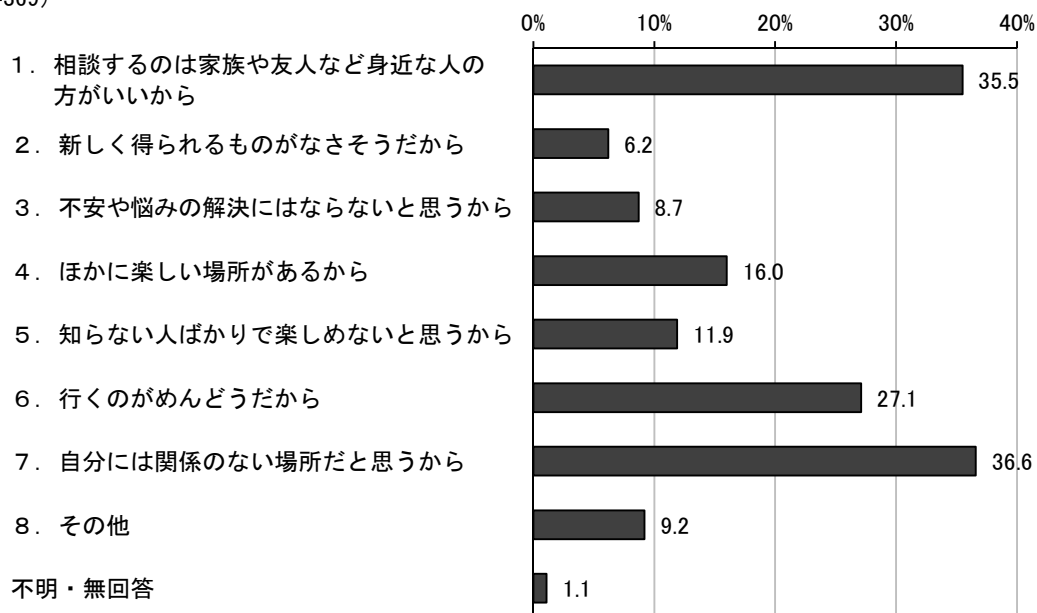


問 49(1)で「3. 知っているが利用したことがない」と答えた方

問 49(3) 利用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「7. 自分には関係のない場所だと思うから」が36.6%と最も高く、次いで「1. 相談するのは家族や友人など身近な人の方がいいから」が35.5%,「6. 行くのがめんどうだから」が27.1%となっています。

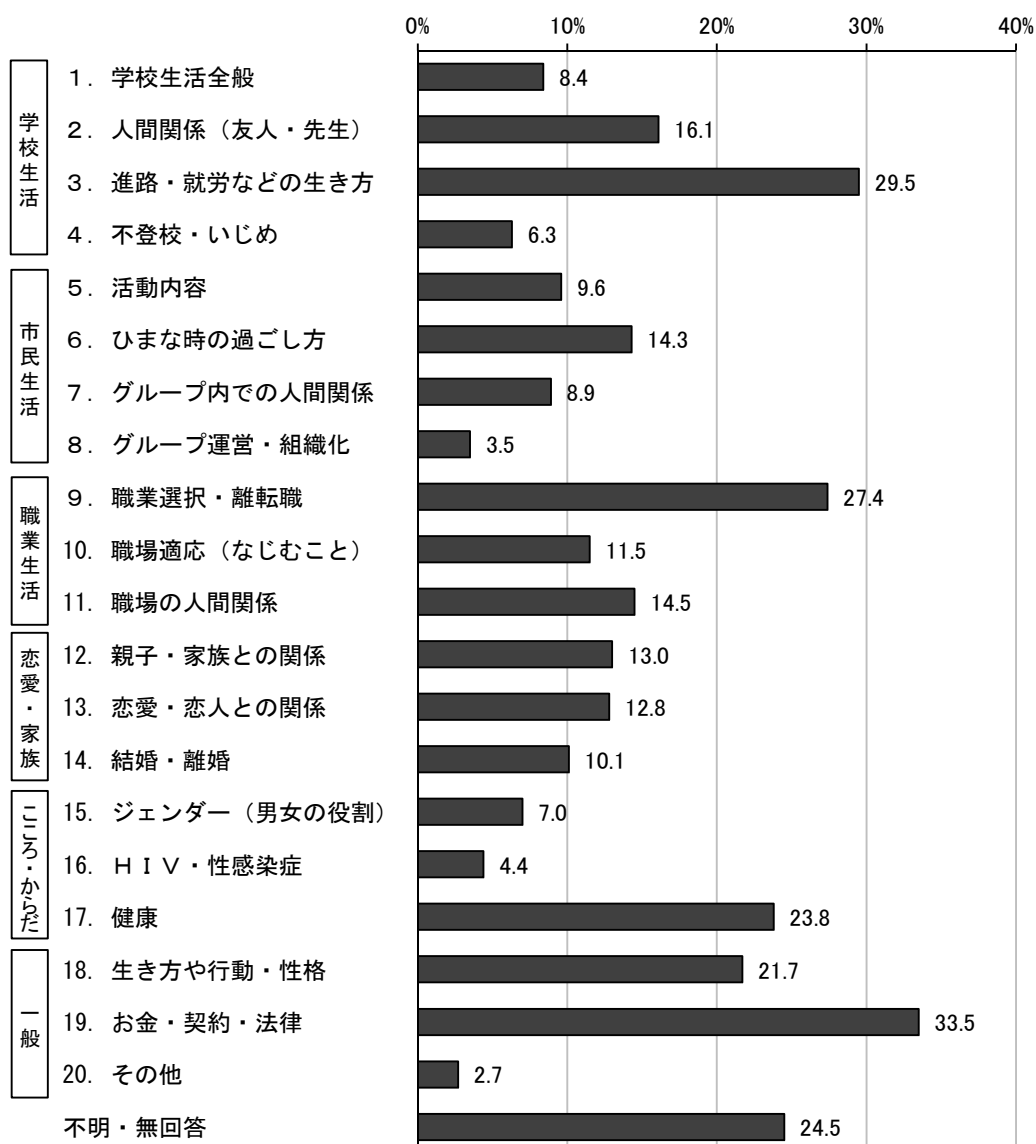
(N=369)



問 50 京都市青少年活動センターでは青少年から相談を受ける取組を実施していますが、どのような相談をしてみたいと思いますか。(〇はいくつでも)

「19. お金・契約・法律」が 33.5%と最も高く、次いで「3. 進路・就労などの生き方」が 29.5%、「9. 職業選択・離転職」が 27.4%となっています。

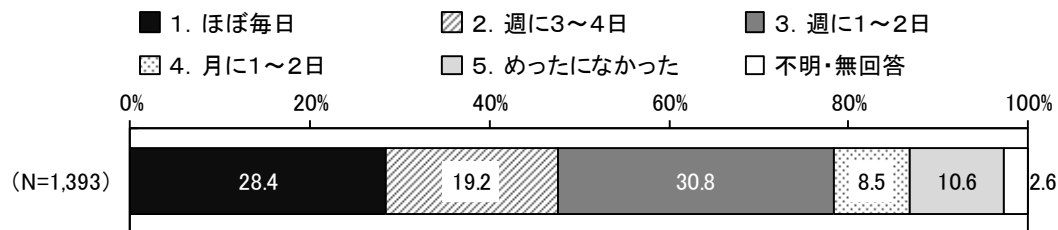
(N=1,393)



16 幼少期の状況について

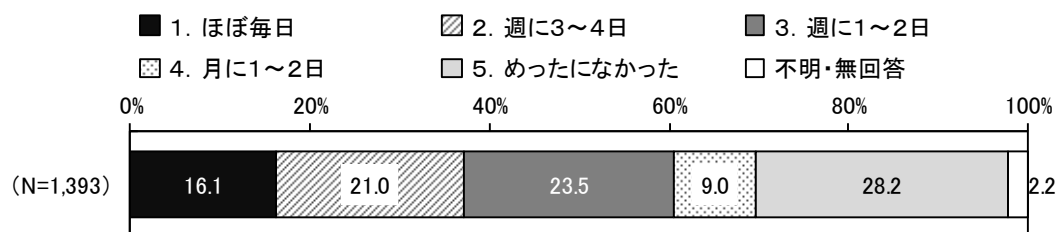
問 51 あなた自身が子ども（小学生）の時，親に遊んでももらいましたか。（○は1つ）

「3. 週に1～2日」が30.8%と最も高く，次いで「1. ほぼ毎日」が28.4%，「2. 週に3～4日」が19.2%となっています。



問 52 あなた自身が子ども（小学生）の時，親に勉強を教えてもらいましたか。（○は1つ）

「5. めったになかった」が28.2%と最も高く，次いで「3. 週に1～2日」が23.5%，「2. 週に3～4日」が21.0%となっています。

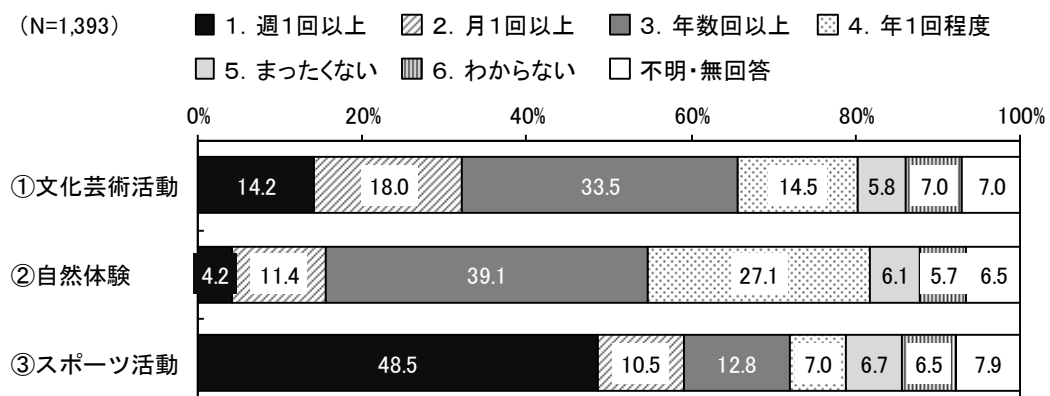


問 53 あなた自身が子ども（小学生）の時，自宅以外で次のことを体験する機会は何の程度ありましたか。（○はそれぞれ1つずつ）

①文化芸術活動では，「3. 年数回以上」が33.5%と最も高く，次いで「2. 月1回以上」が18.0%，「4. 年1回程度」が14.5%となっています。

②自然体験では，「3. 年数回以上」が39.1%と最も高く，次いで「4. 年1回程度」が27.1%，「2. 月1回以上」が11.4%となっています。

③スポーツ活動では，「1. 週1回以上」が48.5%と最も高く，次いで「3. 年数回以上」が12.8%，「2. 月1回以上」が10.5%となっています。



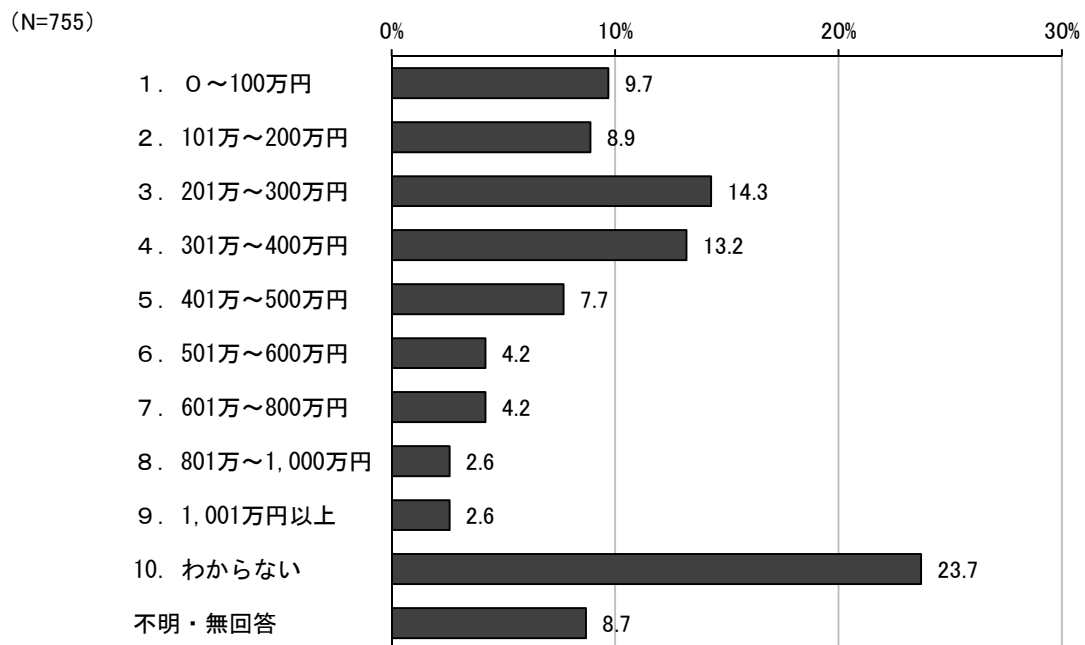
19 歳から 30 歳までの方

問 54 差しつかえなければ、あなたの世帯の昨年 1 年間（平成 29 年 1 月 1 日～12 月 31 日）の可処分所得を教えてください。（○は 1 つ）

※可処分所得とは、いわゆる手取り収入の額をいい、実収入から税金や社会保険料等を引いた額のことです。

※一人暮らしの場合はあなたの、一緒に暮らしている人がいる場合は世帯すべての可処分所得を教えてください。

「10. わからない」が 23.7%と最も高く、次いで「3. 201 万～300 万円」が 14.3%、「4. 301 万～400 万円」が 13.2%となっています。

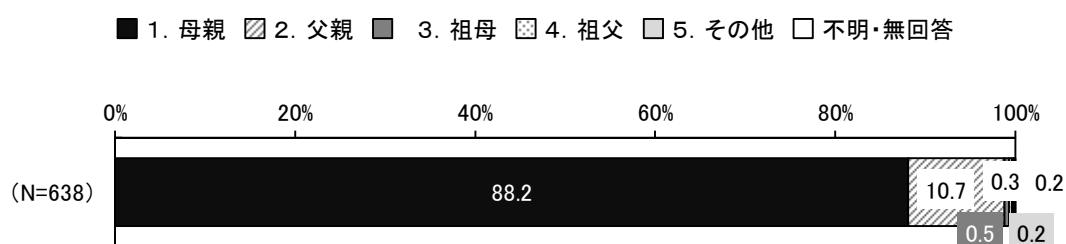


Ⅳ. 調査結果（保護者用調査）

1 あなたご自身について

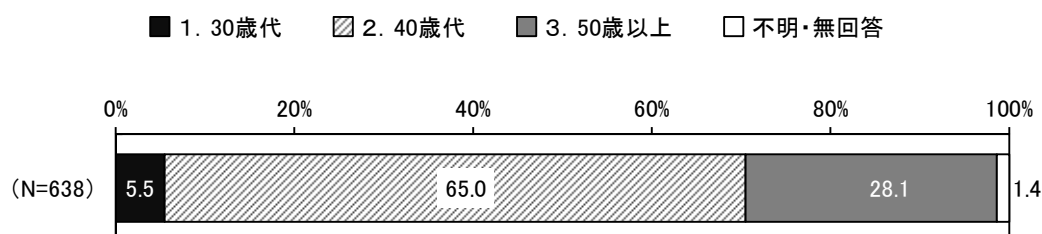
問1 この調査に回答いただく方（あなた）はどなたですか（続柄は宛名のお子さまからみた関係）。（○は1つ）

「1. 母親」が88.2%と最も高く、次いで「2. 父親」が10.7%、「3. 祖母」が0.5%となっています。



問2 あなたの年齢をご記入ください（平成30年9月1日現在）。

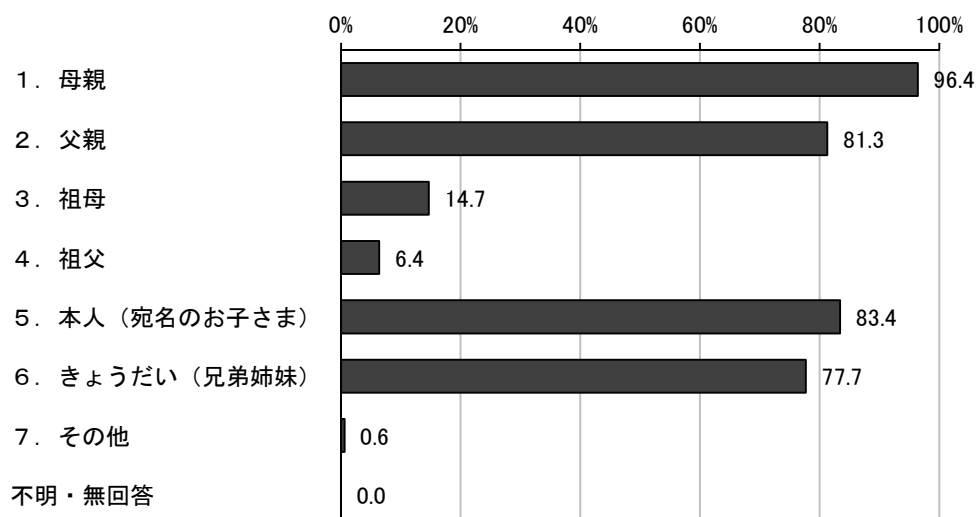
「2. 40歳代」が65.0%と最も高く、次いで「3. 50歳以上」が28.1%、「1. 30歳代」が5.5%となっています。



問3 世帯構成をお答えください（続柄は宛名のお子さまからみた関係）。（○はいくつでも）

「1. 母親」が96.4%と最も高く、次いで「5. 本人（宛名のお子さま）」が83.4%、「2. 父親」が81.3%となっています。

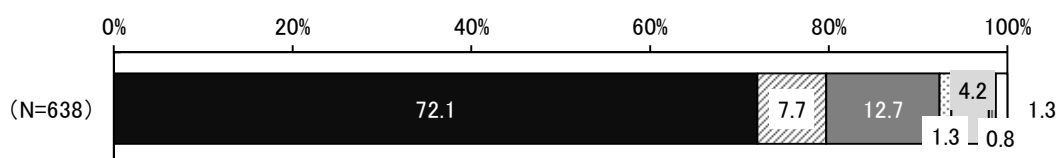
(N=638)



問4 宛名のお子さまの現在のご両親の婚姻関係についてお答えください。（○は1つ）

「1. 結婚している（同居）（事実婚を含む）」が72.1%と最も高く、次いで「3. 結婚していない（離婚，または離婚に等しい状況で別居）」が12.7%、「2. 結婚している（単身赴任等で別居）」が7.7%となっています。

- 1. 結婚している（同居）（事実婚を含む）
- ▨ 2. 結婚している（単身赴任等で別居）
- 3. 結婚していない（離婚，または離婚に等しい状況で別居）
- ▨ 4. 結婚していない（死別した）
- 5. 結婚していない（結婚したことがない）
- ▨ 6. その他
- 不明・無回答



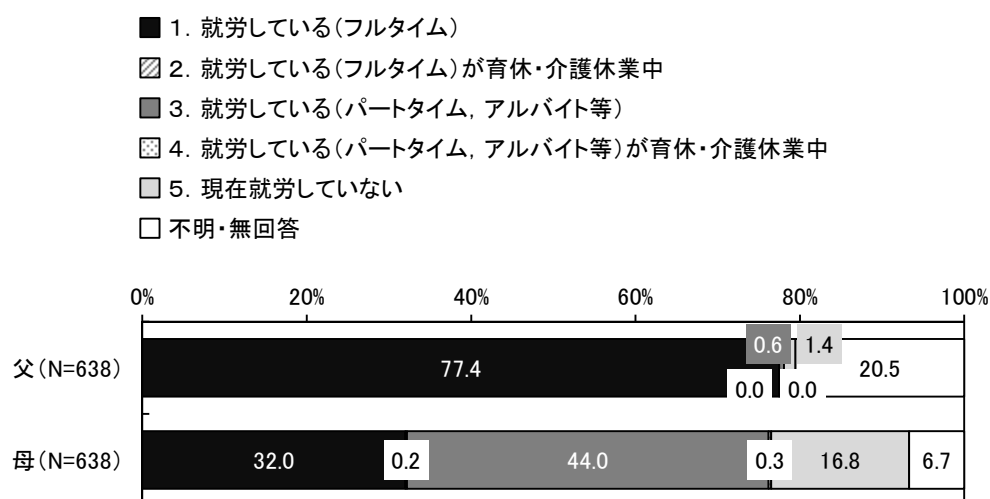
問5 宛名のお子さまの父親・母親それぞれの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む。）について、「1～5」の中からお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）
併せて、就労している方は、[]に数字（時刻の場合は、「18 時頃」のように 24 時間制で）をご記入ください。また、就労時間については、30 分以上の端数は切上げ、30 分未満は切下げて記入してください。

父親では、「1. 就労している（フルタイム）」が 77.4%と最も高く、次いで「5. 現在就労していない」が 1.4%となっています。

母親では、「3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）」が 44.0%と最も高く、次いで「1. 就労している（フルタイム）」が 32.0%、「5. 現在就労していない」が 16.8%となっています。

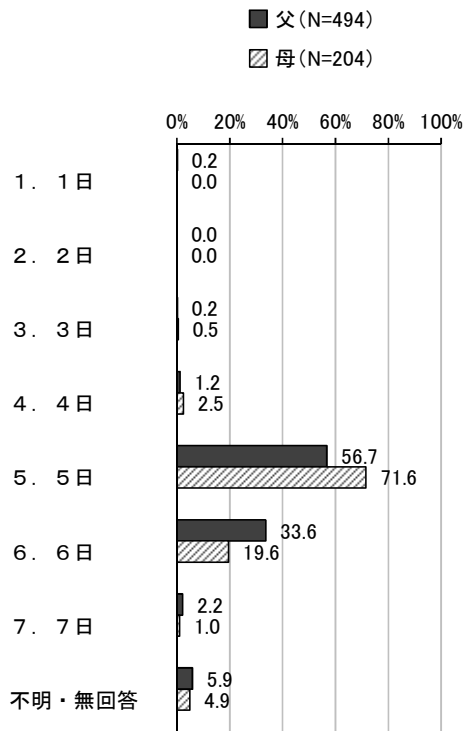
フルタイムで就労している保護者の状況は、[1 週あたりの日数]で「5. 5 日」、[1 日あたりの就労時間]で「2. 8 時間～9 時間未満」、[家を出る時間]で父親が「3. 7 時台」、母親が「4. 8 時台」、[帰宅時間]で父親が「3. 19 時台」、母親が「18 時台」が最も高くなっています。

パートタイム、アルバイト等で就労している保護者の状況の母親では、[1 週あたりの日数]で「4. 4 日」、[1 日あたりの就労時間]で「5. 5 時間」、[家を出る時間]で「5. 9 時台」、[帰宅時間]で「18 時前」が最も高くなっています。

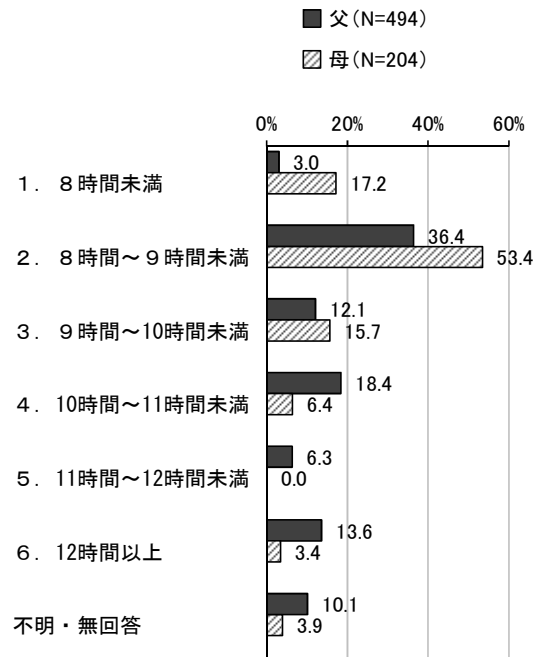


◆フルタイムで就労している保護者の状況

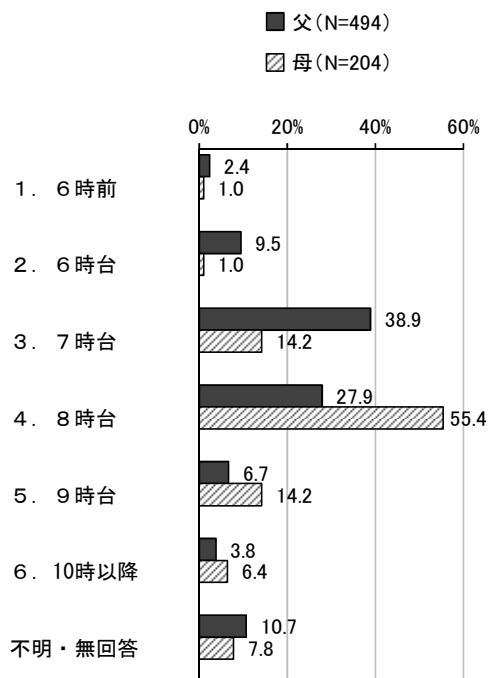
【1週あたりの日数】



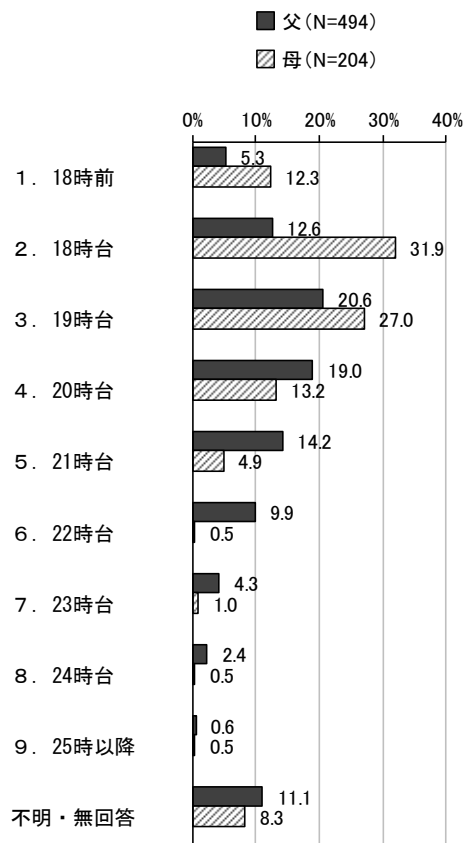
【1日あたりの就労時間】



【家を出る時間】

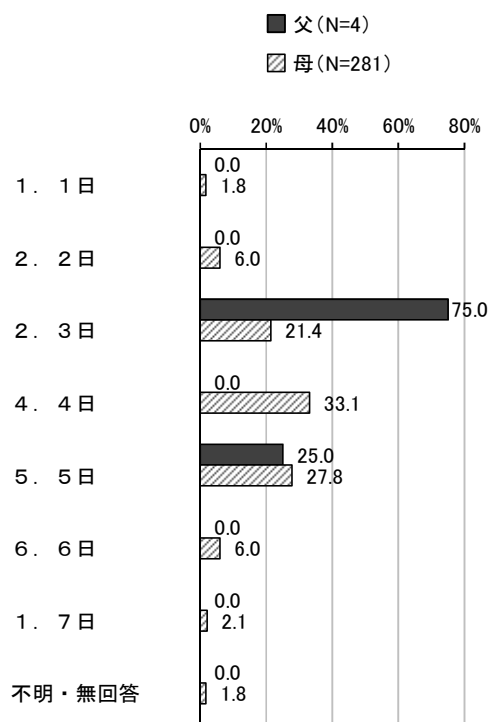


【帰宅時間】

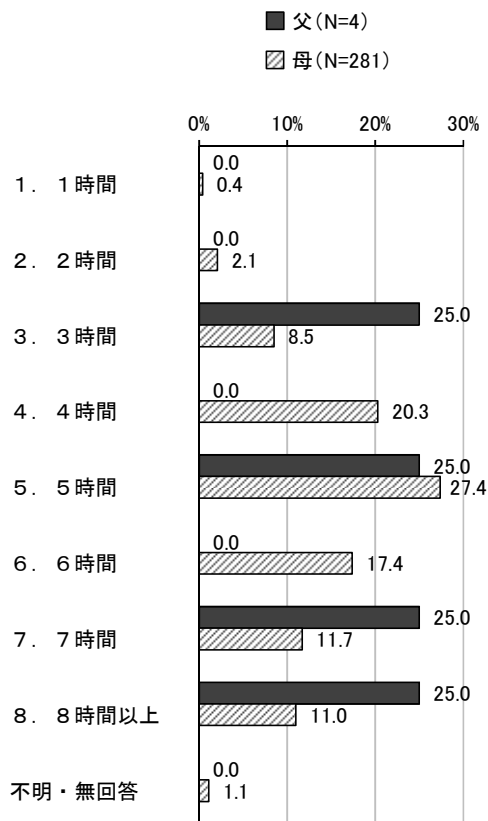


◆パートタイム、アルバイト等で就労している保護者の状況

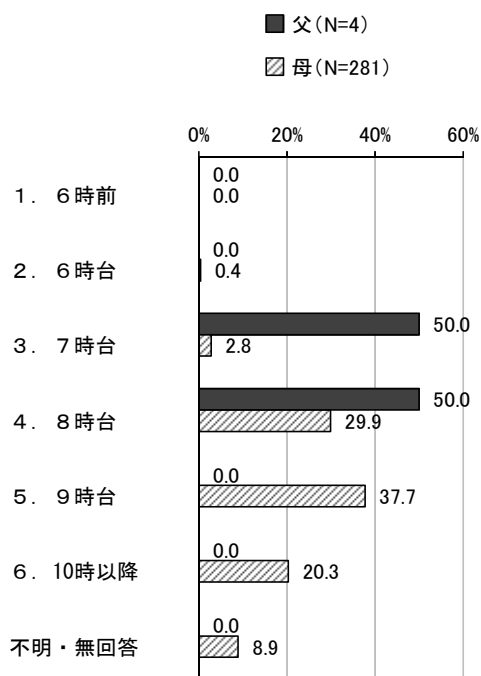
【1週あたりの日数】



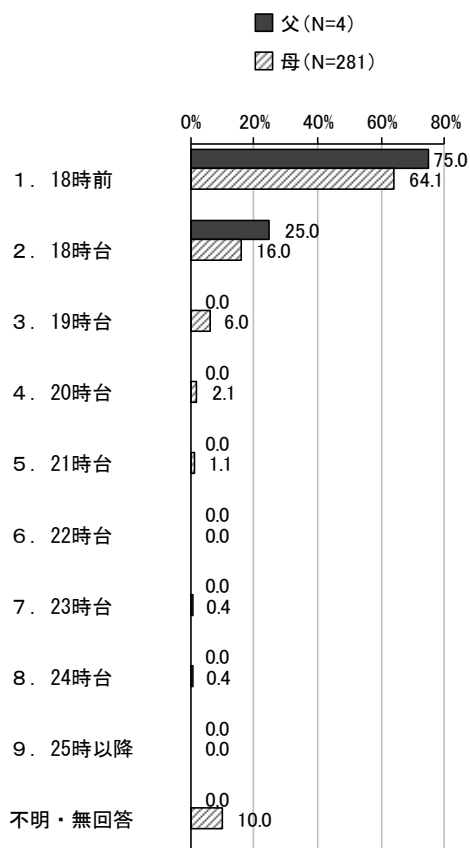
【1日あたりの就労時間】



【家を出る時間】



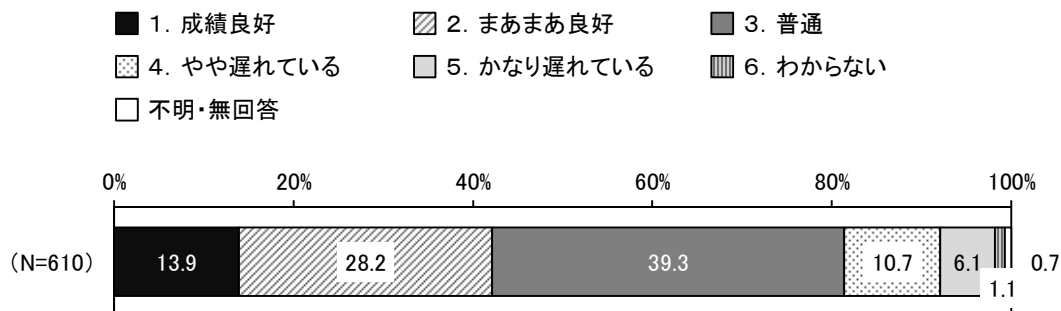
【帰宅時間】



2 宛名のお子さまについて

問6 宛名のお子さまの学校での勉強の成績はどうか。(〇は1つ)

「3. 普通」が39.3%と最も高く、次いで「2. まあまあ良好」が28.2%, 「1. 成績良好」が13.9%となっています。



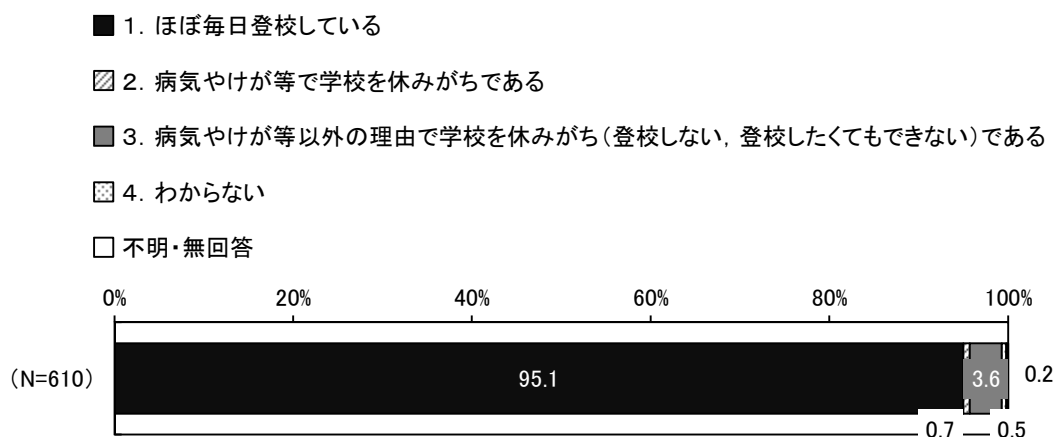
《問6 × 問7 子どもの登校状況別》

『ほぼ毎日登校している』『病気やけが等で学校を休みがちである』では「普通」, 『病気やけが等以外の理由で学校を休みがちである』では, 「かなり遅れている」の割合が最も高くなっています。

上段: 件数 下段: %		合計	成績良好	まあまあ良好	普通	やや遅れている	かなり遅れている	わからない	不明・無回答
全 体		610 100.0	85 13.9	172 28.2	240 39.3	65 10.7	37 6.1	7 1.1	4 0.7
子 ど も の 登 校 状 況	ほぼ毎日登校している	580 100.0	84 14.5	171 29.5	234 40.3	60 10.3	26 4.5	1 0.2	4 0.7
	病気やけが等で学校を休みがちである	4 100.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
	病気やけが等以外の理由で学校を休みがち(登校しない, 登校したくてもできない)である	22 100.0	1 4.5	1 4.5	3 13.6	2 9.1	10 45.5	5 22.7	0 0.0
	わからない	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0

問7 宛名のお子さまの登校状況をお答えください。(〇は1つ)

「1. ほぼ毎日登校している」が95.1%と最も高く、次いで「3. 病気やけが等以外の理由で学校を休みがち(登校しない, 登校したくてもできない)である」が3.6%, 「2. 病気やけが等で学校を休みがちである」が0.7%となっています。

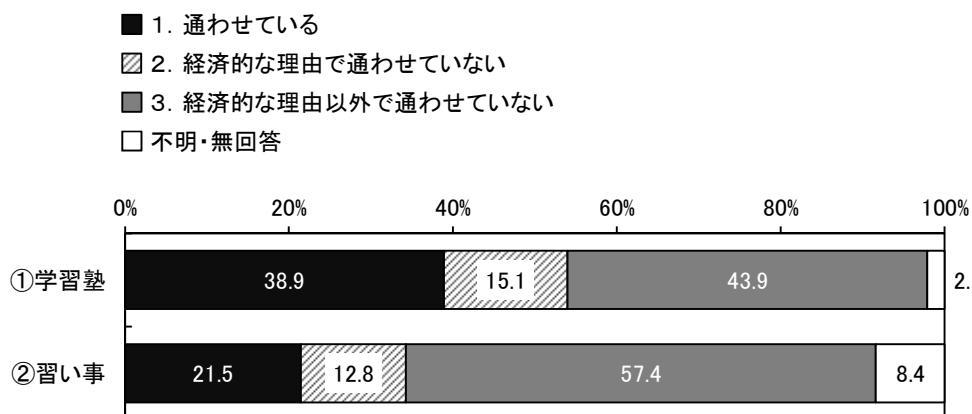


問8 宛名のお子さまを学習塾や習い事に通わせていますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

①学習塾では、「3. 経済的な理由以外で通わせていない」が43.9%と最も高く、次いで「1. 通わせている」が38.9%、「2. 経済的な理由で通わせていない」が15.1%となっています。

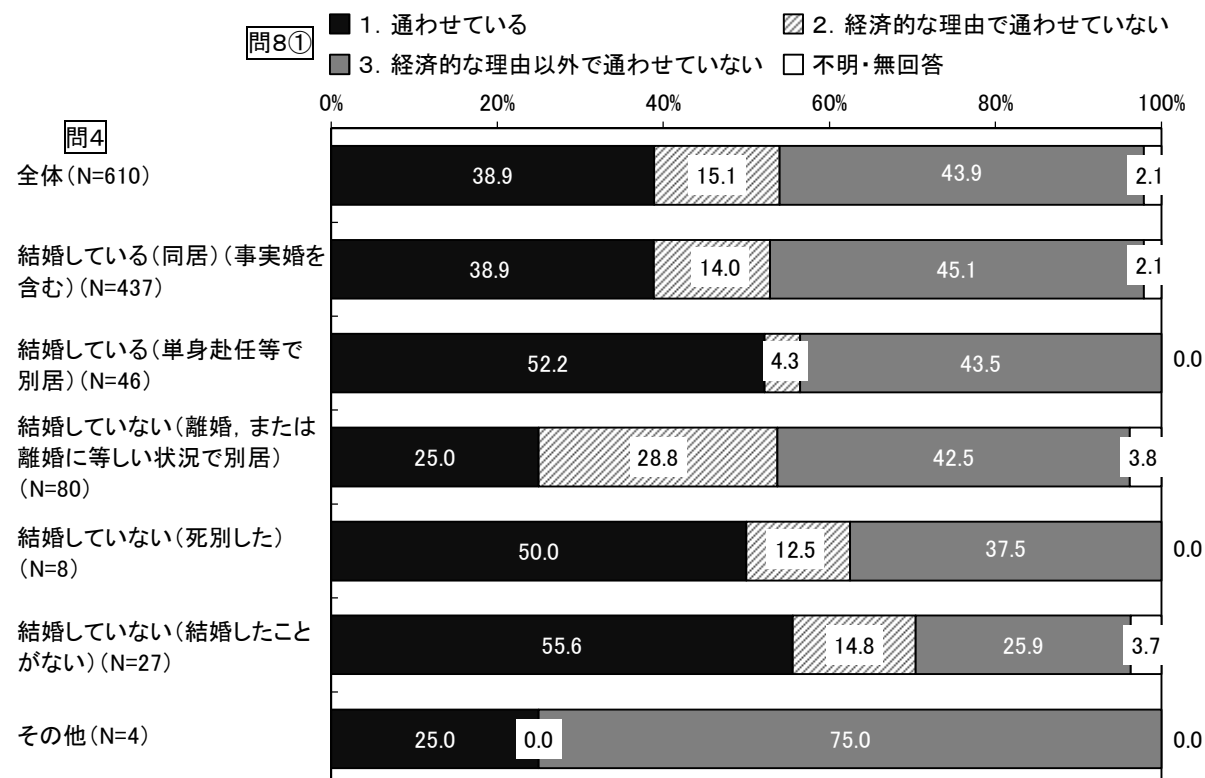
②習い事では、「3. 経済的な理由以外で通わせていない」が57.4%と最も高く、次いで「1. 通わせている」が21.5%、「2. 経済的な理由で通わせていない」が12.8%となっています。

(N=610)



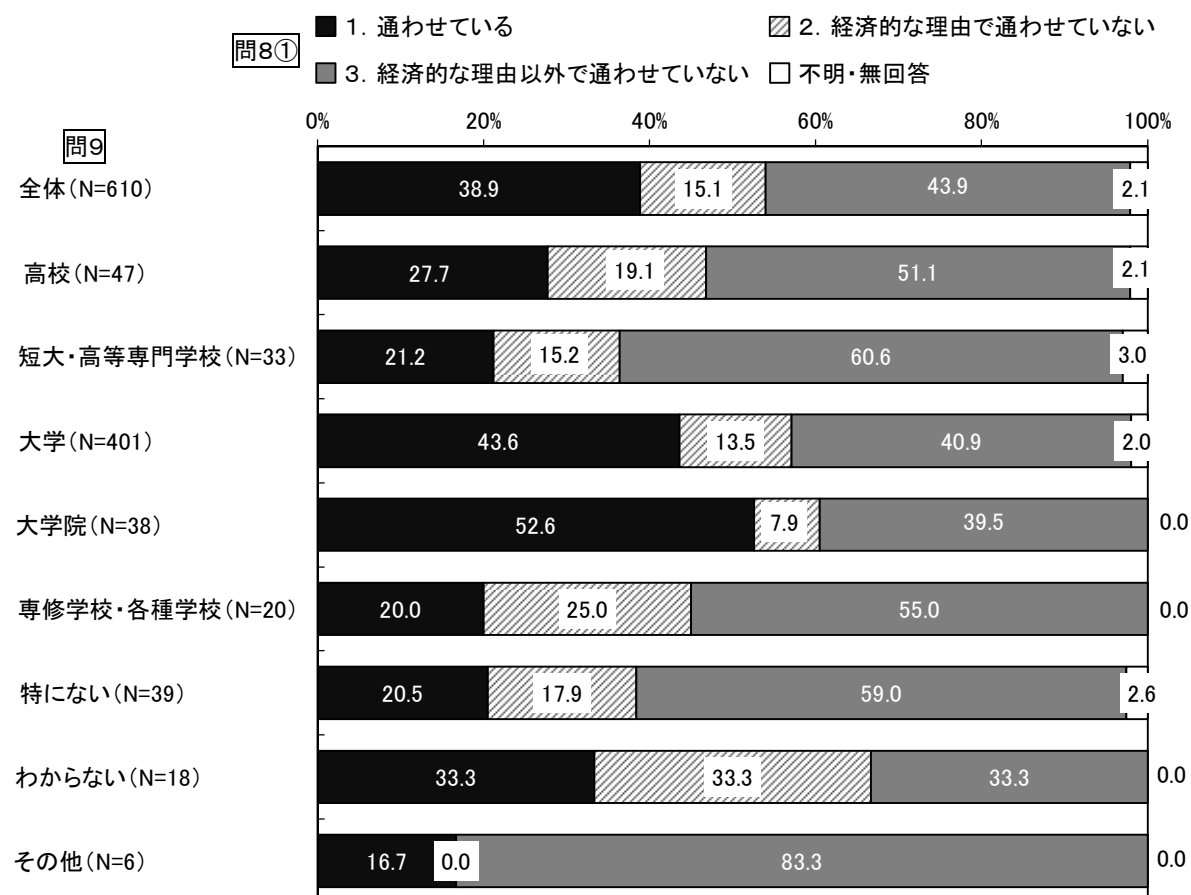
《問8①学習塾×問4 保護者の婚姻状況別》

『結婚している（単身赴任等で別居）』『結婚していない（死別した）』『結婚していない（結婚したことがない）』では「1. 通わせている」,『結婚していない（離婚, または離婚に等しい状況で別居）』では「2. 経済的な理由で通わせていない」の割合が全体よりも高くなっています。



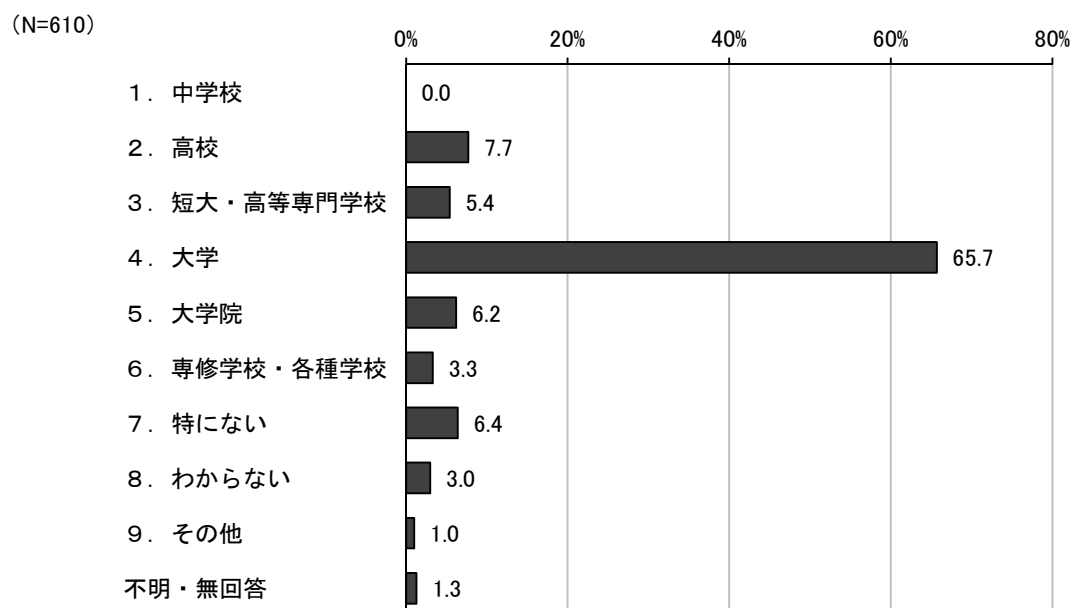
《問8①学習塾×問9希望最終学歴別》

『大学』『大学院』では「1. 通わせている」の割合が全体よりも高くなっています。



問9 宛名のお子さまには、どこまで進学してほしいと思っていますか。(○は1つ)

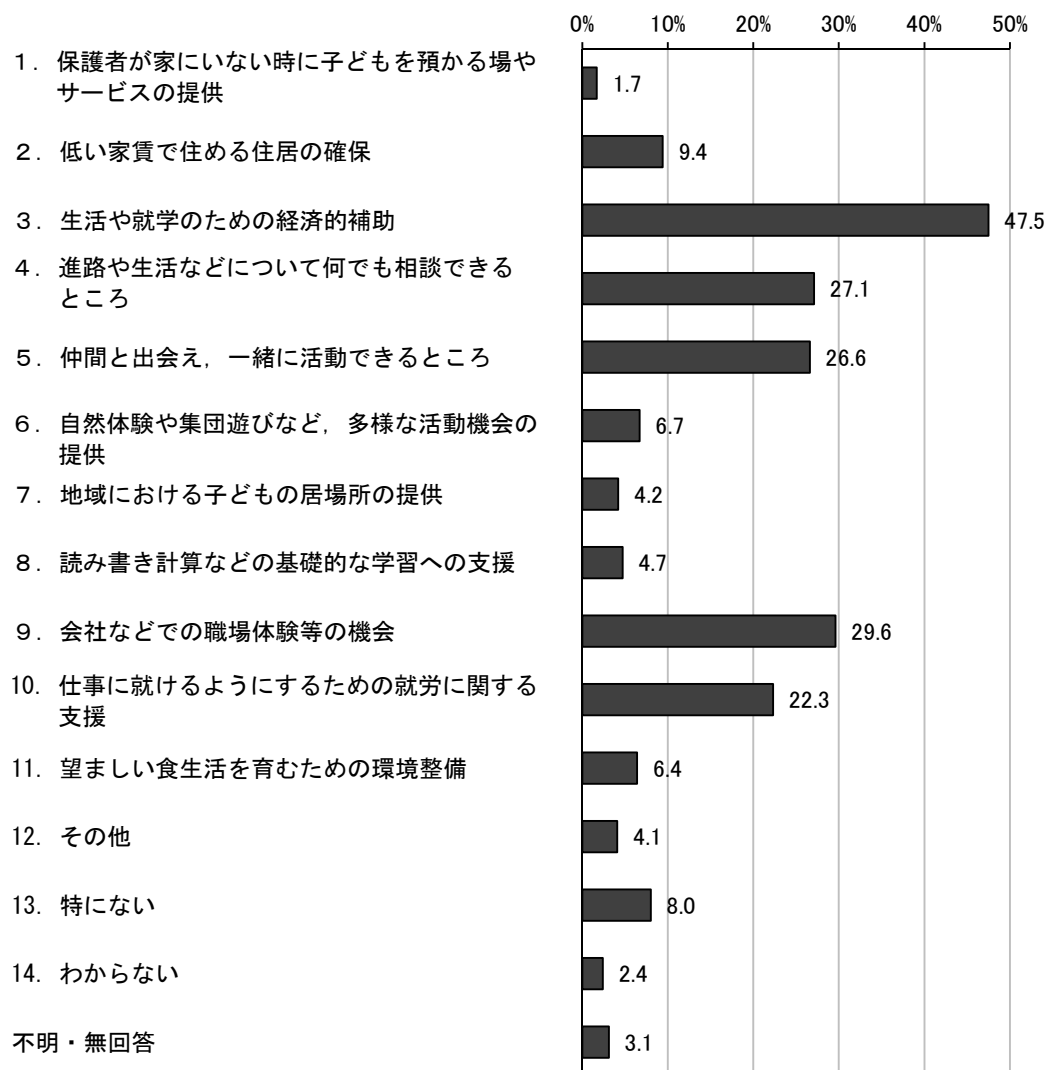
「4. 大学」が65.7%と最も高く、次いで「2. 高校」が7.7%、「7. 特にない」が6.4%となっています。



問 10 宛名のお子さまにとって、どのような支援が充実するとよいと思いますか。（〇は3つまで）

「3. 生活や就学のための経済的補助」が47.5%と最も高く、次いで「9. 会社などでの職場体験等の機会」が29.6%, 「4. 進路や生活などについて何でも相談できるところ」が27.1%となっています。

(N=638)



《問 10×問 5(1)子どもの学校の種類別（中高生のみ）》

『予備校』では「進路や生活などについて何でも相談できるところ」、『その他』では「仕事に就けるようにするための就労に関する支援」、それ以外の区分では「生活や就学のための経済的補助」の割合が最も高くなっています。

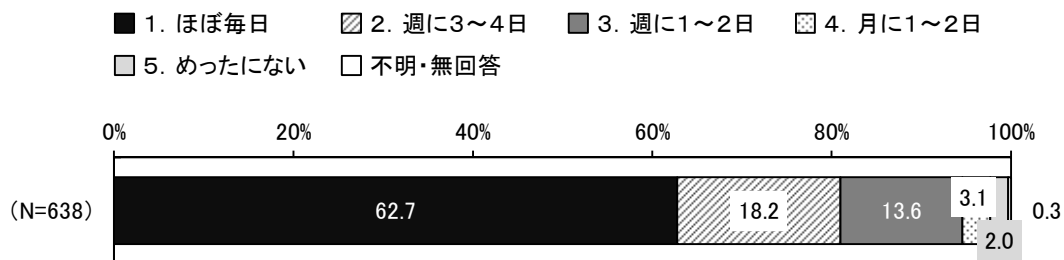
上段:件数 下段:%		合計	保護者が家にいない時に子どもを預かる場やサービスの提供	低い家賃で住める住居の確保	生活や就学のための経済的補助	進路や生活などについて何でも相談できるところ	仲間と出え、一緒に活動できるところ	自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供	地域における子どもの居場所の提供	読み書き計算などの基礎的な学習への支援
全 体		638 100.0	11 1.7	60 9.4	303 47.5	173 27.1	170 26.6	43 6.7	27 4.2	30 4.7
子どもの学校の種類	中学校	226 100.0	8 3.5	16 7.1	95 42.0	71 31.4	73 32.3	23 10.2	16 7.1	18 8.0
	高校	310 100.0	3 1.0	32 10.3	161 51.9	81 26.1	74 23.9	17 5.5	11 3.5	9 2.9
	短大・高等専門学校	10 100.0	0 0.0	3 30.0	6 60.0	1 10.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	大学	47 100.0	0 0.0	4 8.5	26 55.3	8 17.0	11 23.4	3 6.4	0 0.0	2 4.3
	専修学校・各種学校	12 100.0	0 0.0	1 8.3	6 50.0	2 16.7	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	予備校	5 100.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	4 80.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段:件数 下段:%		合計	会社などでの職場体験等の機会	仕事に就けるようにするための就労に関する支援	望ましい食生活を育むための環境整備	その他	特にない	わからない	不明・無回答
全 体		638 100.0	189 29.6	142 22.3	41 6.4	26 4.1	51 8.0	15 2.4	20 3.1
子どもの学校の種類	中学校	226 100.0	64 28.3	43 19.0	14 6.2	8 3.5	18 8.0	6 2.7	0 0.0
	高校	310 100.0	102 32.9	73 23.5	21 6.8	16 5.2	25 8.1	6 1.9	7 2.3
	短大・高等専門学校	10 100.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0
	大学	47 100.0	16 34.0	10 21.3	5 10.6	0 0.0	2 4.3	2 4.3	2 4.3
	専修学校・各種学校	12 100.0	3 25.0	5 41.7	1 8.3	0 0.0	3 25.0	0 0.0	1 8.3
	予備校	5 100.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	5 100.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0

3 ご家庭や暮らしの状況について

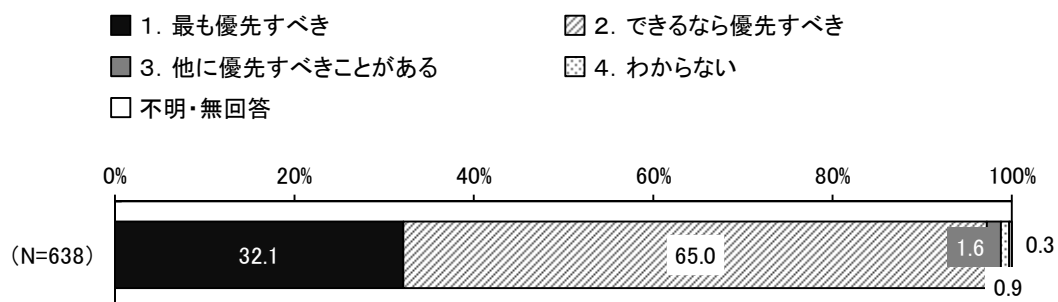
問 11 あなたは、宛名のお子さまと学校や仕事の話をするなど、お子さまの生活状況について話を
する機会は、どの程度ありますか。(○は1つ)

「1. ほぼ毎日」が62.7%と最も高く、次いで「2. 週に3～4日」が18.2%、「3. 週に1～2日」が13.6%となっています。



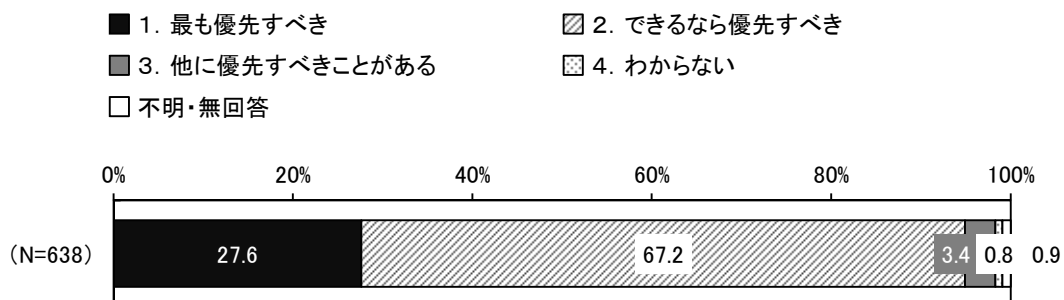
問 12(1) 日々の生活において、子育てにかけける時間は優先すべきだと思いますか。(○は1つ)

「2. できるなら優先すべき」が65.0%と最も高く、次いで「1. 最も優先すべき」が32.1%、「3. 他に優先すべきことがある」が1.6%となっています。



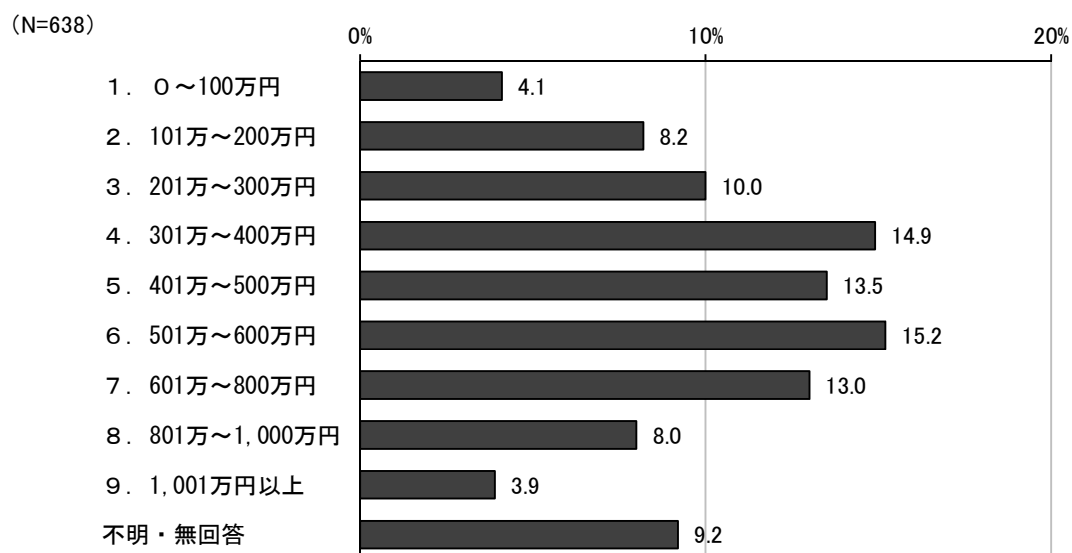
問 12(2) 日々の生活において、子育てにかけけるお金は優先すべきだと思いますか。(○は1つ)

「2. できるなら優先すべき」が67.2%と最も高く、次いで「1. 最も優先すべき」が27.6%、「3. 他に優先すべきことがある」が3.4%となっています。



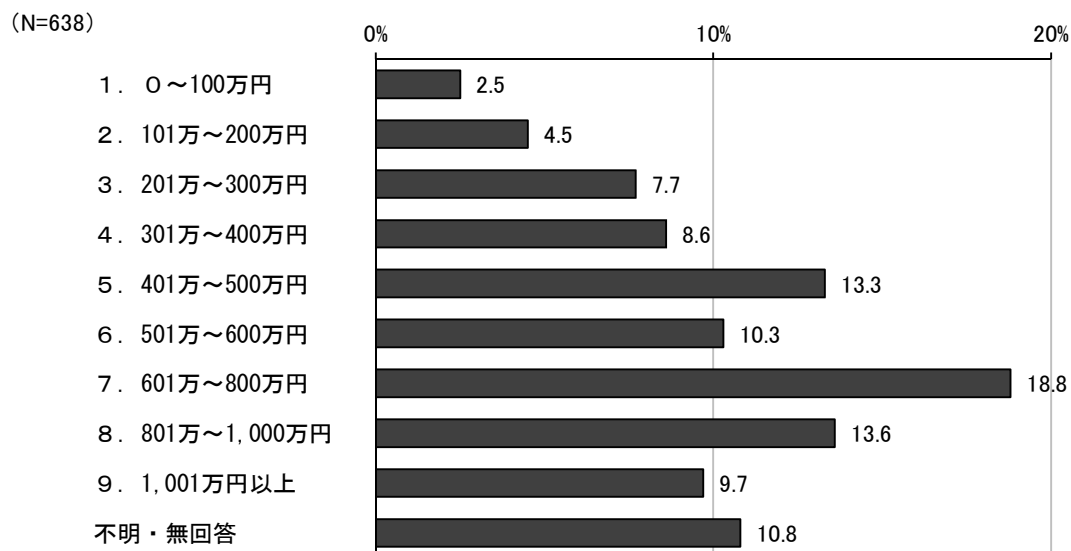
問 14 あなたの世帯の昨年1年間（平成29年1月1日～12月31日の期間）の可処分所得（実収入から税金や社会保険料等を引いたいわゆる手取り収入）はおおよそどのくらいですか。
（○は1つ）

「6. 501万～600万円」が15.2%と最も高く、次いで「4. 301万～400万円」が14.9%, 「5. 401万～500万円」が13.5%となっています。



問 13 あなたの世帯の収入の合計（税込み）は、昨年１年間（平成 29 年 1 月 1 日～12 月 31 日の期間）でおおよそどのくらいですか。

「7. 601 万～800 万円」が 18.8%と最も高く、次いで「8. 801 万～1,000 万円」が 13.6%, 「5. 401 万～500 万円」が 13.3%となっています。

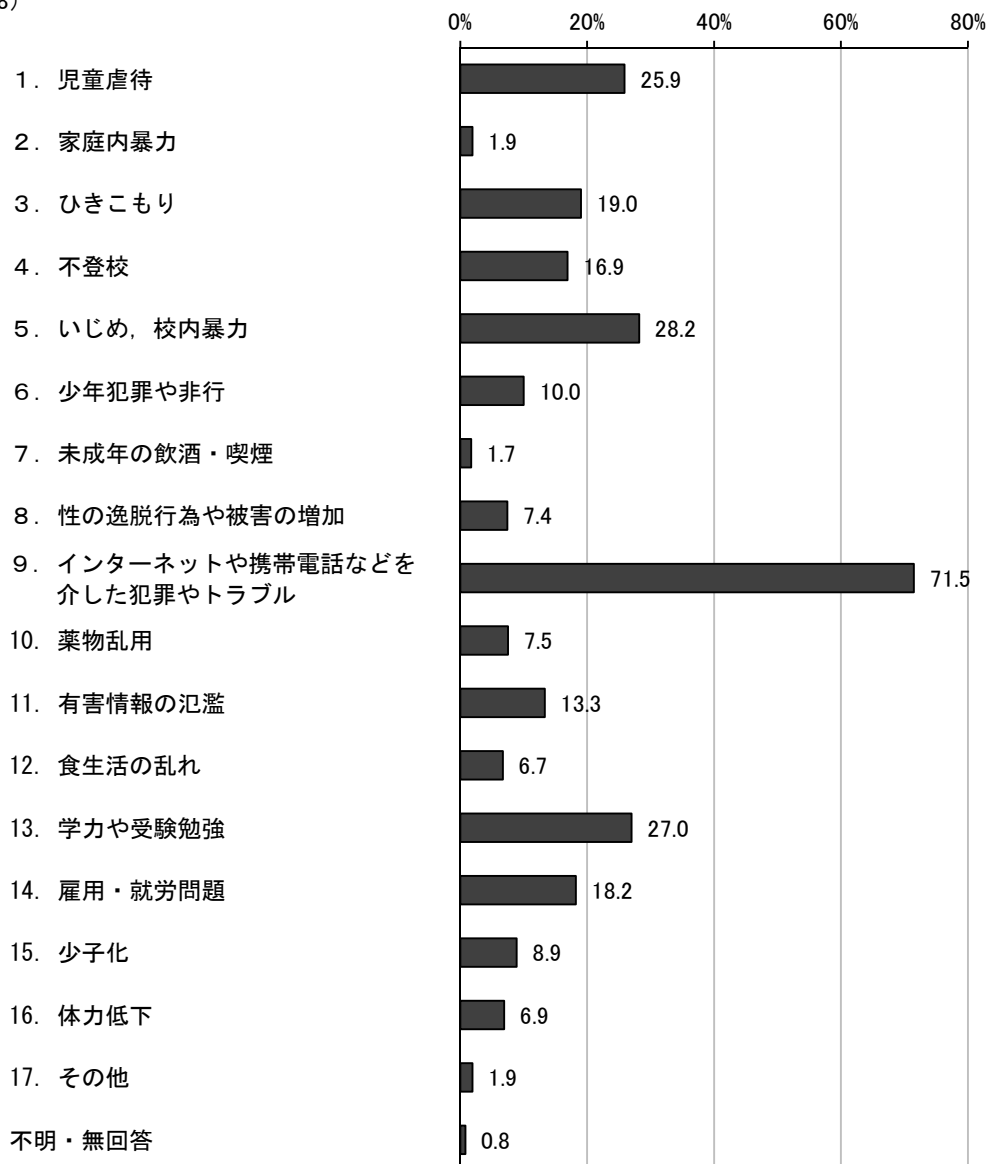


4 青少年施策全般について

問 15 最近の青少年を取り巻く問題で関心のあることは何ですか。(〇は3つまで)

「9. インターネットや携帯電話などを介した犯罪やトラブル」が71.5%と最も高く、次いで「5. いじめ、校内暴力」が28.2%、「13. 学力や受験勉強」が27.0%となっています。

(N=638)



《問 15×問 5(1)子どもの学校の種類別（中高生のみ）》

すべての区分で「インターネットや携帯電話などを介した犯罪やトラブル」の割合が最も高くなっています。また、『予備校』では「学力や受験勉強」、『その他』では「雇用・就労問題」も同率で最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	児童虐待	家庭内暴力	ひきこもり	不登校	いじめ、校内暴力	少年犯罪や非行	未成年の飲酒・喫煙	性の逸脱行為や被害の増加	インターネットや携帯電話などを介した犯罪やトラブル
全 体		638 100.0	165 25.9	12 1.9	121 19.0	108 16.9	180 28.2	64 10.0	11 1.7	47 7.4	456 71.5
子 ど も の 学 校 の 種 類	中学校	226 100.0	47 20.8	3 1.3	48 21.2	42 18.6	79 35.0	16 7.1	3 1.3	20 8.8	157 69.5
	高校	310 100.0	78 25.2	6 1.9	63 20.3	49 15.8	77 24.8	40 12.9	7 2.3	21 6.8	232 74.8
	短大・高等専門学校	10 100.0	2 20.0	0 0.0	2 20.0	2 20.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 60.0
	大学	47 100.0	21 44.7	1 2.1	5 10.6	5 10.6	12 25.5	5 10.6	1 2.1	2 4.3	34 72.3
	専修学校・各種学校	12 100.0	4 33.3	1 8.3	1 8.3	3 25.0	3 25.0	1 8.3	0 0.0	1 8.3	7 58.3
	予備校	5 100.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0
	その他	5 100.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0
	その他	5 100.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0
上段:件数 下段:%		合計	薬物乱用	有害情報の氾濫	食生活の乱れ	学力や受験勉強	雇用・就労問題	少子化	体力低下	その他	不明・無回答
全 体		638 100.0	48 7.5	85 13.3	43 6.7	172 27.0	116 18.2	57 8.9	44 6.9	12 1.9	5 0.8
子 ど も の 学 校 の 種 類	中学校	226 100.0	18 8.0	29 12.8	16 7.1	70 31.0	32 14.2	18 8.0	17 7.5	3 1.3	0 0.0
	高校	310 100.0	21 6.8	40 12.9	17 5.5	85 27.4	57 18.4	31 10.0	18 5.8	4 1.3	4 1.3
	短大・高等専門学校	10 100.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0
	大学	47 100.0	2 4.3	8 17.0	6 12.8	5 10.6	13 27.7	4 8.5	5 10.6	3 6.4	0 0.0
	専修学校・各種学校	12 100.0	2 16.7	2 16.7	1 8.3	3 25.0	3 25.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0
	予備校	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問 16 子どもを健やかに育てていくための行政の取組や、社会制度のあり方について、特に望むことやご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。（〇は1つ）

「6. 子育て世帯に対する経済的支援について」が 35.0%と最も高く、次いで「5. 若者の就職・就労について」が 12.9%、「1. 学校に関することについて」が 12.7%となっています。

